らくらくホン プレミアム

ISSUE DATE: '08.4

NAME:

PHONE NUMBER:

MAIL ADDRESS:

取扱説明書　FOMA® F884i

ドコモ　W-CDMA・GSM／GPRS方式

このたびは、「FOMA F884i」をご利用いただきまして、まことにありがとうございます。

ご利用の前に、あるいはご利用中に、この取扱説明書およびその他のオプション機器に添付の個別取扱説明書をよくお読みいただき、正しくお使いください。取扱説明書に不明な点がございましたら、裏面のお問い合わせ先までご連絡ください。
FOMA F884iは、お客様の有能なパートナーです。大切にお取り扱いの上、末長くご愛用ください。

FOMA端末のご使用にあたって

- FOMA端末は無線を利用しているため、トンネル・地下・建物の中など電波の届かない所、屋外でも電波の弱い所およびサービスエリア外ではご使用になれません。また、高層ビル・マンションなどの高層階で見晴らしのよい所であってもご使用になれない場合があります。なお、電波が強くアンテナマークが3本表示されている状態で、移動せずに使用している場合でも通話が切れることがありますので、ご了承ください。
- 公共の場所、人の多い所や静かな所などでは、まわりの方の迷惑にならないようにご使用ください。
- FOMA端末は電波を利用している関係上、第三者により通話を傍受されるケースもないとはいえません。しかし、W-CDMA・GSM／GPRS方式では秘話機能をすべての通話について自動的にサポートしますので、第三者が受信機で傍受したとしても、ただの雑音としか聞きとれません。
- FOMA端末は、音声をデジタル信号に変換して無線による通信を行っていることから、電波状態の悪い所へ移動するなど、送信されてきたデジタル信号を正確に復元できない場合には、実際の音声と異なって聞こえる場合があります。
- お客様ご自身でFOMA端末に登録された情報内容（電話帳、予定表、メモ、伝言メモ、音声メモなど）は、別にメモを取るなどして保管してくださるようお願いします。万が一、登録された情報内容が消失してしまうことがあっても、当社としては責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。
- 大切なデータはmicroSDメモリーカードに保存することをおすすめします。また、パソコンをお持ちの場合は、ドコモケータイdatalinkを利用して電話帳やメール、予定表などの情報をパソコンに転送・保管できます。
- お客様はSSLをご自身の判断と責任においてご利用することを承諾するものとします。
  お客様によるSSLのご利用にあたり、ドコモおよび別掲の認証会社はお客様に対しSSLの安全性などに関し何ら保証を行うものではなく、万が一何らかの損害が発生したとしても一切責任を負いませんので、あらかじめご了承ください。
  認証会社：日本ベリサイン株式会社、サイバートラスト株式会社、グローバルサイン株式会社
  　　　　　RSAセキュリティ株式会社、セコムトラストシステムズ株式会社
- このFOMA端末は、FOMAプラスエリアおよびFOMAハイスピードエリアに対応しております。
- このFOMA端末は、ドコモの提供するFOMAネットワークおよびドコモのローミングサービスエリア以外ではご使用になれません。
- FOMA F884iは、バイリンガル機能には対応しておりません。

はじめてFOMA端末をお使いになる方へ

本FOMA端末が「はじめてのFOMA端末」という方は、まず、本書を以下の順序でお読みください。FOMA端末をお使いいただくための準備と基本的な操作を、ひととおりご理解いただくことができます。

本書についての最新情報は、ドコモのホームページよりダウンロードできます。
•「取扱説明書（PDFファイル）」ダウンロード
http://www.nttdocomo.co.jp/support/trouble/manual/download/index.html
※ URLおよび掲載内容については、将来予告なしに変更することがあります。

本書の見かた

ここでは、本書の構成や説明方法について紹介します。

● 本書では、(マルチカーソルボタン(十字ボタン))を押して機能や項目を選ぶ操作を「選択」と表記しています。
● 文字の入力方法は主にインライン入力(入力欄に文字を直接入力する方法)で説明しています。→p.406

本書の引きかたについて

知りたい機能をすぐに探すことができるように、本書は次の検索方法を用意しています。

かんたん検索から ▶ p.4

よく使う機能や知っていると便利な機能を、わかりやすい言葉で探します。

メニュー一覧から ▶ p.444

F884i画面に表示されるメニューから探します。

表紙インデックスから ▶ 表紙

表紙右端のインデックスを使って、本書をめくりながら探します。

p.2～3で例をあげて説明しています。

目次から ▶ p.6

目的別に章で分類された目次から探します。

主な機能から ▶ p.8

F884iの特徴的な機能や便利な機能から探します。

索引から ▶ p.524

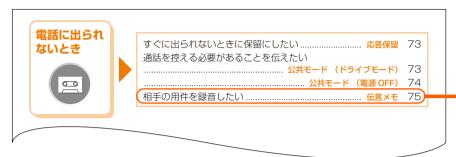
機能名や知りたい項目のキーワード、サービス名で探します。

クイックマニュアルを利用する ▶ p.530

本書から切り取って外出時などに利用できる簡易なマニュアルです。

● この『FOMA F884i 取扱説明書』の本文中においては、「FOMA F884i」を「FOMA端末」と表記させていただいております。あらかじめご了承ください。
● 本書で掲載している画面やイラストはイメージです。実際の製品とは異なる場合があります。
● 本書では、画面を見やすくするために待受画面の設定を「表示なし」にした状態で記載しています。
● 本書ではメニュー項目を「リスト形式」にしている場合で説明しています。「タイル形式」に設定したときは、メニュー項目名が本書での記載と異なるものがありますが、操作するダイヤルボタンは同じです。
● 操作の途中や終了後、待受画面に戻るにはを押します。

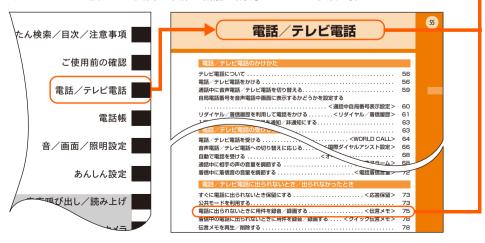
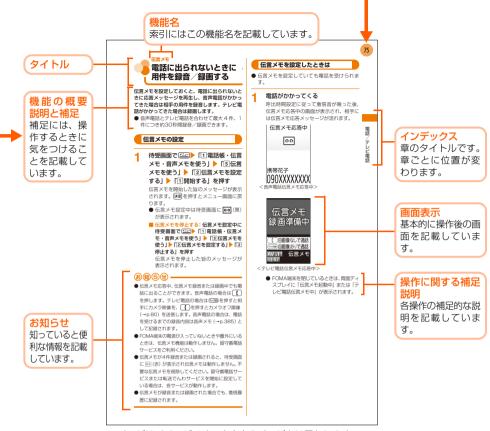
かんたん検索から探すとき

よく使う機能や知っていると便利な機能が、わかりやすい言葉で目的別に分類されています。

メニュー一覧から探すとき

FOMA端末の画面に表示されるメニューから探すことができます。

メニュー	お買い上げ時	参照先
1 電話帳・伝言メモ・音声メモを使う		
1 電話してきた相手を見る	－	p.61
2 電話をかけた相手を見る	－	p.61
3 電話帳の内容を見る	50音順検索	p.93 p.96
4 電話帳に登録する	－	p.87
5 伝言メモを使う		
1 伝言メモを再生する	－	p.78
2 伝言メモを設定する	停止する	p.75
3 伝言メモの応答メッセージを選ぶ	標準	p.77
6 通話音声メモを再生する	－	p.386

表紙インデックスから探すとき

インデックスを頼りに、表紙→章扉→機能の説明ページという順で探すことができます。

※ ページはイメージです。本文中のページとは異なります。

基本的な操作手順とボタンの表記

● 本書の操作の説明では、ボタンを押す動作をイラストで表現している箇所があります。なお、ダイヤルボタンのイラストは次のように省略して表記しています。

実際のダイヤルボタン	本書での表記
1あ .,/@	1あ

本書で使用しているボタンのイラスト→p.22「各部の名称と機能」

代表的な操作の方法をショートカット操作（→p.33）で説明しています。また、操作手順の一部を簡略化して表記しています。

1 待受画面で［メニュー］▶「#詳細な機能・設定」▶「3電話・電話帳の詳細を設定する」▶「5発番号なしの着信動作を選ぶ」を押す

- 待受画面で［メニュー］（メニューボタン）を押してメニュー画面を表示させます。
- ［#マナー］（#に対応するダイヤルボタン）を押します。
- ［3さ］（3に対応するダイヤルボタン）を押します。
- ［5な］（5に対応するダイヤルボタン）を押します。

かんたん検索

よく使う機能や知っていると便利な機能を、わかりやすい言葉から調べたいときにご活用ください。

通話に便利な機能

電話に出られないとき

音・振動を変える

画面表示を変える

メールを使う

カメラを使う

安心して使うために

音声呼び出し・読み上げ

ワンセグを使いこなしたい

その他の機能

※1 有料サービスです。
※2 お申し込みが必要な有料サービスです。

● その他の機能の検索方法については、「本書の見かた」を参照してください。→p.1
● よく使う機能などの操作手順をクイックマニュアルとして案内しています。→p.530

目次
CONTENTS

FOMA F884iの主な機能

FOMAは、第三世代移動通信システム（IMT-2000）の世界標準規格の1つとして認定されたW-CDMA方式をベースとしたドコモのサービス名称です。

F884iの主な特徴

iモードメール、かんたんデコメール®

→p.223、p.225

テキスト本文に加えて、写真や動画ファイル等を添付することができます。
また、デコメール®にも対応しているので、カラフルで楽しいメールを受け取ったり、メールを装飾して送信したりすることができます。

GPS機能

→p.300

GPS衛星から発信される電波を利用して、FOMA端末の位置情報を取得します。その情報を利用して、今いる場所の地図や周辺情報を探したり、現在地をメール添付して通知したりできます。また、通話中の相手に位置情報を音声やメールで知らせたり、目的地までのルートを調べることができます。

音声入力メール※

→p.414

ボタン操作が苦手な方でも、簡単に音声で文字を入力し、メールを作成できるサービスです。
文章に変換後は、手入力で修正したり、絵文字を追加したりできます。
※ お申し込みが必要な有料サービスです。

国際ローミング

→p.430

日本国内でお使いのFOMA端末、電話番号、メールアドレスが海外でもそのまま使えます。音声電話、テレビ電話、iモード、iモードメール、SMS、ネットワークサービスを利用できます。

ワンセグ

→p.316

移動体向け地上デジタルテレビ放送（ワンセグ）を受信できます。また、テレビ放送事業者（放送局）などとの双方向の情報のやりとりにより、クイズ番組への参加やテレビショッピングなどが楽しめます。
大きな文字での字幕表示、視聴予約、ビデオの録画や録画予約などができます。

おサイフケータイ／トルカ

→p.277、p.288、p.290

おサイフケータイとは、現金やクレジットカードを使わずに、携帯電話でお買い物などの支払いができる機能です。お店などの読み取り機にかざすだけで支払いができるほか、ポイントカードやクーポン券としても使用できます。お買い上げ時、本機にはドコモのクレジットサービス「DCMX」と、プリペイドカードとして使えるEdyのおサイフケータイ対応iアプリが用意されています。他にも電車の乗車券・定期券や飛行機のチケットとして使えるおサイフケータイ対応iアプリなど、必要に応じて追加できます。
また、機種変更などのFOMA端末お取り替え時でもICカード内データを簡単に移行できる「ICお引っこしサービス」にも対応しています。
トルカは読み取り機やサイトなどから取得が可能な電子カードで、メールや赤外線通信を使って簡単に交換できます。

F884iならではの便利な機能

音声読み上げ

→p.148

表示中の操作の説明、受信メールやサイトの内容を読み上げます。
FOMA端末を折り畳んでいるときに右側面の[音声ボタン]を1秒以上押せば、時刻を声でお知らせします。読み上げの声質や速さを変更して、聞き取りやすい読み上げ動作を設定することができます。

音声認識

→p.145、p.147

名前や単語を音声登録して、電話帳や各機能を簡単に呼び出すことができます。

ワンタッチダイヤル

→p.107

マルチカーソルボタン（十字ボタン）の上の数字ボタン（ワンタッチダイヤルボタン）を押すだけで、登録した相手に、簡単に電話をかけたりメールを作成したりすることができます。登録相手専用の着信音や着信画像を設定することも可能です。

簡単メールと音声メール

→p.214、p.226

画面の表示に従って操作すると、手軽にメールを作成できます。写真やビデオの添付も簡単です。さらに、伝えたいことをその場で録音し、メールに添付して送信することもできます。

多彩なあんしん設定

おまかせロック※ →p.130

おまかせロックは、ご契約者本人からのお申し出によりFOMA端末にロックをかけるサービスです。ご契約者本人とFOMA端末を所持しているお客様が異なる場合でも、ご契約者本人からのお申し出がある場合は、おまかせロックがかかりますのでご了承ください。

※ 有料サービスです。ただし、ご利用の一時中断と同時、もしくは一時中断中に申し込まれた場合は無料になります。おまかせロック中でも位置提供機能の設定が「受信する」の場合は、GPS機能の位置提供要求に対応します。ご利用にあたっての注意事項およびご利用方法の詳細については『ご利用ガイドブック（iモード〈FOMA〉編）』をご覧ください。

電話帳お預かりサービス※ →p.141

電話帳を自動更新でバックアップできるサービスです。FOMA端末に保存している電話帳・画像・メールをお預かりセンターに保存し、紛失時などに保存データを復元することができます。また、メールアドレスを変更した場合に一斉通知することもできます。パソコン（My DoCoMo）があれば、さらに便利にご利用いただけます。

※ お申し込みが必要な有料サービスです。ご利用にあたっての注意事項およびご利用方法の詳細については『ご利用ガイドブック（iモード〈FOMA〉編）』をご覧ください。

その他の役立つ機能

スイング表示（ヨコモーション） →p.24

ディスプレイを左右に90度回転させて、横画面でのワンセグ視聴、静止画・動画の撮影や再生ができます。また、一部の機能は、横画面いっぱいに表示させることができます。

バーコードリーダーと拡大鏡 →p.172

カメラの接写機能を利用して、FOMA端末をバーコードリーダーまたは拡大鏡として利用することができます。
バーコードリーダーを使って、情報を取得することができます。

ゆっくりボイスとはっきりボイス →p.59

相手の声のスピードを調節する「ゆっくりボイス」と、騒音の中でも相手の声を明瞭にし、音量調節をする「はっきりボイス」。音声電話の際に相手の声を聞き取りやすくする2つの機能を備えています。

テレビ電話 →p.56

テレビ電話に対応したFOMA端末どうしで、画面に映し出される相手の顔を見ながら通話できます。スピーカーホン機能を利用すると、FOMA端末を置いたままでもお話しすることができます。

赤外線通信とiC通信 →p.368

赤外線通信では、赤外線通信機能が搭載された他のFOMA端末や携帯電話、パソコンなどとデータの送受信ができます。また、iC通信では、送信側のFOMA端末と受信側のFOMA端末のFeliCaマークを重ね合わせて、データの送受信ができます。

ワンタッチブザー →p.389

緊急時にボタンを押して大音量のブザーを鳴らし、自分の居場所を周囲に知らせることができます。また、ワンタッチブザーを鳴らしたとき、自動的に音声電話を発信したり、GPS機能を利用して居場所を知らせたりすることができます。

「microSDメモリーカード」対応 →p.365、p.484

FOMA端末内の画像、メロディ、電話帳、メールなどのデータをバックアップできます。
外部機器で作成した動画をmicroSDメモリーカードに保存することで、FOMA端末で再生できます（一部条件下では再生できない場合があります）。

歩数計 →p.394

FOMA端末を歩数計として利用し、歩いた距離、消費したカロリーなどを算出することができます。また、歩数計の情報を、毎日同じ時間、同じ宛先に自動的に送ることができます（歩数計自動送信メール）。

豊富なネットワークサービス

- 留守番電話サービス（有料）※1 →p.418
- キャッチホン（有料）※1 →p.419
- 転送でんわサービス※1 →p.419
- 迷惑電話ストップサービス※2 →p.420
- SMS※2 →p.251
- デュアルネットワークサービス（有料）※1 →p.421

※1 お申し込みが必要です。　※2 お申し込みは不要です。

安全上のご注意（必ずお守りください）

●ご使用の前に、この「安全上のご注意」をよくお読みのうえ、正しくお使いください。また、お読みになった後は、大切に保管してください。
●ここに示した注意事項は、お使いになる人や、他の人への危害、財産への損害を未然に防ぐための内容を記載していますので、必ずお守りください。

■ 次の表示の区分は、表示内容を守らず、誤った使用をした場合に生じる危害や損害の程度を説明しています。

表示	内容
⚠危険	この表示は、取り扱いを誤った場合、「死亡または重傷を負う危険が切迫して生じることが想定される」内容です。
⚠警告	この表示は、取り扱いを誤った場合、「死亡または重傷を負う可能性が想定される」内容です。
⚠注意	この表示は、取り扱いを誤った場合、「傷害を負う可能性が想定される場合および物的損害のみの発生が想定される」内容です。

■ 次の絵表示の区分は、お守りいただく内容を説明しています。

絵表示	内容
禁止	禁止（してはいけないこと）を示します。
分解禁止	分解してはいけないことを示す記号です。
濡れ手禁止	濡れた手で扱ってはいけないことを示す記号です。
水濡れ禁止	水がかかる所で使用したり、水に濡らしたりしてはいけないことを示す記号です。

絵表示	内容
指示	指示に基づく行為の強制（必ず実行していただくこと）を示します。
電源プラグを抜く	電源プラグをコンセントから抜いていただくことを示す記号です。

■「安全上のご注意」は次の6項目に分けて説明しています。

FOMA端末、電池パック、アダプタ（充電器含む）、FOMAカードの取り扱いについて（共通）

⚠危険

禁止

火のそば、直射日光の当たる場所、炎天下の車内などの高温の場所で使用、保管、放置しないでください。
機器の変形、故障や、電池パックの漏液、発熱、破裂、発火、性能や寿命の低下の原因となります。また、ケースの一部が熱くなり、やけどの原因となることがあります。

分解禁止

分解、改造をしないでください。また、ハンダ付けしないでください。
火災、けが、感電などの事故または故障の原因となります。また、電池パックを漏液、発熱、破裂、発火させる原因となります。

水濡れ禁止

濡らさないでください。
水やペットの尿などの液体が入ると、発熱、感電、火災、故障、けがなどの原因となります。使用場所、取り扱いにご注意ください。

指示

FOMA端末に使用する電池パックおよびアダプタ（充電器含む）は、ドコモグループ各社が指定したものを使用してください。
指定品以外のものを使用した場合は、FOMA端末および電池パックやその他の機器を漏液、発熱、破裂、発火、故障させる原因となります。
電池パック　F11
卓上ホルダ　F25
FOMA ACアダプタ 01／02
FOMA DCアダプタ 01／02
FOMA 乾電池アダプタ 01
FOMA 充電機能付USB接続ケーブル 01／02
FOMA 海外兼用ACアダプタ 01
FOMA 補助充電アダプタ 01
※ その他、互換性のある商品についてはドコモショップなど窓口までお問い合わせください。

警告

禁止

電子レンジなどの加熱調理機器や高圧容器に、電池パック、FOMA端末やアダプタ（充電器含む）、FOMAカードを入れないでください。
電池パックを漏液、発熱、破裂、発火させたり、FOMA端末、アダプタ（充電器含む）の発熱、発煙、発火や回路部品を破壊させる原因となります。

禁止

強い衝撃を与えたり、投げ付けたりしないでください。
電池パックの漏液、発熱、破裂、発火や機器の故障、火災の原因となります。

禁止

充電端子や外部接続端子に導電性異物（金属片、鉛筆の芯など）が触れないようにしてください。また、内部に入れないようにしてください。
ショートによる火災や故障の原因となります。

指示

ガソリンスタンドなど引火性ガスが発生する場所に立ち入る場合は必ず事前に携帯電話の電源をお切りください。また充電もしないでください。ガスに引火する恐れがあります。
ガソリンスタンド構内などでおサイフケータイをご利用になる際は必ず事前に電源を切った状態で使用してください。
（ICカードロックを設定されている場合にはロックを解除した上で電源をお切りください）

指示

使用中、充電中、保管時に、異臭、発熱、変色、変形など、いままでと異なるときは、直ちに次の作業を行ってください。
1. **電源プラグをコンセントやシガーライタソケットから抜く。**
2. **FOMA端末の電源を切る。**
3. **電池パックをFOMA端末から取り外す。**

そのまま使用すると発熱、破裂、発火または電池パックの漏液の原因となります。

注意

禁止

ぐらついた台の上や傾いた場所など、不安定な場所には置かないでください。
落下して、けがや故障の原因となります。

禁止

湿気やほこりの多い場所や高温になる場所には、保管しないでください。
故障の原因となります。

指示

子供が使用する場合は、保護者が取り扱いの内容を教えてください。また、使用中においても、指示どおりに使用しているかをご注意ください。
けがなどの原因となります。

指示

乳幼児の手の届かない場所に保管してください。
誤って飲み込んだり、けがなどの原因となったりします。

指示

FOMA端末をアダプタ（充電器含む）に接続した状態で長時間連続使用される場合には特にご注意ください。
充電しながらｉアプリやテレビ電話、ワンセグ視聴などを長時間行うとFOMA端末や電池パック・アダプタ（充電器含む）の温度が高くなることがあります。
温度の高い部分に直接長時間触れるとお客様の体質や体調によっては肌に赤みやかゆみ、かぶれなどが生じたり、低温やけどの原因となる恐れがあります。

FOMA端末の取り扱いについて

警告

禁止

赤外線ポートを目に向けて送信しないでください。
目に影響を与える可能性があります。また、他の赤外線装置に向けて送信すると誤動作するなどの影響を与える場合があります。

禁止

エアバックの近くのダッシュボードなど、エアバックの展開による影響が予想される場所にFOMA端末を置かないでください。
エアバックが展開した場合、FOMA端末が本人や他の人などに当たり、けがなどの事故や故障および破損の原因となります。

禁止

医用電気機器などを装着している場合は、胸ポケットや内ポケットへの装着はおやめください。
FOMA端末を医用電気機器などの近くで使用すると、医用電気機器などの故障の原因となる恐れがあります。

禁止

FOMA端末内のFOMAカードやmicroSDメモリーカードスロットに水などの液体や金属片、燃えやすいものなどの異物を入れないでください。
火災、感電、故障の原因となります。

禁止

自動車などの運転者に向けてライトを点灯しないでください。
運転の妨げとなり、事故の原因となります。

指示

航空機内や病院など、使用を禁止された区域では、FOMA端末の電源を切ってください。

電子機器や医用電気機器に影響を与える場合があります。
また、自動的に電源が入る機能を設定している場合は、設定を解除してから電源を切ってください。
医療機関内における使用については各医療機関の指示に従ってください。
また、航空機内での使用などの禁止行為をした場合、法令により罰せられることがあります。

指示

ハンズフリーに設定して通話する際は、必ずFOMA端末を耳から離してください。
また、イヤホンマイクをFOMA端末に装着し、ゲームや音楽再生をする場合は、適度なボリュームに調節してください。

音量が大きすぎると難聴の原因となります。
また、周囲の音が聞こえにくいと、事故の原因となります。

指示

心臓の弱い方は、着信バイブレータ（振動）や着信音量の設定に注意してください。

心臓に影響を与える可能性があります。

指示

屋外で使用中に、雷が鳴り出したら、アンテナを収納し、すぐに電源を切って安全な場所に移動してください。

落雷、感電の原因となります。

指示

高精度な制御や微弱な信号を取り扱う電子機器の近くでは、FOMA端末の電源を切ってください。

電子機器が誤動作するなどの影響を与える場合があります。

※ ご注意いただきたい電子機器の例
補聴器、植込み型心臓ペースメーカおよび植込み型除細動器、その他の医用電気機器、火災報知器、自動ドア、その他の自動制御機器など。
植込み型心臓ペースメーカおよび植込み型除細動器、その他の医用電気機器をご使用される方は、当該の各医用電気機器メーカもしくは販売業者に電波による影響についてご確認ください。

指示

万が一、ディスプレイ部やカメラのレンズを破損した際には、割れたガラスや露出したFOMA端末の内部にご注意ください。

ディスプレイ部やカメラのレンズの表面には、プラスチックパネルを使用しガラスが飛散りにくい構造となっておりますが、誤って割れた破損部や露出部に触れますと、けがの原因となります。

指示

ワンタッチブザーを鳴らす場合は、必ずFOMA端末を耳から離してください。

難聴になる可能性があります。

⚠注意

禁止

アンテナ、ストラップなどを持ってFOMA端末を振り回さないでください。

本人や他の人などに当たり、けがなどの事故や故障および破損の原因となります。

禁止

人の多い場所では、使用しないでください。

アンテナが他の人に当たり、けがなどの事故の原因となります。

禁止

アンテナが破損したまま使用しないでください。

肌に触れるとやけどや、けがなどの事故の原因となります。

禁止

磁気カードなどをFOMA端末に近づけたり、挟んだりしないでください。

キャッシュカード、クレジットカード、テレホンカード、フロッピーディスクなどの磁気データが消えてしまうことがあります。

禁止

FOMA端末に磁気を帯びたものを近づけないでください。

強い磁気を近づけると誤作動を引き起こす可能性があります。

禁止

誤ってディスプレイを破損し、液晶が漏れた場合には、液体を口にしたり、吸い込んだり、皮膚につけたりしないでください。
液晶が目や口に入った場合には、すぐにきれいな水で洗い流し、直ちに医師の診断を受けてください。
また、皮膚や衣類に付着した場合は、すぐにアルコールなどで拭き取り、石鹸で水洗いしてください。

失明や皮膚に傷害を起こす原因となります。

禁止

着信音が鳴っているときや、FOMA端末でメロディを再生しているときなどは、スピーカーに耳を近づけないでください。

難聴になる可能性があります。

指示

自動車内で使用した場合、車種によっては、まれに車載電子機器に影響を与える場合があります。

安全走行を損なう恐れがありますので、その場合は使用しないでください。

指示

お客様の体質や体調によっては、かゆみ、かぶれ、湿疹などが生じることがあります。異状が生じた場合は、直ちに使用をやめ、医師の診療を受けてください。

下記の箇所に金属を使用しています。

<table>
<tr><th colspan="2">使用箇所</th><th>材　質</th><th>表面処理</th></tr>
<tr><td colspan="2">背面部の機種名パネル</td><td>アルミニウム</td><td>塗装</td></tr>
<tr><td rowspan="3">ワンセグアンテナの金属部分</td><td>先端、中央部、ヒンジ下部</td><td>真鍮</td><td>Niメッキ</td></tr>
<tr><td>収縮長軸</td><td>ステンレス</td><td>なし</td></tr>
<tr><td>ヒンジ上部</td><td>ステンレス</td><td>Niメッキ、NiPdメッキ</td></tr>
<tr><td colspan="2">充電端子</td><td>銅</td><td>金メッキ</td></tr>
</table>

指示

FOMA端末を開閉する際は、指やストラップなどを挟まないようご注意ください。

けがなどの事故や破損の原因となります。

指示

ワンセグを視聴するときは、十分明るい場所で、画面からある程度の距離を空けてご使用ください。

視力低下につながる可能性があります。

電池パックの取り扱いについて

■ 電池パックのラベルに記載されている表示により、電池の種類をご確認ください。

表　示	電池の種類
Li-ion	リチウムイオン電池

危険

禁止

端子に針金などの金属類を接触させないでください。また、金属製ネックレスなどと一緒に持ち運んだり、保管したりしないでください。

電池パックを漏液、発熱、破裂、発火させる原因となります。

禁止

電池パックをFOMA端末に取り付けるときに、うまく取り付けできない場合は、無理に取り付けないでください。また、電池パックの向きを確かめてから取り付けてください。

電池パックを漏液、発熱、破裂、発火させる原因となります。

禁止

火の中に投下しないでください。

電池パックを漏液、発熱、破裂、発火させる原因となります。

禁止

釘を刺したり、ハンマーで叩いたり、踏みつけたりしないでください。

電池パックを漏液、発熱、破裂、発火させる原因となります。

指示

電池パック内部の液体が目の中に入ったときは、こすらず、すぐにきれいな水で洗った後、直ちに医師の診療を受けてください。

失明の原因となります。

禁止

落下による変形や傷など外部からの衝撃により電池パックに異常が見られた場合は、直ちに使用をやめてください。

電池パックの漏液、発熱、破裂、発火や機器の故障、火災の原因となります。

指示

所定の充電時間を超えても充電が完了しない場合は、充電をやめてください。

電池パックを漏液、発熱、破裂、発火させる原因となります。

指示

電池パックが漏液したり、異臭がするときは、直ちに使用をやめて火気から遠ざけてください。

漏液した液体に引火し、発火、破裂の原因となります。

指示

ペットが電池パックに噛みつかないようご注意ください。

電池パックの漏液、発熱、破裂、発火や機器の故障、火災の原因となります。

禁止

一般のゴミと一緒に捨てないでください。

発火、環境破壊の原因となります。不要となった電池パックは、端子にテープなどを貼り、絶縁してからドコモショップなど窓口にお持ちいただくか、回収を行っている市町村の指示に従ってください。

禁止

濡れた電池パックを充電しないでください。

電池パックを発熱、発火、破裂させる原因となります。

指示

電池パック内部の液体が皮膚や衣服に付着した場合は、直ちに使用をやめてきれいな水で十分に洗い流してください。

皮膚に傷害を起こす原因となります。

オプション品（ACアダプタ、DCアダプタ、卓上ホルダ、車内ホルダ）の取り扱いについて

警告

アダプタ（充電器含む）のコードや電源コードが傷んだら使用しないでください。
感電、発熱、火災の原因となります。

ACアダプタや卓上ホルダ（電池パック充電器）は、風呂場などの湿気の多い場所では使用しないでください。
感電の原因となります。

DCアダプタはマイナスアース車専用です。プラスアース車には使用しないでください。
火災の原因となります。

雷が鳴り出したら、FOMA端末、アダプタ（充電器含む）には触れないでください。
落雷、感電の原因となります。

コンセントやシガーライタソケットにつながれた状態で充電端子をショートさせないでください。
また、充電端子に手や指など、身体の一部を触れさせないでください。
火災、故障、感電、傷害の原因となります。

充電中は、充電器および卓上ホルダを安定した場所に置いてください。また、充電器および卓上ホルダを布や布団でおおったり、包んだりしないでください。
FOMA端末が外れたり、熱がこもり、火災、故障の原因となります。

アダプタ（充電器含む）のコードや電源コードの上に重いものをのせたりしないでください。
感電、火災の原因となります。

濡れた手でアダプタ（充電器含む）のコード、コンセントに触れないでください。
感電の原因となります。

指定の電源、電圧で使用してください。
誤った電圧で使用すると火災や故障の原因となります。海外で使用する場合は、海外で利用可能なACアダプタを使用してください。
ACアダプタ：AC100V
DCアダプタ：
　DC12V・24V（マイナスアース車専用）
海外で利用可能なACアダプタ：
　AC100V～240V（家庭用交流コンセントのみに接続すること）

DCアダプタのヒューズが万が一切れた場合は、必ず指定のヒューズを使用してください。
指定外のヒューズを使用すると、火災、故障の原因となります。指定ヒューズに関しては、個別の取扱説明書でご確認ください。

電源プラグについたほこりは、拭き取ってください。
火災の原因となります。

ACアダプタをコンセントに差し込むときは、金属製ストラップなどの金属類を触れさせないように注意し、確実に差し込んでください。
感電、ショート、火災の原因となります。

アダプタ（充電器含む）をコンセントやシガーライタソケットから抜く場合は、アダプタ（充電器含む）のコードや電源コードを無理に引っ張らず、電源プラグを持って抜いてください。
コードを引っ張るとコードが傷つき、感電、火災の原因となります。

長時間使用しない場合は、電源プラグをコンセントから抜いてください。
感電、火災、故障の原因となります。

万が一、水などの液体が入った場合は、直ちにコンセントやシガーライタソケットから電源プラグを抜いてください。
感電、発煙、火災の原因となります。

お手入れの際は、電源プラグをコンセントやシガーライタソケットから抜いて行ってください。
感電の原因となります。

FOMAカードの取り扱いについて

 注意

FOMAカード（IC部分）を取り外す際は切断面にご注意ください。

手や指を傷つける可能性があります。

医用電気機器近くでの取り扱いについて

■ **本記載の内容は「医用電気機器への電波の影響を防止するための携帯電話端末等の使用に関する指針」（電波環境協議会）に準ずる。**

 警告

医療機関の屋内では次のことを守って使用してください。

- 手術室、集中治療室（ICU）、冠状動脈疾患監視病室（CCU）にはFOMA端末を持ち込まないでください。
- 病棟内では、FOMA 端末の電源を切ってください。
- ロビーなどであっても付近に医用電気機器がある場合は、FOMA端末の電源を切ってください。
- 医療機関が個々に使用禁止、持ち込み禁止などの場所を定めている場合は、その医療機関の指示に従ってください。
- 自動的に電源が入る機能が設定されている場合は、設定を解除してから電源を切ってください。

満員電車の中など混雑した場所では、付近に植込み型心臓ペースメーカおよび植込み型除細動器を装着している方がいる可能性がありますので、FOMA端末の電源を切るようにしてください。

電波により植込み型心臓ペースメーカおよび植込み型除細動器の作動に影響を与える場合があります。

植込み型心臓ペースメーカおよび植込み型除細動器を装着されている場合は、装着部からFOMA端末は22cm以上離して携行および使用してください。

電波により植込み型心臓ペースメーカおよび植込み型除細動器の作動に影響を与える場合があります。

自宅療養などにより医療機関の外で、植込み型心臓ペースメーカおよび植込み型除細動器以外の医用電気機器を使用される場合には、電波による影響について個別に医用電気機器メーカなどにご確認ください。

電波により医用電気機器の作動に影響を与える場合があります。

取り扱い上の注意について

共通のお願い

●水をかけないでください。
- FOMA端末、電池パック、アダプタ（充電器含む）、FOMAカードは防水仕様にはなっておりません。風呂場など、湿気の多い場所でのご使用や、雨などがかかることはおやめください。また身に付けている場合、汗による湿気により内部が腐食し、故障の原因となります。
  調査の結果、これらの水濡れによる故障と判明した場合、保証対象外となり修理できないことがありますので、あらかじめご了承願います。なお、保証対象外ですので修理を実施できる場合でも有料修理となります。

●お手入れは乾いた柔らかい布（めがね拭きなど）で拭いてください。
- FOMA端末のディスプレイは、カラー液晶画面を見やすくするため、特殊コーティングを施してある場合があります。お手入れの際に、乾いた布などで強く擦ると、ディスプレイに傷がつく場合があります。取り扱いには十分ご注意いただき、お手入れは乾いた柔らかい布(めがね拭きなど)で拭いてください。また、ディスプレイに水滴や汚れなどが付着したまま放置すると、シミになったり、コーティングがはがれたりすることがあります。
- アルコール、シンナー、ベンジン、洗剤などで拭くと、印刷が消えたり、色があせたりすることがあります。

●端子は時々乾いた綿棒で清掃してください。
- 端子が汚れていると接触が悪くなり、電源が切れることがあります。また、充電不十分の原因となりますので、汚れたときは、端子を乾いた布、綿棒などで拭いてください。

●エアコンの吹き出し口の近くに置かないでください。
- 急激な温度の変化により結露し、内部が腐食し故障の原因となります。

●FOMA端末や電池パックなどに無理な力がかからないように使用してください。
- 多くの物がつまった荷物の中に入れたり、衣類のポケットに入れて座ったりすると、ディスプレイ、内部基板、電池パックなどの破損、故障の原因となります。
  また、外部接続機器を外部接続端子やイヤホンマイク端子に差した状態の場合、コネクタ破損、故障の原因となります。

●FOMA端末、アダプタ（充電器含む）、卓上ホルダに添付されている個別の取扱説明書をよくお読みください。

●ディスプレイは金属などで擦ったり引っかいたりしないでください。
- 傷つくことがあり、故障、破損の原因となります。

FOMA端末についてのお願い

●極端な高温、低温は避けてください。
- 温度は5℃～35℃、湿度は45%～85%の範囲でご使用ください。

●一般の電話機やテレビ、ラジオなどをお使いになっている近くで使用すると、影響を与える場合がありますので、なるべく離れた場所でご使用ください。

●お客様ご自身でFOMA端末に登録された情報内容は、別にメモを取るなどして保管してくださるようお願いします。
- 万が一、登録された情報内容が消失してしまうことがあっても、当社としては責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。

●外部接続端子やイヤホンマイク端子に外部接続機器を接続する際に斜めに差したり、差した状態で引っ張ったりしないでください。
- 故障、破損の原因となります。

●ストラップなどを挟んだまま、FOMA端末を折り畳まないでください。
- 故障、破損の原因となります。

●使用中、充電中、FOMA端末は温かくなりますが、異常ではありません。そのままご使用ください。

●カメラを直射日光の当たる場所に放置しないでください。
- 素子の退色・焼付きを起こす場合があります。

●通常はイヤホンマイク端子カバー、外部接続端子キャップ、microSDメモリーカードスロットのカバーをはめた状態でご使用ください。
- ほこり、水などが入り故障の原因となります。

●リアカバーを外したまま使用しないでください。
- 電池パックが外れたり、故障、破損の原因となったりします。

●ディスプレイやボタンのある面に、極端に厚みのあるシールなどを貼らないでください。
- 故障の原因となります。

●FOMA端末を閉じた状態でディスプレイを回転させないでください。
- ディスプレイやボタン周辺に傷がつく恐れがあり、故障、破損の原因となることがあります。

●microSDメモリーカードの使用中は、microSDメモリーカードを取り外したり、FOMA端末の電源を切ったりしないでください。
- データの消失、故障の原因となります。

電池パックについてのお願い

●電池パックは消耗品です。
- 使用状態などによって異なりますが、十分に充電しても使用時間が極端に短くなったときは電池パックの交換時期です。指定の新しい電池パックをお買い求めください。

●充電は、適正な周囲温度（5℃～35℃）の場所で行ってください。

●初めてお使いのときや、長時間ご使用にならなかったときは、ご使用前に必ず充電してください。

●電池パックの使用時間は、使用環境や電池パックの劣化度により異なります。

●電池パックの使用条件により、寿命が近づくにつれて電池パックが膨れる場合がありますが問題ありません。
●電池パックは、電池残量なしの状態で保管、放置をしないでください。
・電池パックの性能や寿命を低下させる原因となります。

アダプタ（充電器含む）についてのお願い

●充電は、適正な周囲温度（5℃～35℃）の場所で行ってください。
●次のような場所では、充電しないでください。
・湿気、ほこり、振動の多い場所
・一般の電話機やテレビ・ラジオなどの近く
●充電中、アダプタ（充電器含む）が温かくなることがありますが、異常ではありません。そのままご使用ください。
●DCアダプタを使用して充電する場合は、自動車のエンジンを切ったまま使用しないでください。
・自動車のバッテリーを消耗させる原因となります。
●抜け防止機構のあるコンセントをご使用の場合、そのコンセントの取扱説明書に従ってください。
●強い衝撃を与えないでください。また、充電端子を変形させないでください。
・故障の原因となります。

FOMAカードについてのお願い

●FOMAカードの取り付け／取り外しには、必要以上に力を入れないようにしてください。
●使用中、FOMAカードが温かくなることがありますが、異常ではありません。そのままご使用ください。
●他のICカードリーダー／ライターなどにFOMAカードを挿入して使用した結果として故障した場合は、お客様の責任となりますので、ご注意ください。
●IC部分はいつもきれいな状態でご使用ください。
●お手入れは、乾いた柔らかい布（めがね拭きなど）で拭いてください。
●お客様ご自身でFOMAカードに登録された情報内容は、別にメモを取るなどして保管してくださるようお願いします。
・万が一、登録された情報内容が消失してしまうことがあっても、当社としては責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。
●環境保全のため、不要になったFOMAカードはドコモショップなど窓口にお持ちください。
●極端な高温・低温は避けてください。
●ICを傷つけたり、不用意に触れたり、ショートさせたりしないでください。
・データの消失、故障の原因となります。
●FOMAカードを落としたり、衝撃を与えたりしないでください。
・故障の原因となります。
●FOMAカードを曲げたり、重いものをのせたりしないでください。
・故障の原因となります。
●FOMAカードにラベルやシールなどを貼った状態で、FOMA端末に取り付けないでください。
・故障の原因となります。

FeliCaリーダー／ライターについて

●FOMA端末のFeliCaリーダー／ライター機能は、無線局の免許を要しない微弱電波を使用しています。
●使用周波数は13.56MHz帯です。周囲に他のリーダー／ライターをご使用の場合、十分に離してお使いください。また、他の同一周波数帯を使用の無線局が近くにないことを確認してお使いください。

注意

●改造されたFOMA端末は絶対に使用しないでください。改造した機器を使用した場合は電波法に抵触します。
・FOMA端末は、電波法に基づく特定無線設備の技術基準適合証明等を受けており、その証として「技適マーク㊎」がFOMA端末の銘版シールに表示されております。
FOMA端末のネジを外して内部の改造を行った場合、技術基準適合証明等が無効となります。
技術基準適合証明等が無効となった状態で使用すると、電波法に抵触しますので、絶対に使用されないようにお願いいたします。
●自動車などを運転中の使用にはご注意ください。
・運転中は、携帯電話を保持して使用すると罰則の対象となります。やむを得ず電話を受ける場合は、ハンズフリーで「かけ直す」ことを伝え、安全な場所に停車してから発信してください。
●FeliCaリーダー／ライター機能は日本国内で使用してください。
・FOMA端末のFeliCaリーダー／ライター機能は日本国内での無線規格に準拠しています。
海外でご使用になると罰せられることがあります。

知的財産権について

著作権・肖像権について

お客様が本製品を利用して撮影またはインターネット上のホームページからのダウンロードなどにより取得した文章、画像、音楽、ソフトウェアなど第三者が著作権を有するコンテンツは、私的使用目的の複製や引用など著作権法上認められた場合を除き、著作権者に無断で複製、改変、公衆送信などはできません。
実演や興行、展示物などには、私的使用目的であっても撮影または録音を制限している場合がありますのでご注意ください。
また、お客様が本製品を利用して本人の同意なしに他人の肖像を撮影したり、撮影した他人の肖像を本人の同意なしにインターネット上のホームページに掲載するなどして不特定多数に公開することは、肖像権を侵害するおそれがありますのでお控えください。

商標について

本書に記載されている会社名や商品名は、各社の商標または登録商標です。

- 「FOMA」「mova」「ｉモーション」「ｉモード」「ｉアプリ」「ｉモーションメール」「ｉショット」「ｉメロディ」「DoPa」「mopera」「mopera U」「WORLD CALL」「WORLD WING」「着モーション」「デコメール®」「デコメ®」「Vライブ」「ｉエリア」「おサイフケータイ」「ｉアプリDX」「ｉチャネル」「デュアルネットワーク」「FirstPass」「sigmarion」「セキュリティスキャン」「musea」「公共モード」「トルカ」「メッセージF」「iD」「パケ・ホーダイ」「おまかせロック」「電話帳お預かりサービス」「DCMX」「イマドコサーチ」「イマドコかんたんサーチ」「ケータイお探しサービス」「iCお引っこしサービス」「ファミリーワイドリミット」「エリアメール」および「FOMA」ロゴ「ｉ-mode」ロゴ「ｉ-αppli」ロゴ「DCMX」ロゴ「iD」ロゴはNTTドコモの商標または登録商標です。
- Microsoft®、Windows®、Windows Vista®は、米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国における商標または登録商標です。
- JavaおよびJavaに関連するすべての商標は、米国およびその他の国において米国Sun Microsystems, Inc.の商標または登録商標です。
- 「キャッチホン」は日本電信電話株式会社の登録商標です。
- フリーダイヤルサービス名称とフリーダイヤルロゴマークはNTTコミュニケーションズ株式会社の登録商標です。
- 本製品は、株式会社ACCESSのNetFront Browser、NetFront Sync Clientを搭載しています。
  Copyright© 2008 ACCESS CO., LTD. All rights reserved.
  ACCESS、NetFrontは、日本国およびその他の国における株式会社ACCESSの商標または登録商標です。
- 本製品はAdobe Systems IncorporatedのFlash® Lite™ および Adobe® Reader®テクノロジーを搭載しています。
  Flash Lite copyright© 1995-2007 Adobe Macromedia Software LLC. All rights reserved.
  Adobe Reader copyright© 1984-2007 Adobe Systems Incorporated. All rights reserved.
  Adobe、Flash、Flash LiteおよびReaderは、Adobe Systems Incorporated（アドビシステムズ社）の米国ならびにその他の国における登録商標または商標です。

- FlashFX® Pro™はDATALIGHT, Inc.の登録商標です。
  FlashFX® Copyright 1998-2008 DATALIGHT, Inc.
  U.S.Patent Office 5,860,082/6,260,156
- QR コードは株式会社デンソーウェーブの登録商標です。
- microSDロゴは商標です。
- FeliCaは、ソニー株式会社の登録商標です。
- はフェリカネットワークス株式会社の登録商標です。
- Powered by JBlend™ Copyright 2002-2008 Aplix Corporation. All rights reserved.
  JBlendおよびJBlendに関連する商標は、日本およびその他の国における株式会社アプリックスの商標または登録商標です。
- McAfee®、マカフィー®は米国法人McAfee, Inc.またはその関係会社の米国またはその他の国における登録商標です。
- Gガイド、G-GUIDE、Gガイドモバイル、G-GUIDE MOBILE、およびGガイド関連ロゴは、米Gemstar-TV GuideInternational,Inc.およびその関係会社の日本国内における登録商標です。
- AdobeおよびReaderは、Adobe Systems Incorporated（アドビシステムズ社）の米国ならびにその他の国における登録商標または商標です。
- QuickTime は、米国および他の国々で登録された米国Apple Inc.の登録商標です。
- 本製品は、日本語変換機能として、株式会社ジャストシステムのATOK＋APOTを搭載しています。
  「ATOK」「APOT(Advanced Prediction Optimization Technology)」は株式会社ジャストシステムの登録商標です。
- 本機には、Symbian Software Ltd©1998-2008よりライセンス供与されたソフトウェアが含まれています。symbianおよびSymbian OSはSymbian Ltd.の商標です。
- その他、本取扱説明書に記載されている会社名および商品名は、各社の商標または登録商標です。

本書では各OS（日本語版）を次のように略して表記しています。

●Windows Vistaは、Windows Vista®（Home Basic、Home Premium、Business、Enterprise、Ultimate）の略です。

●Windows XPは、Microsoft® Windows® XP Professional operating systemまたはMicrosoft® Windows® XP Home Edition operating systemの略です。

●Windows 2000は、Microsoft® Windows® 2000 Professional operating systemの略です。

その他

●FeliCaは、ソニー株式会社が開発した非接触ICカードの技術方式です。

●「Edy（エディ）」は、ビットワレット株式会社が管理するプリペイド型電子マネーサービスのブランドです。

●本製品の一部にIndependent JPEG Groupが開発したモジュールが含まれています。

●本製品は、MPEG-4 Visual Patent Portfolio Licenseに基づきライセンスされており、お客様が個人的かつ非営利目的において以下に記載する場合においてのみ使用することが認められています。
- MPEG-4 Visualの規格に準拠する動画やｉモーション(以下、MPEG-4 Video)を記録する場合
- 個人的かつ営利活動に従事していない消費者によって記録されたMPEG-4 Videoを再生する場合
- MPEG-LAよりライセンスをうけた提供者により提供されたMPEG-4 Videoを再生する場合

  プロモーション、社内用、営利目的などその他の用途に使用する場合には、米国法人MPEG LA, LLCにお問い合わせください。

●下記一件または複数の米国特許またはそれに対応する他国の特許権に基づき、QUALCOMM社よりライセンスされています。
Licensed by QUALCOMM Incorporated under one or more of the following United States Patents and/or their counterparts in other nations;

4,901,307	5,504,773	5,109,390
5,535,239	5,267,262	5,600,754
5,416,797	5,490,165	5,101,501
5,511,073	5,267,261	5,568,483
5,414,796	5,659,569	5,056,109
5,506,865	5,228,054	5,544,196
5,337,338	5,657,420	5,710,784
5,778,338		

●「平安」「バロック」「マンダリン」「グラデーション」「ドミノ」「ブラインド」「ウェーブ」「ネオン」のデザインに関する著作権は株式会社日本デザインセンターが有しています。

本体付属品および主なオプション品について

■ 本体付属品

FOMA F884i
（リアカバー F28、保証書含む）

らくらくホン プレミアム
取扱説明書（本書）

※ p.530 にクイックマニュアルを記載しています。

らくらくホン プレミアム
かんたん操作ガイド

FOMA F884i用
CD-ROM

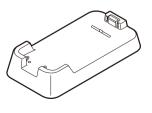
※ PDF 版「パソコン接続マニュアル」および「区点コード一覧」を収録しています。

らくらくホン プレミアム
操作ガイドDVD

電池パック F11

■ 主なオプション品

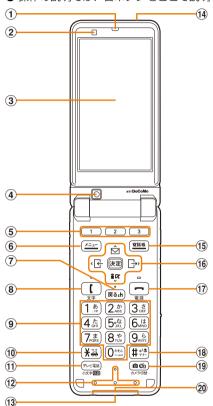
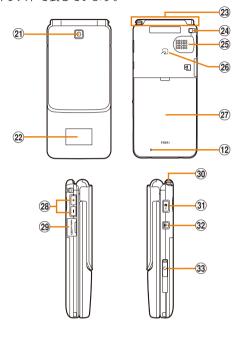
FOMA ACアダプタ 01／02
（保証書、取扱説明書付き）

卓上ホルダ F25
（取扱説明書付き）

その他のオプション品について→p.483

ご使用前の確認

各部の名称と機能

ここでは、F884iの各部の名称と、ボタンに割り当てられている主な操作の説明をします。

● 操作の説明では、各ボタンをここで説明したイラストで表しています。

① 受話口

相手の声がここから聞こえます。

② 光センサー

画面の明るさを自動調整するときに使います。

※ 光センサーをふさぐと、照明設定の自動調整が正しく行えない場合があります。

③ ディスプレイ→p.25

④ 内側カメラ

自分を撮影したり、テレビ電話で自分の映像を送信したりするときに使います。

⑤ 1 2 3 ワンタッチダイヤルボタン1／2／3

ワンタッチダイヤルを登録します。

1秒以上押すと登録した相手に電話をかけられます。

⑥ メニュー メニューボタン

メニューの表示、ガイド行の左側に表示される操作の実行に使います。

1秒以上押すとボイスメニューが使用できます。

⑦ 戻る 戻る／chボタン

ｉチャネル一覧の表示、ｉアプリ待受画面とｉアプリ起動の切り替え、文字の消去、1つ前の画面に戻るときに使います。

1秒以上押すと新着情報の表示を消去できます。

⑧ 開始／文字ボタン

音声電話をかける／受ける、スピーカーホン機能での通話切り替え、文字入力の入力モード切り替えに使います。

1秒以上押すと留守番電話の伝言メッセージが再生できます。

⑨ 0わをん～9らダイヤルボタン
電話番号や文字の入力、メニュー項目の選択に使います。
待受画面や電話番号の入力画面で0わをんを1秒以上押すと、「+」が入力されます。

⑩ ✱ ✱／公共モード（ドライブモード）ボタン
「✱」や「゛」「゜」などの入力に使います。
1秒以上押すと公共モードの設定／解除ができます。

⑪ テレビ電話テレビ電話／小文字／地図ボタン
テレビ電話をかける／受ける、大文字／小文字の切り替えに使います。
1秒以上押すと現在地確認を行います。

⑫ マイク
自分の声をここから伝えます。
※ マイクをふさぐと、相手にお客様の声が聞こえにくくなったり、音声が正常に録音されなくなったりする場合があります。
※ 背面のマイクは騒音カット用のため、お客様の声は拾いません。

⑬ 外部接続端子
FOMA ACアダプタ 01／02（別売）など、各種オプション品を接続します。→p.41

⑭ 赤外線ポート
赤外線でデータを送受信するときに使います。

⑮ 電話帳電話帳ボタン
電話帳の表示、ガイド行の右側に表示される操作の実行、スピーカーホン機能での通話切り替えに使います。
1秒以上押すとボイスダイヤルが使用できます。

⑯ マルチカーソルボタン（十字ボタン）
決定決定ボタン
選択した操作の実行、便利ツールメニューの表示に使います。お知らせ情報があるときは、お知らせの内容を表示します。
メール／上ボタン
メールメニュー画面の表示、カーソルの上方向への移動、音量の調節（大）、新着メール受信後のメールフォルダ一覧の表示に使います。
1秒以上押すとメール作成画面が表示されます。
iモード／iアプリ／下ボタン
iモードメニューの表示、カーソルの下方向への移動、音量の調節（小）に使います。
1秒以上押すとiアプリ一覧が表示されます。
着信履歴／左ボタン
着信履歴の表示、カーソルの左方向への移動、画面の切り替え、音量の調節（小）に使います。
リダイヤル／右ボタン
リダイヤルの表示、カーソルの右方向への移動、画面の切り替え、音量の調節（大）に使います。

⑰ 終了／電源ボタン
通話や操作中の機能の終了、応答保留、シークレットモードの解除に使います。
2秒以上押すと電源のON／OFFができます。

⑱ #マナー #／改行／接写切り替え／マナーモードボタン
「#」の入力や改行、写真撮影時の接写切り替えに使います。
1秒以上押すとマナーモードの設定／解除ができます。

⑲ カメラ／カメラ切替／音声入力ボタン
写真撮影画面の起動、外側カメラと内側カメラの切り替え、メール本文の音声入力に使います。
1秒以上押すとカメラメニューが表示されます。

⑳ 充電端子

㉑ 外側カメラ
撮影したり、テレビ電話で映像を送信したりするときに使います。

㉒ 背面ディスプレイ→p.28

㉓ FOMAアンテナ
FOMAアンテナは本体に内蔵されています。よりよい条件で通話をするために、アンテナ部を手で覆わないようにしてお使いください。

㉔ ストラップ取付口

㉕ スピーカー
着信音やスピーカーホン機能使用中の相手の声、音声読み上げの音声、ワンタッチブザーなどがここから聞こえます。

㉖ FeliCaマーク→p.288、p.369
ICカードが搭載されていることを示しています。
※ FeliCaマークを読み取り機にかざしておサイフケータイを利用したり、iC通信でデータを送受信したりできます。なお、ICカードは取り外せません。

㉗ リアカバー

㉘ +−音量ボタン
背面ディスプレイの照明の点灯、各種音量や撮影時の明るさの調節などに使います。

㉙ microSD（マイクロエスディー）メモリーカードスロット→p.358

㉚ ワンセグアンテナ→p.317

㉛ 音声読み上げボタン
背面ディスプレイの照明の点灯・表示の切り替え、ゆっくりボイスの設定、音声読み上げ、目覚まし音・予定の通知の音声の停止に使います。

㉜ ワンタッチブザーボタン
ワンタッチブザーを鳴らすときに使います。
→p.389

㉝ イヤホンマイク端子
平型スイッチ付イヤホンマイク（別売）などを接続します。→p.399

ヨコモーション
ディスプレイをスイングして表示する

FOMA端末を開いた状態で、ディスプレイを右または左に90度回転させて、横画面を表示します。

● ディスプレイを右に回転するとワンセグが、左に回転すると写真撮影が起動します。ただし、表示中の画面によっては、回転してもワンセグや写真撮影が起動しない場合があります。
● ワンセグやカメラなど一部の機能で横画面を利用できます。

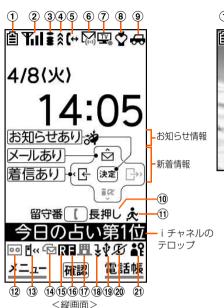
おしらせ

● FOMA 端末を閉じた状態でディスプレイを回転させないでください。ディスプレイやボタン周辺に傷がつくおそれがあります。
● 利用できない機能でスイングしたり、横画面で待受画面に戻る操作などをすると、「画面を縦に戻してください」と表示されます。

ディスプレイの見かた

ここでは、ディスプレイに表示されるマークの説明をします。

＜縦画面＞

＜横画面＞

① ：電池残量の表示→p.43

② ／ 圏外 ：受信レベルの表示→p.45

SELF：セルフモード中→p.131

：データ転送（送受信）中／ドコモケータイdatalinkの使用中→p.357、p.368、p.427

③ ：ｉモード中、接続中→p.176

：SSLページ表示中→p.178

／ ：パソコンと接続してパケット通信中／データ送受信中→p.424

④ ：赤外線通信中→p.368
赤外線リモコン使用中→p.373

：シークレットモード中→p.132

⑤ ：音声電話中→p.56

：テレビ電話中→p.56

：音声電話とテレビ電話の切り替え中→p.59

：音声電話／テレビ電話切断中→p.56

64K：64Kデータ通信中→p.424

：音声読み上げ可能／音声読み上げ中→p.148

⑥ ：未読エリアメール→p.249

※1 ：ｉモードメール、SMS、メッセージR/Fの受信完了通知→p.198、p.232、p.254

／ ：ｉアプリ／ｉアプリDX動作中→p.272

／ ：ｉアプリ／ｉアプリDX待受画面表示中→p.282

／ ：ｉアプリ／ｉアプリDX待受画面からｉアプリ起動中→p.283

3G ／ 3G ／ GPRS ／ GSM ：
利用中のネットワーク→p.432

：ワンタッチブザー有効→p.389

：ワンタッチブザー停止中→p.392

⑦ ※2、3 ：ワンセグ予約録画中／ワンセグ録画中（視聴のみ終了）→p.327、p.331
：ｉアプリ自動起動失敗→p.280
：オートスピーカーホン機能の設定中→p.71
通信中 ：ｉモード中→p.176
取得中 ：ｉモーションデータ取得中→p.206
測位中 ：GPSで測位中→p.300
漢字かな／半角カナ／英字／数字／全角かな／全角カナ：入力モードの表示→p.407

⑧ ：マナーモード中→p.117
SV ：音声電話のバイブレータと電話着信音量の消音を同時に設定中→p.114、p.115
V ：音声電話のバイブレータを設定中→p.115
S ：電話着信音量を消音に設定中→p.114
：ｉモードメール、SMSの受信中→p.232、p.254

⑨ ：公共モード（ドライブモード）中→p.73
（黒）：FOMAカードを読み込み中→p.45
R ：メッセージRの受信中→p.198
F ：メッセージFの受信中→p.198

⑩ 留守番［長押し[※4]：留守番電話サービスセンターに伝言メッセージあり→p.27、p.418
：ICカードロック中→p.296
／ ：圏内自動送信メールあり／圏内、歩数計自動送信失敗メールあり→p.219、p.397

⑪ ／ ：歩数計の使用設定中／歩数計の使用と歩数計自動送信メールを設定中→p.395、p.397

⑫ （赤）：伝言メモが満杯→p.75
：未確認の伝言メモあり→p.78
（黒）：伝言メモの設定中→p.75

⑬ ：未確認の不在着信情報あり→p.62

⑭ ※3 未読ｉモードメール、SMS状態表示→p.232、p.233、p.254、p.255
：未読 ｉ モードメール、SMS が満杯で、FOMAカードにSMSが満杯
（赤）：未読 ｉ モードメール、SMSが満杯
（赤）：FOMAカードにSMSが満杯
（黒）：未読ｉモードメール、SMSあり

⑮ R／R（黒／赤）：未読メッセージRあり／満杯→p.199、p.201

⑯ F／F（黒／赤）：未読メッセージFあり／満杯→p.199、p.201

⑰ ※3 ｉモードセンター蓄積状態表示→p.199、p.233
（赤）：ｉモードメールとメッセージR/Fが満杯、またはいずれかが満杯で未受信あり
／ ／ （すべて赤）：ｉモードメールまたはメッセージR/F満杯
（黒）：未受信のｉモードメールとメッセージR/Fあり
／ ／ （すべて黒）：未受信のｉモードメールまたはメッセージR/Fあり
：未読トルカあり→p.291
：GPSで位置提供設定中→p.309

⑱ ：ソフトウェア更新の予約中→p.505
SD[※5]：microSDメモリーカードあり→p.358

⑲ ：FOMA USB接続ケーブルでパソコンなどと接続中→p.424

⑳ ：ダイヤル発信制限中→p.135

㉑ ※3 ：個人情報表示制限中→p.133
：目覚まし設定中→p.379
：ワンセグ視聴／録画予約中、予定を通知するように設定中→ p.324、p.381
：ワンセグ視聴／録画予約中や予定を通知するように設定中と、目覚ましを同時に設定中→p.324、p.379、p.381

※1 待受画面に戻ると表示が消えます。
※2 待受画面以外では時刻が表示されます。
※3 現在優先度の高いものが表示されます。優先度の高い順に上から掲載しています。
※4 他のアイコンより優先して表示されます。
※5 ⑲のマークが表示されているときは表示されません。

お知らせ情報・新着情報の表示

電話帳の自動更新の失敗や電話帳保存のお知らせ、パターンデータの自動更新の通知、GPS位置提供の結果のお知らせがあると、待受画面でお知らせ情報として表示します。また、メールの受信や不在着信の記録、伝言メモの録音または録画、留守番電話サービスセンターに伝言メッセージがあると、待受画面で新着情報としてお知らせします。

決定を押す：表示されているマークにより次の通知が表示されます。

- ／／：GPS位置提供成功／失敗／未応答で終了→p.313
  オールロック中、おまかせロック中、開閉ロック中は、決定を押すと機能が利用できない旨のメッセージが表示されます。決定を押すと待受画面に戻ります。
- ：書き換え予告マーク→p.501
- ：更新お知らせマーク→p.502
- ／：パターンデータの自動更新の通知→p.508
- ：電話帳の自動更新失敗→p.99
- ：電話帳保存のお知らせ→p.109
- ／：ワンセグ予約録画完了／失敗→p.328

を押す：受信箱のメール一覧が表示されます。→p.236

を押す：着信履歴の表示画面が表示されます。→p.61

[を1秒以上押す：留守番メッセージを再生するかどうかの確認画面が表示されます。→p.418

- 戻るを1秒以上：新着情報の表示を消します。
- FOMA端末を閉じているときは、背面ディスプレイに新着情報が表示されます。

ガイド行の表示

ガイド行には、メニュー、決定、電話帳を押して実行できる操作が表示されます（表示される操作は画面により異なります）。

ガイド行

- 本書では、ガイド行に表示される操作の説明を、対応するボタン（メニュー、決定、電話帳）を使って説明しています。表示位置とボタンは、図のように対応しています。
- ガイド行のは、マルチカーソルボタン（十字ボタン）のに対応しています。
  ガイド行の右側に「ガイド」と表示されているときに電話帳を押すと、機能の詳細を説明するガイド画面が表示されます。ガイド画面を終了するには、電話帳または戻るを押します。

お知らせ

- ｉアプリの画面では、ガイド行に[決定][メール][iアプリ][クリア][電源]に対応する操作が表示されていなくても、これらのボタンを利用できる場合があります。

背面ディスプレイの見かた

FOMA端末を閉じていても、設定されている機能やさまざまな情報を確認できます。

- 写真撮影やビデオ撮影、電話やメールの着信時、充電中、開閉ロック、トルカ取得など、機能によっては、背面ディスプレイの照明の点灯、点滅で状態をお知らせします。

表示されるマーク一覧

- マークは背面ディスプレイの表示を切り替えると表示できます。→p.30

新着あり
14:05

① ：電池残量の表示→p.43

② ／圏外：受信レベルの表示→p.45

SELF：セルフモード中→p.131

③ ：ｉモード中、接続中→p.176

④ ：ワンタッチブザー有効→p.389

⑤※1 ：公共モード（ドライブモード）中→p.73

：マナーモード中→p.117

：音声読み上げ可能／音声読み上げ中→p.148

⑥ 歩数の表示→p.395

⑦※2 新着情報→p.27

※1 現在優先度の高いものを表示します。優先度の高い順に上から掲載しています。

※2 新着情報がある場合は、「着信あり」「メールあり」「伝言あり」「留守電あり」のいずれかを表示します。ただし、2種類以上の新着情報がある場合は「新着あり」と表示します。

主な表示

FOMA端末を閉じているときに、電話を着信した場合やメール受信中など、待受中から変化があると、状態を表示してお知らせします。主な表示内容は次のとおりです。

■ 音声電話やテレビ電話の状態表示

電話です
携帯花子

着信中や通話中、応答保留中、切断中などの状態が表示されます。画面は音声電話がかかってきたときの例です。

※ 背面表示設定を「表示しない」に設定しているときは、電話がかかってきても相手の電話番号や名前は表示されません。→p.119

- 電話の受けかた→p.69

■ 伝言メモの状態表示

応答中や録音中に表示されます。画面は音声電話の伝言メモが応答中または録音中のときの例です。

- 伝言メモ→p.75

■ ｉモードメールやSMS、メッセージR/Fを受信したとき

画面はｉモードメール受信中のときの例です。

- ｉモードメール受信→p.232
- SMS受信→p.254
- メッセージR/F受信→p.198

■ 圏内／歩数計自動送信に失敗したとき

自動送信
ﾒｰﾙ失敗

- 圏内自動送信→p.219
- 歩数計自動送信→p.397

■ GPSの状態表示

位置
提供中

現在地確認中や現在地通知、位置提供中などの状態が表示されます。画面は位置提供中の例です。

- GPS→p.300

■ 目覚ましの時刻や予定を通知する日時になったとき

時間です
14:05

画面は目覚ましの時刻になったときの例です。

- 目覚まし→p.379
- 予定表→p.381

■ ワンセグ視聴の予約を通知する日時になったとき

テレビの
時間です

- ワンセグ視聴の予約→p.324

■ ワンタッチブザーの状態表示

ブザー
鳴動中

画面はワンタッチブザー動作中のときの例です。

- ワンタッチブザー→p.389

※ この他にも、電池が切れそうなときやオールロック中、おまかせロック中、開閉ロック起動時に状態が表示されたり、ｉモード問合せやSMS問合せ、電話帳お預かりサービスのお預かりセンターへの接続、メロディの再生、赤外線通信、iC通信、データ通信を行ったときに利用中の機能が表示されたりします。

表示の切り替え

背面ディスプレイの照明が点灯しているときにを押すと、押すたびに時計表示が切り替わります。切り替えた表示の設定は、電源を入れ直すか各種設定リセットを行うまで保持されます。

＜今日の歩数と時計＞ ＜いきいき歩行の歩数と時計＞ ＜マークと時計＞ ＜時計大＞ ＜時計＞

● 背面ディスプレイの照明が消灯しているときは、のいずれかを押すと点灯します。
● 歩数計を「利用しない」に設定しているときは、今日の歩数と時計、いきいき歩行の歩数と時計は表示されず、時計→マークと時計→時計大の順に表示されます。
● 時計の表示形式は、24時間形式または12時間形式に設定できます。→p.122

● 背面ディスプレイに情報が表示されているときにFOMA端末を開くと、表示は消えます。
● FOMA 端末を閉じているときに電話がかかってきたりメールを受信したりして背面ディスプレイの表示が切り替わった場合は、照明が自動的に点灯します。
● 電話着信時の相手の情報が全角で４文字、半角で８文字を超える場合は、スクロールして表示されます。再びスクロール表示するときは、を押します。

メニュー操作のしかた

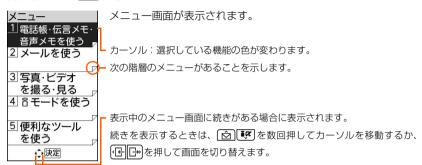
待受画面で メニュー を押すと表示されるメニュー画面や、 を押すと表示されるメールメニュー画面などから、各種機能を選択して実行します。機能を選択するには、マルチカーソルボタン（十字ボタン）を押す方法と、ダイヤルボタンを押す方法があります。本書では、操作の方法を主にダイヤルボタンを押す方法（ショートカット操作）で説明しています。

● 実行できる機能については、「メニュー一覧」をご覧ください。→p.444
● メニュー形式選択でメニューのデザインを「タイル」に設定したときは、待受画面で メニュー を押すと表示される最初のメニューの項目名が本書での記載と異なります。また、マルチカーソルボタン（十字ボタン）での機能の選択方法も異なります。
● メニュー形式の選択とメニュー項目名について→p.120

マルチカーソルボタン（十字ボタン）での機能選択

リスト形式のメニューから機能を選択するとき

〈例〉「ボタンを押した時の音を設定する」を実行する

1 待受画面で［メニュー］を押す

2 ［下］を押して「［*］基本の機能・設定」を選択▶［決定］を押す

「基本の機能・設定」のメニュー画面が表示されます。

- ［上］：カーソルが上の機能に移動します。
- ［下］：カーソルが下の機能に移動します。
- ［左］：前のページを表示します。
- ［右］：後ろのページを表示します。

3 ［下］を押して「［6］ボタンを押した時の音を設定する」を選択▶［決定］を押す

ボタンを
押した時に音を
鳴らしますか？

1 鳴らす
2 鳴らさない

4 ［上］［下］を押して「［1］鳴らす」または「［2］鳴らさない」を選択▶［決定］を押す

ボタン確認音を設定した旨のメッセージが表示されます。［決定］を押すとメニュー画面に戻ります。

タイル形式のメニューから機能を選択するとき

1 待受画面で[メニュー]を押す

メニュー画面が表示されます。

タイル（アイコン）　　タイル（文字）

2 [iα][←]を押して「基本設定」を選択▶[決定]を押す

● [✉]：カーソルが上の機能に移動します。
● [iα]：カーソルが下の機能に移動します。
● [←]：カーソルが左の機能に移動します。
● [→]：カーソルが右の機能に移動します。
• 以降の操作はリスト形式のメニューと同じです。

ダイヤルボタンでの機能選択<ショートカット操作>

各メニューや項目に番号や記号が割り当てられている場合は、対応するダイヤルボタン（1あ～9ら、0わをん）や＊、#を押して選択できます。これをショートカット操作といいます。

● メニュー形式が「タイル（アイコン）」の場合は、各メニュー番号や記号が表示されていませんが、「タイル（文字）」と同様のショートカット操作ができます。

〈例〉「ボタンを押した時の音を設定する」を実行する

1 待受画面でメニュー▶「＊基本の機能・設定」▶「6ボタンを押した時の音を設定する」を押す

2 「1鳴らす」または「2鳴らさない」を押す

ボタン確認音を設定した旨のメッセージが表示されます。決定を押すとメニュー画面に戻ります。

● 1あまたは2かを押して選択します。

待受画面や１つ前の画面に戻るには

機能を選択した後で、１つ前の画面や待受画面に戻るときは次のボタンを押します。

戻る：１つ前の画面に戻ります。

終話：待受画面に戻ります。

● 画面によっては、終話▶「1終了する」を押すと待受画面に戻ります。

前後のページや項目を表示するには

メニューや選択項目が複数ページにわたる場合は、ガイド行の表示に従って、次の操作で前後のページや項目を表示します。

- ガイド行にが表示されている場合は、カーソル位置のメニューや項目の上下に項目があることを示しています。を押してカーソルを移動します。ページの最後の項目でを押すと次のページまたは最初のページが、ページの先頭の項目でを押すと前のページまたは最後のページが表示されます。
- ガイド行にが表示されている場合は、前後のページまたはカーソル位置の項目の左右に項目があることを示しています。を押してカーソルを移動します。前後のページがあるときは、を押すと前のページまたは最後のページが、を押すと次のページが表示されます。画面によっては、で前のページを、で次のページを表示できます。

サブメニューからの機能選択

ガイド行の左側に「メニュー」が表示されているときは、を押してサブメニューを表示し、さまざまな操作ができます。

〈例〉メール作成画面のサブメニューを表示する

1 待受画面でを1秒以上押す

メール作成：新規
宛先：
題名：
本文：
装飾：設定なし
送信する
メニュー 決定 簡単

ガイド行の左側に表示されます。

メール作成画面が表示されます。

- 簡単メール作成画面が表示されたときは、▶「1切替える」を押します。

2 を押す

1送信する
2保存する
3署名付きで送信
4添付データ
5電話帳を呼出す
6例文を使う
7宛先を追加
8宛先を削除
9宛先種別を変更
0デコメールサイズ確認
戻る 決定

カーソル：選択している機能の色が変わります。

サブメニューが表示されます。

- サブメニューは、操作する画面により異なります。

3 ダイヤルボタンを押す

機能が実行されます。

● 利用する機能の左側に表示される番号に対応するダイヤルボタンを押します。
● サブメニュー表示中に[メニュー]を押すと、サブメニューが閉じます。
● [✉][i]を押して利用する機能を選択し、[決定]を押しても機能を実行できます。

おしらせ

● 各種ロック機能を設定している場合やFOMAカードを取り付けていない場合などに機能を選択すると、実行できない理由などを表示します。サブメニューの場合は、実行できない機能はグレーなどで薄く表示され選択できません。

FOMAカードを使う

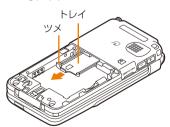
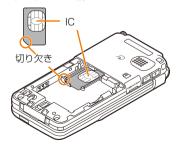
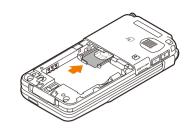
FOMAカードとは、電話番号などのお客様情報を記録しているカードです。FOMA端末に挿入して使用します。

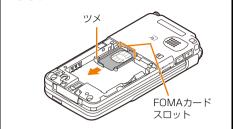
● FOMAカードを正しく取り付けていない場合やFOMAカードに異常がある場合は、電話の発着信やメールの送受信などはできません。
● FOMAカードの取り扱いについての詳細は、FOMAカードの取扱説明書をご覧ください。

FOMAカードの取り付けかた／取り外しかた

● 電源を切ってからFOMA端末を閉じ、両手で持ったまま行ってください。FOMA端末を置いた状態で行うと、外側カメラや背面ディスプレイが破損するおそれがあります。
● FOMAカードのIC部分に触れたり、傷をつけたりしないようにご注意ください。
● リアカバーと電池パックの取り付けかた／取り外しかた→p.38

■ 取り付けかた

① ツメを引き、「カチッ」と音がするまでトレイを引き出します。

② IC 面を上にして、図のような向きで FOMA カードをトレイに載せます。

③ トレイを奥まで押し込みます。

■ 取り外しかた

① ツメを引き、「カチッ」と音がするまでトレイを引き出し、FOMAカードを静かに取り外します。

お知らせ

- FOMAカードを無理に取り付けようとしたり、引き抜こうとしたりすると、FOMAカードやトレイが壊れる場合がありますのでご注意ください。
- トレイを強く引き抜いて外れてしまった場合には、FOMAカードスロット内部のガイドレールに合わせてまっすぐに押し込んでください。このとき、FOMAカードは取り外した状態で行ってください。

FOMAカードの暗証番号について

FOMAカードには、PIN1コード、PIN2コードという2つの暗証番号があります。→p.124
ご契約時はどちらも「0000」に設定されていますが、お客様ご自身で番号を変更できます。
→p.127

FOMAカード動作制限機能について

FOMA端末には、お客様のデータやファイルを保護したり、第三者が著作権を有するデータやファイルを保護したりするための機能として、FOMAカード動作制限機能が搭載されています。

- FOMA端末にお客様のFOMAカードを取り付けている状態で、サイトなどからデータやファイルをダウンロードしたり、メールに添付されたデータを取得したりすると、それらのデータやファイルには自動的にFOMAカード動作制限機能が設定されます。
- 異なるFOMAカードに差し替えた場合やFOMAカードを取り付けていない場合、FOMAカード動作制限機能が設定されたデータやファイルの表示や再生はできません。
- FOMAカード動作制限機能が設定されているデータやファイルは、赤外線通信/iC通信やmicroSDメモリーカードへのコピーや移動ができません。
- 動作制限の対象となるデータは次のとおりです。
  - テレビ電話伝言メモ
  - 画面メモ
  - ｉモードメール添付のデータ（トルカを除く）
  - メッセージR/F
  - 画像（GIFアニメーション、Flash画像、お預かりセンターからダウンロードした画像を含む）
  - メロディ
  - ｉモーション
  - ｉアプリ（ｉアプリ待受画面、コンテンツ移行対応のｉアプリを含む）
  - トルカ（詳細）の画像
  - 着うた®

※「着うた」は株式会社ソニー・ミュージックエンタテインメントの登録商標です。

お知らせ

- FOMAカード動作制限機能の対象になっているデータを待受画面や着信音などに設定しているときに、異なるFOMAカードに差し替えて使用したり、FOMAカードを取り付けずに使用したりすると、待受画面や着信音などの設定はお買い上げ時の状態に戻ります。FOMAカード動作制限機能が設定されたときのFOMAカードを取り付けると、設定は元の状態に戻ります。
- 赤外線通信／iC通信、microSDメモリーカード、ドコモケータイdatalinkを使用して入手したデータや、内蔵のカメラで撮影した写真やビデオには、FOMAカード動作制限機能が設定されません。
- 次のメニューの設定項目にはFOMAカードに保存されるものがあります。FOMAカードを差し替えると、差し替えたFOMAカードに保存されている設定内容が表示されます。詳細は「メニュー一覧」をご覧ください。→p.444
  - 自分の電話番号を見る
  - SMSを設定する
  - 証明書の表示と使用を設定する
  - FOMAカードのPINコードを設定する
  - 優先ネットワーク設定

FOMAカードの機能差分について

FOMA端末でFOMAカード（青色）をご使用になる場合、FOMAカード（緑色／白色）とは次のような違いがありますので、ご注意ください。

項　目	FOMAカード（青色）	FOMAカード（緑色／白色）	参照先
FOMAカード電話帳に登録できる電話番号の桁数	最大20桁	最大26桁	p.92
FirstPassを利用するためのユーザ証明書操作	利用不可	利用可	p.203
WORLD WINGサービスの利用	利用不可	利用可	p.430
サービスダイヤル	利用不可	利用可	p.421

WORLD WING

WORLD WINGとは、FOMAカード（緑色／白色）とサービス対応端末で、海外でも同じ携帯電話番号で発信や着信ができる、ドコモの国際ローミングサービスです。

※2005年9月1日以降にFOMAサービスをご契約いただいたお客様は、WORLD WINGのお申し込みは不要です。ただし、FOMAサービスご契約時に不要である旨お申し出いただいたお客様や途中でご解約されたお客様は、再度お申し込みが必要です。

※2005年8月31日以前にFOMAサービスをご契約でWORLD WINGをお申し込みいただいていないお客様は、お申し込みが必要です。

※一部ご利用になれない料金プランがあります。

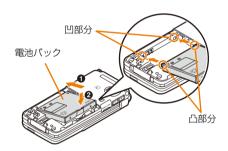
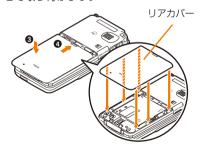
※万が一、海外でFOMAカード（緑色／白色）の紛失・盗難にあった場合などは、速やかにドコモへご連絡いただき、利用中断の手続きをお取りください。お問い合わせ先については、取扱説明書裏面の「総合お問い合わせ先」をご覧ください。なお、紛失・盗難された後に発生した通話・通信料もお客様のご負担となりますのでご注意ください。

電池パックの取り付けかた／取り外しかた

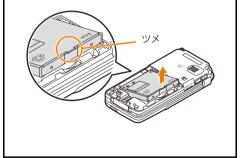
● 電源を切ってからFOMA端末を閉じ、手に持って行ってください。FOMA端末を置いた状態で行うと、外側カメラや背面ディスプレイが破損するおそれがあります。
● 電池パックを取り外すとソフトウェア更新の予約が解除される場合があります。また、日付時刻設定を「手動で設定する」に設定中に電池パックを取り外すと、日付・時刻が消去される場合があります。

■ 取り付けかた

① 親指でリアカバーを押し付けながら、矢印方向に約3mmスライドさせて外します。

② 電池パックのラベル面を上にして、電池パックの凸部分をFOMA端末の凹部分に合わせて❶の方向に差し込み、❷の方向に押し付けてはめ込みます。

③ リアカバーの６箇所のツメをFOMA端末のミゾに合わせます。FOMA端末とリアカバーにすき間が生じないように❸の方向に押さえながら、❹の方向にスライドさせて取り付けます。

■ 取り外しかた

① 取り付けかたの操作①を行います。
② 電池パックのツメをつまんで、矢印方向に持ち上げて取り外します。

おしらせ

● 電池パックを無理に取り付けようとするとFOMA端末の端子が壊れる場合があるため、ご注意ください。
● 上記以外の方法で取り付け／取り外しを行ったり、力を入れすぎたりすると、FOMA端末やリアカバーが破損するおそれがあります。

携帯電話を充電する

お買い上げ時、電池パックは十分に充電されていません。必ず専用のACアダプタまたはDCアダプタで充電してからお使いください。

● 電池パック単体での充電はできません。

● F884iの性能を十分に発揮するために、必ず電池パックF11をお使いください。

充電時間（目安）

電源を切って電池パックを空の状態から充電した場合の時間です。電源を入れたまま充電した場合などは、充電時間が長くなります。

また、FOMA端末を開いた状態のときや通話中、通信中は充電時間が長くなる場合があります。充電を早く完了させるには、操作を終了し、FOMA端末を閉じてから充電することをおすすめします。

ACアダプタ	約135分	DCアダプタ	約135分

十分に充電したときの使用時間（目安）

使用時間は充電のしかたや使用環境によって変動します。

● 連続待受時間および連続通話時間について→p.512

連続待受時間※	FOMA／3G	静止時（自動）：約335時間（約465時間） 移動時（自動）：約250時間（約315時間） 移動時（3G固定）：約270時間（約335時間）
	GSM	静止時（自動）：約215時間（約270時間）
連続通話時間	FOMA／3G	音声電話時：約140分 テレビ電話時：約110分
	GSM	約155分
ワンセグ視聴時間		約270分

※（）内の時間は、歩数計を「利用しない」に設定している状態での目安です。

● 電池パックの充電状態、機能設定状況、気温などの使用環境、利用場所の電波状態（電波が届かないか弱い場合など）などにより、通話や通信、待受時間は約半分程度になったり、ワンセグ視聴時間が短くなる場合があります。また、ｉモード通信を行うと通話や通信、待受時間は短くなります。通話やｉモード通信をしなくてもｉモードメールの作成、音声読み上げ、動画／ｉモーションの再生、ダウンロードしたｉアプリの起動やｉアプリ待受画面設定、カメラの使用、ワンセグの視聴や録画、マルチアクセスの実行、データ通信などをしたりすることによっても、通話や通信、待受時間は短くなります。

電池パックの寿命について

● 電池パックは消耗品です。充電を繰り返すごとに１回で使える時間が次第に短くなっていきます。

● 1回で使える時間がお買い上げ時に比べて半分程度になったら、電池パックの寿命が近づいていますので、早めに交換することをおすすめします。また、電池パックの使用条件により、寿命が近づくにつれて電池パックが膨れる場合がありますが問題ありません。

● 充電しながらｉアプリやテレビ電話、ワンセグの視聴などを長時間利用すると、電池パックの寿命が短くなることがあります。

充電について

詳細は、FOMA ACアダプタ 01／02（別売）、FOMA 海外兼用ACアダプタ 01（別売）、FOMA DCアダプタ 01／02（別売）の取扱説明書をご覧ください。

- FOMA ACアダプタ 01はAC100Vのみに対応しています。また、FOMA ACアダプタ 02およびFOMA海外兼用ACアダプタ 01はAC100Vから240Vまで対応しています。
- ACアダプタのプラグ形状はAC100V用（国内仕様）です。AC100Vから240V対応のACアダプタを海外で使用する場合は、渡航先に適合した変換プラグアダプタが必要です。なお、海外旅行用の変圧器を使用しての充電は行わないでください。

電池パックの上手な使いかた

- **電源を入れたままでの長時間（数日間）充電はおやめください。**
  FOMA端末の電源を入れた状態で充電が完了した後は、FOMA端末は電池パックから電源が供給されます。そのままの状態で長時間置くと、電池パックが消費され、短い時間しか使用できずに電池残量警告音が鳴ってしまう場合があります。その場合は、FOMA端末をACアダプタや卓上ホルダ、DCアダプタから外して、もう一度セットし直してから充電を行ってください。
- **環境保全のため、不要になった電池はNTT DoCoMoまたは代理店、リサイクル協力店などにお持ちください。**

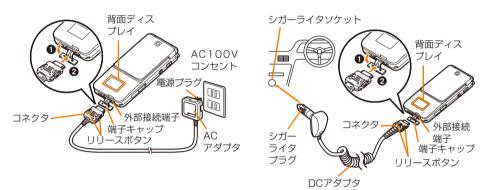
充電時の留意事項

- 充電を開始すると背面ディスプレイの照明が赤色で点灯します。ただし、環境によっては充電開始時に背面ディスプレイの照明がすぐに点灯しない場合がありますが故障ではありません。しばらくたっても点灯しない場合は、FOMA端末をACアダプタや卓上ホルダなどから外してもう一度セットし直してから充電を行ってください。充電開始後、しばらくたっても点灯しない場合はドコモショップなどの窓口にお問い合わせください。
- 充電中はFOMA端末や電池パック、ACアダプタ、DCアダプタが温かくなる場合がありますが、異常ではありません。ただし、充電中にテレビ電話をかけたりパケット通信を行ったりすると、FOMA端末内部の温度が上昇し、充電が正常に終了しない場合があります。その場合は、FOMA端末の温度が下がるのを待って充電を行ってください。
- 充電中にメール受信やカメラ撮影を行うと、背面ディスプレイの照明が一時的に消灯したり、異なる色で点灯したりしますが、しばらくたつと赤色で点灯します。これらの理由以外で充電中に背面ディスプレイの照明が点滅する場合は、「故障かな？と思ったら、まずチェック」をご覧ください。→p.486
- 十分に充電されている電池パックをFOMA端末に取り付けてACアダプタや卓上ホルダ、DCアダプタに接続すると、背面ディスプレイの照明が一瞬点灯してすぐに消灯する場合がありますが、故障ではありません。
- 電源を切っているときや通話中、通信中、マナーモード中、公共モード中、充電確認音を「知らせない」に設定しているときは、充電開始音や完了音は鳴りません。

ACアダプタ／DCアダプタでの充電方法

● 必ずFOMA ACアダプタ 01／02（別売）またはFOMA DCアダプタ 01／02（別売）の取扱説明書もご覧ください。

（1）FOMA端末に電池パックを取り付けます。
（2）FOMA端末の外部接続端子の端子キャップを❶の方向に開き、ACアダプタまたはDCアダプタのコネクタを矢印の表記面を上にして、FOMA端末と水平に差し込みます（❷）。
（3）ACアダプタの場合は電源プラグを起こしてAC100Vコンセントへ差し込みます。
　　DCアダプタの場合はシガーライタプラグを車のシガーライタソケットへ差し込みます。

〈ACアダプタ〉　〈DCアダプタ〉

（4）充電開始音が鳴り、背面ディスプレイの照明が点灯し、電池マークが点滅します。
（5）充電が終わると充電完了音が鳴り、背面ディスプレイの照明が消灯し、電池マークの点滅が止まります。
（6）AC アダプタの場合は電源プラグをコンセントから抜きます。DC アダプタの場合はシガーライタプラグをシガーライタソケットから抜きます。
（7）コネクタの両側のリリースボタンを押してFOMA端末から水平にコネクタを外し、端子キャップを閉じます。

お知らせ

● ACアダプタやDCアダプタのコネクタを抜き差しするときは、無理な力がかからないようゆっくり確実に行ってください。取り外すときは、必ずリリースボタンを押しながら水平に引き抜いてください。無理に引き抜こうとすると故障の原因となります。
● FOMA 端末を使用しないときや車から離れるときは、DC アダプタのシガーライタプラグをシガーライタソケットから外し、FOMA端末からDCアダプタのコネクタを抜いてください。
● DCアダプタのヒューズ(2A)は消耗品です。交換するときは、お近くのカー用品店などでお買い求めください。

卓上ホルダと組み合わせた充電方法

FOMA ACアダプタ 01／02（別売）と卓上ホルダ F25（別売）を組み合わせると、FOMA端末の端子キャップを開かないで充電できます。

- 必ず卓上ホルダ F25（別売）の取扱説明書もご覧ください。
- 卓上ホルダだけでは充電できません。ACアダプタが必要です。
- 卓上ホルダは平らな面に置いて使用してください。
- 正しく取り付けるために、端子キャップを閉じ、FOMA 端末を閉じた状態で卓上ホルダに差し込んでください。また、ストラップなどをはさまないようにご注意ください。

(1) ACアダプタのコネクタを、矢印の表記面を上にして卓上ホルダに水平に差し込みます（❶）。
(2) ACアダプタの電源プラグを起こしてAC100Vコンセントへ差し込みます（❷）。
(3) 電池パックを取り付けたFOMA端末を卓上ホルダの充電端子に合わせ（❸）、矢印方向（❹）にカチッと音がするまで押し込みます。
(4) 充電開始音が鳴り、背面ディスプレイの照明が点灯し、電池マークが点滅します。
(5) 充電が終わると充電完了音が鳴り、背面ディスプレイの照明が消灯し、電池マークの点滅が止まります。
(6) FOMA端末を卓上ホルダから取り外します。

取り外しかた
卓上ホルダを押さえながらFOMA端末を持ち上げ（❶）、矢印方向（❷）に引き抜きます。
- 長時間使用しないときはACアダプタをコンセントから抜いてください。

お知らせ

- ACアダプタのコネクタを抜き差しするときは、無理な力がかからないようゆっくり確実に行ってください。取り外すときは、必ずリリースボタンを押しながら水平に引き抜いてください。無理に引き抜こうとすると故障の原因となります。

電池残量

電池残量の確認のしかた

ディスプレイ上部に表示される電池マークで、電池残量の目安が確認できます。

● FOMA端末を閉じているときは、背面ディスプレイに電池残量が表示されます。

電池マーク

→	→	
(電池残量3) 十分残っています	(電池残量2) 少なくなっています	(電池残量1) 電池残量がほとんどありません。充電してください

電池残量の確認

1 **待受画面で[メニュー]▶「[#]詳細な機能・設定」▶「[8]情報の表示やリセットを行う」▶「[5]電池残量を確認する」を押す**

電池残量が表示され、しばらくたつとメニュー画面に戻ります。

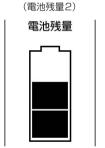
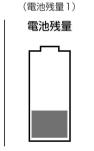
(電池残量3)

電池残量

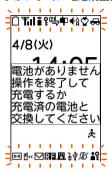
音が3回鳴ります

(電池残量2)

音が2回鳴ります

(電池残量1)

音が1回鳴ります

電池が切れそうになると

メッセージ表示や電池残量警告音でお知らせします。充電を開始すると電池残量警告音は止まりますが、すぐに電池残量警告音を止める場合は[終話]を押します。

■音声電話中のとき

受話口から電池残量警告音が聞こえ、電池残量がない旨のメッセージが表示されます。このメッセージは[決定][戻る][終話]のいずれかを押すと消えます。電池残量警告音が聞こえてから約20秒後に通話が切れて、左の画面が表示されます。その約1分後に自動的に電源が切れます。

■待受中のとき

電池残量がない旨のメッセージが表示されます。このメッセージは[決定][戻る][終話]のいずれかを押すと消えますが、しばらくたつと電池残量警告音が鳴り、左の画面が表示され、すべてのマークが点滅します。その約1分後に自動的に電源が切れます。

● FOMA端末を閉じているときは、背面ディスプレイに「電池残量なし」と表示されます。

電池残量警告音の消しかた

1 待受画面で[メニュー]▶「[#]詳細な機能・設定」▶「[4]音を設定する」▶「[2]電池残量の警告を音で通知する」を押す

電池残量警告音を鳴らすかどうかの確認画面が表示されます。

2 「[2]鳴らさない」を押す

電池残量警告音を解除した旨のメッセージが表示されます。

● 「[1]鳴らす」：電池残量警告音を鳴らします。

3 [決定]を押す

メニュー画面に戻ります。

お知らせ

● 本機能を「鳴らさない」に設定しても、通話中に電池が切れそうになったときは受話口から電池残量警告音が鳴ります。

● 本機能を「鳴らす」に設定しても、電源を切っているときやマナーモード中、公共モード中は電池残量警告音は鳴りません。

電源ON／OFF

電源を入れる／切る

● ソフトウェア更新を実行するかどうかの確認画面が表示される場合があります。→p.498

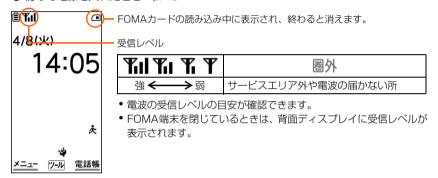
電源を入れる

1 [電源キー]を2秒以上押す

バイブレータが振動し、起動中である旨のメッセージが表示された後、次の待受画面が表示されます。

● 初めて電源を入れたとき→p.46

[受信レベル表示]	圏外
強 ⟷ 弱	サービスエリア外や電波の届かない所

• 電波の受信レベルの目安が確認できます。
• FOMA端末を閉じているときは、背面ディスプレイに受信レベルが表示されます。

電源を切る

1 [電源キー]を2秒以上押す

終了している旨のメッセージが表示された後、電源が切れます。

おしらせ

● サービスエリア外や電波の届かない所で 圏外 が表示されているときに通話や通信を行うには、表示が消える場所まで移動してください。ただし、[受信レベル]が表示されていて、移動せずに通話していても、通話が切れる場合があります。

● FOMAカードを取り付けていない場合は、FOMAカードの挿入が必要な旨のメッセージが表示されます。電源を切り、FOMAカードを取り付けてから電源を入れ直してください。→p.35

● FOMAカードを差し替えた場合は、電源を入れた後に端末暗証番号の入力を行う必要があります。正しい端末暗証番号を入力すると待受画面が表示されます。誤った端末暗証番号を連続5回入力すると、電源が切れます（ただし再び電源を入れることは可能です）。

● PIN1コード使用の設定中は、PIN1コードの入力が必要です。→p.126

● 日付・時刻が設定されていないときは、日付と時刻を設定する旨のメッセージが表示されます。→p.48

● FOMA端末を開いたまま何も操作しないでいると、約1分でディスプレイが暗くなり、その約4分後、さらに暗くなります。約30分が経過すると、ディスプレイに何も表示されなくなります（省電力）。ディスプレイに何も表示されない状態のときは、[決定]が点滅して省電力の状態であることをお知らせします。音声電話中でも同様に省電力の状態になります。いずれかのボタンを押すか、電話の着信などがあったりすると、ディスプレイは再び表示されます。

初めて電源を入れたときは

次の画面が表示されるので、必要に応じて設定や操作を行います。設定した内容は後から変更できます。

● データ一括削除の再起動後も、同様に設定画面が表示されます。

1 携帯電話を使う前の準備を始める旨の確認画面で決定を押す

2 音声読み上げの設定画面で「1自動で読み上げ」～「4後で設定する」のいずれかを押す

音声読み上げを
設定してください
1自動で読み上げ
2手動で読み上げ
3読み上げなし
4後で設定する

● 音声読み上げの設定→p.149
● 「4 後で設定する」を押し、次に電源を入れ直すまでに設定を行わなかった場合には、再び設定画面が表示されます。

3 メニュー形式の選択画面で「1リスト」～「3タイル（文字）」のいずれかを押す

● メニュー形式の選択→p.120

4 文字の書体の選択画面で「1ゴシック体」または「2教科書体」を押す

文字の書体を
選んでください
1ゴシック体
2教科書体
あア亜Ap1@
ｱｲｳAp123@/

● 文字の種類の選択→p.121
● データ一括削除の再起動時は表示されません。

5 日付・時刻の設定画面で決定を押す

日付と時刻を
設定してください

- 日付時刻設定の概要と設定→p.48
- 圏外などでドコモのネットワークからの時刻情報を取得できず、日付・時刻が設定されなかった場合に表示されます。

6 端末暗証番号変更画面で「1変更する」を押す

暗証番号の
初期設定は
「0000」です。
暗証番号を
変更しますか？

1変更する
2変更しない

- 端末暗証番号変更→p.125

7 位置提供機能の設定画面で決定▶端末暗証番号を入力▶決定▶「1受信する」または「2受信しない」を押す

位置提供機能を
設定します

- GPSの位置提供→p.309
- 操作6で、端末暗証番号を変更した場合は、端末暗証番号の入力画面は表示されません。

8 歩数計の設定画面で決定を押す

歩数計を
設定します。
歩数計の測定値は
あくまでも
目安として
ご利用ください

- 歩数計の概要と設定→p.394、p.395
- 日付・時刻が設定されていないときは表示されず、歩数計は「利用しない」に設定されます。

9 視聴地域選択の画面で「1地域指定で検索」または「2一覧から選ぶ」を押す

視聴地域が登録
されていません。
視聴地域の
登録方法を
選んでください

1地域指定で検索
2一覧から選ぶ

- ワンセグの視聴地域の設定→p.319
- 日付・時刻が設定されていなかったり、FOMAカードが挿入されていない場合は、視聴域選択画面は表示されません。

10 ワンタッチブザーを有効にするかどうかの確認画面で「1有効にする」～「3後で設定する」のいずれかを押す

ﾜﾝﾀｯﾁﾌﾞｻﾞｰを
有効にしますか？
ﾏﾅｰﾓｰﾄﾞ設定中も
ﾌﾞｻﾞｰが鳴ります

1有効にする
2無効にする
3後で設定する

- ワンタッチブザーの設定→p.389
- 「3 後で設定する」を押し、次に電源を入れ直すまでに設定を行わなかった場合には、再び確認画面が表示されます。

11 ソフトウェア更新の確認画面で決定を押す

- ソフトウェア更新の概要と設定→p.498、p.503

Welcomeメールを確認する

「はじめまして」のメールが保存されています。待受画面にはが表示され、新着情報では未読メールがあることをお知らせします。

1 待受画面で

「受信箱」フォルダのメール一覧が表示されます。

- 受信メールの表示→p.236

日付時刻設定

日付・時刻を合わせる

ドコモのネットワークからの時刻情報を基に自動で時刻を補正するように設定したり、日付・時刻を手動で設定したりできます（通常は手動で設定する必要はありません）。
海外で「自動で設定する」を選択した場合、利用中の通信事業者のネットワークからの時差補正情報を受信した場合に補正します。
また、海外で利用する場合は、手動で時差を設定したり、サマータイムに合わせたりすることもできます。→p.439

〈例〉手動で日付・時刻を設定する

1 待受画面でメニュー▶「＊基本の機能・設定」▶「9時計を設定する」▶「1日付と時刻を設定する」を押す

日付と時刻を自動
で設定しますか？

1自動で設定する
2手動で設定する

2 「2手動で設定する」を押す

■ 自動で時刻補正をする：「1自動で設定する」を押す

日付と時刻を自動で設定する旨のメッセージが表示されます。決定を押すとメニュー画面に戻ります。

3 「1日時」を押す

4 日付を入力する

日付と時刻を
入力してください
(0~23時0~59分)

日付
2008年04月08日
時刻
14時05分

- 西暦は下2桁を入力します。月、日が1桁のときは、前に0を付けます。
- 2000年1月1日から2050年12月31日まで設定できます。
- ：変更する数字を選択できます。
- ：日付と時刻の入力を切り替えます。

5 時刻を入力する

- 24時間制（00：00～23：59）で設定します。時、分が1桁のときは、前に0を付けます。
- ：変更する数字を選択できます。
- ：日付と時刻の入力を切り替えます。

6 決定▶電話帳を押す

日付と時刻を設定した旨のメッセージが表示されます。決定を押すとメニュー画面に戻ります。

お知らせ

- 「自動で設定する」に設定すると、電源を入れたときなどに自動で時刻の補正を行います。電源を入れてからしばらくたっても補正されない場合は、電源を入れ直してください。ただし、FOMAカードを取り付けていない場合や電波状態によっては、電源を入れ直しても補正は行われません。また、ｉアプリによっては、動作中に補正できない場合があります。
- 「自動で設定する」に設定していても、数秒程度の誤差が生じる場合があります。
- 「手動で設定する」で日付・時刻を設定したときは、電池パックを取り外したり、電池が切れたまま長い間充電しなかったりすると、日付・時刻が消去される場合があります。その場合は、もう一度設定を行ってください。
- ｉアプリ起動中に日付・時刻を手動で設定しようとすると、ｉアプリを終了させて日付・時刻を設定する旨のメッセージが表示されます。「1終了する」を押すと、ｉアプリが終了し、日付・時刻が設定されます。
- 一度も自動時刻補正が行われず、日付・時刻が「--」で表示されているときは、時計やFlash画像などが正しく表示されません。また、次の機能は使用できません。
  - SSL通信（認証）
  - ユーザ証明書の操作
  - 再生期限制限や再生期間制限が設定されているｉモーションの取得、再生
  - ｉアプリDX、ｉアプリの自動起動
  - 自動電源ON設定
  - 自動電源OFF設定
  - 通知時刻自動電源ON設定
  - 目覚まし
  - 予定表
  - 歩数計
  - ソフトウェア更新

・スキャン機能のパターンデータ更新　・ワンセグ視聴／録画予約

● 一度も自動時刻補正が行われず、日付･時刻が「--」で表示されているときは、次の機能で日時が記録されず、「----/--/--」などと表示されます。
・リダイヤル　・着信履歴
・伝言メモ
・カメラで撮影した写真やビデオの保存日時（ファイル名）
・送信メール、未送信メールの日時　・トルカの受信日時
・GPSの位置履歴　・音声メモ

発信者番号通知

相手に自分の電話番号を通知する

電話をかけたとき、相手の電話機に自分の電話番号（発信者番号）を表示させます。

● 発信者番号はお客様の大切な情報です。発信者番号を通知する際は、十分にご注意ください。
● サービスエリア外や電波の届かない所では、発信者番号通知は設定できません。電波状態のよい所で行ってください。
● 詳細は『ご利用ガイドブック（ネットワークサービス編）』をご覧ください。
● 電話をかけるたびに、発信者番号を通知／非通知にすることができます。→p.63

1 **待受画面で［メニュー］▶「［＊］基本の機能・設定」▶「［1］発信者番号通知を使う」▶「［1］発信者番号通知を設定する」を押す**

2 **「［1］通知する」を押す**

ネットワークに接続され、発信者番号通知を設定した旨のメッセージが表示されます。［決定］を押すとメニュー画面に戻ります。

設定内容の確認

1 **待受画面で［メニュー］▶「［＊］基本の機能・設定」▶「［1］発信者番号通知を使う」▶「［2］発信者番号通知設定を確認する」を押す**

発信者番号通知の
設定を
確認しますか？

1確認する
2確認しない

2 **「［1］確認する」を押す**

ネットワークに接続され、設定内容が表示されます。［決定］を押すとメニュー画面に戻ります。

発信者番号通知の優先順位

複数の番号通知方法を同時に設定・操作した場合、次の優先順位で番号通知動作が行われます。ただし、ディスプレイの表示と実際の通知／非通知の発信が異なる場合があります。
① 相手の電話番号に「186」または「184」を付けた場合
② 発信時にサブメニューから発信者番号の通知／非通知を選択した場合
③ 発信者番号通知の設定をした場合

個人情報表示

自分の電話番号を確認する

自分の電話番号（自局電話番号）や登録した個人情報を確認します。

1 待受画面で［メニュー］▶「[0]自分の電話番号を見る」を押す

個人情報(基本)
名称未登録
電話番号
090XXXXXXXX
メールアドレス

■ **詳細情報を確認する**：
① **［決定］を押す**
端末暗証番号入力画面が表示されます。
② **端末暗証番号を入力▶［決定］を押す**
個人情報（詳細）画面が表示されます。
- ［決定］　：個人情報（基本）画面と個人情報（詳細）画面を切り替えます。
- ［◁］［▷］：登録情報が複数ある場合に表示を切り替えます。

2 ［戻る］を押す

メニュー画面に戻ります。

個人情報の登録・修正

自分の名前や電話番号、メールアドレスなどが登録できます。
- 電話番号は自局電話番号を除き最大2件、メールアドレスは最大3件登録できます。
- お客様のメールアドレスの確認方法→p.214

1 待受画面で［メニュー］▶「[0]自分の電話番号を見る」を押す

2 ［電話帳］▶端末暗証番号を入力▶［決定］を押す

3 名前を入力▶決定を押す

個人情報登録
ドコモ太郎

フリガナを
入力してください
ドコモタロウ

入力した名前のフリガナが自動的に入力されています。
- 全角16文字、半角32文字以内で入力します。漢字、ひらがな、カタカナ、英字、数字、記号、絵文字を入力できます。

4 フリガナを確認▶決定を押す

2件目の電話番号を入力するかどうかの確認画面が表示されます。
- 半角32文字以内で入力します。半角カタカナ、半角英字、半角数字、半角記号を入力できます。

5 「1入力する」または「2入力しない」を押す

- 「1入力する」　：自局電話番号以外の電話番号を登録します。
- 「2入力しない」：自局電話番号以外の電話番号を登録しません。操作8に進みます。

6 電話番号を入力▶決定を押す

3件目の電話番号を入力するかどうかの確認画面が表示されます。
- 最大26桁入力できます。

7 「1入力する」または「2入力しない」を押す

- 「1入力する」　：他の電話番号を登録します。操作6の後に操作8に進みます。
- 「2入力しない」：他の電話番号を登録しません。

8 メールアドレスを入力▶決定を押す

2件目（または3件目）のメールアドレスを入力するかどうかの確認画面が表示されます。
- 半角50文字以内で入力します。半角英字、半角数字、半角記号を入力できます。
- 英字入力モード時に1あ：「.」「@」「-」などメールアドレスによく使う記号を入力できます。
- 英字入力モード時に＊：「@docomo.ne.jp」「.com」「.or.jp」などを入力できます。
- 何も入力しないで決定を押すと、メールアドレスを登録しません。操作10に進みます。

9 「1入力する」または「2入力しない」を押す

- 「1入力する」　：他のメールアドレスを登録します。操作8の後に操作10に進みます。
- 「2入力しない」：他のメールアドレスを登録しません。

10 「1入力する」または「2入力しない」を押す

- 「1入力する」　：郵便番号と住所を登録します。
- 「2入力しない」：郵便番号と住所を登録しません。操作13に進みます。

11 郵便番号を入力▶決定を押す

● 最大7桁入力できます。

12 住所を入力▶決定を押す

個人情報を登録した旨のメッセージが表示されます。

● 全角100文字、半角200文字以内で入力します。漢字、ひらがな、カタカナ、英字、数字、記号、絵文字を入力できます。

13 決定を押す

個人情報（基本）画面に戻ります。

お知らせ

● お客様のFOMA端末の電話番号（自局電話番号）はFOMAカードに登録されているため修正できません。それ以外の項目はFOMA端末に記録されます。
● 個人情報のメールアドレスを変更しても、ｉモードのメールアドレスは変更されません。また、ｉモードのメールアドレスを変更しても、個人情報のメールアドレスは自動的には変更されません。→p.214
● 個人情報（詳細）画面で 電話帳 を押しても個人情報の登録・修正ができます。また、個人情報（詳細）画面のサブメニューから個人情報を利用したり、GPS機能を利用して位置情報を登録したりできます。
● 赤外線通信やiC通信を利用して個人情報を赤外線通信機能やiC通信機能が搭載されている携帯電話やパソコンなどに送信できます。→p.368

電話／テレビ電話

電話／テレビ電話のかけかた

電話／テレビ電話の受けかた

電話／テレビ電話に出られないとき／出られなかったとき

テレビ電話の設定

テレビ電話について

テレビ電話機能は、ドコモのテレビ電話に対応した端末どうしで利用できます。テレビ電話を利用すると、相手の声がスピーカーから聞こえ、相手の顔を見ながら通話できます。また、自分の映像の代わりにカメラオフ画像（→p.80）を送信することもできます。

- テレビ電話は64kbpsでのみ通信できます。
- ドコモのテレビ電話は「国際標準の3GPP※1で標準化された、3G-324M※2」に準拠しています。異なる方式を利用しているテレビ電話とは接続できません。
  - ※1 3GPP（3rd Generation Partnership Project）
    第3世代移動通信システム（IMT-2000）に関する共通技術仕様開発のために設置された地域標準化団体
  - ※2 3G-324M
    第3世代携帯テレビ電話の国際規格

テレビ電話中の画面の見かた

① **親画面**
② **子画面**
③ **チャンネル開設状態**
　AV：音声チャンネル開設
　AV：映像チャンネル開設
　AV：音声・映像チャンネル開設
④ **表示倍率**
　×1～×12：標準～12倍（外側カメラ）
　×1～×2：標準～2倍（内側カメラ）
⑤ **くっきり補正設定**
　補正：くっきり補正オン
　表示なし：くっきり補正オフ
⑥ **スピーカーホン音量／受話音量**
　音量1～音量6：
　スピーカーホン音量／受話音量
⑦ **接写撮影**
　表示なし：接写撮影オフ
　：接写撮影オン（外側カメラ）
⑧ **通話時間**
　分・秒の形式で表示

電話／テレビ電話をかける

1 **待受画面で電話番号を入力する**

- 一般電話にかけるときは、同じ市内への通話でも、必ず市外局番からダイヤルしてください。
- 最大80桁入力できます。
- 戻る：電話番号を訂正できます。1秒以上押すと待受画面に戻ります。

2 **発信方法を選択する**

■ 音声電話をかける：[を押す

- ディスプレイには通話時間が表示されます。
- 通話中画面に自分の電話番号を表示できます。→p.60
- 音声電話中に自分の位置を相手に知らせたり、今いる場所の情報を相手にメールで送信したりできます。
  →p.308

■ テレビ電話をかける：[テレビ電話]を押す

- マナーモード中は、スピーカーホンに切り替えるかどうかの確認画面が表示されます。「[1]切替える」を押すと、スピーカーからの通話になります。「[2]切替えない」を押すと、受話口からの通話になります。
- 画面に「テレビ電話接続中」と表示された時点から通話料金がかかります。

3 お話しが終わったら[終話]を押す

● FOMA端末を閉じても電話を切ることができます。

お知らせ

＜音声電話・テレビ電話共通＞

● [発信]または[テレビ電話]を押してから電話番号を入力しても、約5秒経過すると自動的に電話がかかります。

● 番号通知お願いのガイダンスが聞こえた場合は、発信者番号を通知する設定にしてからおかけ直しください。→p.50、p.63

＜テレビ電話のみ＞

● カメラオフ画像（→p.80）を利用しても、通信料金は音声通話料ではなくデジタル通信料になりますのでご注意ください。

● テレビ電話がかからなかったときは、画面に次のメッセージが表示され、自動的に待受画面に戻ります。なお、通話する相手の電話機やネットワークサービスのご契約の有無により、実際の相手の状況とメッセージの表示が異なる場合があります。

主なメッセージ	説　明
お話中です	相手が話し中です。※
発信者番号通知をONにしてください	発信者番号非通知で接続した場合に表示されます（ビジュアルネットなどへの発信時）。
音声電話でおかけ直しください	相手が転送でんわサービスを設定していて転送先がテレビ電話非対応の場合に表示されます。
パケット通信中です	相手がパケット通信中です。
ｉモードから接続してください	IP（情報サービス提供者）が提供しているサイトに接続してから、テレビ電話発信してください。
積算料金が既定の上限に達しました	リミット機能付料金プラン（タイプリミット、ファミリーワイドリミット）の上限額を超過しています。

※ 相手の端末によっては、パケット通信中の場合にも表示されることがあります。

● 音声再発信設定を「かけ直す」に設定している場合、音声で再発信したときの通話料金は音声通話料になります。

● 音声再発信設定を「かけ直す」に設定中に FOMA端末から緊急通報（110番、119番、118番）へテレビ電話発信した場合は、自動的に音声電話発信となります。

通話中保留

自分の声が相手に聞こえないようにします。

● 保留中も、電話をかけた方に通話料金がかかります。

● 保留中にFOMA端末を閉じると、電話は切れます。

1 通話中に決定を押す

通話が保留になり、背面ディスプレイの照明が点滅します。自分と相手にメロディ（エンターテイナー）が流れます。

＜音声電話保留中＞

＜テレビ電話保留中＞

● 音声電話保留中に決定／［：
保留を解除します。

● テレビ電話保留中に決定：
保留を解除して、保留前の通話状態に戻します。

● テレビ電話保留中に［：
保留を解除して、相手にカメラオフ画像（→p.80）を送信します。

● テレビ電話保留中にテレビ電話：
保留を解除して、相手にカメラ映像を送信します。

お知らせ

● 保留中に流れるメロディ（エンターテイナー）は変更できません。

● 平型スイッチ付イヤホンマイク（別売）を接続して保留中にFOMA端末を閉じた場合は、保留は継続されます。テレビ電話保留中の場合は、相手にテレビ電話中保留画像が送信されます。

スピーカーホン機能の使いかた

相手の声がスピーカーから聞こえる状態で通話できます。

● テレビ電話は自動的にスピーカーホン機能を使用した通話となります。

1 通話中に［または電話帳を押す

● ［または電話帳を押すたびにスピーカーホン機能を使用した通話と受話口からの通話が切り替わります。

● 発信中または呼出中に［を押しても、スピーカーホン機能を使用した通話と受話口からの通話が切り替わります。

お知らせ

● スピーカーホン機能を使用した通話に切り替えると、音量が急に大きくなりますので、FOMA端末を耳から離して使用してください。

● FOMA端末から約50cm以内の距離でお話しください。周囲や相手側の雑音が大きい場合は、聞き取りにくいことがあります。その場合は受話口からの通話に切り替えてください。

● マナーモード中でもスピーカーホン機能を使用できます。

音声電話中のはっきりボイスの設定

はっきりボイスをオンに設定すると、音声電話中に周囲の騒音レベルを測定し、一定レベルを超えて騒音が大きくなった場合に、自動で相手の声を強調し、聞き取りやすくします。また、相手や自分の声が小さいときにも自動で音量を大きくします。

- お買い上げ時は「はっきりボイスオン」に設定されています。
- スピーカーホン機能使用中や海外のGSM/GPRSネットワークでは動作しません。
- 通話終了後も設定内容は保持されます。
- 本機能は受話音量を調節するものではありません。相手の声の音量は、受話音量で調節してください。→p.72

1 音声電話中に[メニュー]▶「[5]はっきりボイスオフ」または「[5]はっきりボイスオン」を押す

通話中 はっきりボイス
自分の番号 090XXXXXXXX
05秒
090XXXXXXXX

はっきりボイスをオンに設定すると赤色で表示されます。オンでも動作しないときはグレーで表示されます。

音声電話中のゆっくりボイスの設定

音声電話中の相手の話す速度が調節されて聞き取りやすくなります。

- お買い上げ時は「ゆっくりボイスオフ」に設定されています。
- 海外のGSM/GPRSネットワークでは動作しません。
- 通話終了後、設定内容は解除されます。

1 音声電話中に[ゆっくりボイス]を押す

- ゆっくりボイスを設定中に[ゆっくりボイス]：ゆっくりボイスを解除します。

ゆっくりボイスとは

無音区間を利用して、相手の話す声がゆっくり聞こえるように調節する機能です。

- ゆっくりボイスを設定すると、相手の声質が変化する場合があります。
- 相手が区切りのない話しかたをしたときなど、ゆっくりボイスが機能しない場合は、通常の速度に聞こえます。
- 時報や音楽などを聞くときは、ゆっくりボイスを設定しないでください。

通話中に音声電話／テレビ電話を切り替える

音声電話またはテレビ電話をかけた側の端末からのみ、切り替え操作ができます。

- 音声電話／テレビ電話切り替え対応機種どうしでご利用いただけます。
- 音声電話とテレビ電話の通話時間に応じて、通話料金がそれぞれ加算されます。
- 切り替え操作を行うには、相手がテレビ電話切替え通知を開始している必要があります。→p.84

音声電話中にテレビ電話へ切り替える

1 通話中に[メニュー]▶「[1]テレビ電話へ切替」を押す

テレビ電話への
切替えを
行いますか？

[1]切替える
[2]切替えない

2 「[1]切替える」を押す

切替中画面が表示され、電話を切り替える旨のガイダンスが流れます。

- 「[2]切替えない」：
  音声電話中の画面に戻ります。

3 画面に相手の映像が表示されたら、通話する

- テレビ電話に切り替わると、スピーカーホン機能を使用した通話になります。

テレビ電話中に音声電話へ切り替える

1 通話中に[メニュー]▶「[1]音声電話へ切替」を押す

音声電話への切り替えを行うかどうかの確認画面が表示されます。

2 「[1]切替える」を押す

切替中画面が表示され、電話を切り替える旨のガイダンスが流れます。

- 「[2]切替えない」：
  テレビ電話中の画面に戻ります。

3 音声電話の通話中画面が表示されたら、通話する

- 音声電話に切り替わると、スピーカーホン機能は解除されます。

お知らせ

- 切り替えには5秒程度かかります。電波状態によっては、切り替えに時間がかかる場合があります。
- 切替中画面が表示されている間は、料金は加算されません。
- 電波状態によっては切り替えができず、電話が切れる場合があります。
- 切り替えは繰り返し行えます。
- キャッチホンでの音声電話中は、テレビ電話に切り替えられません。
- 相手側がパケット通信中の場合は、テレビ電話に切り替えられません。
- カメラの切り替えやカメラオフ画像の送信などテレビ電話中に行った設定は、音声電話とテレビ電話を切り替えるたびに解除されます。→p.80

通話中自局番号表示設定

自局電話番号を音声電話中画面に表示するかどうかを設定する

- 本機能を「表示する」に設定した場合、音声電話中の画面に自分の電話番号が表示されます。

1 待受画面で[メニュー]▶「[#]詳細な機能・設定」▶「[3]電話・電話帳の詳細を設定する」▶「[*]通話中に自分の番号を表示する」を押す

通話中に自分の電話番号を表示するかどうかの確認画面が表示されます。

2 「[1]表示する」または「[2]表示しない」を押す

通話中の自局番号表示を設定／解除した旨のメッセージが表示されます。[決定]を押すとメニュー画面に戻ります。

リダイヤル／着信履歴

リダイヤル／着信履歴を利用して電話をかける

音声電話、テレビ電話の発信履歴（リダイヤル）と着信履歴を記録しておく機能です。音声メモに録音されたときも、伝言メモに録音または録画されたときも記録されます。

- リダイヤルと着信履歴はそれぞれ最大30件記録されます。30件を超えると、古いものから順に消去されます。
- 同じ電話番号に通知または非通知を設定してかけた場合は、それぞれ最新の1件がリダイヤルに記録されます。
- 着信履歴には、不在着信の場合、着信してから相手が呼び出しを止めるまでの時間（呼出時間）が表示されます。覚えのない番号からの不在着信があった場合、着信履歴を残す目的だけの迷惑電話（「ワン切り」など）なのかどうかを確認できます。伝言メモに録音または録画されたときの履歴も記録されます。
- 音声メモは、常に最新の通話から4件分が記録されます。その結果、1件のリダイヤルに複数の音声メモが記録されることがあります。

1 **待受画面で（リダイヤル）または（着信履歴）▶を押してかけ直す相手を表示する**

■ リダイヤル画面の見かた

①リダイヤルの番号
②音声メモが録音されている場合
③電話をかけた日時（海外滞在時は滞在地の日時）
④海外滞在時に電話をかけた場合（GMT+09:00を除きます。発信日時が記録されていないときなど、表示されない場合があります）
⑤発信者番号の通知／非通知→p.63
⑥国際電話をかけた場合（「010」を直接入力した場合は表示されません）→p.64
⑦発信の種別（音声電話／テレビ電話）
⑧電話帳に登録している場合は名前→p.86
⑨電話番号（国際電話の場合は、電話番号の前に「+」が表示されます。「010」を直接入力した場合は表示されません）

■ 着信履歴画面の見かた

①着信履歴の番号
②不在着信の場合は 不在 、伝言メモが録音または録画されている場合は 伝言メモ 、音声メモが録音されている場合は 音声メモ
③電話がかかってきた日時（海外滞在時は滞在地の日時）
④海外滞在時に電話がかかってきた場合（GMT+09:00を除きます。着信日時が記録されていないときなど、表示されない場合があります）
⑤不在着信の呼出時間
⑥国際電話がかかってきた場合
⑦着信の種別（音声電話／テレビ電話／64Kデータ）
⑧電話帳に登録している場合は名前→p.86
発信者番号が非通知の場合は発信者番号非通知理由→p.69
⑨電話番号（国際電話の場合は、電話番号の前に「+」が表示されます）

2 **を押す**

音声電話がかかります。

- テレビ電話：テレビ電話をかけます。
- 音声メモが記録されているリダイヤルは、決定を押すと再生する音声メモの選択画面が表示されます。
- 音声メモまたは伝言メモが記録されている着信履歴は、決定を押すとそれぞれのメモを再生します。

■ iモードメールを作成する：メニュー▶「0 メールを作る」を押す

リダイヤル／着信履歴の電話番号をメールアドレスとともに電話帳に登録している場合は、その1件目のメールアドレスを宛先にしたメール作成画面が表示されます。→p.214、p.217

かかってきた電話に出なかったとき（不在着信）

かかってきた電話に出なかったときは、待受画面に新着情報（→p.27）と ◧« が表示されます。
また、FOMA端末を閉じているときは、背面ディスプレイに 着信あり が表示されます。

お知らせ

- 無音着信時間設定（→p.140）で設定した無音着信時間内の不在着信も含め、すべての着信履歴を表示する場合は、着信履歴の表示画面で[メニュー]▶「[＊]表示切替」▶「[1]すべての着信」を押します。通常の着信履歴表示に戻す場合は、[メニュー]▶「[＊]表示切替」▶「[2]呼出あり着信」を押します。
- 無音着信時間設定で設定した無音着信時間内の不在着信のみが着信履歴に記録されている場合、待受画面で[着信履歴]を押すと、表示されていない不在着信履歴がある旨の確認画面が表示されます。「[1]表示する」を押すと、無音着信時間内の不在着信履歴が表示されます。
- 会社などでダイヤルインをご利用の相手からの着信の場合、相手のダイヤルイン番号と異なった番号が表示される場合があります（ダイヤルインとは、1本の回線で着信用の電話番号を複数持てるサービスです）。
- 通話中に音声電話とテレビ電話が切り替わった場合、着信履歴には着信時の種別（音声電話またはテレビ電話）が記録されます。
- 音声電話中にリダイヤル／着信履歴を表示する場合は、[メニュー]▶「[3]着信履歴を見る」または「[4]リダイヤルを見る」を押します。

リダイヤル／着信履歴の削除

1件ずつ、またはすべてのリダイヤル／着信履歴をまとめて削除できます。伝言メモまたは音声メモを同時に削除することもできます。

〈例〉1件削除する

1 **待受画面で[リダイヤル]（リダイヤル）または[着信履歴]（着信履歴）▶[メール][電話帳]を押して削除する相手を表示する**

2 **[メニュー]▶「[4]削除する」を押す**

削除するﾘﾀﾞｲﾔﾙを
選んでください

[1]選択1件
[2]全件
[3]選択1件とメモ
[4]全件とメモ

<リダイヤルの削除選択画面>

[1]**選択1件**:表示していた1件のリダイヤル／着信履歴を削除します。
[2]**全件**：リダイヤル／着信履歴を全件削除します。
[3]**選択1件とメモ**:表示していた1件のリダイヤル／着信履歴と、伝言メモまたは音声メモを削除します。
[4]**全件とメモ**：リダイヤル／着信履歴と、伝言メモや音声メモを全件削除します。

3 **「[1]選択1件」または「[3]選択1件とメモ」を押す**

削除するかどうかの確認画面が表示されます。

■ **全件削除する**:「[2]全件」または「[4]全件とメモ」▶端末暗証番号を入力▶[決定]を押す

4 **「[1]削除する」を押す**

削除した旨のメッセージが表示されます。[決定]を押すと次のリダイヤル／着信履歴の表示画面に戻ります。リダイヤル／着信履歴がない場合や、全件削除した場合は、待受画面に戻ります。

1回の通話ごとに発信者番号を通知／非通知にする

電話をかけるときに相手の電話番号の前に特定の番号を付けることで、自分の電話番号を相手に通知するか通知しないかを選択できます。

- 発信者番号はお客様の大切な情報です。通知する際には十分にご注意ください。
- 電話をかけるときの発信者番号の通知／非通知をあらかじめ一括して設定できます。→p.50
- 番号通知方法の優先順位→p.51

「186」／「184」を付けた電話のかけかた

発信者番号を通知する

1 待受画面で 1 8 6 ▶電話番号を入力▶ [を押す

音声電話がかかります。

- テレビ電話：テレビ電話をかけます。

発信者番号を通知しない

1 待受画面で 1 8 4 ▶電話番号を入力▶ [を押す

音声電話がかかります。

- テレビ電話：テレビ電話をかけます。

サブメニューからの通知／非通知の選択

電話番号を入力してから発信者番号の通知／非通知を選択します。リダイヤルや着信履歴などから電話をかけるときにも選択できます。

1 待受画面で電話番号を入力▶ メニュー を押す

1 電話帳に登録
2 電話帳に追加
3 通知で音声電話
4 非通知音声電話
5 通知でﾃﾚﾋﾞ電話
6 非通知ﾃﾚﾋﾞ電話
7 ワールドコール
8 簡易サイト接続

2 「3 通知で音声電話」～「6 非通知テレビ電話」のいずれかを押す

音声電話またはテレビ電話がかかります。

お知らせ

- 電話をかけたとき、発信者番号の通知をお願いする旨のガイダンスが聞こえた場合は、発信者番号を通知しておかけ直しください。
- 相手の電話番号に「186」または「184」を付けて発信した場合、リダイヤルにはその番号がついた電話番号が記録されます。

プッシュ信号（DTMF）を送出する

FOMA端末からプッシュ信号（DTMF）を送って、ご自宅の留守番電話や各種のプッシュホンサービスなどを操作できます。また、音声電話をかけるときにポーズやタイマーを入力することにより、番号を区切って送出することができます。

- ポーズとタイマーは音声電話にのみ有効です。

通話中にプッシュ信号（DTMF）を送出する

1 通話中に 0 ～ 9 、 ＊ 、 # を押す

ポーズ「P」を入力する

ご自宅の留守番電話の操作やチケットの予約などに利用します。

1 待受画面で電話番号を入力▶[＊]を1秒以上▶送出する番号を入力▶[発信]を押す

電話がつながった後に[決定]を押すと、ポーズ（「P」）以降の番号が送出されます。

タイマー「T」を入力する

外線番号に続けて内線番号を入力するときなどに利用します。外線番号と内線番号の間にタイマー（「T」）を入力することによって、外線番号に続いて一定の秒数が経過した後に内線番号が発信されます。

1 待受画面で電話番号を入力▶[#]を1秒以上▶内線番号を入力▶[発信]を押す

- タイマー（「T」）1つにつき、約1秒の間隔をとります。
- タイマー（「T」）は連続して入力できます。

お知らせ

- プッシュ信号（DTMF）は、受信側の機器によっては受信できない場合があります。
- 通話を保留にして別の相手にポーズ（「P」）、タイマー（「T」）を入力して電話をかけることはできません。

WORLD CALL

国際電話を利用する

ドコモの国際電話サービス「WORLD CALL」

WORLD CALLはドコモの携帯電話からご利用いただける国際電話サービスです。

- 海外利用について→p.430
- 通話方法

> [0][1][0]▶国番号▶地域番号（市外局番）▶電話番号を入力▶[発信]を押す
> ※ 上記の電話番号をFOMA端末の電話帳に登録できます。
> ※ 地域番号（市外局番）が「0」で始まる場合には「0」を除いて入力してください。ただし、イタリアの一般電話などにおかけになる場合は「0」が必要です。
> ※ 009130▶010▶国番号▶地域番号（市外局番）▶電話番号でもかけられます。

- 通話先は世界約240の国と地域です。
- 「WORLD CALL」の料金は毎月のFOMAサービスの通信料金と合わせてご請求します。
- 申込手数料・月額使用料はかかりません。
  ※ FOMAサービスをご契約のお客様は、ご契約時にあわせて「WORLD CALL」もご契約いただいています（ただし、不要のお申し出をされた方を除きます）。
- 一部ご利用になれない料金プランがあります。
- 詳細は取扱説明書裏面の「総合お問い合わせ先」までお問い合わせください。
  ※ ドコモ以外の国際電話サービス会社をご利用になる場合は、各国際電話サービス会社に直接お問い合わせください。

海外の特定3G携帯端末をご利用のお客様に対し、上記ダイヤル方法の後にテレビ電話モード（発信時にテレビ電話を押す）で発信すれば「国際テレビ電話」がご利用いただけます。

- 接続可能な国および通信事業者等の情報についてはドコモの『国際サービスホームページ』をご覧ください。
- 国際テレビ電話の接続先の端末により、FOMA端末に表示される相手側の画像が乱れたり、接続できない場合があります。

サブメニューからの国際電話のかけかた

1 **待受画面で国番号▶地域番号（市外局番）▶電話番号を入力▶メニュー▶「7ワールドコール」を押す**

ダイヤル入力中
[ボタンで音声通話
テレビ電話 ボタンでテレビ電話
00913001
086XXXXXXXX

- 地域番号（市外局番）が「0」で始まる場合には「0」を除いて入力してください。ただし、イタリアの一般電話などにおかけになる場合は「0」が必要です。

2 **[を押す**

国際電話がかかります。

- テレビ電話：国際電話をテレビ電話でかけます。

「+」を入力する国際電話のかけかた

「+」を入力すると、国際ダイヤルアシスト設定の国際プレフィックス自動変換機能で設定した国際アクセス番号に変換されます。

- 国際ダイヤルアシスト設定の国際プレフィックス自動変換機能のプレフィックス変換を「自動変換する」に設定する必要があります。

1 **待受画面で0わをん を1秒以上▶国番号▶地域番号（市外局番）▶電話番号を入力する**

- 0わをん を1秒以上押すと「+」が入力されます。
- 地域番号（市外局番）が「0」で始まる場合には「0」を除いて入力してください。ただし、イタリアの一般電話などにおかけになる場合は「0」が必要です。

2 **[を押す**

電話をかけるかどうかの確認画面が表示されます。

- テレビ電話：国際電話をテレビ電話でかけます。

3 **「1電話をかける」を押す**

国際電話／国際テレビ電話がかかります。

- 「2元番号でかける」：国際アクセス番号を解除して発信します。
- 「3電話をかけない」：電話をかけることを中止します。

お知らせ

- 国番号を含めた電話番号を電話帳に登録して国際電話をかける→p.97「発信方法を選択した電話のかけかた」

国際ダイヤルアシスト設定

国際ダイヤルアシストを設定する

国番号自動変換機能

海外から電話をかけるときに国番号を付加するかどうかを設定します。

1 **待受画面で[メニュー]▶「[#]詳細な機能・設定」▶「[1]ネットワークサービスを使う」▶「[9]国際ローミングを設定する」▶「[2]国際ダイヤルアシストを設定する」▶「[1]自動国番号変換機能を設定する」を押す**

国際電話番号の自動変換機能の設定画面が表示されます。

2 **「[1]国番号変換」を押す**

国番号を自動変換するかどうかの確認画面が表示されます。

3 **「[1]自動変換する」または「[2]自動変換しない」を押す**

- 「[1]自動変換する」：自動変換する国番号の選択画面が表示されます。
- 「[2]自動変換しない」：国際電話番号の自動変換機能の設定画面に戻ります。操作5に進みます。

4 **国番号を選択▶[決定]を押す**

国際電話番号の自動変換機能の設定画面に戻ります。

5 **[電話帳]を押す**

国番号の自動変換機能を設定／解除した旨のメッセージが表示されます。[決定]を押すとメニュー画面に戻ります。

国際プレフィックス自動変換機能

「+」を入力して国際アクセス番号を自動変換するかどうかを設定します。

1 **待受画面で[メニュー]▶「[#]詳細な機能・設定」▶「[1]ネットワークサービスを使う」▶「[9]国際ローミングを設定する」▶「[2]国際ダイヤルアシストを設定する」▶「[2]自動プレフィックス変換を設定する」を押す**

国際電話番号の自動変換機能の設定画面が表示されます。

2 **「[1]プレフィックス変換」を押す**

国際プレフィックスを自動変換するかどうかの確認画面が表示されます。

3 **「[1]自動変換する」または「[2]自動変換しない」を押す**

- 「[1]自動変換する」：自動変換する国際プレフィックスの選択画面が表示されます。
- 「[2]自動変換しない」：国際電話番号の自動変換機能の設定画面に戻ります。操作5に進みます。

4 **国際プレフィックスを選択▶[決定]を押す**

国際電話番号の自動変換機能の設定画面に戻ります。

5 **[電話帳]を押す**

国際プレフィックスの自動変換機能を設定／解除した旨のメッセージが表示されます。[決定]を押すとメニュー画面に戻ります。

国番号を編集する

海外から国際電話をかけるときに必要な国番号を最大22件登録できます。

1 待受画面で[メニュー]▶「[#]詳細な機能・設定」▶「[1]ネットワークサービスを使う」▶「[9]国際ローミングを設定する」▶「[2]国際ダイヤルアシストを設定する」▶「[3]国番号を設定する」を押す

国番号の選択画面が表示されます。

2 編集する国番号を選択▶[決定]を押す

国名称の入力画面が表示されます。

■ **国番号を削除する：削除する国番号を選択▶[メニュー]▶「[2]削除する」▶「[1]削除する」を押す**

国番号を削除した旨のメッセージが表示されます。

3 国名称を編集▶[決定]を押す

国番号の入力画面が表示されます。

● 全角8文字、半角16文字以内で入力します。

4 国番号を編集▶[決定]を押す

国番号を変更した旨のメッセージが表示されます。[決定]を押すと国番号の選択画面に戻ります。

● 最大5桁入力できます。

国際プレフィックスを登録する

国際電話をかけるときに電話番号の先頭に付加する国際アクセス番号を最大3件登録できます。

1 待受画面で[メニュー]▶「[#]詳細な機能・設定」▶「[1]ネットワークサービスを使う」▶「[9]国際ローミングを設定する」▶「[2]国際ダイヤルアシストを設定する」▶「[4]国際プレフィックスを設定する」を押す

国際プレフィックスの選択画面が表示されます。

2 編集する国際プレフィックスを選択▶[決定]を押す

国際プレフィックスの名称の入力画面が表示されます。

■ **国際プレフィックスを削除する：削除する国際プレフィックスを選択▶[メニュー]▶「[2]削除する」▶「[1]削除する」を押す**

国際プレフィックスを削除した旨のメッセージが表示されます。

3 名称を入力▶[決定]を押す

国際アクセス番号の入力画面が表示されます。

● 全角8文字、半角16文字以内で入力します。

4 国際アクセス番号を入力▶[決定]を押す

国際プレフィックスを変更した旨のメッセージが表示されます。[決定]を押すと国際プレフィックスの選択画面に戻ります。

● 最大10桁入力できます。

サブアドレスを指定して電話をかける

サブアドレスを指定して特定の電話機や通信機器を呼び出します。

- サブアドレスとは、同じ電話番号内にある複数の電話機や通信機器の中から、特定の機器を呼び出すときに使う番号です（ISDN回線で、サブアドレスが振られている機器を複数接続している場合など）。
  また、映像配信サービス「Vライブ」でコンテンツを選択するときにも利用します。

1 **待受画面で電話番号を入力▶[＊]（サブアドレスの区切り）▶サブアドレスを入力▶[通話]を押す**

音声電話がかかります。
- [テレビ電話]：テレビ電話をかけます。

お知らせ

- ポーズ（「P」）やタイマー（「T」）を入力した後に「＊」を入力した場合は、サブアドレスの区切りとしては認識されず、「＊」を含んだプッシュ信号（DTMF）として送出されます。

再接続アラーム

途切れた電話を再接続するときのアラームを設定する

トンネルやビルの陰などで電波状態が悪くて途切れた音声電話やテレビ電話を、電波状態がよくなったときに再接続するときのアラームを設定します。

- 電波が途切れている間は、相手は無音状態となります。
- 利用状態や電波状態により、再接続されるまでの時間は異なります。目安は最長10秒間です。
- 再接続されるまでの時間（最長10秒間）も通話料金がかかります。
- 利用状態や電波状態により、アラームが鳴らずに通話が切れてしまう場合があります。

1 **待受画面で[メニュー]▶「[#]詳細な機能・設定」▶「[4]音を設定する」▶「[5]再接続した時の音を選ぶ」を押す**

アラーム音の選択画面が表示されます。

2 **「[1]高音で鳴らす」～「[3]鳴らさない」のいずれかを押す**

アラーム音を設定した旨のメッセージが表示されます。[決定]を押すとメニュー画面に戻ります。

車載ハンズフリー

車の中で手を使わずに話す

FOMA端末を車載ハンズフリーキット 01（別売）やカーナビなどのハンズフリー対応機器と接続することにより、ハンズフリー対応機器から音声電話の発着信などの操作ができます。

- ハンズフリー対応機器の操作については、各ハンズフリー対応機器の取扱説明書をご覧ください。なお、車載ハンズフリーキット01（別売）をご利用時には、FOMA車載ハンズフリー接続ケーブル01（別売）が必要です。

お知らせ

- ハンズフリー対応機器から音を鳴らす設定にしている場合、FOMA端末でのマナーモードや着信音設定に関わらず、電話がかかってくるとハンズフリー対応機器から着信音が鳴ります。
- ハンズフリー対応機器から音を鳴らす設定にしている場合は、FOMA端末を閉じても通話は継続されます。
- 伝言メモ設定中の着信動作は、伝言メモの設定に従います。
- ハンズフリー対応機器からテレビ電話をかけたり受けたりした場合、相手にはカメラオフ画像（→p.80）が送信されます。

電話／テレビ電話を受ける

● FOMA 端末を開くだけでは電話に出ることはできません。

1 **電話がかかってくる**

着信音が鳴り、背面ディスプレイの照明が点灯します。音声電話の場合は[[ ]が、テレビ電話の場合は[テレビ電話]と[[ ]が点滅します。

着信しています
[[ ]ボタンで通話
090XXXXXXXX

● FOMA端末を閉じているときは、背面ディスプレイに「電話です」または「テレビ電話」が表示されます。

■ **相手の電話番号が通知されたとき**

相手の電話番号を電話帳に登録していない場合は、相手の電話番号が表示されます。

相手の電話番号を電話帳に登録している場合は、相手の名前と電話番号が表示されます。→p.86

ワンタッチダイヤルに登録していて、着信画像を設定している場合は、その画像が表示されます。→p.101、p.104

• 背面ディスプレイにも電話番号や電話帳に登録している名前が表示されます。→p.119

■ **相手の電話番号が通知されなかったとき**

発信者番号非通知理由が表示されます。

着信しています
[[ ]ボタンで通話
非通知設定

非通知理由	意　味
非通知設定	発信者の意思により発信者番号を通知しないで発信した場合
公衆電話	公衆電話などから発信した場合
通知不可能	海外や一般電話から各種転送サービスを経由した場合など、発信者番号を通知できない状態で発信した場合（経由する電話会社によっては通知される場合もあります）

• 音声電話がかかってきた場合、非通知理由別着信設定で設定した着信動作が優先されます。→p.139

• 背面ディスプレイにも発信者番号非通知理由が表示されます。→p.119

2 **着信方法を選択する**

■ **音声電話を受ける**：[[ ]を押す

• ディスプレイには通話時間が表示されます。

■ **テレビ電話を受ける**：[テレビ電話]を押す

テレビ電話接続中
[テレビ電話]自画像なしで通話

• [[ ]：カメラオフ画像でテレビ電話を受けます。→p.80

- マナーモード中は、スピーカーホンに切り替えるかどうかの確認画面が表示されます。「1切替える」を押すと、スピーカーからの通話になります。「2切替えない」を押すと、受話口からの通話になります。

3 **お話しが終わったら[終話]を押す**

- FOMA 端末を閉じても電話を切ることができます。

お知らせ

- FOMA端末から転送された電話がかかってきた場合は、着信画面に転送元の電話番号が「転：XXX…」のように表示されます。転送元の電話番号を電話帳に登録している場合は名前が表示されます。ただし、転送元によっては、転送元の電話番号や名前が表示されないことがあります。着信音に映像のある動画／ｉモーションを設定している場合や、ワンタッチダイヤルに発信元の電話番号を登録していて、着信画像を設定している場合は、転送元の電話番号は表示されません。
- 音声電話中にメールを受信すると受信中に[メールアイコン]が、メッセージR/Fを受信すると受信中にR/Fがディスプレイ上部に点滅表示されます。メールの受信が完了した場合は、ディスプレイ上部に[アイコン]が表示されます。電話を切って待受画面に戻ると、メールを受信した場合は新着情報と[メールアイコン]が、メッセージR/Fを受信した場合はR/Fが表示されます。→p.27
- 国際電話を着信した場合、発信者番号の先頭に「+」が表示されます。

着信中のサブメニューからの操作

音声電話またはテレビ電話の着信中に、サブメニュー（→p.34）から次の操作ができます。

サブメニュー	説　明
1伝言メモ	伝言メモで応対します（クイック伝言メモ）。
2留守番電話※1	留守番電話サービスセンターに接続します。
3転送でんわ※2	転送登録先へ転送します。
4着信拒否	電話が切れます。

※1　留守番電話サービスをご契約いただいている場合に有効です。
※2　転送でんわサービスをご契約いただき、転送先を登録している場合に有効です。

音声電話中に「ププ…ププ…」という音（通話中着信音）が聞こえたとき

留守番電話サービス、キャッチホン、転送でんわサービスのいずれかをご契約いただき、通話中着信動作選択（→p.422）を「通常着信する」に設定すると、音声電話中に別の音声電話がかかってきたときに「ププ…ププ…」という通話中着信音が聞こえます。

- 留守番電話サービス、キャッチホン、転送でんわサービスを開始にしている場合は各サービスが動作します。
- 着信中のサブメニューから操作できます。ただし、伝言メモは選択できません。

音声電話／テレビ電話への切り替えに応じる

音声電話をかけてきた相手がテレビ電話に切り替えたときや、テレビ電話をかけてきた相手が音声電話に切り替えたときには、対応する操作が必要です。

● 切り替えは、電話をかけた側の端末からのみ操作できます。
● テレビ電話や音声電話への切り替えに応じるには、テレビ電話切替通知を開始しておく必要があります。→p.84

テレビ電話への切り替えに応じる

1 音声電話中にテレビ電話への切り替え要求を受ける

切替中画面が表示され、電話を切り替える旨のガイダンスが流れます。自分の画像を相手に表示するかどうかの確認画面が表示されます。

2 「1表示する」を押す

テレビ電話に切り替わり、相手にカメラ映像が送信されます。

● 「2表示しない」:相手にカメラオフ画像（→p.80）が送信されます。

3 画面に相手の映像が表示されたら、通話する

● テレビ電話に切り替わると、スピーカーホン機能を使用した通話になります。

音声電話への切り替えに応じる

1 テレビ電話中に音声電話への切り替え要求を受ける

切替中画面が表示され、電話を切り替える旨のガイダンスが流れます。

2 通話中画面が表示されたら、通話する

● 音声電話に切り替わると、スピーカーホン機能は解除されます。

オートスピーカーホン機能

自動で電話を受ける

音声電話がかかってきて着信音が約4秒間鳴った後、自動で電話を受けるかどうかを設定します。電話を受けるとスピーカーから相手の声が聞こえます。

● 本機能を設定すると、音量が大きくなりますので、FOMA端末を耳から離して使用してください。
● スピーカーホン機能を使用するときは、FOMA端末から約50cm以内の距離でお話しください。
● 公共モード中またはマナーモード中は、本機能は動作しません。→p.73、p.117
● 本機能は音声電話にのみ有効です。

1 待受画面でメニュー▶「#詳細な機能・設定」▶「3電話・電話帳の詳細を設定する」▶「8オートスピーカーホンを設定する」を押す

オートスピーカーホンを設定するかどうかの確認画面が表示されます。

● マナーモード中は、マナーモードを解除するかどうかの確認画面が表示されます。本機能を設定するときは「1解除する」を押します。

2 「1設定する」または「2解除する」を押す

オートスピーカーホンを設定／解除した旨のメッセージが表示されます。決定を押すとメニュー画面に戻ります。

● オートスピーカーホンの設定中はディスプレイ上部にが表示されます。

お知らせ

- 電話を受けた後の動作は、スピーカーホン機能を使用した通話と同様です。→p.58
- 次の場合は、本機能を設定していても動作しません。
  - 自動的に電話がつながる前に[[ ]を押して電話を受けた場合
  - 通話中に電話がかかってきた場合
  - FOMA端末を閉じている場合
  - 平型スイッチ付イヤホンマイク（別売）や外部機器などを接続中の場合
- 本機能と無音着信時間設定（→p.140）を同時に設定している場合、無音着信時間を4秒以上に設定すると、本機能は動作しません。
- 伝言メモ、留守番電話サービス、転送でんわサービスと本機能を同時に設定している場合、設定した呼出時間により、優先順位が異なります。
- 電話帳指定着信拒否／許可（→p.137）、非通知理由別着信設定（→p.139）、登録外着信拒否（→p.141）を設定中は、着信拒否の対象に設定している相手から電話がかかってくると、各機能が優先して動作します。

受話音量

通話中に相手の声の音量を調節する

- 通話中に変更した受話音量は、電源を切っても保持されます。
- 待受中の音量設定→p.115

1 通話中に[✉][iα]または[+][−]を押す

相手の声の音量を
調節してください

大 +
小 −
音量4

- テレビ電話中の音量調節は[+][−]のみ有効です。

2 [✉][iα][←][→]または[+][−]を押して音量を調節する

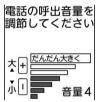
- ボタン操作後しばらくすると音量が設定され、通話中の画面に戻ります。音声電話では[決定]、[戻る]、[⌒]のいずれか、テレビ電話では[戻る]を押しても同様の動作となります。

電話着信音量

着信中に着信音の音量を調節する

- 着信中に変更した着信音量は、電話を切ると元に戻ります。
- 着信中は「だんだん大きく」は設定できません。
- 待受中の音量設定→p.114

1 着信中に[✉][iα]または[+][−]を押す

- 音量1のときに[iα]／[←]／[−]:「消音」に設定します。

2 [✉][iα][←][→]または[+][−]を押して音量を調節する

応答保留

すぐに電話に出られないとき保留にする

● 応答保留中でも相手側には通話料金がかかります。

1 着信中に⌒を押す

応答保留になります。相手には「ただいま電話に出ることができません。そのままお待ちになるか、しばらくたってからおかけ直しください。」という応答保留ガイダンスが流れます。

● テレビ電話の場合は、相手には応答保留ガイダンスとともにテレビ電話応答保留画像が送信されます。

＜音声電話応答保留中＞

＜テレビ電話応答保留中＞

● 応答保留中にFOMA端末を閉じると、背面ディスプレイに「応答保留中」が表示されます。

● 応答保留中に⌒を押すか、相手が電話を切ると、通話は切れます。

2 電話に出られる状態になったら[を押す

● テレビ電話の場合はテレビ電話を押します。[を押すと、相手にはカメラオフ画像（→p.80）が送信されます。

お知らせ

● オートスピーカーホン機能を設定中は、着信してからオートスピーカーホン機能が動作するまでの約4秒間に応答保留の操作を行ってください。→p.71

公共モードを利用する

公共モード（ドライブモード）を起動する＜公共モード（ドライブモード）＞

公共モードは、公共性の高い場所でのマナーを重視した自動応答サービスです。公共モードを設定すると、電話をかけてきた相手に運転中もしくは通話を控える必要のあるような場所（電車、バス、映画館など）にいるため、電話に出られない旨のガイダンスが流れ、電話が切れます。

● 公共モードの設定や解除は、待受中のみできます。ディスプレイ上部に 圏外 が表示されているときでも可能です。

● 公共モード中でも、通常どおり電話をかけることができます。

● マナーモード中、伝言メモ設定中でも、公共モードが優先されます。

● 緊急通報（110番、119番、118番）をすると、本機能は解除されます。

1 待受画面で＊を1秒以上押す

公共モード（ドライブモード）を設定した旨のメッセージが表示されます。

■ 公共モードを解除する：**公共モード中に待受画面で＊を1秒以上押す**

公共モードを解除した旨のメッセージが表示されます。

電話／テレビ電話

2 決定を押す

- 本機能を設定中は待受画面に🚗が表示されます。FOMA端末を閉じているときは、背面ディスプレイに🚗が表示されます。
- 着信時に「ただいま運転中もしくは携帯電話の利用を控えなければならない場所にいるため、電話に出られません。のちほどおかけ直しください。」というガイダンスが流れます。

公共モード（ドライブモード）を設定すると

音声電話がかかってきたときは相手に運転中もしくは携帯電話の利用を控えなければならない場所にいる旨のガイダンスが流れ、電話が切れます。テレビ電話がかかってきたときは相手に公共モードの映像ガイダンスが表示され、電話が切れます。いずれの場合も、お客様のFOMA端末は着信動作を行わず、待受画面には新着情報（→p.27）が表示され、着信履歴に記録されます。

- 次の音が鳴りません。また、バイブレータや背面ディスプレイの照明も動作しません。
  - 電話および64Kデータ通信の着信音
  - メールやメッセージR/Fの着信音
  - 目覚まし音や予定の通知音声
  - ｉアプリの音
  - 待受中の電池残量警告音※
  - 充電開始／完了音
  - GPSの位置提供中の音
  - バーコード読み取りの確認音
  - 音声入力メールのソフトの発信音

  ※ FOMA端末を閉じているとき、背面ディスプレイに「電池残量なし」と表示もされません。
- FOMA端末を閉じている場合に、電話の着信、メールやメッセージR/Fを受信したときなどは、背面ディスプレイに新着情報が表示されます。
- GPSの位置提供の要求があっても、サービスごとの利用設定を「毎回確認」に設定している場合は、位置情報を送信しません。
- 開閉ロックを設定し、FOMA端末を閉じても背面ディスプレイの照明は動作しません。
- ｉチャネルのテロップは表示されません。

公共モード（電源OFF）を設定する<公共モード（電源OFF）>

公共モード（電源OFF）は、公共性の高い場所でのマナーを重視した自動応答サービスです。公共モード（電源OFF）を設定すると、電源を切っている間の着信時に、電話をかけてきた相手に電源を切る必要がある場所（病院、飛行機、電車の優先席付近など）にいるため電話に出られない旨のガイダンスが流れ、電話が切れます。

1 待受画面で＊ 2 5 2 5 1 ▶ [を押す

公共モード（電源OFF）が設定されます（待受画面上の変化はありません）。
公共モード（電源OFF）設定後、電源を切っている間の着信時に「ただいま携帯電話の電源を切る必要がある場所にいるため、電話に出られません。のちほどおかけ直しください。」というガイダンスが流れます。

■ **公共モードを解除する：公共モード中に待受画面で＊ 2 5 2 5 0 ▶ [を押す**
公共モードが解除されます。

■ **公共モードの設定内容を確認する：待受画面で＊ 2 5 2 5 9 ▶ [を押す**
現在の設定内容のガイダンスが流れます。

公共モード（電源OFF）を設定すると

音声電話がかかってきたときは、相手に電源を切る必要がある場所にいる旨のガイダンスが流れ、電話が切れます。テレビ電話がかかってきたときは、相手に公共モードの映像ガイダンスが表示され、電話が切れます。

- 「＊25250」をダイヤルして公共モード（電源OFF）を解除するまで設定は継続されます。電源を入れるだけでは設定は解除されません。
- サービスエリア外または電波が届かない所にいる場合も、公共モード（電源OFF）のガイダンスが流れます。

ネットワークサービスと公共モード（ドライブモード／電源OFF）中の着信動作

サービス名	電話を着信した場合	テレビ電話を着信した場合
留守番電話サービス	相手に公共モードのガイダンスが流れ、留守番電話サービスセンターに接続されます。※	相手に公共モードの映像ガイダンスは表示されず、留守番電話サービスセンターに接続されます。
転送でんわサービス	相手に公共モードのガイダンスが流れ、転送先に転送されます。※ 相手に流れるガイダンスの有無は、転送でんわサービスの設定に従います。	相手に公共モードの映像ガイダンスは表示されず、転送先に転送されます。 転送先がテレビ電話に対応していない場合は切断されます。
迷惑電話ストップサービス	相手を着信拒否に登録している場合、相手に着信拒否のガイダンスが流れ切断されます。	相手を着信拒否に登録している場合、相手に着信拒否の映像ガイダンスが表示され、切断されます。
番号通知お願いサービス	• 相手が電話番号を通知していない場合は、相手に番号通知お願いのガイダンスが流れ切断されます。 • 相手が電話番号を通知している場合は、相手に公共モードのガイダンスが流れ切断されます。	• 相手が電話番号を通知していない場合は、相手に番号通知お願いの映像ガイダンスが表示され切断されます。 • 相手が電話番号を通知している場合は、相手に公共モードの映像ガイダンスが表示され切断されます。

※ 呼出時間が「0秒」の場合は公共モードのガイダンスは流れず、着信履歴には記録されません。

伝言メモ

電話に出られないときに用件を録音／録画する

伝言メモを設定しておくと、電話に出られないときに応答メッセージを再生し、音声電話がかかってきた場合は相手の用件を録音します。テレビ電話がかかってきた場合は録画します。

● 音声電話とテレビ電話を合わせて最大４件、1件につき約30秒間録音／録画できます。

伝言メモの設定

1 待受画面で[メニュー]▶「[1]電話帳・伝言メモ・音声メモを使う」▶「[5]伝言メモを使う」▶「[2]伝言メモを設定する」▶「[1]開始する」を押す

伝言メモを開始した旨のメッセージが表示されます。[決定]を押すとメニュー画面に戻ります。

● 伝言メモ設定中は待受画面に[oo]（黒）が表示されます。

■ 伝言メモを停止する：**伝言メモ設定中に待受画面で[メニュー]▶「[1]電話帳・伝言メモ・音声メモを使う」▶「[5]伝言メモを使う」▶「[2]伝言メモを設定する」▶「[2]停止する」を押す**

伝言メモを停止した旨のメッセージが表示されます。

伝言メモを設定したときは

● 伝言メモを設定していても電話を受けられます。

1 **電話がかかってくる**

呼出時間設定に従って着信音が鳴った後、伝言メモ応答中の画面が表示され、相手には伝言メモ応答メッセージが流れます。

＜音声電話伝言メモ応答中＞

＜テレビ電話伝言メモ応答中＞

● FOMA端末を閉じているときは、背面ディスプレイに「伝言メモ起動中」または「テレビ電話伝言メモ中」が表示されます。

2 **相手のメッセージが録音または録画される**

録音終了までの目安が表示されます。

＜音声電話伝言メモ録音中＞

＜テレビ電話伝言メモ録画中＞

● 開始時と終了時に相手には「ピーッ」と音が鳴ります。また、開始時から約25秒後に、終了予告音（ピピッ）が鳴ります。

3 **録音または録画が終了すると、電話が切れる**

伝言メモが録音または録画されると、待受画面に新着情報（→p.27）と 📼 が表示されます。

● FOMA端末を閉じているときは、背面ディスプレイに 伝言あり が表示されます。

お知らせ

- 伝言メモ応答中、伝言メモ録音または録画中でも電話に出ることができます。音声電話の場合は[ ]を押します。テレビ電話の場合は[テレビ電話]を押すと相手にカメラ映像を、[ ]を押すとカメラオフ画像（→p.80）を送信します。音声電話の場合は、電話を受けるまでの録音内容は音声メモ（→p.385）として記録されます。
- FOMA端末の電源が入っていないときや圏外にいるときは、伝言メモ機能は動作しません。留守番電話サービスをご利用ください。
- 伝言メモが4件録音または録画されると、待受画面に[oo]（赤）が表示され伝言メモは動作しません。不要な伝言メモを削除してください。留守番電話サービスまたは転送でんわサービスを開始に設定している場合は、各サービスが動作します。
- 伝言メモが録音または録画された場合でも、着信履歴に記録されます。

録音または録画開始までの時間設定<呼出時間設定>

電話がかかってきてから応答メッセージが流れるまでの時間を設定します。

- お買い上げ時は「13秒」に設定されています。

1 **待受画面で[メニュー]▶「[1]電話帳・伝言メモ・音声メモを使う」▶「[5]伝言メモを使う」▶「[2]伝言メモを設定する」▶「[3]呼出時間設定」を押す**

呼出時間の設定画面が表示されます。

2 **呼出時間を入力▶[決定]を押す**

呼出時間を設定した旨のメッセージが表示されます。[決定]を押すとメニュー画面に戻ります。

- 0～120秒の間で設定します。

お知らせ

- オート着信機能設定（→p.401）、留守番電話サービスまたは転送でんわサービスと本機能を同時に設定している場合、設定した呼出時間により、優先順位が異なります。伝言メモを優先させるには、伝言メモの呼出時間を各サービスの呼出時間設定よりも短く設定してください。ただし、電波状態によっては伝言メモが優先されない場合があります。
- オート着信機能設定の応答時間と本機能の呼出時間を同じ時間に設定できません。
- オートスピーカーホン機能（→p.71）と本機能を同時に設定している場合、本機能の呼出時間を3秒以下に設定していると本機能が動作します。
- 無音着信時間の設定に関わらず、着信した時点から伝言メモの呼出時間がカウントされます。→p.140

伝言メモ応答メッセージの選択<伝言メモメッセージ選択>

- 応答メッセージは、次の3種類から選択できます。

種　類	内　容
[1]標準	ただいま、電話に出ることができません。「ピー」という発信音の後に、30秒以内でメッセージをお話しください。
[2]会議中用	会議中のため、電話に出ることができません。「ピー」という発信音の後に、30秒以内でメッセージをお話しください。
[3]移動中用	移動中のため、電話に出ることができません。「ピー」という発信音の後に、30秒以内でメッセージをお話しください。

1 待受画面で［メニュー］▶「1電話帳・伝言メモ・音声メモを使う」▶「5伝言メモを使う」▶「3伝言メモの応答メッセージを選ぶ」を押す

応答メッセージの選択画面が表示されます。

- ［電話帳］：応答メッセージを再生します。
- 応答メッセージ再生中に［メール］［iモード］／［+］［−］：
  再生中の応答メッセージの音量を調節します。
- 応答メッセージ再生中に［［］：
  受話口からの再生とスピーカーホン機能を使用した再生を切り替えます。

2 「1標準」～「3移動中用」のいずれかを押す

伝言メッセージを設定した旨のメッセージが表示されます。［決定］を押すとメニュー画面に戻ります。

クイック伝言メモ

着信中の電話に出られないときに用件を録音／録画する

伝言メモが停止中でも、着信中に操作を行うと、その着信に限り伝言メモを動作させることができます。

- この操作は、伝言メモを設定するものではありません。

1 着信中に［メニュー］▶「1伝言メモ」を押す

伝言メモ応答中の画面が表示され、相手のメッセージが録音または録画されます。

お知らせ

- 伝言メモがすでに4件録音または録画されている場合は、本機能を使用できません。不要な伝言メモを削除してください。

伝言メモを再生／削除する

伝言メモの再生

1 待受画面で［メニュー］▶「1電話帳・伝言メモ・音声メモを使う」▶「5伝言メモを使う」▶「1伝言メモを再生する」を押す

2 ［決定］を押す

①伝言メモの番号
②伝言メモを録音または録画した日時（海外滞在時は滞在地の日時）
③着信の種別（音声電話／テレビ電話）
④海外滞在時に電話がかかってきた場合（GMT+09:00を除きます。着信日時が記録されていないときなど、表示されない場合があります）
⑤国際電話がかかってきた場合
⑥電話帳に登録している場合は名前→p.86
発信者番号が非通知の場合は発信者番号非通知理由→p.69
⑦電話番号（国際電話の場合は、電話番号の前に「+」が表示されます）

3 **[メール][iアプリ]を押して再生する伝言メモを表示▶[決定]を押す**

伝言メモ再生中

携帯花子
090XXXXXXXX
音量4

時間経過の目安が表示されます。

<音声電話伝言メモ再生中>

伝言メモ再生中

携帯花子
090XXXXXXXX
音量4

時間経過の目安が表示されます。

<テレビ電話伝言メモ再生中>

- [決定]：再生を途中で停止します。
- [メール][iアプリ]／[+][−]：音量を調節します。
- [[ ]：受話口からの再生とスピーカーホン機能を使用した再生を切り替えます（音声電話伝言メモ再生中のみ）。
- テレビ電話伝言メモ再生中はスピーカーホン機能を使用して再生されます。受話口からの再生への切り替えはできません。
- マナーモード中にテレビ電話伝言メモを再生するときは、音声を再生するかどうかの確認画面が表示されます。「[1]再生する」を押すと、スピーカーホン機能を使用して再生されます。「[2]再生しない」を押すと、消音で再生されます。

再生が終了すると、伝言メモを削除するかどうかの確認画面が表示されます。

4 **「[1]削除する」または「[2]削除しない」を押す**

■ **削除する**：「[1]削除する」▶[決定]を押す
次の伝言メモの表示画面が表示されます。伝言メモがない場合はメニュー画面に戻ります。

■ **削除しない**：「[2]削除しない」を押す
伝言メモの表示画面に戻ります。

おしらせ

- 伝言メモの表示画面で[[ ]を押すと音声電話、[テレビ電話]を押すとテレビ電話をかけることができます。また、サブメニューから発信者番号の通知／非通知を選択して音声電話やテレビ電話をかけたり、電話帳に登録したりできます。→p.63、p.90

伝言メモの削除

1件ずつ、またはすべての伝言メモをまとめて削除できます。

〈例〉伝言メモを1件削除する

1 **待受画面で[メニュー]▶「[1]電話帳・伝言メモ・音声メモを使う」▶「[5]伝言メモを使う」▶「[1]伝言メモを再生する」▶[決定]▶[メール][iアプリ]を押して削除する伝言メモを表示する**

2 **[メニュー]▶「[4]削除する」▶「[1]選択1件」を押す**

伝言メモを削除するかどうかの確認画面が表示されます。

■ **伝言メモを全件削除する**：[メニュー]▶「[4]削除する」▶「[2]全件」▶暗証番号を入力▶[決定]を押す

3 **「[1]削除する」を押す**

削除した旨のメッセージが表示されます。[決定]を押すと次の伝言メモの表示画面に戻ります。伝言メモがない場合や、全件削除した場合は、メニュー画面に戻ります。

テレビ電話中に画面の設定などを変更する

カメラのオン／オフ切り替え

相手に送信する映像を、カメラで撮影中のカメラ映像とカメラオフ画像で切り替えます。自分の映像を相手に送信したくない場合などにカメラオフ画像を使います。

● カメラオフ画像を送信中は、外側と内側のカメラを切り替えることはできません。→p.80

1 通話中に[テレビ電話]を押す

カメラをオン／オフに切り替えた旨のメッセージが表示され、映像が切り替わります。

カメラオフ画像

● [テレビ電話]を押すたびにカメラ映像とカメラオフ画像が切り替わります。

● テレビ電話接続中も同様に操作できます。→p.57、p.69

外側カメラ／内側カメラの切り替え

● カメラオン（→p.80）の場合のみ切り替えることができます。

1 通話中に[カメラ]を押す

外側／内側のカメラを有効にした旨のメッセージが表示され、切り替わったカメラからの映像が表示されます。

● [カメラ]を押すたびに内側カメラと外側カメラが切り替わります。

接写撮影への切り替え

約7～10cmのごく近い距離の映像を送信するときは、接写撮影に切り替えて映像のピントを合わせます。

● 外側カメラ（→p.80）の場合のみ有効です。

1 通話中に[メニュー]▶「[4]接写撮影オン」を押す

接写モードにすると表示されます。

● 接写撮影を解除するときは、[メニュー]▶「[4]接写撮影オフ」を押します。

くっきり補正の設定

相手の映像の色や明るさのバランスを自動的に補正する機能を設定します。

● お買い上げ時は「くっきり補正オン」に設定されています。

1 通話中に[メニュー]▶「[7]くっきり補正オフ」または「[7]くっきり補正オン」を押す

くっきり補正オンにすると表示されます。

電話／テレビ電話

お知らせ

- くっきり補正オンにすると、相手の映像の色や明るさのバランスは補正されますが、動きのなめらかさが低下します。動きを優先したいときは、くっきり補正オフでご使用ください。
- くっきり補正をオンにしても、相手の環境によっては、状態があまり変化しなかったり、補正が極端に強調されたりする場合があります。

画面の表示方法の変更

- 通話終了後も設定内容は保持されます。

1 通話中に[メニュー]▶「[8]画面表示を設定」を押す

- 以降の操作→p.82「テレビ電話中の画面を設定する」操作2

画面の明るさ変更

- 通話終了後も設定内容は保持されます。

1 通話中に[メニュー]▶「[9]明るさを選ぶ」を押す

- 以降の操作→p.82「テレビ電話中の画面の明るさを設定する」操作2

親画面の大きさ変更

ディスプレイの中央に表示されている親画面の大きさを設定します。
- 通話終了後も設定内容は保持されます。

1 通話中に[メニュー]▶「[*]親画面サイズ変更」を押す

- 以降の操作→p.83「テレビ電話中の親画面の大きさを設定する」操作2

撮影映像の拡大

- カメラオン（→p.80）の場合のみ利用できます。

1 通話中に[メール][iα]を押す

表示倍率が変更されます。

カメラ映像が拡大します。

- [メール]を押すたびに次の順に切り替わります。[iα]を押すと逆の順で切り替わります。
  内側カメラ：標準→2倍
  外側カメラ：標準→2倍→4倍→6倍→8倍→10倍→12倍

テレビ電話画面表示設定

テレビ電話中の画面を設定する

テレビ電話中画面に表示される相手の映像と、自分のカメラ映像の表示方法を設定します。相手の映像のみ表示したり、自分のカメラ映像のみ表示したりすることもできます。

＜相手を大きく＞

＜自分を大きく＞

＜相手画像のみ＞

＜自画像のみ＞

1 待受画面で[メニュー]▶「[#]詳細な機能・設定」▶「[3]電話・電話帳の詳細を設定する」▶「[0]テレビ電話を設定する」▶「[1]テレビ電話画面の表示を設定する」を押す

画面表示の選択画面が表示されます。

2 「[1]相手を大きく」～「[4]自画像のみ」のいずれかを押す

画面表示を設定した旨のメッセージが表示されます。[決定]を押すとメニュー画面に戻ります。

テレビ電話画面明るさ設定

テレビ電話中の画面の明るさを設定する

1 待受画面で[メニュー]▶「[#]詳細な機能・設定」▶「[3]電話・電話帳の詳細を設定する」▶「[0]テレビ電話を設定する」▶「[2]テレビ電話画面の明るさを選ぶ」を押す

画面の明るさの選択画面が表示されます。

2 「[1]暗くする」～「[3]明るくする」のいずれかを押す

画面の明るさを設定した旨のメッセージが表示されます。[決定]を押すとメニュー画面に戻ります。

音声再発信設定

テレビ電話がつながらないときの動作を設定する

テレビ電話をかけたときに相手へのアクセスをより確実なものとするために、音声自動再発信があります。「かけ直す」に設定すると、テレビ電話をかけた相手がテレビ電話に対応していない端末の場合や、デュアルネットワークサービスでmovaサービスを利用中の場合などでテレビ電話を受けられないときなどに、自動的に音声電話に切り替えて再発信します。

- ISDN同期64Kのアクセスポイント、3G-324Mに対応していないISDNのテレビ電話など（2008年4月現在）、間違い電話をした場合は、このような動作にならないことがあります。通話料金が発生する場合もあるため、ご注意ください。

1 待受画面で[メニュー]▶「[#]詳細な機能・設定」▶「[3]電話・電話帳の詳細を設定する」▶「[0]テレビ電話を設定する」▶「[3]音声電話再発信を設定する」を押す

自動的に音声電話でかけ直すかどうかの確認画面が表示されます。

2 「1かけ直す」または「2かけ直さない」を押す

音声再発信動作を設定した旨のメッセージが表示されます。決定を押すとメニュー画面に戻ります。

発信時自画像送信設定

テレビ電話をかけたときに自画像を送るかどうかを設定する

本機能を「送らない」に設定した場合は、相手にはカメラオフ画像が送信されます。

1 待受画面でメニュー▶「#詳細な機能・設定」▶「3電話・電話帳の詳細を設定する」▶「0テレビ電話を設定する」▶「4発信時の自画像送信を設定する」を押す

自画像を送るかどうかの確認画面が表示されます。

2 「1送る」または「2送らない」を押す

自画像の送信方法を設定した旨のメッセージが表示されます。決定を押すとメニュー画面に戻ります。

テレビ電話画面大きさ設定

テレビ電話中の親画面の大きさを設定する

＜標準の大きさ＞

＜拡大して表示＞

1 待受画面でメニュー▶「#詳細な機能・設定」▶「3電話・電話帳の詳細を設定する」▶「0テレビ電話を設定する」▶「5テレビ電話画面の大きさを選ぶ」を押す

親画面の大きさの選択画面が表示されます。

2 「1標準の大きさ」または「2拡大して表示」を押す

親画面の大きさを設定した旨のメッセージが表示されます。決定を押すとメニュー画面に戻ります。

テレビ電話切替機能通知

音声電話とテレビ電話の切り替えについて設定する

テレビ電話と音声電話を切り替えて通話するには、あらかじめテレビ電話切替え通知を開始しておく必要があります。テレビ電話切替え通知とは、自分の端末がテレビ電話と音声電話を切り替えられる端末であることをネットワークに通知しておく機能です。

- 音声電話中やテレビ電話中は、テレビ電話切替え通知の設定を変更できません。
- 圏外では、テレビ電話切替え通知の操作はできません。電波状態のよい所で操作してください。
- お買い上げ時は、テレビ電話切替え通知は開始に設定されています。

1 **待受画面で[メニュー]▶「[#]詳細な機能・設定」▶「[3]電話・電話帳の詳細を設定する」▶「[0]テレビ電話を設定する」▶「[6]テレビ電話切替え通知を設定する」を押す**

テレビ電話切替え通知のメニュー画面が表示されます。

2 **「[1]テレビ電話切替え通知を開始する」▶「[1]開始する」を押す**

ネットワークに接続され、テレビ電話切替え通知を開始した旨のメッセージが表示されます。[決定]を押すとメニュー画面に戻ります。

■ テレビ電話切替え通知を停止する：「[2]テレビ電話切替え通知を停止する」▶「[1]停止する」を押す

ネットワークに接続され、テレビ電話切替え通知を停止した旨のメッセージが表示されます。

■ テレビ電話切替え通知の設定を確認する：「[3]テレビ電話切替え通知を確認する」▶「[1]確認する」を押す

ネットワークに接続され、設定内容が表示されます。

パケット通信中着信設定

iモード中にテレビ電話がかかってきたときの応対方法を設定する

1 **待受画面で[メニュー]▶「[#]詳細な機能・設定」▶「[3]電話・電話帳の詳細を設定する」▶「[0]テレビ電話を設定する」▶「[7]パケット通信中の着信動作を選ぶ」を押す**

ﾊﾟｹｯﾄ通信中に
ﾃﾚﾋﾞ電話着信が
あった時の動作を
選んでください

1ﾃﾚﾋﾞ電話優先
2ﾊﾟｹｯﾄ通信優先
3留守番電話
4電話を転送する

[1]**テレビ電話優先**：テレビ電話の着信画面が表示され、電話に出るとパケット通信が切断されます。

[2]**パケット通信優先**：パケット通信が継続され、着信履歴に記録されます。

[3]**留守番電話**：留守番電話サービスセンターに接続します。

[4]**電話を転送する**：転送先へ転送します。

2 **「[1]テレビ電話優先」～「[4]電話を転送する」のいずれかを押す**

パケット通信中の着信動作を設定した旨のメッセージが表示されます。[決定]を押すとメニュー画面に戻ります。

おしらせ

- 留守番電話サービスや転送でんわサービスを契約していない場合は、「留守番電話」または「電話を転送する」に設定しても「パケット通信優先」の動作となります。
- 留守番電話サービスまたは転送でんわサービスを開始に設定し、呼出時間を0秒に設定している場合は、本設定に関わらず各サービスが動作します。着信履歴には記録されません。

電話帳

FOMA端末で使用できる電話帳について

F884iでは、FOMA端末電話帳とFOMAカード電話帳を利用できます。

FOMA端末電話帳とFOMAカード電話帳の違い

● FOMAカード電話帳の電話帳データは、直接登録したり修正したりできません。FOMA端末電話帳に登録またはコピーして修正してからFOMAカード電話帳にコピーしてください。
→p.92

○：可　×：不可

項　目		FOMA端末電話帳	FOMAカード電話帳
電話帳登録件数		最大1000件※1	最大50件
登録内容	名前	○	○
	フリガナ	○	○
	電話番号	1人につき3件	1人につき1件
	メールアドレス	1人につき3件	1人につき1件
	郵便番号と住所	○	×
	グループ	「グループなし」および30グループ	「グループなし」および10グループ
	電話帳No	○	×
	位置情報※2	○	×

※1　実際に登録できる件数は、各電話帳データの登録内容により少なくなる場合があります。

※2　登録済みのFOMA端末電話帳の電話帳データに登録できます。

● お客様のFOMAカードを他のFOMA端末に挿入しても、FOMAカード内の電話帳データを利用できます。

名前の表示について

電話帳に登録した相手と電話の発着信を行うと、電話帳に登録している名前と電話番号が発信中、呼出中、着信中、通話中の画面に表示されます。電話帳に登録している名前は、発着信情報を記録しているリダイヤルや着信履歴、電話帳を検索せずに電話番号／メールアドレスを入力したとき、伝言メモ、音声メモ、受信メールの送信元、送信メール／未送信メールの宛先にも表示されます。

● FOMA端末電話帳に同じ電話番号／メールアドレスを異なる名前で登録している場合、最初に登録した電話帳の名前が表示されます。

● FOMA端末電話帳とFOMAカード電話帳に、同じ電話番号／メールアドレスを異なる名前で登録している場合、FOMA端末電話帳に登録している名前が表示されます。

● ワンタッチダイヤルに同じ電話番号／メールアドレスを異なる名前で登録している場合、最も小さいワンタッチダイヤル番号に登録した電話帳の名前が表示されます。

● メールを受信した際、送信元のメールアドレスと電話帳に登録しているメールアドレスが@以降のドメイン名も含めて完全に一致すると、電話帳に登録している名前が表示されます。ただし、送信元がｉモード端末の場合は、ドメイン名（@docomo.ne.jp）を省略してメールアドレスを電話帳に登録しても、電話帳に登録している名前が表示されます。メールアドレスが「携帯電話番号 @docomo.ne.jp」の場合は、「@docomo.ne.jp」を省略して電話帳に登録してください。

● SMSを受信した際、電話帳に登録している電話番号が一致した場合は電話帳に登録している名前が表示されます。

● 電話帳に登録している名前が長い場合、発着信時の画面などには、画面に表示できる文字数分のみ名前が表示されます。

● GPSの位置提供の要求を受けた場合、要求者IDが電話帳データと一致した場合は、要求元に電話帳に登録している名前が表示されます。

電話帳登録

FOMA端末電話帳に登録する

よく利用する電話番号やメールアドレスなどを、名前とともに登録できます。

- ドコモショップなどの窓口で機種変更時など新機種へ登録内容をコピーする際は、仕様によってはFOMA端末にコピーできない場合もありますので、あらかじめご了承ください。
- 最大登録件数→p.86

ステップ1　名前を登録する

相手の名前や会社名などを入力します。

- 全角16文字、半角32文字以内で入力します。

1 **待受画面で[メニュー]▶「[1]電話帳・伝言メモ・音声メモを使う」▶「[4]電話帳に登録する」を押す**

名前の入力画面が表示されます。

2 **名前を入力する**

電話帳登録
名前を
入力してください
携帯花子

3 **[決定]を押す**

フリガナの入力画面が表示されます。

ステップ2　フリガナを登録する

ステップ1で入力した名前のフリガナを確認して、必要に応じて修正します。

- 半角32文字以内で入力します。

1 **フリガナを確認する**

電話帳登録
携帯花子

フリガナを
入力してください
ｹｲﾀｲﾊﾅｺ

- フリガナは電話帳の検索に使用しますので、正しく入力してください。
- フリガナによっては長音（「ｰ」）を使用すると、着信音の「名前の読み上げ」や電話帳の音声読み上げがより自然になります。たとえば、「太郎」の読みは「ﾀﾛｰ」と登録します。→p.114、p.148

2 **[決定]を押す**

電話番号の入力画面が表示されます。

ステップ3　電話番号を登録する

電話番号を市外局番から入力します。

- 最大26桁入力できます。

1 **電話番号を入力する**

電話帳登録
電話番号を
入力してください
090XXXXXXXX

- ポーズ（「P」）、タイマー（「T」）、「+」「#」、サブアドレスの区切り（「*」）を入力できます。
- 「186」、「184」を付けて電話帳に登録すると、SMS作成時の宛先に選択した際、送信できません。
- 何も入力しないで[決定]を押すと、電話番号を登録しません。ステップ4に進みます。

2 **[決定]を押す**

2件目の電話番号を入力するかどうかの確認画面が表示されます。

3 **「[1]入力する」または「[2]入力しない」を押す**

- 「[1]入力する」：他の電話番号を登録できます。ステップ3の操作1、2を繰り返します。3件目を登録すると、ステップ4に進みます。
- 「[2]入力しない」：他の電話番号を登録しません。

ステップ4　メールアドレスを登録する

メールアドレスを入力します。

- 半角50文字以内で入力します。半角英字、半角数字、半角記号を入力できます。
- シークレットコード入力→p.98

1 メールアドレスを入力する

電話帳登録
メールアドレスを
入力してください
[*]:定型ｱﾄﾞﾚｽ入力
docomo.taro.ΔΔ@d
ocomo.ne.jp

- 半角英字入力モード時に[1あ]：「.」「@」「-」などメールアドレスによく使う記号を入力できます。
- 半角英字入力モード時に[*]：「@docomo.ne.jp」「.com」「.or.jp」などを入力できます。
- 何も入力しないで[決定]を押すと、メールアドレスを登録しません。ステップ5に進みます。

2 [決定]を押す

2件目のメールアドレスを入力するかどうかの確認画面が表示されます。

3 「[1]入力する」または「[2]入力しない」を押す

- 「[1]入力する」：他のメールアドレスを登録できます。ステップ4の操作1、2を繰り返します。3件目を登録すると、ステップ5に進みます。
- 「[2]入力しない」：他のメールアドレスを登録しません。

ステップ5　郵便番号と住所を登録する

郵便番号と住所を入力します。

- 郵便番号は7桁で、住所は全角100文字、半角200文字以内で入力します。

1 「[1]入力する」または「[2]入力しない」を押す

- 「[1]入力する」：郵便番号の入力画面が表示されます。
- 「[2]入力しない」：郵便番号と住所を入力しません。ステップ6に進みます。

2 郵便番号を入力▶[決定]を押す

電話帳登録
住所を
入力してください

- 何も入力しないで[決定]を押すと、郵便番号を登録しません。

3 住所を入力▶[決定]を押す

グループの選択画面が表示されます。

ステップ6　グループを登録する

1 グループを選択する

電話帳登録
[1]グループなし
[2]グループ1
[3]グループ2
[4]グループ3
[5]グループ4
[6]グループ5
[7]グループ6
[8]グループ7
登録先を
選んでください

2 [決定]を押す

電話帳Noの入力画面が表示されます。

ステップ7　電話帳Noを登録する

- 電話帳Noを0～9に登録すると、短縮ダイヤルに設定されます。→p.108

1 電話帳No（0～999）を入力する

電話帳登録
電話帳Noを
入力してください
0～9:短縮ﾀﾞｲﾔﾙ
10～999:短縮なし
10

10～999までの使用されていない最も小さい電話帳Noが自動的に入力されています。

- 10～999まですべて使用されている場合は、0～9までの使用されていない最も小さい電話帳Noが入力されます。
- 電話帳Noが「001」のように1桁の場合は「1」、「010」のように2桁の場合は「10」と入力します。

2 決定を押す

電話帳を
登録しました。
ﾜﾝﾀｯﾁﾀﾞｲﾔﾙまたは
音声呼出しに
登録しますか？

1登録する
2終了する

● 登録済みの電話帳Noを指定したときは、上書きするかどうかの確認画面が表示されます。ワンタッチブザーの自動音声発信先に登録している相手を上書きすると、ワンタッチブザーの自動発信設定は削除されます。「2新規登録する」を押すと、10～999までの使用されていない最も小さい電話帳Noに登録されます。

3 「2終了する」を押す

電話帳登録が終了し、メニュー画面に戻ります。

● 「1登録する」：ステップ8に進みます。

ステップ8　ワンタッチダイヤル／音声呼出しに登録する

電話帳登録に続けてワンタッチダイヤル（→p.101）や音声呼出し（→p.144）に登録します。

1 ステップ7の操作3で「1登録する」を押す

電話帳設定
登録先を
　選んでください

1ﾜﾝﾀｯﾁﾀﾞｲﾔﾙ登録
2音声呼出し登録
3終了する

2 「1ワンタッチダイヤル登録」または「2音声呼出し登録」を押す

■ ワンタッチダイヤルに登録する：

① 「1ワンタッチダイヤル登録」を押す

ﾜﾝﾀｯﾁﾀﾞｲﾔﾙ登録
1ﾜﾝﾀｯﾁﾀﾞｲﾔﾙ1
　「未登録」
2ﾜﾝﾀｯﾁﾀﾞｲﾔﾙ2
　「未登録」
3ﾜﾝﾀｯﾁﾀﾞｲﾔﾙ3
　「未登録」

② 「1ワンタッチダイヤル1」～「3ワンタッチダイヤル3」のいずれかを押して登録する

ワンタッチダイヤル登録方法
→p.101「ステップ2」操作1～「ステップ4」操作10
登録が終了するとワンタッチダイヤルに登録した旨のメッセージが表示されます。決定を押すとステップ8の操作1の画面に戻ります。すでに音声呼出しを登録している場合は、メニュー画面に戻ります。

■ 音声呼出しに登録する：

① 「2音声呼出し登録」を押す

携帯花子
読みを
3文字以上で
登録してください
ｹｲﾀｲﾊﾅｺ

- 電話帳呼出し用の単語をすでに100件登録している場合は、登録できない旨のメッセージが表示されます。決定を押すと、ステップ8の操作1の画面に戻ります。

② 単語を入力▶決定を押す

単語を登録した旨のメッセージが表示されます。決定を押すとステップ8の操作1の画面に戻ります。すでにワンタッチダイヤルを登録している場合は、メニュー画面に戻ります。

- あらかじめフリガナの先頭10文字が単語として入力されており、そのまま登録することもできます。
- 半角カタカナで3～10文字入力できます。

3 「3終了する」を押す

メニュー画面に戻ります。

お知らせ

- シークレットモード中でない場合は、シークレット属性を設定した電話帳データは、ワンタッチダイヤル登録画面では［＊＊＊＊＊＊＊＊］と表示されます。

電話帳データに位置情報を登録する

登録済みのFOMA端末電話帳の電話帳データに位置情報を登録します。

1 待受画面で［電話帳］▶電話帳を検索する

- 検索方法→p.93

2 位置情報を登録する相手を選択▶［決定］▶［メニュー］▶「5位置情報を登録」を押す

登録する位置情報の選択画面が表示されます。

■ 位置情報を削除する：位置情報を削除する相手を選択▶［決定］▶［メニュー］▶「5位置情報を削除」▶「1削除する」を押す
位置情報を削除した旨のメッセージが表示されます。［決定］を押すとFOMA端末電話帳の詳細画面に戻ります。

3 「1現在地から」～「5写真から」のいずれかを押す

- 以降の操作→p.307「位置情報貼付け／送信／登録」
操作後に操作4に進みます。

4 ［決定］を押す

電話帳　No.010
携帯花子
ｹｲﾀｲﾊﾅｺ
会社
位置情報あり
N:　XX°XX'XX.XXX"
E:XXX°XX'XX.XXX"
測地系　:WGS84
測位ﾚﾍﾞﾙ:★☆☆

リダイヤルや着信履歴などから電話帳に登録する

- サイトやｉモードメールなどから電話番号やメールアドレスを登録することもできます。
→p.193、p.267

〈例〉リダイヤルから登録する

1 待受画面で［発信］▶［メール］［iαppli］を押して登録する相手を表示▶［メニュー］▶「1電話帳に登録」または「2電話帳に追加」を押す

■ 新規登録する：「1電話帳に登録」を押す
名前の入力画面が表示されます。
- 以降の操作→p.87「ステップ1」操作2以降
- 電話番号の入力画面には、選択したリダイヤルの電話番号が入力されています。

■ 追加登録する：
① 「2電話帳に追加」▶電話帳を検索▶登録先の相手を選択▶［決定］を押す
追加した旨のメッセージが表示されます。
- 登録先の相手に電話番号をすでに3件登録しているときは、上書きする電話番号の選択画面が表示されます。上書きする電話番号を選択し、［決定］を押します。上書きしないときは［戻る］を押してFOMA端末電話帳の検索結果一覧に戻ります。

② ［決定］を押す
ワンタッチダイヤルまたは音声呼出しに登録するかどうかの確認画面が表示されます。
- 以降の操作→p.89「ステップ7」操作3以降

グループの名前や着信音を設定する

グループ名の変更

FOMA端末電話帳の「グループ1」～「グループ30」を、「家族」「会社」などのわかりやすい名前に自由に変更できます。
- 「グループなし」のグループ名は変更できません。

1 **待受画面でメニュー▶「1電話帳・伝言メモ・音声メモを使う」▶「7電話帳のグループを設定する」▶「1グループ名を変更する」を押す**

グループ名変更
1グループ1
2グループ2
3グループ3
4グループ4
5グループ5
6グループ6
7グループ7
8グループ8
9グループ9
0グループ10

2 **変更するグループを選択▶決定を押す**

グループ名変更
グループ名を
入力してください
グループ1

3 **グループ名を入力▶決定を押す**

グループ名を登録した旨のメッセージが表示されます。決定を押すとメニュー画面に戻ります。
- 全角10文字、半角20文字以内で入力します。
- 入力されているグループ名を戻るですべて削除して決定を押すと、お買い上げ時のグループ名に戻ります。

グループ別着信音の設定

電話がかかってきたときやメールを受信したときの着信音を、FOMA端末電話帳のグループごとに設定できます。
- 「グループなし」の着信音は設定できません。
- 電話がかかってきたときの着信音の優先順位 →p.112
- メールを受信したときの着信音の優先順位 →p.113

〈例〉電話着信音を設定する

1 **待受画面でメニュー▶「1電話帳・伝言メモ・音声メモを使う」▶「7電話帳のグループを設定する」▶「2グループ専用電話着信音を選ぶ」を押す**

グループの選択画面が表示されます。
- メール着信音を設定するときは、待受画面でメニュー▶「1電話帳・伝言メモ・音声メモを使う」▶「7電話帳のグループを設定する」▶「3グループ専用メール着信音を選ぶ」を押します。

2 **設定するグループを選択▶決定を押す**

電話を受けた時に
鳴らす音を
設定してください
1着信音設定
　専用設定なし
2着信音
　専用設定なし

1着信音設定：グループ専用の着信音を設定するかどうかを設定します。
2着信音：グループ専用の着信音を鳴らすときの音を設定します。

3 **「1着信音設定」を押す**

グループ専用の着信音を設定するかどうかの確認画面が表示されます。

4 **「1設定する」を押す**

着信音の選択画面が表示されます。
- 「2設定しない」：グループ専用の着信音を設定しません。操作7に進みます。

5 「1メロディ」～「3名前の読み上げ」のいずれかを押す

- 「1メロディ」「2着モーション」：フォルダまたはアルバムの選択画面が表示されます。
- 「3名前の読み上げ」：操作2の画面に戻ります。操作7に進みます。
  名前の読み上げについて→p.114

6 フォルダまたはアルバムを選択▶決定▶着信音を選択▶決定を押す

操作2の画面に戻ります。

- microSDメモリーカード内のデータは設定できません。
- メロディまたは動画／iモーションの再生方法→p.112「電話が着信したときの着信音の設定」操作5

7 電話帳を押す

着信音を設定した旨のメッセージが表示されます。決定を押すとグループの選択画面に戻ります。

電話帳をコピーする

FOMA端末電話帳をFOMAカード電話帳にコピーしたり、FOMAカード電話帳をFOMA端末電話帳にコピーしたりします。

- 電話帳の検索結果一覧から操作する場合は、複数の電話帳データをまとめてコピーできます。電話帳の詳細画面から操作する場合は、表示中の電話帳データがコピーされます。
- コピー先に同じグループ名がないときは、「グループなし」にコピーされます。
- FOMA端末電話帳からFOMAカード電話帳にコピーする場合、次の項目がコピーされます。ただし、FOMAカード電話帳に保存できる最大文字数を超えた部分は削除されます。
  - 名前：全角で最大10文字、半角で最大21文字コピーされます。ただし、全角／半角が混在している場合や、半角カタカナが含まれている場合は、最大10文字となります。
  - フリガナ：半角カタカナは全角カタカナに置き換えられます。全角で最大12文字、半角で最大25文字コピーされます。
  - 電話番号：1件目の電話番号が最大26桁コピーされます。FOMAカードの種類によっては最大20桁となります。→p.37
    タイマー（「T」）を登録している場合は削除されます。
  - メールアドレス：1件目のメールアドレスが半角で最大50文字コピーされます。
- FOMAカード電話帳からFOMA端末電話帳にコピーする場合、フリガナは半角カタカナに置き換えられます。

〈例〉FOMA端末電話帳からFOMAカード電話帳にコピーする

1 待受画面で電話帳▶電話帳を検索する

- 検索方法→p.93

2 メニュー▶「8FOMAカードへコピー」を押す

電話帳データの選択画面が表示されます。

■ **FOMAカード電話帳からFOMA端末電話帳へコピーする：メニュー▶「4本体へコピー」を押す**

3 コピーする相手を選択▶決定を押す

相手の□が☑に変わります。

```
電話帳
FOMAｶｰﾄﾞへｺﾋﾟｰ
ｱｶｻﾀﾅﾊﾏﾔﾗﾜ他
□携帯あき子
□携帯一郎
□携帯なつ子
☑携帯花子
□ドコモ一郎
```

- 決定：相手を選択／解除します。
- メニュー：すべての相手を選択／解除します。

4 電話帳を押す

FOMAカードにコピーした旨のメッセージが表示されます。決定を押すとFOMA端末電話帳の検索結果一覧に戻ります。

登録内容のコピー

電話帳に登録した電話帳データの個々の登録内容（名前や電話番号など）をコピーします。

1 待受画面で［電話帳］▶電話帳を検索する

● 検索方法→p.93

2 コピーする相手を選択▶［決定］▶［メニュー］▶「［0］名前等をコピー」を押す

項目一覧
携帯花子
090XXXXXXXX
03XXXXXXXX
docomo.taro.ΔΔ…
docomo-ΔΔ-taro…
コピーする項目を
選んでください

● FOMAカード電話帳から操作するときは、コピーする相手を選択▶［決定］▶［メニュー］▶「［7］名前等をコピー」を押します。

3 コピーする項目を選択▶［決定］を押す

選択した項目をコピーした旨のメッセージが表示されます。［決定］を押すとFOMA端末電話帳の詳細画面に戻ります。

● 貼り付け方法→p.412「文字のコピーと貼り付け」操作5

電話帳検索

電話帳から電話をかける

電話をかける相手の電話帳データを電話帳から呼び出し、簡単に電話をかけることができます。

● 電話帳の呼び出しかたには次の検索方法があります。
- 50音順検索→p.94
- グループ検索→p.94
- 音声検索※→p.95
- フリガナ検索→p.95
- 電話番号検索→p.95
- 電話帳No検索※→p.96

※ FOMAカード電話帳では利用できません。

● 電話帳の検索方法選択画面（→p.96）で［電話帳］を押すたびに、FOMA端末電話帳とFOMAカード電話帳の検索方法選択画面が切り替わります。または、FOMA端末電話帳の検索結果一覧で［メニュー］▶［✻］を、FOMAカード電話帳の検索結果一覧で［メニュー］▶［6］を押すと、それぞれの電話帳の検索方法選択画面に切り替わります。

● シークレット属性を設定している電話帳データは、シークレットモード中のみ検索できます。また、ワンタッチダイヤルやツータッチダイヤル、ツータッチメールなど電話帳を利用する機能の場合も同様です。→p.100

1 待受画面で［電話帳］▶電話帳を検索する

電話帳
５０音順検索
アカサタナハマヤラワ他
携帯あき子
携帯一郎
携帯なつ子
携帯花子
ドコモ一郎

検索方法が表示されます。

＜検索結果一覧＞
（50音順検索の場合）

● お買い上げ時は50音順検索の検索結果一覧が表示されるように設定されています。検索方法を変更するときは、検索結果一覧で［メニュー］▶「［5］検索方法を変更」を押します。よく利用する検索方法の画面が表示されるように設定を変更できます。→p.96

● FOMA端末電話帳の検索結果一覧で［電話帳］を押すと、電話帳データを新規に登録できます。→p.87

2 電話をかける相手を選択▶［［］を押す

1件目の電話番号に電話がかかります。

● テレビ電話をかける場合は［テレビ電話］を押します。

● 電話帳データの詳細画面（→p.96）から音声電話をかける場合は、［◁］［▷］を押して電話をかける電話番号を表示▶［［］または［決定］を押します。テレビ電話をかける場合は、［テレビ電話］を押します。

電話帳を利用する

■ iモードメールを作成する：待受画面で[電話帳]▶電話帳を検索▶メールを送信する相手を選択▶[メニュー]▶「2メールを作る」を押す

1件目のメールアドレスを宛先にしたメール作成画面が表示されます。→p.214、p.217

- 電話帳データの詳細画面からメールを送信する場合は、[←][→]を押してメールを送信するメールアドレスを表示▶[決定]を押します。

■ SMSを作成する：待受画面で[電話帳]▶電話帳を検索▶SMSを送信する相手を選択▶[メニュー]▶「3SMSを作る」を押す

1件目の電話番号を宛先にしたメッセージ作成画面が表示されます。→p.251

- 電話帳データの詳細画面からSMSを送信する場合は、[←][→]を押してSMSを送信する電話番号を表示▶[メニュー]▶「3SMSを作る」を押します。

■ 位置情報を利用する：待受画面で[電話帳]▶電話帳を検索▶位置情報を利用する相手を選択▶[決定]▶[←][→]を押して位置情報を表示▶[決定]を押す

位置情報の利用方法を選択する画面が表示されます。

- 以降の操作→p.308「位置情報の利用」

■ 郵便番号と住所を確認する：待受画面で[電話帳]▶電話帳を検索▶郵便番号と住所を確認する相手を選択▶[決定]▶[←][→]を押して郵便番号と住所を表示▶[決定]を押す

郵便番号と住所が表示されます。

50音順検索

50音順に検索して表示します。

1 待受画面で[メニュー]▶「1電話帳・伝言メモ・音声メモを使う」▶「3電話帳の内容を見る」▶「150音順検索」を押す

検索結果一覧が表示されます。

- FOMAカード電話帳を検索するときは、待受画面で[メニュー]▶「1電話帳・伝言メモ・音声メモを使う」▶「3電話帳の内容を見る」▶[電話帳]▶「150音順検索」を押します。

2 [メール][iα][←][→]を押して電話をかける相手を選択する

- [0わをん]～[9らりるれろ]、[¥]、[#マナー]：ボタンに割り当てられている行の先頭の電話帳データを表示します。

[1あ]：ア行　[2か]：カ行　[3さ]：サ行
[4た]：タ行　[5な]：ナ行　[6は]：ハ行
[7ま]：マ行　[8や]：ヤ行　[9ら]：ラ行
[0わをん]：ワ行
[¥]／[#マナー]：
他（アルファベット、数字、フリガナが空白で始まるもの、記号、フリガナなし順）

たとえば、「携帯花子」を表示する場合は「け」（カ行）に対応する[2か]を押します。

- [←][→]：画面上部にある50音表示のカーソルを移動して、各行の先頭の電話帳データを表示します。
- 以降の操作→p.93「電話帳から電話をかける」操作2

グループ検索

グループから電話帳データを検索します。

1 待受画面で[メニュー]▶「1電話帳・伝言メモ・音声メモを使う」▶「3電話帳の内容を見る」▶「2グループ検索」を押す

グループ一覧
1グループなし
2家族
3会社

- FOMAカード電話帳を検索するときは、待受画面で[メニュー]▶「1電話帳・伝言メモ・音声メモを使う」▶「3電話帳の内容を見る」▶[電話帳]▶「2グループ検索」を押します。

2 検索するグループを選択▶決定を押す

検索結果一覧が表示されます。

- 0～9、*、#：ボタンに割り当てられている行の先頭の電話帳データを表示します。→p.94
- ◁◁ ▷▷：画面上部にある50音表示のカーソルを移動して、各行の先頭の電話帳データを表示します。
- 同じグループ内の電話帳データは次のフリガナ順に表示されます。
  ①50音順　②アルファベット順
  ③数字　④空白で始まるもの
  ⑤記号　⑥フリガナなし
- 以降の操作→p.93「電話帳から電話をかける」操作2

音声検索

音声で電話帳データを検索します。

- あらかじめ電話帳データを音声呼出しに登録しておく必要があります。→p.89、p.144
- 周囲の状況や発声のしかたにより、音声が認識されない場合があります。→p.145

1 待受画面でメニュー▶「1電話帳・伝言メモ・音声メモを使う」▶「3電話帳の内容を見る」▶「3音声検索」を押す

決定ボタンを押し
受話口を耳にあて
ピーという
発信音の後に
呼出す相手を
お話しください

- 待受画面で電話帳を1秒以上押しても、音声で電話帳データを検索できます。
- 以降の操作→p.145「音声で電話帳を呼び出す」操作2以降

フリガナ検索

フリガナの先頭の一部を入力して、その文字から始まる電話帳データを検索します。

1 待受画面でメニュー▶「1電話帳・伝言メモ・音声メモを使う」▶「3電話帳の内容を見る」▶「4フリガナ検索」を押す

フリガナ検索
フリガナを
入力してください

- FOMAカード電話帳を検索するときは、待受画面でメニュー▶「1電話帳・伝言メモ・音声メモを使う」▶「3電話帳の内容を見る」▶電話帳▶「3フリガナ検索」を押します。

2 フリガナを入力▶決定を押す

検索結果一覧が表示されます。

- 以降の操作→p.93「電話帳から電話をかける」操作2

電話番号検索

電話番号の一部を入力して、その数字を含む電話番号を検索します。

1 待受画面でメニュー▶「1電話帳・伝言メモ・音声メモを使う」▶「3電話帳の内容を見る」▶「5電話番号検索」を押す

電話番号検索
電話番号を
入力してください

- FOMAカード電話帳を検索するときは、待受画面でメニュー▶「1電話帳・伝言メモ・音声メモを使う」▶「3電話帳の内容を見る」▶電話帳▶「4電話番号検索」を押します。

2 **電話番号の一部を入力▶決定を押す**

検索結果一覧が表示されます。

- 0わをん～9ら、*⇔、#マナー：ボタンに割り当てられている行の先頭の電話帳データを表示します。→p.94
- ⇦⇨：画面上部にある50音表示のカーソルを移動して、各行の先頭の電話帳データを表示します。
- 以降の操作→p.93「電話帳から電話をかける」操作2

電話帳No検索

電話帳Noを入力して検索します。

1 **待受画面でメニュー▶「1電話帳・伝言メモ・音声メモを使う」▶「3電話帳の内容を見る」▶「6電話帳No検索」を押す**

電話帳No検索
電話帳Noを
入力してください
(0～999)
0

2 **電話帳Noを入力▶決定を押す**

検索結果一覧が表示されます。

- 電話帳Noが「001」のように1桁の場合は「1」、「010」のように2桁の場合は「10」と入力します。
- 0わをん～9ら、*⇔、#マナー：ボタンに割り当てられている行の先頭の電話帳データを表示します。→p.94
- ⇦⇨：画面上部にある50音表示のカーソルを移動して、各行の先頭の電話帳データを表示します。
- 以降の操作→p.93「電話帳から電話をかける」操作2

優先する検索方法を設定＜電話帳検索優先設定＞

待受画面で電話帳を押したときに表示されるFOMA端末電話帳の検索方法を設定します。

1 **待受画面でメニュー▶「1電話帳・伝言メモ・音声メモを使う」▶「3電話帳の内容を見る」を押す**

検索方法を
　選んでください
1５０音順検索優
2グループ検索
3音声検索
4フリガナ検索
5電話番号検索
6電話帳No検索

優先設定している検索方法に優が表示されます。

＜検索方法選択画面＞

2 **優先する検索方法を選択▶メニューを押す**

優先する検索方法を設定した旨のメッセージが表示されます。決定を押すと操作1の画面に戻ります。設定した検索方法に優が表示されます。

- 音声検索を優先設定する場合は、あらかじめ電話帳データを音声呼出しに登録しておく必要があります。→p.89、p.144

FOMA端末電話帳／FOMAカード電話帳の詳細表示

登録内容を表示して確認します。

1 **待受画面で電話帳▶電話帳を検索する**

- 検索方法→p.93

2 詳細表示する相手を選択▶決定を押す

＜FOMA端末電話帳詳細画面＞

＜FOMAカード電話帳詳細画面＞

①電話帳No
②名前、フリガナ
③グループマーク、グループ名
④登録した電話番号／メールアドレスの数がわかるマーク、位置情報のマーク、郵便番号と住所のマーク
⑤選択している電話番号／メールアドレス／位置情報／郵便番号と住所

- 0～9、*、#：ボタンに割り当てられている行の先頭の電話帳データの詳細画面を表示します。→p.94
- ：前後の電話帳データの詳細画面を表示します。
- ：電話番号／メールアドレス／位置情報／郵便番号と住所のマークを選択し、登録している各項目の表示を切り替えます。

発信方法を選択した電話のかけかた

- 本機能を利用して国際電話をかけるには、国番号を含めた電話番号を登録してください。

1 待受画面で電話帳▶電話帳を検索する

- 検索方法→p.93

2 電話をかける相手を選択▶メニュー▶「1電話をかける」を押す

電話の種類を選択する画面が表示されます。

- 選択した相手の1件目の電話番号が対象になります。

3 「1音声電話」または「2テレビ電話」を押す

電話をかけるかどうかの確認画面が表示されます。

4 「1電話をかける」を選択▶メニュー▶「1非通知で電話」～「3ワールドコール」のいずれかを押す

電話をかけるかどうかの確認画面に戻ります。

5 「1電話をかける」を押す

選択した方法で電話がかかります。

電話帳修正

電話帳を修正する

FOMA端末電話帳の登録内容の修正やグループの変更ができます。メールアドレスを登録している場合はシークレットコードを入力できます。

1 待受画面で［電話帳］▶電話帳を検索する

● 検索方法→p.93

2 修正する相手を選択▶［メニュー］▶「［4］修正する」を押す

名前の入力画面が表示されます。

3 電話帳データを修正して登録する

● 以降の操作→p.87「ステップ1」操作2以降

● グループの修正が終了すると、上書きするかどうかの確認画面が表示されます。上書きするときは「［1］上書きする」を押します。上書きしないときは「［2］新規登録する」を押し、他の電話帳Noで登録します。

おしらせ

● 名前を修正してもフリガナは自動で変更されません。フリガナについても、変更してください。

● 複数の電話番号やメールアドレスを登録している場合、1件目の電話番号やメールアドレスを削除すると2件目以降、繰り上げ登録されます。

グループ変更

電話帳データを他のグループに移動します。

1 待受画面で［電話帳］▶電話帳を検索する

● 検索方法→p.93

2 グループを変更する相手を選択▶［メニュー］▶「［7］グループを移動」を押す

グループ選択画面が表示されます。

3 グループを選択▶［決定］を押す

選択したグループに移動した旨のメッセージが表示されます。［決定］を押すとFOMA端末電話帳の検索結果一覧に戻ります。

メールアドレスにシークレットコードを設定 <シークレットコード入力>

相手がメールアドレス（携帯電話番号@docomo.ne.jp）にシークレットコードを登録している場合は、そのシークレットコードを電話帳データのメールアドレスに設定しておくことで、電話帳を検索してｉモードメールを作成するときに自動的にシークレットコードが付加されます。

1 待受画面で［電話帳］▶電話帳を検索する

● 検索方法→p.93

2 シークレットコードを設定する相手を選択▶［決定］▶［◁］［▷］でメールアドレスを選択▶［メニュー］▶「［#］シークレットコード入力」を押す

端末暗証番号入力画面が表示されます。

3 端末暗証番号を入力▶［決定］を押す

シークレットコードの入力画面が表示されます。

4 4桁のシークレットコードを入力▶［決定］を押す

シークレットコードを設定した旨のメッセージが表示されます。［決定］を押すとFOMA端末電話帳の詳細画面に戻ります。

● シークレットコードを解除するには、入力されているシークレットコードを［戻る］ですべて削除し、［決定］を押します。

おしらせ

● 設定したシークレットコードは、FOMA端末電話帳の詳細画面やｉモードメール作成時の宛先などには表示されません。シークレットコードの設定と同様の操作で確認してください。

● メールアドレスを「携帯電話番号＋シークレットコード@docomo.ne.jp」と登録している場合はその相手にメールを送信できません。

電話帳削除
電話帳を削除する

1件分の電話帳データを削除します。

1 **待受画面で[電話帳]▶電話帳を検索する**

● 検索方法→p.93

2 **削除する相手を選択▶[メニュー]▶「[6]電話帳から削除」を押す**

削除するかどうかの確認画面が表示されます。

● FOMAカード電話帳の検索結果一覧から操作するときは[メニュー]▶「[7]電話帳から削除」を、FOMAカード電話帳の詳細画面から操作するときは[メニュー]▶「[5]電話帳から削除」を押します。

3 **「[1]削除する」を押す**

電話帳を削除した旨のメッセージが表示されます。[決定]を押すとFOMA端末電話帳の検索結果一覧に戻ります。

● 電話帳データが1件もなくなった場合は、電話帳に登録がない旨のメッセージが表示されます。

おしらせ

● ワンタッチブザーの自動音声発信先に登録している電話帳データを削除すると、ワンタッチブザーの自動発信設定も削除されます。
● ワンタッチダイヤルに登録している電話帳データを削除すると、ワンタッチダイヤルからも削除されます。

電話帳お預かりサービス
電話帳をお預かりセンターに保存（復元・更新）する

FOMA端末電話帳の電話帳データをお預かりセンターに保存します。保存した電話帳データは、お預かりセンターに接続してFOMA端末に復元・更新できます。

● 本サービスはお申し込みが必要な有料サービスです。サービス未契約の場合は、お預かりセンターに接続しようとすると、その旨をお知らせする画面が表示されます。
● 自動更新や復元などの詳細は『ご利用ガイドブック（iモード〈FOMA〉編）』をご覧ください。
● FOMAカード電話帳の電話帳データは保存できません。

1 **待受画面で[メニュー]▶「[#]詳細な機能・設定」▶「[1]ネットワークサービスを使う」▶「[6]電話帳お預かりサービスを使う」▶「[1]お預かりセンターに接続する」を押す**

接続するかどうかの確認画面が表示されます。

2 **「[1]接続する」▶端末暗証番号を入力▶[決定]を押す**

お預かりセンターに接続され、保存が始まります。保存が完了すると、完了した旨のメッセージが表示されます。

● 中断するときは保存中に[決定]を押します。

3 **[決定]を押す**

通信結果画面が表示されます。[決定]を押すとメニュー画面に戻ります。

おしらせ

● FOMA端末電話帳の電話帳データを削除した後に自動更新を行うと、お預かりセンターの電話帳データも同様に削除されます。
● FOMA端末電話帳の電話帳データを削除した場合は、iモードの電話帳お預かりサイトから電話帳をダウンロードすると復元できます。
待受画面で[iモード]▶「[1] i Menuを見る」▶「マイメニュー」▶「電話帳お預かり」▶「お預かりセンター」▶iモードパスワードを入力▶「決定」▶電話帳「ケータイへダウンロード」▶「OK」
※ ダウンロードが開始されるので、通信を終了して待受画面に戻します。
● 電話帳の自動更新時に他の機能を起動している場合は、待受画面に戻ると自動更新を開始します。FOMA端末の電源が入っていないときやiモードのサービスエリア外にいるとき、FOMAカードが挿入されていないときは自動更新されません。

- 電話帳の自動更新が失敗したときは、待受画面にお知らせ情報（→p.27）と が表示されます。決定を押してメッセージを確認した後、手動でお預かりセンターに接続して電話帳データを保存してください。
- お預かりセンターに接続中に音声電話やテレビ電話がかかってきたときの動作は次のとおりです。
  - 電話帳に登録している相手からの着信の場合でも電話番号のみ表示されます。また、電話帳に設定している着信音は動作せず、FOMA端末の設定に従います。
  - 電話帳指定着信拒否／許可（→p.137）、無音着信時間設定（→p.140）、登録外着信拒否（→p.141）は動作しません。
- 電話帳のグループの並び順は、復元しても保存したときの並び順に戻らない場合があります。
- 電話帳データをお預かりセンターに保存すると、画像を除くワンタッチダイヤルの登録内容や、ワンタッチブザーの自動発信設定も保存されます。ただし、FOMA端末の機種変更などで、お預かりセンターから電話帳データを復元する場合はすべて上書きされます。また、ワンタッチダイヤルやワンタッチブザーの自動音声発信先に登録している電話番号などをMy DoCoMoのサイトで削除した場合は、ワンタッチダイヤルの登録内容やワンタッチブザーの自動発信設定が正しく引き継げない場合があります。
- お預かりセンターに接続中に、ワンタッチブザーを動作させた場合は、接続を中止します。

お預かりセンターを利用した履歴を確認する ＜電話帳通信履歴表示＞

お預かりセンターとの通信履歴を確認できます。

- 通信履歴は最大30件記録できます。30件を超えると、古いものから順に消去されます。

1 **待受画面でメニュー▶「#詳細な機能・設定」▶「1ネットワークサービスを使う」▶「6電話帳お預かりサービスを使う」▶「2通信履歴を表示する」を押す**

通信日時一覧画面が表示されます。

2 **確認する履歴を選択▶決定を押す**

通信履歴詳細画面が表示されます。

シークレット属性設定／解除

他人に見られたくない電話帳を守る

シークレット属性を設定した電話帳データは、シークレットモード中のみ表示されます。シークレット属性を設定するには、FOMA端末をシークレットモードに設定する必要があります。

- FOMAカード電話帳の電話帳データにはシークレット属性を設定できません。

1 **シークレットモードを設定する**

- 操作方法→p.132

2 **待受画面で電話帳▶電話帳を検索する**

- 検索方法→p.93

3 **シークレット属性を設定する相手を選択▶決定▶メニュー▶「＊シークレット属性設定」を押す**

シークレット属性を設定した旨のメッセージが表示されます。

■ シークレット属性を解除する：**シークレットモード中にシークレット属性を設定している相手を選択▶決定▶メニュー▶「＊シークレット属性解除」を押す**

4 **決定を押す**

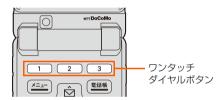
お知らせ

- シークレットモード中に電話帳データを修正・登録した場合、その電話帳データにはシークレット属性が設定されます。
- シークレット属性を設定している電話帳データは、シークレットモード中のみ修正できます。

● シークレットモード中でない場合、シークレット属性を設定した相手から電話がかかってきたりメールを受信したりしても、グループ別着信音やワンタッチダイヤル専用の着信画像（→p.104）および着信音（→p.105）は動作しません。

ワンタッチダイヤル登録

よく連絡を取り合う相手を登録する

よく連絡を取る相手の電話帳データをワンタッチダイヤルに登録しておくと、ワンタッチダイヤルボタンを押すだけで簡単に電話をかけたり（→p.107）、ｉモードメールや今いる場所を知らせるメールを送信できます（→p.108）。
また、着信音や着信画像を設定することができます。

● ワンタッチダイヤルは3件登録できます。
● FOMA端末電話帳の登録時に本機能に登録することもできます。→p.89
● 電話がかかってきたときの着信音の優先順位→p.112
● メールを受信したときの着信音の優先順位→p.113
● 名前の表示について→p.86

電話帳から相手を選択して登録<電話帳選択>

● FOMAカード電話帳から選択することはできません。

ステップ1　登録する相手を選ぶ

1 待受画面でワンタッチダイヤルボタン[1]～[3]のいずれかを押す

ワンタッチダイヤル登録
ワンタッチダイヤルが登録されていません。
登録しますか？

1 電話帳から選ぶ
2 新規に登録する
3 登録しない

● FOMA端末電話帳に1件も電話帳データを登録していない場合は、新規に登録するかどうかの確認画面が表示されます。「1 新規に登録する」を押して電話帳へ登録してください。→p.87

2 「1 電話帳から選ぶ」▶電話帳を検索▶登録する相手を選択▶[決定]を押す

● 検索方法→p.93

ステップ2　電話番号を登録する

1 登録する電話番号を選択する

■ 電話番号を1件登録しているとき
表示中の電話番号を登録する旨のメッセージが表示されます。
[決定]を押す

■ 電話番号を2件以上登録しているとき
登録する電話番号の選択画面が表示されます。
登録する電話番号を選択▶[決定]を押す

■ 電話番号を1件も登録していないとき
ステップ3に進みます。

ステップ3　メールアドレスを登録する

1 登録するメールアドレスを選択する

■ メールアドレスを1件登録しているとき
表示中のメールアドレスを登録する旨のメッセージが表示されます。
[決定]を押す

■ メールアドレスを2件以上登録しているとき
登録するメールアドレスの選択画面が表示されます。
登録するメールアドレスを選択▶[決定]を押す

■ メールアドレスを1件も登録していないとき
ステップ4に進みます。

ステップ4　着信音を設定する

ワンタッチダイヤル専用の着信音を設定するかどうかの確認画面が表示されます。
音声電話、テレビ電話、メールの順に着信音を設定します。

1 「1設定する」を押す

ワンタッチダイヤル専用の音声電話着信音を設定するかどうかの確認画面が表示されます。

- 「2設定しない」：ワンタッチダイヤルに登録した旨のメッセージが表示されます。操作11に進みます。
- 電話番号を登録していない場合は、「1設定する」を押すとワンタッチダイヤル専用のメール着信音を設定するかどうかの確認画面が表示されます。操作8に進みます。

音声電話着信音

2 「1設定する」または「2設定しない」を押す

- 「1設定する」：着信音の選択画面が表示されます。
- 「2設定しない」：音声電話用の着信音を設定しません。ワンタッチダイヤル専用のテレビ電話着信音を設定するかどうかの確認画面が表示されます。操作5に進みます。

3 「1メロディ」～「3名前の読み上げ」のいずれかを押す

- 「1メロディ」「2着モーション」：フォルダまたはアルバムの選択画面が表示されます。
- 「3名前の読み上げ」：ワンタッチダイヤル専用のテレビ電話着信音を設定するかどうかの確認画面が表示されます。操作5に進みます。
  名前の読み上げについて→p.114

4 フォルダまたはアルバムを選択▶決定▶着信音を選択▶決定を押す

ワンタッチダイヤル専用のテレビ電話着信音を設定するかどうかの確認画面が表示されます。

- microSDメモリーカード内のデータは設定できません。
- 映像のある動画／ｉモーションを設定すると、着信時には着モーションの映像が表示される旨のメッセージが表示されます。
- メロディまたは動画／ｉモーションの再生方法→p.112「電話が着信したときの着信音の設定」操作5

テレビ電話着信音

5 「1設定する」または「2設定しない」を押す

- 「1設定する」：着信音の選択画面が表示されます。
- 「2設定しない」：テレビ電話用の着信音を設定しません。ワンタッチダイヤル専用のメール着信音を設定するかどうかの確認画面が表示されます。操作8に進みます。

6 「1メロディ」～「3名前の読み上げ」のいずれかを押す

- 「1メロディ」「2着モーション」：フォルダまたはアルバムの選択画面が表示されます。
- 「3名前の読み上げ」：ワンタッチダイヤル専用のメール着信音を設定するかどうかの確認画面が表示されます。操作8に進みます。
  名前の読み上げについて→p.114

7 フォルダまたはアルバムを選択▶決定▶着信音を選択▶決定を押す

ワンタッチダイヤル専用のメール着信音を設定するかどうかの確認画面が表示されます。

- microSDメモリーカード内のデータは設定できません。
- 映像のある動画／ｉモーションを設定すると、着信時には着モーションの映像が表示される旨のメッセージが表示されます。

● メロディまたは動画／ｉモーションの再生方法→p.112「電話が着信したときの着信音の設定」操作5

メール着信音

8 「1設定する」または「2設定しない」を押す

● 「1設定する」：着信音の選択画面が表示されます。
● 「2設定しない」：メール用の着信音を設定しません。ワンタッチダイヤルに登録した旨のメッセージが表示されます。操作11に進みます。

9 「1メロディ」～「3名前の読み上げ」のいずれかを押す

● 「1メロディ」「2着モーション」：フォルダまたはアルバムの選択画面が表示されます。
● 「3名前の読み上げ」：ワンタッチダイヤルに登録した旨のメッセージが表示されます。操作11に進みます。
名前の読み上げについて→p.114

10 フォルダまたはアルバムを選択▶決定▶着信音を選択▶決定を押す

ワンタッチダイヤルに登録した旨のメッセージが表示されます。

● microSDメモリーカード内のデータは設定できません。
● 映像のある動画／ｉモーションを設定すると、着信時には着モーションの映像が表示される旨のメッセージが表示されます。
● メロディまたは動画／ｉモーションの再生方法→p.112「電話が着信したときの着信音の設定」操作5

11 決定を押す

携帯花子
090XXXXXXXX
docomo.taro.ΔΔ…
メールを作る
電話をかける
テレビ電話

<ワンタッチダイヤル詳細画面>

お知らせ

● ワンタッチダイヤルに登録した電話番号やメールアドレスを電話帳から変更した場合は、ワンタッチダイヤルの登録にも反映されます。ただし、電話番号やメールアドレスを登録していない電話帳データをワンタッチダイヤルに登録した後、その電話帳データに電話番号やメールアドレスを追加しても、ワンタッチダイヤルには反映されません。ワンタッチダイヤルに登録し直してください。→p.101

新規登録

ワンタッチダイヤルに登録する前に、電話帳に登録します。

● ワンタッチダイヤルから電話帳に新規登録する場合は、電話番号／メールアドレスはそれぞれ1件のみ登録できます。

1 待受画面でワンタッチダイヤルボタン1～3のいずれかを押す

ワンタッチダイヤルに登録するかどうかの確認画面が表示されます。

2 「2新規に登録する」を押す

名前の入力画面が表示されます。

3 名前を入力▶決定を押す

フリガナの入力画面が表示されます。

4 フリガナを確認▶決定を押す

電話番号の入力画面が表示されます。
● フリガナは必要に応じて修正します。

5 電話番号を入力▶決定を押す

メールアドレスの入力画面が表示されます。

6 メールアドレスを入力▶決定を押す

グループの選択画面が表示されます。

7 グループを選択▶決定を押す

電話帳Noの入力画面が表示されます。

8 電話帳Noを入力▶決定を押す

ワンタッチダイヤルに登録した旨のメッセージが表示されます。決定を押すとワンタッチダイヤル詳細画面が表示されます。
→p.103

登録相手の変更

1 待受画面でワンタッチダイヤルボタン1～3のいずれかを押す

ワンタッチダイヤル詳細画面が表示されます。

2 メニュー▶「1登録相手を変更」▶電話帳を検索▶登録する相手を選択する

● 以降の操作→p.101「ステップ2」以降

電話着信時／メール受信時の表示画像設定

ワンタッチダイヤルに登録した相手には着信画像を設定できます。電話がかかってきたり、メールを受信したりしたときに設定した画像を表示してお知らせします。

着信しています
［ ボタンで通話

携帯花子
090XXXXXXXX

● 設定した画像の表示は、相手側が電話番号を通知してきた場合のみ有効です。
● 着信音に映像のある動画／ｉモーションを設定した場合、着信画像は表示されません。

1 待受画面でワンタッチダイヤルボタン1～3のいずれかを押す

ワンタッチダイヤル詳細画面が表示されます。

2 メニュー▶「5着信画像を設定」を押す

設定する画像を
選んでください
1今から撮影する
2アルバムから選ぶ
3解除する

3 「1今から撮影する」～「3解除する」のいずれかを押す

■ **写真を撮影して設定する**：
① **「1今から撮影する」を押す**

- 写真撮影→p.160
- 写真の大きさは、外側カメラでは「ケータイM（240×320、320×240）」固定で、内側カメラでは「ケータイS（176×144）」固定で撮影できます。
- メニュー：撮影時の設定ができます。→p.166

② **被写体にカメラを向けて決定を押す**
撮影確認音（シャッター音）が鳴り、撮影した写真が表示されます。

③ **決定を押す**
写真を保存した旨のメッセージが表示されます。

④ **決定を押す**
着信画像を設定した旨のメッセージが表示されます。

■ **写真をアルバムから選択して設定する**：**「2アルバムから選ぶ」▶アルバムを選択▶決定▶画像を選択▶決定を押す**

着信画像を設定した旨のメッセージが表示されます。

- microSDメモリーカード内のデータは設定できません。
- 着信画像に設定できる画像のサイズは、横縦（または縦横）が640×480（ドット）までです。

■ **着信画像を解除する**：**「3解除する」を押す**

着信画像を解除した旨のメッセージが表示されます。

4 **決定を押す**

ワンタッチダイヤル詳細画面に戻ります。

- 設定した画像を確認する場合は、ワンタッチダイヤル詳細画面でメニュー▶「6着信画像を確認」を押します。

着信音の設定

ワンタッチダイヤルに登録した相手の音声電話、テレビ電話、メールの着信音を設定します。

- 電話がかかってきたときの着信音の優先順位 →p.112
- メールを受信したときの着信音の優先順位 →p.113

音声電話とテレビ電話の着信音を設定する

1 **待受画面でワンタッチダイヤルボタン1〜3のいずれかを押す**

ワンタッチダイヤル詳細画面が表示されます。

2 **メニュー▶「2音声電話着信音」または「3テレビ電話着信音」を押す**

ワンタッチダイヤル専用の着信音を設定するかどうかの確認画面が表示されます。

3 **「1設定する」を押す**

着信音の選択画面が表示されます。

- 「2設定しない」：ワンタッチダイヤル専用の着信音を解除した旨のメッセージが表示されます。決定を押すとワンタッチダイヤル詳細画面に戻ります。

4 **「1メロディ」〜「3名前の読み上げ」のいずれかを押す**

- 「1メロディ」「2着モーション」：フォルダまたはアルバムの選択画面が表示されます。
- 「3名前の読み上げ」：ワンタッチダイヤル専用の着信音を設定した旨のメッセージが表示されます。決定を押すとワンタッチダイヤル詳細画面に戻ります。
  名前の読み上げについて→p.114

5 **フォルダまたはアルバムを選択▶決定▶着信音を選択▶決定を押す**

ワンタッチダイヤル専用の着信音を設定した旨のメッセージが表示されます。決定を押すとワンタッチダイヤル詳細画面に戻ります。

- microSDメモリーカード内のデータは設定できません。
- 映像のある動画／iモーションを設定すると、着信時には着モーションの映像が表示される旨のメッセージが表示されます。
- メロディまたは動画／iモーションの再生方法→p.112「電話が着信したときの着信音の設定」操作5

メールの着信音を設定する

1 **待受画面でワンタッチダイヤルボタン1〜3のいずれかを押す**

ワンタッチダイヤル詳細画面が表示されます。

2 **メニュー▶「4メール着信音」を押す**

メールの着信音を
設定してください
1メール着信音設定
鳴らす
2着信音
専用設定なし
3鳴らす時間
専用設定なし

1**メール着信音設定**：着信音を鳴らすかどうかを設定します。

2**着信音**：ワンタッチダイヤル専用のメール着信音を設定するかどうかを設定します。

3**鳴らす時間／鳴らす回数**：着信音を「メロディ」または「着モーション」に設定した場合は、着信音を鳴らす時間を1〜30秒の間で設定します。
着信音を「名前の読み上げ」に設定した場合は、名前を読み上げる回数を1〜7回の間で設定します。

3 「1メール着信音設定」▶「1鳴らす」を押す

操作2の画面に戻ります。

- 「2鳴らさない」：着信音を鳴らさないように設定します。操作2の画面に戻ります。操作9に進みます。

4 「2着信音」を押す

ワンタッチダイヤル専用のメール着信音を設定するかどうかの確認画面が表示されます。

5 「1設定する」を押す

着信音の選択画面が表示されます。

- 「2設定しない」：ワンタッチダイヤル専用のメール着信音を解除します。操作2の画面に戻ります。操作9に進みます。

6 「1メロディ」～「3名前の読み上げ」のいずれかを押す

- 「1メロディ」「2着モーション」：フォルダまたはアルバムの選択画面が表示されます。
- 「3名前の読み上げ」：操作2の画面に戻ります。操作8に進みます。
  名前の読み上げについて→p.114

7 フォルダまたはアルバムを選択▶決定▶着信音を選択▶決定を押す

操作2の画面に戻ります。

- microSDメモリーカード内のデータは設定できません。
- 映像のある動画／iモーションを設定すると、着信時には着モーションの映像が表示される旨のメッセージが表示されます。
- メロディまたは動画／iモーションの再生方法→p.112「電話が着信したときの着信音の設定」操作5

8 「3鳴らす時間」／「3鳴らす回数」▶鳴らす時間／鳴らす回数を入力▶決定を押す

操作2の画面に戻ります。

9 電話帳を押す

ワンタッチダイヤル専用のメール着信音を設定した旨のメッセージが表示されます。決定を押すとワンタッチダイヤル詳細画面に戻ります。

お知らせ

- 登録した複数の相手から同時にメールが送られてきた場合は、最後に受信したメールの相手の設定に従って動作します。

登録相手の設定情報確認

ワンタッチダイヤルに登録した相手の設定情報（登録した電話番号、メールアドレス、着信音など）を確認します。

1 待受画面でワンタッチダイヤルボタン1～3のいずれかを押す

ワンタッチダイヤル詳細画面が表示されます。

2 メニュー▶「7設定情報を確認」を押す

ﾜﾝﾀｯﾁﾀﾞｲﾔﾙ1情報
名前
携帯花子
電話番号
090XXXXXXXX
ﾒｰﾙｱﾄﾞﾚｽ
docomo.taro.ΔΔ@d
ocomo.ne.jp
音声電話着信音
専用設定なし
ﾃﾚﾋﾞ電話着信音

- 📩 i：画面をスクロールして設定情報を表示します。
- 決定：ワンタッチダイヤル詳細画面に戻ります。

ワンタッチダイヤルの登録解除

1 **待受画面でワンタッチダイヤルボタン1～3のいずれかを押す**

ワンタッチダイヤル詳細画面が表示されます。

2 **メニュー▶「8ワンタッチダイヤル解除」を押す**

ワンタッチダイヤル設定を解除するかどうかの確認画面が表示されます。

3 **「1解除する」を押す**

ワンタッチダイヤル設定を解除した旨のメッセージが表示されます。決定を押すと待受画面に戻ります。

登録件数確認

電話帳の登録件数を確認する

● シークレット属性(→p.100)を設定したFOMA端末電話帳の電話帳データの件数は、シークレットモード中のみ表示されます。→p.132

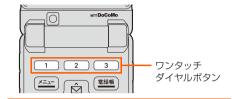
1 **待受画面でメニュー▶「#詳細な機能・設定」▶「3電話・電話帳の詳細を設定する」▶「1電話帳の登録件数を見る」を押す**

登録件数の確認画面が表示されます。決定を押すとメニュー画面に戻ります。

● 電話帳：押すたびにFOMA端末電話帳とFOMAカード電話帳の表示が切り替わります。

ワンタッチダイヤル

ボタン1つで電話をかける

よく連絡を取る相手の電話番号をワンタッチダイヤルに登録すると、ワンタッチダイヤルボタン1つで簡単に電話をかけることができます。

1 **待受画面でワンタッチダイヤルボタン1～3のいずれかを1秒以上押す**

ワンタッチダイヤルボタンに登録している相手に音声電話がかかります。

お知らせ

● ワンタッチダイヤルボタン1～3のいずれかを押すと、ワンタッチダイヤル詳細画面が表示されます。[を押して音声電話、テレビ電話を押してテレビ電話をかけることもできます。

ワンタッチダイヤルの詳細画面からメールを作成する

ワンタッチダイヤルに登録した相手にメールアドレスを登録している場合、ワンタッチダイヤル詳細画面から簡単な操作でｉモードメールや今いる場所を知らせるメールを作成できます。

ｉモードメールを作成する

1 待受画面でワンタッチダイヤルボタン1～3のいずれかを押す▶[メール]を押す

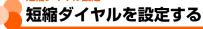
登録しているメールアドレスを宛先にしたメール作成画面が表示されます。→p.214、p.217

今いる場所を知らせるメールを作成する

1 待受画面でワンタッチダイヤルボタン1～3のいずれかを押す▶[電話帳]▶「1通知する」を押す

今いる場所を測位して、位置情報が添付されたメールが送信されます。送信が終了すると、送信した旨のメッセージが表示されます。[決定]を押すと待受画面に戻ります。

- 題名欄に「位置メール」が、本文欄に「私の現在位置はこちらです。」と位置情報URLが入力されます。

短縮ダイヤル設定

短縮ダイヤルを設定する

よく連絡を取る相手の電話帳Noを0～9に登録しておくと、ツータッチダイヤル（→p.109）で簡単に電話をかけたり、ツータッチメール（→p.221）で簡単にメールを作成したりすることができます。

- ツータッチダイヤルに使用する電話番号や、ツータッチメールに使用するメールアドレスは、電話帳データの1件目に登録してください。
- FOMAカード電話帳の電話帳データには短縮ダイヤルを設定できません。

1 待受画面で[電話帳]▶電話帳を検索する

- 検索方法→p.93

2 短縮ダイヤルに登録する相手を選択▶[メニュー]▶「0短縮ダイヤル設定」を押す

短縮ﾀﾞｲﾔﾙ一覧
0: ［未登録］
1: ［未登録］
2: ［未登録］
3: ［未登録］
4: ［未登録］
5: ［未登録］
6: ［未登録］
7: ［未登録］
登録先を
選んでください

■ **短縮ダイヤルを解除する：短縮ダイヤルを解除する相手を選択▶[メニュー]▶「0短縮ダイヤル解除」を押す**

短縮ダイヤルを解除した旨のメッセージが表示されます。[決定]を押すとFOMA端末電話帳の検索結果一覧に戻ります。

3 設定する短縮ダイヤルNoを選択▶[決定]を押す

短縮ダイヤルに
設定しました。
電話帳Noを
変更しました
2:携帯あき子
[決定]

変更後の電話帳No

- 設定済みの短縮ダイヤルへ上書きすると、上書きされた電話帳データは10～999までの使用されていない最も小さい電話帳Noに変更されます。

4 決定 を押す

FOMA端末電話帳の検索結果一覧に戻ります。

お知らせ

- シークレットモード中でない場合は、シークレット属性を設定した電話帳データは、短縮ダイヤル一覧画面では［************］と表示されます。
- 10～999までの電話帳Noがすべて使用されている場合は、短縮ダイヤルを解除できません。

ツータッチダイヤル

少ないボタン操作で電話をかける

短縮ダイヤルを設定した相手に、ダイヤルボタンと ［ のボタンを押すだけで電話をかけることができます。

1 待受画面で電話帳No（0わをん～9ら）を入力▶［ を押す

ダイヤル入力中
［ ボタンで音声通話
テレビ電話 ボタンでテレビ電話

2 ― 電話帳No

発信中　はっきりボイス

携帯あき子
090XXXXXXXX ― 点滅します。

- 電話帳Noを入力して テレビ電話 を押すと、テレビ電話がかかります。

電話帳保存お知らせ設定

microSDメモリーカードへの保存を定期的にお知らせする

FOMA端末電話帳の登録や修正を行ってから一度もmicroSDメモリーカードに保存していない場合、毎月1日00時00分にFOMA端末電話帳のすべての電話帳データをmicroSDメモリーカードに保存するように待受画面にマークを表示してお知らせします。

- 1日00時00分に電源が入っていない場合は、電源を入れたときに、お知らせ情報（→p.27）と 🄰 が表示されます。
- 次の場合は、本機能を設定していてもお知らせ情報と 🄰 が表示されません。
  - microSDメモリーカードが挿入されていないとき
  - 個人情報表示制限中※
  - ダイヤル発信制限中※
  - オールロック中※
  - おまかせロック中※
  - 開閉ロック中※

  ※ 制限やロックを解除すると、お知らせ情報と 🄰 が表示されます。
- FOMA端末電話帳の電話帳データを手動でmicroSDメモリーカードに保存できます。→p.361

保存するようにお知らせするかどうかを設定

1 待受画面で メニュー ▶「5 便利なツールを使う」▶「9 microSDカードを使う」▶「1 電話帳の保存をお知らせする」を押す

保存のお知らせを通知するかどうかの確認画面が表示されます。

2 「1 通知する」または「2 通知しない」を押す

保存のお知らせを設定／解除した旨のメッセージが表示されます。決定 を押すとメニュー画面に戻ります。

保存のお知らせが表示されたとき

保存のお知らせが表示されたときに続けて保存の操作を行うと、FOMA端末電話帳のすべての電話帳データがmicroSDメモリーカードに保存されます。

1 待受画面に保存のお知らせが表示される

2 決定▶「1保存する」▶端末暗証番号を入力▶決定▶「1開始する」を押す

- 中断するときは保存中に決定を押します。
- 保存が終了すると、保存した旨のメッセージが表示されます。決定を押すと待受画面に戻ります。

音／画面／照明設定

音の設定

画面／照明の設定

着信音設定

携帯電話から鳴る着信音を変える

電話が着信したときの着信音の設定<電話着信音>

音声電話やテレビ電話がかかってきたときの着信音を設定します。

1 待受画面で[メニュー]▶「[＊]基本の機能・設定」▶「[3]電話着信時の設定を行う」▶「[1]電話着信時の音を選ぶ」▶「[1]音声電話の着信音を選ぶ」または「[2]テレビ電話の着信音を選ぶ」を押す

電話を受けた時に
鳴らす音を
設定してください
[1]着信音設定
鳴らす
[2]着信音
着信音1

[1]**着信音設定**：着信音を鳴らすかどうかを設定します。
[2]**着信音**：着信音を鳴らすときの音を設定します。

2 「[1]着信音設定」▶「[1]鳴らす」を押す

着信音の種類を選択する画面が表示されます。

● 「[2]鳴らさない」：着信音を鳴らさないように設定します。操作6に進みます。

3 「[1]メロディ」～「[3]名前の読み上げ」のいずれかを押す

● 「[1]メロディ」「[2]着モーション」：フォルダまたはアルバムの選択画面が表示されます。
● 「[3]名前の読み上げ」：着信音の設定画面が表示されます。操作6に進みます。
名前の読み上げについて→p.114

4 フォルダまたはアルバムを選択▶[決定]を押す

一覧画面が表示されます。

● microSDメモリーカード内のデータは設定できません。

5 着信音を選択▶[決定]を押す

操作1の画面に戻ります。

■ **メロディを再生する：再生するメロディを選択▶[電話帳]を押す**
• 再生中に次の操作ができます。
[←][→]／[+][−]：音量調節
[メール][iアプリ]：前後のメロディ再生
[戻る]：停止
• 再生中に[決定]を押すと再生していた着信音が選択され、操作1の画面に戻ります。

■ **動画／iモーションを再生する：再生する動画／iモーションを選択▶[メニュー]を押す**
再生が終了すると動画／iモーションの一覧に戻ります。
• 再生中に次の操作ができます。
[決定]：休止／再生
[メール][iアプリ]／[+][−]：音量調節
[電話帳]：停止
[←]／[→]：巻き戻し再生／早送り再生

6 [電話帳]を押す

着信音を設定した旨のメッセージが表示されます。[決定]を押すとメニュー画面に戻ります。

電話着信音の優先順位

発信者番号が通知された場合は、次の優先順位で鳴ります。
① ワンタッチダイヤルの電話着信音の設定
② 電話帳のグループ専用の電話着信音の設定
③ 本機能の設定

お知らせ

● 音声のない動画／iモーション、または情報の着信音設定（→p.349）が「設定不可」になっている動画／iモーションは、着信音の着モーションに設定できません。
● 相手が発信者番号を通知してこなかった場合、音声電話の着信音は非通知理由別着信設定（→p.139）の設定に従い、テレビ電話の着信音は本機能のテレビ電話の設定に従います。

メールやメッセージR/Fを受信したときの着信音の設定 <メール・メッセージ着信音>

メール（ｉモードメール、SMS）やメッセージR/Fを受信したときの着信音を設定します。

1 **待受画面で［メニュー］▶「［＊］基本の機能・設定」▶「［4］メール・メッセージの受信設定を行う」▶「［1］メール・メッセージ受信時の音を選ぶ」▶「［1］メール受信時の音を選ぶ」または「［2］メッセージ受信時の音を選ぶ」を押す**

メールの着信音を
設定してください
［1］メール着信音設定
鳴らす
［2］着信音
着信音2
［3］鳴らす時間
10秒

［1］**メール着信音設定**／［1］**着信音設定**：着信音を鳴らすかどうかを設定します。

［2］**着信音**：着信音を鳴らすときの音を設定します。

［3］**鳴らす時間**／［3］**鳴らす回数**：着信音を「メロディ」または「着モーション」に設定した場合は、着信音を鳴らす時間を1～30秒の間で設定します。
メールの着信音を「名前の読み上げ」に設定した場合は、名前を読み上げる回数を1～7回の間で設定します。

■ **メッセージ着信音を設定する：「［2］メッセージ受信時の音を選ぶ」▶「［1］メッセージリクエスト」または「［2］メッセージフリー」を押す**
メッセージ着信音の設定画面が表示されます。

2 **「［1］メール着信音設定」または「［1］着信音設定」を押す**

着信音を鳴らすかどうかの確認画面が表示されます。

- 「［2］着信音」：着信音から設定します。操作4に進みます。
- 「［3］鳴らす時間」／「［3］鳴らす回数」：鳴らす時間／鳴らす回数から設定します。操作6に進みます。

3 **「［1］鳴らす」を押す**

着信音の種類を選択する画面が表示されます。

- 「［2］鳴らさない」：着信音を鳴らさないように設定します。操作7に進みます。

4 **「［1］メロディ」～「［3］名前の読み上げ」のいずれかを押す**

- 「［1］メロディ」「［2］着モーション」：フォルダまたはアルバムの選択画面が表示されます。
- 「［3］名前の読み上げ」：着信音を鳴らす回数を設定する画面が表示されます。操作6に進みます。
名前の読み上げについて→p.114
- 操作1で「［2］メッセージ受信時の音を選ぶ」を押した場合は、「［3］名前の読み上げ」は表示されません。

5 **フォルダまたはアルバムを選択▶［決定］▶着信音を選択▶［決定］を押す**

着信音を鳴らす時間を設定する画面が表示されます。

- microSDメモリーカード内のデータは設定できません。
- メロディまたは動画／ｉモーションの再生方法→p.112「電話が着信したときの着信音の設定」操作5

6 **鳴らす時間または鳴らす回数を入力▶［決定］を押す**

操作1の画面に戻ります。

7 **［電話帳］を押す**

着信音を設定した旨のメッセージが表示されます。［決定］を押すとメニュー画面に戻ります。

メール着信音の優先順位

メールを受信したときの着信音は、次の優先順位で鳴ります。

① ワンタッチダイヤルのメール着信音の設定
② 電話帳のグループ専用のメール着信音の設定
③ 本機能の設定

「名前の読み上げ」について

着信音に「名前の読み上げ」を設定した場合は、電話番号やメールアドレスを電話帳に登録している相手から電話がかかってきたり、メールを受信したりすると、専用メロディが鳴り、「XXXさんから電話です」または「XXXさんからテレビ電話です」、「XXXさんからメールです」（XXXは電話帳に登録しているフリガナ）と音声でお知らせします。

- フリガナを電話帳に登録していない相手から着信またはメールを受信した場合は、登録している名前が読み上げられます。
- 発信者番号が通知されない電話の着信、電話帳に登録していない相手からの電話の着信またはメールの受信、64Kデータ通信の着信では、専用メロディのみが鳴ります。
- 音声読み上げの動作を「読み上げなし」に設定しても、名前が読み上げられます。
- 名前が読み上げられるときの音量は、電話着信音量に従います。声質と速さは音声読み上げの設定に従います。

音量調節

着信音や相手の声の音量を調節する

電話着信音の音量調節 <電話着信音量>

- 設定した着信音量は、電池残量確認音の音量にも反映されます。ただし、本機能を「だんだん大きく」に設定した場合は、「音量4」が設定されます。

1 待受画面で[メニュー]▶「[*]基本の機能・設定」▶「[3]電話着信時の設定を行う」▶「[2]電話着信時の音量を調節する」を押す

電話の呼出音量の設定画面が表示されます。

2 「[1]呼出音量」を押す

音量の調節画面が表示されます。

- [1]呼出音量：着信音量を設定します。
- [2]自動音量設定：自動音量設定を設定します。

3 [メール][iモード][◁][▷]または[+][−]を押して音量を調節▶[決定]を押す

操作1の画面に戻ります。

音量1～5以外に設定した場合は操作6に進みます。

- 音量1のときに[iモード]／[◁]／[−]:「消音」に設定します。

4 「[2]自動音量設定」を押す

騒がしい場所では
呼出音量を自動で
大きくしますか？
設定は音量1-5の
場合のみ有効です

[1]大きくする
[2]設定音量のまま

[1]**大きくする**：自動音量設定オンに設定します。電話がかかってきたときに周囲の騒音レベルを測定し、騒音が多い場合に音量を徐々に大きくします。

[2]**設定音量のまま**：自動音量設定オフに設定します。自動調節しません。

5 「[1]大きくする」または「[2]設定音量のまま」を押す

操作1の画面に戻ります。

6 [電話帳]を押す

音量を設定した旨のメッセージが表示されます。[決定]を押すとメニュー画面に戻ります。

お知らせ

- 着信音量を消音に設定しているときは、待受画面に[S]が表示されます。また、同時に電話のバイブレータを設定中は、[SV]が表示されます。マナーモード中は[マナー]が表示されます。
- 着信音量を消音に設定しても、電話がかかってきたときにディスプレイのメッセージ表示の他に、バイブレータの振動や背面ディスプレイのメッセージ表示でお知らせするように設定できます。
→p.115「着信を振動で知らせる」、p.119「電話がかかってきたときの背面ディスプレイの表示を設定する」

メールやメッセージR/F受信音の音量調節<メール・メッセージ受信音量>

1 **待受画面で[メニュー]▶「[＊]基本の機能・設定」▶「[4]メール・メッセージの受信設定を行う」▶「[2]メール・メッセージ受信音量を調節する」を押す**

音量の調節画面が表示されます。

2 **[メール][iα][←][→]または[+][−]を押して音量を調節▶[決定]を押す**

音量を設定した旨のメッセージが表示されます。[決定]を押すとメニュー画面に戻ります。

- 音量1のときに[iα]／[←]／[−]:「消音」に設定します。

iアプリの音量調節<iアプリ音量調節>

1 **待受画面で[メニュー]▶「[8]iアプリを使う」▶「[2]iアプリの詳細を設定する」▶「[1]iアプリの音量を設定する」を押す**

音量の調節画面が表示されます。

2 **[メール][iα][←][→]または[+][−]を押して音量を調節▶[決定]を押す**

音量を設定した旨のメッセージが表示されます。[決定]を押すとメニュー画面に戻ります。

- 音量1のときに[iα]／[←]／[−]:「消音」に設定します。

相手の声の音量調節<受話音量>

- 受話音量は、ボタン確認音、音声メモ、音声電話の伝言メモの再生音量にも反映されます。

1 **待受画面で[メニュー]▶「[＊]基本の機能・設定」▶「[5]相手の声の音量を調節する」を押す**

音量の調節画面が表示されます。

2 **[メール][iα][←][→]または[+][−]を押して音量を調節▶[決定]を押す**

音量を設定した旨のメッセージが表示されます。[決定]を押すとメニュー画面に戻ります。

バイブレータ設定

着信を振動で知らせる

- バイブレータ動作時にFOMA端末が机の上などにあると、振動が原因で落下するおそれがあります。
- 通話中に着信や受信があった場合は振動しません。

電話が着信したときの振動パターンの設定<電話着信振動>

音声電話やテレビ電話がかかってきたときの振動を設定します。

1 **待受画面で[メニュー]▶「[＊]基本の機能・設定」▶「[3]電話着信時の設定を行う」▶「[3]電話着信時の振動を選ぶ」▶「[1]音声電話の振動を選ぶ」または「[2]テレビ電話の振動を選ぶ」を押す**

電話着信振動の選択画面が表示されます。

[1]**音声電話の振動を選ぶ**：音声電話着信時のバイブレータを設定します。

[2]**テレビ電話の振動を選ぶ**：テレビ電話着信時のバイブレータを設定します。

- [メール][iα]を押してパターンを選択すると、選択されているパターンで約60秒間振動します。

2 「1パターンAで振動」～「4振動させない」のいずれかを押す

振動パターンを設定した旨のメッセージが表示されます。決定を押すとメニュー画面に戻ります。

おしらせ

- 本機能で音声電話のバイブレータを設定すると、待受画面に V が表示されます。また、同時に電話着信音量を消音に設定すると SV が表示されます。マナーモード中は が表示されます。

メールやメッセージR/Fを受信したときの振動パターンの設定 <メール・メッセージ受信振動>

メール（iモードメール、SMS）やメッセージR/Fを受信したときの振動を設定します。

1 待受画面でメニュー▶「＊基本の機能・設定」▶「4メール・メッセージの受信設定を行う」▶「3メール・メッセージ受信時の振動を選ぶ」▶「1メール受信時の振動を選ぶ」または「2メッセージ受信時の振動を選ぶ」を押す

「1メール受信時の振動を選ぶ」を押すと、メール受信時の振動パターンを選択する画面が表示されます。「2メッセージ受信時の振動を選ぶ」を押すと、振動パターンを設定するメッセージを選択する画面が表示されます。

■ メッセージ受信振動を設定する：「2メッセージ受信時の振動を選ぶ」▶「1メッセージリクエスト」または「2メッセージフリー」を押す

メッセージ受信時の振動パターンを選択する画面が表示されます。

- を押してパターンを選択すると、選択されているパターンで約60秒間振動します。

2 「1パターンAで振動」～「4振動させない」のいずれかを押す

振動パターンを設定した旨のメッセージが表示されます。決定を押すとメニュー画面に戻ります。

ボタン確認音

ボタンを押したときの音を鳴らすかどうかを設定する

ボタンを押したり、電池残量を確認したりしたときに、スピーカーから音を鳴らすかどうかを設定します。

1 待受画面でメニュー▶「＊基本の機能・設定」▶「6ボタンを押した時の音を設定する」を押す

ボタンを押したときに音を鳴らすかどうかの確認画面が表示されます。

2 「1鳴らす」または「2鳴らさない」を押す

ボタン確認音を設定した旨のメッセージが表示されます。決定を押すとメニュー画面に戻ります。

充電確認音

充電時の音を鳴らすかどうかを設定する

充電の開始／終了時に鳴る充電確認音を設定します。

- マナーモード中、公共モード（ドライブモード）中、通話中、通信中は充電確認音は鳴りません。

1 待受画面でメニュー▶「#詳細な機能・設定」▶「4音を設定する」▶「1充電開始と完了を音で通知する」を押す

充電の開始と完了を音で知らせるかどうかの確認画面が表示されます。

2 「[1]知らせる」または「[2]知らせない」を押す

充電確認音を設定／解除した旨のメッセージが表示されます。[決定]を押すとメニュー画面に戻ります。

通話品質アラーム

通話が途切れそうなときのアラームを設定する

音声電話の通話状態が悪く、途中で通話が途切れるおそれのある場合、直前にアラームを鳴らしてお知らせします。

● 急に通話状態が悪くなった場合は、アラームが鳴らずに通話が切れてしまう場合があります。

1 待受画面で[メニュー]▶「[#]詳細な機能・設定」▶「[4]音を設定する」▶「[4]通話状態が悪い時の音を選ぶ」を押す

アラーム音の選択画面が表示されます。

2 「[1]高音で鳴らす」～「[3]鳴らさない」のいずれかを押す

アラーム音を設定した旨のメッセージが表示されます。[決定]を押すとメニュー画面に戻ります。

マナーモード

携帯電話から鳴る音を消す

着信を振動で知らせたり、ボタンを押したときの確認音を消したりして、周囲の迷惑にならないようにする機能です。

● マナーモード中でも写真やビデオ撮影時の撮影確認音（シャッター音）、音声メール録音時の録音確認音は鳴ります。
● マナーモード中、次の場合は、音を鳴らすかどうかの確認画面が表示されます。
  • 動画／ｉモーション、メロディ、ワンセグで録画した番組を再生した場合
  • ワンセグを起動した場合
● マナーモード中は、ｉモードメールやメッセージR/Fを表示したときに添付のメロディを自動演奏するように設定していても、メロディは再生されません。ただし、再生するメロディを選択して[決定]を押した場合は、再生するかどうかの確認画面が表示されます。→p.200、p.249

マナーモードを設定すると

マナーモード中は次のように動作します。

項　目	設定状態	説　明
バイブレータ	パターンAで振動	待受中の着信を振動で知らせます。ただし、通話中に着信があった場合は振動しません。
ボタン確認音	鳴らさない	ボタンを押したときの確認音と電池残量の確認音は鳴りません。
電話着信音量／メール・メッセージ受信音量	消音	着信音は鳴りません。
電池残量警告音	鳴らさない	電池が切れそうになっても待受中の警告音は鳴りません。
目覚まし音	消音	指定した時刻に目覚まし音は鳴らず、振動と画面表示で知らせます。
予定の通知音声	消音	指定した時刻に通知音声は鳴らず、振動と画面表示で知らせます。
オートスピーカーホン	動作しない	着信があっても自動応答しません。
充電確認音	知らせない	充電を開始したときや完了したときに音で知らせません。

項　目	設定状態	説　明
音声読み上げ	読み上げなし	「マナーモード時の切替えを設定する」を「読み上げない」に設定すると、[音声読み上げキー]を押しても読み上げません。→p.150「マナーモード中の読み上げ設定」
バーコード読み取りの確認音	－	コードを読み取っても確認音は鳴りません。
トルカの取得音	－	トルカを取得しても音は鳴りません。

マナーモードの設定

1 待受画面で[#マナー]を1秒以上押す

バイブレータが動作して、マナーモードを設定した旨のメッセージが表示されます。[決定]を押すと待受画面に戻ります。

- マナーモード中は、待受画面に[マナーモードアイコン]が表示されます。FOMA端末を閉じているときは、背面ディスプレイに[マナーモードアイコン]が表示されます。

マナーモードの解除

1 マナーモード中に待受画面で[#マナー]を1秒以上押す

マナーモードを解除した旨のメッセージが表示されます。[決定]を押すと待受画面に戻ります。

待受画面設定

待受画面の表示を変える

待受画面に表示されている画像を別の画像に変更したり、カレンダー表示に切り替えたり、ｉアプリを設定したりすることができます。

1 待受画面で[メニュー]▶「[*]基本の機能・設定」▶「[2]画面の設定を行う」▶「[1]待受画面の表示を設定する」を押す

待受画面の設定を選択する画面が表示されます。

[1]**画像を表示**：待受画面に画像が表示されるように設定します。
[2]**カレンダーを表示**：待受画面にカレンダーが表示されるように設定します。
[3]**ｉアプリを表示**：待受画面にｉアプリが表示されるように設定します。
[4]**表示なし**：画像やカレンダー、ｉアプリを表示しないように設定します。

2 「[1]画像を表示」を押す

アルバム一覧が表示されます。

■ **待受画面にカレンダーを表示するように設定する**：「[2]カレンダーを表示」を押す

カレンダーを設定するかどうかの確認画面が表示されます。

[1]**設定する**：カレンダーを設定した旨のメッセージが表示されます。[決定]を押すとメニュー画面に戻ります。

■ **待受画面にｉアプリを表示するように設定する**：

① 「[3]ｉアプリを表示」を押す

ｉアプリ一覧が表示されます。

② ｉアプリを選択▶[決定]を押す

ｉアプリを設定するかどうかの確認画面が表示されます。

[1]**設定する**：ｉアプリを設定した旨のメッセージが表示されます。[決定]を押すとメニュー画面に戻ります。

■ 待受画面に画像やカレンダー、iアプリを表示しないように設定する：「4 表示なし」を押す

解除するかどうかの確認画面が表示されます。

1 解除する：待受表示を解除した旨のメッセージが表示されます。決定を押すとメニュー画面に戻ります。

3 アルバムを選択▶決定▶画像を選択▶決定を押す

待受画像の設定画面が表示されます。

- 画像を選択してメニューを押すと画像を確認できます。
- 電話帳を押すと画像表示とリスト表示が切り替わります。

4 「1 設定する」を押す

画像を設定した旨のメッセージが表示されます。決定を押すとメニュー画面に戻ります。

- iアプリ待受画面が設定されているときは、続けてiアプリ待受画面の解除を確認する画面が表示されます。「1 解除する」を押すと、iアプリ待受画面が解除されます。

お知らせ

- 待受画面に設定されたアニメーションは、FOMA端末を開いたときや待受画面に戻ったとき、待受画面でクリアを押したときに再生します。再生中にクリアを押すと、一時停止／再生します。
- 待受画面に設定できる画像のサイズは、横縦（または縦横）が1728×2304（ドット）までです。ただし、画像の形式によっては、横縦（または縦横）が640×480（ドット）までの場合があります。
- 横が240（ドット）または縦が432（ドット）を超える画像は、縮小して待受画面に設定されます。
- GIFアニメーションに再生回数が設定されていない場合、または再生回数が16回以上に設定されている場合は、最大16回まで繰り返して再生します。Flash画像は、約30秒間再生してから停止します。
- iアプリ待受画面を設定すると、次のような動作になります。
  - 待受画面の上部に または が表示されます。
  - 待受画面にお知らせ情報や新着情報が表示されると、iアプリは表示されません。情報を確認すると、表示されます。
  - テロップ表示設定のテロップ表示を「表示する」にしている場合は、テロップ表示が解除されます。iアプリ待受画面を解除すると、テロップ表示設定のテロップ表示は「表示する」に設定されます。
- カレンダーを設定すると、次のような動作になります。
  - 予定を登録している日付は左上に が表示されます。
  - 待受画面にお知らせ情報や新着情報が表示されると、カレンダーは表示されません。情報を確認すると、表示されます。
  - iチャネルのテロップが表示されているときは、カレンダーが小さく表示されます。

背面表示設定

電話がかかってきたときの背面ディスプレイの表示を設定する

電話がかかってきたときに、背面ディスプレイに相手の電話番号や名前、発信者番号非通知理由を表示するかどうかを設定します。

- 本機能を「表示する」に設定しても、FOMA端末を開いているときなど背面ディスプレイの表示が消えている場合は、何も表示されません。

1 待受画面でメニュー▶「# 詳細な機能・設定」▶「3 電話・電話帳の詳細を設定する」▶「7 背面の画面表示を設定する」を押す

着信時、背面ディスプレイに相手の情報を表示するかどうかの確認画面が表示されます。

2 「1表示する」または「2表示しない」を押す

背面の画面表示を設定／解除した旨のメッセージが表示されます。[決定]を押すとメニュー画面に戻ります。

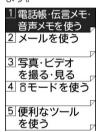
お知らせ

- 本機能を「表示しない」に設定した場合、電話がかかってくると、背面ディスプレイには「電話です」などの状態のみが表示されます。

メニュー形式選択

メニューの形式を選ぶ

メニューのデザインを変更します。

- メニューのデザインは次の3種類から選択できます。

リスト

タイル（アイコン）

1 電話帳履歴	2 メール	3 写真ビデオ
4 iモード	5 便利ツール	6 地図GPS
7 おサイフケータイ	8 iアプリ	9 ワンセグ
＊ 基本設定	0 自分の番号	＃ 詳細設定

タイル（文字）

- リストとタイルでメニューから選択できる機能は同じですが、表示されるメニュー項目名は異なります。

1 待受画面で[メニュー]▶「＊基本の機能・設定」▶「2画面の設定を行う」▶「2メニュー形式と配色を設定する」▶「1メニュー形式」を押す

メニュー形式を選択する画面が表示されます。

2 「1リスト」～「3タイル（文字）」▶[電話帳]を押す

メニュー形式・画面の配色を設定した旨のメッセージが表示されます。[決定]を押すとメニュー画面に戻ります。

画面配色設定

画面のカラー配色を変更する

画面の配色を変更します。

1 待受画面で[メニュー]▶「＊基本の機能・設定」▶「2画面の設定を行う」▶「2メニュー形式と配色を設定する」▶「2画面の配色」を押す

画面の配色を選択する画面が表示されます。

- [メール][iαppli]を押して配色の種類を選択すると、選択されている配色で画面が表示されます。

2 「1青」～「3白黒反転」▶[電話帳]を押す

メニュー形式・画面の配色を設定した旨のメッセージが表示されます。[決定]を押すとメニュー画面に戻ります。

お知らせ

- iアプリの画面の配色は変更されません。

照明設定

ディスプレイの照明を設定する

ディスプレイの照明の明るさを設定します。

● 照明の点灯時間は約１分間です。

1 **待受画面でメニュー▶「＊基本の機能・設定」▶「2画面の設定を行う」▶「3画面の明るさを設定する」を押す**

画面の明るさを選択する画面が表示されます。

● ⬜⬜ を押して明るさを選択すると、画面の照明は選択されている明るさに変わります。

2 **「1自動で調整」～「6暗く設定」のいずれかを押す**

明るさを設定した旨のメッセージが表示されます。決定を押すとメニュー画面に戻ります。

おしらせ

●「自動で調整」に設定すると、周囲の明るさによってボタン部分も点灯します（それ以外の設定では常に点灯）。このときの明るさは画面の明るさの設定に関わらず一定です。

文字種類選択

文字の種類を選ぶ

画面に表示する文字の種類を選びます。

本文　残9979
A教室に13時集合
です

<ゴシック体>

本文　残9979
A教室に13時集合
です

<教科書体>

● 背面ディスプレイの文字は変更できません。

1 **待受画面でメニュー▶「＊基本の機能・設定」▶「2画面の設定を行う」▶「4文字の種類を選ぶ」を押す**

文字の種類を選択する画面が表示されます。

● ⬜⬜ を押して書体を選択すると、文字種の例が表示されます。

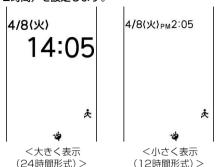
2 **「1ゴシック体」または「2教科書体」を押す**

書体を設定した旨のメッセージが表示されます。決定を押すとメニュー画面に戻ります。

時計表示設定

時計の表示を設定する

待受画面の時計表示の有無や大きさ、待受画面と背面ディスプレイの時計の表示形式（24時間／12時間）を設定します。

<大きく表示（24時間形式）>　<小さく表示（12時間形式）>

1 **待受画面で[メニュー]▶「[＊]基本の機能・設定」▶「[9]時計を設定する」▶「[2]待受画面の時計を設定する」を押す**

待受画面の
時計表示を
設定してください
[1]待受時計表示
大きく表示
[2]表示形式
24時間形式

[1]**待受時計表示**：時計を表示するかどうかと表示の大きさを設定します。

[2]**表示形式**：時計の表示形式を24時間形式と12時間形式のどちらで表示するかを設定します。

2 **「[1]待受時計表示」または「[2]表示形式」を押す**

■ **待受時計表示を設定する**：**「[1] 待受時計表示」▶「[1]大きく表示」～「[3]表示しない」のいずれかを押す**
操作1の画面に戻ります。

■ **表示形式を設定する**：**「[2] 表示形式」▶「[1]24時間形式」または「[2]12時間形式」を押す**
操作1の画面に戻ります。

3 **[電話帳]を押す**

時計表示を設定した旨のメッセージが表示されます。[決定]を押すとメニュー画面に戻ります。

お知らせ

- 表示形式を12時間形式に設定した場合、待受画面と背面ディスプレイのみ反映されます。
- 待受時計表示を「大きく表示」に設定しても、iアプリが待受画面に表示されている場合は時計が小さく表示されます。
- 背面ディスプレイの時計表示は切り替えられます。→p.30

あんしん設定

暗証番号について

携帯電話の操作や機能を制限します

発着信や送受信を制限します

その他の「あんしん設定」について

FOMA端末で利用する暗証番号について

FOMA端末を便利にお使いいただくための各種機能には、暗証番号が必要な場合があります。暗証番号には、各種端末操作用の端末暗証番号の他、ネットワークサービスでお使いになるネットワーク暗証番号、iモードパスワードなどがあります。用途ごとに上手に使い分けて、FOMA端末を活用してください。

各種暗証番号に関するご注意

- 設定する暗証番号は「生年月日」「電話番号の一部」「所在地番号や部屋番号」「1111」「1234」などの他人にわかりやすい番号はお避けください。また、設定した暗証番号はメモを取るなどしてお忘れにならないようお気をつけください。
- 暗証番号は、他人に知られないように十分ご注意ください。万が一暗証番号が他人に知られ悪用された場合、その損害については、当社は一切の責任を負いかねます。
- ドコモからお客様の暗証番号をうかがうことは一切ございません。
- 各種暗証番号を忘れてしまった場合は、ご契約者本人であることが確認できる書類（運転免許証など）やFOMA端末、FOMAカードをドコモショップ窓口までご持参いただく必要があります。
  詳細は取扱説明書裏面の「総合お問い合わせ先」までご相談ください。

端末暗証番号

FOMA端末には、設定や解除の際に端末暗証番号の入力が必要な機能があります。お買い上げ時の端末暗証番号は「0000」に設定されていますが、お客様ご自身で番号を変更できます。→p.125

- 端末暗証番号入力画面で誤った端末暗証番号を連続5回入力すると、電源が自動的に切れます。誤った端末暗証番号を入力した累積回数は、正しい端末暗証番号を入力したり、新たに端末暗証番号入力画面を表示したりするとクリアされます。

ネットワーク暗証番号

ドコモeサイトでの各種手続き時や各種ネットワークサービスご利用時にお使いいただく数字4桁の番号で、ご契約時に任意の番号を設定いただきますが、お客様ご自身で番号を変更できます。

パソコン向け総合サポートサイト「My DoCoMo」の「DoCoMo ID／パスワード」をお持ちの方は、パソコンから新しいネットワーク暗証番号への変更手続きができます。

なお、iモードからは、ドコモeサイト内の「各種手続き」からお客様ご自身で変更できます。

- 「My DoCoMo」「ドコモeサイト」については、取扱説明書裏面をご覧ください。

iモードパスワード

マイメニューの登録／削除、メッセージサービス、iモード有料サービスのお申し込み／解約などを行う際には、4桁の「iモードパスワード」が必要です。ご契約時は「0000」に設定されていますが、お客様ご自身で番号を変更できます。
→p.183

この他にも各IP（情報サービス提供者）が独自にパスワードを設定している場合があります。

PIN1コード／PIN2コード

FOMAカードには、PIN1コード、PIN2コードという2つの暗証番号を設定できます。ご契約時はどちらも「0000」に設定されていますが、お客様ご自身で番号を変更できます。→p.127

PIN1コードは、第三者によるFOMA端末の無断使用を防ぐため、FOMAカードを取り付けるたび、またはFOMA端末の電源を入れるたびに使用者を確認するために入力する番号（コード）です。PIN1コードを入力することにより、発着信および端末操作ができます。

PIN2コードは、ユーザ証明書利用時や発行申請、積算通話料金リセットを行うときなどに使用する暗証番号です。

- 別のFOMA端末で利用していたFOMAカードを差し替えてお使いになる場合は、以前に設定されたPIN1コード／PIN2コードをご利用ください。設定を変更されていない場合は、「0000」となります。

PINロック解除コード

PINロック解除コードは、PIN1コード、PIN2コードがロックされた状態を解除するための数字8桁の番号です。お客様ご自身では変更することができません。

- PINロック解除コードの入力を連続10回間違えると、FOMAカードがロックされます。

PIN1／PIN2コード入力

↓ 連続3回間違い

PINロック解除コード入力

↓ OK → 新PIN1／PIN2コード設定可能

↓ 連続10回間違い → ドコモショップ窓口にお問い合わせください

お知らせ

- いたずら防止のため、端末暗証番号、iモードパスワード、PIN1コード、PIN2コードはご契約後にお好きな番号に変更してください。

端末暗証番号変更

端末暗証番号を変更する

お買い上げ時の端末暗証番号や、現在設定している端末暗証番号を変更します。

- 入力した端末暗証番号は「*」で表示されます。

1 待受画面でメニュー▶「#詳細な機能・設定」▶「9操作の制限をする」▶「7暗証番号を変更する」を押す

現在の端末暗証番号入力画面が表示されます。

2 現在の端末暗証番号を入力▶決定を押す

新しい暗証番号を
入力してください

3 新しい端末暗証番号を入力▶決定を押す

確認のため新しい
暗証番号を再度
入力してください

4 操作3で入力した新しい端末暗証番号をもう一度入力▶決定を押す

暗証番号を変更した旨のメッセージが表示されます。決定を押すとメニュー画面に戻ります。

PINコード設定

PINコードを設定する

- PINコードの設定はFOMAカードに記録されます。FOMAカードを別のFOMA端末に差し替えてお使いになる場合は、現在の設定のままご利用になれます。
- PIN1コード、PIN2コードには、4～8桁の数字を設定します。

PIN1コード使用

FOMA端末の電源を入れたときにPIN1コードを入力するように設定します。

- 入力した端末暗証番号またはPIN1コードは「*」で表示されます。

1 **待受画面で[メニュー]▶「[#]詳細な機能・設定」▶「[9]操作の制限をする」▶「[8]FOMAカードのPINコードを設定する」を押す**

端末暗証番号入力画面が表示されます。

2 **端末暗証番号を入力▶[決定]を押す**

FOMAカードの
PINコードを
設定してください

1 PIN1コード変更
2 PIN2コード変更
3 PIN1コード使用

3 **「[3]PIN1コード使用」を押す**

PIN1コードを使用するかどうかの確認画面が表示されます。

4 **「[1]使用する」または「[2]使用しない」を押す**

PIN1コードを
入力してください
残り 3回
入力できます

5 **PIN1コードを入力▶[決定]を押す**

PIN1コードを使用する／しない旨のメッセージが表示されます。[決定]を押すとメニュー画面に戻ります。

- 現在の設定を変更しない場合、PIN1コードの入力画面は表示されません。
- ご契約時のPIN1コードは「0000」に設定されています。

PIN1コード使用を設定すると

FOMA端末の電源を入れると、PIN1コード入力画面が表示されます。正しいPIN1コードを入力すると、待受画面が表示されます。正しいPIN1コードを入力しないと、すべての操作ができません。

- 入力したPIN1コードは「*」で表示されます。

1 **FOMA端末の電源が入っていない状態で[終話]を2秒以上押す**

PIN1コードを
入力してください
残り 3回
入力できます

電源が入ります。

2 **PIN1コードを入力▶[決定]を押す**

PIN1コードが認識された旨のメッセージが表示され、待受画面が表示されます。

お知らせ

- PIN1コードの入力を連続3回間違えると、PIN1コードが認識できなかった旨のメッセージが表示され、PIN1コードがロックされます。[決定]を押すとPINロック解除コードの入力画面が表示されます。→p.128
- 通知時刻自動電源ON設定により自動的に電源が入ると、PIN1コード入力画面よりも優先して目覚ましや予定の通知が動作します。[終話]を押すと、PIN1コードの入力画面が表示されます。

PIN1コード／PIN2コード変更

- PIN1コードを変更するときは、あらかじめPIN1コードを使用するように設定する必要があります。→p.126
- PIN2コードは、ユーザ証明書利用時や発行申請、積算通話料金リセットを行うときなどに使用します。→p.203、p.389
- PIN1コード、PIN2コード変更の操作方法は同様です。
- 入力した端末暗証番号またはPIN1コード、PIN2コードは「*」で表示されます。

〈例〉PIN1コードを変更する

1 待受画面で[メニュー]▶「[#]詳細な機能・設定」▶「[9]操作の制限をする」▶「[8]FOMAカードのPINコードを設定する」を押す

端末暗証番号入力画面が表示されます。

2 端末暗証番号を入力▶[決定]を押す

FOMAカードのPINコードの設定画面が表示されます。

3 「[1]PIN1コード変更」を押す

現在の
PIN1コードを
入力してください
残り 3回
入力できます

4 現在のPIN1コードを入力▶[決定]を押す

新しい
PIN1コードを
入力してください

5 新しいPIN1コードを入力▶[決定]を押す

確認のため新しい
PIN1コードを再度
入力してください

6 操作5で入力した新しいPIN1コードをもう一度入力▶[決定]を押す

PIN1コードを変更した旨のメッセージが表示されます。[決定]を押すとメニュー画面に戻ります。

- 現在のPIN1コードの入力に失敗すると、PIN1コードが認識できなかった旨のメッセージが表示されます。[決定]を押して操作4からやり直してください。
- 操作5で入力した新しいPIN1コードと一致しない場合、新しいPIN1コードが一致しない旨のメッセージが表示されます。[決定]を押して操作5からやり直してください。

おしらせ

- 現在のPIN1コード／PIN2コードの入力を連続3回間違えると、PIN1コード／PIN2コードが認識できなかった旨のメッセージが表示され、[決定]を押すとPIN1コード／PIN2コードがロックされます。[決定]を押すとPINロック解除コード入力画面が表示されます。→p.128
- PIN2コードを連続3回間違えてFOMA端末がロックされた場合でも、電話の発着信やメールの送受信などはできますが、PIN1コードを連続3回間違えてFOMA端末がロックされた場合には、それらの操作はできなくなります。

PINロックを解除する

PINコード入力画面でPINコードの入力を連続3回間違えると、PINコードがロックされます。その場合は、ロックを解除してから新しいPINコードを設定します。

- PIN1コード、PIN2コードのPINロック解除の操作方法は同様です。
- 入力したPINロック解除コード、PIN1コード、PIN2コードは「*」で表示されます。

〈例〉PIN1コードのロックを解除する

1 PIN1コードがロックされた旨の確認画面で決定を押す

PINロック
解除コードを
入力してください
残り10回
入力できます

2 PINロック解除コードを入力▶決定を押す

新しい
PIN1コードを
入力してください

3 新しいPIN1コードを入力▶決定を押す

確認のため新しい
PIN1コードを再度
入力してください

4 操作3で入力したPIN1コードをもう一度入力▶決定を押す

PINロック解除コードが認識された旨のメッセージが表示されます。決定を押すとメニュー画面に戻ります。

- PINロック解除コードの入力に失敗すると、PINロック解除コードが認識できなかった旨のメッセージが表示されます。決定を押して操作2からやり直してください。
- 操作3で入力した新しいPIN1コードと一致しない場合、新しいPIN1コードが一致しない旨のメッセージが表示されます。決定を押して操作3からやり直してください。

各種ロック機能について

FOMA端末には、さまざまなロック機能があります。目的に合わせてご利用ください。

項　目	説　明	参照先
オールロック	各機能のメニュー操作などをできないようにして、他人が不正に使用するのを防げます。	p.129
おまかせロック	紛失した場合などに第三者に不正に使用されないようロックをかけます。	p.130
セルフモード	電話やｉモード、メール、赤外線通信などの通信を必要とするすべての機能を利用できないようにします。	p.131
シークレットモード	電話帳データや予定表にシークレット属性を設定すると、そのデータは端末暗証番号の入力を必要とするシークレットモード中のみ表示されます。	p.132
履歴表示制限	リダイヤルや着信履歴、伝言メモ、音声メモの表示を制限します。	p.133
個人情報表示制限	電話帳データやメールなどの個人情報の表示や改ざんをできないようにします。	p.133
ダイヤル発信制限	電話帳やワンタッチダイヤルを利用する以外の方法では、電話をかけられないように設定します。	p.135
開閉ロック	FOMA端末を閉じるたびに[音声]、[マナー]、[+][-]以外のボタン操作を無効にし、他人が不正に使用するのを防ぎます。	p.136
ICカードロック	ICカード機能を利用できないようにします。	p.296
電源切時ICカードロック設定	FOMA端末の電源を切ったときに、すべてのICカード機能を利用できないようにします。	p.296

- シークレットモード以外のロック機能の設定は、電源を切っても保持されます。
- おまかせロック以外のロック機能を設定しても、緊急通報（110番、119番、118番）とワンタッチブザーの自動音声発信はできます。

- 複数のロック機能を同時に設定できます。たとえば、ダイヤルボタンによる電話発信と、電話帳や個人情報などの表示を同時に制限するときは、ダイヤル発信制限と個人情報表示制限をそれぞれ「制限する」に設定します。

オールロック

他の人が使用できないようにする

オールロック中は、各機能のメニュー操作などをできないようにして、他人が不正に使用するのを防げます。

オールロック中に緊急通報（110番、119番、118番）を行うには、待受画面で緊急通報番号を入力して[発信]を押します。
※ 端末暗証番号入力画面で入力した緊急通報番号は「*」で表示されます。

- ICカードロックとオールロックの両方を起動するには、ICカードロック→オールロックの順に起動してください。→p.296
- microSDメモリーカードやFOMAカードにはロックはかかりません。

オールロックの設定

1 待受画面で[メニュー]▶「[#]詳細な機能・設定」▶「[9]操作の制限をする」▶「[2]全ての操作を制限する」を押す

端末暗証番号入力画面が表示されます。

2 端末暗証番号を入力▶[決定]を押す

全ての操作を制限した旨のメッセージが表示されます。[決定]を押すと待受画面に戻ります。待受画面に「全ての操作を制限しています」と表示されます。
- オールロック中は、FOMA端末を閉じているときに[音声]または[+][-]を押すと、背面ディスプレイに「オールロック中」と表示されます。

オールロックの解除

1 **オールロック中に待受画面で端末暗証番号を入力▶決定を押す**

全ての操作の制限を解除した旨のメッセージが表示されます。決定を押すと待受画面に戻ります。

お知らせ

- 待受画面に画像やカレンダー、ｉアプリを表示するように設定していても、お買い上げ時の画像が表示されます。
- 電話帳指定着信拒否／許可の設定に関わらず着信します。
- 開閉ロックを「設定する」に設定していても、オールロックが優先されます。
- 目覚ましや予定の通知は動作しません。また、ワンセグの視聴予約や録画予約による起動もしません。ワンセグの予約録画中のときは、録画は停止されます。
- 次の機能は利用できます。
  - 音声電話やテレビ電話を受ける操作※1
  - 電話帳お預かりサービスの自動更新
  - ｉモードメールやSMS、メッセージR/Fの受信※2
  - おまかせロックの起動
  - エリアメールの受信
  - 読み取り機からのトルカの取得
  - GPSの位置提供の要求を受けたときの操作※3
  - ワンタッチブザーの自動音声発信
  - ソフトウェア更新中
  - パターンデータの自動更新中

  ※1 電話帳に登録している相手の名前は表示されず、電話番号が表示されます。また、着信時の着信画像や着信音などはお買い上げ時の状態に戻ります。オールロックを解除すると着信履歴に表示されます。

  ※2 着信時や受信時の動作はしません。

  ※3 位置提供の要求者IDが電話帳データと一致しても、要求者名は表示されません。

おまかせロックを利用する

FOMA端末を紛失した場合などに、ドコモにご連絡いただくか、またはMy DoCoMoからの操作により遠隔操作でご契約中のFOMAカードが挿入されているFOMA端末にロックをかけるサービスです。
お客様からのお申し出などによりロックを解除することができます。

※ おまかせロックは有料サービスです。ただし、ご利用の一時中断と同時、もしくは一時中断中に申し込まれた場合は無料になります。おまかせロック中でも位置提供機能の設定が「受信する」の場合は、GPS機能の位置提供要求に対応します。

おまかせロックの設定／解除
0120-524-360　受付時間　24時間
※ パソコンなどでMy DoCoMoのサイトからも設定／解除ができます。

- おまかせロックの詳細については『ご利用ガイドブック（ｉモード〈FOMA〉編）』をご覧ください。

おまかせロックを起動すると

待受画面に「おまかせロック中です」と表示されます。

- おまかせロック中は、FOMA端末を閉じているときにまたは＋－を押すと、背面ディスプレイに「おまかせロック中」と表示されます。
- 電源を入れる／切る操作や、音声電話やテレビ電話を受ける操作、GPSの位置提供の要求を受けたときの操作以外のボタン操作ができなくなるほか、ICカード機能も使用することができなくなります。ただし、microSDメモリーカードやFOMAカードにはロックはかかりません。

お知らせ

- 音声電話やテレビ電話の着信はしますが、電話帳に登録している相手の名前は表示されず、電話番号が表示されます。また、着信時の着信画像や着信音などは、お買い上げ時の状態に戻ります。おまかせロックを解除すると設定は元の状態に戻ります。
- GPSの位置提供の要求者IDが電話帳データと一致しても、要求者名は表示されません。
- 受信したメールは、メールセンターに保存されます。
- 他の機能が起動中におまかせロックを起動した場合は、起動中の各機能を終了します（編集中のデータがあるときは、編集中のデータを保存せずに終了する場合があります）。
- 各種ロック機能を設定中でも、おまかせロックが優先されます。
- FOMA端末を紛失したときに電源が入っていない場合や圏外、セルフモード中は、おまかせロックがかかりません。
- 電源を入れる／切る操作はできますが、電源を切ってもロックは解除されません。
- デュアルネットワークサービスをご契約のお客様が、movaサービスをご利用中の場合はおまかせロックがかかりません。
- おまかせロックはFOMA端末に挿入されているFOMAカードのご契約者本人からのお申し出によりロックをかけるサービスのため、ご契約者本人とFOMA端末を所持しているお客様が異なる場合でも、ご契約者本人からのお申し出がある場合は、おまかせロックがかかります。
- おまかせロックの解除は、おまかせロックをかけたときと同じ電話番号のFOMAカードをFOMA端末に挿入している場合のみ行うことができます。万が一解除できない場合は、取扱説明書裏面の「総合お問い合わせ先」までお問い合わせください。

セルフモード

発信や着信ができないようにする

電話やｉモード、メール、赤外線通信などの通信を必要とするすべての機能を利用できないようにします。

1 **待受画面で[メニュー]▶「[#]詳細な機能・設定」▶「[9]操作の制限をする」▶「[3]セルフモードを設定する」を押す**

セルフモードを設定するかどうかの確認画面が表示されます。

2 **「[1]設定する」を押す**

セルフモードを設定した旨のメッセージが表示されます。[決定]を押すとメニュー画面に戻ります。

- 「[2]解除する」：セルフモードを解除します。
- 本機能を使用中は、ディスプレイ上部にSELFが表示されます。FOMA端末を閉じているときは、背面ディスプレイにSELFが表示されます。

お知らせ

● 次の機能が利用できません。
- 電話やテレビ電話の発着信
- ボイスメニュー※
- ｉモード、メールの送受信
- 読み取り機からのトルカの取得
- GPS（現在地通知一覧への通知先の登録や編集、削除含む）
- 赤外線通信／iC通信や赤外線リモコン
- パソコンとつないだパケット通信、64Kデータ通信

※ 本機能を設定中に使用できない機能は、ボイスメニューでの呼び出しはできません。

● 本機能を使用中は、電話をかけてきた相手には電波が届かないか電源が入っていない旨のガイダンスが流れます。なお、留守番電話サービス、転送でんわサービスは利用できます。

● 本機能設定中に受信したｉモードメールやメッセージR/Fは、ｉモードセンターに保管されます。受信する場合は本機能を解除してからｉモード問合せを行ってください。

● 本機能設定中に緊急通報（110番、119番、118番）やワンタッチブザーの自動音声発信を行うと、本機能は解除されます。

シークレットモード

シークレット設定されている情報を表示する

本機能を設定すると、シークレット属性を設定している電話帳データや予定表を表示できます。また、シークレット属性を設定したり、解除したりする場合にもシークレットモードを設定する必要があります。

シークレットモードの設定

1 **待受画面で[メニュー]▶「[#]詳細な機能・設定」▶「[9]操作の制限をする」▶「[4]シークレットモードに設定する」を押す**

シークレットモードを設定するかどうかの確認画面が表示されます。

2 **「[1]設定する」を押す**

端末暗証番号入力画面が表示されます。

● 「[2]解除する」：シークレットモードを解除します。

3 **端末暗証番号を入力▶[決定]を押す**

シークレットモードを設定した旨のメッセージが表示されます。[決定]を押すとメニュー画面に戻ります。

● 本機能を使用中は、ディスプレイ上部に🔑が表示されます。

シークレットモードの解除

1 **シークレットモード中に待受画面で [ー] を押す**

シークレットモードが解除されます。

お知らせ

- 電話帳データにシークレット属性を設定する →p.100
- 予定にシークレット属性を設定する→p.384

履歴表示制限

リダイヤル・着信履歴などの表示を制限する

リダイヤルや着信履歴などの表示を制限して、他人に発着信情報を知られないようにします。

1 **待受画面で [メニュー] ▶「[#] 詳細な機能・設定」▶「[9] 操作の制限をする」▶「[5] 電話の履歴表示を制限する」を押す**

端末暗証番号入力画面が表示されます。

2 **端末暗証番号を入力 ▶ [決定] を押す**

着信履歴／リダイヤル／伝言メモ／通話音声メモの表示を制限するかどうかの確認画面が表示されます。

3 **「[1] 制限する」を押す**

履歴表示を制限した旨のメッセージが表示されます。[決定] を押すとメニュー画面に戻ります。

- 「[2] 制限しない」：履歴表示の制限を解除します。

お知らせ

- 次の機能が利用できません。
  - リダイヤル／着信履歴
  - 伝言メモ
  - ボイスメニュー※
  - 音声メモ

  ※ 本機能を設定中に使用できない機能は、ボイスメニューでの呼び出しはできません。
- 本機能を「制限する」に設定しても、発着信情報はリダイヤル／着信履歴に記録されます。制限を解除すると、制限中に記録された発着信情報を表示することができます。
- 本機能を「制限する」に設定しても、伝言メモの録音／録画や音声メモの録音はできます。

個人情報表示制限

電話帳やメールなどを表示しないようにする

電話帳データやメールなどの個人情報の表示や改ざんを防げます。

- 登録外着信拒否中は、本機能を使用できません。→p.141
- 本機能を使用中でも発着信は記録されます。リダイヤルや着信履歴からは電話をかけることができます。

1 **待受画面で [メニュー] ▶「[#] 詳細な機能・設定」▶「[9] 操作の制限をする」▶「[6] 個人の情報表示を制限する」を押す**

端末暗証番号入力画面が表示されます。

2 **端末暗証番号を入力 ▶ [決定] を押す**

個人の情報表示を制限するかどうかの確認画面が表示されます。

3 **「[1] 制限する」を押す**

個人の情報表示を制限した旨のメッセージが表示されます。[決定] を押すとメニュー画面に戻ります。

- 「[2] 制限しない」：個人の情報表示の制限を解除します。
- 本機能を使用中は、待受画面に [アイコン] が表示されます。

個人情報の表示を制限すると

● 次の機能（すべて、または一部の設定）が利用できなくなります。ただし、microSDメモリーカードやFOMAカードにはロックはかかりません。
- 個人情報
- 伝言メモ
- 電話帳
- ワンタッチダイヤル
- 着信音設定
- 待受画面設定（「画像を表示」「ｉアプリを表示」を含む）
- 電話帳指定着信拒否／許可
- 非通知理由別着信設定
- 登録外着信拒否
- 電話帳お預かりサービス（自動更新を除く）
- ボイスダイヤル、ボイスメニュー
- ｉモード、ｉチャネル
- メール※1、SMS※1、メッセージR/F※1、ｉモード問合せ※1、エリアメールの受信
- ユーザ証明書操作
- GPS※2
- ｉアプリ
- DCMX、Edy、トルカ、他のおサイフケータイ対応サービス、音声入力メールのソフト
- ワンセグ※6
- 写真（アルバムや拡大鏡、手書きメモ、バーコード読取りを含む）、ビデオ（アルバムや映像のない動画／ｉモーションの利用含む）、メロディ
- microSDメモリーカードの利用
- 赤外線送信／受信、iC送信／受信
- 通知時刻自動電源ON設定
- 目覚まし、予定表（待受カレンダーに表示される予定を含む）
- ワンタッチブザー設定※3
- 音声メモ
- 歩数計※4
- イヤホンスイッチ設定※5
- 各種設定リセット、データ一括削除
- データ転送

※1 自動受信はできますが、受信中および受信結果の画面表示や着信音の鳴動などの受信時の動作はしません。また、メールの設定もできません。

※2 イマドコサーチによる位置提供の要求を受けたときの操作はできます。ただし、要求者IDが電話帳データと一致しても要求者名は表示されません。

※3 本機能を「有効にする」に設定できますが、自動音声発信先を設定できません。

※4 歩数のカウントは行いますが、その他の操作はできません。

※5 イヤホンスイッチを利用しての音声電話の発信はできません。

※6 予約録画中に本機能を設定すると、録画は停止されます。

お知らせ

● 本機能を使用中に制限されている機能をメニューから選択すると、個人の情報表示が制限されている旨のメッセージが表示され実行できません。サブメニューの場合は、実行できない機能はグレーなどで薄く表示され選択できません。

● 本機能を使用中は、電話帳に登録している相手から電話がかかってきても、相手の名前は表示されず、電話番号のみ表示されます。

● 本機能の対象となっている画像やメロディを待受画面や着信音などに設定していると、本機能を使用中は設定がお買い上げ時の状態に戻ります。本機能を解除すると、設定は元の状態に戻ります。ただし、「内蔵写真」「内蔵メロディ」「内蔵ビデオ」フォルダ内に登録されているデータを設定している場合は、本機能を使用してもお買い上げ時の状態には戻りません。

ダイヤル発信制限

ダイヤル発信を禁止する

電話帳やワンタッチダイヤルを利用する以外の方法では、電話をかけられないように設定します。

1 **待受画面で[メニュー]▶「[#]詳細な機能・設定」▶「[9]操作の制限をする」▶「[9]ダイヤル入力での発信を制限する」を押す**

端末暗証番号入力画面が表示されます。

2 **端末暗証番号を入力▶[決定]を押す**

ダイヤル入力での発信を制限するかどうかの確認画面が表示されます。

3 **「[1]制限する」を押す**

ダイヤル入力での発信の制限を設定した旨のメッセージが表示されます。[決定]を押すとメニュー画面に戻ります。

- 「[2]制限しない」:ダイヤル入力での発信の制限を解除します。
- 本機能を使用中は、待受画面に[アイコン]が表示されます。

ダイヤル入力での発信を制限すると

- 次の操作ができなくなります。
  - 個人情報の登録、修正
  - ダイヤル入力による発信
  - リダイヤルや着信履歴からの発信※1
  - 外部機器と接続しての発信※2
  - 電話帳の登録、修正、削除、シークレットコード入力
  - FOMA端末電話帳とFOMAカード電話帳間でのコピー
  - ワンタッチダイヤルの新規登録
  - ボイスメニュー※3
  - iモードメール/SMSの送信※4
  - Phone To(AV Phone To)、Mail To、SMS To機能
  - GPSの現在地通知※5
  - 他の携帯電話や外部機器との電話帳データと個人情報の送受信
  - microSDメモリーカード内の電話帳データの参照
  - 電話帳データのmicroSDメモリーカードへの保存/復元
  - ダイヤル入力操作によるネットワークサービスの利用
  - パソコンとつないだパケット通信、64Kデータ通信

※1 電話帳やワンタッチダイヤルに登録している相手への発信や送信はできます。

※2 外部機器から FOMA 端末電話帳のメモリ番号を指定しての発信はできます。

※3 本機能を設定中に使用できない機能は、ボイスメニューでの呼び出しはできません。

※4 電話帳やワンタッチダイヤルを利用しての送信、または電話帳やワンタッチダイヤルに登録された相手からのメールに返信はできます。

※5 登録した通知先への通知はできます。通知先一覧への通知先の登録や編集、削除はできません。

開閉ロック

FOMA端末を閉じるたびにボタンをロックする

開閉ロックを設定すると、FOMA端末を閉じるたびに[音声]、[マナー]、[+][-]以外のボタンがロックされます。解除しても開くたびに認証操作が必要なので、他人が不正にFOMA端末を使用するのを防げます。

開閉ロック中に緊急通報(110番、119番、118番)を行うには、端末暗証番号入力画面または待受画面、開閉ロック中画面で緊急通報番号を入力して[[]を押します。
※ 端末暗証番号入力画面で入力した緊急通報番号は「*」で表示されます。

● FOMA端末が次の場合は、開閉ロックがかかりません。
- 発着信中、通話中、保留中、切断中※
- エリアメール受信中(内容表示中を含む)※
- メロディ再生中※
- GPSで位置提供中※
- 赤外線通信／iC通信での送受信
- 目覚まし、予定の通知
- ワンタッチブザー鳴動中
- ソフトウェア更新中
- ワンセグ視聴予約※
- ワンセグで録画した番組の一覧表示中
- 64Kデータ通信、データ転送※

※ FOMA端末を閉じている状態で動作が終了した場合は、開閉ロックがかかります。

開閉ロックを設定する

1 待受画面で[メニュー]▶「[#]詳細な機能・設定」▶「[9]操作の制限をする」▶「[1]開閉ロックを設定する」を押す

端末暗証番号入力画面が表示されます。

2 端末暗証番号を入力▶[決定]を押す

開閉ロックを設定するかどうかの確認画面が表示されます。

3 「[1]設定する」を押す

● 開閉ロックを設定した旨のメッセージが表示されます。[決定]を押すとメニュー画面に戻ります。
● 「[2]解除する」:開閉ロックを解除します。

開閉ロックが起動すると

FOMA端末を閉じるたびに開閉ロックが起動し、[音声]、[マナー]、[+][-]以外のボタンがロックされます。このとき、背面ディスプレイには「開閉ロック成功」と表示され、背面ディスプレイの照明が青色で約5秒間点滅し、開閉ロックが起動したことをお知らせします。また、FOMA端末を閉じても開閉ロックが起動しなかったときは、背面ディスプレイの照明が赤色で約5秒間点滅し、開閉ロックが起動しなかったことをお知らせします。

● 解除するときは、FOMA端末を開いて認証操作を行います。次の画面が表示されたときは、端末暗証番号を直接入力するか、[メニュー]を押して認証操作を行います。

待受画面で開閉ロックを起動した場合の待受画面

待受画面以外で開閉ロックを起動した場合の開閉ロック中画面

お知らせ

- 待受画面に画像やカレンダー、iアプリを表示するように設定していても、お買い上げ時の画像が表示されます。
- 開閉ロック中でも、平型スイッチ付イヤホンマイク（別売）のスイッチを押して電話をかけられます。
- 本機能を設定中に電源を入れ直すと、開閉ロックが起動します。また、おまかせロックが起動したときは、おまかせロックを解除した後に開閉ロックが起動します。
- 次の機能は利用できます。
  - 電源を入れる／切る操作
  - 音声電話やテレビ電話を受ける操作
  - 電話帳お預かりサービスの自動更新
  - iモードメールやメッセージR/F、SMSの受信※
  - エリアメールの受信
  - おまかせロックの起動
  - 読み取り機からのトルカの取得
  - GPSの位置提供の要求を受けたときの操作
  - ワンセグ予約録画
  - ソフトウェア更新中
  - パターンデータの自動更新中

  ※ FOMA端末を開いた状態で受信した場合は、受信中および受信結果の画面表示や着信音の鳴動などの受信時の動作はしません。

電話帳指定着信拒否／許可

指定した電話番号からの電話だけを受けない／受ける

FOMA端末電話帳から相手を選んで着信拒否／許可一覧に登録し、その相手の電話番号に対して着信拒否／許可を設定します。拒否を設定すると、登録した相手からの電話はつながりません。また、許可を設定すると、登録した相手からの電話のみつながります。相手が電話番号を通知してきた場合のみ有効です。

- あらかじめ電話帳の登録が必要です。→p.87
- 番号通知お願いサービス（→p.420）や非通知理由別着信設定の着信動作の設定（→p.139）を併用することをおすすめします。

着信拒否／許可相手の登録

着信を拒否／許可する相手を電話帳から指定して登録します。

- 拒否／許可する相手は、それぞれ最大20件登録できます。
- FOMAカード電話帳から指定することはできません。

〈例〉着信を拒否する相手を登録する

1 **待受画面で［メニュー］▶「#詳細な機能・設定」▶「3電話・電話帳の詳細を設定する」**

2 **「2着信を拒否する相手を指定する」を押す**

端末暗証番号入力画面が表示されます。

- 「3着信を許可する相手を指定する」：着信を許可する相手を指定します。

3 **端末暗証番号を入力▶［決定］を押す**

登録した相手を
着信拒否に
設定しますか？

1設定する
2解除する
3相手を登録する

1**設定する**：着信拒否を設定します。
2**解除する**：着信拒否を解除します。
3**相手を登録する**：着信を拒否する相手を着信拒否登録一覧に登録します。

4 「3 相手を登録する」を押す

着信拒否登録一覧
1: [未登録]
2: [未登録]
3: [未登録]

5 登録先の番号を選択▶決定を押す

電話帳の検索画面が表示されます。

- 登録済みの相手を変更する：相手を選択▶メニュー▶「1 編集する」を押します。
- 登録済みの相手を削除する：相手を選択▶メニュー▶「2 削除する」▶「1 削除する」を押します。
- 決定を押すと、着信拒否登録一覧画面に戻ります。

6 登録する相手を検索して選択▶決定を押す

着信を拒否する相手に登録した旨のメッセージが表示されます。決定を押すと着信拒否登録一覧に戻ります。

- 検索方法→p.93
- 戻るを押すと続けて着信拒否／許可の設定ができます。→p.138「着信拒否／許可の設定」操作1～2
- 登録を行っただけでは、着信拒否／許可は設定されません。必ず着信拒否／許可の設定を行ってください。

おしらせ

- シークレット属性を設定した電話帳データは、着信拒否／許可登録一覧では［************］と表示されます。また、着信があっても着信拒否／許可の動作は行われません。シークレットモード中は名前が表示され、着信拒否／許可の動作が行われます。
- 登録した相手の電話帳データを修正／削除した場合は、着信を拒否／許可に登録した相手のデータも修正／削除されます。

着信拒否／許可の設定

電話帳指定着信拒否または電話帳指定着信許可を設定します。

- 電話帳指定着信拒否と電話帳指定着信許可を同時に設定できません。

〈例〉着信拒否を設定する

1 p.137の操作1～3を行う

2 「1 設定する」を押す

着信拒否を設定した旨のメッセージが表示されます。決定を押すとメニュー画面に戻ります。

- 着信を拒否する相手を登録していない場合は、相手が登録されていない旨のメッセージが表示されます。決定を押して相手を登録してください。→p.138「着信拒否／許可相手の登録」操作4～6

おしらせ

- 電話帳指定着信拒否を設定中に拒否した電話番号の着信があった場合、または電話帳指定着信許可を設定中に許可していない電話番号の着信があった場合は、着信音は鳴らずに電話が切れ、相手には話中音が流れます。ただし、その場合でも着信履歴には記録されます。
- 留守番電話サービス、転送でんわサービスの呼出時間を0秒に設定していた場合は、各サービスが動作して、着信履歴には記録されません。
- iモードメールやSMSは、本機能の設定に関わらず受信されます。

非通知理由別着信設定

発信者番号のわからない電話を受けない

発信者番号が通知されない着信があった場合、通知されない理由（発信者番号非通知理由→p.69）ごとに着信動作を設定します。

1 待受画面で［メニュー］▶「［#］詳細な機能・設定」▶「［3］電話・電話帳の詳細を設定する」▶「［5］発番号なしの着信動作を選ぶ」を押す

端末暗証番号入力画面が表示されます。

2 端末暗証番号を入力▶［決定］を押す

発番号通知がない
着信の種類を
選んでください

1 非通知設定
2 通知不可能
3 公衆電話

［1］**非通知設定**：非通知設定の着信動作を設定します。
［2］**通知不可能**：通知不可能の着信動作を設定します。
［3］**公衆電話**：公衆電話などの着信動作を設定します。

3 「［1］非通知設定」～「［3］公衆電話」のいずれかを押す

選んだ発番号なし
着信の動作を
設定してください

1 着信音を選択
2 着信音量を消音
3 着信を拒否
4 設定を解除

［1］**着信音を選択**：発信者番号の非通知理由ごとに着信音を設定します。
［2］**着信音量を消音**：着信音を鳴らさないようにします。
［3］**着信を拒否**：着信を拒否します。
［4］**設定を解除**：着信動作の設定を解除します。

4 「［1］着信音を選択」～「［4］設定を解除」のいずれかを押す

● 「［2］着信音量を消音」～「［4］設定を解除」：操作6に進みます。

5 「［1］メロディ」または「［2］着モーション」▶フォルダまたはアルバムを選択▶［決定］▶着信音を選択▶［決定］を押す

着信音を設定した旨のメッセージが表示されます。

● メロディまたは動画／ｉモーションの再生方法→p.112「電話が着信したときの着信音の設定」操作5

6 ［決定］を押す

非通知理由の選択画面に戻ります。

● 着信動作を設定した項目には「＊」が表示されます。

おしらせ

● 本機能を「着信を拒否」に設定中に発信者番号が通知されない着信があった場合は、着信音は鳴らずに電話が切れ、相手には話中音が流れます。ただし、その場合でも着信履歴には記録されます。
● 留守番電話サービス、転送でんわサービスの呼出時間を0秒に設定していた場合は、各サービスが動作して、着信履歴には記録されません。
● 本機能と番号通知お願いサービス（→p.420）を同時に設定した場合は、番号通知お願いサービスが優先して動作します。
● ｉモードメールやSMSは、本機能の設定に関わらず受信されます。
● 発信者番号が通知されない音声電話やテレビ電話がかかってくると、音声電話は着信音設定より本機能で設定した着信音が優先して鳴ります。テレビ電話の場合は、着信動作を「着信を拒否」に設定したときのみ本機能が動作します。それ以外に設定した場合は、着信音設定のテレビ電話の設定に従って動作します。→p.112

無音着信時間設定

電話帳未登録の相手の着信音を無音にする

登録していない相手や電話番号を通知してこない相手から音声電話やテレビ電話がかかってきたとき、設定した時間が経過した後に着信音などの呼出動作を開始するように設定します。「ワン切り」などの迷惑電話に効果的です。

● 本機能を使用中は、次のように動作します。
- 待受中または通話中に音声電話がかかってくると、無音着信時間内はディスプレイの表示のみで着信を知らせます。無音着信時間が経過すると、待受中の場合は通常の呼出動作を開始します。通話中の場合は「ププ…ププ…」という通話中着信音（→p.70）が受話口から聞こえます。
- 呼出時間が無音着信時間内の不在着信は、着信履歴に表示されません。また、新着情報と 📱« も表示されません。ただし、表示の切り替えにより、無音着信時間内の不在着信を表示できます。表示方法については「かかってきた電話に出なかったとき」のお知らせをご覧ください。→p.62
- 通常の着信履歴と無音着信時間内の不在着信は、合わせて最大30件記録されます。

● 登録外着信拒否中は、本機能を使用できません。

1 **待受画面で［メニュー］▶「［#］詳細な機能・設定」▶「［3］電話・電話帳の詳細を設定する」▶「［9］無音着信時間を設定する」を押す**

無音着信時間を
設定してください

［1］無音着信動作
設定しない
［2］無音着信時間
4秒間

［1］**無音着信動作**：本機能を有効にするかどうかを設定します。
［2］**無音着信時間**：着信してから呼出動作を開始するまでの時間を設定します。

2 **「［1］無音着信動作」を押す**

無音着信動作を設定するかどうかの確認画面が表示されます。

3 **「［1］設定する」を押す**

無音着信時間の設定画面が表示されます。
● 「［2］設定しない」：無音着信動作を設定しません。操作5に進みます。

4 **無音着信時間を入力▶［決定］を押す**

操作1の画面に戻ります。
● 1〜99秒の間で設定します。

5 **［電話帳］を押す**

無音着信時間を設定した旨のメッセージが表示されます。［決定］を押すとメニュー画面に戻ります。

おしらせ

● 電話帳に登録されている相手から電話がかかってきても、次のような場合は無音着信時間内の不在着信として記録され、着信履歴に表示されません。
- 個人情報表示制限中（→p.133）で、相手が無音着信時間内で電話を切ったとき
- シークレットモード中でない場合で、シークレット属性が設定されている相手が無音着信時間内で電話を切ったとき
- 発信者番号を非通知で電話をかけてきた相手が、無音着信時間内で電話を切ったとき

● 留守番電話サービスや転送でんわサービス、伝言メモを設定しているときは、電話がかかってくると、本機能の設定に関わらず各機能が動作します。

● 公共モード中は、本機能は動作しません。

● 電話帳指定着信拒否／許可（→p.137）、非通知理由別着信設定（→p.139）を設定中は、着信拒否の対象に設定している相手から電話がかかってくると、各機能が優先して動作します。

● 本機能とオート着信機能設定（→p.401）を同時に設定している場合、無音着信時間をオート着信機能設定の応答時間以上に設定すると、オート着信機能設定は動作しません。

● 本機能とオートスピーカーホン機能（→ p.71）を同時に設定している場合、無音着信時間を4秒以上に設定すると、オートスピーカーホン機能は動作しません。

登録外着信拒否

電話帳未登録の相手からの電話を受けない

電話帳に登録していない相手から音声電話やテレビ電話がかかってきたときに着信を拒否します。

- 電話がかかってきたときの表示について
→p.69「電話／テレビ電話を受ける」操作1
- 相手が電話番号を通知してきた場合に有効です。電話番号が通知されない相手からの着信は非通知理由別着信設定に従って動作します。非通知理由別着信設定、および番号通知お願いサービスを併用することをおすすめします。
→p.139、p.420
- 個人情報表示制限中（→p.133）や無音着信時間設定中（→p.140）は、本機能を使用できません。

1 **待受画面で[メニュー]▶「[#]詳細な機能・設定」▶「[3]電話・電話帳の詳細を設定する」▶「[4]電話帳登録外の着信を拒否する」を押す**

端末暗証番号入力画面が表示されます。

2 **端末暗証番号を入力▶[決定]を押す**

電話帳に登録されていない相手からの着信を受けるかどうかの確認画面が表示されます。

3 **「[1]拒否する」を押す**

電話帳登録外の着信を拒否するように設定した旨のメッセージが表示されます。[決定]を押すとメニュー画面に戻ります。

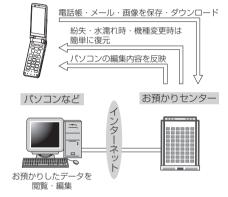
- 「[2]許可する」：電話帳登録外の着信を許可します。

お知らせ

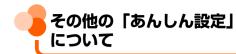
- 本機能を「拒否する」に設定中に電話帳未登録の相手やシークレット属性を設定した電話帳データからシークレットモード中でないときに着信があった場合は、着信音は鳴らずに電話が切れ、相手には話中音が流れます。ただし、その場合でも着信履歴には記録されます。
- 留守番電話サービス、転送でんわサービスの呼出時間を0秒に設定していた場合は、各サービスが動作して、着信履歴には記録されません。
- ｉモードメールやSMSは、本機能の設定に関わらず受信します。

電話帳お預かりサービスとは

電話帳を自動更新でバックアップできます。FOMA端末に保存されている電話帳・画像・メールをお預かりセンターに保存して、FOMA端末の紛失時や機種変更時などに保存データを復元できるサービスです。また、メールアドレスを変更した場合は、一斉通知することもできます。メール送信時にかかるパケット通信料はかかりません。パソコン（My DoCoMo）があれば、さらに便利にご利用いただけます。

- 電話帳お預かりサービスの詳細については、『ご利用ガイドブック（ｉモード〈FOMA〉編）』をご覧ください。

※ 電話帳お預かりサービスはお申し込みが必要な有料サービスです（お申し込みにはｉモード契約が必要です）。

- 電話帳・メール・画像をお預かりセンターに保存／復元する操作方法については、各ページを参照してください。
電話帳→p.99、p.100　メール→p.266　画像→p.343

その他の「あんしん設定」について

本章でご紹介した以外にも、次のようなあんしん設定に関する機能・サービスがありますのでご活用ください。

目　的	機能・サービス名称	参照先
ICカードを利用できないようにします。	ICカードロック	p.296
いたずら電話や繰り返しかかってくる間違い電話などの「迷惑電話」を受けません。	迷惑電話ストップサービス	p.420
発信者番号を通知してこない電話を受けません。	番号通知お願いサービス	p.420
電子認証サービスを利用して、安全で信頼性の高いデータ通信を行います(FirstPass対応サイトに限ります)。	FirstPass	p.178 p.205
必要な場合にFOMA端末のソフトウェアを更新します。	ソフトウェア更新	p.498
障害を引き起こすデータからFOMA端末を守ります。	スキャン機能	p.507
大量に届くメールの中から、必要なメールのみを受信します。	メール選択受信	p.234

目　的	機能・サービス名称	参照先
災害時にｉモードを利用して、安否情報を登録／確認します。	「ｉモード災害用伝言板」サービス	※
メールアドレスを変更します。	メールアドレス変更	
URLが記載されたメールを受信しません。	迷惑メール対策（URL付きメール拒否設定）	
指定したドメインからのメールを受信／拒否します。	迷惑メール対策(受信／拒否設定)	
ｉモードどうしのメールのみ受信／拒否します。		
指定したアドレスからのメールを受信／拒否します。		
迷惑メール対策のおすすめ設定を簡単に設定します。	迷惑メール対策（かんたん✉設定）	
1日に1台のｉモード端末から送信される500通目以降のｉモードメールを拒否します。	迷惑メール対策（ｉモードメール大量送信者からのメール受信制限）	
SMSの受信を拒否します。	迷惑メール対策（SMS拒否設定）	
一方的に送られてくる広告メールを受信しません。	その他設定(未承諾広告※メール拒否)	
受信するメールサイズを制限します。	メールサイズ制限	
メール機能の設定状況を確認します。	メール設定確認	
メール機能を一時的に停止します。	メール機能停止	
紛失した携帯電話のおおよその位置を確認します。	ケータイお探しサービス	

※『ご利用ガイドブック（ｉモード〈FOMA〉編）』をご覧ください。

音声呼び出し／読み上げ

ボイスダイヤル登録

音声で呼び出す電話帳の単語を登録する

FOMA端末の電話帳データを音声で呼び出せるように登録できます。

- 最大100件登録できます。
- 個人情報表示制限中は、本機能を使用できません。→p.133
- 登録済みの電話帳データを複数登録することはできません。
- 新たに電話帳データを登録するとき、登録済みの単語の読みを使用できません。

1 待受画面で[メニュー]▶「[＊]基本の機能・設定」▶「[8]音声呼出しを登録する」▶「[1]音声呼出電話帳を登録する」を押す

登録済みの電話帳データの数と、登録可能な電話帳データの数が表示されます。

電話帳呼出し用の
単語登録状況

登録数　2件
残り　98件

2 [決定]を押す

登録済みの電話帳データが「新規登録」の下に表示されます。

音声呼出し電話帳
新規登録
携帯あき子
携帯一郎

3 「新規登録」を選択▶[決定]を押す

電話帳の検索画面が表示されます。

4 音声で呼び出したい電話帳データを選択▶[決定]を押す

携帯花子
読みを
3文字以上で
登録してください
ｹｲﾀｲﾊﾅｺ

- 検索方法→p.93
- 呼び出し先として登録されている電話帳データを選択した場合、同じ電話帳データが登録されている旨のメッセージが表示されます。[決定]を押すと、登録済みの電話帳データの一覧に戻ります。

5 読みを入力▶[決定]を押す

音声呼び出し用の単語を登録した旨のメッセージが表示されます。[決定]を押すと登録済みの電話帳データの一覧に戻ります。

- 半角カタカナで3～10文字入力できます。
  次の文字を含む単語は登録できません。
  - 1文字目が「ﾝ」「ｰ」「ｧ」「ｨ」「ｩ」「ｪ」「ｫ」「ｬ」「ｭ」「ｮ」「ｯ」「ﾞ」「ﾟ」
  - 認識不可能な文字
    〈例〉「ｯ ｰ」「ﾝ ﾝ」「ﾝ ｰ」「ﾝ ｯ」「ｰｰ」「ｰｯ」など
  - 空白
- 操作4で選択した電話帳データのフリガナが表示されます。11文字以上の場合は、先頭10文字が表示されます。
- 登録済みの単語の読みを入力した場合、読みがすでに登録されている旨のメッセージが表示されます。[決定]を押すと単語の読みの入力画面に戻ります。
- 次の場合は、音声で電話帳データを呼び出せないことがあります。
  - 登録した読みが短いとき
  - 似た読みが他の電話帳データに登録されているとき

お知らせ

- 電話帳データを削除すると、それを呼び出すために登録した単語も削除されます。
- 電話帳データを変更しても、登録した単語の読みは変更されません。

登録済みの単語を確認

1 登録済みの電話帳データの一覧を表示する

- 操作方法→p.144「音声で呼び出す電話帳の単語を登録する」操作1～2

2 確認先を選択▶決定を押す

登録内容
呼出す相手
携帯花子
読み
ｹｲﾀｲﾊﾅｺｻﾝ

- 決定を押すと登録済みの電話帳データの一覧に戻ります。

登録内容の読みを変更する

1 登録済みの電話帳データの一覧を表示する

- 操作方法→p.144「音声で呼び出す電話帳の単語を登録する」操作1～2

2 変更先を選択▶電話帳を押す

読みの入力画面が表示されます。

- 以降の操作→p.144「音声で呼び出す電話帳の単語を登録する」操作5以降

登録内容を削除する

1 登録済みの電話帳データの一覧を表示する

- 操作方法→p.144「音声で呼び出す電話帳の単語を登録する」操作1～2

2 削除する読みが登録されている単語を選択▶メニュー▶「2削除する」を押す

選択した単語を削除するかどうかの確認画面が表示されます。

3 「1削除する」を押す

音声呼び出し用の単語を削除した旨のメッセージが表示されます。決定を押すと登録済みの単語の一覧に戻ります。

- 「2削除しない」：削除を中止します。

ボイスダイヤル

音声で電話帳を呼び出す

電話帳データを音声で呼び出せます。

- 音声で呼び出す電話帳データをあらかじめ登録しておく必要があります。→p.144
- 次の場合は、音声を認識しないことがあります。
  - 周囲の雑音が大きい場合
  - 発声が4秒以内に終わらなかった場合
  - 発声が明瞭でない場合
  - 発声が中断された場合
  - 発声の前後に咳払いをしたり、呼吸音などの雑音を出したりした場合
  - ボタンを押したり、こすったりした場合
- 平型スイッチ付イヤホンマイク（別売）などの使用時、マイク部分を口に近づけて発声してください。
- 個人情報表示制限中は、本機能を使用できません。→p.133

1 待受画面で電話帳を1秒以上押す

決定ボタンを押し
受話口を耳にあて
ピーという
発信音の後に
呼出す相手を
お話しください

2 決定▶受話口から「ピー」と聞こえたら、登録済みの単語の読みを発声する

呼び出した電話帳データが表示されます。

電話帳　No.010
携帯花子
ｹｲﾀｲﾊﾅｺ
会社
090XXXXXXXX

- 呼び出そうとした電話帳データが表示されない場合は、終話キーを押して操作1からやり直してください。
- 音声が認識されなかった場合、その旨のメッセージが表示されます。決定を押して操作1からやり直してください。

3 [ ] を押す

1件目の電話番号に電話がかかります。

- テレビ電話をかける場合は[テレビ電話]を押します。
- 2件以上の電話番号が登録されている電話帳データを呼び出した場合、[←][→]を押して電話をかける電話番号を表示させて[ ]または[決定]を押します。テレビ電話をかける場合は、[テレビ電話]を押します。

ボイスメニュー登録

音声で呼び出す機能の単語を登録する

機能を音声で呼び出せるように登録できます。

- 最大50件登録できます。
- お買い上げ時は、次の機能が登録されています。

呼び出す機能	単語の読み
音声電話の着信音を選ぶ	オンセイ
電話着信時の音量を調節する	オンリョウ
伝言メモを再生する	デンゴン
受信したメールを見る	ジュシンメール
例文を使ってメールを作る	レイブン
メール･メッセージを受信する	トイアワセ
写真を撮影する	シャシンサツエイ
ビデオを撮影する	ビデオサツエイ
写真のアルバムを見る	シャシンアルバム
ビデオのアルバムを見る	ビデオアルバム
目覚ましを使う	メザマシ
電卓を使う	デンタク
発信者番号通知を設定する	バンゴウツウチ
自分の電話番号を見る	デンワバンゴウ
電池残量を確認する	デンチザンリョウ

- メニュー画面で表示される機能のみ登録できます。
- 登録済みの機能を複数登録することはできません。
- 新たに機能を登録するとき、登録済みの単語の読みを使用できません。

1 待受画面で[メニュー]▶「[＊]基本の機能・設定」▶「[8]音声呼出しを登録する」▶「[2]音声呼出機能を登録する」を押す

登録済みの機能の数と、登録可能な機能の数が表示されます。

機能呼出し用の
単語登録状況
登録数　15件
残り　35件

2 [決定]を押す

登録済みの機能が「新規登録」の下に表示されます。

音声呼出し機能
新規登録
音声電話の着信音を選ぶ
電話着信時の音量を調節する
伝言メモを再生する
受信したメールを見る

3 「新規登録」を選択▶[決定]を押す

登録可能な機能の一覧が表示されます。

4 登録する機能を選択▶[決定]を押す

メールを作る
読みを
3文字以上で
登録してください

<「メールを作る」を選択した場合>

● 登録済みの機能を選択した場合、同じ機能が登録されている旨のメッセージが表示されます。決定を押すと、登録済みの機能の一覧に戻ります。

5 **読みを入力▶決定を押す**

音声呼び出し用の単語を登録した旨のメッセージが表示されます。決定を押すと登録済みの機能の一覧に戻ります。

● 半角カタカナで3～10文字入力できます。
次の文字を含む単語は登録できません。
- 1文字目が「ﾝ」「ｰ」「ｧ」「ｨ」「ｩ」「ｪ」「ｫ」「ｬ」「ｭ」「ｮ」「ｯ」「ﾞ」「ﾟ」
- 認識不可能な文字
〈例〉「ｯ ｰ」「ﾝ ﾝ」「ﾝ ｰ」「ﾝ ｯ」「ｰｰ」「ｰｯ」など
- 空白

● 登録済みの単語の読みを入力した場合、読みがすでに登録されている旨のメッセージが表示されます。決定を押すと単語の読みの入力画面に戻ります。

● 次の場合は、音声で機能を呼び出せないことがあります。
- 登録した読みが短いとき
- 似た読みが他の機能に登録されているとき

登録済みの機能を確認

1 **登録済みの機能の一覧を表示する**

● 操作方法→p.146「音声で呼び出す機能の単語を登録する」操作1～2

2 **確認先を選択▶決定を押す**

登録内容
呼出す機能
　メールを作る
読み
　ﾒｰﾙ

● 決定を押すと登録済みの機能の一覧に戻ります。

登録内容の読みを変更する

1 **登録済みの機能の一覧を表示する**

● 操作方法→p.146「音声で呼び出す機能の単語を登録する」操作1～2

2 **変更先を選択▶電話帳を押す**

読みの入力画面が表示されます。

● 以降の操作→p.147「音声で呼び出す機能の単語を登録する」操作5

登録内容を削除する

1 **登録済みの機能の一覧を表示する**

● 操作方法→p.146「音声で呼び出す機能の単語を登録する」操作1～2

2 **削除する機能を選択▶メニュー▶「2削除する」を押す**

選択した単語を削除するかどうかの確認画面が表示されます。

3 **「1削除する」を押す**

音声呼び出し用の単語を削除した旨のメッセージが表示されます。決定を押すと登録済みの機能の一覧に戻ります。

● 「2削除しない」：削除を中止します。

ボイスメニュー

音声で機能を呼び出す

音声で機能を呼び出して、使用できます。

● 音声で呼び出す機能をあらかじめ登録しておく必要があります。→p.146

● 次の場合は、音声を認識しないことがあります。
- 周囲の雑音が大きい場合
- 発声が4秒以内に終わらなかった場合
- 発声が明瞭でない場合
- 発声が中断された場合
- 発声の前後に咳払いをしたり、呼吸音などの雑音を出したりした場合
- ボタンを押したり、こすったりした場合

● 平型スイッチ付イヤホンマイク（別売）などの使用時、マイク部分を口に近づけて発声してください。

● 次の機能は、音声で呼び出すことができません。
- セルフモード中に使用できない機能→p.131

- 個人情報表示制限中に使用できない機能
→p.134
- ダイヤル発信制限中に使用できない機能
→p.135
- 履歴表示制限中に使用できない機能
→p.133

1 待受画面で[メニュー]を1秒以上押す

決定ボタンを押し
受話口を耳にあて
ピーという
発信音の後に
呼出す機能を
お話しください

2 [決定]▶受話口から「ピー」と聞こえたら、登録済みの単語の読みを発声する

呼び出した機能が表示されます。
- 呼び出そうとした機能が表示されない場合は、[ー]を押して操作1からやり直してください。
- 音声が認識されなかった場合、その旨のメッセージが表示されます。[決定]を押して操作1からやり直してください。

機能の説明やメールの内容などを音声で読み上げる

機能の説明やメールの内容などの読み上げを自動または手動に設定できます。また、読み上げの動作、声質、速さ、音量を変更できます。
- 「自動で読み上げ」または「手動で読み上げ」に設定すると、音声読み上げに対応する画面では[読み上げ]が表示されます。
- 音声読み上げに対応する項目は次のとおりです。

■ **主な読み上げ項目**
- 充電開始時と完了時のお知らせ※1
- 電池残量1になったときや、電池残量がなくなったときのお知らせ※2
- メニュー画面やサブメニューの各機能説明※3
- 各機能の設定画面や編集画面などの説明※4
- リダイヤルや着信履歴の内容
- 伝言メモの履歴
- 電話帳の内容や操作方法
- サイト表示中の内容※4
- メールやメッセージR/Fの内容
- 電卓の操作内容
- 選択した絵文字や記号、定型文※5
- 入力文字※6
- 文字入力モードを切り替えたとき※7

※1 読み上げの動作を「手動で読み上げ」に設定している場合でも、自動で読み上げます（公共モード中を除く）。
※2 読み上げの動作を「手動で読み上げ」に設定している場合でも、待受画面が表示され自動で読み上げます（公共モード中を除く）。
※3 各種ロック機能を設定して実行できないメニューは選択できないため読み上げません。
※4 一部読み上げない場合があります。
※5 入力と同時に読み上げる項目については、「絵文字読み上げ一覧」（→p.460）、「記号・かな・英数字読み上げ一覧」（→p.467）をご覧ください。
※6 暗証番号やパスワードの入力画面などでは、読み上げません。
※7 読み上げの動作を「自動で読み上げ」に設定している場合は、読み上げます。

■ **FOMA端末を開いて、待受画面を表示中に[読み上げ]を押したときの読み上げ項目**
- 日付・曜日・時刻（日付・時刻が設定されていない場合は、時計が設定されていない旨をお知らせ）
- 新着情報
- 未読情報
- お知らせ情報
- 圏外のお知らせ
- オールロックや公共モードなどの制限機能使用中のお知らせ（制限機能を使用中の場合のみ）
- 歩数計の歩数
- 電池残量のお知らせ
- 充電中のお知らせ
- ｉチャネルのテロップ※

※ ｉチャネルのテロップが表示されているときに[読み上げ]を1秒以上押すと読み上げます。

■ FOMA端末を閉じて、[音声読み上げキー]を1秒以上押したときの読み上げ項目（音声送出先を「スピーカー」に設定時）

- 時刻（日付・時刻を設定していない場合は、時計が設定されていない旨をお知らせ）
- 新着情報
- 公共モード中のお知らせ
- 歩数計の歩数
- 電池残量のお知らせ
- 充電中のお知らせ

お知らせ

●「手動で読み上げ」に設定時、[音声読み上げキー]と[+]／[−]を同時に押すと読み上げない場合があります。

音声読み上げの設定

読み上げの動作、声質、速さ、音量を変更できます。

1 待受画面で[メニュー]▶「[*]基本の機能・設定」▶「[7]音声読み上げを使う」▶「[1]音声読み上げを設定する」を押す

音声読み上げを
設定してください
1動作　なし
2声質　女声
3速さ　2
4音量　4

[1] **動作**：読み上げの動作（自動／手動）を変更または解除します。
[2] **声質**：読み上げの声質（女声／男声）を変更します。
[3] **速さ**：6段階で読み上げの速さを変更します。
[4] **音量**：6段階で読み上げの音量を変更します。

2 「[1]動作」を押す

読み上げる動作を
選んでください
1自動で読み上げ
2手動で読み上げ
3読み上げなし

[1] **自動で読み上げ**：読み上げに対応する項目にカーソルを合わせると、自動で読み上げます。
[2] **手動で読み上げ**：読み上げに対応する項目にカーソルを合わせて[音声読み上げキー]を押すと、読み上げます。
[3] **読み上げなし**：読み上げません。

3 「[1]自動で読み上げ」〜「[3]読み上げなし」のいずれかを押す

読み上げる声質を
選んでください
1女性の声
2男性の声

●「[3]読み上げなし」：操作7に進みます。

4 「[1]女性の声」または「[2]男性の声」を押す

読み上げる速さを
選んでください

5 [メール][iモード]を押して速さを変更▶[決定]を押す

読み上げる音量を
調節してください

6 [メール][iモード][←][→]または[+][−]を押して音量を変更▶[決定]を押す

音声読み上げの設定画面に戻ります。

7 **電話帳を押す**

音声読み上げを設定した旨のメッセージが表示されます。決定を押すとメニュー画面に戻ります。

お知らせ

- 操作3～5で を押すと、選択している声質、速さ、音量で説明を読み上げます。
- 「自動で読み上げ」または「手動で読み上げ」に設定すると、読み上げ音声を含む画面を表示中は画面上部に が表示されます。読み上げ中は が点滅します。
- 読み上げ中に を押すと、読み上げが停止します。ただし、表示している画面や選択している項目により、読み上げが停止しない場合があります。再び を押すと、初めから読み上げます。
- 読み上げ中に + − を押すと、読み上げの音量が変更されます。
- ｉモードメールまたはメッセージR/Fに添付されたメロディを自動演奏するように設定している場合、「動作」の設定が「自動で読み上げ」であっても、メロディが添付されたｉモードメールまたはメッセージR/Fを開くとメロディが自動で演奏されます。メロディ演奏の終了後 を押すと読み上げます。→p.200、p.249
- 読み上げの動作を「自動で読み上げ」に設定している場合は、待受画面を表示中に「0～9、*、#」を押すと読み上げます。

音声読み上げの送出先切り替え

- スピーカーから出る音は、音量が同じであっても受話口から出る音より大きく聞こえます。必ず耳からFOMA端末を離してください。

1 **待受画面でメニュー▶「*基本の機能・設定」▶「7音声読み上げを使う」▶「3スピーカー／受話口の切替を行う」▶「1音声読み上げの送出先を選ぶ」を押す**

読み上げの
音声送出先を
選んでください

1スピーカー
2受話口

2 **「1スピーカー」または「2受話口」を押す**

音声送出先を設定した旨のメッセージが表示されます。決定を押すとメニュー画面に戻ります。

お知らせ

- 平型スイッチ付イヤホンマイク（別売）などを接続すると、音声はイヤホンからのみ聞こえます。

マナーモード中の読み上げ設定

マナーモード中に受話口から読み上げが聞こえるようにするかどうかを設定します。

1 **待受画面でメニュー▶「*基本の機能・設定」▶「7音声読み上げを使う」▶「3スピーカー／受話口の切替を行う」▶「2マナーモード中の読み上げを選ぶ」を押す**

2 **「1読み上げる」または「2読み上げない」を押す**

マナーモード中の読み上げの動作を設定した旨のメッセージが表示されます。決定を押すとメニュー画面に戻ります。

お知らせ

- 「読み上げる」に設定した場合、音声読み上げの送出先切り替え（→p.150）の設定に関わらず、受話口から音声が聞こえます。

音声読み上げのルールについて

メール、サイト、電話帳などの読み上げは、おおむね次の規則に基づいています。読み上げが希望どおりでない場合は、読み上げ用の単語を登録してください。→p.154

読み上げ項目	ルール／読み上げ例
数字	●数字が並んでいる場合は、24桁まで桁読みします。 ※ 先頭に「0」がある場合は桁読みしません。 〈例〉12345： イチマンニセンサンビャクヨンジューゴ
英字	●読み上げ辞書に従って読み上げます。 〈例〉i － mode：アイモード ●読み上げ辞書に登録されていない英字の文字列は、次のように読み上げます。 ・英字文字列が3文字以下 〈例〉abc：エービーシー ・英字文字列が4文字以上 すべてローマ字と判定できる場合はローマ字読みで読み上げます。 〈例〉yomiage：ヨミアゲ すべてローマ字と判定できない場合は、アルファベット読みで読み上げます。 〈例〉yyyyy：ワイワイワイワイワイ
絵文字・記号	●絵文字・記号を読み上げます。ただし、表示している画面や項目によっては、一部の記号を読み上げない場合があります。 ●メールなどで使われる「(^^)」のような顔文字の一部を読み上げます。 〈例〉(^^)　：ニコッ (T_T)　：シクシク (^_^)V：ピース ●同じ絵文字・記号が３つ以上連続する場合は、まとめて読み上げます。 該当するのは、すべての絵文字と次の記号です。 〆（）「」＜＞＋±×÷＝≠≦≧∞∴♂♀°′″℃￥＄¢£％＃＆＊＠§☆★○●◎◇◆□■△▲▽▼※〒→←↑↓＝∈∋⊆⊇⊂⊃∪∩∧∨¬⇒⇔∀∃∠⊥⌒∂∇≡≒√∽∝∵∫∬Å‰♯♭♪†‡¶∮∑∟⊿ 〈例〉※※※： サンコノ　コメジルシマーク
日付	●数字を「／」や「.」で区切ると、日付として読み上げます。 ※ 次の形式以外の場合は日付として読み上げません。 〈例〉2008／4／8 (または2008.4.8)： ニセンハチネン　シガツ　ヨウカ 8／4／8（または8.4.8）： ハチネン　シガツ　ヨウカ 4／8：シガツ　ヨウカ H1／9／1： ヘーセーガンネン　クガツ　ツイタチ S45／1／1： ショーワヨンジューゴネン　イチガツ　ツイタチ T10／1／1： タイショージューネン　イチガツ　ツイタチ M10／1／1： メージジューネン　イチガツ　ツイタチ ※ 英字は小文字の場合でも読み上げます。
時刻	●数字を「：」で区切ると、時刻として読み上げます。 ※ 次の形式以外の場合は時刻として読み上げません。 〈例〉9：30（または09：30）： クジ　サンジュップン AM11：30 (または11：30AM)： ゴゼン　ジューイチジ　サンジュップン PM11：30 (または11：30PM)： ゴゴ　ジューイチジ　サンジュップン 23：30　： ニジューサンジ　サンジュップン 9：30：30　： クジ　サンジュップン　サンジュービョー ※ 英字は小文字の場合でも読み上げます。

読み上げ項目	ルール／読み上げ例
返信、転送	●「Re：」「Re ＞」「Re［2］：」「Re［2］＞」「Re ＊2：」「Re ＊ 2 ＞」「Re^2：」「Re^2＞」はすべて「ヘンシン」と読み上げます。これらが連続する場合は、「ヘンシン」と一回のみ読み上げます。 ●「Fw：」「Fw＞」「Fw［2］：」「Fw［2］＞」「Fw＊2：」「Fw＊2 ＞」「Fw^2：」「Fw^2＞」はすべて「テンソー」と読み上げます。これらが連続する場合は、「テンソー」と一回のみ読み上げます。 ●「ヘンシン」と「テンソー」が混ざって複数個連続する場合は、次のように読み上げます。 〈例〉Re：Fw：Fw：Re：Re：Re： ヘンシン テンソー ヘンシン ※ 英字は小文字の場合でも読み上げます。
サイト内の項目	●ダイレクトキー（12･･･）は「キー××」と読み上げます。 ●ラジオボタンは「ボタンオン」、は「ボタンオフ」と読み上げます。 ●チェックボックス☑は「チェックアリ」、□は「チェックナシ」と読み上げます。 ●プルダウンメニューは「センタクメニュー×コノセンタクシ」の後、選択されている項目を読み上げます。 ●文字入力枠は「モジニューリョク」と読み上げます。文字が入力されている場合は、入力されている文字も読み上げます。 ●パスワード入力枠が未入力のときは「パスワード」、入力済みのときは「パスワードニューリョクスミ」と読み上げます。 ●ボタンは「×××ボタン」と読み上げます。 ●サイトの内容を読み上げているときは、項目を読み上げた後に「ピピッ」という区切り音が鳴ります。 ●サイトを表示すると、ページのタイトルを最初に読み上げます。ページの最初の項目を選択してもページタイトルを読み上げます。
サイト内の項目	●サイトの内容を表示中にを押すと、選択している項目を読み上げます。また、を1秒以上押すと、表示しているページの選択している項目以降をすべて読み上げます。選択している項目より前は読み上げません。 ●サイトのリンク項目は、設定と違う声質（「女性の声」に設定しているときは「男性の声」）で読み上げます。 ●サイトのリンク情報以外の項目を選択した場合は、深緑色に反転表示されます。なおサイトの背景、文字、リンク項目の反転表示の色により、読み上げる反転表示の色が変更されることがあります。 ●サイトの項目によっては、絵文字などを読み上げない場合があります。
文字入力時	●文字入力画面でを押すと、入力済みの文字をすべて読み上げます。 「↵」（改行マーク）を連続して2つ入力して1行空いている場合、読み上げを区切ります。「↵」（改行マーク）を入力して改行し、続けて文章を入力した場合は、区切らずにそのままつなげて読み上げます。 なお、「↵」（改行マーク）は読み上げません。 ●文字入力画面でを1秒以上押すと、カーソル位置から、文末または句点（「。」）、改行（「↵」）位置までを読み上げます。このとき句点は「～クテン」、改行は「～カイギョー」、句点に連続して改行がある場合は、「～クテンカイギョー」と読み上げます。 カーソル位置が文末にある場合は、「ブンマツデス」と読み上げます。

読み上げ項目	ルール／読み上げ例
文字入力時	●音声読み上げ設定を「自動で読み上げ」に設定している場合は、文字入力画面でを押してカーソルを移動すると、次のとおり自動で読み上げます。 ・を押した場合は、を1秒以上押したときと同様に読み上げます。 ・を押した場合は、移動先のカーソル位置の一文字を読み上げます。カーソル位置が文末の場合は「ブンマツデス」と読み上げ、文末でを押すと半角空白が追加され「クウハクツイカ」と読み上げます。文頭でを押すと、「ブントウデス」と読み上げます。 ・候補選択リストの候補にカーソルが移動したときは「ヨソクコウホセンタク」と読み上げます。なお、候補選択リストから文字を選択して決定を押しても読み上げません。 ●文字入力画面で電話帳を押して変換した文字や、変換候補一覧でカーソル位置の各文字の解説を読み上げます。 〈例〉好調： コノムノ　コウ　シラベルノ　チョウ 校長： ガッコウノ　コウ　ナガイノ　チョウ
その他	●受信／送信メール詳細画面でを押すと、メール番号、日付・時刻、宛先／送信元、題名、本文の順に読み上げます。を1秒以上押すと、本文のみ読み上げます。 ●「は」を含む外来語（カタカナ語）がひらがなで表記された場合は、読みかたを誤る場合があります。 〈例〉はんどる　：ワンドル ふるはうす：フルワウス ●読み上げの音声は自然の音声とは異なるため、聞きづらい音やアクセントになる場合があります。 ●句読点（「。」「、」）がある場合は、句読点の位置で読み上げを区切ります。

読み上げ項目	ルール／読み上げ例
その他	●漢字を使用した場合、正しく読み上げない場合もあります。メールでの読み誤りを減らすには、よくメールをやりとりする相手に次のことをお願いすることをおすすめします。 ・句読点を多めに使ってメールを作成してください。 ・読みが難しい漢字はカタカナにしてください。 ・カタカナを使うときは長音（「ー」）を使用してください。 ●電話帳の名前の読み上げは、登録されている「フリガナ」を読み上げます。「フリガナ」が登録されていないときは、名前に入力された文字を読み上げます。 ●単語によってはフリガナの登録時に長音（「ー」）を使用すると、より自然に読み上げます。 ●メールやサイトの内容を読み上げ中にまたはを押すと、読み上げが一時停止する場合があります。 ●画像や動画／ｉモーション、メロディなどの題名やファイル名が数字の羅列になっている場合は、桁読みを行わずに数字を読み上げます。 〈例〉12345：イチニサンヨンゴ

● 音声読み上げの開始時、または音声読み上げ時に次のことが起きると、読み上げが停止されます。
- 音声電話／テレビ電話がかかってきたとき
- データ通信を行ったとき
- 外部機器にデータを送信したとき
- FOMA端末を閉じたとき
- 電池残量がなくなったとき
- 目覚ましが動作したとき
- 表示中の画面でを押したとき※

※ サイト画面を表示している場合、を押して読み上げの動作を行ったときは、＋－以外のボタンを押したり、やを1秒以上押して連続スクロールをしても読み上げが停止されます。
ただし、表示しているサイトや項目によっては読み上げが停止されない場合があります。

音声読み上げ単語登録

音声読み上げ辞書によく使う単語を登録する

音声読み上げ辞書に、単語の読みを読上辞書データとして追加することができます。
たとえば、お買い上げ時に「ゴジュウミネ」と読み上げられる「五十嶺」の読みを「イソミネ」と登録すると、読み上げに対応したすべての画面で「イソミネ」と読み上げられるようになります。

● 最大50件登録できます。

1 **待受画面で[メニュー]▶「[＊]基本の機能・設定」▶「[7]音声読み上げを使う」▶「[2]音声読み上げの単語を登録する」を押す**

登録済みの単語の数と、登録可能な単語の数が表示されます。

音声読み上げ用の
単語登録状況

登録数 0件
残り 50件

2 **[決定]を押す**

登録済みの単語が「新規登録」の下に表示されます。

読み上げ単語一覧
新規登録

3 **「新規登録」を選択▶[決定]を押す**

単語を
入力してください

4 **単語を入力▶[決定]を押す**

読みの入力画面が表示されます。

● ひらがな／漢字入力モードでのみ入力できます。全角の英数字や記号を入力する場合は、「特殊記号一覧」をご覧ください。→p.458
● 全角で最大6文字入力できます。

5 **読みを入力▶[決定]を押す**

音声読み上げ用の単語を登録した旨のメッセージが表示されます。[決定]を押すと登録済みの単語の一覧に戻ります。

● 半角カタカナで最大12文字入力できます。
● 次の場合は登録できません。
  • 濁点や半濁点を付けられない文字の次に「゛」や「゜」を入力した場合
  • 先頭に「゛」「゜」「ッ」「ー」を入力した場合
  • 「ッ」の直後に「ー」を入力した場合
  • 空白
● 長音を含む単語の場合、長音部分に「－」を使うと、読み上げ音声が自然に聞こえることがあります。

登録した音声読み上げ単語の確認

1 **登録済みの単語の一覧を表示する**

● 操作方法→p.154「音声読み上げ辞書によく使う単語を登録する」操作1～2

2 **確認先を選択▶[決定]を押す**

登録内容
読み上げる単語
五十嶺
読み
ｲｿﾐﾈ

● [決定]を押すと登録済みの単語の一覧に戻ります。

登録内容の読みを変更する

1 **登録済みの単語の一覧を表示する**

● 操作方法→p.154「音声読み上げ辞書によく使う単語を登録する」操作1～2

2 **変更先を選択▶電話帳を押す**

単語の入力画面が表示されます。

● 以降の操作→p.154「音声読み上げ辞書によく使う単語を登録する」操作4以降

登録内容を削除する

1 **登録済みの単語の一覧を表示する**

● 操作方法→p.154「音声読み上げ辞書によく使う単語を登録する」操作1～2

2 **削除する単語を選択▶メニュー▶「2削除する」を押す**

選択した単語を削除するかどうかの確認画面が表示されます。

3 **「1削除する」を押す**

音声読み上げ用の単語を削除した旨のメッセージが表示されます。決定を押すと登録済みの単語の一覧に戻ります。

● 「2削除しない」：削除を中止します。

カメラ

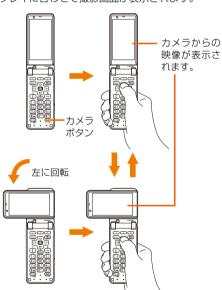
カメラをご使用になる前に

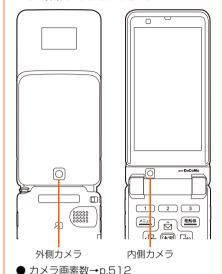
保存した写真やビデオでできること

カメラを使って撮影した写真やビデオは、表示／再生するだけでなく、次の操作ができます。

- ｉモードメールに添付して送信→p.341、p.348
- 待受画面に設定→p.341
- データ転送で送信→p.484

カメラのご使用について

カメラは、カメラボタン（📷）を押したりディスプレイを左に回転させたりして起動します。カメラを起動すると、ディスプレイには外側カメラからの映像が表示されます。
撮影画面でディスプレイを回転させると、画像サイズによっては、縦長／横長サイズが切り替わります（→p.161）。切り替わらない場合は、ディスプレイに合わせて撮影画面が表示されます。

外側カメラと内側カメラを使って写真やビデオを撮影することができます。

- カメラ画素数→p.512

お知らせ

- 写真／ビデオ撮影待機中にFOMA端末を開いた状態のまま約５分間、拡大鏡を使っているときは約30分間何も操作しなかった場合は、カメラを終了する旨のメッセージが表示され、カメラは自動的に終了します。決定を押すと待受画面に戻ります。
- 写真／ビデオ撮影待機中にFOMA端末を閉じるとカメラは終了します。
- 撮影した写真／ビデオの確認画面を表示中にFOMA端末を閉じてもカメラは終了しません。
- ビデオ撮影中（休止中を含む）にFOMA端末を閉じると撮影が中断されます。FOMA端末を開くと、撮影を中断した時点までのビデオの確認画面が表示されます。

撮影時の留意事項

- カメラは非常に精密度の高い技術で作られていますが、常時明るく見えたり暗く見えたりする画素や線もあります。また、特に光量が少ない場所での撮影では、白い線などのノイズが増えますが、故障ではありませんのであらかじめご了承ください。
- FOMA端末を暖かい場所や直射日光が当たる場所に長時間放置したりすると、撮影する画像や映像が劣化することがあります。
- 太陽やランプなどの強い光源を直接撮影しようとすると、画質が暗くなったり写真やビデオが乱れたりする場合があります。
- レンズの特性により、写真やビデオがゆがんで見える場合があります。
- 蛍光灯、水銀灯、ナトリウム灯などの高速で点滅している照明下で撮影すると、画面がちらついたり縞模様が現れたりするフリッカー現象が起きる場合があり、撮影のタイミングによっては写真やビデオの色合いが異なることがあります。「明るさの調節」の設定を変更することで、ちらつきや縞模様を軽減できる場合があります。→p.169
- カメラで撮影した写真やビデオは、実際の被写体と色味や明るさが異なる場合があります。
- レンズに指紋や油脂などが付くと、きれいに撮影できません。撮影前に柔らかい布で拭いてください。
- 撮影の際、レンズ部分を指などで覆わないでください。
- 手ぶれにご注意ください。FOMA端末が動かないようにしっかり持って撮影するか、FOMA端末を安定した場所に置き、セルフタイマー機能を利用して撮影することをおすすめします。
- 決定を押してから実際に撮影されるまでに、多少の時間差があります。決定を押してから少しの間、FOMA端末を動かさないでください。また、速く動いている被写体を撮影すると、決定を押したときにディスプレイに表示されていた位置とは少しずれて撮影されることがあります。
- 動きの激しいものをビデオ撮影すると、映像が乱れる場合があります。
- 内側カメラで自分の映像を表示すると鏡像表示されますが、撮影して保存した写真やビデオは正像になります。
- 保存先をmicroSDメモリーカードにした場合は、カメラ使用中にmicroSDメモリーカードを抜かないでください。FOMA端末の故障の原因になります。
- microSDメモリーカードをご利用になるには、別途microSDメモリーカードが必要です。microSDメモリーカードをお持ちでない場合は、家電量販店などでお買い求めいただけます。
- 撮影した写真やビデオを保存する前に電池残量がなくなると、保存できません。
- カメラは電力の消費が非常に早いため、カメラを長時間起動したり、撮影後に保存せず長時間放置したりしないでください。
- 設定によっては、カメラを起動してから撮影画面に映像が表示されるまでに時間がかかる場合があります。

著作権・肖像権について

FOMA端末を利用して撮影および録音したものなど、およびサイト（番組）やインターネットホームページ上の著作物を権利者に無断で複製、改変、編集などする行為は、個人で楽しむなどの場合を除き、著作権法上禁止されておりますのでお控えください。また、他人の肖像や氏名を無断で使用、改変などすると、肖像権の侵害となる場合がありますのでお控えください。撮影または録音したものなどをインターネットホームページなどで公開する場合も、著作権や肖像権に十分ご注意ください。なお、実演や興行、展示物などでは、個人として楽しむなどの目的であっても、撮影または録音などが禁止されている場合がありますので、ご注意ください。

カメラ付き携帯電話を利用して撮影や画像送信を行う際は、プライバシーなどにご配慮ください。

保存形式について

カメラで撮影した写真（静止画ファイル）やビデオ（動画ファイル）の保存形式は次のとおりです。

静止画ファイル

項　目	説　明
ファイル形式	JPEG（Exif形式、PRINT Image Matching Ⅲ※対応）
画像サイズ	ケータイS（176×144）、ケータイM（240×320、320×240）、待受（240×432、432×240）、ケータイL（480×640、640×480）、デジカメS（768×1280、1280×768）、デジカメM（1920×1080）、デジカメL（2048×1536） • 内側カメラで撮影できるのは、ケータイSとケータイLのみです。 • 撮影できるサイズは撮影モードにより異なります。ケータイS、M、Lと待受は撮影モードを「ケータイ撮影」、デジカメS、M、Lは撮影モードを「デジカメ撮影」に設定してください。
拡張子	jpg
ファイル名	撮影日時により自動設定 （例）2008年4月8日14時5分に撮影した場合 →「200804081405」
最大保存件数	本体1000件、microSDメモリーカード9999件 • ファイルサイズや他のデータの有無によっては実際に保存できる件数が少なくなる場合があります。

※ 手書きメモで撮影した場合には対応していません。

動画ファイル

項　目	説　明
ファイル形式	MP4（MobileMP4）
符号化方式	映像：MPEG-4　音声：AMR 映像：H.264※　音声：AAC LC※
画像サイズ	QCIF（176×144）、QVGA（320×240） • 内側カメラで撮影できるのは、QCIFのみです。
拡張子	3gp
ファイル名	撮影日時により自動設定 （例）2008年4月8日14時5分に撮影した場合 動画→「200804081405」
ファイルサイズ（容量）	メール添付・小：最大500Kバイト メール添付・大：最大2Mバイト microSD・無制限
最大保存件数	本体100件、microSDメモリーカード4095件 • ファイルサイズや他のデータの有無によっては実際に保存できる件数が少なくなる場合があります。

※ ビデオサイズ（容量）を「microSD・無制限」に設定した場合の符号化方式です。

写真撮影

写真を撮影する

さまざまな撮影方法で写真（静止画）を撮影します。

● F884iで撮影（保存）可能な枚数は、「写真の大きさ」の設定（→p.168）、「撮影モード選択」の設定（→p.167）や撮影状況によって変わります。撮影（保存）できる枚数の目安は次のとおりです。

撮影モード	写真の大きさ	枚数	
		本体	microSDメモリーカード（64MB）
ケータイ撮影	ケータイS（176×144）	約1000枚	約3870枚
	ケータイM（240×320、320×240）	約503枚	約1935枚
	待受（240×432、432×240）	約471枚	約1290枚
	ケータイL（480×640、640×480）	約209枚	約774枚
デジカメ撮影	デジカメS（768×1280、1280×768）	約43枚	約175枚
	デジカメM（1920×1080）	約26枚	約107枚
	デジカメL（2048×1536）	約16枚	約65枚

• ファイルの大きさや保存されている件数によって、撮影できる枚数は増減するため、撮影画面に表示される枚数と記載されている枚数は異なることがあります。
• 残り枚数を確認できます。→p.346

- FOMA端末にはお買い上げ時に保存されているデータがあるため、本体に保存できる最大枚数は最大保存件数より少なくなります。
→p.160
- 外側カメラでは、手ぶれ補正が自動的に機能します。被写体に応じて、手ぶれなどの振動による画像の乱れを補正します。
- 暗いところで外側カメラで撮影すると、撮影画面の画像より撮影された画像のほうが明るくなります。明るさは撮影環境に応じます。

1 待受画面で（📷）を押す

写真撮影画面が表示されます。
背面ディスプレイの照明が約2秒間隔で点滅します。

写真の大きさと、現時点で撮影（保存）できる残りの最大撮影枚数の目安が表示されます。

- （メニュー）：撮影時の設定ができます。
→p.166
- （電話帳）：「撮影した写真」アルバムまたはmicroSDメモリーカードに保存されている写真を見ることができます。（電話帳）を押してから、「1 本体の写真」または「2 microSDの写真」を押します。
→p.340、p.363
- （📷）（1秒以上）：カメラメニューの表示ができます。
- 待受画面でディスプレイを左へ回転させても写真撮影を起動できます。
- 「起動時モード設定」での設定により、（📷）を押して表示される画面が異なります（→p.171）。お買い上げ時には、「起動時モード設定」は「microSDに連動」に設定されています。microSDメモリーカードを取り付けると「デジカメ撮影」に、取り付けないと「ケータイ撮影」になります。

■ **起動時モード設定を「起動時に確認」に設定しているとき**

カメラの撮影モードを「デジカメ撮影」または「ケータイ撮影」のどちらにするか選択する画面が表示されます。どちらかを押すと、選択したモードの写真撮影画面が表示されます。

■ **縦撮影と横撮影を切り替える：ディスプレイを回転させる**

静止画撮影で外側カメラ撮影時、画像サイズが次の場合は、縦撮影にすると縦長のサイズに、横撮影にすると横長のサイズになります。

- ケータイ M（240 × 320、320 × 240）
- 待受（240×432、432×240）
- ケータイ L（480 × 640、640 × 480）
- デジカメS（768×1280、1280×768）

2 被写体にカメラを向けて（決定）を押す

オートフォーカスが起動し、オレンジ色のフォーカス枠が表示されます。ピントが合うと確認音が鳴り、フォーカス枠が緑色の「＋」に変わります。
撮影確認音（シャッター音）が鳴り、背面ディスプレイの照明が赤色で点滅して写真が撮影されます。

フォーカス枠

- オートフォーカスでピントを合わせられる距離は30cm以上です。ただし、接写撮影を併用したときは約8～40cmです。
- オートフォーカスのピントが合わないときは、フォーカス枠が赤色の「＋」に変わり、AFが表示されます。

■ **オートフォーカスを解除したとき**

フォーカス枠は表示されずに、そのまま撮影されます。

- オートフォーカスの設定→p.169

3 撮影した写真を確認する

撮影した写真の確認画面が表示されます。

● オートフォーカスが失敗した場合は確認画面に AF が表示されます。

■ 写真に位置情報を貼り付ける：[メニュー]▶[1あ]を押す

- 以降の操作→p.307「位置情報貼付け／送信／登録」
- 位置情報が貼り付けられると確認画面に が表示されます。

4 [決定]を押す

撮影した
写真の操作を
選んでください

1 保存する
2 メールで送る
3 待受画面に貼る
4 撮りなおす

1 保存する：撮影した写真を保存します。
2 メールで送る：撮影した写真を保存した後に、ｉモードメールに添付します。
3 待受画面に貼る：撮影した写真を保存した後に、待受画面に設定します。
4 撮りなおす：撮影した写真を保存せずに撮り直します。

● [電話帳]：撮影した写真を確認できます。

● microSDメモリーカードを取り付けているときは、「1 microSDに保存」と「2 本体に保存」が表示されます。
「1 microSDに保存」を押すと、撮影した写真をmicroSDメモリーカードに保存します。「2 本体に保存」を押すと、撮影した写真をFOMA端末に保存します。

5 「1 保存する」を押す

写真を保存した旨のメッセージが表示されます。[決定]を押すと写真撮影画面に戻ります。

● microSDメモリーカードを取り付けているときは、「1 microSDに保存」または「2 本体に保存」を押します。

● 「1 保存する」または「2 本体に保存」を押したときは、アルバム一覧の「撮影した写真」アルバムに保存されます。
→p.340

● 「1 microSDに保存」を押したときは、アルバム一覧の「microSDの写真」アルバムの「1 写真」に保存されます。

■ ｉモードメールで送る：

① 「2 メールで送る」を押す

写真を保存した旨のメッセージが表示されます。

- microSDメモリーカードを取り付けているときは、「3 メールで送る」を押します。

② [決定]を押す

メール作成画面が表示されます。
→p.214、p.217

- 撮影した写真のサイズによっては、ケータイM（240×320、320×240）の大きさに合わせるかどうかの確認画面が表示されます。「1 小さくして送る」または「2 このまま送る」を押すとメール作成画面が表示されます。→p.341「画像を添付してｉモードメールを作成する」

■ 待受画面に設定する：

① 「3 待受画面に貼る」を押す

写真を保存して待受画像に設定した旨のメッセージが表示されます。

- microSDメモリーカードを取り付けているときは、「4 待受画面に貼る」を押します。

お知らせ

● 写真撮影画面でFOMA端末を閉じると、待受画面に戻ります。
● 次のような場合は、オートフォーカスでピントが合わないことがあります。
  ・色の濃淡がない被写体を撮影する場合
  ・動いている被写体を撮影する場合
  ・暗い場所で撮影する場合
  ・FOMA端末を動かしながら撮影する場合
  ・撮影範囲内にライトなどがある場合
● 画像の保存領域の空きが足りないときや最大保存件数（→p.513）を超えるときは、不要な写真を削除するかどうかの確認画面が表示されます。撮影（保存）する場合は、画面の指示に従いFOMA端末内の画像を削除してください。
● 撮影した写真のデータサイズや空き容量によっては、写真撮影画面に表示される残り枚数が減らない場合があります。
● 写真撮影画面で、撮影確認音（シャッター音）が鳴る前に電話がかかってきた場合は、撮影が中断されます。シャッター音が鳴り、すでに写真を撮影していた場合は、通話終了後に撮影後の確認画面に戻ります。ただし、タイミングによっては撮影した写真が破棄される場合があります。

セルフタイマーの利用のしかた

セルフタイマーを使用すると約10秒後に自動で写真を撮影します。

1 待受画面で［カメラ］▶［メニュー］▶「5 セルフタイマーを使う」を押す

セルフタイマー待機中になります。

● ［メニュー］：撮影時の設定ができます。→p.166
● ［電話帳］：「撮影した写真」アルバムまたはmicroSDメモリーカードに保存されている写真を見ることができます。［電話帳］を押してから、「1 本体の写真」または「2 microSDの写真」を押します。→p.340、p.363
● セルフタイマーを解除するときは［メニュー］▶「5 セルフタイマーを解除」を押します。

2 被写体にカメラを向けて［決定］を押す

オートフォーカスが動作した後に、カウントダウン音が鳴り、背面ディスプレイの照明が青色で点滅します。撮影時間に近づくと、カウントダウン音の間隔が短くなり、背面ディスプレイの照明の点滅が速くなります。

撮影までの残り秒数が表示されます。

● ［決定］：セルフタイマーを中止します。
● オートフォーカスは、解除すると動作しません。→p.161

3 残り秒数が0になると、自動的に撮影される

撮影確認音（シャッター音）が鳴り、背面ディスプレイの照明が赤色で点滅して写真が撮影されます。

● 以降の操作は通常の写真撮影と同様です。→p.162 操作3以降

ビデオ撮影

ビデオを撮影する

さまざまな撮影方法でビデオを撮影します。

● F884iで撮影（保存）可能な時間は、ビデオサイズ（容量）（→p.169）、画質（→p.170）や撮影状況によって変わります。撮影（保存）できる時間の目安は次のとおりです。

■ 1回あたりの撮影時間

画質の設定	ビデオサイズ（容量）	
	メール添付・小	メール添付・大
長時間	約55秒	約228秒
標準の画質	約29秒	約117秒
高画質	約19秒	約81秒

■ 最大撮影時間（本体に保存する場合）

画質の設定	ビデオサイズ（容量）	
	メール添付・小	メール添付・大
長時間	約37分	約38分
標準の画質	約19分	約19分
高画質	約13分	約13分

■ 最大撮影時間（microSDメモリーカード（64MB）に保存する場合）

画質の設定	ビデオサイズ（容量）	
	メール添付・小	メール添付・大
長時間	約115分	約114分
標準の画質	約59分	約59分
高画質	約41分	約40分

※ ビデオサイズ（容量）を「microSD・無制限」に設定すると、画質設定は最高画質になり、1回あたりの撮影時間、最大撮影時間ともに 64MB の microSDメモリーカードで約488秒となります。

● 保存できる件数は、最大撮影時間に関わらず本体に最大100件、microSDメモリーカードに最大4095件です。

● ビデオサイズ（容量）が「メール添付・小」「メール添付・大」のときは撮影サイズが「QCIF（176×144）」に、ビデオサイズ（容量）が「microSD・無制限」のときは撮影サイズが「QVGA（320×240）」になります。

● ビデオサイズ（容量）が「microSD・無制限」で撮影されたビデオは、ｉモードメールに添付できません。

● FOMA端末の機種に関わらず再生できるビデオを撮影するには、ビデオサイズ（容量）を「メール添付・小」に設定してください。

1 待受画面で（カメラ）を1秒以上▶「2ビデオ撮影」を押す

ビデオ撮影画面が表示されます。
背面ディスプレイの照明が約2秒間隔で点滅します。

現時点で撮影（保存）できる残りの最大撮影時間の目安が表示されます。

● （メニュー）：撮影時の設定ができます。
→p.166

● （電話帳）：「撮影したビデオ」アルバムまたはmicroSDメモリーカードに保存されているビデオを見ることができます。（電話帳）を押してから、「1本体のビデオ」または「2microSDのビデオ」を押します。
→p.347、p.363

● 写真撮影画面で（メニュー）▶「1撮影モード選択」▶「3ビデオ撮影」を押しても、ビデオ撮影を起動できます。

2 被写体にカメラを向けて（決定）を押す

撮影確認音（シャッター音）が鳴り撮影が開始され、背面ディスプレイの照明が赤色で約3秒間隔で点滅します。

撮影終了までの時間の目安が表示されます。

撮影終了までの目安が表示されます。

● 撮影終了までの時間の目安が00:00:00になると、撮影が自動的に終了して操作3の画面が表示されます。

● （メニュー）：撮影が休止され、もう一度押すと再開されます。押すたびに確認音が鳴ります。
撮影休止中は背面ディスプレイの照明が青色に点灯します。

3 決定を押す

終了確認音が鳴り、撮影が終了して確認画面が表示されます。ビデオサイズ（容量）が「microSD・無制限」のときは、すぐに保存され、ビデオを保存した旨のメッセージが表示されます。決定を押すとビデオ撮影画面に戻ります。

● 電話帳：撮影したビデオを再生します。

4 決定を押す

撮影した
ビデオの操作を
選んでください

1保存する
2メールで送る
3撮りなおす

1**保存する**：撮影したビデオを保存します。
2**メールで送る**：撮影したビデオを保存した後に、ｉモードメールに添付します。
3**撮りなおす**：撮影したビデオを保存せずに撮り直します。

● 電話帳：撮影したビデオを確認できます。
● microSDメモリーカードを取り付けているときは、「1microSDに保存」と「2本体に保存」が表示されます。
「1microSDに保存」を押すと、撮影した写真をmicroSDメモリーカードに保存します。「2本体に保存」を押すと、撮影した写真をFOMA端末に保存します。

5 「1保存する」を押す

ビデオを保存した旨のメッセージが表示されます。決定を押すとビデオ撮影画面に戻ります。

● microSDメモリーカードを取り付けているときは、「1microSDに保存」または「2本体に保存」を押します。
● 「1 保存する」または「2 本体に保存」を押したときは、ビデオ一覧の「撮影したビデオ」アルバムに保存されます。
→p.347
● 「1microSD に保存」を押したときは、ビデオ一覧の「microSDのビデオ」アルバムの「3ビデオ」に保存されます。

■ ｉモードメールで送る：

①「2メールで送る」を押す
ビデオを保存した旨のメッセージが表示されます。
・microSD メモリーカードを取り付けているときは、「3メールで送る」を押します。

② 決定を押す
メール作成画面が表示されます。
→p.214、p.217

おしらせ

● 撮影中にボタン操作を行うと、ボタン確認音が録音される場合があります。
● ビデオ撮影画面でFOMA端末を閉じると、待受画面に戻ります。
● ビデオの保存領域の空きが足りないときや最大保存件数（→p.513）を超えるときは、不要なビデオを削除するかどうかの確認画面が表示されます。撮影する場合は、画面の指示に従いFOMA端末内のビデオを削除してください。
● ビデオ撮影画面上の時間表示は設定されたビデオサイズ（容量）に達するまでの目安を示しています。
● 撮影中に撮影終了までの時間表示の更新が遅くなる場合があります。
● 撮影中に電話がかかってきた場合、その時点で撮影が中断され、着信のメッセージが表示されます。通話終了後、撮影したビデオの確認画面が表示されます。ビデオサイズ（容量）が「microSD・無制限」のときはビデオを保存した旨のメッセージが表示され、決定を押すとビデオ撮影画面に戻ります。
● 撮影中に目覚ましや予定の設定時刻になった場合、その時点で撮影が中断されアラームが鳴ります。アラームを解除すると撮影したビデオの確認画面が表示されます。ビデオサイズ（容量）が「microSD・無制限」のときはビデオを保存した旨のメッセージが表示され、決定を押すとビデオ撮影画面に戻ります。撮影したビデオの最後にアラーム音が記録されることがあります。

- 撮影中に電池が切れそうになると、電池残量がない旨のメッセージが表示され、撮影が中断されます。決定を押した後に保存するかどうかの確認画面が表示されます。撮影画面に戻っても電池がないため撮影できない旨のメッセージが表示され、撮影できません。
- 撮影中に急に電池が切れそうになると、電池残量警告音が鳴り、撮影が中断されることがあります。その際、撮影したビデオの最後に電池残量警告音が録音されることがあります。

撮影時の設定をする

撮影するときの設定を変更します。

- 設定できる項目は次のとおりです。

項　目	参照先
ズームのしかた	p.166
接写のしかた	p.167
カメラメニューの表示	p.167
撮影モードの切り替え	p.167
外側カメラ／内側カメラの切り替え	p.167
フレームの選択	p.168
撮影サイズの設定※	p.168
ビデオサイズ（容量）の設定※	p.169
オートフォーカスの設定※	p.169
くっきり補正の設定※	p.169
明るさの調節	p.169
ビデオの画質設定※	p.170
シャッター音の設定※	p.170
ディスプレイの照明設定※	p.171
ビデオ撮影の残り時間の確認	p.171
カメラ起動時の撮影モード設定※	p.171
拡大鏡の利用	p.172
手書きメモの作成	p.172

※ 撮影終了後も設定内容が保持されます。

ズームのしかた

- 撮影待機中およびビデオ撮影中（休止中を含む）に操作できます。
- 写真撮影時に変更できる外側カメラのズーム倍率は次のとおりです。

撮影サイズ	ズーム倍率
ケータイS（176×144）	約1.0倍〜約16.0倍（32段階）
ケータイM（240×320、320×240）待受（240×432、432×240）	縦撮影時：約1.0倍〜約4.0倍（32段階）横撮影時：約1.0倍〜約8.0倍（32段階）
ケータイL（480×640、640×480）	縦撮影時：約1.0倍〜約3.0倍（32段階）横撮影時：約1.0倍〜約4.0倍（32段階）
デジカメS（768×1280、1280×768）	縦撮影時：約1.0倍〜約3.0倍（6段階）横撮影時：約1.0倍〜約4.0倍（6段階）
デジカメM（1920×1080）デジカメL（2048×1536）	約1.0倍〜約2.0倍（6段階）

- 内側カメラで写真撮影するときのズーム倍率は、撮影サイズに関わらず約1.0倍、約2.0倍の2段階です。
- 拡大鏡使用時のズーム倍率は約2.0倍、約4.0倍の2段階です。

- ビデオ撮影時に変更できる外側カメラのズーム倍率は次のとおりです。

ビデオサイズ（容量）	ズーム倍率
メール添付・小　メール添付・大	約1.0倍、約2.0倍、約4.0倍、約6.0倍、約8.0倍、約10.0倍、約12.0倍、約16.0倍
microSD・無制限	約1.0倍、約2.0倍、約4.0倍、約6.0倍、約8.0倍

- 内側カメラでビデオ撮影するときのズーム倍率は、ビデオサイズ（容量）に関わらず約1.0倍、約2.0倍の2段階です。

1 **写真撮影画面／ビデオ撮影画面で［↑］［↓］を押し、ズーム倍率を変更する**

現在の倍率が表示されます。

● しばらくするとズームが設定され、写真撮影画面／ビデオ撮影画面に戻ります。

接写のしかた

約8～40cmのごく近い距離にピントを合わせて撮影できます。外側カメラでのみ利用できます。
● オートフォーカスオフのときは約7～10cm離れた被写体にピントを合わせられます。

1 **写真撮影画面／ビデオ撮影画面で［#マナー］▶［決定］を押す**

撮影画面に［接写マーク］が表示されます。
● 待受画面で［カメラ］を1秒以上押して「4接写撮影」を押すと、接写撮影に切り替わった状態で写真撮影を起動できます。

■ 接写モードを解除する：**接写撮影画面で［#マナー］▶［決定］を押す**

カメラメニューの表示

カメラの各種機能を待受画面から起動したり、撮影中に切り替えたりします。

1 **待受画面または写真撮影画面／ビデオ撮影画面で［カメラ］を1秒以上押す**

使いたい機能を選んでください	使いたい機能を選んでください
1通常撮影	1通常撮影
2ビデオ撮影	2拡大鏡
3拡大鏡	3接写撮影
4接写撮影	4手書きメモ
5手書きメモ	5ﾊﾞｰｺｰﾄﾞ読取り
6ﾊﾞｰｺｰﾄﾞ読取り	6セルフタイマー
7終了する	7終了する
<待受画面からのカメラメニュー>	<撮影画面からのカメラメニュー>

2 **「1通常撮影」～「7終了する」を押す**

お知らせ

● 撮影画面から表示した場合、起動元によっては利用できない機能があります。

撮影モードの切り替え

デジカメ撮影、ケータイ撮影とビデオ撮影を切り替えます。
「デジカメ撮影」に設定するときれいで大きな写真を撮影できます。「ケータイ撮影」に設定するとメールに添付したり、FOMA端末で利用したりするのに適した大きさの写真を撮影できます。「ビデオ撮影」に設定するとビデオを撮影できます。
● 撮影待機中のみ操作できます。

1 **写真撮影画面で［メニュー］▶「1撮影モード選択」を押す**

● ビデオ撮影画面から操作する場合は、［メニュー］▶「1写真を撮影」を押すと、撮影モードが切り替わります。

2 **「1デジカメ撮影」～「3ビデオ撮影」のいずれかを押す**

撮影モードが切り替わります。
● 「1デジカメ撮影」、「2ケータイ撮影」を押したときは、さらに［決定］を押します。

外側カメラ／内側カメラの切り替え

撮影に使用するカメラを外側カメラと内側カメラで切り替えます。
● 内側カメラはケータイ撮影とビデオ撮影でのみ使用できます。
● デジカメ撮影で内側カメラに切り替えると自動的にケータイ撮影になります。外側カメラに切り替えるとデジカメ撮影に戻ります。

1 **写真撮影画面／ビデオ撮影画面で［カメラ］を押す**

切り替えたカメラからの映像が表示されます。
● ［カメラ］を押すたびに外側カメラ／内側カメラが切り替わります。

お知らせ

● ズームを使用しているときに、カメラの切り替えを行うとズームが自動的に解除されます。

フレームの選択

FOMA端末に保存されているフレームを重ねて撮影します。
● 撮影待機中のみ操作できます。
● 写真撮影では、撮影サイズが「ケータイS（176×144）」「ケータイM（240×320、320×240）」「待受（240×432、432×240）」のときのみ操作できます。
● ビデオ撮影では、ビデオサイズ（容量）が「メール添付・小」「メール添付・大」のときのみ操作できます。

1 写真撮影画面／ビデオ撮影画面で メニュー ▶「2 フレームを選ぶ」を押す

● 電話帳：撮影待機中の画面とフレームを重ねて表示します。✉ / i αを押すと、フレームが切り替わります。

2 フレームを選択 ▶ 決定 を押す

フレームが設定されます。
● 重ねたフレームを外す場合は、メニュー ▶「3 フレームを外す」を押します。

お知らせ

● フレームが表示されるまで、時間がかかることがあります。

撮影サイズの設定

撮影する写真の大きさを設定します。
● 写真の撮影待機中のみ操作できます。
● 外側カメラと内側カメラで別々に設定します。

1 写真撮影画面で メニュー ▶「6 写真の大きさ」を押す

ケータイ撮影で
撮影する写真の
大きさを
選んでください

1 S　(176x144)
2 M　(240x320)
3 待受　(240x432)
4 L　(480x640)

<ケータイ撮影>

デジカメ撮影で
撮影する写真の
大きさを
選んでください

1 S　(768x1280)
2 M　(1920x1080)
3 L　(2048x1536)

<デジカメ撮影>

ケータイ撮影の場合

1 S（176×144）：ｉモードメールでｉモード端末やパソコンなどに送信するのに適した、より小さいサイズです。
2 M（240×320、320×240）：ｉモードメールでｉモード端末やパソコンなどに送信するのに適したサイズです。
3 待受（240×432、432×240）：F884iの待受画面と同じサイズです。
4 L（480×640、640×480）：高画質の携帯端末で表示するのに適したサイズです。

デジカメ撮影の場合

1 S（768×1280、1280×768）：L判（89mm×127mm）程度の大きさに印刷するのに適したサイズです。
2 M（1920×1080）：フルハイビジョンサイズのディスプレイに表示するのに適したサイズです。また2L判（178mm×127mm）程度の大きさに印刷するのにも適しています。
3 L（2048×1536）：A4判（297mm×210mm）程度の大きさに印刷するのに適したサイズです。

2 「1 S（176×144）」～「4 L（480×640、640×480）」または「1 S（768×1280、1280×768）」～「3 L（2048×1536）」のいずれかを押す

撮影サイズを設定した旨のメッセージが表示されます。決定を押すと写真撮影画面に戻ります。

おしらせ

- 「ケータイM（240×320、320×240）」より大きいサイズで撮影した写真は、縮小してｉモードメールに添付できます。→p.162 操作4

ビデオサイズ（容量）の設定

撮影するビデオのデータサイズを設定します。

- ビデオの撮影待機中のみ操作できます。

1 ビデオ撮影画面で［メニュー］▶「5撮影サイズを選ぶ」を押す

撮影するビデオの
サイズ･容量を
選んでください

1メール添付･小
2メール添付･大
3microSD･無制限

1**メール添付・小**：ｉモードメールに添付してｉモード端末やパソコンなどに送信するときに設定します。

2**メール添付・大**：「メール添付・小」よりも長時間撮影するときに設定します。

3**microSD・無制限**：「メール添付・小」や「メール添付・大」よりも長時間撮影するときに設定します。

- 「メール添付・小」、「メール添付・大」に設定すると、撮影サイズがQCIF（176×144）に、「microSD・無制限」に設定すると、撮影サイズがQVGA（320×240）になります。
- microSDメモリーカードを取り付けていない場合は、「3microSD・無制限」を押すとmicroSDメモリーカード挿入後の設定を促す旨のメッセージが表示されます。

2 「1メール添付・小」～「3microSD・無制限」のいずれかを押す

ビデオサイズを設定した旨のメッセージが表示されます。［決定］を押すとビデオ撮影画面に戻ります。

オートフォーカスの設定

写真を撮影するときに自動的にピントを合わせる機能を、設定または解除します。

- お買い上げ時は、オートフォーカスオンに設定されています。

1 写真撮影画面で［メニュー］▶「7オートフォーカスオン」／「7オートフォーカスオフ」を押す

くっきり補正の設定

色や明るさのバランスを自動的に補正する機能を、設定または解除します。

- ビデオの撮影待機中のみ操作できます。
- お買い上げ時は、くっきり補正オンに設定されています。
- ビデオサイズ（容量）の設定が「microSD・無制限」のときはくっきり補正はオフになり、オンにはできません。

1 ビデオ撮影画面で［メニュー］▶「7くっきり補正オン」／「7くっきり補正オフ」を押す

画質補正機能が設定または解除され、ビデオ撮影画面に戻ります。

くっきり補正オンにすると表示されます。

おしらせ

- くっきり補正をオンにしていても、撮影する環境によっては、状態があまり変化しなかったり、補正が極端に強調されたりすることがあり、くっきり補正をオフにしたほうがよい場合もあります。

明るさの調節

撮影時の明るさを調節します。

- 5段階（−2、−1、±0、＋1、＋2）で調節できます。
- 撮影待機中のみ操作できます。

1 写真撮影画面／ビデオ撮影画面で メニュー▶「0詳細を設定」▶「1明るさの調節」を押す

現在の明るさが表示されます。

2 メール/iアプリ または +− を押し、明るさを調節▶決定を押す

明るさを調節した旨のメッセージが表示されます。決定を押すと写真撮影画面／ビデオ撮影画面に戻ります。

お知らせ

● 被写体によっては、明るさを調節しても表示があまり変化しない場合があります。

ビデオの画質設定

ビデオ撮影後に保存するデータの画質を設定します。

● ビデオの撮影待機中のみ操作できます。

● ビデオサイズ（容量）の設定が「microSD・無制限」のときは設定できません。

1 ビデオ撮影画面でメニュー▶「6撮影画質を選ぶ」を押す

撮影するビデオの
画質を
選んでください

1長時間
2標準の画質
3高画質
4最高画質

1 **長時間**：長時間撮影するときに設定します。
- 画質は標準より悪くなります。

2 **標準の画質**：標準の画質で撮影するときに設定します。

3 **高画質**：標準よりも良い画質で撮影するときに設定します。
- 撮影時間は標準よりも短くなります。

4 **最高画質**：最も良い画質で撮影するときに設定します。
- ビデオサイズ（容量）は自動的に「microSD・無制限」に変更されます。

2 「1長時間」～「4最高画質」のいずれかを押す

画質を設定した旨のメッセージが表示されます。決定を押すとビデオ撮影画面に戻ります。

シャッター音の設定

撮影時のシャッター音を設定します。

● 撮影時のシャッター音を鳴らさないようにすることはできません。

● 撮影待機中のみ操作できます。

1 写真撮影画面／ビデオ撮影画面で メニュー▶「0詳細を設定」▶「2シャッター音の設定」を押す

シャッター音を
選んでください

1標準
2ファニー
3メタル
4チャイム
5スピード

＜写真撮影の場合＞

● 電話帳：シャッター音を確認できます。

2 「1標準」～「5スピード」のいずれかを押す

シャッター音を設定した旨のメッセージが表示されます。決定を押すと写真撮影画面／ビデオ撮影画面に戻ります。

カメラ

ディスプレイの照明設定

撮影時のディスプレイの照明を設定します。
● 撮影待機中のみ操作できます。

1 写真撮影画面／ビデオ撮影画面で[メニュー]▶「[0]詳細を設定」▶「[3]照明の設定」を押す

カメラ撮影中に
画面の照明を常に
点灯させますか？
1 常に点灯
2 1分で消灯

[1] **常に点灯**：撮影中は常時点灯するように設定します。
[2] **1分で消灯**：1分経過すると消灯するように設定します。→p.121

2 「[1]常に点灯」または「[2]1分で消灯」を押す

照明を設定した旨のメッセージが表示されます。[決定]を押すと写真撮影画面／ビデオ撮影画面に戻ります。

ビデオ撮影の残り時間の確認

本体やmicroSDメモリーカードへ撮影したビデオを保存できる残り時間を確認します。
● ビデオの撮影待機中のみ操作できます。

1 ビデオ撮影画面で[メニュー]▶「[*]残り時間を確認」を押す

ビデオの残り撮影時間が確認できます。

残り時間の目安
本体
ﾒｰﾙ小　00:19:20
ﾒｰﾙ大　00:19:40

● [電話帳]：microSD メモリーカードと本体の残り時間を切り替えます。
● ビデオサイズ（容量）の設定が「microSD・無制限」のときは、「microSD・無制限」の残り時間のみ確認できます。

2 [決定]を押す

ビデオ撮影画面に戻ります。

カメラ起動時の撮影モード設定

カメラを起動したときにケータイ撮影、デジカメ撮影（→p.160）のどちらで起動するかを設定します。
● 写真の撮影待機中のみ設定できます。

1 写真撮影画面で[メニュー]▶「[*]起動時モード設定」を押す

カメラ起動時の
撮影モードを
選んでください
1 microSDに連動
2 起動時に確認
3 常にﾃﾞｼﾞｶﾒ撮影
4 常にｹｰﾀｲ撮影

[1] **microSDに連動**：microSDメモリーカードが取り付けられていればデジカメ撮影、取り付けられていなければケータイ撮影で起動します。
[2] **起動時に確認**：カメラを起動したときにデジカメ撮影、ケータイ撮影のどちらで起動するかを選択します。
[3] **常にデジカメ撮影**：いつでもデジカメ撮影で起動します。
[4] **常にケータイ撮影**：いつでもケータイ撮影で起動します。

2 「[1]microSDに連動」～「[4]常にケータイ撮影」のいずれかを押す

カメラ起動時の撮影モードを設定した旨のメッセージが表示されます。[決定]を押すと写真撮影画面に戻ります。

拡大鏡の利用

FOMA端末のカメラで対象を拡大表示します。そのまま撮影することもできます。
- 対象から約 7 ～ 10cm の距離でご利用ください。
- 外側カメラでのみ利用できます。

1 待受画面でⓞを1秒以上▶「3拡大鏡」を押す

カメラの映像が4.0倍に拡大されて画面に表示されます。
背面ディスプレイの照明が約2秒間隔で点滅します。

8	00サ 02 09サ 15カ 21サ 2
9	01カ 05 11サ 18 23カ 29
10	06サ 20カ 29 38カ 49 55
11	08サ 23カ 39 45サ
12	00サ 20 34 48
13	08サ 23カ 39 45サ
14	06サ 20カ 29 38カ 49 55
待受	残455枚

お知らせ

- 撮影サイズは待受（240×432、432×240）になります。
- ズームは2.0倍、4.0倍のみ使用できます。
- 拡大鏡では撮影モードの切り替え、写真の大きさやカメラ起動時の撮影モードの設定はできません。

手書きメモの作成

手書きの文字を画像として保存したり、メールに添付して送ったりできます。
撮影した画像は文字が強調されます。
- 外側カメラでのみ利用できます。

1 待受画面でⓞを1秒以上▶「5手書きメモ」を押す

- 以降の操作→p.160「写真を撮影する」
- 手書きメモを撮影すると、画像の歪みが自動的に補正されます。撮影後の確認画面（→p.162 操作3）で電話帳を押すと、補正の有無を切り替えられます。被写体によっては補正を行わないほうが自然な場合があります。

お知らせ

- 撮影サイズはケータイM（240×320、320×240）または待受（240×432、432×240）から選択できます。
- 撮影モードの切り替えやフレームの利用、カメラ起動時の撮影モードの設定はできません。

バーコードリーダー

バーコードリーダーで情報を読み取る

カメラを使ってJANコード、QRコードといったバーコードに含まれている文字や数字を読み取ります。読み取った文字や数字は電話帳やブックマークに登録できます。読み取った文字や数字を使って、電話をかけたり（Phone To（AV Phone To））、SMSを送ったり（SMS To）、メールを送ったり（Mail To）、インターネットに接続したり（Web To）することもできます。
- バーコードリーダーは外側カメラでのみ利用できます。
- 読み取れるコードはJANコード、QRコードです。
- QRコードのバージョン（種類やサイズ）によっては読み取れない場合があります。
- 傷、汚れ、破損、印刷の品質、光の反射の具合などにより読み取れない場合があります。

JANコードとは

幅の異なる縦の線（バー）で数字を表現しているバーコードです。8桁（JAN8）または13桁（JAN13）のバーコードを読み取れます。
上のJANコードでは、「4942857315721」という文字情報を読み取れます。

QRコードとは

縦横方向の模様で英数字、漢字、ひらがな、カタカナ、絵文字、メロディ、画像などのデータを表現している2次元コードです。
上のQRコードでは、「株式会社NTTドコモ」という文字情報を読み取れます。

カメラ

コードの読み取り

1 待受画面で📷を1秒以上▶「6バーコード読取り」を押す

バーコードリーダーが起動します。
外側カメラをコードから約7～10cm離して読み取ってください。

- コード読み取り待機中は、#を押すごとに接写撮影OFF（表示なし）と接写撮影ON（🌷）の切り替えができます。
- サイズの大きいコードを読み取るときは接写撮影OFFに切り替えてください。

2 コードを読み取る

外側カメラをコードに合わせると自動的に読み取ります。コードが読み取られると確認音が鳴り、読み取ったデータが表示されます。

- 読み取ったデータが半角で 11000 文字、全角で5500文字を超える場合、超過した文字は表示されませんが利用はできます。

■ **コードを読み取り直す：電話帳を押す**

- メニュー▶「2再読取り」を押しても、読み取り直しができます。

3 データを利用する

■ **情報を電話帳に一括登録する：「電話帳登録」を選択して決定を押す**

電話帳の名前入力画面が表示されます。すでに名前、フリガナ、電話番号、メールアドレス、住所が入力されています。

- 電話帳の登録方法→p.87

■ **ｉモードメールを送信する：メールアドレスまたは「メール作成」を選択して決定を押す**

メールアドレスを選択すると宛先が入力されたメール作成画面が表示されます。「メール作成」を選択すると宛先、題名、本文が入力されたメール作成画面が表示されます。

- ｉモードメールの作成・送信方法→p.214、p.217

■ **ホームページやサイトを表示する：**

① **URLを選択して決定を押す**
② **「1接続して表示」を押す**

ホームページまたはサイトが表示されます。

- 「2表示しない」を押すと読み取ったデータの表示画面に戻ります。

■ **URLをブックマークに登録する：**

① **「ブックマーク登録」を選択して決定を押す**
② **登録先フォルダを選択して決定を押す**

サイト名がタイトルとして入力されたブックマークが登録されます。

■ **ｉアプリを起動する：「ｉアプリ起動」を選択して決定を押す**

ｉアプリが起動します。

■ **音声電話、テレビ電話をかける：**

① **電話番号を選択して決定を押す**
② **「1音声電話」または「2テレビ電話」を押す**

- 「1電話をかける」を押すと選択した電話番号に音声電話またはテレビ電話がかかります。
- 「2電話をかけない」を押すと読み取ったデータの表示画面に戻ります。

■ **SMSを送信する：**

① **電話番号を選択して決定を押す**
② **「3SMS」▶「1送信する」を押す**

選択した電話番号が宛先に設定されているSMS作成画面が表示されます。

- SMSの作成・送信方法→p.251

■ 静止画を保存する：
① 静止画を選択して決定を押す
② 「2保存する」を押す
- 「1表示する」を押すと静止画を表示します。
- 「3戻る」を押すと読み取ったデータの表示画面に戻ります。

③ 決定を押す
静止画が保存されます。
- メニュー：題名の変更や待受画面、ワンタッチダイヤルの着信画面に設定することができます。

■ メロディデータを保存する：
① メロディデータを選択して決定を押す
② 「2保存する」を押す
- 「1再生する」を押すとメロディを再生します。
- 「3戻る」を押すと読み取ったデータの表示画面に戻ります。

③ 決定を押す
メロディが保存されます。
- 題名を変更するときは全角25文字、半角50文字以内で入力します。

■ トルカを保存する：
① トルカデータを選択して決定を押す
② 「2保存する」を選択して決定を押す
トルカが保存されます。
- 「1表示する」を選択すると、トルカが表示されます。
- 「3戻る」を押すと読み取ったデータの表示画面に戻ります。

■ 読み取ったデータの文字情報をコピーする：
① メニュー▶「1コピーする」▶開始位置にカーソルを合わせて決定を押す
- メニューを押すとすべての文字情報をまとめて選択できます。

② 終了位置にカーソルを合わせて決定を押す
選択した範囲の文字情報がコピーされます。

■ 読み取ったデータを登録する：
① 登録する情報を選択してメニュー▶「3登録する」を押す
② 「1電話帳新規登録」～「3ブックマーク登録」のいずれかを押す
1**電話帳新規登録**：電話帳に新規に登録します。
2**電話帳更新登録**：既存の電話帳を更新します。
3**ブックマーク登録**：ブックマークに登録します。
- 情報によって、登録できる機能が違います。
  - 電話帳に登録できるのは電話番号、テレビ電話番号、メールアドレスです。
  - ブックマークに登録できるのはURLだけです。

お知らせ

● カメラ起動中や、バーコードリーダーに対応しているｉアプリ起動中、バーコードリーダーを起動できます。ｉアプリから起動した場合、読み取ったデータはｉアプリで保存、利用されます。

分割されたQRコードを読み取る

複数（最大16個）のQRコードに分割されているデータは、画面に表示されるメッセージに従って次々に読み取ってください。

読み取りが必要な残りのQRコード数とQRコードの総数が表示されます。

● 分割されたQRコードの読み取りを中止するには、戻るを押します。読み取ったデータを破棄するかどうかの確認画面が表示されます。「1破棄する」を押すと、読み取ったデータを破棄してバーコードリーダーが終了します。

ｉモード／ｉモーション／ｉチャネル

サイトを表示する

サイトから画像やメロディなどをダウンロードする

ｉモードの便利な機能

ｉモードの設定を行う

メッセージサービスを利用する

証明書を利用する

ｉモーションを利用する

ｉチャネルを利用する

ｉモードとは

ｉモードでは、ｉモード対応FOMA端末（以下ｉモード端末）のディスプレイを利用して、サイト（番組）接続、インターネット接続、ｉモードメールなどのオンラインサービスをご利用いただけます。

- ｉモードはお申し込みが必要な有料サービスです。
- ｉモードサービスの詳細については、『ご利用ガイドブック（ｉモード〈FOMA〉編）』をご覧ください。

ｉモードのご使用にあたって

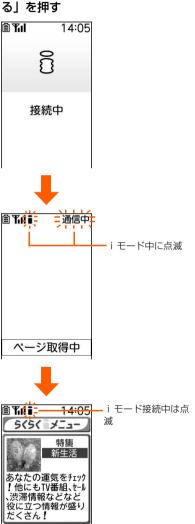
- サイト（番組）やインターネット上のホームページ（インターネットホームページ）の内容は、一般に著作権法で保護されています。これらのサイト（番組）やインターネットホームページからｉモード端末に取り込んだ文章や画像などのデータを、個人として楽しむ以外に、著作権者の許可なく一部あるいは全部をそのまま、または改変して販売、再配布することはできません。
- 別のFOMAカードに差し替えたり、FOMAカードを取り付けずに電源を入れたときは、機種によってサイトから取り込んだ画像・ｉモーション・メロディやメールで送受信した添付データ（画像・動画・メロディ）、画面メモおよびメッセージR/Fなどを表示・再生できません。
- FOMAカード動作制限機能が設定されているデータを待受画面や着信音などに設定していると、別のFOMAカードに差し替えたり、FOMAカードを取り付けずに電源を入れると、設定内容は初期状態にリセットされます。

ｉモードメニュー

サイトを表示する

ｉモードに接続して、さまざまなサイトを表示します。

- サイト画面はイメージです。実際に表示される画面とは異なる場合があります。

1 待受画面で[iα]▶「[1] ｉMenuを見る」を押す

- ｉモード接続中画面で[決定]：接続を中止します。
- ページ取得中画面で[電話帳]：ページの読み込みを中止します。

2 「天気・新聞　スポーツ」を選択▶決定を押す

新聞·天気·スポーツ
☀天気
1ウェザーニュース
今日明日の天気
週間天気
2気象協会
今日明日の天気

3 見たい項目を選択▶決定を押す

サイトに接続されます。以降目的のページが表示されるまで、操作3を繰り返します。

● 1、2などの番号付きの項目は、項目に対応するボタンを押して選択できる場合があります（ダイレクトキー機能）。

お知らせ

● この端末からｉモードセンターに接続すると、最初にらくらくｉメニューが表示されます。通常のｉMENUを表示する場合は、らくらくｉメニュー画面で「通常ｉMENUを使う」を選択して決定を押します。

● サイト表示中にらくらく ｉ メニューを表示する場合は、メニュー▶「1ｉMenu」を押します。

● サイト表示中の文字の大きさを変更できます。→p.194

● サイトによっては、利用するために情報料が必要なもの（ｉモード有料サイト）があります。

● IP（情報サービス提供者）が提供するサービスには、ご利用の際に別途お申し込みが必要なものがあります。

● サイトによっては、項目選択時に次の画面が表示される場合があります。

携帯電話情報を
送信しますか？
1送信する
2送信しない
3元の画面へ戻る

・サイトからお客様の携帯電話情報が要求されたときに表示されます。「1送信する」を押すと、お客様の携帯電話情報が送信されます。
送信するお客様の携帯電話情報（FOMA端末の製造番号、FOMAカードの製造番号）はインターネットを経由してIP（情報サービス提供者）に送信されるため、場合によっては第三者に知得されることがあります。なお、この操作によりご使用の電話番号、お客様の住所や年齢、性別がIP（情報サービス提供者）などに通知されることはありません。

・サイトからユーザ名、パスワードの入力を要求されたときはユーザ名、パスワードの入力画面が表示されます。サイトのユーザ名、パスワードを入力し、「送信」を選択して決定を押します。

● 画像を含むサイトを表示したとき、画像の代わりに次のマークが表示される場合があります。

- 🖼：画像表示・照明設定（→ p.195）で「画像」を「表示しない」に設定しているとき
- ⊗：画像のデータが不正なときや画像が見つからないとき、受信中に圏外になるなどで画像を受信できなかったとき
- 🖼：画像のURLの誤りなどで画像が表示できないとき

● ｉモードは通信を使ったサービスのため、圏外 が表示されている場合はご利用になれません。

SSL対応ページの接続

SSL対応ページでは、データを暗号化して送受信することにより、データの盗聴や書き換えを防ぎ、お客様の個人情報をより安全にやりとりすることができます。

- SSL対応のページによっては、日付・時刻の設定をしないと接続できない場合があります。→p.48
- SSL通信を行うには、接続先とFOMA端末に同じ認証機関が発行した「証明書」という電子情報が必要です。→p.198
- FirstPass対応のページに接続するには、ユーザ証明書をFirstPass センターからダウンロードし、FOMAカードに保存する必要があります。→p.203

SSL対応のページに接続する

SSL対応のページに接続する場合は次の画面が表示されます。

オンライン
ショッピング
1 クレジットカード
2 代金引換
3 銀行振込
ＳＳＬ通信を開始します（認証中）

- SSL対応のページが表示されるとディスプレイ上部の（点滅）がに変わります。
- 表示中のページに使われている証明書を表示する場合は、メニュー▶「✱URL等を確認」▶「2 証明書詳細表示」を押します。→p.197

SSL対応のページから通常のページに進む

SSL対応のページから通常のページに進む場合は次の画面が表示されます。

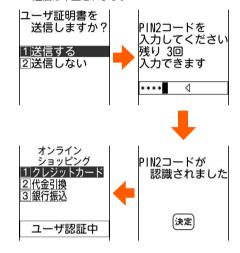
ＳＳＬページを
終了しますか？
1 終了する
2 終了しない

- 「1 終了する」を押すと通常のページが表示され、ディスプレイ上部のが（点滅）に変わります。

FirstPass対応のページに接続する

FirstPass対応のページに接続する場合は次の操作が必要です。

①「1 送信する」▶PIN2コードを入力▶決定▶決定を押す

- 60秒以内にPIN2コードを入力しないとSSL通信は中止されます。

お知らせ

- 接続先との通信の安全性が確認できない場合、接続するかどうかの確認画面が表示されます。接続するときは「1 接続する」を押します。
- FirstPass 対応サイトに接続した際のパケット通信料は、パケ・ホーダイ／パケ・ホーダイフルの対象となります。ただし、パソコンと接続してデータ通信を行う場合は、パケ・ホーダイ／パケ・ホーダイフルの対象外となります。

最後に表示したページに再接続 <ラストURL>

最後に表示したサイトやホームページのURLはFOMA端末に記録されています。ラストURLを利用すると、最後に表示したページに簡単に再接続できます。

1 待受画面で[iα]▶「[3]最後に表示したサイトを見る」▶[決定]を押す

サイトに接続されます。

● ラストURLが記録されていないときは、最後に表示したURL情報がない旨のメッセージが表示されます。

お知らせ

● 最後に表示したページによっては、表示できない場合や、異なるページを表示する場合があります。

サイトの見かたと操作

サイト表示中の基本的な操作方法について説明します。

Flash画像の表示について

FOMA端末ではFlash画像を表示できます。Flash画像により、サイトの表現力がさらに豊かになります。

● 画像表示・照明設定の「画像」を「表示しない」に設定した場合は、Flash画像は表示されません。→p.195

● Flash画像が表示されているときは、動作が通常のサイト表示と異なる場合があります。

● Flash画像によってはガイド行に✥が表示されていない場合でも、Flash画像の操作ができる場合があります。

● Flash画像を写真のアルバム、画面メモ、microSDメモリーカード等に保存して再生した場合、保存箇所により見えかたが異なる場合があります。

● Flash画像が表示されていても、正しく動作しない場合や、再生中にエラーが発生したFlash画像は保存できない場合があります。

● Flash画像によっては効果音が鳴る場合があります。ただし、音声読み上げ機能を設定している場合は、音声読み上げが優先されます。効果音を鳴らさない場合は、画像表示・照明設定の「効果音設定」を「再生しない」に設定してください。→p.195

● Flash画像によっては、バイブレータ設定を「振動させない」に設定しても（→p.115）、再生中にFOMA端末を振動させる場合がありますのでご注意ください。

● 再生中に30秒以上操作しなかった場合は、一時停止します。再生を再開するには[メニュー]、[←]、[→]、[決定]、[━]、[戻る]以外のボタンを押してください。

● Flash画像を最初から再生する場合は、[メニュー]▶「[#]表示を設定」▶「[4]リトライ」を押してください。

● Flash画像が画面に収まっていない場合は、スクロールにより画面内に収まった時点で動作が開始されます。

● Flash画像によっては、端末情報データを利用するものがあります。端末情報データを利用するためには、画像表示・照明設定の「端末情報利用」を「利用する」に設定してください（→p.195）。お買い上げ時は、「利用する」に設定されています。なお、利用する登録データには次のものがあります。
- 電池残量
- 受信レベル
- 時刻情報
- 電話着信音量
- 言語情報
- 機種情報

● 待受画面に設定されたFlash画像の効果音は鳴りません。

リンク先や項目の選択

iモード中、サイトによっては次のような操作ができます。

リンク先
表示中のページから関連するページに進むための項目です。
選択すると反転表示され、決定を押すとリンク先のサイトが表示されます。

文字入力欄
入力欄を選択すると文字を入力できます。
入力欄を選択して決定を押すと文字を入力できます。
全角5000文字、半角10000文字以内で入力します。ただし、入力できる文字の種類と文字数は、入力欄によって異なります。

ラジオボタン
選択肢の中から1つだけ選択する場合のマークです。
ラジオボタンを選択して決定を押します。
○：選択されていない状態
◉：選択されている状態

チェックボックス
選択肢の中から複数項目を選択できる場合のマークです。
チェックボックスを選択して決定を押します。
☐：選択されていない状態
☑：選択されている状態

プルダウンメニュー
選択すると、隠れている選択肢が表示されるメニューです。
選択肢を選択して決定を押します。

携帯電話情報
NTT DoCoMo
IDとﾊﾟｽﾜｰﾄﾞを入力して下さい。
ID:
★あなたの性別
男性
女性
★あなたの趣味
野球
サッカー
ラグビー
★あなたの年齢★
10才以下
決定

ボタン
ページの設定内容を確定してサイトに送信したり、取り消したりできます。ボタンの名称はサイトによって異なります。

お知らせ

- 音声読み上げ機能を設定している場合は、サイト情報の内容を選択すると深緑色（背景や文字の色により色が変化します）に反転表示されますが、リンク情報ではありません。
- プルダウンメニューによっては、選択画面で項目を選択▶決定を押す操作を繰り返すことにより、複数の項目が選択できます。選択後に電話帳を押すと、選択項目がすべて反映された画面に戻ります。
- 文字入力欄、ラジオボタン、チェックボックス、プルダウンメニューのそれぞれに入力した内容は、登録したブックマークや画面メモなどには反映されません。

前のページへの戻りかた・進みかた

FOMA端末は、ページの表示履歴を最大20件記録しています。これによりすでに表示した前のページに戻したり、次のページに進めたりできます。このように、表示したサイトやインターネットホームページなどの表示履歴を、一時的に記録する端末内の場所のことを「キャッシュ」といいます。◁▷を押すことで、通信を行わずにキャッシュに記録されたページを表示できます。ただし、端末のキャッシュサイズをオーバーしていたり、サイトによって必ず最新情報を読み込むように設定されたページを表示したりするときは、通信を行います。

● FirstPassセンター接続中（→p.203）は本機能を使用できません。

2つ前のページ

1つ前のページ

1天気
1.ウェザーニュース
2.お天気予報
3.気象協会
→全11ｻｲﾄ
2新聞(全国紙)
1.毎日新聞･ｽﾎﾟﾆﾁ
2.朝日･日刊ｽﾎﾟｰﾂ
3.日経･ﾏﾈｰ&ｽﾎﾟｰﾂ
4.産経･ｻﾝｽﾎﾟ･ﾌｼﾞ
ﾒﾆｭｰ 決定 次を読む

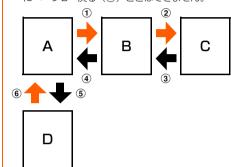
前のページに戻れることを示します。

次のページに進めることを示します。

現在のページ

◆季節のｵｽｽﾒ◆
さくらﾌﾟﾛｼﾞｪｸﾄ
花粉予想2008
雨の時間は？
ｴﾘｱ:ｶﾝﾀﾝ検索
1今日明日の天気
FLASH版を使う
2週間天気
毎朝無料ﾒﾆｭｰ
ﾒﾆｭｰ 決定 次を読む

お知らせ

● 入力した文字や設定などの情報は記録されません。
● ｉモードを終了すると、記録されたページはすべて消去されます。
● Flash画像が表示されている場合は、ページの操作方法が異なることがあります。
● ページＡ→Ｂ→Ｃの順に表示（①、②）した後でページＡに戻り（③、④）、ページＤに進む（⑤）と、ページA→B→Cの表示履歴は消去されます。ページＤからページＡには戻れますが（⑥）、さらにページBへ戻る（①）ことはできません。

画面のスクロール

サイトやインターネットホームページの内容などを表示中に画面をスクロールします。

すべての行が表示されていないとき、またはリンク項目に移動できるときは▲や▼が表示されます。

- [メール][iモード]：スクロールします。1秒以上押すと連続スクロールします。
- [＊][＃]：1秒以上押すと画面単位でスクロールします。

サイト情報の再読み込み

ページの情報が正常に受信できなかった場合に、再読み込みを行ってページの情報を受信し直します。

1 サイト表示中に[メニュー]▶「[5]再読み込み」を押す

ページの情報が受信され、ページが再表示されます。

URLの表示

〈例〉サイトのURLを表示する

1 サイト表示中に[メニュー]▶「[＊]URL等を確認」▶「[1]URLを表示」を押す

URLが表示されます。

- [決定]を押すとサイト表示に戻ります。

お知らせ

- URL履歴一覧、フォルダ内のブックマーク一覧、画面メモ一覧から操作する場合は、[メニュー]▶「URLを表示」を選択▶[決定]を押します。

マイメニュー

マイメニューを使う

よく利用するサイトをマイメニューに登録することによって、次回からそのサイトに簡単にアクセスすることができます。

- 有料サイトに申し込むと自動的にマイメニューに登録されます。

マイメニューへの登録

- マイメニュー登録にはｉモードパスワードが必要です。
- マイメニューに登録できるのはｉモードのサイトだけです。ただし、登録できないサイトもあります。登録できないサイトやインターネットホームページはブックマークに登録してください。
- 最大45件登録できます。

1 マイメニューに登録するサイトを表示し、「マイメニュー登録」を選択▶[決定]を押す

ｉモードパスワード入力画面が表示されます。

- 各サイトによりページ構成が異なりますので、該当する番号のボタンを押すか、該当する項目を選択▶[決定]を押します。

2 ｉモードパスワード欄を選択▶[決定]▶ｉモードパスワードを入力▶[決定]を押す

入力したパスワードは「＊」で表示されます。

- ｉモードパスワードはご契約時は「0000」に設定されています。

3 「決定」を選択▶[決定]を押す

サイトがマイメニューに登録されます。

マイメニューからのサイト表示

1 待受画面で[iモード]▶「[1]ｉMenuを見る」▶「マイメニュー」を選択▶[決定]を押す

マイメニュー一覧が表示されます。

2 表示するサイトを選択▶[決定]を押す

サイトが表示されます。

iモードパスワード変更

iモード用のパスワードを変更する

マイメニュー登録／削除、メッセージサービスやｉモード有料サイトの申し込み／解約、メール設定を行うときはｉモードパスワードが必要です。ｉモードパスワードはｉモードご契約時には「0000」に設定されていますので、安全のためお客様独自のｉモードパスワードに変更してください。なお、ｉモードパスワードは他人に知られないように十分にご注意ください。

- ｉモードパスワード欄には、4桁の数字を入力します。入力したパスワードは「*」で表示されます。
- ｉモードパスワードをお忘れの場合は、ご契約者本人であることを確認できるもの（運転免許証など）をドコモショップ窓口で確認させていただいた上で、ｉモードパスワードを「0000」にリセットさせていただきます。

1 待受画面で[iα]▶「[1] i Menuを見る」▶「料金＆お申込・設定」を選択▶[決定]▶「オプション設定」を選択▶[決定]▶「ｉモードパスワード変更」を選択▶[決定]を押す

ｉﾓｰﾄﾞﾊﾟｽﾜｰﾄﾞ変更
現在のﾊﾟｽﾜｰﾄﾞ
新ﾊﾟｽﾜｰﾄﾞ
新ﾊﾟｽﾜｰﾄﾞ確認
決定

2 現在のパスワード欄を選択▶[決定]▶現在のｉモードパスワードを入力▶[決定]を押す

操作1の画面に戻ります。

3 新パスワード欄を選択▶[決定]▶新しいｉモードパスワードを入力▶[決定]を押す

操作1の画面に戻ります。

4 新パスワード確認欄を選択▶[決定]▶操作3で入力した新しいｉモードパスワードを入力▶[決定]を押す

操作1の画面に戻ります。

5 「決定」を選択▶[決定]を押す

ｉモードパスワードが変更されます。

- 入力した内容に誤りや抜けがあったときは、エラー画面が表示されます。「再入力」を選択▶[決定]を押して操作2からやり直してください。

インターネット接続

インターネットホームページを表示する

インターネットに接続して、ｉモード対応のホームページにアクセスします。
接続先はインターネットホームページのアドレス（URL）で指定します。

- ｉモード対応のインターネットホームページ以外は正しく表示されない場合があります。

1 待受画面で[iα]▶「[4]インターネットに接続する」▶「[1]URLを入力して接続する」を押す

URL入力画面が表示されます。

- 2回目からは前回接続したURLが表示されます。

2 [決定]▶インターネットホームページのURLを入力▶[決定]▶[電話帳]を押す

インターネットホームページに接続されます。

- 半角256文字以内で入力します。英字、数字、記号を入力できます。
- 半角英字入力モード時に[1あ]：「.」「/」「-」などの記号を入力できます。
- 半角英字入力モード時に[*⇔]：「.com」「.ne.jp」「.co.jp」「http://www.」「.html」などを入力できます。

お知らせ

- サイト表示画面から操作する場合は、[メニュー]▶「[8]インターネットに接続」▶「[1]URLを入力」を押します。
- インターネットホームページ表示中の操作方法は、ｉモードのサイトの場合と同様です。
- 受信データが1ページの最大サイズを超えたときはメッセージが表示され、[決定]を押すと受信できた分のデータが表示されます。

URL履歴を使って表示

URLを入力して接続したインターネットホームページのURLはFOMA端末に記録されています。このURL履歴からインターネットホームページに接続できます。
- 最大5件記録されます。5件を超えると、古いものから順に消去されます。

1 待受画面で[iα]▶「[4]インターネットに接続する」▶「[2]サイトの入力履歴から接続する」を押す

URL履歴
1/3件
http://www.ΔΔΔΔ.co.jp
http://www.□□□□.co.jp
http://www.Δ□Δ□.co.jp

URL履歴番号／URL履歴件数

- URL履歴が記録されていないときは、URL履歴がない旨のメッセージが表示されます。

2 表示するインターネットホームページのURLを選択▶[決定]を押す

インターネットホームページに接続されます。

■ URL履歴を削除する：

① **削除するURLを選択▶[メニュー]▶「[2]削除する」▶「[1]選択1件」を押す**
URL履歴を削除するかどうかの確認画面が表示されます。
- URLをすべて削除するときは、[メニュー]▶「[2]削除する」▶「[2]全件」▶端末暗証番号を入力▶[決定]を押します。

② **「[1]削除する」を押す**
URL履歴を削除した旨のメッセージが表示されます。[決定]を押すとURL履歴一覧に戻ります。
- URL履歴がなくなった場合は、URL履歴がない旨のメッセージが表示されます。[決定]を押すとメニュー画面に戻ります。

お知らせ

- サイト表示画面から操作する場合は、[メニュー]▶「[8]インターネットに接続」▶「[2]履歴から接続」を押します。

文字を正しく表示<文字コード>

サイトやインターネットホームページの文字が正しく表示されないときは、文字コードを変更して正しく表示できる場合があります。
- 文字コードとは、文字をコンピュータで利用可能にするために作られた文字の番号体系のことです。FOMA端末でサイトやインターネットホームページを表示する際に、文字コードが一致していないと文字が正しく表示されません。

1 サイトやインターネットホームページ表示中に[メニュー]▶「[#]表示を設定」▶「[3]文字コード変更」▶「[1]切替え」を押す

文字コードを変更して再表示します。
- 操作1を繰り返すたびに、文字コードが自動選択→SJIS→EUC→JIS→UTF8の順に切り替わります。操作を5回繰り返すと元の表示に戻ります。
- サイトやインターネットホームページを表示した時点では「自動で選択」に設定されています。

お知らせ

- 画面メモ表示画面から操作する場合は、[メニュー]▶「[9]表示を設定」▶「[1]文字コード変更」を押します。

ブックマーク

サイトやホームページを登録してすばやく表示する

よく見るサイトやインターネットホームページをブックマークに登録しておくと、ブックマークを選択するだけで、サイトやインターネットホームページをすばやく表示することができます。
- ブックマークに登録できるURLの文字数は、半角で最大256文字です。ただし、サイトやホームページによっては、ブックマークに登録できない場合があります。
- 題名が登録可能な最大文字数を超える場合は、超えた部分が削除されて登録されます。

ブックマークの登録

ブックマークを5個のフォルダに分けて登録できます。

● 最大保存件数→p.513

1 ブックマークに登録するサイトを表示して[メニュー]▶「2ブックマークに登録」を押す

登録先フォルダ選択画面が表示されます。

2 登録先フォルダを選択▶[決定]を押す

ブックマークを追加した旨のメッセージが表示されます。[決定]を押すとサイト表示に戻ります。

お知らせ

● ブックマークが最大保存件数を超えるときは、登録済みのブックマークを書き換えるかどうかの確認画面が表示されます。保存する場合は、画面の指示に従い書き換えるブックマークを選択します。

● すでに同じURLが登録されているときは、ブックマークを書き換えるかどうかの確認画面が表示されます。書き換える場合は「1書きかえる」を押します。

● URL履歴一覧、画面メモ一覧、画面メモ表示画面から操作する場合は、[メニュー]▶「ブックマークに登録」を選択▶[決定]を押します。

● メッセージR/F詳細画面から操作する場合は、[メニュー]▶「3登録する」▶「3ブックマーク登録」を押します。

ブックマークからサイトやホームページを表示

1 待受画面で[iα]▶「2ブックマークを見る」を押す

ブックマーク一覧
フォルダ1
フォルダ2
フォルダ3
フォルダ4
フォルダ5

● フォルダの状態は、次のマークで確認できます。
　: ブックマークが保存されている
　: ブックマークが保存されていない

2 フォルダを選択▶[決定]を押す

フォルダ1
1/3件
○○○ニュース
0
□□□天気予報
アドレス確認

● ブックマークの状態は、次のマークで確認できます。
　: 簡易接続に登録されていない→p.186
　: 簡易接続に登録されている
　0～9: 簡易接続に登録されているボタンの番号

3 表示するブックマークを選択▶[決定]を押す

サイトやインターネットホームページに接続されます。

お知らせ

● サイト表示画面から操作する場合は、[メニュー]▶「3ブックマークを見る」を押します。

ブックマークのフォルダ名変更

1 待受画面で[iα]▶「2ブックマークを見る」を押す

ブックマーク一覧が表示されます。

2 フォルダ名を変更するフォルダを選択▶[メニュー]▶「3フォルダ名変更」▶フォルダ名を入力する

フォルダ名を
入力してください
お天気情報

● 全角7文字、半角14文字以内で入力します。

3 [決定]を押す

フォルダ名を変更した旨のメッセージが表示されます。[決定]を押すとブックマーク一覧に戻ります。

ブックマークの題名変更

● ブックマークのURLは変更できません。

1 **待受画面で[iα]▶「[2]ブックマークを見る」▶フォルダを選択▶[決定]を押す**

フォルダ内のブックマーク一覧が表示されます。

2 **題名を変更するブックマークを選択▶[メニュー]▶「[1]題名を変更」▶題名を入力する**

題名を
入力してください
○○○ニュース

● 全角12文字、半角24文字以内で入力します。

3 **[決定]を押す**

題名を変更した旨のメッセージが表示されます。[決定]を押すとフォルダ内のブックマーク一覧に戻ります。

● 題名を入力しないで[決定]を押すと、フォルダ内のブックマーク一覧ではURLが表示されます。

少ないボタン操作でのサイト表示

ブックマークを簡易接続に登録すると、待受画面から手早くサイトやインターネットホームページを表示できます。

簡易接続に登録する

● 1つのダイヤルボタンにつき1件、合計10件まで登録できます。

1 **待受画面で[iα]▶「[2]ブックマークを見る」▶フォルダを選択▶[決定]を押す**

フォルダ内のブックマーク一覧が表示されます。

2 **登録するブックマークを選択▶[メニュー]▶「[2]簡易接続に登録」を押す**

簡易接続先選択
1/10件
0 未登録
1 未登録
2 未登録
3 未登録

簡易接続登録番号／全登録可能件数

■ **簡易接続の登録を解除する：解除するブックマークを選択▶[メニュー]▶「[2]簡易接続を解除」を押す**
簡易接続先を解除した旨のメッセージが表示されます。操作4に進みます。

3 **登録先を選択▶[決定]を押す**

簡易接続先に登録した旨のメッセージが表示されます。

● 簡易接続先選択画面の番号（[0]～[9]）が、サイト表示に使用するダイヤルボタン（[0わをん]～[9らり]）に対応しています。

● [←][→]：簡易接続先選択画面を切り替えます。

● 登録済みの登録先を選択した場合は、上書きするかどうかの確認画面が表示されます。上書きするときは、「[1]上書きする」を押します。

4 **[決定]を押す**

フォルダ内のブックマーク一覧に戻ります。

● フォルダ内のブックマーク一覧で、登録したブックマークのマークが[ブックマーク]から[簡易接続]に変わり、対応するダイヤルボタンの番号（[0]～[9]）が表示されます。

簡易接続に登録したサイトを表示する

1 **待受画面で簡易接続に登録した番号（[0わをん]～[9らり]）を入力▶[メニュー]▶「[8]簡易サイト接続」を押す**

簡易接続に登録したサイトやインターネットホームページに接続されます。

ブックマークの削除

1件ずつ削除したり、フォルダ内のブックマークをまとめて削除したり、すべてのブックマークをまとめて削除したりします。

● ブックマークのフォルダは削除できません。

1 **待受画面で[iα]▶「[2]ブックマークを見る」を押す**

ブックマーク一覧が表示されます。

2 **フォルダを選択▶[決定]▶削除するブックマークを選択▶[メニュー]▶「[3]削除する」を押す**

● ブックマークを全件削除するときは、[メニュー]▶「[2]全て削除」▶端末暗証番号を入力▶[決定]を押して操作4に進みます。

3 **「[1]選択1件」を押す**

ブックマークを削除するかどうかの確認画面が表示されます。

● フォルダ内のブックマークを全件削除するときは、「[2]フォルダ内全件」▶端末暗証番号を入力▶[決定]を押します。

4 **「[1]削除する」を押す**

ブックマークを削除した旨のメッセージが表示されます。[決定]を押すとフォルダ内のブックマーク一覧に戻ります。

● フォルダ内のブックマークがなくなった場合は、ブックマークがない旨のメッセージが表示されます。[決定]を押すと、ブックマーク一覧に戻ります。

お知らせ

● 簡易接続に登録したブックマークを削除すると、簡易接続登録も解除されます。

ブックマークを他のフォルダに移動

1 **待受画面で[iα]▶「[2]ブックマークを見る」▶フォルダを選択▶[決定]を押す**

フォルダ内のブックマーク一覧が表示されます。

2 **移動するブックマークを選択▶[メニュー]▶「[6]フォルダを移動」を押す**

移動先フォルダ選択画面が表示されます。

3 **移動先フォルダを選択▶[決定]を押す**

ブックマークを移動した旨のメッセージが表示されます。[決定]を押すとフォルダ内のブックマーク一覧に戻ります。

お知らせ

● 赤外線通信を利用してブックマークを赤外線通信機能が搭載されている携帯電話やパソコンなどに送信できます。→p.368

ブックマーク一覧の並び順変更

フォルダ内のブックマーク一覧の並び順（「アクセス日付順」）を一時的に並べ替えます。並べ替えはすべてのフォルダが対象になります。

1 **待受画面で[iα]▶「[2]ブックマークを見る」を押す**

ブックマーク一覧が表示されます。

2 **フォルダを選択▶[決定]▶[メニュー]▶「[7]並び順を変更」を押す**

並び順を
　選んでください
[1]アクセス日付順
[2]題名順
[3]URL順
[4]アクセス回数順

[1]**アクセス日付順**：アクセス日時が新しい順に並べ替えます。

[2]**題名順**：題名を50音順に並べ替えます。

[3]**URL順**：URLをアルファベット順に並べ替えます。

4 **アクセス回数順**：アクセス回数が多い順に並べ替えます。

3 「1アクセス日付順」～「4アクセス回数順」のいずれかを押す

フォルダ内のブックマーク一覧が一時的に並び替わります。

おしらせ

● 題名に全角／半角の文字や英字、漢字、URL表示になっているものが混在していると、並べ替えた結果が50音順にならない場合があります。

画面メモ

サイトの内容を保存する

表示中のサイトの内容を画面メモとして保存します。

画面メモの保存

● 保存できる画面メモのデータサイズは、1件あたり最大100Kバイトです。
● 最大保存件数→p.513

1 画面メモに保存するサイトを表示して[メニュー]▶「4画面メモに保存」を押す

画面メモに保存した旨のメッセージが表示されます。[決定]を押すとサイト表示に戻ります。

おしらせ

● 画面メモの保存領域の空きが足りないときや、最大保存件数を超えるときは、保存されている画面メモを書き換えるかどうかの確認画面が表示されます。画面メモを保存する場合は、画面の指示に従い保存可能な空き容量に達するまで書き換える画面メモを選択します。保護されている画面メモは書き換えられません。

画面メモの表示

保存した画面メモを表示します。

1 待受画面で[iα]▶「5画面メモを見る」を押す

画面メモ一覧
1/3件
○○○ニュース
○○○天気予報
□□□銀行

画面メモ番号／画面メモ件数

● 画面メモの状態は、次のマークで確認できます。
　：通常の画面メモ
　：保護されている画面メモ
● 画面メモが保存されていないときは、画面メモがない旨のメッセージが表示されます。

2 表示する画面メモを選択▶[決定]を押す

画面メモの内容が表示されます。
● 画面メモ表示画面の操作方法は、一部を除きサイト表示中と同様です。

おしらせ

● 画面メモ表示画面でもう一度アニメーションやFlash画像を動作させるときは、[メニュー]▶「9表示を設定」▶「2リトライ」を押します。
● Flash画像が画面メモ表示画面に収まっていない場合は、スクロールにより画面内に収まった時点で動作が開始されます。

画面メモの題名変更

1 待受画面で[iアプリ]▶「5画面メモを見る」を押す

画面メモ一覧が表示されます。

2 題名を変更する画面メモを選択▶[メニュー]▶「1題名を変更」▶題名を入力する

題名を
入力してください
○○○ニュース

● 全角12文字、半角24文字以内で入力します。

3 [決定]を押す

題名を変更した旨のメッセージが表示されます。[決定]を押すと画面メモ一覧に戻ります。

● 題名を入力しないで[決定]を押すと、画面メモ一覧では「無題」と表示されます。

画面メモの削除

1件ずつ削除したり、すべての画面メモをまとめて削除したりできます。

● 保護されている画面メモは削除できません。全件削除しても保護されている画面メモは残ります。保護を解除してから削除してください。

1 待受画面で[iアプリ]▶「5画面メモを見る」を押す

画面メモ一覧が表示されます。

2 削除する画面メモを選択▶[メニュー]▶「3削除する」▶「1選択1件」を押す

画面メモを削除するかどうかの確認画面が表示されます。

● 画面メモを全件削除するときは、[メニュー]▶「3削除する」▶「2全件」▶端末暗証番号を入力▶[決定]を押します。

3 「1削除する」を押す

画面メモを削除した旨のメッセージが表示されます。[決定]を押すと画面メモ一覧に戻ります。

● 画面メモがなくなった場合は、画面メモがない旨のメッセージが表示されます。[決定]を押すとメニュー画面に戻ります。

お知らせ

● 画面メモ表示画面から操作する場合は、[メニュー]▶「3削除する」▶「1削除する」を押します。

画面メモの保護／解除

画面メモを保護すると、誤って削除したり、保存領域が足りずに上書きされたりすることを防げます。

● 最大保護件数→p.513

1 待受画面で[iアプリ]▶「5画面メモを見る」を押す

画面メモ一覧が表示されます。

2 保護する画面メモを選択▶[メニュー]▶「4保護する」を押す

画面メモが保護されます。

● 画面メモ一覧で、保護された画面メモのマークが[アイコン]から[アイコン]に変わります。

● 保護を解除するときは、保護されている画面メモを選択▶[メニュー]▶「4保護を解除する」を押します。

画像保存

サイトから画像をダウンロードする

サイトから、お気に入りの画像やフレームなどをFOMA端末に保存します。保存した画像は表示したり、待受画面などに設定したりできます。

● 保存できる画像のデータサイズは、1件あたり最大100Kバイトです。

● GIF形式、JPEG形式、SWF形式の画像を保存できます。

● 最大保存件数→p.513

1 画像のあるサイトを表示して[メニュー]▶「6画像を保存」を押す

■ サイトの背景画像を保存する：背景画像のあるサイトを表示して［メニュー］▶「7 背景画像を保存」を押す

2 保存する画像を選択▶［決定］を押す

写真の保存
題名
sample
ファイル制限
なし
ファイル名
sample

● 各項目の説明→p.342「画像の情報を表示する」操作1
● 題名を変更するときは、［メニュー］▶「1 題名を変更」を押して、全角18文字、半角36文字以内で入力します。
● 待受画面に設定するときは、［メニュー］▶「2 画面へ貼り付け」▶「1 待受画面」▶「1 設定する」を押します。
● ワンタッチダイヤルの着信画像に設定するときは、［メニュー］▶「2 画面へ貼り付け」▶「2 ワンタッチダイヤル画面」▶「1 ワンタッチダイヤル1」～「3 ワンタッチダイヤル3」のいずれかを押します。

3 ［決定］を押す

画像を保存した旨のメッセージが表示されます。［決定］を押すとサイト表示に戻ります。
● 「写真のアルバムを見る」の「ｉモード」または「アイテム」アルバムに保存されます。→p.340

おしらせ

● 画像の保存領域の空きが足りないときや最大保存件数を超えるときは、不要な写真を削除するかどうかの確認画面が表示されます。画像を保存する場合は、画面の指示に従いFOMA端末内の画像を削除します。削除する前に、画像一覧で［電話帳］を押すと画像表示とリスト表示が切り替わり、［メニュー］を押すと画像の詳細情報を表示できます。
● 画像入りのサイトを表示する際、画像の横幅がディスプレイより大きいときは縮小して表示されます。
● 画像によっては正しく表示できない場合があります。
● 横縦（または縦横）のサイズが次の大きさを超える画像は保存できません。
GIF形式：640×480（ドット）
JPEG形式：1728×2304（ドット）
● フレームの場合は、横縦（または縦横）のサイズが176×144（ドット）、240×320（ドット）、240×432（ドット）以外は保存できません。

ｉメロディ

サイトからメロディをダウンロードする

サイトからお気に入りのメロディをダウンロードし、FOMA端末に保存します。保存したメロディを再生したり、着信音に設定したりできます。
● 保存できるメロディのデータサイズは1件あたり最大100Kバイトです。
● SMF形式、MFi形式のメロディを保存できます。
● 最大保存件数→p.513

1 メロディのあるサイトを表示し、ダウンロードするメロディを選択▶［決定］を押す

ダウンロードが
完了しました。
操作を
選んでください

1 再生する
2 保存する
3 保存しない

● ダウンロード中に［電話帳］：ダウンロードを中止します。

2 「2 保存する」を押す

題名を
入力してください
エリーゼのために

● 題名を変更するときは、全角25文字、半角50文字以内で入力します。
● メロディを再生するには「1 再生する」を押します。
● 再生中に［←］［→］／［＋］［－］：音量を調節します。

3 ［決定］を押す

メロディを保存した旨のメッセージが表示されます。［決定］を押すとサイト表示に戻ります。
● 「保存した曲を再生する」の「ｉモード」フォルダに保存されます。→p.352

お知らせ

- メロディの保存領域の空きが足りないときや最大保存件数を超えるときは、不要なメロディを削除するかどうかの確認画面が表示されます。メロディを保存する場合は、画面の指示に従いFOMA端末内のメロディを削除します。削除する前に、フォルダ内のメロディ一覧で[電話帳]を押すとメロディを再生し、[メニュー]を押すとメロディの詳細情報を表示できます。
- メロディによっては正しく再生できない場合があります。

トルカ保存

サイトからトルカをダウンロードする

サイトからトルカをダウンロードし、FOMA端末に保存します。保存したトルカは、チラシやレストランカード、クーポン券などの用途で利用できます。

- 保存できるトルカのデータサイズは1件あたり最大1Kバイトです。トルカ（詳細）は1件あたり最大100Kバイトです。
- 最大保存件数→p.513

1 トルカのあるサイトを表示し、ダウンロードするトルカを選択▶[決定]を押す

ダウンロードが
完了しました。
操作を
選んでください
1 トルカを見る
2 保存する
3 保存しない

- ダウンロード中に[電話帳]：ダウンロードを中止します。

2 「2 保存する」を押す

トルカを保存した旨のメッセージが表示されます。

- トルカを表示するには「1 トルカを見る」を押します。
- 「保存したトルカを見る」の「トルカフォルダ」に保存されます。→p.291

お知らせ

- トルカの保存領域の空きが足りないときや最大保存件数を超えるときは、不要なトルカを削除するかどうかの確認画面が表示されます。トルカを保存する場合は、画面の指示に従いFOMA端末内のトルカを削除します。削除する前に、トルカ一覧で[電話帳]を押すとトルカを表示できます。

iモードの便利な機能

表示中の画面の電話番号やe-mailアドレス、URLから直接電話をかけたり、メールを作成したり、サイトに接続したりすることができます。また、FOMA端末電話帳に登録することもできます。

- サイトによっては利用できない機能があります。

表示中画面からの電話発信・SMS送信<Phone To（AV Phone To）・SMS To機能>

表示中の画面（サイト、画面メモ、メッセージR/Fなど）の電話番号から、直接電話（テレビ電話を含む）をかけたり、SMSを送信したりします。

〈例〉サイト内の電話番号に電話をかける

1 サイトを表示し、電話番号を選択▶[決定]を押す

電話の種類を
選んでください
1 音声電話
2 テレビ電話
3 SMS

2 「1 音声電話」または「2 テレビ電話」を押す

電話をかけるかどうかの確認画面が表示されます。

- 以降の操作→p.97「発信方法を選択した電話のかけかた」操作4以降

■ **SMSを送信する（SMS To）：「3 SMS」▶「1 送信する」を押す**

選択した電話番号が宛先に設定されているSMS作成画面が表示されます。

- SMSの作成・送信方法→p.251

表示中画面からのメール送信＜Mail To機能＞

表示中の画面（サイト、画面メモ、メッセージR/Fなど）のメールアドレスから、直接ｉモードメールを作成します。

〈例〉サイト内のメールアドレスにｉモードメールを送信する

1 サイトを表示し、メールアドレスを選択▶決定を押す

選択したメールアドレスが宛先に設定されているメール作成画面が表示されます。

● ｉモードメールの作成・送信方法→p.214、p.217

おしらせ

● 複数のメールアドレスが列記されている場合、正しくMail To機能を使用できない場合があります。

● 表示しているサイトのURLをメールの本文に挿入して、メールを作成することができます。サイト表示中にメニュー▶「9メールを作る」を押します。

表示中画面からのインターネット接続＜Web To機能＞

表示中の画面（サイト、画面メモ、メッセージR/Fなど）のURLから、直接サイトやインターネットホームページに接続します。

〈例〉画面メモに表示されているURLに接続する

1 画面メモを表示し、URLを選択▶決定を押す

選択したURLサイトに接続します。

● 画面メモ表示方法→p.188

おしらせ

● 表示中の画面によってはURLを選択▶決定を押すと、ｉモード接続してサイトを表示するかどうかの確認画面が表示されます。「1接続して表示」を押すとサイトに接続します。

表示中画面からのワンセグ視聴／録画予約＜Media To機能＞

表示中の画面（サイト、画面メモ、メッセージR/Fなど）の番組情報から、直接ワンセグの視聴や視聴／録画予約ができます。

〈例〉サイト内の番組情報から視聴／録画予約する

1 サイトを表示し、番組情報を選択▶決定を押す

選択した番組情報が入力された視聴／録画予約画面が表示されます。

● 以降の操作→p.325「視聴予約の登録」操作2以降、p.326「録画予約の登録」操作2以降

URLのコピー

表示中のサイトや画面メモのURLをコピーします。コピーした文字は、メール作成画面などの入力欄に貼り付けることができます。

● コピーした文字は新たにコピーを行うか電源を切るまで記録され、何度でも貼り付けられます。

〈例〉サイトのURLをコピーする

1 サイトのURLを表示してメニュー▶「1URLをコピー」を押す

http://ΔΔΔΔΔΔ.ne
.jp/□□□□□□/Δ□Δ□Δ
□Δ□Δ.html

コピー開始位置を
選んでください

● サイトのURLの表示方法→p.182

2 コピーする範囲の開始位置を選択▶決定▶終了位置を選択▶決定を押す

URLをコピーした旨のメッセージが表示されます。

● 開始位置を選択し直すときは戻るを押します。

● 開始位置を選択する前にメニュー：全文が選択されます。

● 開始位置選択後に[メニュー]／[電話帳]：カーソルが文頭／文末に移動します。

3 **[決定]を押す**

URL表示画面に戻ります。

● 貼り付け方法→p.412「文字のコピーと貼り付け」操作5

おしらせ

● URL履歴一覧、フォルダ内のブックマーク一覧、画面メモ一覧から操作する場合は、[メニュー]▶「URLをコピー」を選択▶[決定]を押します。これらの画面から操作する場合はURL全体がコピーされます。

電話番号やメールアドレスの電話帳登録

表示中の画面（サイト、画面メモ、メッセージR/F）の電話番号やメールアドレスをFOMA端末電話帳に登録します。新規に登録することも、登録済みの電話帳データに追加することもできます。

新規登録する

〈例〉サイト内の電話番号やメールアドレスを新規登録する

1 **電話番号やメールアドレスがあるサイトを表示する**

2 **登録する電話番号やメールアドレスを選択▶[メニュー]▶「0電話帳に登録」▶「1新規に登録」を押す**

名前の入力画面が表示されます。

● 以降の操作→p.87「ステップ1」操作2以降

おしらせ

● メッセージR/F詳細画面から操作する場合は、登録する電話番号やメールアドレスを選択▶[メニュー]▶「3登録する」▶「1電話帳新規登録」を押します。

登録済みの電話帳データに追加する

〈例〉サイト内の電話番号やメールアドレスを追加登録する

1 **電話番号やメールアドレスがあるサイトを表示する**

2 **登録する電話番号やメールアドレスを選択▶[メニュー]▶「0電話帳に登録」▶「2追加で登録」を押す**

電話帳の検索画面が表示されます。

3 **追加登録する電話帳データを選択▶[決定]を押す**

追加した旨のメッセージが表示されます。

● 検索方法→p.93

4 **[決定]を押す**

ワンタッチダイヤルまたは音声呼出しに登録するかどうかの確認画面が表示されます。

5 **「2終了する」を押す**

サイト表示に戻ります。

● ワンタッチダイヤルまたは音声呼出しに登録するときは「1登録する」を押します。
以降の操作→p.89「ステップ8」操作2以降

おしらせ

● 登録済みの電話帳データに追加すると、以前に登録した内容が変更される場合があります。

● メッセージR/F詳細画面から操作する場合は、登録する電話番号やメールアドレスを選択▶[メニュー]▶「3登録する」▶「2電話帳追加登録」を押します。

位置情報を利用する

表示中の画面（サイト、画面メモ、メッセージR/F）の位置情報のリンク項目を利用して、地図の表示やGPS対応ｉアプリの起動、位置情報をURLに変換してメールに貼り付けができます。

● 位置情報送信用のリンク項目を選択して位置情報を送信することもできます。→p.307

〈例〉サイト画面の位置情報のリンク項目から地図を表示する

1 位置情報のリンク項目があるサイトを表示し、位置情報を選択▶決定を押す

位置情報送信先を
選択してください

1 アプリを使う
2 地図を見る
3 メールに貼付け
4 戻る

2 「2 地図を見る」を押す

位置情報が表示されます。

■ **iアプリを利用する**：

① **「1 iアプリを使う」を押す**
GPS対応iアプリ選択画面が表示されます。

② **GPS対応iアプリを選択▶決定を押す**
位置情報が表示されます。

③ **決定を押す**
iアプリが起動します。

■ **位置情報をメールに貼り付ける**：

① **「3 メールに貼付け」を押す**
位置情報URLをメールに貼付けるかどうかの確認画面が表示されます。

② **「1 貼付ける」を押す**
メール作成画面が表示されます。
- iモードメールの作成･送信方法→p.214、p.217
- 「2 貼付けない」：メールに貼り付けることを中止します。
- 「3 位置情報を見る」：位置情報の内容を確認します。

3 決定を押す

位置情報がナビソフトの情報提供者に送信され、ナビソフトが起動し、地図が表示されます。

● 地図表示画面で ▶「1 終了する」を押すとサイト表示に戻ります。

iモードの詳細機能を設定する

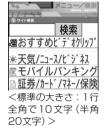
サイトやメッセージR/Fなどの詳細機能を設定します。

文字のサイズ設定

サイトを表示するときの文字の大きさを設定します。

<標準の大きさ：1行全角で10文字（半角20文字）>

<大きく表示：1行全角で8文字（半角16文字）>

1 待受画面でメニュー▶「# 詳細な機能・設定」▶「7 iモードの詳細を設定する」▶「2 文字の大きさを選ぶ」を押す

ﾓｰﾄﾞｻｲﾄ表示の
文字の大きさを
選んでください

1 標準の大きさ
2 大きく表示

2 「1 標準の大きさ」または「2 大きく表示」を押す

iモードサイト表示の文字の大きさを設定した旨のメッセージが表示されます。決定を押すとメニュー画面に戻ります。

画像表示・照明設定

サイトや画面メモ、メッセージR/F、ワンセグのデータ放送サイトなどの内容を表示したときの画像やFlash画像の効果音、ワンセグのデータ放送やデータ放送サイトの効果音を設定します。

● ワンセグの表示・効果設定から「照明設定」「端末情報利用」は設定できません。

1 **待受画面で[メニュー]▶「[#]詳細な機能・設定」▶「[7]ｉモードの詳細を設定する」▶「[3]画像表示・照明を設定する」を押す**

画像･照明を
設定してください
[1]画像
表示する
[2]照明設定
常に点灯

[1] **画像**：画像を表示するかどうかを設定します。
[2] **照明設定**：ディスプレイの照明方法を設定します。

2 **「[1]画像」または「[2]照明設定」を押す**

■ **画像を表示するかどうかを設定する**：
「[1]画像」▶「[1]表示する」または「[2]表示しない」を押す
- 「表示しない」に設定すると、詳細の「アニメーション」、「端末情報利用」は設定できません。

■ **照明方法を設定する**：**「[2] 照明設定」▶「[1]常に点灯」または「[2]1分で消灯」を押す**
- 「常に点灯」に設定すると、常時点灯します。
- 「1分で消灯」に設定すると、何も操作しないで約1分経過すると消灯します。

3 **[メニュー]を押す**

変更する項目を
選んでください
[1]効果音設定
再生する
[2]アニメーション
再生する
[3]端末情報利用
利用する

[1] **効果音設定**：Flash画像やデータ放送、データ放送サイトの効果音を再生するかどうかを設定します。
[2] **アニメーション**：アニメーションを再生するかどうかを設定します。
[3] **端末情報利用**：Flash画像を表示するときにFOMA端末内の登録データを利用するかどうかを設定します。

4 **「[1]効果音設定」～「[3]端末情報利用」のいずれかを押す**

■ **効果音を鳴らすかどうかを設定する**：
「[1]効果音設定」▶「[1]再生する」または「[2]再生しない」を押す

■ **アニメーションを再生するかどうかを設定する**：**「[2]アニメーション」▶「[1]再生する」または「[2]再生しない」を押す**

■ **端末情報を利用するかどうかを設定する**：**「[3]端末情報利用」▶「[1]利用する」または「[2]利用しない」を押す**

5 **設定した後に[電話帳]を押す**

画像表示・照明を設定した旨のメッセージが表示されます。[決定]を押すとメニュー画面に戻ります。

お知らせ

- サイト表示画面から操作する場合は、(メニュー)▶「#表示を設定」▶「1表示・効果設定」を押します。
- データ放送を表示している画面から操作する場合は、(メニュー)▶「8ワンセグの設定」▶「3表示・効果設定」を押します。
- 「画像」を「表示する」に設定しても、画像が正しく表示されない場合があります。
- 「画像」を「表示しない」に設定すると、画像の位置に□が表示されます。
- 「アニメーション」を「再生しない」に設定したときは、アニメーションの最初の画像が表示されます。ただし、Flash画像は再生されます。
- 「画像」の設定は、メッセージR/Fの画像の表示／非表示には影響しません。
- 「端末情報利用」を「利用する」に設定すると、電池残量、受信レベル、時刻情報、電話着信音量、言語情報、機種情報がインターネットを経由してIP（情報サービス提供者）に送信される場合があるため、第三者に知得される可能性があります。

iモードからの接続先変更（ISP接続通信）

※ **ドコモの i モードサービスをご利用の場合は、設定を変更する必要はありません。**

- i モード契約時の接続先は、ご契約いただいた地域により異なります。

ISP接続通信とは

ドコモの i モード端末の接続先を切り替えることで、各種プロバイダ（ISP）への接続が可能になります。プロバイダに接続した際にパケット通信料がかかります。

- ISP 接続を行った際のパケット通信は、パケ・ホーダイ／パケ・ホーダイフルの対象とはなりませんのであらかじめご了承ください。

※ ドコモへの新たなお申し込みは不要です。

プロバイダ契約について

- ISP接続通信をご利用いただくには、別途プロバイダへのお申し込みが必要です。各プロバイダのサービス内容（サイト接続、インターネット接続、メール機能など）、お申し込み方法についてはは各プロバイダにお問い合わせください。
- プロバイダが提供するサービス内容によっては、別途情報料などがかかる場合がありますが、ドコモからご請求することはありません。
- お客様が閲覧されるサイトによっては、お客様の電話番号が実際に閲覧されるサイトを提供するプロバイダに通知される場合があります。
- 登録できる接続先は最大10件です。
- 通信中は接続先の設定／変更はできません。

1 **待受画面で(メニュー)▶「#詳細な機能・設定」▶「7 i モードの詳細を設定する」▶「5接続先番号を設定する」を押す**

接続先一覧
☑ iモード
ユーザ設定1
ユーザ設定2
ユーザ設定3
ユーザ設定4
ユーザ設定5
ユーザ設定6
ユーザ設定7
ユーザ設定8
ユーザ設定9

2 **編集するユーザ設定を選択▶(メニュー)を押す**

端末暗証番号入力画面が表示されます。

■ **i モードを利用する設定に戻す：**
「i モード」を選択▶(決定)を押す
□が☑に変わります。操作8に進みます。

■ **以前に設定した接続先に変更する：接続先を選択▶(決定)を押す**
□が☑に変わります。操作8に進みます。

3 **端末暗証番号を入力▶(決定)を押す**

iモード接続先を設定してください
1接続先名称
2接続先
未設定
3接続先アドレス
未設定

4 **「1接続先名称」▶接続先名を入力▶(決定)を押す**

操作3の画面に戻ります。

- 全角6文字、半角12文字以内で入力します。

5 「2接続先」▶接続先を入力▶決定を押す

操作3の画面に戻ります。

- 半角英数字99文字以内で入力します。
- 一部の記号や半角空白などを入力すると登録できません。

6 「3接続先アドレス」▶アドレスを入力▶決定を押す

操作3の画面に戻ります。

- 半角英数字30文字以内で入力します。

■ iチャネルの接続先を設定／変更する：
メニュー▶「1接続先アドレス2」▶アドレスを入力▶決定を押す

7 電話帳▶編集した接続先を選択▶決定を押す

選択した接続先の□が☑に変わります。

8 電話帳を押す

接続先設定を保存した旨のメッセージが表示されます。決定を押すとメニュー画面に戻ります。

お知らせ

- 接続先を変更すると、iチャネルの情報が初期化され、待受画面にiチャネルのテロップは表示されなくなります。待受画面で戻るを押してチャネル一覧を表示すると、最新の情報を受信し、テロップも表示されます。

証明書を表示して有効／無効を設定＜証明書表示／使用設定＞

SSL通信用の証明書を表示して確認したり、有効／無効を設定したりできます。

- 青色のFOMAカードを取り付けている場合は、「ドコモ証明書」「ユーザ証明書」は表示されません。

1 待受画面でメニュー▶「#詳細な機能・設定」▶「7 iモードの詳細を設定する」▶「6証明書の表示と使用を設定する」を押す

証明書一覧
☑CA証明書1
☑CA証明書2
☑CA証明書3
☑CA証明書4
☑CA証明書5
☑CA証明書6
☑CA証明書7
☑CA証明書8
☑CA証明書9
☑CA証明書10

- 設定状態は次のとおりです。
☑：有効　□：無効

2 表示する証明書を選択▶決定を押す

CA証明書1
証明書の所有者：
CN=XXXXXXXX
O=VeriSign, Inc.
C=US
証明書の発行者：
CN=XXXXXXXX
OU=Class 3 Public Primary Certification Authority

- ◁▷：前後の証明書を表示できます。

■ 証明書の有効／無効を設定する：
- ドコモ証明書2は操作できません。

① 設定する証明書を選択▶メニューを押す
☑または□に変わります。
- 無効に設定すると、その証明書を使うページに接続できなくなります。

② 電話帳を押す
SSL通信に使用する証明書を登録した旨のメッセージが表示されます。決定を押すとメニュー画面に戻ります。

お知らせ

- CA証明書
  認証会社が発行した証明書で、お買い上げ時の端末内に保存されています。
- ドコモ証明書
  FirstPassセンターやFirstPass対応サイトに接続するために必要な証明書で、あらかじめ緑色または白色のFOMAカード内に保存されています。
- ユーザ証明書
  FirstPass対応サイトへ接続するために必要な証明書で、ダウンロードすると緑色または白色のFOMAカード内に保存されます。FirstPassセンターで発行申請を行います。→p.203

メッセージR/F受信

メッセージR/Fを受信したときは

メッセージサービスは、欲しい情報が自動的にお客様のFOMA端末に届くサービスです。
メッセージR/Fを受信すると、画面表示や着信音、バイブレータ、背面ディスプレイの照明でお知らせします。受信したメッセージR/FはFOMA端末に保存されます。

- 最大保存件数→p.513

1 メッセージR/Fを受信する

と R または F が点滅し、次の画面が表示されます。

<メッセージRの場合>

- メッセージ受信中に決定を押すと受信を中止できますが、受信中の状況によってはメッセージR/Fを受信する場合があります。
- FOMA端末を閉じているときは、背面ディスプレイに「メッセージR受信中」または「メッセージF受信中」が表示されます。

2 メッセージの受信結果が表示される

が表示されメッセージR/F着信音が鳴り、背面ディスプレイの照明が点滅します。

- 受信結果画面が表示されてから約15秒間、またはメッセージ着信音が鳴り終わるまでの間（鳴らす時間を15秒以上に設定している場合）何も操作しないと、自動的に受信前の画面に戻ります。
- すぐに受信前の画面に戻すときは戻るを押します。
- メッセージR/F一覧を表示するか待受画面に戻ると が消えます。

■ **受信したメッセージR/Fをすぐに確認する：「2メッセージR」または「3メッセージF」を押す**
メッセージ一覧が表示されます。
→p.201

■ **受信に失敗したとき**
「2メッセージR」「3メッセージF」の後ろに「×」が表示されます。
- メッセージR/Fを受信し直すには、iモード問合せを行ってください。
→p.200

■ **メッセージR/Fの自動表示を設定しているとき**
受信前の画面に戻る前に、設定に従って受信したメッセージR/Fの内容が表示されます。→p.199

お知らせ

- メッセージR/Fを受信したときは、メッセージ受信時の動作に設定した着信音に従い動作します。
  複数のｉモードメールやSMS、メッセージR/Fを同時に受信したときは、最後に受信したｉモードメールやSMS、メッセージR/Fに設定した条件に従い動作します。
  ｉモードメール、SMSを受信したときの着信音設定の優先順位→p.113
- メッセージR/Fの保存領域の空きが足りないときや、最大保存件数を超えるときは、保護されていない未読以外の古いメッセージR/Fから順に上書きされます。残しておきたいメッセージR/Fは保護してください。→p.203
  未読メッセージR/Fと保護されているメッセージR/Fで保存領域が満杯で上書きできないときは、メッセージR/Fの受信は中止され、画面にはR（赤）やF（赤）のマークが表示されます。受信する場合は、未読のメッセージR/Fを表示（→p.201）したり、不要なメッセージR/Fの保護を解除（→p.203）したりしてください。
- FOMA端末でメッセージR/Fを受信すると、ｉモードセンターに保管されているメッセージR/Fは削除されます。
- ｉモードセンターにメッセージR/Fが残っているときは、（黒）（黒）や（黒）のマークが表示されます。ただし、メッセージR/Fがあっても表示されない場合もあります。また、ｉモードセンターの保管件数が満杯になったときは、マークが（赤）（赤）や（赤）に変わります。
  ｉモードセンターに残っているメッセージR/Fを受信する場合は、ｉモード問合せ（→p.200）を行ってください。
- 次のような場合に送られてきたメッセージR/Fはｉモードセンターに保管されます。
  - 電源が入っていないとき
  - テレビ電話中
  - お預かりセンター接続中
  - セルフモード中
  - おまかせロック中
  - FirstPassセンター接続中
  - 受信に失敗したとき
  - ｉモード圏外のとき
  - SMS受信中
  - 赤外線通信／iC通信中
  - 未読メッセージR/Fと保護されているメッセージR/Fで保存領域が満杯のとき
- 待受画面／メニュー画面以外（他の機能が起動中）のときやオールロック中、個人情報表示制限中、開閉ロック中（FOMA端末を開いている状態）は、メッセージR/Fを自動受信しますが、受信中画面や受信結果画面は表示されず、着信音と背面ディスプレイの照明も動作しません。受信したメッセージR/Fを確認するには、他の機能を終了／各制限を解除してください。

メッセージR/Fの未読メッセージ自動表示の設定

メッセージR/Fの受信結果画面（→p.198「メッセージR/Fを受信したときは」操作2）から受信前の画面に戻るときに、受信したメッセージR/Fの内容を自動的に表示できます。

1 待受画面でメニュー▶「#詳細な機能・設定」▶「6メッセージの詳細を設定する」▶「2未読メッセージを自動で表示する」を押す

自動で表示する
メッセージを
選んでください

1メッセージ Rのみ
2メッセージ Fのみ
3メッセージ R優先
4メッセージ F優先
5自動表示しない

1 **メッセージRのみ**：受信したメッセージRのみを自動表示するように設定します。
2 **メッセージFのみ**：受信したメッセージFのみを自動表示するように設定します。
3 **メッセージR優先**：メッセージR/Fを同時に受信した場合に、メッセージRを優先して自動表示するように設定します。メッセージFのみ受信した場合は、メッセージFを自動表示します。
4 **メッセージF優先**：メッセージR/Fを同時に受信した場合に、メッセージFを優先して自動表示するように設定します。メッセージRのみ受信した場合は、メッセージRを自動表示します。
5 **自動表示しない**：メッセージR/Fを受信しても、自動で表示しないように設定します。

2 **「1メッセージRのみ」～「5自動表示しない」のいずれかを押す**

メッセージの自動表示方法を設定した旨のメッセージが表示されます。[決定]を押すとメニュー画面に戻ります。

おしらせ

- メッセージR/Fの内容は約15秒間表示されます。自動表示中にボタン操作を行わなかった場合は、メッセージR/Fは未読の状態で保存されます。
- 受信結果画面からメールやメッセージR/Fの表示操作を行った場合や、iモード問合せでメッセージR/Fを受信した場合は、自動表示されません。
- 待受画面／メニュー画面以外（他の機能が起動中）からは自動表示できません。

メッセージR/Fに添付されたメロディの自動演奏の設定

メロディが添付されているメッセージR/Fを表示したときに、メロディを自動的に演奏するかどうかを設定します。

1 **待受画面で[メニュー]▶「#詳細な機能・設定」▶「6メッセージの詳細を設定する」▶「1メッセージのメロディを自動演奏する」を押す**

添付されたメロディを自動で演奏するかどうかの確認画面が表示されます。

2 **「1自動演奏する」または「2自動演奏しない」を押す**

自動演奏する／自動演奏しないに設定した旨のメッセージが表示されます。[決定]を押すとメニュー画面に戻ります。

おしらせ

- メロディの添付されたメッセージR/Fが自動表示されたときは、本機能の設定に関わらずメロディは自動的に演奏されません。
- 本機能の設定は、「添付のメロディを自動演奏する」の設定にも反映されます。→p.249

iモード問合せ

メッセージR/Fがあるかどうかを問い合わせる

圏外にいた間や電源を切っていた間などにメッセージR/Fが届いていないかを問い合わせます。

- 電波状態によってはiモード問合せができない場合があります。

1 **待受画面で[i]▶「6メッセージを見る」▶「3メール・メッセージを受信する」を押す**

iモード問合せが実行されます。iモードセンターにメッセージR/Fが保管されていれば受信します。

- iモード問合せ中に[決定]を押すと、問い合わせを中止できますが、問い合わせの状況によってはメッセージを受信する場合があります。

おしらせ

- 問い合わせを行うメッセージの種類は選択できます。→p.236

メッセージR/F

受信したメッセージR/Fを表示する

FOMA端末に保存されているメッセージR/Fを表示します。

● 未読のメッセージR/Fがあるときは待受画面にR（黒）またはF（黒）が表示されます。

〈例〉メッセージRを表示する

1 待受画面で[iα]▶「6メッセージを見る」▶「1メッセージリクエストを見る」を押す

メッセージR
4/14件
14:05最新ニュース
08:24最新ペット情報
4/ 7最新ペット情報
4/ 7最新ペット情報

メッセージR/F番号／メッセージ件数

受信日時（受信当日：時刻　当日以外：日付）、題名

● メッセージFを表示するときは待受画面で[iα]▶「6メッセージを見る」▶「2メッセージフリーを見る」を押します。

● メッセージの状態は、次のマークで確認できます。

マーク		説　明
状　態	✉	未読メッセージ
	表示なし	既読メッセージ
	O‐	保護されたメッセージ
添　付	🖼	画像が添付
	♪	メロディが添付
	トルカ	トルカが添付
	複数	複数添付データあり

● メッセージR/Fが保存されていないときは、メッセージがない旨のメッセージが表示されます。

2 表示するメッセージRを選択▶[決定]を押す

メッセージR
004/014件
08/04/08 14:05
題 最新ニュース
今日のトップニュース
パンダの子供生まれる
最新画像.jpg

状態マーク、添付マーク、メッセージR/F番号／メッセージ件数

添付データがある場合は、マーク、ファイル名、データサイズが表示

● [✉][iα]：すべて表示されていない場合は、画面をスクロールできます。

● [←][→]：前後のメッセージR/Fを表示できます。

● メッセージR/F詳細画面は、次のマークで確認できます。

🕒：受信した日時

題：題名

● 添付データがある場合、マークで確認できます。→p.237「受信したｉモードメールを見る」操作3

おしらせ

● メッセージR/Fに添付されたメロディを自動演奏するように設定している場合（→p.200）、メロディが添付されているメッセージR/Fを表示すると、メロディが自動的に再生されます。再生を止めるときは[決定]または[戻る]を押します。

● 本文中に画像が挿入されている場合に画像が受信できなかったときは⊗／🖼／🖼が表示されます。→p.177

添付データの表示・保存

メッセージR/Fに添付されている画像やトルカを表示・保存したり、メロディを再生・保存したりします。

〈例〉画像を保存する

1 画像が添付されているメッセージR/F詳細画面を表示する

- 操作方法→p.201
- 添付データの意味をマークで確認できます。→p.201

2 保存する画像のファイル名を選択▶[メニュー]▶「6添付データ確認」▶「2画像を保存」を押す

- 以降の操作→p.190「サイトから画像をダウンロードする」操作2以降

■ **メロディを保存する**：保存するメロディのファイル名を選択▶[メニュー]▶「6添付データ確認」▶「2メロディを保存」を押す

- 以降の操作→p.190「サイトからメロディをダウンロードする」操作2以降

■ **トルカを保存する**：保存するトルカのファイル名を選択▶[メニュー]▶「6添付データ確認」▶「2トルカを保存」▶[決定]を押す

- 「保存したトルカを見る」の「トルカフォルダ」に保存されます。→p.291
- 1Kバイトを超えるトルカや100Kバイトを超えるトルカ（詳細）は表示・保存できません。

■ **画像やメロディ、トルカを表示・再生する**：表示・再生するファイル名を選択▶[決定]を押す

- 添付データが画像の場合は、画像の表示／非表示が切り替わります。

■ **メロディやトルカの題名を表示する**：確認するファイルを選択▶[メニュー]▶「6添付データ確認」▶「3題名を確認」を押す

- 画像の添付データは操作できません。

お知らせ

- 本文中の画像を保存する場合は[メニュー]▶「4画像を保存」を、背景画像を保存する場合は[メニュー]▶「5背景画像を保存」を押します。以降の操作はサイトから画像をダウンロードする操作と同様です。→p.190「サイトから画像をダウンロードする」操作2以降

メッセージR/Fの削除

1件ずつ選択して削除したり、既読のメッセージR/FやすべてのメッセージR/Fをまとめて削除したりすることができます。

- 保護されているメッセージR/Fは削除できません。全件削除しても保護されているメッセージR/Fは残ります。保護を解除してから削除してください。

1 メッセージR/F一覧を表示する

- 操作方法→p.201「受信したメッセージR/Fを表示する」操作1

2 削除するメッセージR/Fを選択▶[メニュー]▶「1削除する」▶「1選択1件」を押す

メッセージを削除するかどうかの確認画面が表示されます。

- 既読のみ削除するときは、[メニュー]▶「1削除する」▶「2既読のみ全件」を押します。
- 全件削除するときは、[メニュー]▶「1削除する」▶「3メッセージ全件」▶端末暗証番号を入力▶[決定]を押します。

3 「1削除する」を押す

メッセージを削除した旨のメッセージが表示されます。[決定]を押すとメッセージ一覧に戻ります。

- メッセージがなくなった場合は、メッセージがない旨のメッセージが表示されます。[決定]を押すとメニュー画面に戻ります。

お知らせ

- メッセージR/F詳細画面から1件削除する場合は、[メニュー]▶「1削除する」を押します。

メッセージR/Fの保護／解除

保存領域の空きがなくなっても、メッセージR/Fを受信したときに上書きされないようにメッセージR/Fを保護します。

- 未読のメッセージR/Fは保護できません。
- 最大保護件数→p.513

〈例〉メッセージR/Fを1件保護する

1　メッセージR/F一覧を表示する

- 操作方法→p.201「受信したメッセージR/Fを表示する」操作1

2　保護するメッセージR/Fを選択▶メニュー▶「2保護／解除する」▶「1選択1件保護」を押す

メッセージR/Fが保護されます。

- 状態マークが に変わります。

■ **保護を1件解除する：保護を解除するメッセージR/Fを選択▶メニュー▶「2保護／解除する」▶「2選択1件解除」を押す**
- 保護を全件解除するときは、メニュー▶「2保護／解除する」▶「3全件解除」を押します。

おしらせ

- メッセージR/F詳細画面から保護／保護を解除する場合は、メニュー▶「2保護する」または「2保護を解除する」を押します。

メッセージR/F一覧の表示方法の変更

メッセージR/F一覧を一時的にメッセージの状態別に表示します。

1　メッセージR/F一覧を表示する

- 操作方法→p.201「受信したメッセージR/Fを表示する」操作1

2　メニュー▶「3表示方法を変更」を押す

表示方法を
選んでください
1全て表示
2未読のみ表示
3既読のみ表示
4保護のみ表示

3　「1全て表示」～「4保護のみ表示」のいずれかを押す

選択した表示方法で表示されます。

おしらせ

- メッセージR/F一覧の表示を終了すると「全て表示」に戻ります。
- 「既読のみ表示」では、保護されているメッセージR/Fは表示されません。

ユーザ証明書操作

ユーザ証明書を操作する

FirstPassセンターからユーザ証明書の発行申請や、ダウンロードができます。

- 青色のFOMAカードではご利用になれません。
- 海外ではご利用になれません。

ユーザ証明書の発行申請・ダウンロード

1　待受画面でメニュー▶「#詳細な機能・設定」▶「7iモードの詳細を設定する」▶「7ユーザ証明書を操作する」を押す

FirstPass
・FirstPassをご利用いただくためには、ﾕｰｻﾞ証明書の発行申請、ﾀﾞｳﾝﾛｰﾄﾞが必要です。
・「次へ」を選択して、ﾕｰｻﾞ証明書の発行申請

2　「次へ」を選択▶決定を押す

FirstPass
1証明書発行
2ﾀﾞｳﾝﾛｰﾄﾞ
3その他
4ご利用規則

3 「1 証明書発行」を押す

■ 発行された証明書を失効させる：
① 「3 その他」▶「1 証明書失効」を押す
ユーザ証明書を送信するかどうかの確認画面が表示されます。
② 「1 送信する」を押す
PIN2コード入力画面が表示されます。
③ PIN2コードを入力▶決定▶決定を押す
④ 「実行」を選択▶決定▶「次へ」を選択▶決定▶「実行」を選択▶決定を押す

4 「実行」を選択▶決定を押す

● PIN2コード→p.124

5 PIN2コードを入力▶決定を押す

PIN2コードが認識された旨のメッセージが表示されます。
● 60秒以内にPIN2コードを入力しないと発行申請は中止されます。

6 決定を押す

完了画面が表示され、ユーザ証明書の発行申請が完了します。

7 「ダウンロード」を選択▶決定を押す

8 「実行」を選択▶決定を押す

完了画面が表示され、ユーザ証明書がダウンロードされます。
● ダウンロードされた証明書は、証明書一覧に追加されます。→p.197

お知らせ

● FirstPassセンターに接続した際のパケット通信料はかかりません。
● FirstPassセンターで表示される画面や操作方法は、変更されることがあります。
● ユーザ証明書は、お客様がFOMA契約されていることを証明するものです。ダウンロードしたユーザ証明書は緑色または白色のFOMAカードに保存され、FirstPass対応サイトで利用できます。
● 付属のCD-ROMからFirstPass PCソフトをパソコンにインストールすると、FOMA端末をパソコンに接続して、パソコンのブラウザを使ってFirstPassの通信を行うことができます。詳細はCD-ROM内の「簡易操作マニュアル」（PDF形式）をご覧ください。PDF版「簡易操作マニュアル」をご覧になるには、Adobe® Reader®が必要です。お使いのパソコンにインストールされていない場合は、付属のCD-ROM内のAdobe® Reader®をインストールしてご覧ください。ご使用方法などの詳細につきましては、「Adobe Readerヘルプ」をご覧ください。

FirstPassご使用にあたって

- FirstPassとはドコモの電子認証サービスです。FirstPassを利用することにより、サイト側とFOMA端末側がお互いの証明書を送付し合い、受け取った相手の証明書を検証してお互いの認証を行うクライアント認証が可能となります。
- FirstPassはFOMA端末からのインターネット通信と、FOMA端末をパソコンに接続した状態でのインターネット通信でお使いいただくことが可能です。パソコンでご利用いただくためには、付属のCD-ROM内のFirstPass PCソフトが必要です。
- ユーザ証明書の発行申請をする際は、画面に表示される「FirstPassご利用規則」をよくお読みになり、同意の上、要求してください。
- ユーザ証明書のご利用には PIN2 コード（→p.124）の入力が必要です。PIN2コード入力後になされたすべての行為がお客様によるものとみなされますので、FOMAカードまたはPIN2コードが他人に使用されないよう十分ご注意ください。
- FOMA カードの紛失、盗難にあった場合などは、取扱説明書裏面の「総合お問い合わせ先」でユーザ証明書の失効を行うことができます。
- FirstPass対応サイトによって提供されるサイトや情報については、ドコモは何らの義務もないものとし、一切の責任を負いません。お客様とFirstPass対応サイトとの間で解決をお願いいたします。
- FirstPassおよびSSLのご利用にあたり、ドコモおよび認証会社は安全性などに関し保証を行うものではありませんので、お客様ご自身の判断と責任においてご利用ください。

証明書発行先の設定

FirstPass以外のサービスを受けるときに、接続先を設定します。設定を変更するとFirstPassセンターに接続できなくなります。

通常は設定を変更する必要はありません。

1 **待受画面で[メニュー]▶「[#]詳細な機能・設定」▶「[7]iモードの詳細を設定する」▶「[8]証明書の発行先を変更する」を押す**

証明書発行先を
設定してください
[1]接続先
ドコモ
[2]ユーザ設定接続先
[3]初期画面URL

2 **「[1]接続先」▶「[2]ユーザ設定」を押す**

- FirstPassに接続する設定に戻すときは「[1]ドコモ」を押し、操作5に進みます。

3 **「[2]ユーザ設定接続先」▶接続先を入力▶[決定]を押す**

- 半角英数字99文字以内で入力します。
- 一部の記号や半角空白などを入力すると登録できません。

4 **「[3]初期画面URL」▶URLを入力▶[決定]を押す**

- 半角英数字100文字以内で入力します。

5 **[電話帳]を押す**

接続先設定を保存した旨のメッセージが表示されます。[決定]を押すとメニュー画面に戻ります。

ｉモーションを取得する

サイトやインターネットホームページから映像や音を取得し、再生したり、保存したりできます。保存した映像や音はｉモーションとして再生したり、着モーションに設定できます。

- 再生時の音量はｉモーションの音量設定に従います。→p.352
- 最大保存件数→p.513
- ｉモーションには、次のような種類があります。種類は取得元のサイトにより異なり、取得するときに変更したり、選択したりできません。

種類	再生動作
標準タイプ（保存可※）	ｉモーションのデータを取得しながら再生します（最大10Mバイト）。取得完了後は、データを取得した後に再生するときと同様に操作できます。
	ｉモーションのデータをすべて取得した後に再生します（最大10Mバイト）。
ストリーミングタイプ（保存不可）	ｉモーションのデータを取得しながら再生します（最大10Mバイト）。再生が終わったｉモーションは消去され、繰り返し再生したり、FOMA端末に保存することはできません。

※ 保存できないｉモーションもあります。

1 **ｉモーションのあるサイトを表示し、取得するｉモーションを選択▶決定を押す**

ｉモーションの取得が始まります。

- データ取得中や再生中に電話帳または戻るを押して中断しようとすると、中断するかどうか、または再開するかどうかの確認画面が表示される場合があります。中断するかどうかの確認画面で「1中断する」を押すと中断します。再開するかどうかの確認画面で「2再開しない」を押すと、操作の選択画面が表示されます。→p.207「ｉモーションを取得する」のお知らせ

■ **データを取得しながら再生するｉモーション（標準タイプ）：**

取得しながら再生されます。

- 再生中に次の操作ができます。再生終了後は、データを取得した後に再生するｉモーションと同様に操作できます。
  決定：休止※／再生
  メール ｉα／＋－：音量調節
  電話帳：停止※
  戻る：中断（取得中）／終了（取得完了後）
  ※ データの取得は継続します。

■ **データを取得した後に再生するｉモーション（標準タイプ）：**

取得が完了すると自動的に再生されます。

- 再生中に次の操作ができます。
  決定：休止／再生
  メール ｉα／＋－：音量調節
  電話帳／戻る：停止
  ◁／▷：巻き戻し再生／早送り再生

■ データを取得しながら再生するｉモーション（ストリーミングタイプ）：
ストリーミング再生するかどうかの確認画面が表示され、「1再生する」を押すと取得しながら再生されます。

- 再生中に次の操作ができます。
  決定／戻る：中断
  ／＋－：音量調節

2 サイトからｉモーションを取得し、再生が終了する

ｉモーションの
取り込みが
完了しました。
操作を
選んでください

1再生する
2保存する
3情報を表示する
4戻る

1**再生する**：ｉモーションを再生します。
2**保存する**：ｉモーションを保存します。
3**情報を表示する**：ｉモーションの情報を表示します。→p.349
4**戻る**：ｉモーションを保存するかどうかの確認画面が表示されます。「2保存しない」を押すと、サイト表示に戻ります。

3 「2保存する」を押す

題名を
入力してください
子犬の特集

- ストリーミングタイプのｉモーションは「1再生する」「2保存する」は選択できません。
- 題名を変更するときは、36文字以内で入力します。

4 決定を押す

ビデオを保存した旨のメッセージが表示されます。決定を押すと操作2の画面に戻ります。
- 「ビデオのアルバムを見る」の「ｉモード」アルバムに保存されます。→p.347

おしらせ

- ｉモーションには、次のような再生制限が設定されている場合があります。

種　類	説　明
再生回数制限	設定されている回数まで再生できます。
再生期限制限	設定されている期限を過ぎていると再生、保存および取得できません。
再生期間制限	設定されている期間の前は保存、取得できますが再生できません。設定されている期間を過ぎているときは再生、保存および取得できません。

- ｉモーション設定（→p.208）を「自動再生しない」に設定しているときは、標準タイプのｉモーションは自動的に再生されません。
- ｉモーションを取得しながら再生しているときにデータの受信待ちになり、再生が一時停止する場合があります。データを受信し始めると自動的に再生を再開します。
- 表示サイズ設定（→p.351）が「元の大きさで表示する」に設定されている場合、再生する動画／ｉモーションのサイズによっては、縮小して再生する旨のメッセージが表示されます。
- ｉモーションにテキスト、音声、映像が含まれていてもそれらを再生できない場合は、その旨のメッセージが表示されます。決定を押すと再生できる部分があれば再生されます。

● ｉモーションを取得しながら再生しているときに、電波状態などにより再生できなくなったり、停止したり、画像が乱れたりする場合があります。そのような場合でも、データが正常に受信されていれば取得後に再生できます。ただし、ｉモーションによってはデータを取得できても、正しく再生できない場合があります。
● ｉモーションのデータが不正だった場合、ｉモーションの受信が中止されることがあります。
● ストリーミングタイプのｉモーションを取得しながら再生しているときに、FOMA端末を閉じたり、電話がかかってきたり、ワンセグの視聴予約や目覚ましや予定の通知の時刻になった場合などは、取得、再生が中断されます。
● 500Kバイト以下の標準タイプのｉモーションを取得しながら再生しているときに、FOMA端末を閉じると、再生は停止しますが取得は継続されます。
● データ取得中に通信が中断されると、再開するかどうかの確認画面が表示される場合があります。「2再開しない」を押すと、操作の選択画面が表示されます。

ｉモーションの
取り込みを
中断しました。
操作を
選んでください

1再生する
2部分保存する
3情報を表示する
4戻る

1 **再生する**：ｉモーションを再生します。
2 **部分保存する**：取得したところまでを部分保存します。題名を入力して[決定]を押すと保存されます。残りは取得できます。→p.348「動画／ｉモーションを再生する」のお知らせ
3 **情報を表示する**：ｉモーションの情報を表示します。→p.349
4 **戻る**：ｉモーションを保存するかどうかの確認画面が表示されます。「2保存しない」を押すと、サイト表示に戻ります。

● ｉモーションの保存領域の空きが足りないときや、最大保存件数を超えるときは、画面の指示に従い保存可能な空き容量が確保できるまでFOMA端末に保存されている動画／ｉモーションを削除してください。削除する前に、動画一覧で[メニュー]を押すと動画／ｉモーションを再生し、[電話帳]を押すと動画／ｉモーションの詳細情報を表示できます。

ｉモーション設定

ｉモーションの動作を設定する

標準タイプのｉモーションを自動的に再生するかどうかを設定します。

1 待受画面で[メニュー]▶「#詳細な機能・設定」▶「7 ｉモードの詳細を設定する」▶「4 ｉモーションの再生を設定する」を押す

ｉモーションを自動で再生するかどうかの確認画面が表示されます。

2 「1自動再生する」または「2自動再生しない」を押す

ｉモーションの設定を変更した旨のメッセージが表示されます。[決定]を押すとメニュー画面に戻ります。
● 「自動再生しない」に設定しても、取得完了後に表示される画面から手動で再生できます。
● ストリーミングタイプのｉモーションは本設定に関わらずストリーミング再生するかどうかの確認画面が表示されます。

お知らせ

● サイト表示画面から操作する場合は、[メニュー]▶「#表示を設定」▶「2 ｉモーション設定」を押します。

ｉチャネルとは

ニュースや天気などがグラフィカルな情報としてｉチャネル対応端末に配信されるサービスです。定期的に情報を受信し、最新の情報が待受画面にテロップとして流れたり、戻るを押すことでチャネル一覧に表示されたりします（チャネル一覧の表示方法→p.209）。
ｉチャネルはお申し込みが必要な有料サービスです（お申し込みにはｉモード契約が必要です）。
また、ｉチャネルにはドコモが提供する「ベーシックチャネル」とIP（情報サービス提供者）が提供する「おこのみチャネル」の2種類があります。「ベーシックチャネル」は、配信される情報の自動更新時にパケット通信料はかかりません。お好きなチャネルを登録して利用できる「おこのみチャネル」は、情報の自動更新時に別途パケット通信料がかかります。詳細情報を閲覧する場合は、別途パケット通信料がかかりますのでご注意ください。国際ローミングサービスご利用の際は、自動更新・詳細情報の閲覧ともにパケット通信料がかかります。

- ｉチャネルの詳細は『ご利用ガイドブック（ｉモード〈FOMA〉編）』をご覧ください。

ｉチャネルを表示する

ｉチャネルを表示すると、テロップで流れている情報の詳細を見ることができます。

1 **ｉチャネル情報を受信する**

情報を受信したタイミングで待受画面にテロップが流れます。

4/8(火)
14:05
今日の占い第1位
テロップ

- 情報受信中は と 通信中 が点滅します。
- 使用状況によりチャネル一覧を表示したときに情報を受信する場合があります。
- テロップを表示するかどうかや、テロップの表示速度を設定することができます。→p.210

2 **待受画面で戻るを押す**

チャネル一覧が表示されます。

- 待受画面にお知らせ情報が表示されているとき（→p.27）や、ｉチャネルボタン設定を「利用しない」に設定しているとき（→p.211）は、待受画面で ▶「7 ｉチャネルを見る」を押します。

3 **表示する情報を選択▶決定を押す**

サイトに接続され、詳細情報画面が表示されます。

お知らせ

- FOMA端末の電源が入っていないときや圏外などで情報を受信できなかったときは、チャネル一覧を表示して情報を受信すると、待受画面にテロップが流れるようになります。ただし、テロップ表示設定の表示設定を「表示しない」に設定している場合は、テロップは流れません。
- 情報を受信しても、着信音、バイブレータ、背面ディスプレイの照明は動作しません。
- 次の場合は、テロップは表示されません。
  - FOMAカードを正しく取り付けていないときやFOMAカードに異常があるとき
  - 公共モード（ドライブモード）中
  - オールロック中
  - おまかせロック中
  - 個人情報表示制限中
  - 開閉ロック中
  - 待受画面に設定したアニメーションの再生中※

  ※ 約5秒後にアニメーションが停止してテロップが表示されます。
- 他のｉチャネル対応端末にFOMAカードを差し替えたときや、接続先を変更したとき（→p.196）は、待受画面で戻るを押してチャネル一覧を表示すると、最新の情報を受信し、テロップが表示されるようになります。
- ｉチャネルサービスまたはｉモードサービスを解約するとテロップは表示されなくなり、待受画面で戻るを押すと未契約時の画面が表示されます。ただし、解約の手続きが完了するまではテロップが表示され、待受画面で戻るを押すと最後に受信した情報がチャネル一覧に表示される場合があります。

ｉチャネルの設定をする

待受画面に表示されるテロップの設定をしたり、チャネル一覧を表示するボタンを割り当てたりします。

テロップの設定 <テロップ表示設定>

待受画面表示中にｉチャネルのテロップを表示するかどうかを設定します。テロップの表示速度も設定できます。

1 待受画面でｉα▶「8 ｉチャネルを設定する」▶「1 ｉチャネルの表示を設定する」を押す

待受画面の
テロップ表示を
設定してください
1表示設定
表示する
2表示速度
標準速度で表示

1 **表示設定**：待受画面にテロップを表示するかどうかを設定します。
2 **表示速度**：テロップの表示速度を設定します。

2 「1表示設定」を押す

待受画面にテロップを表示するかどうかの確認画面が表示されます。

3 「1表示する」を押す

操作1の画面に戻ります。
- 「2表示しない」：操作6 に進みます。

4 「2表示速度」を押す

テロップの表示速度を選択する画面が表示されます。

5 「1速く表示」～「3遅く表示」のいずれかを押す

操作1の画面に戻ります。

6 電話帳を押す

待受画面のテロップ表示を設定／解除した旨のメッセージが表示されます。決定を押すとメニュー画面に戻ります。

お知らせ

● ｉチャネルサービス解約前にｉモードサービス解約を行った場合、本機能の表示設定は「表示する」に設定されたままになっています。
● ｉアプリ待受画面を設定している場合、表示設定を「表示する」に設定すると、ｉアプリ待受画面は解除されます。

チャネル一覧を表示するボタンの設定＜ｉチャネルボタン設定＞

待受画面で戻るを押してチャネル一覧を表示するかどうかを設定します。

1 待受画面でｉα▶「8 ｉチャネルを設定する」▶「2 ｉチャネルボタンを設定する」を押す

待受画面で戻るボタンをｉチャネルボタンとして利用するかどうかの確認画面が表示されます。

2 「1 利用する」または「2 利用しない」を押す

ｉチャネルボタンを利用する／利用しないに設定した旨のメッセージが表示されます。決定を押すとメニュー画面に戻ります。

ｉチャネルを初期化する＜ｉチャネル初期化＞

ｉチャネルをお買い上げ時の状態に戻します。
● テロップ表示設定の表示速度の設定は保持されます。

1 待受画面でｉα▶「8 ｉチャネルを設定する」▶「3 ｉチャネルを初期化する」を押す

チャネル情報を初期化するかどうかの確認画面が表示されます。

2 「1 初期化する」を押す

チャネル情報を初期化した旨のメッセージが表示されます。決定を押すとメニュー画面に戻ります。

お知らせ

● ｉチャネル初期化を行うと、待受画面のテロップは表示されなくなります。待受画面で戻るを押してチャネル一覧を表示すると、最新の情報が受信され、待受画面にテロップが表示されるようになります。

メール

ｉモードメールを作成する

ｉモードメールを受信・操作する

メールの設定を行う

SMSを使う

メールを管理する

メールの便利な機能

ｉモードメールとは

ｉモードを契約するだけで、ｉモード端末間はもちろん、インターネットを経由してe-mailでのやりとりができます。
テキスト本文に加えて、合計2Mバイト以内で10個までデータ（写真やビデオなど）を添付することができます。また、お買い上げ時に登録されているメールテンプレートを利用して簡単に装飾されたメールを送信できます。

- ｉモードメールの詳細については『ご利用ガイドブック（ｉモード〈FOMA〉編）』をご覧ください。
- ｉモードご契約時のメールアドレスは次のようになります。

新規にｉモードをご契約の場合
@マークより前がランダムな英数字の組み合わせになっていますので、ｉモード契約後にお客様のメールアドレスをご確認ください。
〈例〉abc1234～789xyz@docomo.ne.jp

自分のメールアドレスを確認・変更する

1 **待受画面で[メール]▶「7メールアドレスを確認・変更する」を押す**
サイトに接続されます。

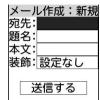
2 **画面の指示に従ってメールアドレスを確認または変更する**
- 以降の操作は『ご利用ガイドブック（ｉモード〈FOMA〉編）』をご覧ください。

お知らせ

- らくらくｉメニューの「料金＆お申込・設定」を選択▶[決定]▶「オプション設定」を選択▶[決定]▶「メール設定」を選択▶[決定]を押すと、同様に操作できます。

簡単メール作成・送信

簡単な操作でｉモードメールを作成して送信する

1 **待受画面で[メール]を1秒以上押す**

<メール作成画面>

- 前回、簡単メール作成でメールを作成した場合は、操作3の画面が表示されます。

2 **[電話帳]を押す**

簡単メール作成に切替えますか？
1切替える
2元の画面に戻る

3 **「1切替える」を押す**

簡単ﾒｰﾙ作成：新規
送りたいメールを選んでください
1文章のみ
2音声
3ビデオ
4写真
5手書きメモ
6位置情報
7トルカ

4 **「1文章のみ」を押す**

簡単ﾒｰﾙ作成：新規
宛先を入力してください
宛先：〈指定なし〉
1電話帳から選ぶ
2直接入力する
3次へ進む
4他アドレス編集

メール

■ 音声を録音して添付する（音声メール）：「2音声」を押す
- 以降の操作→p.227「■音声を添付する（音声メール）」操作②～④
  操作後に操作４の画面が表示されます。

■ ビデオを撮影して添付する（ｉモーションメール）：「3ビデオ」▶「1今から撮影する」を押す
- 以降の操作→p.228「■ビデオを撮影して添付する（ｉモーションメール）」操作②～④
  操作後に操作４の画面が表示されます。

■ ビデオをアルバムから選択して添付する（ｉモーションメール）：「3 ビデオ」▶「2アルバムから選ぶ」を押す
- 以降の操作→p.229「■ビデオをアルバムから選択して添付する（ｉモーションメール）」操作②～③
  操作後に操作４の画面が表示されます。

■ 写真を撮影して添付する：「4 写真」▶「1今から撮影する」を押す
- 以降の操作→p.227「■写真を撮影して添付する」操作②～③
  操作後に操作４の画面が表示されます。

■ 写真をアルバムから選択して添付する：「4写真」▶「2アルバムから選ぶ」を押す
- 以降の操作→p.228「■写真をアルバムから選択して添付する」操作②
  操作後に操作４の画面が表示されます。

■ 手書きメモを撮影して添付する（手書きメール）：「5手書きメモ」を押す
- 以降の操作→p.230「■手書きメモを撮影して添付する（手書きメール）」操作②～③
  操作後に操作４の画面が表示されます。

■ 位置情報を添付する（位置メール）：「6位置情報」を押す
- 以降の操作→p.307「位置情報貼付け／送信／登録」
  操作後に操作４の画面が表示されます。

■ トルカを添付する：「7トルカ」を押す
- 以降の操作→p.230「■トルカを添付する」操作②
  操作後に操作４の画面が表示されます。

5 「2直接入力する」▶宛先を入力▶決定を押す

操作4の画面が表示されます。
- 半角50文字以内で入力します。英字、数字、記号を入力できます。
- ｉモード端末にメールを送信するときは、メールアドレスの「@docomo.ne.jp」は省略できます。
- 半角英字入力モード時に1あ：「.」「@」「-」などを入力できます。
- 半角英字入力モード時に¥：「@docomo.ne.jp」「.com」「.or.jp」などを入力できます。

■ 電話帳から選択する：
① 「1電話帳から選ぶ」▶電話帳を検索する
  - 検索方法→p.93
② 送信する相手を選択▶決定を押す
  送信する相手のメールアドレスの選択画面が表示されます。
③ メールアドレスを選択▶決定を押す
  操作4の画面に戻ります。

■ 追加した宛先を編集する：
- 通常のメール作成で宛先を追加して、簡単メールに切り替えた場合に操作できます。

① 「4他アドレス編集」▶編集するメールアドレスを選択▶決定を押す
  宛先入力画面が表示されます。
② 宛先を編集▶決定▶電話帳を押す
  操作4の画面に戻ります。

6 「3次へ進む」を押す

簡単ﾒｰﾙ作成:新規
題名を
入力してください
題名:

1直接入力する
2例文から選ぶ
3次へ進む

■ 操作4で音声を添付したとき

次の画面が表示されます。

簡単ﾒｰﾙ作成：新規
宛先：docomo.tar
題名：音声メール
添付　　19.9KB
音声04081405.3
音声付メールです
1このまま送信
2題名本文を変更

- 題名には「音声メール」、本文には「音声付メールです。」と入力されます。なお、入力された文字は、入力できる題名、本文の文字数に含まれます。
  1 **このまま送信**：このままｉモードメール（音声メール）を送信します。操作13に進みます。
  2 **題名本文を変更**：題名と本文を変更します。操作6の画面が表示されます。

■ 操作4で手書きメモを添付したとき

次の画面が表示されます。

簡単ﾒｰﾙ作成：新規
宛先：docomo.tar
題名：手書きﾒｰﾙ
添付　　5.0KB
200704081405.j
手書きメールです
1このまま送信
2題名本文を変更

- 題名には「手書きメール」、本文には「手書きメールです。」と入力されます。なお、入力された文字は、入力できる題名、本文の文字数に含まれます。
  1 **このまま送信**：このままｉモードメール（手書きメール）を送信します。操作13 に進みます。
  2 **題名本文を変更**：題名と本文を変更します。操作6の画面が表示されます。

■ 操作4で位置情報を添付したとき

次の画面が表示されます。

簡単ﾒｰﾙ作成：新規
宛先：docomo.tar
題名：位置メール
位置情報付きメールです。
http://docomo.
1このまま送信
2題名本文を変更

- 題名には「位置メール」、本文には「位置情報付きメールです。」と位置情報URLが入力されます。なお、入力された文字は、入力できる題名、本文の文字数に含まれます。
  1 **このまま送信**：このままｉモードメール（位置メール）を送信します。操作13に進みます。
  2 **題名本文を変更**：題名と本文を変更します。操作6の画面が表示されます。

7 「1直接入力する」▶題名を入力▶決定を押す

操作6の画面が表示されます。

- 全角15文字、半角30文字以内で入力します。
- 音声で文字入力できます。→p.414

■ 例文から選択する：「2例文から選ぶ」▶例文を選択▶決定を押す

例文を読み込んだ旨のメッセージが表示されます。決定を押すと操作6の画面に戻ります。

- すでに入力中の項目がある場合は、上書きするかどうかの確認画面が表示されます。→p.222「メール作成時に例文を使う」操作3

8 「3次へ進む」を押す

簡単ﾒｰﾙ作成：新規
本文を
入力してください
本文：
1本文を編集する
2次へ進む

9 「1本文を編集する」▶本文を入力▶決定を押す

操作8の画面が表示されます。

- 全角5000文字、半角10000文字以内で入力します。
- #マナー：文中で改行することができます（半角数字入力モード時を除く）。
- 音声で文字入力できます。→p.414

10 「2次へ進む」を押す

簡単メール作成：新規
宛先：docomo.tar
題名：おはようご
お元気ですか。
こんどの日曜日に
おじゃまします。

- メニュー：作成したｉモードメールを修正します。操作3の画面が表示されます。

11 内容を確認▶決定を押す

簡単メール作成：新規
メールを
送信しますか？
1送信する
2保存して終了

1**送信する**：ｉモードメールを送信します。
2**保存して終了**：作成したｉモードメールを「未送信のメールを見る」に保存して終了します。

12 「1送信する」を押す

ｉモードメールが送信されます。
送信が終了すると、送信した旨のメッセージが表示されます。

- 接続中画面で決定：接続を中止します。
- 送信中画面で電話帳：送信を中止します。ただし、タイミングによっては送信される場合があります。そのとき送信されたｉモードメールは、「未送信のメールを見る」に保存されます。→p.231
- 圏外のときは、圏外の旨のメッセージが表示されます。
  圏内自動送信に設定しているｉモードメールが5件未満の場合は決定を押すと、自動送信するよう設定するかどうかの確認画面が表示されます。→p.219「圏内自動送信の設定について」
  圏内自動送信に設定しているｉモードメールが5件以上の場合は決定を2回押すと、メール作成画面に戻ります。送信できなかったｉモードメールは「未送信のメールを見る」に保存されます。→p.231

13 決定を押す

待受画面に戻ります。

お知らせ

- 簡単メール作成・送信についての注意事項は「ｉモードメールを作成して送信する」のお知らせをご覧ください。→p.219

ｉモードメール作成・送信

ｉモードメールを作成して送信する

1 待受画面で✉を1秒以上押す

メール作成：新規
宛先：
題名：
本文：
装飾：設定なし
送信する

＜メール作成画面＞

- 簡単メール作成画面が表示されたときは、電話帳▶「1切替える」を押します。

2 宛先欄を選択▶決定を押す

宛先を
選んでください
1電話帳から選ぶ
2直接入力する

■ ワンタッチダイヤルボタンから宛先を選択する：宛先欄を選択▶ワンタッチダイヤルボタン1～3のいずれかを押す

ワンタッチダイヤルに登録した名前が宛先欄に入力されます。操作4に進みます。

- ワンタッチダイヤルにはあらかじめ登録しておく必要があります。→p.101
- すでに宛先が入力された宛先欄を選択して操作すると、上書きするかどうかの確認画面が表示されます。上書きするときは「1上書きする」を押します。

3 「2直接入力する」▶宛先を入力▶決定を押す

操作1の画面が表示されます。

- 半角50文字以内で入力します。英字、数字、記号を入力できます。
- ｉモード端末にメールを送信するときは、メールアドレスの「@docomo.ne.jp」は省略できます。
- 半角英字入力モード時に1あ：「.」「@」「-」などを入力できます。
- 半角英字入力モード時に＊：「@docomo.ne.jp」「.com」「.or.jp」などを入力できます。

■ 電話帳から宛先を選択する：

① 「1電話帳から選ぶ」▶電話帳を検索する

- 検索方法→p.93

② 送信する相手を選択▶決定を押す

送信する相手のメールアドレスの選択画面が表示されます。

③ メールアドレスを選択▶決定を押す

操作1の画面に戻ります。電話帳に登録した名前が宛先欄に入力されています。

4 題名欄を選択▶決定▶題名を入力▶決定を押す

操作1の画面が表示されます。

- 全角15文字、半角30文字以内で入力します。
- 音声で文字入力できます。→p.414

5 本文欄を選択▶決定▶本文を入力▶決定を押す

操作1の画面が表示されます。

- 全角5000文字、半角10000文字以内で入力します。
- #マナー：文中で改行することができます（半角数字入力モード時を除く）。
- 音声で文字入力できます。→p.414

6 「送信する」を選択▶決定を押す

ｉモードメールが送信されます。

送信が終了すると、送信した旨のメッセージが表示されます。

- 接続中画面で決定：接続を中止します。
- 送信中画面で電話帳：送信を中止します。ただし、タイミングによっては送信される場合があります。そのとき送信されたｉモードメールは、「未送信のメールを見る」に保存されます。→p.231
- 圏外のときは、圏外の旨のメッセージが表示されます。

  圏内自動送信に設定しているｉモードメールが5件未満の場合は決定を押すと、自動送信するよう設定するかどうかの確認画面が表示されます。

  - 以降の操作は「圏内自動送信の設定について」をご覧ください。→p.219

  圏内自動送信に設定しているｉモードメールが5件以上の場合は決定を2回押すと、メール作成画面に戻ります。送信できなかったｉモードメールは「未送信のメールを見る」に保存されます。→p.231

■ 署名付きで送信する：メニュー▶「3署名付きで送信」を押す

本文の最後に署名が挿入されて送信されます。

- 署名はあらかじめ登録しておく必要があります。→p.247

7 決定を押す

待受画面に戻ります。

圏内自動送信の設定について

圏外のためにｉモードメールを送信できなかったときは、圏内に移動したときに自動送信するように設定できます。

- 最大5件設定できます。
- 圏内自動送信の設定を解除することができます。→p.225

圏内自動送信を設定する

圏外にいるときにｉモードメールを送信しようとすると、圏外の旨のメッセージが表示されます。決定を押すと、次の画面が表示されます。

圏内に移動したら
自動送信するよう
設定しますか？

1設定する
2設定しない

1 **設定する**：圏内自動送信を設定した旨のメッセージが表示されます。決定を押すと待受画面に戻り、ディスプレイにが表示されます。
圏内自動送信を設定したｉモードメールは「未送信のメールを見る」に保存されます。

2 **設定しない**:通常のｉモードメールとして「未送信のメールを見る」に保存され、メール作成画面に戻ります。

圏内になると

圏内になると、圏内自動送信に設定したｉモードメールが自動的に送信されます。
送信が終了すると、送信した旨のメッセージが表示されます。決定を押すか、何もせずに約3秒間経過すると待受画面に戻ります。

- 送信が完了するまで、最大2回再送されます。

■ 送信に失敗したとき

- 自動送信中に中断したときや失敗したときは、送信に失敗したメールがある旨のメッセージが表示されます。FOMA端末を閉じているときは、背面ディスプレイに「自動送信メール失敗」と表示されます。決定を押すと待受画面に戻り、ディスプレイにが表示されます。
失敗したｉモードメールは「未送信のメールを見る」に保存されます。
保存されたｉモードメールは自動で再送信されませんので、未送信メールから再送信してください。→p.225
- 「未送信のメールを見る」に保存された圏内自動送信に失敗したｉモードメールを選択して決定を押すと、失敗の理由が表示されます。
- 圏内自動送信に失敗したすべてのｉモードメールの未送信理由を確認してメール編集画面になったときや、圏内自動送信の設定の解除、ｉモードメールの削除、メール連動型ｉアプリ用のフォルダに移動、FOMAカードの差し替えなどによって圏内自動送信に失敗したｉモードメールがなくなると、は消えます。

お知らせ

- 送信が正常に終了したときは、ｉモードメールが「送信したメールを見る」（→p.231）に保存されます。送信メールの保存領域の空きが足りないときや最大保存件数を超えるときは、保護されていない古い送信メールから順に上書きされます。残しておきたい送信メールは保護してください。→p.263
- 未送信メールの保存領域の空きが足りないときや最大保存件数を超えるときは、メールを作成できない旨のメッセージが表示され、ｉモードメールを作成できません。「未送信のメールを見る」から不要なｉモードメール、SMSを削除してください。→p.262

- 送信する ｉ モードメールのサイズが未送信／送信メールの保存領域の空きを超えるときは、不要な未送信／送信メールを削除するかどうかの確認画面が表示されます。送信する場合は、画面の指示に従いFOMA端末内のメールを削除します。
- 全角･半角の空白や改行も本文の文字数に含まれます。
- 絵文字を入力した ｉ モードメールを他社携帯電話に送信すると、自動的に受信側の類似絵文字に変換されます。ただし、受信側の携帯電話の機種や機能によって正しく表示されないことや、該当する絵文字がない場合に文字または〓に変換されることがあります。
- 一部の絵文字は、相手のｉモード端末の機種によっては正しく表示されない場合があります。
- 電波状態により、相手に文字が正しく表示されない場合があります。
- 送信に失敗したときはエラーメッセージが表示され、ｉモードメールが「未送信のメールを見る」に保存されます。「未送信のメールを見る」からｉモードメールを編集して送信できます。→p.231
- ｉモードメールを正常に送信できていても、電波状態によっては「送信できませんでした」というエラーメッセージが表示される場合があります。
- ドコモ以外のメールアドレスに ｉ モードメールを送信した場合、宛先不明などのエラーメッセージを受信できないことがあります。

メールの宛先追加

ｉモードメールを最大5人の相手に同時に送信（同報送信）できます。

1 ｉモードメールを作成する

- 操作方法→p.217「ｉモードメールを作成して送信する」操作1～5

2 [メニュー]▶「7宛先を追加」を押す

追加する
宛先の種類を
選んでください

1宛先(To)
2Ｃｃ
3Ｂｃｃ

1 **宛先（To）**：送信相手のメールアドレスを入力します。
宛先（To）に1件も入力していないメールは送信できません。

2 **Cc**：直接の送信相手（宛先（To））以外にメールの内容を知らせたい宛先を追加します。

3 **Bcc**：宛先（To）やCcに設定した送信相手に知らせたくない宛先を追加します。入力したメールアドレスは他の送信相手には表示されません。

- 宛先種別（宛先（To）、Cc、Bcc）を変更する場合は、変更する宛先を選択▶[メニュー]▶「9宛先種別を変更」▶変更する宛先の種類を押します。
- 追加した宛先を削除する場合は、削除する宛先を選択▶[メニュー]▶「8 宛先を削除」▶「1削除する」を押します。

3 「1宛先（To）」～「3Bcc」のいずれかを押す

宛先を
選んでください

1電話帳から選ぶ
2直接入力する

4 宛先の入力方法を選択し、宛先を入力して送信する

- 操作方法は、宛先欄が1件の場合と同様です。→p.218「ｉモードメールを作成して送信する」操作3以降
- 宛先をさらに追加する場合は、操作2～4を繰り返し行います。

お知らせ

- 「宛先（To）」と「Cc」に入力したメールアドレスは、受信側に表示されます。ただし、受信側の端末や機器、メールソフトなどによっては、表示されない場合があります。

ツータッチメール

よく送る相手にボタン2つでメールを作成する

ボタンを2つ押すだけで、短縮ダイヤルを設定（→p.108）した相手の宛先が入力されたｉモードメールやSMSの作成画面を表示することができます。

1 **待受画面で電話帳No（0わをん～9ら）を入力▶✉を押す**

● 以降の操作→p.214「簡単な操作でｉモードメールを作成して送信する」操作4以降、p.218「ｉモードメールを作成して送信する」操作4以降

■ SMS作成画面を表示する：**電話帳No（0わをん～9ら）を入力▶✉を1秒以上押す**

入力した電話帳Noに登録した名前が宛先に入力されてSMS作成画面が表示されます。

- 以降の操作→p.252「SMSを作成して送信する」操作4以降

お知らせ

● 入力した電話帳Noの電話帳データに電話番号やメールアドレスを登録していない場合や、電話帳データを登録していない場合、宛先がない／該当する電話帳データがない旨のメッセージが表示されます。決定を押すと、宛先が設定されていないｉモードメール／SMS作成画面が表示されます。

● 複数の電話番号やメールアドレスを登録している相手を選択してメールを作成すると、1件目の電話番号やメールアドレスが宛先に設定されます。

メール例文

例文を利用してメールを作成する

例文とは、本文の先頭に同じ文章を入れたり、類似の内容を何度も送信したりするために、あらかじめｉモードメールの内容を登録しておく機能です。例文を呼び出して内容を追加・修正するだけで、簡単にｉモードメールを作成できます。

● お買い上げ時は次の例文が登録されています。

題　名	本　文
電話ください	手が空いたら連絡ください。
もうすぐ着きます	駅まで迎えに来てください。
今、行きます	今、待ち合わせ場所に向かっています。
到着が遅れます	すみません、待ち合わせに遅れます。
遅くなります	ご飯はいりません。また連絡します。
急用ができました	急用ができました。また連絡します。
電車の中です	今、電車の中なので、後で連絡します。
御礼申し上げます	先日はありがとうございました。楽しかったです。
ご無沙汰してます	ご無沙汰しております。お暇なときにでもメールください。
今から帰ります	○○時ごろ、家に着きます。

● SMSには使用できません。

例文を使ってｉモードメールを作成

1 **待受画面で[✉]▶「[3]例文を使ってメールを作る」を押す**

例文一覧
電話ください
もうすぐ着きます
今、行きます
到着が遅れます
遅くなります
急用ができました
電車の中です
御礼申し上げます
ご無沙汰してます
今から帰ります

● [電話帳]：例文の内容を表示します。

2 **読み込む例文を選択▶[決定]を押す**

例文の内容がメール作成画面に入力されます。

メール作成：編集
宛先：
題名：電話くださ
本文：手が空いた
装飾：設定なし
送信する

● 以降の操作→p.214「簡単な操作でｉモードメールを作成して送信する」操作4以降、p.217「ｉモードメールを作成して送信する」操作2以降

メール作成時に例文を使う

1 **メール作成画面を表示する**

● 操作方法→p.217「ｉモードメールを作成して送信する」操作1

2 **[メニュー]▶「[6]例文を使う」▶「[1]例文を呼出す」を押す**

3 **読み込む例文を選択▶[決定]を押す**

● すでに入力中の項目がある場合は、上書きするかどうかの確認画面が表示されます。
「[1]本文のみ上書き」を押すと、本文に入力中の文章を消去して例文を読み込みます。
「[2]すべて上書き」を押すと、入力中の文章を消去して例文を読み込みます。
「[3]上書きしない」を押すと、例文の読み込みを中止します。

4 **[決定]を押す**

例文が読み込まれ、メール作成画面に戻ります。

● 以降の操作→p.217「ｉモードメールを作成して送信する」操作2以降

例文を編集して保存

FOMA端末に保存されている例文の内容を編集します。

● お買い上げ時に登録されている例文を編集しても、お買い上げ時の内容に戻すことができます。→p.223

1 **待受画面で[✉]▶「[8]メールを設定する」▶「[2]例文を編集する」を押す**

例文一覧が表示されます。

2 **編集する例文を選択▶[メニュー]▶「[1]編集する」を押す**

例文編集
宛先：
題名：電話くださ
本文：手が空いた

● 編集方法はｉモードメールを作成する場合と同様です。→p.217「ｉモードメールを作成して送信する」操作2～5

3 **編集した後に[電話帳]を押す**

保存先を選ぶ画面が表示されます。

4 **保存先の例文を選択▶[決定]を押す**

例文を上書きするかどうかの確認画面が表示されます。

5 **「[1]上書きする」を押す**

例文を上書きした旨のメッセージが表示されます。[決定]を押すと例文一覧に戻ります。

作成したｉモードメールを例文として保存

FOMA端末に保存されている例文に、作成した例文を上書き保存します。
- 宛先、題名、本文のいずれかを設定すると登録できます。
- 最大10件登録できます。
- 添付データは例文に保存できません。
- お買い上げ時に登録されている例文に上書きしても、お買い上げ時の内容に戻すことができます。→p.223

1 **例文に保存する内容を作成する**

メール作成：新規
宛先：docomo.tar
題名：おはようご
本文：今日は良い
装飾：設定なし
送信する

- 作成方法→p.217「ｉモードメールを作成して送信する」操作1～5

2 **[メニュー]▶「6例文を使う」▶「2例文に保存」を押す**

保存先を選ぶ画面が表示されます。

3 **保存先の例文を選択▶[決定]を押す**

例文に保存するかどうかの確認画面が表示されます。

4 **「1保存する」を押す**

例文を保存した旨のメッセージが表示されます。

5 **[決定]を押す**

メール作成画面に戻ります。
- [ー]を押して、「1保存して終了」▶[決定]または「2保存せずに終了」を押すと待受画面に戻ります。

例文のリセット

1 **待受画面で[✉]▶「8メールを設定する」▶「2例文を編集する」を押す**

例文一覧が表示されます。

2 **初期化する例文を選択▶[メニュー]▶「2初期状態に戻す」▶「1選択1件」を押す**

例文をお買い上げ時の状態に戻した旨のメッセージが表示されます。[決定]を押すと例文一覧に戻ります。
- すべての例文をお買い上げ時の状態に戻すときは、[メニュー]▶「2初期状態に戻す」▶「2全件」▶端末暗証番号を入力▶[決定]を押します。

かんたんデコメール®作成

ｉモードメールを装飾して送信する

お買い上げ時に登録されているメールテンプレートを利用して、装飾したｉモードメール(デコメール®)を送信できます。
- お買い上げ時は、70件のメールテンプレートが保存されています。
- 簡単メール作成からはデコメール®を作成できません。
- 本文は全角100文字、半角200文字以内で入力します。
- データの添付、署名を付けての送信はできません。
- メールテンプレートを設定中は例文を利用できません。
- 次の場合は、メールテンプレートの設定は解除されます。
  - 保存した場合（中断や送信失敗で自動保存された場合を除く）
  - 送信したデコメール®を編集した場合

1 **メール作成画面を表示する**

- 操作方法→p.217「ｉモードメールを作成して送信する」操作1

2 装飾欄を選択▶決定を押す

候補一覧 01/70件
おはよう☀
おはよう
ごあいさつ
こんにちは
おやすみ
おやすみなさい
行ってきます
行ってらっしゃい
バイバイ
お元気ですか

- メニュー：メール作成画面に戻ります。
- ◁▷：前後のページを表示できます。
- 電話帳：すでにメールテンプレートを設定していた場合は、設定を解除できます。
- すでに本文に全角101文字、半角201文字以上を入力している場合は、装飾できない旨のメッセージが表示されます。決定を押すと、メール作成画面に戻ります。

3 読み込むメールテンプレートを選択▶決定を押す

メールテンプレート詳細画面が表示されます。

- メニュー：候補一覧に戻ります。
- 電話帳：すでにメールテンプレートを設定していた場合は、設定を解除できます。

4 内容を確認▶決定を押す

題名欄に設定したメールテンプレートの題名が入力され（すでに入力されていた場合を除く）、装飾欄に「設定あり」が入力されたメール作成画面に戻ります。

- 本文を入力した後に、操作2〜3を繰り返すと、本文入力後のイメージを確認できます。
- メール作成画面でメニュー▶「0デコメールサイズ確認」を押すと、送信するデコメール®のバイト数が確認できます。決定を押すと、元の画面に戻ります。
- 以降の操作→p.217「ｉモードメールを作成して送信する」操作2以降

おしらせ

- 10000バイトを超えるデコメール®を対応端末に送信すると、相手の端末によっては閲覧用URLが記載されたメールを受信します。
- デコメール®を非対応端末に送信すると、閲覧用URLが記載されたメールを受信します。ただし、デコメール®のサイズが10000バイトを超えるときは、相手の端末によっては本文のみのメールになり、閲覧用URLを受信できない場合があります。

ｉモードメール保存

作成中のｉモードメールを保存しておき、あとで送信する

作成中のｉモードメールを送信せずに保存したり、保存したｉモードメールを再編集して送信したりできます。

作成中のｉモードメールの保存

- 宛先、題名、本文、添付データのいずれかを入力、設定すると保存できます。
- 最大保存件数→p.513

1 ｉモードメールを作成する

- 操作方法→p.217「ｉモードメールを作成して送信する」操作1〜5

2 メニュー▶「2保存する」を押す

メールを保存した旨のメッセージが表示されます。決定を押すと待受画面に戻ります。

- ｉモードメールが「未送信のメールを見る」に保存されます。→p.231

おしらせ

- 未送信メールの保存領域の空きが足りないときや最大保存件数を超えるときは、不要な未送信メールを削除するかどうかの確認画面が表示されます。保存する場合は、画面の指示に従いFOMA端末内の未送信メールを削除します。

送信・保存したｉモードメールの編集・送信

送信したｉモードメールや、送信せずに保存したり送信に失敗したりした未送信のｉモードメールを、編集して送信できます。

〈例〉未送信メールを再編集する

1 待受画面で[✉]▶「[4]未送信のメールを見る」▶フォルダを選択▶[決定]を押す

未送信メール一覧が表示されます。

- 送信メールを再編集する場合は、待受画面で[✉]▶「[5]送信したメールを見る」▶フォルダを選択▶[決定]を押します。

2 編集するｉモードメールを選択▶[決定]を押す

メール作成：編集	
宛先:	docomo.tar
題名:	おはようご
本文:	お元気です
装飾:	設定なし
	送信する

- 送信したメールを再編集するときは、編集するｉモードメールを選択▶[電話帳]を押します。
- 以降の操作→p.215「簡単な操作でｉモードメールを作成して送信する」操作5以降、p.217「ｉモードメールを作成して送信する」操作2以降

お知らせ

- ｉモードメールに添付されたメロディを自動演奏するように設定している場合（→p.249）、メロディが添付されている送信メールを表示すると、メロディが自動的に再生されます。再生を止めるときは[決定]または[戻る]を押します。

圏内自動送信の設定を解除

圏外のときに設定したｉモードメールの圏内自動送信を解除します。

1 待受画面で[✉]▶「[4]未送信のメールを見る」▶フォルダを選択▶[決定]▶圏内自動送信が設定されているｉモードメールを選択▶[メニュー]▶「[8]圏内送信解除」を押す

圏内自動送信設定を解除するかどうかの確認画面が表示されます。

2 「[1]解除する」を押す

圏内自動送信設定を解除した旨のメッセージが表示されます。[決定]を押すと未送信メール一覧に戻ります。

お知らせ

- 次の場合でも圏内自動送信の設定は解除されます。
  - 「未送信のメールを見る」に保存された圏内自動送信を設定したｉモードメールを選択▶[決定]を押した場合
  - FOMAカードを差し替えた場合
  - 接続先変更（→p.196）で接続先または接続先アドレスを変更した場合

ｉモードメールにデータを添付して送信する

ｉモードメールに画像やメロディを添付したり、FOMA端末で撮影した写真や手書きメモ、ビデオ、音声を添付したりして、送信できます。

- 添付データは最大10件、合計2Mバイトまで添付できます。

● 添付可能なデータは次のとおりです。

データの種類	添付の条件
メロディ	SMF形式、MFi形式のメロディのみ添付できます。
画像※1	JPEG形式、GIF形式の画像やアニメーションのみ添付できます。
手書きメモ※1	―
動画／ｉモーション※2	• MP4形式の動画／ｉモーションのみ添付できます（ASF形式や部分的に取得した動画／ｉモーションは添付できません）。 • 再生制限が設定（→p.350）されているものは添付できません。※3
音声※2	MP4形式のみ添付できます。
トルカ※4	•「利用済みトルカ」フォルダ内のトルカは添付できません。 • おサイフケータイ対応サービス提供者の設定によっては添付できません。

※1 受信側の端末やパソコンなどの機器によって、URLが記載されたメールとして受信したり、添付データとして受信したりします。また、正しく受信や表示されなかったり、粗く表示される場合があります。なお、添付データとして受信しても対応していないサイズの場合は表示できないことがあります。
手書きメモは画像として添付されます。

※2 映像のある動画／ｉモーションは、受信側の端末やパソコンなどの機器によって、URLが記載されたメールとして受信したり、添付データとして受信したりします。また、正しく受信や表示がされなかったり、粗く表示されたり、連続静止画に変換されて表示されたりする場合があります。表示サイズが128×96（ドット）、176×144（ドット）以外は添付できません。
2Mバイト対応機種以外のｉモード端末に送信する場合は、ビデオサイズ（容量）を「メール添付・小」で撮影した動画をおすすめします。
録音した音声は、映像のない動画／ｉモーションとして添付されます。ｉモーションメール非対応の端末へ送信した場合、音声は削除されます。

※3 再生制限が設定されていないものでも添付できない場合があります。

※4 受信側がトルカ対応機種の場合でも、機種によってはトルカ（詳細）を受信できない場合があります。

● メール添付や FOMA 端末外への出力が禁止されているデータ（この端末でファイル制限を「設定する」にしたデータを除く）、FOMAカード動作制限機能が設定されているデータは添付できません。

● movaサービスのｉモード端末へ送信する場合は、JPEG形式の画像（最大500Kバイト）1枚のみ添付できます。送信相手の端末にはURLの記載されたメール（ｉショット）として受信されます。その際、送信できるメール本文の文字数は全角184文字（369バイト）以内です。それ以外の添付データは削除されます。

1 メール作成画面を表示する

● 操作方法→p.217「ｉモードメールを作成して送信する」操作1

2 [メニュー]▶「[4]添付データ」▶「[1]追加する」を押す

添付する対象を
選んでください

1 音声
2 写真
3 ビデオ
4 メロディ
5 手書きメモ
6 トルカ

3 「[1]音声」～「[6]トルカ」のいずれかを押す

● 録音済みの音声を添付する場合は「■ビデオをアルバムから選択して添付する（ｉモーションメール）」の操作を行います。→p.229

● 撮影済みの手書きメモを添付する場合は「■写真をアルバムから選択して添付する」の操作を行います。→p.228

■ 音声を添付する（音声メール）：

• 音声はマイクから録音されます。周囲の雑音が少ないできるだけ静かな所で録音してください。
• 音声は1件につき約60秒録音できます。

① 「[1]音声」を押す
音声録音画面が表示されます。

背面ディスプレイの照明が青色で約2秒間隔で点滅します。

② 決定を押す

録音確認音（ビデオのシャッター音）が鳴り録音が開始され、背面ディスプレイの照明が赤色で約5秒間隔で点滅します。

- 録音終了までの時間の目安が00：00：00になると、録音が自動的に終了して操作③の画面が表示されます。
- メニュー：録音が休止／再開されます。録音休止中は背面ディスプレイの照明が青色で点灯します。

③ 決定を押す

終了確認音が鳴り、録音が終了します。

- メニュー：録音した音声を保存せずに音声録音画面に戻ります。
- 電話帳：録音した音声を確認します。

④ 決定を押す

音声を保存した旨のメッセージが表示されます。決定を押すと録音した音声が添付されたメール作成画面に戻ります。

- 録音した音声は「ビデオのアルバムを見る」の「撮影したビデオ」アルバムに保存されます。→p.347

■ 写真を撮影して添付する：

① 「2写真」▶「1今から撮影する」を押す

写真撮影画面が表示されます。
背面ディスプレイの照明が青色で約2秒間隔で点滅します。

- メニュー：撮影時の設定ができます。→p.163、p.166

② 被写体にカメラを向けて決定を押す

オートフォーカスが起動し、オレンジ色のフォーカス枠が表示されます。ピントが合うと確認音が鳴り、フォーカス枠が緑色の「＋」に変わります。
撮影確認音（シャッター音）が鳴り、背面ディスプレイの照明が赤色で点滅して撮影されます。

- メニュー：撮影した写真を保存せずに写真撮影画面に戻ります。

③ 決定を押す

写真を保存した旨のメッセージが表示されます。決定を押すと撮影した写真が添付されたメール作成画面に戻ります。

- 撮影した写真は「写真のアルバムを見る」の「撮影した写真」アルバムに保存されます。→p.340

■ 写真をアルバムから選択して添付する：

- 添付できない画像は表示されません。

①「2 写真」▶「2 アルバムから選ぶ」を押す

アルバム一覧
撮影した写真
microSDの写真
iモード
アイテム
内蔵写真
データ交換

② アルバムを選択▶決定▶画像を選択▶決定を押す

メール作成画面に戻ります。選択した画像が添付されています。

- 画像サイズの横縦（または縦横）が320×240（ドット）を超える画像を選択した場合は、サイズ変更の選択画面が表示されます。→p.341「画像を添付してｉモードメールを作成する」のお知らせ
- データサイズが2Mバイトを超えるJPEG形式の画像を選択した場合は、送信可能なサイズに変換されます。
- 位置情報付きの画像の場合は、メールに位置情報を貼り付けるかどうかの確認画面が表示されます。「1 貼付ける」を押すと、画像が添付されるとともに本文に位置情報URLが貼り付けられます。「2 貼付けない」を押すと、画像のみが添付されます。

■ ビデオを撮影して添付する（ｉモーションメール）：

①「3 ビデオ」▶「1 今から撮影する」を押す

ビデオ撮影画面が表示されます。

背面ディスプレイの照明が青色で約2秒間隔で点滅します。

- メニュー：撮影時の設定ができます。→p.166

② 被写体にカメラを向けて決定を押す

撮影確認音（シャッター音）が鳴り撮影が開始され、背面ディスプレイの照明が赤色で約3秒間隔で点滅します。

- 撮影終了までの時間の目安が00：00：00になると、撮影が自動的に終了して操作③の画面が表示されます。
- メニュー：撮影が休止／再開されます。撮影休止中は背面ディスプレイの照明が青色で点灯します。

メール

③ **決定を押す**

終了確認音が鳴り、撮影が終了します。

- メニュー：撮影したビデオを保存せずにビデオ撮影画面に戻ります。
- 電話帳：撮影したビデオを確認します。

④ **決定を押す**

ビデオを保存した旨のメッセージが表示されます。決定を押すと撮影したビデオが添付されたメール作成画面に戻ります。

- 撮影したビデオは「ビデオのアルバムを見る」の「撮影したビデオ」アルバムに保存されます。→p.347

■ ビデオをアルバムから選択して添付する（ｉモーションメール）：

- 添付できないビデオは表示されません。

① **「3ビデオ」▶「2アルバムから選ぶ」を押す**

ビデオ一覧
撮影したビデオ
microSDのビデオ
iモード
内蔵ビデオ
データ交換

② **アルバムを選択▶決定▶動画／ｉモーションを選択▶決定を押す**

ビデオを
送信しますか？
1このまま送る
2内容を確認する
3送信を中止する

1 **このまま送る**：このまま添付します。

2 **内容を確認する**：添付する前に再生して確認します。

3 **送信を中止する**：添付を中止します。

- 選択した動画／ｉモーションによっては、送信方法を選択する画面が表示されます。選択する画面については「動画／ｉモーションを添付してｉモードメールを作成する」のお知らせをご覧ください。→p.349
- microSD メモリーカード内のデータを選択した場合は、選択画面は表示されず、動画／ｉモーションが添付されたメール作成画面に戻ります。

③ **「1このまま送る」を押す**

メール作成画面に戻ります。選択した動画／ｉモーションが添付されています。

■ メロディを添付する：

- 添付できないメロディは表示されません。

① **「4メロディ」を押す**

メロディ一覧
iモード
内蔵メロディ
データ交換
microSDのﾒﾛﾃﾞｨ

② **フォルダを選択▶決定▶メロディを選択▶決定を押す**

メール作成画面に戻ります。選択したメロディが添付されています。

■ 手書きメモを撮影して添付する（手書きメール）：

① **「5手書きメモ」を押す**

撮影画面が表示されます。
背面ディスプレイの照明が青色で約2秒間隔で点滅します。

現時点で撮影（保存）できる残りの最大撮影枚数の目安

- メニュー：撮影時の設定ができます。→p.163、p.166
  - 「セルフタイマーを使う」「写真の大きさ」「オートフォーカスオン／オフ」「接写撮影／通常撮影」「詳細を設定」以外は設定できません。

- 撮影できる写真の大きさは「M（240×320）」「待受(240×432)」です。

② **手書きメモにカメラを向けて決定を押す**

オートフォーカスが起動し、オレンジ色のフォーカス枠が表示されます。ピントが合うと確認音が鳴り、フォーカス枠が緑色の「+」に変わります。撮影確認音（シャッター音）が鳴り背面ディスプレイの照明が赤色で点滅して撮影され、補正されます。

手書きメモ
OKです☺
待ち合わせは
10:00に
駅前で!
晴れるといいですね。

- メニュー：撮影した手書きメモを保存せずに撮影画面に戻ります。
- 電話帳：押すたびに歪みの補正あり／補正なしが切り替わります。

③ **決定を押す**

写真を保存した旨のメッセージが表示されます。決定を押すと撮影した手書きメモが添付されたメール作成画面に戻ります。

- 撮影した手書きメモは「写真のアルバムを見る」の「撮影した写真」アルバムに保存されます。→p.340

■ **トルカを添付する**：

- 添付できないトルカは選択できません。

① **「6 トルカ」を押す**

トルカ一覧
トルカフォルダ
microSDのトルカ
レストラン
お買い物
利用済みトルカ

② **フォルダを選択▶決定▶トルカを選択▶決定を押す**

選択したトルカが添付されたメール作成画面に戻ります。

- トルカ（詳細）を添付できる場合は、詳細を含めてメールに貼り付けるかどうかの確認画面が表示されます。「1 詳細を含める」を押すと、トルカ（詳細）も添付されます。「2 詳細を含めない」を押すとトルカのみ添付されます。
- トルカ（詳細）を添付できない場合は、詳細は含まれないがメールに貼り付けるかどうかの確認画面が表示されます。「1 貼り付ける」を押すと詳細は切り取られますが、サイトに詳細情報がある場合は、受信側でダウンロードできます。

4 iモードメールを編集して送信する

● 以降の操作→p.217「iモードメールを作成して送信する」操作2以降

お知らせ

● 音声／写真／ビデオの保存領域の空きが足りないときや最大保存件数を超えるときは、不要な写真／ビデオを削除するかどうかの確認画面が表示されます。録音／撮影する場合は、画面の指示に従いFOMA端末内のデータを削除します。

● 音声／ビデオの撮影についての注意事項は「ビデオを撮影する」のお知らせをご覧ください。→p.165

添付データの追加／解除

〈例〉添付データを1件解除する

1 データが添付されているメール作成画面を表示する

● 操作方法→p.226「iモードメールにデータを添付して送信する」操作1～3

2 解除する添付データを選択▶メニュー▶「4 添付データ」を押す

添付データの
操作を
選んでください

1 追加する
2 解除する
3 全て解除する
4 表示/再生する
5 題名を確認

3 「2解除する」を押す

添付データを解除するかどうかの確認画面が表示されます。

■ 添付データを追加する：「1追加する」を押す
- 以降の操作→p.226「ｉモードメールにデータを添付して送信する」操作3以降

■ 添付データを全件解除する：「3全て解除する」を押す

4 「1解除する」を押す

添付データが解除され、メール作成画面に戻ります。

未送信／送信メール

未送信／送信したｉモードメールを見る

〈例〉送信したメールを見る

1 待受画面で［メール］▶「5送信したメールを見る」を押す

送信メール
保護001/005件
送信箱
会社
友達

保護メール件数／全メール件数

- 未送信メールを表示する場合は、待受画面で［メール］▶「4未送信のメールを見る」を押します。
- フォルダの状態は、次のマークで確認できます。
  - （グレー）：メールが保存されていないフォルダ
  - （黒）：メールが保存されているフォルダ
  - ：メール連動型ｉアプリ用のフォルダ

2 フォルダを選択▶［決定］を押す

送信箱
001/005件
14:05 docomo…
電話ください
04/07 docomo…
おはようござ…
04/06 docomo…
おはようござ…
04/05 docomo…
おはようござ…

フォルダ名

メール番号／フォルダ内件数

送信／保存日時（送信／保存当日：時刻　当日以外：日付）、宛先、題名

<送信メール一覧>

- 宛先を電話帳に登録しているときは名前が表示されます。→p.86
- メール連動型ｉアプリ用のフォルダを選択して［決定］を押すと、それに対応するｉアプリが起動します。ｉアプリを起動せずにメール一覧を表示するときは、メール連動型ｉアプリ用のフォルダを選択▶［メニュー］▶「6一覧を表示」を押します。
- メールの状態は、次のマークで確認できます。

マーク		説　明
状　態	表示なし	通常のｉモードメール
		保護されたメール
		歩数計自動送信メール
		圏内自動送信設定中
		圏内／歩数計自動送信失敗
		保護＋圏内自動送信設定中
		保護＋圏内／歩数計自動送信失敗
添　付		画像が添付
		メロディが添付
		音声、ｉモーションが添付
		複数添付データあり
		トルカが添付
		表示できるサイズを超えたデータが添付
SMS		SMS
メール連動型ｉアプリ		メール連動型ｉアプリで利用されるメール

- 海外滞在時（GMT+09:00を除く）に保存、送信したｉモードメールは日時の後ろにが表示される場合があります。

3 表示するｉモードメールを選択▶決定を押す

送信箱
001/005件
08/04/08 14:05
宛 docomo.taro.…
Cc docomo-ΔΔ-ta…
題 電話ください
待ち合わせの場所につきました。
200804081405…
15.1KB

状態マーク、添付マーク、メール番号／フォルダ内件数

＜送信メール詳細画面＞

- 未送信メール一覧でメールを選択▶決定を押すと、メール編集画面が表示されます。→p.225「送信・保存したｉモードメールの編集・送信」操作2
- ：すべて表示されていない場合は、画面をスクロールできます。
- ：前後のメールを表示できます。
- メール詳細画面は、次のマークで確認できます。

マーク	説　明
◷	送信した日時
宛	送信先のメールアドレスまたは電話帳に登録した名前
Cc Bcc	送信先のメールアドレスまたは電話帳に登録した名前→p.220
題	題名

- 添付データがある場合は、本文の最後に添付マーク、ファイル名、ファイルサイズが表示されます。→p.237「受信したｉモードメールを見る」操作3

ｉモードメール受信

ｉモードメールを受信したときは

送信されてきたｉモードメールを自動的に受信し、画面表示や着信音、バイブレータ、背面ディスプレイの照明でお知らせします。受信したｉモードメールは「受信したメールを見る」に保存されます。

- 最大保存件数→p.513

1 ｉモードメールを受信する

と が点滅し、次の画面が表示されます。

- メール受信中に決定を押すと受信を中止できますが、受信中の状況によってはメールを受信する場合があります。
- FOMA端末を閉じているときは、背面ディスプレイに「メール受信中」が表示されます。受信が完了すると メールあり が表示されます。

2 ｉモードメールの受信結果が表示される

が表示されメール着信音が鳴り、背面ディスプレイの照明が点滅します。

- 受信結果画面が表示されてから約15秒間、またはメール着信音が鳴り終わるまでの間（鳴らす時間を15秒以上に設定している場合）何も操作しないと、自動的に受信前の画面に戻ります。

- すぐに受信前の画面に戻すときは(戻る)を押します。
- 受信メール一覧を表示するか待受画面に戻ると が消えます。

■ **受信したメールをすぐに確認する：「1メール」を押す**

受信メールのフォルダ一覧が表示されます。→p.236

■ **受信に失敗したとき**

「1メール」の後ろに「×」が表示されます。

- メールを受信し直すには、ｉモード問合せを行ってください。→p.235

お知らせ

- ｉモードメールを受信したときは、メール受信時の動作に設定した着信音の優先順位に従い動作します。
  複数のｉモードメールやSMS、メッセージR/Fを同時に受信したときは、最後に受信したｉモードメールやSMS、メッセージR/Fに設定した条件に従い動作します。
  ｉモードメールを受信したときのメール着信音設定の優先順位→p.113
- 受信メールの保存領域の空きが足りないときや最大保存件数を超えるときは、保護されていない未読以外の古い受信メールから順に上書きされます。このとき、受信したメールのサイズによっては大量に消去される場合があります。残しておきたい受信メールは保護してください。→p.263
  未読メールと保護されているメールで保存領域が満杯で上書きできないときは、ｉモードメールの受信は中止され、画面には (赤)や のマークが表示されます。受信する場合は、未読の受信メールを表示（→p.236）したり、不要な受信メールの保護を解除（→p.263）したりしてください。
- ｉモードセンターにｉモードメールが残っているときは、 (黒)や (黒)のマークが表示されます。ただし、ｉモードメールがあっても表示されない場合もあります。また、ｉモードセンターの保管件数が満杯になったときは、マークが (赤)や (赤)に変わります。ｉモードセンターに残っているｉモードメールを受信する場合は、ｉモード問合せ(→p.235)またはメール選択受信(→p.234)を行ってください。
- 新しいｉモードメールが届いたときは、ｉモードセンターで保管している他のｉモードメールやメッセージR/Fもあわせて受信します。
- メール選択受信設定を「利用する」に設定すると、メールを自動的に受信せずに、必要なメールだけを選択して受信できます。→p.234
- 極端に容量の大きいｉモードメールは、ｉモードセンターで受け付けずに送信元に返信されることがあります。
- 添付データが受信可能なデータ量（→ p.225）を超える場合は、ｉモードセンターで削除されます。添付データが削除されると、題名の下に［添付ファイル削除］と表示されます。
- 受信メールのデータ量（文字数、添付データ）が100Kバイトまでは自動受信し、100Kバイトを超えると添付データの一部またはすべてを選択受信添付データとして受信します。→p.239
- パソコンなど、デコメール®対応FOMA端末以外から装飾されたメールを受信すると、装飾が正しく表示されない場合があります。
- ｉモードメールを受信すると、ｉモードセンターのｉモードメールは削除されます。
- 次のような場合に送られてきたｉモードメールは、ｉモードセンターに保管されます。
  - 電源が入っていないとき
  - テレビ電話中
  - お預かりセンター接続中
  - セルフモード中
  - おまかせロック中
  - FirstPassセンター接続中
  - 受信に失敗したとき
  - ｉモード圏外のとき
  - SMS受信中
  - 赤外線通信／iC通信中
  - メール選択受信設定が「利用する」に設定されているとき
  - 未読メールと保護されているメールで保存領域が満杯のとき
- 待受画面／メニュー画面以外（他の機能が起動中）のときやオールロック中、個人情報表示制限中、開閉ロック中（FOMA端末を開いている状態）は、メールを自動受信しますが、受信中画面や受信結果画面は表示されず、着信音と背面ディスプレイの照明も動作しません。受信したメールを確認するには、他の機能を終了／各制限を解除してください。

ｉモードメールを選択して受信する

送信されてきたｉモードメールを自動受信せずに、必要なメールだけを選択して受信するように設定します。

ｉモードメールを自動受信しないように設定＜メール選択受信設定＞

1 待受画面で[✉]▶「[8]メールを設定する」▶「[3]メール選択受信を設定する」を押す

メール選択受信を利用するかどうかの確認画面が表示されます。

2 「[1]利用する」を押す

メール選択受信を利用するに設定した旨のメッセージが表示されます。[決定]を押すとメニュー画面に戻ります。

- 「[2]利用しない」：メール選択受信を利用しません。

お知らせ

- 「利用する」に設定した場合、送られてきたｉモードメールはｉモードセンターに保管され、FOMA端末には自動的に配信されません。ｉモードセンターにメールが届くと次の画面が表示されますが、着信音やバイブレータ、背面ディスプレイの照明は動作しません。[決定]を押すと元の画面に戻ります。

センターに
メールがあります

[決定]

- 「利用する」に設定しても、SMS、メッセージR/F、エリアメールは自動受信します。

必要なメールだけを選択受信＜メール選択受信＞

ｉモードセンターに保管されているｉモードメールの題名などを確認し、受信するｉモードメールを選択したり、受信前にｉモードセンターでｉモードメールを削除したりできます。

- メール選択受信を利用するには、あらかじめメール選択受信設定を「利用する」に設定しておく必要があります。→p.234
  なお、「利用する」に設定した場合は、自動的にｉモードメールを受信できません。
- メール選択受信設定を「利用する」に設定した場合でも、ｉモード問合せを行うと全メールを受信しますので、ｉモードメールを受信したくない場合には、ｉモード問合せ設定で問合せ項目から「メール」を外しておいてください。→p.236

1 待受画面で[✉]▶「[6]メールがあるか問合せる」▶「[2]メール選択受信を行う」を押す

ｉモードに接続され、ｉモードセンターに保管されているｉモードメールが一覧表示されます。

✉メール選択受信✉
(1/1ﾍﾟｰｼﾞ)

選択受信説明
[1]保留
08/04/08 14:05
✉おはよう
docomo.taro.ΔΔ@docomo.ne.jp
【ﾃﾞｺﾒ】

- メールの末尾のマークの意味は次のとおりです。
  📷：画像が添付
  ♪：メロディが添付
  🎥：ｉモーションが添付
  ▬：トルカが添付
  ※ 上記以外のマークは、この端末では対応していない添付データです。

メール

2 メールごとに「保留」を選択▶決定▶「受信」「削除」「保留」のいずれかを選択▶決定を押す

1/1ﾍﾟｰｼﾞまで選択したﾒｰﾙを
受信/削除
----
iﾓｰﾄﾞｾﾝﾀｰから全てのﾒｰﾙを
削除

- 「保留」を設定した場合は、そのままｉモードセンターに保管されます。
- ページが複数ある場合には、メール一覧の最後に表示される「前ページ」または「次ページ」を選択▶決定を押すと前後のページを表示できます。

3 「受信／削除」を選択▶決定を押す

確認画面
受信：　2件
削除：　0件
保留：　1件

よろしいですか?
決定
ｷｬﾝｾﾙ

■ ｉモードセンターに保管されている全メールを削除する：「ｉモードセンターから全てのメールを」の「削除」を選択▶決定を押す

4 「決定」を選択▶決定を押す

「受信」を設定したメールはすぐに受信され、受信結果画面が表示されます。→p.232

ｉモード問合せ

ｉモードメールがあるかどうかを問い合わせる

圏外にいた間や電源を切っていた間などにｉモードメールが届いていないかを問い合わせます。

- 電波状態によってはｉモード問合せができない場合があります。

1 待受画面で✉▶「6メールがあるか問合せる」▶「1メール・メッセージを受信する」を押す

ｉモード問合せが実行されます。ｉモードセンターにｉモードメールが保管されていれば受信します。

- ｉモード問合せ中やメールの受信中に決定を押すと、問い合わせを中止できますが、問い合わせの状況によってはメールを受信する場合があります。

ｉモード問い合わせの内容設定 ＜ｉモード問合せ設定＞

ｉモードセンターへ問い合わせをする際に、ｉモードメール、メッセージR/Fの中から受信する項目を設定します。

- お買い上げ時はメール、メッセージR、メッセージFのすべてに☑が付いています。配信を希望しない場合はその項目を□にしてください。

1 待受画面で[メニュー]▶「[#]詳細な機能・設定」▶「[5]メールの詳細を設定する」▶「[1]問合せ内容を選ぶ」を押す

問合せを
行う項目を
選んでください
1 ☑メール
2 ☑メッセージR
3 ☑メッセージF

- 設定状態は次のとおりです。
  ☑：有効　□：無効
- [メニュー]：すべての項目を有効／無効にします。

2 「[1]メール」～「[3]メッセージF」を押す

☑または□に変わります。

- すべての項目を無効にすると設定できません。いずれかを有効にしてください。

3 [電話帳]を押す

問合せを行う項目を設定した旨のメッセージが表示されます。[決定]を押すとメニュー画面に戻ります。

受信メール

受信したｉモードメールを見る

- お買い上げ時には、「はじめまして❀」のメールが「受信箱」フォルダに保存されています。

1 待受画面で[✉]▶「[1]受信したメールを見る」を押す

受信メール
未読0001/0010件 ― 未読メール件数／全メール件数
受信箱
会社
友達

- フォルダの状態は、次のマークで確認できます。
  - (グレー)：メールが保存されていないフォルダ
  - (黒)：メールが保存されているフォルダ
  - ：未読メールが保存されているフォルダ
  - ：メール連動型ｉアプリ用のフォルダ
  - ：未読メールが保存されているメール連動型ｉアプリ用のフォルダ

2 フォルダを選択▶[決定]を押す

受信箱 ― フォルダ名
0001/0010件 ― メール番号／フォルダ内件数
14:05 docomo…
電話ください ― 受信日時（受信当日：時刻　当日以外：日付）、送信元、題名
04/07 docomo…
到着します
04/06 docomo…
急用ができま…
04/05 docomo…
明日の予定は…

＜受信メール一覧＞

- 送信元を電話帳に登録しているときは、名前が表示されます（→p.86）。エリアメールの場合は「エリアメール」と表示されます。
- 題名はｉモードメールによって、表示されない場合があります。また、エリアメールとSMSの場合は本文の先頭が表示されます。

- メール連動型ｉアプリ用のフォルダを選択して決定を押すと、それに対応するｉアプリが起動します。ｉアプリを起動せずにメール一覧を表示するときは、メール連動型ｉアプリ用のフォルダを選択▶メニュー▶「6一覧を表示」を押します。
- メールの状態は、次のマークで確認できます。

マーク		説　明
状 態	✉	未読メール
	表示なし	既読メール
		保護されたメール
		未読メール（返信済み）
		既読メール（返信済み）
		保護されたメール（返信済み）
		未読メール（返信不可）
		既読メール（返信不可）
		既読で保護されたメール（返信不可）
		未読メール（転送済み）
	→	既読メール（転送済み）
		既読で保護されたメール（転送済み）
添 付		画像が添付
	♪	メロディが添付
		音声、ｉモーションが添付
		トルカが添付
		複数添付データあり
		ｉアプリが添付
	?	添付データ無効→p.241
		表示できるサイズを超えたデータが添付
SMS		SMS
通 知		情報通知SMS
メール連動型ｉアプリ		メール連動型ｉアプリで利用されるメール
エリアメール		エリアメール
		メール連動型ｉアプリで利用されるエリアメール

- 海外滞在時（GMT+09:00 を除く）に受信したｉモードメールは受信日時の後ろにが表示される場合があります。

3　ｉモードメールを選択▶決定を押す

受信箱
0001/0010件
To
08/04/08 14:05
docomo.taro.…
docomo-ΔΔ-ta…
電話ください
待ち合わせの場所につきました。
200804081405…
15.1KB

メール番号／フォルダ内件数

状態マーク、宛先マーク、添付マーク

<受信メール詳細画面>

- ：すべて表示されていない場合は、画面をスクロールできます。
- ：前後のメールを表示できます。
- メール詳細画面は、次のマークで確認できます。

マーク	説　明
To Cc Bcc	送信元からどの宛先種別（To、Cc、Bcc）で送られてきたのかを示すマーク
	受信した日時
	送信元のメールアドレスまたは電話帳に登録した名前
宛 Cc	送信先のメールアドレスまたは電話帳に登録した名前→p.220
題	題名

● 添付データがある場合は、次のマークで取得状態を確認できます。

データの種類	データの取得状態					
	取得済み※1	取得済み※2	未取得	取得途中	取得不可	データ不正
画像						
動画/iモーション						
メロディ						
トルカ						

※1 メール添付やFOMA端末外への転送可能なデータ
※2 メール添付やFOMA端末外への転送不可能なデータ

● 送信メールにも同様の添付データのマークが表示されます。

お知らせ

● お買い上げ時に保存されている「はじめまして」のメールの受信に通信料はかかっていません。
● iモードメールに添付されたメロディを自動演奏するように設定している場合（→p.249）、メロディが添付されているiモードメールを表示すると、メロディが自動的に再生されます。再生を止めるときは決定または戻るを押します。

iモードメール返信

iモードメールに返事を出す

● 受信メールによっては返信できない場合があります。

1 **待受画面で✉▶「1受信したメールを見る」▶フォルダを選択▶決定を押す**

受信メール一覧が表示されます。

2 **返信するiモードメールを選択▶電話帳を押す**

らくらく返信
<自分で入力>
了解しました。
今から帰ります。
後で連絡します。
遅くなります。
ありがとうござ…
ごめんなさい。

● 次の場合は、らくらく返信の本文一覧は表示されません。操作4に進みます。
• らくらく返信設定を「利用しない」に設定している場合
• 前回の操作で簡単メール作成を使用していた場合

● 複数の宛先に送られた受信メールに返信するときは、返信先を選択する画面が表示されます。「1差出人のみ」を押すと、送信元のみに返信します。「2全員に返信」を押すと、自分以外のすべての宛先と送信元に返信します。

3 **「<自分で入力>」を選択▶決定を押す**

■ らくらく返信を使用する：**返信する本文を選択▶決定を押す**
選択したらくらく返信本文がメールの本文に挿入されます。

メール作成：返信
宛先：docomo.tar
題名：RE:おはよ
本文：了解しまし
装飾：設定なし
送信する

受信メールの送信元のメールアドレスまたは電話帳に登録した名前が入力されます。

先頭に「RE:」の付いた受信メールの題名が入力されます。

4 **iモードメールを編集して送信する**

● 操作方法→p.214、p.217
● 返信すると、受信メールの状態マークが、表示なし（既読）／✉／🔑から↩／✉／🔑に変わります。→p.236「受信したiモードメールを見る」操作2

お知らせ

● 返信するiモードメールには受信メールの本文、添付データともに引用されません。

iモードメール転送

iモードメールを他の宛先に転送する

● iモードメールで転送されます。

1 待受画面で[✉]▶「[1]受信したメールを見る」▶フォルダを選択▶[決定]を押す

受信メール一覧が表示されます。

2 転送するiモードメールを選択▶[メニュー]▶「[2]転送する」を押す

3 iモードメールを編集して送信する

● 操作方法→p.214、p.217
● 転送すると、受信メールの状態マークが、表示なし（既読）／✉／🔑から➡／✉／➡🔑に変わります。→p.236「受信したiモードメールを見る」操作2

おしらせ

● 添付データのあるメールを転送する場合は、添付データを送るかどうかの確認画面が表示され、本文のみを送ることもできます。
● 未取得、取得途中の選択受信添付データは転送するiモードメールに添付されません。
● メール添付やFOMA端末外への出力が禁止されているデータは転送するメールに添付されません。なお、出力が禁止されていなくても、メロディの種類によっては添付されない場合があります。
● 受信メール本文中に貼り付けられているメロディ、iアプリが起動できるリンク項目は転送するメールには貼り付けられません。
● デコメール®は、装飾が解除されて文字データと本文中に貼り付けられていた画像（先頭から10個まで）が添付データとして転送メールに引用されます。

選択受信添付データ

選択受信添付データを取得する

iモードメールに添付された未取得または取得途中の選択受信添付データ（画像、iモーション、メロディ、トルカ）をダウンロードして表示、保存します。

● メール本文と添付データの合計サイズが100Kバイトを超える場合は、添付データの一部またはすべてを選択受信添付データとして受信します。
● 未取得または取得途中の添付データがあると、受信メール詳細画面にiモードセンターでの保存期限が表示されます。
● ダウンロードできるサイズは1件あたり最大2Mバイトです。

1 待受画面で[✉]▶「[1]受信したメールを見る」▶フォルダを選択▶[決定]を押す

受信メール一覧が表示されます。

2 取得するファイルが添付されたiモードメールを選択▶[決定]を押す

3 ファイル名を選択▶決定を押す

ｉモードセンターに接続され、ファイルの受信が始まります。

- 電話帳を押すと、ダウンロードが中断され、再開するかどうかの確認画面が表示されます。「2再開しない」を押すと、ダウンロードを中止し、中止した部分まで保存されます。
- データのダウンロード後の操作は自動受信した添付データの操作と同様です。→p.240

お知らせ

- 選択受信添付データを取得しようとしたときに、FOMA端末の保存領域の空きが足りないときは取得できません。受信済みのｉモードメールの添付データ削除（→p.244）、未読メールの内容表示（→p.236）、保護解除（→p.263）、不要メールの削除（→p.262）などを行ってからダウンロードし直してください。
- データのサイズによっては、選択受信添付データをダウンロードする際に既読メールが削除される場合があります。
- 圏外などでダウンロードが中断すると再開の確認画面が表示されます。「2再開しない」を押すと中断した部分まで保存され、添付データマークに⬇が表示されます。

自動受信添付データ

自動受信添付データを操作する

ｉモードメールに添付されたデータを表示、保存します。

- 最大保存件数→p.513

画像の表示・保存

1 待受画面で✉▶「1受信したメールを見る」▶フォルダを選択▶決定を押す

受信メール一覧が表示されます。

2 画像が添付されているｉモードメールを選択▶決定を押す

受信箱
0001/0010件
08/04/08 14:05
docomo.taro.…
かわいいね！
こんなに大きくなったよ。たまには遊びにきてね。
200804081405…
2.4KB

- END -

画像のマークとファイル名、ファイルサイズ

＜全体イメージ＞

- 添付された画像の状態はマークで確認できます。→p.237「受信したｉモードメールを見る」操作3

3 保存する画像のファイル名を選択▶メニュー▶「8添付データ確認」▶「2画像を保存」を押す

写真の保存
題名
200804081405
ファイル制限
なし
ファイル名
200804081405

- 各項目の説明→p.342「画像の情報を表示する」操作1

■ **デコメール®に挿入されている画像を保存する**：メニュー▶「0登録する」▶「4画像を保存」▶保存する画像を選択▶決定を押す

■ **画像の表示／非表示を切り替える**：表示されている画像のファイル名を選択▶決定を押す

メール

■ 画像の題名を確認する：題名を確認する画像のファイル名を選択▶[メニュー]▶「8添付データ確認」▶「5題名を確認」を押す
題名が表示されます。[決定]を押すと操作2の画面に戻ります。

4 [決定]を押す

画像を保存した旨のメッセージが表示されます。[決定]を押すと受信メール詳細画面に戻ります。

● 「写真のアルバムを見る」の「iモード」アルバムに保存されます。→p.340

お知らせ

● 画像の横幅がディスプレイより大きいときは縮小して表示されます。
● 横縦（または縦横）のサイズが次の大きさを超える画像は保存できません。
GIF形式：640×480（ドット）
JPEG形式：1728×2304（ドット）
● フレームとして表示・保存できる画像サイズは横縦（または縦横）が176×144（ドット）、240×320（ドット）、240×432（ドット）です。
● デコメール®では、メール詳細画面本文中に表示される画像のファイル名などは表示されません。
● 画像によっては正しく表示できない場合があります。
● 送信メール詳細画面からも同様にして表示／非表示を切り替えられます。
● 送信メール詳細画面から題名の確認、保存する場合は、画像のファイル名を選択▶[メニュー]▶「7添付データ確認」を押します。
● 送信メール詳細画面からデコメール®に挿入されている画像を保存するときは、[メニュー]▶「9登録する」を押します。
● メール本文中に貼り付けられているメロディやiアプリを連携起動できるリンク項目などが複数貼り付けられていると貼り付けられたデータは無効になります。このときマークには[?]が表示されます。
● 画像の保存領域の空きが足りないときや最大保存件数を超えるときは、不要な写真を削除するかどうかの確認画面が表示されます。画像を保存する場合は、画面の指示に従いFOMA端末内の画像を削除します。

iモーションの再生・保存

1 待受画面で[✉]▶「1受信したメールを見る」▶フォルダを選択▶[決定]を押す

受信メール一覧が表示されます。

2 iモーションが添付されているiモードメールを選択▶[決定]を押す

受信箱
0001/0010件
08/04/08 14:05
docomo.taro.…
かわいいね！
こんなに大きくなったよ。
200804081405…
25.3KB
－ END －

iモーションのマークとファイル名、ファイルサイズ

<全体イメージ>

● 添付されたiモーションの状態はマークで確認できます。→p.237「受信したiモードメールを見る」操作3

3 保存するiモーションのファイル名を選択▶[メニュー]▶「8添付データ確認」▶「2iモーションを保存」を押す

題名を
入力してください
20080408140510

● 題名を変更するときは、36文字以内で入力します。

■ iモーションを再生する：再生するiモーションのファイル名を選択▶[メニュー]▶「8添付データ確認」▶「1iモーションを再生」を押す
再生終了後、操作2の画面に戻ります。
• 再生中の操作→p.348「動画／iモーションを再生する」操作3

■ｉモーションの題名を確認する：**題名を確認するｉモーションのファイル名を選択▶MENU▶「8添付データ確認」▶「5題名を確認」を押す**
題名が表示されます。決定を押すと操作2の画面に戻ります。

4 決定を押す

ビデオを保存した旨のメッセージが表示されます。決定を押すと受信メール詳細画面に戻ります。

- 「ビデオのアルバムを見る」の「ｉモード」アルバムに保存されます。→p.347

おしらせ

- 送信メール詳細画面からｉモーションを操作する場合は、操作するｉモーションのファイル名を選択▶MENU▶「7添付データ確認」を押します。
- ｉモーションによっては正しく再生できない場合があります。
- メールに添付されたｉモーションをパソコンなどで再生する場合は、対応のソフトが必要です。詳細はドコモのホームページをご覧ください。
- ｉモーションの保存領域の空きが足りないときや最大保存件数を超えるときは、不要なｉモーションを削除するかどうかの確認画面が表示されます。
ｉモーションを保存する場合は、画面の指示に従いFOMA端末内のｉモーションを削除します。

メロディの再生・保存

- 添付されたメロディは、本文の後に添付されているものと、本文中に貼り付けられているものがあります。
- 100Kバイトを超えるメロディは再生・保存できません。

1 待受画面で✉▶「1受信したメールを見る」▶フォルダを選択▶決定を押す

受信メール一覧が表示されます。

2 メロディが添付されているｉモードメールを選択▶決定を押す

受信箱
題こんにちは
旅行に行ってきました。写真を沢山アップしましたので、音楽とともにお楽しみください。それでは！
♪melody.mid
4.0KB
－END－

メロディのマークとファイル名、ファイルサイズ

<本文の後に表示>

受信箱
08/04/08 14:05
docomo.taro.…
題おはよう
昨日はおつかれさま！またよろしくね。
♪ﾄｯｶｰﾀとﾌｰｶﾞ
0.1KB
－END－

メロディのマークと題名、ファイルサイズ

<本文中に表示>

- 添付されたメロディの状態はマークで確認できます。→p.237「受信したｉモードメールを見る」操作3

3 保存するメロディのファイル名（題名）を選択▶MENU▶「8添付データ確認」▶「2メロディを保存」を押す

題名を入力してください
melody

- 題名を変更するときは、全角25文字、半角50文字以内で入力します。
- メロディを再生するには、再生するメロディを選択▶決定を押します。
  - 再生中に＋－：音量を調節します。

■メロディの題名を確認する：**題名を確認するファイル名（題名）を選択▶MENU▶「8添付データ確認」▶「5題名を確認」を押す**
題名が表示されます。決定を押すと操作2の画面に戻ります。

4 決定を押す

メロディを保存した旨のメッセージが表示されます。決定を押すと受信メール詳細画面に戻ります。

● 「保存した曲を再生する」の「iモード」フォルダに保存されます。→p.352

お知らせ

● iモードメールに添付されたメロディを自動演奏する設定にしている場合（→p.249）、メロディが添付されているメールを表示すると、メロディが自動的に再生されます。再生を止めるときは決定または戻るを押します。
● 本文中に貼り付けられているメロディの題名を確認する場合は、メロディを選択▶メニュー▶「8添付データ確認」▶「4題名を確認」を押します。
● 送信元の端末や受信したメロディによっては、正しく再生できない場合があります。
● 送信メール詳細画面から保存する場合は、保存するメロディのファイル名（題名）を選択▶メニュー▶「7添付データ確認」▶「2メロディを保存」を押します。
● 送信メール詳細画面からも同様にして再生できます。
● メロディの保存領域の空きが足りないときや最大保存件数を超えるときは、不要なメロディを削除するかどうかの確認画面が表示されます。メロディを保存する場合は、画面の指示に従いFOMA端末内のメロディを削除します。
● 本文の文字が誤ってメロディのデータとして認識された場合は、受信メール詳細画面でデータ表示するメロディを選択▶メニュー▶「8添付データ確認」▶「5データ表示あり」を押すと文字として表示できます。データ表示されたメロディの先頭行で決定を押すと、メロディの表示に戻ります。

トルカを表示・保存

● 1Kバイトを超えるトルカや100Kバイトを超えるトルカ（詳細）は表示・保存できません。

1 待受画面で✉▶「1受信したメールを見る」▶フォルダを選択▶決定を押す

受信メール一覧が表示されます。

2 トルカが添付されているiモードメールを選択▶決定を押す

受信箱
To
08/04/08 14:05
docomo.taro.…
こんにちは
昨日のお店のトルカ送るね。
炭火・焼肉レ…
0.2KB
- END -

トルカのマークとファイル名、ファイルサイズ

<全体イメージ>

● 添付されたトルカの状態はマークで確認できます。→p.237「受信したiモードメールを見る」操作3

3 保存するトルカのファイル名を選択▶メニュー▶「8添付データ確認」▶「2トルカを保存」を押す

トルカの保存
インデックス
赤坂
タイトル
炭火・焼肉レストラン　ドコモ亭
赤坂店

■ **トルカを表示する：表示するトルカのファイル名を選択▶メニュー▶「8添付データ確認」▶「1トルカを表示」を押す**
戻るを押すと操作2の画面に戻ります。
- トルカに詳細情報がある場合は「詳細」ボタンが表示されます。「詳細」を選択して決定▶「1接続する」を押すとトルカ（詳細）をダウンロードできます。

■ **トルカの題名を確認する：題名を確認するトルカのファイル名を選択▶メニュー▶「8添付データ確認」▶「5題名を確認」を押す**
題名が表示されます。決定を押すと操作2の画面に戻ります。

4 決定を押す

トルカを保存した旨のメッセージが表示されます。決定を押すと受信メール詳細画面に戻ります。

● 「保存したトルカを見る」の「トルカフォルダ」に保存されます。→p.291

おしらせ

- 送信メール詳細画面からトルカを操作する場合は、操作するトルカのファイル名を選択▶メニュー▶「7添付データ確認」を押します。
- 保存領域の空きが足りないときや最大保存件数を超えるときは、不要なトルカを削除するかどうかの確認画面が表示されます。トルカを保存する場合は、画面の指示に従いFOMA端末内のトルカを削除します。

iモードメールに添付されたデータを削除する

iモードメールに添付されている画像、iモーション、メロディ、トルカ、選択受信添付データを削除します。

- メール本文中に貼り付けられている画像やメロディ、iアプリを連携起動できるリンク項目は削除できません。

〈例〉添付されている画像を削除する

1 **待受画面で✉▶「1受信したメールを見る」▶フォルダを選択▶決定を押す**

受信メール一覧が表示されます。

- 送信メール一覧の表示方法→p.231「未送信／送信したiモードメールを見る」操作1～2

2 **画像が添付されているiモードメールを選択▶決定を押す**

受信メール詳細画面が表示されます。

3 **削除する画像のファイル名を選択▶メニュー▶「8添付データ確認」▶「3 1件削除」または「4全て削除」を押す**

添付データを削除するかどうかの確認画面が表示されます。

- 送信メール詳細画面から操作するときは、削除する画像のファイル名を選択▶メニュー▶「7添付データ確認」▶「3 1件削除」または「4全て削除」を押します。

4 **「1削除する」を押す**

データを削除した旨のメッセージが表示されます。決定を押すと受信メール詳細画面に戻ります。

- 削除した添付データはファイル名が薄く表示されて選択できなくなります。

メール振り分け設定

メールを自動的にフォルダに振り分ける

振り分け条件を設定し、受信または送信したメールを自動的にフォルダに振り分けます。

- 受信メール、送信メールの振り分け条件は、それぞれ30件登録できます。
- フォルダの作成方法→p.261
- 通常のメールをメール連動型iアプリ用のフォルダに振り分けることもできますが、メール連動型iアプリの振り分け条件が優先されます。

自動的に振り分けるかどうかを設定

1 **待受画面で✉▶「8メールを設定する」▶「6メールの振り分けを設定する」を押す**

メールの
自動振り分けを
設定してください

1自動振分け設定
2受信振分け条件
3送信振分け条件

2 **「1自動振分け設定」を押す**

自動振り分けする
メールを
選んでください

1受信メール
振り分ける
2送信メール
振り分ける

3 **「1受信メール」または「2送信メール」を押す**

自動でフォルダに振り分けるかどうかの確認画面が表示されます。

4 「1振り分ける」または「2振り分けない」を押す

自動振り分けを設定／解除した旨のメッセージが表示されます。決定を押すと操作1の画面に戻ります。

振り分け条件を設定

● 送受信済みのメールは振り分けられません。

1 待受画面で✉▶「8メールを設定する」▶「6メールの振り分けを設定する」を押す

メールの
自動振り分けを
設定してください
1自動振分け設定
2受信振分け条件
3送信振分け条件

2 「2受信振分け条件」を押す

受信振り分け条件
01/01件
01 docomo.tar…

● 振り分け条件が1件も登録されていないときは操作3の画面が表示されます。操作4へ進みます。

● マークの意味は次のとおりです。

宛：メールアドレス（送信振り分け条件）
：メールアドレス（受信振り分け条件）
題：題名
No.：電話帳No
：電話帳グループ
：電話帳登録なし
：条件なし

■ 送信メールの条件を設定する：「3送信振分け条件」を押す

3 電話帳を押す

振り分ける条件を
選択してください
1メールアドレス
2題名
3電話帳No
4電話帳グループ
5電話帳登録なし
6条件なし

1**メールアドレス**：指定したメールアドレスのメールを振り分けます。

2**題名**：指定した文字を含む題名のメールを振り分けます。

3**電話帳No**：指定したFOMA端末電話帳のメモリ番号に登録されているメールアドレスまたは電話番号のメールを振り分けます。ｉモードメールでは電話帳のメールアドレス、SMSでは電話帳の電話番号と照合されます。

4**電話帳グループ**：指定した電話帳のグループに登録されているメールアドレスまたは電話番号のメールを振り分けます。

5**電話帳登録なし**：電話帳に登録されていないメールアドレスまたは電話番号のメールを振り分けます。

6**条件なし**：条件を設定しないで、すべてのメールを操作6で指定するフォルダに振り分けます。

4 「1メールアドレス」を押す

入力方法を選ぶ画面が表示されます。

■ **題名で振り分ける**：「2題名」▶題名を入力▶決定を押す

振り分け先フォルダ選択画面が表示されます。操作6に進みます。

• 全角15文字、半角30文字以内で入力します。
• SMSは題名では振り分けられません。

■ **電話帳Noで振り分ける**：

① 「3電話帳No」▶電話帳を検索する

• 検索方法→p.93

② 振り分ける相手を選択▶決定を押す

振り分け先フォルダ選択画面が表示されます。操作6に進みます。

■ 電話帳グループで振り分ける：「4電話帳グループ」▶グループを選択▶決定を押す
振り分け先フォルダ選択画面が表示されます。操作6に進みます。

■ 電話帳に登録されていない相手を振り分ける：「5電話帳登録なし」を押す
振り分け先フォルダ選択画面が表示されます。操作6に進みます。

■ 条件を指定しないで振り分ける：「6条件なし」を押す
振り分け先フォルダ選択画面が表示されます。操作6に進みます。

5 「2直接入力する」▶メールアドレスを入力▶決定を押す

振り分け先フォルダ選択画面が表示されます。

- 半角50文字以内で入力します。英字、数字、記号を入力できます。
- @以降の文字も含めたメールアドレス全体を指定します。
- FOMA 端末と FOMA カードの電話帳に同じメールアドレスを登録して指定した場合は、FOMA端末電話帳のメールアドレスとして振り分けられます。
- 指定するメールアドレスが i モード端末の場合は、ドメイン（@docomo.ne.jp）を省略して指定しても振り分けられます。ただし、「携帯電話番号@docomo.ne.jp」の場合は、ドメイン（@docomo.ne.jp）を除いた携帯電話番号のみを登録してください。
- 電話番号を指定すると、SMSも振り分けられます。

■ 電話帳から選択する：
① 「1電話帳から選択」▶電話帳を検索する
  • 検索方法→p.93
② 振り分ける相手を選択▶決定を押す
  送信する相手のメールアドレスの選択画面が表示されます。
③ メールアドレスを選択▶決定を押す

6 振り分けるフォルダを選択▶決定を押す

受信振り分け条件
01/04件
01 docomo.tar…
02 議事録
03 会社
〈最後に追加〉
選択された条件の前に振り分け条件を設定します

- メール連動型 i アプリ用のフォルダを選択して決定を押すと、設定するかどうかの確認画面が表示されます。「1設定する」を押すと、振り分け先として設定され i アプリで利用されます。

7 優先順位を選択▶決定を押す

振り分け条件を追加した旨のメッセージが表示されます。決定を押すと操作2の画面に戻ります。

- 1件目の振り分け条件を登録する場合は、「〈最後に追加〉」を選択して決定を押します。
- 優先順位の高い条件から順に並びます。
- 自動振分け設定を「振り分けない」に設定している場合は、自動で振り分けるかどうかの確認画面が表示されます。振り分ける場合は、「1振り分ける」を押します。

おしらせ

- 複数の条件を設定すると、優先順位の高い条件から順に判定され、先に条件に合ったフォルダに保存されます。すべての条件に合わなかったメールは、「受信箱」または「送信箱」フォルダに保存されます。
- 受信メールまたは送信メールのフォルダ一覧画面でメニュー▶「7振り分けを設定」を押しても振り分けを設定できます。

振り分け条件の削除・変更

〈例〉削除する

1 **待受画面で[✉]▶「[8]メールを設定する」▶「[6]メールの振り分けを設定する」を押す**

メール振り分け設定画面が表示されます。

2 **「[2]受信振分け条件」を押す**

振り分け条件画面が表示されます。

■ **送信メールの条件を設定する**：「[3]送信振分け条件」を押す

3 **削除する振り分け条件を選択▶[メニュー]▶「[3]削除する」を押す**

削除する振り分け条件の選択画面が表示されます。

■ **条件を変更する**：変更する振り分け条件を選択▶[メニュー]▶「[2]編集する」を押す

- 以降の操作→p.245「振り分け条件を設定」操作4以降

■ **優先順位を変更する**：変更する振り分け条件を選択▶「[4]優先順位を変更」を押す

- 以降の操作→p.246「振り分け条件を設定」操作7

4 **「[1]選択1件」を押す**

条件を削除するかどうかの確認画面が表示されます。

■ **全件削除する**：「[2]全件」▶端末暗証番号を入力▶[決定]を押す

5 **「[1]削除する」を押す**

振り分け条件を削除した旨のメッセージが表示されます。[決定]を押すと振り分け条件一覧画面に戻ります。振り分け条件がなくなったときは、メール振り分け設定画面に戻ります。

お知らせ

- 受信メールまたは送信メールのフォルダ一覧画面で[メニュー]▶「[7]振り分けを設定」を押しても操作できます。

署名設定

ｉモードメールに付ける署名を登録する

- 登録した署名はｉモードメールを送信するときに使用できます。→p.217

1 **待受画面で[✉]▶「[8]メールを設定する」▶「[1]メールに付ける署名を登録する」▶署名を入力する**

- 全角50文字、半角100文字以内で入力します。

2 **[決定]を押す**

署名を登録した旨のメッセージが表示されます。[決定]を押すとメニュー画面に戻ります。

お知らせ

- 署名も本文の文字数に含まれます。

らくらく返信設定

らくらく返信を設定する

ｉモードメールに返信するときに、らくらく返信を使用するかどうかを設定します。

1 **待受画面で[✉]▶「[8]メールを設定する」▶「[4]らくらく返信を設定する」を押す**

らくらく返信を利用するかどうかの確認画面が表示されます。

2 **「[1]利用する」または「[2]利用しない」を押す**

利用する／利用しないを設定した旨のメッセージが表示されます。[決定]を押すとメニュー画面に戻ります。

らくらく返信本文編集

らくらく返信の本文を編集する

らくらく返信の本文を編集して、よく使う文章に変更することができます。

● お買い上げ時は次の例文が登録されています。お買い上げ時に登録されている例文を編集しても、お買い上げ時の内容に戻すことができます。
- 了解しました。
- 今から帰ります。
- 後で連絡します。
- 遅くなります。
- ありがとうございます。
- ごめんなさい。

1 **待受画面で[メール]▶「8メールを設定する」▶「5らくらく返信の本文を編集する」を押す**

らくらく返信本文一覧が表示されます。

2 **編集する本文を選択▶[決定]を押す**

本文内容を編集する画面が表示されます。

● 全角20文字、半角40文字以内で入力します。

■ **らくらく返信の本文を全件お買い上げ時の内容に戻す：**

① **[メニュー]▶「2初期状態に戻す」を押す**
端末暗証番号入力画面が表示されます。

② **端末暗証番号を入力▶[決定]を押す**
本文全てをお買い上げ時の状態に戻すかどうかの確認画面が表示されます。

③ **「1戻す」を押す**
本文全てをお買い上げ時の状態に戻した旨のメッセージが表示されます。[決定]を押すとらくらく返信本文一覧に戻ります。

3 **編集した後に[決定]を押す**

本文を上書きした旨のメッセージが表示されます。[決定]を押すとらくらく返信本文一覧に戻ります。

添付データ受信設定

添付データを自動受信するかどうかを設定する

iモードメールに添付されているデータを種類別に自動受信するかどうかを設定します。

● 自動受信しないように設定したデータは、選択受信添付データとして受信します。→p.239

1 **待受画面で[メニュー]▶「#詳細な機能・設定」▶「5メールの詳細を設定する」▶「2受信する添付種別を選ぶ」を押す**

メールで受信するファイルの種類を選んでください

1 ☑ 画像
2 ☑ メロディ
3 ☑ モーション
4 ☑ トルカ

● 設定状態は次のとおりです。
☑：有効　□：無効

● [メニュー]：すべての項目を有効／無効にします。

2 **「1画像」～「4トルカ」を押す**

☑または□に変わります。

3 **[電話帳]を押す**

ファイルの種類を設定した旨のメッセージが表示されます。[決定]を押すとメニュー画面に戻ります。

お知らせ

● メール本文中に貼り付けられている画像やメロディは、本設定に関わらず自動受信します。

添付されたメロディを自動演奏するかどうかを設定する

メロディが添付されているｉモードメールやメッセージR/Fを表示したときに、メロディを自動的に演奏するかどうかを設定します。

1 **待受画面で(メニュー)▶「#詳細な機能・設定」▶「5メールの詳細を設定する」▶「3添付のメロディを自動演奏する」を押す**

添付されたメロディを自動で演奏するかどうかの確認画面が表示されます。

2 **「1自動演奏する」または「2自動演奏しない」を押す**

自動演奏する／自動演奏しないに設定した旨のメッセージが表示されます。(決定)を押すとメニュー画面に戻ります。

お知らせ

- メロディの添付されたメッセージR/Fが自動表示されたときは、本機能の設定に関わらずメロディは自動的に演奏されません。
- 本機能の設定は、「メッセージのメロディを自動演奏する」の設定にも反映されます。→p.200

緊急速報「エリアメール」とは

気象庁から配信される緊急地震速報などを受信することができるサービスです。

- エリアメールを利用するには受信設定が必要です。→p.250
- ｉモードを契約しなくても、エリアメールの受信ができます。
- 次のような場合は、エリアメールを受信できません。また、受信できなかったエリアメールを後で受信することもできません。
  - おまかせロック中
  - セルフモード中
  - お預かりセンター接続中
  - 国際ローミング中
  - ソフトウェア更新中
- 次のような場合は、エリアメールを受信できないことがあります。また、受信できなかったエリアメールを後で受信することはできません。
  - 音声電話中
  - テレビ電話中
  - ｉモード通信中
  - データ通信中

緊急速報「エリアメール」を受信したときは<エリアメール受信>

- 最大保存件数→p.513

緊急地震速報のエリアメールを受信したときは

(エリアメールアイコン)が点灯し、背面ディスプレイの照明が赤で点滅し、専用のブザー警報音が鳴り、バイブレータが振動し、内容表示画面が表示されます。

- 内容表示画面は、(決定)、(戻る)、(終話)を押すと消去されます。
- ブザー警報音とバイブレータを鳴動させるかどうかや鳴動時間を設定できます（→p.251）。ただし、音量は設定できません。
- バイブレータの動作パターンは、メール・メッセージ受信振動の「メール受信時の振動を選ぶ」に従います（→p.116）。ただし、「振動させない」に設定している場合、バイブレータは「パターンA」で振動します。
- マナーモード中は、マナーモードの設定に従い動作します。

緊急地震速報以外のエリアメールを受信したときは

が点灯し、背面ディスプレイの照明が赤で点滅し、ブザー警告音または専用のエリアメール着信音が鳴り、受信完了画面または内容表示画面が表示されます。

- エリアメール受信時の着信音、受信完了画面または内容表示画面のどちらが表示されるかは配信元の設定によります。
- 内容表示画面は決定、戻る、のいずれかを押すと、受信完了画面は任意のボタンを押すか約15秒間何も操作しないと消えます。
- エリアメール着信音の音量はメール・メッセージ受信音量に従います。→p.115
- エリアメール着信音の鳴動時間はメール・メッセージ着信音の「メール受信時の音を選ぶ」の「鳴らす時間」に従います。→p.113
- バイブレータの動作パターンは、メール・メッセージ受信振動の「メール受信時の振動を選ぶ」に従います。→p.116
- マナーモード中は、マナーモードの設定に従い動作します。

おしらせ

- エリアメールは「受信したメールを見る」内のフォルダに保存されます。
  受信メールの保存領域の空きや最大保存件数に関わらず、エリアメールの最大保存件数を超えるときは、古いエリアメールから順に上書きされます。

緊急速報「エリアメール」の設定を行う<エリアメール設定>

エリアメールを利用するかどうかを設定する<受信設定>

1 **待受画面で▶「0エリアメールを設定する」▶「1エリアメールの利用を設定する」を押す**

エリアメールを利用すると、現在の近隣エリアの緊急地震速報等を受信することができます。
ご注意
（必ずお読み下さい）
エリアメールはドコモが提供する電

2 **「ご注意」を確認▶電話帳を押す**

エリアメール機能を利用するかどうかの確認画面が表示されます。

- 電話帳は「ご注意」の内容をすべて表示させてから押してください。

3 **「1利用する」または「2利用しない」を押す**

受信設定を設定／解除した旨のメッセージが表示されます。決定を押すとメニュー画面に戻ります。

利用するエリアメールを登録／削除する<受信登録>

- 最大20件登録できます。
- 緊急情報を受信する場合には受信登録の必要はありません。

〈例〉登録する

1 **待受画面で▶「0エリアメールを設定する」▶「2エリアメールの受信登録を設定する」を押す**

受信登録一覧
緊急情報
[未登録]
[未登録]
[未登録]
[未登録]
[未登録]
[未登録]
[未登録]
[未登録]
[未登録]

2 **登録する項目を選択▶決定▶端末暗証番号を入力▶決定を押す**

エリアメールの
受信登録を
設定してください
1エリアメール名
2Message ID
未設定

■ **編集する**：

① **編集する登録名を選択▶メニュー▶「1編集する」を押す**
端末暗証番号入力画面が表示されます。

② **端末暗証番号を入力▶決定を押す**
操作2の画面が表示されます。

■ 削除する：

① 削除する登録名を選択▶(メニュー)▶「2削除する」を押す

端末暗証番号入力画面が表示されます。

② 端末暗証番号入力▶(決定)を押す

削除した旨のメッセージが表示されます。(決定)を押すと受信登録一覧に戻ります。

3 「1エリアメール名」▶任意のエリアメール名を入力▶(決定)を押す

操作2の画面に戻ります。

● 15文字以内で入力します。

4 「2Message ID」▶4桁のMessage IDを入力▶(決定)を押す

操作2の画面に戻ります。

● 緊急速報以外のエリアメールを受信するにはサービス提供者から付与されるMessage IDの入力が必要です。

5 (電話帳)を押す

受信登録を設定した旨のメッセージが表示されます。(決定)を押すと操作1の画面に戻ります。

ブザー音を設定する<ブザー鳴動設定>

1 待受画面で(メール)▶「0エリアメールを設定する」▶「3エリアメールのブザーを設定する」を押す

エリアメールの
ブザー音を
設定してください
1ブザー音設定
従う
2鳴らす時間
10秒

2 「1ブザー音設定」を押す

指定したブザー音に従うかどうかの確認画面が表示されます。

3 「1従う」を押す

● 「2従わない」：エリアメールを受信すると、エリアメール着信音が鳴ります。操作5へ進みます。

4 ブザーを鳴らす時間を入力▶(決定)を押す

● 1～30秒の範囲で設定します。

5 (電話帳)を押す

ブザー鳴動設定を設定した旨のメッセージが表示されます。(決定)を押すとメニュー画面に戻ります。

SMS作成・送信

SMSを作成して送信する

携帯電話番号を宛先にして文字メッセージを送信します。

● ドコモ以外の海外通信事業者をご利用のお客様との間でも、送受信できます。ご利用可能な国・海外通信事業者については、ドコモのホームページをご覧ください。

1 待受画面で(メール)▶「9SMSを使う」▶「1SMSを作る」を押す

ﾒｯｾｰｼﾞ作成:新規
宛先:
本文:
送信する

<SMS作成画面>

2 宛先欄を選択▶(決定)を押す

宛先を
選んでください
1電話帳から選ぶ
2直接入力する

■ ワンタッチダイヤルボタンから宛先を選択する：宛先欄を選択▶ワンタッチダイヤルボタン(1)～(3)のいずれかを押す

ワンタッチダイヤルに登録した名前が宛先欄に入力されます。操作4に進みます。

• ワンタッチダイヤルにはあらかじめ登録しておく必要があります。→p.101

• すでに宛先が入力された宛先欄を選択して操作すると、上書きするかどうかの確認画面が表示されます。上書きするときは「1上書きする」を押します。

3 「2直接入力する」▶宛先を入力▶決定を押す

操作1の画面に戻ります。

- 半角数字20文字以内で入力して送信します。
- 宛先がドコモ以外の海外通信事業者の場合は、「+」を含めた21文字まで入力して送信できます。
- 宛先がドコモ以外の海外通信事業者の場合は、「+」（0わをんを1秒以上押す）「国番号」「相手の携帯電話番号」の順で入力するか、または「010」「国番号」「相手の携帯電話番号」の順で入力します（受信した海外からのSMSに返信する場合も、「+」または「010」を入力します）。携帯電話番号が「0」で始まる場合は「0」を除いて入力します。

■ 電話帳から選択する：

① 「1電話帳から選ぶ」▶電話帳を検索する
- 検索方法→p.93

② 送信する相手を選択▶決定を押す
送信する相手の電話番号の選択画面が表示されます。

③ 電話番号を選択▶決定を押す
操作1の画面に戻ります。電話帳に登録した名前が宛先欄に入力されています。

4 本文欄を選択▶決定▶本文を入力▶決定を押す

操作1の画面に戻ります。

- SMS設定の送信文字種（→p.260）を「日本語」に設定した場合は、70文字以内で入力します。「英語」に設定した場合は、半角の英数字と記号160文字以内で入力します（｀。「」、・゛゜を除く）。
- #マナー：文中で改行することができます（半角数字入力モード時を除く）。ただし、受信側の端末によっては空白に置き換わって表示されます。改行も本文の文字数に含まれます。
- SMS設定の送信文字種（→p.260）を日本語に設定した場合は、音声で文字入力できます。→p.414

5 「送信する」を選択▶決定を押す

SMSが送信されます。
送信が終了すると、送信した旨のメッセージが表示されます。決定を押すとメニュー画面に戻ります。

お知らせ

- 発信者番号通知を「通知しない」に設定していても、SMS送信時は送信先に発信者番号が通知されます。
- 未送信メールの保存領域の空きが足りないときや最大保存件数を超えるときは、SMSを作成できない旨のメッセージが表示され、SMSを作成できません。「未送信のメールを見る」から不要なiモードメール、SMSを削除してください。→p.262
- 送信文字種が日本語の場合は、半角カタカナを使うと、受信側に正しく表示されない場合があります。絵文字を使うと💔は♥に、☎以外の絵文字は空白に置き換わって表示されます。
- 送信文字種が英語の場合は、記号（｜＾{}[]～¥）を入力すると送信できる文字数が少なくなります。また、記号（｀）は入力できますが、送信すると受信側で空白に置き換わって表示されます。
- 電波状態や送信する文字の種類、相手の端末によっては、相手に文字が正しく表示されない場合があります。
- 送信文字種や送達通知を受け取るかどうかは、あらかじめSMS設定で設定します。→p.260
- SMS作成画面で送達通知を受け取るかどうかを設定する場合は、メニュー▶「4SMS送達通知」を押します。ただし、この場合は作成中のSMSにのみ設定が有効になります。
- 送信が正常に終了したときは、SMSが「送信したメールを見る」（→p.253）に保存されます。送信メールの保存領域の空きが足りないときや最大保存件数を超えるときは、古い送信メールから順に上書きされます。ただし、保護されている送信メールには上書きされません。残しておきたい送信メールは保護してください。→p.263
- 送信に失敗したときはエラーメッセージが表示され、SMSが「未送信のメールを見る」に保存されます。「未送信のメールを見る」からSMSを編集して送信できます。→p.253

SMS保存

作成中のSMSを保存しておき、あとで送信する

作成中のSMSを送信せずに保存したり、保存したSMSを再編集して送信したりできます。

作成中のSMSの保存

作成途中のSMSを、送信せずに保存しておきます。
- 宛先、本文のどちらかを入力すると保存できます。
- 最大保存件数→p.513

1 SMSを作成する
- 操作方法→p.251「SMSを作成して送信する」操作1～4

2 [メニュー]▶「2保存する」を押す

メールを保存した旨のメッセージが表示されます。[決定]を押すとメニュー画面に戻ります。
- SMSが「未送信のメールを見る」に保存されます。→p.253

送信・保存したSMSの編集・送信

送信したSMSや、送信せずに保存したり送信に失敗したりしたSMSを編集して送信できます。

〈例〉未送信SMSを再編集する

1 待受画面で[✉]▶「4未送信のメールを見る」▶フォルダを選択▶[決定]を押す

未送信メール一覧が表示されます。
- 送信メール一覧の表示方法→p.231「未送信／送信したiモードメールを見る」操作1～2
- SMSは[SMSアイコン]が表示されます。

2 編集するSMSを選択▶[決定]を押す

メッセージ作成:編集
宛先:090XXXXXXX
本文:おひさしぶ
送信する

- 送信したSMSを再編集するときは、編集するSMSを選択▶[電話帳]を押します。
- 以降の操作→p.251「SMSを作成して送信する」操作2以降

未送信／送信メール

未送信／送信したSMSを見る

〈例〉送信したSMSを見る

1 待受画面で[✉]▶「5送信したメールを見る」を押す

送信メール
保護001/005件
送信箱
会社
友達

保護メール件数／全メール件数

- 未送信メールを表示する場合は、待受画面で[✉]▶「4未送信のメールを見る」を押します。
- フォルダの状態をマークで確認できます。→p.231「未送信／送信したiモードメールを見る」操作1

2 フォルダを選択▶決定を押す

送信箱	フォルダ名
001/005件	メール番号／フォルダ内件数
14:05 090XXX… / 待ち合わせの…	送信日時（送信当日：時刻　当日以外：日付）、宛先 / 本文の先頭
04/07 docomo… 電話ください 04/06 docomo… おはようござ… 04/05 docomo… おつかれさま	

- SMSは が表示されます。
- 宛先を電話帳に登録しているときは、名前が表示されます。→p.86
- メールの状態をマークで確認できます。→p.231 「未送信／送信したｉモードメールを見る」操作2

3 表示するSMSを選択▶決定を押す

送信箱
001/005件 — 状態マーク、SMSマーク、メール番号／フォルダ内件数
08/04/08 14:05
宛 090XXXXXXXX
題 送信SMS
待ち合わせの場所につきました。連絡待ってます。
－ END －

<送信SMS詳細画面>

- 未送信SMSではSMS編集画面が表示されます。→p.253
- ：前後のSMS／メールを表示できます。
- SMS詳細画面は、次のマークで確認できます。

マーク	説　明
🕒	送信した日時
宛	送信先の電話番号または電話帳に登録した名前
題	題名「送信SMS」

- 海外滞在時（GMT+09:00 を除く）に保存、送信した SMS は日時の後ろに が表示される場合があります。

SMS受信

SMSを受信したときは

SMSが送られてきたときは自動的に受信し、画面表示や着信音、バイブレータ、背面ディスプレイの照明でお知らせします。受信したSMSは「受信したメールを見る」に保存されます。

- 最大保存件数→p.513

1 SMSを受信する

が点滅し、 が表示されます。

- メッセージ受信中に を押すと受信を中止できますが、受信中の状況によってはSMSを受信する場合があります。
- FOMA端末を閉じているときは、背面ディスプレイに「メッセージ受信中」が表示されます。受信が完了するとメールありが表示されます。

2 SMSの受信結果が表示される

メール着信音が鳴り、背面ディスプレイの照明が点滅します。

- 受信結果画面が表示されてから約 15 秒間、またはメール着信音が鳴り終わるまでの間（鳴らす時間を15秒以上に設定している場合）何も操作しないと、自動的に受信前の画面に戻ります。
- すぐに受信前の画面に戻すときは戻るを押します。

メール

● 受信メール一覧を表示するか待受画面に戻ると が消えます。

■ **受信したSMSをすぐに確認する**：
「1メール」を押す
受信メールのフォルダ一覧が表示されます。→p.255

■ **受信に失敗した**：
「1メール」の後ろに「×」が表示されます。
- SMSを受信し直すには、SMS問合せを行ってください。→p.255

おしらせ

● SMSを受信したときは、メール受信時の動作に設定した着信音の優先順位に従い動作します。
SMSを受信したときの着信音設定の優先順位 →p.113
複数のｉモードメールやSMS、メッセージR/Fを同時に受信したときは、最後に受信したｉモードメールやSMS、メッセージR/Fに設定した条件に従い動作します。

● 受信メールの保存領域の空きが足りないときや最大保存件数を超えるときは、保護されていない未読以外の古い受信メールから順に上書きされます。残しておきたい受信メールは保護してください。→p.263
未読メールと保護されているメールで保存領域が満杯で上書きできないときは、SMSの受信は中止され、画面には（赤）やのマークが表示されます。受信する場合は、未読の受信メールを表示（→p.236）したり、不要な受信メールの保護を解除（→p.263）したりしてください。

● FOMAカードにSMSが20件（送達通知を除く）保存されているときは、「受信したメールを見る」に空きがあってもSMSを受信できない場合があり、画面にはやのマークが表示されます。FOMA端末本体に移動するか、FOMAカードのSMSを削除してください。→p.259

● 待受画面／メニュー画面以外（他の機能が起動中）のときや個人情報表示制限中は、SMSを自動受信しますが、受信中画面や受信結果画面は表示されず、着信音と背面ディスプレイの照明も動作しません。受信したSMSを確認するには、他の機能を終了／制限を解除してください。

● ｉモードメール、メッセージR/F、エリアメール受信中は、SMSを自動受信しません。ｉモードメール、メッセージR/F、エリアメールの受信完了後にSMS問合せを行ってください。→p.255

● FOMA端末でSMSを受信すると、SMSセンターに保管されているSMSは削除されます。

SMS問合せ

SMSがあるかどうかを問い合わせる

圏外にいた間や電源を切っていた間などにSMSが届いていないかを問い合わせます。

● 電波状態によってはSMS問合せができない場合があります。

1 **待受画面で[メール]▶「9SMSを使う」▶「2届いているSMSを全部受信する」を押す**

SMS問合せが実行されます。SMSセンターにSMSが保管されていれば受信します。

● SMS問合せ中やSMS受信中に[終話]を押すと、問い合わせを中止できますが、問い合わせの状況によってはSMSを受信する場合があります。

おしらせ

● 受信するまでに時間がかかる場合があります。

受信SMS

受信したSMSを見る

1 **待受画面で[メール]▶「1受信したメールを見る」を押す**

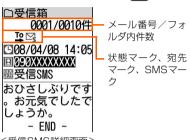
受信メール
未読0001/0010件 — 未読メール件数／全メール件数
受信箱
会社
友達

● フォルダの状態をマークで確認できます。→p.236「受信したｉモードメールを見る」操作1

2 **フォルダを選択▶[決定]を押す**

受信箱 — フォルダ名
0001/0010件 — メール番号／フォルダ内件数
14:05 090XXX…
待ち合わせの… — 受信日時（受信当日：時刻　当日以外：日付）、送信元、本文の先頭
04/07 docomo…
電話ください
04/06 docomo…
急用ができま…
04/05 docomo…
おつかれさま

● SMS は✉が表示されます（情報通知SMSを除く）。
● 送信元を電話帳に登録しているときは、名前が表示されます。→p.86
● メールの状態をマークで確認できます。→p.236「受信した i モードメールを見る」操作2

3 **表示するSMSを選択▶[決定]を押す**

<受信SMS詳細画面>

● [✉][i]：すべて表示されていない場合は、画面をスクロールできます。
● [←][→]：前後のSMS／メールを表示できます。
● SMS詳細画面は、次のマークで確認できます。

マーク	説　明
✉	情報通知SMS
🕒	受信した日時
📇	送信元の電話番号または電話帳に登録した名前
✕↩	送信元（返信不可）
題	題名「受信SMS」

● 海外滞在時（GMT+09:00 を除く）に受信したSMSは受信日時の後ろに🌐が表示される場合があります。

お知らせ

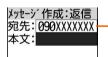
● 受信した情報通知SMSの発信元、題名は次のように表示されます。

項　目	題　名	送信元
送達通知	SMS送達通知	SMS Center
着信通知	留守番　着信通知	DoCoMo SMS
伝言通知	留守番　テレビ電話	DoCoMo MSG

● 受信したSMSに、区点コード一覧に記載されていない全角文字（ラテン文字やギリシャ文字などの特殊文字）は、空白で表示されます。
● ドコモ以外の海外通信事業者からSMSを受信した場合は、送信元のアドレスに自動的に「＋」が付きます。電話帳に「＋」を付けて登録していると、電話帳で登録している名前が表示されます。
● スキャン機能設定（→p.508）のメッセージスキャンを「有効にする」に設定しているときに、電話番号やURLの記載が含まれているSMSを表示しようとすると、注意する旨のメッセージが表示されます。[電話帳]▶「[1]続ける」を押すと、SMS詳細画面が表示されます。

SMS返信

SMSに返事を出す

● 送信元に「非通知設定」「公衆電話」「通知不可能」や✕↩のマークが表示される受信SMSには返信できません。

1 **待受画面で[✉]▶「[1]受信したメールを見る」▶フォルダを選択▶[決定]を押す**

受信メール一覧が表示されます。

2 **返信するSMSを選択▶[電話帳]を押す**

● 以降の操作→p.252「SMSを作成して送信する」操作4以降

● 返信すると、受信SMSの状態マークが、表示なし（既読）／✉／🔑から↩／✉／🔑に変わります。→p.236「受信したｉモードメールを見る」操作2

おしらせ

● 返信するSMSには受信SMSの本文は引用されません。
● FOMAカード内のSMSから返信した場合、送信したSMSは本体の「送信したメールを見る」に保存されます。→p.253

SMS転送

SMSを他の宛先に転送する

● SMSで転送されます。

1 待受画面で［✉］▶「1受信したメールを見る」▶フォルダを選択▶［決定］を押す

受信メール一覧が表示されます。

2 転送するSMSを選択▶［メニュー］▶「2転送する」を押す

メッセージ作成：転送
宛先：
本文：今日は良い
送信する

受信SMSの本文が入力されます。

● 以降の操作→p.251「SMSを作成して送信する」操作2以降
● 転送すると、受信SMSの状態マークが、表示なし（既読）／✉／🔑から➡／✉／🔑に変わります。→p.236「受信したｉモードメールを見る」操作2

おしらせ

● FOMAカード内のSMSから転送した場合、送信したSMSは本体の「送信したメールを見る」に保存されます。→p.253

SMSをFOMAカードに保存する

送受信したSMSを、FOMA端末本体から移動またはコピーしてFOMAカードに保存できます。

FOMA端末内SMSのFOMAカードへの移動／コピー

FOMA端末本体に保存しているSMSを、FOMAカードに移動またはコピーします。

● 「未送信のメールを見る」のSMSは、FOMAカードに保存できません。
● 送信SMSを移動／コピーすると、対応する送達通知が同時にFOMAカードの「FOMAカードの受信SMSを見る」に移動／コピーされます。送達通知だけを移動／コピーすることはできません。
● 最大保存件数→p.513

〈例〉受信SMSをFOMAカードに移動／コピーする

1 待受画面で［✉］▶「1受信したメールを見る」▶フォルダを選択▶［決定］を押す

受信メール一覧が表示されます。

● 送信メール一覧の表示方法→p.231「未送信／送信したｉモードメールを見る」操作1～2

2 移動／コピーするSMSを選択▶［メニュー］▶「6FOMAカードへ保存」を押す

FOMAカードへの保存方法を選択する画面が表示されます。

● 送信メール一覧から操作するときは、移動／コピーするSMSを選択▶［メニュー］▶「5FOMAカードへ保存」を押します。

3 「1移動する」または「2コピーする」を押す

移動またはコピーするかどうかの確認画面が表示されます。

4 「1移動する」または「1コピーする」を押す

メッセージを移動またはコピーした旨のメッセージが表示されます。決定を押すと受信メール一覧に戻ります。

おしらせ

- FOMAカードの最大保存件数を超えるときは移動／コピーできません。FOMAカードから不要なSMSを削除してください。→p.259
- 受信SMS詳細画面、送信SMS詳細画面からも同様にしてFOMAカードへ移動やコピーができます。
- 保護したSMSをFOMAカード内に移動やコピーをすると、移動先やコピー先でSMSの保護は解除されます。

FOMAカード内SMSの表示

FOMAカードに保存されているSMSを表示します。

〈例〉受信SMSを表示する

1 待受画面で✉▶「9SMSを使う」▶「4FOMAカードの受信SMSを見る」を押す

FOMAｶｰﾄﾞ受信SMS
001/005件
14:05 090XXX…
来週金曜の生…
✉07:37 090XXX…
明日の夕方ま…
✉07:37 SMS Ce…
SMS送達通知
04/05 090XXX…
おつかれさま

メッセージ番号／全メッセージ件数

受信日時※（受信当日：時刻　当日以外：日付）、送信元または宛先
本文の先頭
※ 送信SMSは、送信日時が表示されません（送達通知のある送信SMSを除く）。

- 送信SMSを表示するときは、待受画面で✉▶「9SMSを使う」▶「5FOMAカードの送信SMSを見る」を押します。
- 送信元または宛先を電話帳に登録しているときは、名前が表示されます。→p.86
- SMSの状態は、次のマークで確認できます。

マーク	説　明
✉	未読SMS
表示なし	既読SMS
[アイコン]	未読SMS（返信不可）
[アイコン]	既読SMS（返信不可）
[アイコン]	情報通知SMS
[アイコン]	SMS違反

- 海外滞在時（GMT+09:00を除く）に受信したSMSは受信日時の後ろに[アイコン]が表示される場合があります。

2 表示するSMSを選択▶決定を押す

FOMAｶｰﾄﾞ受信SMS
01/05件
08/04/08 14:05
090XXXXXXXX
受信SMS
来週金曜の正午に駅交番前で待ち合わせしましょう。
－ END －

メッセージ番号／全メッセージ件数

- ✉[アイコン]：すべて表示されていない場合は、画面をスクロールできます。
- [アイコン][アイコン]：前後のメールを表示できます。
- SMS詳細画面は、次のマークで確認できます。

マーク	説　明
[アイコン]	受信SMS
[アイコン]	受信SMS（返信不可）
[アイコン]	送信SMS
[アイコン]	情報通知SMS
[アイコン]	FOMAカード内のSMS

・上記以外のマーク→p.254「未送信／送信したSMSを見る」操作3、p.256「受信したSMSを見る」操作3

おしらせ

- 情報通知SMSの表示について→p.256「受信したSMSを見る」のお知らせ
- FOMAカード内のSMSからも、返信／転送、電話帳登録などの操作ができます。操作方法は本体に保存されているSMSと同様です。→p.256、p.257、p.267

FOMAカード内SMSのFOMA端末本体への移動／コピー

FOMAカードに保存されているSMSを、FOMA端末本体の「受信したメールを見る」、「送信したメールを見る」に移動またはコピーします。

● 送信SMSを移動／コピーすると、対応する送達通知が同時に「受信したメールを見る」に移動／コピーされます。送達通知だけを移動／コピーすることはできません。

〈例〉受信SMSをFOMA端末本体に移動／コピーする

1 待受画面で[✉]▶「9 SMSを使う」▶「4 FOMAカードの受信SMSを見る」を押す

受信SMS一覧が表示されます。

● 送信SMSを移動／コピーするときは、待受画面で[✉]▶「9 SMSを使う」▶「5 FOMAカードの送信SMSを見る」を押します。

2 移動／コピーするSMSを選択▶[メニュー]▶「4 本体へ保存」を押す

本体への保存方法を選択する画面が表示されます。

● 送信SMS一覧から操作するときは、移動／コピーするSMSを選択▶[メニュー]▶「3 本体へ保存」を押します。

3 「1 移動する」または「2 コピーする」を押す

移動またはコピー先を選択する画面が表示されます。

4 移動先またはコピー先のフォルダを選択▶[決定]を押す

メッセージを移動またはコピーした旨のメッセージが表示されます。[決定]を押すと受信SMS一覧に戻ります。

● メール連動型iアプリ用のフォルダの場合は、移動またはコピーするかどうかの確認画面が表示されます。「1 移動する」または「1 コピーする」を押すと、移動／コピーされ、iアプリで利用されます。

おしらせ

● 受信メールまたは送信メールの保存領域の空きが足りないときや最大保存件数を超えるときは、移動／コピーできません。保護されていないSMSやiモードメールがあっても上書きされません。

● 受信SMS詳細画面、送信SMS詳細画面からも同様にして、本体へ移動やコピーができます。

FOMAカード内SMSの削除

FOMAカードに保存しているSMSを1件ずつ削除したり、まとめて削除したり、送達通知だけをまとめて削除できます。

● 送信SMSを削除した場合、対応する送達通知がFOMAカード内にあれば、同時に削除されます。

〈例〉受信SMSを1件削除する

1 待受画面で[✉]▶「9 SMSを使う」▶「4 FOMAカードの受信SMSを見る」を押す

受信SMS一覧が表示されます。

● 送信SMSを削除するときは、待受画面で[✉]▶「9 SMSを使う」▶「5 FOMAカードの送信SMSを見る」を押します。

2 削除するSMSを選択▶[メニュー]▶「3 削除する」を押す

削除するﾒｯｾｰｼﾞを
選んでください

1 選択1件
2 FOMAｶｰﾄﾞ内全件
3 送達通知全件

● 送信SMS一覧から操作するときは、削除するSMSを選択▶[メニュー]▶「2 削除する」を押します。

3 「1 選択1件」を押す

メッセージを削除するかどうかの確認画面が表示されます。

■ **FOMAカード内のメッセージを全件削除する**：「2 FOMAカード内全件」▶暗証番号を入力▶[決定]を押す

■ FOMAカード内の送達通知を全件削除する：「3送達通知全件」▶暗証番号を入力▶決定を押す
- 受信SMSのみ操作できます。

4 「1削除する」を押す

メッセージを削除した旨のメッセージが表示されます。決定を押すと受信SMS一覧に戻ります。

● メッセージがなくなった場合は、メッセージがない旨のメッセージが表示されます。決定を押すとメニュー画面に戻ります。

おしらせ

● 受信SMS詳細画面、送信SMS詳細画面から削除する場合は、メニュー▶「削除する」を選択▶決定▶「1削除する」を押します。

SMS設定

SMSの設定をする

SMSを利用する際の各種条件を設定します。

通常はSMSC、アドレス、Type of Numberの設定を変更する必要はありません。

1 待受画面で✉▶「9SMSを使う」▶「3SMSを設定する」を押す

SMSを
設定してください
1送信文字種
日本語
2送達通知
要求しない
3有効期間
3日

1**送信文字種**：日本語のメッセージを送信するか、英語のメッセージを送信するかを選択します。送信文字種により送信できる文字数が異なります。

2**送達通知**：SMSを送信する際に、相手に届いたことを知らせる送達通知の配信を要求するかどうかを設定します。

3**有効期間**：送信したSMSを相手が受け取れないときに、SMSセンターで保管する期間を選択します。

2 「1送信文字種」～「3有効期間」のいずれかを押す

■ 送信文字種を設定する：「1送信文字種」▶「1日本語」または「2英語」を押す

■ 送達通知を設定する：「2送達通知」▶「1要求する」または「2要求しない」を押す

■ 有効期間を設定する：「3有効期間」▶「10日」～「43日」のいずれかを押す
- 「0日」に設定すると、一定時間再送された後、削除されます。

■ ドコモ以外のSMSサービスを受ける：
① メニューを押す

変更する項目を
選んでください
1SMSC
ドコモ
2アドレス
81903101652
3Type of Number
international

② 「1SMSC」▶「2その他」を押す
- 「1ドコモ」：ドコモからSMSサービスを受ける場合に設定します。

③ 「2アドレス」▶アドレスを入力▶決定を押す
- 半角数字20文字以内で入力します。

④ 「3Type of Number」▶「1international」または「2unknown」を押す
- SMSCで「その他」を設定し、かつアドレスを設定した場合は、Type of Numberを「unknown」に設定する必要があります。

3 設定した後に電話帳を押す

SMSを設定した旨のメッセージが表示されます。決定を押すとメニュー画面に戻ります。

おしらせ

● 送達通知を「要求する」に設定して送信した場合は、SMSが相手のFOMA端末に届いたことを知らせる送達通知が送られてきます。送達通知は「受信したメールを見る」に保存されます。→p.255

● 送信文字種、有効期間、SMSC、Type of Numberの設定は、FOMAカードに保存されます。

メールを管理する

FOMA端末には、メールをより使いやすくするためのさまざまな管理機能があります。

メールのフォルダ作成

- 「受信したメールを見る」では「受信箱」フォルダとメール連動型ｉアプリ用のフォルダ以外に最大40個、「送信したメールを見る」では「送信箱」フォルダとメール連動型ｉアプリ用のフォルダ以外に最大20個、「未送信のメールを見る」では「未送信箱」フォルダとメール連動型ｉアプリ用のフォルダ以外に最大20個作成できます。

〈例〉受信メールのフォルダを追加する

1 **待受画面で［✉］▶「［1］受信したメールを見る」を押す**

フォルダ一覧が表示されます。
- 未送信／送信メール一覧の表示方法
→p.231「未送信／送信したｉモードメールを見る」操作1

2 **［メニュー］▶「［1］フォルダを追加」▶フォルダ名を入力する**

フォルダ名を
入力してください
マイフォルダ▌◁

- 全角7文字、半角14文字以内で入力します。

■ フォルダ名を変更する：**フォルダ名を変更するフォルダを選択▶［メニュー］▶「［3］フォルダ名変更」▶フォルダ名を入力する**
・「受信箱」「送信箱」「未送信箱」フォルダとメール連動型ｉアプリ用フォルダのフォルダ名は変更できません。

3 **［決定］を押す**

フォルダを追加した旨のメッセージが表示されます。［決定］を押すとフォルダ一覧に戻ります。

メールのフォルダ削除

- 「受信箱」「送信箱」「未送信箱」フォルダは削除できません。
- 保護されているメールがあるフォルダは削除できません。保護を解除してからフォルダを削除してください。
- メール連動型ｉアプリ用のフォルダは、そのフォルダに対応するｉアプリがあるときは削除できません。

〈例〉受信メールのフォルダを削除する

1 **待受画面で［✉］▶「［1］受信したメールを見る」を押す**

フォルダ一覧が表示されます。
- 未送信／送信メール一覧の表示方法
→p.231「未送信／送信したｉモードメールを見る」操作1

2 **削除するフォルダを選択▶［メニュー］▶「［2］フォルダを削除」を押す**

フォルダとフォルダ内の全てのメールを削除するかどうかの確認画面が表示されます。
- フォルダ内にメールが残ったままフォルダを削除するときは、端末暗証番号を入力▶［決定］を押します。

3 **「［1］削除する」を押す**

フォルダを削除した旨のメッセージが表示されます。［決定］を押すとフォルダ一覧に戻ります。

他のフォルダへのメール移動

〈例〉受信メールを他のフォルダに移動する

1 **待受画面で［✉］▶「［1］受信したメールを見る」▶フォルダを選択▶［決定］を押す**

受信メール一覧が表示されます。
- 未送信／送信メール一覧の表示方法
→p.231「未送信／送信したｉモードメールを見る」操作1～2

2 移動するメールを選択▶ メニュー ▶「5フォルダを移動」を押す

移動先フォルダ選択画面が表示されます。

- 送信メール一覧から操作するときは、移動するメールを選択▶ メニュー ▶「4フォルダを移動」を押します。

3 移動先のフォルダを選択▶ 決定 を押す

メールを移動した旨のメッセージが表示されます。決定 を押すと受信メール一覧に戻ります。

- メール連動型ｉアプリ用のフォルダの場合は、移動するかどうかの確認画面が表示されます。移動する場合は「1移動する」を押します。移動したメールはｉアプリで利用されます。

メールの保存件数の確認

フォルダごとにメールが何件保存されているかを確認します。

〈例〉受信メールの保存件数を確認する

1 待受画面で ✉ ▶「1受信したメールを見る」を押す

フォルダ一覧が表示されます。

- 未送信／送信メール一覧の表示方法 →p.231「未送信／送信したｉモードメールを見る」操作1

2 件数を確認するフォルダを選択▶ メニュー ▶「5メール件数確認」を押す

フォルダ内メール件数
モード・メール・SMS
未読　0件
既読　5件
保護　2件

エリアメール
未読　0件
既読　2件

3 確認が終わったら 決定 を押す

フォルダ一覧に戻ります。

メールの削除

「受信したメールを見る」「未送信のメールを見る」「送信したメールを見る」から不要なメールを削除します。

- 保護されているメールは削除できません。まとめて削除する場合でも、保護されているメールは削除されずに残ります。保護を解除してから削除してください。

受信メールを削除する

〈例〉受信メールを１件削除する

1 待受画面で ✉ ▶「1受信したメールを見る」を押す

フォルダ一覧が表示されます。

2 フォルダを選択▶ 決定 を押す

受信メール一覧が表示されます。

■ **受信メールを全件削除する**： メニュー ▶「4メールを削除」▶「3受信メール全件」▶端末暗証番号を入力▶ 決定 を押す

全てのメールを削除するかどうかの確認画面が表示されます。操作5に進みます。

3 削除するメールを選択▶ メニュー ▶「3削除する」を押す

削除するメールを
選んでください
1選択１件
2フォルダ内既読
3フォルダ内全件

4 「1選択1件」を押す

メールを削除するかどうかの確認画面が表示されます。

■ **フォルダ内の既読メールを削除する**：「2フォルダ内既読」を押す

■ **フォルダ内のメールを全件削除する**：「3フォルダ内全件」▶端末暗証番号を入力▶ 決定 を押す

5 「1削除する」を押す

メールを削除した旨のメッセージが表示されます。決定 を押すと受信メール一覧に戻ります。

● 受信メールがなくなった場合は、受信メールがない旨のメッセージが表示されます。決定を押すと、受信メールのフォルダ一覧に戻ります。

未送信／送信したメールを削除する

〈例〉送信メールを1件削除する

1 待受画面で✉▶「5送信したメールを見る」を押す

フォルダ一覧が表示されます。

● 未送信メールを削除するときは、待受画面で✉▶「4未送信のメールを見る」を押します。

2 フォルダを選択▶決定を押す

送信メール一覧が表示されます。

■ **メールを全件削除する：メニュー▶「4メールを削除」▶「2送信メール全件」または「2未送信メール全件」▶端末暗証番号を入力▶決定を押す**

全てのメールを削除するかどうかの確認画面が表示されます。操作5に進みます。

3 削除するメールを選択▶メニュー▶「2削除する」を押す

削除するメールを
選んでください
1選択1件
2フォルダ内全件

● 未送信メール一覧から操作するときは、削除するメールを選択▶メニュー▶「3削除する」を押します。

4 「1選択1件」を押す

メールを削除するかどうかの確認画面が表示されます。

■ **フォルダ内のメールを全件削除する：「2フォルダ内全件」▶端末暗証番号を入力▶決定を押す**

5 「1削除する」を押す

メールを削除した旨のメッセージが表示されます。決定を押すと送信メール一覧に戻ります。

● 送信／未送信メールがなくなった場合は、送信／未送信メールがない旨のメッセージが表示されます。決定を押すと、送信／未送信メールのフォルダ一覧に戻ります。

メールの保護／解除

受信メール、送信メール、未送信メールを誤って削除したり、保存領域の空きがなくなって上書きされないように、メールを保護します。

● 未読メール、エリアメールは保護できません。

● 最大保護件数→p.513

〈例〉受信メールを保護する

1 待受画面で✉▶「1受信したメールを見る」▶フォルダを選択▶決定を押す

受信メール一覧が表示されます。

● 未送信／送信メール一覧の表示方法
→p.231「未送信／送信したｉモードメールを見る」操作1～2

2 保護するメールを選択▶メニュー▶「4保護／解除する」を押す

保護または保護を
解除するメールを
選んでください
1選択1件保護
2全件保護
3選択1件解除
4全件解除

● 送信メール一覧から操作するときは、保護するメールを選択▶メニュー▶「3保護／解除する」を押します。

■ **保護を解除する：**

① **保護を解除するメールを選択▶メニュー▶「4保護／解除する」を押す**
- 送信メール一覧から操作するときは、保護を解除するメールを選択▶メニュー▶「3保護／解除する」を押します。

② **「3選択1件解除」を押す**
- 保護を全件解除するときは、「4全件解除」を押します。

3 「1選択1件保護」または「2全件保護」を押す

メールが保護されます。

- メールを保護すると状態マークが次のいずれかに変わります。
  受信メール：(既読)、(返信不可)、(返信済み)、(転送済み)
  未送信メール：
  送信メール：

おしらせ

- メール詳細画面から保護する場合は、メニュー▶「保護する」を選択▶決定を押します。保護を解除する場合は、メニュー▶「保護を解除」を選択▶決定を押します。
- 全件保護の途中で最大保護件数を超える場合は、日時が新しいメールから順に、最大保護件数に達するまで保護されます。

メール一覧の並び順変更

「受信したメールを見る」「送信したメールを見る」のメール一覧の並び順（「日付順」）を一時的に並べ替えます。

〈例〉受信メール一覧を並べ替える

1 待受画面で▶「1受信したメールを見る」▶フォルダを選択▶決定を押す

受信メール一覧が表示されます。

- 送信メール一覧の表示方法→p.231「未送信／送信したｉモードメールを見る」操作1〜2

2 メニュー▶「7並び順を変更」を押す

並び順を
　選んでください

1日付順
2差出人順
3題名順
4メールサイズ順

- 送信メール一覧から操作するときは、メニュー▶「6並び順を変更」を押します。「1日付順」「2宛先順」「3題名順」「4メールサイズ順」から選択できます。

3 「1日付順」〜「4メールサイズ順」のいずれかを押す

メールが一時的に並び替わります。

おしらせ

- 「差出人順」または「宛先順」の場合は、メールアドレスが電話帳に登録されていても電話帳の名前ではなく、メールアドレスのアルファベット順に並び替わります。
- 題名に全角／半角の文字や漢字が混在していると、「題名順」の並べ替えた結果が50音順にならない場合があります。
- フォルダ内にSMSやエリアメールが含まれているときに題名順で並べ替えると、一覧画面では題名部分にメッセージの本文の先頭が表示されるため50音順にはなりません。

メール一覧の表示方法変更

「受信したメールを見る」のメール一覧を一時的にメールの状態別に表示します。

1 待受画面で▶「1受信したメールを見る」▶フォルダを選択▶決定を押す

受信メール一覧が表示されます。

2 メニュー▶「8表示方法を変更」を押す

表示方法を
　選んでください

1全て表示
2未読のみ表示
3既読のみ表示
4保護のみ表示

3 「1全て表示」〜「4保護のみ表示」のいずれかを押す

選択した表示方法で表示されます。

おしらせ

- 受信メール一覧の表示を終了すると「全て表示」に戻ります。
- 「既読のみ表示」では、保護されている受信メールは表示されません。

メールの文字サイズ設定

受信メールや送信メール、例文などの内容を表示するときの文字サイズを変更します。

● 本機能の設定は受信メール、送信メール、例文表示、microSDメモリーカード内のメール、FOMAカード内のSMSすべてに反映されます。
● メール作成／編集時の文字サイズは変更できません。

<大きく表示する：1行全角で8文字（半角16文字）>

<小さく表示する：1行全角で10文字（半角20文字）>

〈例〉受信メール詳細画面で文字サイズを変更する

1 待受画面で[メール]▶「[1]受信したメールを見る」▶フォルダを選択▶[決定]を押す

受信メール一覧が表示されます。

2 メールを選択▶[決定]▶[メニュー]▶「[7]小さく表示する」を押す

文字の大きさが変わります。

● 小さく表示されている場合は、[メニュー]▶「[7]大きく表示する」を押します。

お知らせ

● 送信メール詳細画面、microSDメモリーカード内のメール詳細画面、FOMAカード内のSMS詳細画面から操作する場合は、[メニュー]▶「大きく表示する」または「小さく表示する」を選択▶[決定]を押します。
● 例文表示画面から操作する場合は、[メニュー]を押します。押すたびに文字の大きさが切り替わります。
● 文字サイズを変更すると、次にメールを表示するときも同じ文字サイズで表示されます。

メールの送信元／宛先確認

メールに表示されているメールアドレスや電話帳に登録した名前がすべて表示されない場合は、この方法でメールアドレスを確認できます。宛先が複数あるときは全宛先のメールアドレスを、受信メールの場合には自分以外の宛先を表示します。

〈例〉受信メール一覧でメールアドレスを確認する

1 待受画面で[メール]▶「[1]受信したメールを見る」▶フォルダを選択▶[決定]を押す

受信メール一覧が表示されます。

● 未送信／送信メール一覧の表示方法
→p.231「未送信／送信したｉモードメールを見る」操作1～2

2 メールアドレスを表示するメールを選択▶[メニュー]▶「[0]差出人等を確認」を押す

受信メールの場合、自分以外の宛先があると「宛先（To）:」「Cc:」が表示

● 未送信／送信メール一覧から操作するときは、メールアドレスを表示するメールを選択▶[メニュー]▶「宛先を確認」を選択▶[決定]を押します。宛先確認では「題名:」「差出人：」は表示されません。
● メールアドレスが「携帯電話番号@docomo.ne.jp」の場合やSMSでは、電話番号が表示されます。

3 確認が終わったら[決定]を押す

受信メール一覧に戻ります。

お知らせ

● 受信／送信メール、受信／送信SMS詳細画面から操作する場合は、[メニュー]▶「[#]差出人を確認」または「[*]宛先を確認」を押します。

メールのお預かりセンター保存 <電話帳お預かりサービス>

電話帳お預かりサービスを利用して、FOMA端末に保存してあるｉモードメールやSMSをネットワーク上のお預かりセンターに保存します。

- 電話帳お預かりサービスについて→p.141
- 本サービスはお申し込みが必要な有料サービスです。サービス未契約の場合は、お預かりセンターに接続しようとすると、その旨をお知らせする画面が表示されます。
- ｉモードメールにデータが添付されている場合は、保存するときに削除されます。ただし、本文中の画像やメロディ（メール添付やFOMA端末外への出力が禁止されたデータを除く）は削除されません。
- SMS送達通知は保存できません。
- 復元操作の詳細は『ご利用ガイドブック（ｉモード〈FOMA〉編）』をご覧ください。なお、復元したメールは次の場合を除き保護されます。
  - お預かりセンターに保存されている受信メール、受信SMSが未読だった場合
  - 保存されているメールの保護が最大保護件数に達している場合
- 保存した履歴を確認できます。→p.100

〈例〉受信メールをお預かりセンターに保存する

1 待受画面で[メール]▶「[1]受信したメールを見る」▶フォルダを選択▶[決定]を押す

受信メール一覧が表示されます。

- 未送信／送信メール一覧の表示方法→p.231「未送信／送信したｉモードメールを見る」操作1〜2

2 保存するメールを選択▶[メニュー]▶「[＊]お預りセンター保存」を押す

お預かりセンターに保存するかどうかの確認画面が表示されます。

- 未送信／送信メールを保存する場合は、保存するメールを選択▶[メニュー]▶「[9]お預りセンター保存」を押します。

3 「[1]保存する」▶端末暗証番号を入力▶[決定]を押す

お預かりセンターに接続され、保存が始まります。保存が完了すると、送信した旨のメッセージが表示されます。

- 中断するときは保存中に[決定]を押します。

4 [決定]を押す

通信結果が表示されます。[決定]を押すと受信メール一覧に戻ります。

メールの便利な機能

ｉモードメール、SMSの本文中の文字をコピーします。本文中に電話番号やメールアドレスがあるときは、FOMA端末電話帳に登録したり、URLがあるときは、ブックマークに登録したりできます。

本文などのコピー

表示中のメールやSMSの詳細画面の内容をコピーします。コピーした文字はメール作成画面などの入力欄に貼り付けることができます。

- コピーした文字は新たにコピーを行うか電源を切るまで記録され、何度でも貼り付けられます。

コピーする項目	説　明
選択中の項目	反転表示されている項目（メールアドレス、電話番号など）をコピーします。
宛先または差出人	宛先または送信元をコピーします。
題名	題名をコピーします。
本文	本文中の指定した範囲の文字をコピーします。例文一覧の場合は本文をコピーします。

〈例〉受信メール詳細画面からコピーする

1 コピーする項目を含む受信メール詳細画面を表示する

- 受信／送信メール、受信／送信SMS詳細画面→p.231、p.236、p.253、p.255
- FOMAカード内のSMS詳細画面→p.258
- 例文一覧→p.222「例文を編集して保存」操作1

2 [メニュー]▶「9内容をコピー」を押す

コピーする項目を
選んでください
1選択中の項目
2題名
3本文

■ 送信メール詳細画面から操作する：[メニュー]▶「8内容をコピー」を押す

■ FOMAカード内の受信SMS詳細画面から操作する：[メニュー]▶「6内容をコピー」を押す
「1差出人」「2本文」から選択できます。

■ FOMAカード内の送信SMS詳細画面から操作する：[メニュー]▶「5内容をコピー」を押す
「1宛先」「2本文」から選択できます。

■ 例文一覧から操作する：[メニュー]▶「3内容をコピー」を押す
「1宛先」「2題名」「3本文」から選択できます。

3 「1選択中の項目」～「3本文」のいずれかを押す

コピーした旨のメッセージが表示されます。[決定]を押すと受信メール詳細画面に戻ります。

- 例文一覧以外で「本文」を押した場合はコピーする範囲を指定します。
→p.412「文字のコピーと貼り付け」操作2～3
- 貼り付け方法→p.412「文字のコピーと貼り付け」操作5

電話番号やメールアドレスの電話帳登録

iモードメール、SMSの詳細画面からメールアドレスや電話番号をFOMA端末電話帳に登録します。

〈例〉受信メール詳細画面から電話帳登録する

1 登録する項目を含む受信メール詳細画面を表示する

- 受信／送信メール、受信／送信SMS詳細画面→p.231、p.236、p.253、p.255
- FOMAカード内のSMS詳細画面→p.258

2 項目を選択▶[メニュー]▶「0登録する」を押す

登録先を
選んでください
1電話帳新規登録
2電話帳追加登録
3ブックマーク登録
4画像を保存

■ 送信メール詳細画面から操作する：[メニュー]▶「9登録する」を押す

■ FOMAカード内の受信SMS詳細画面から操作する：[メニュー]▶「7登録する」を押す

■ FOMAカード内の送信SMS詳細画面から操作する：[メニュー]▶「6登録する」を押す

3 「1電話帳新規登録」または「2電話帳追加登録」を押す

- 以降の操作→p.87「ステップ1」操作2以降、p.193「登録済みの電話帳データに追加する」操作3以降

お知らせ

- メール本文などに複数のメールアドレスが列記されている場合は、登録できないことがあります。

URLのブックマーク登録

ｉモードメール、SMSの本文中にURLがあるとき、メール詳細画面から直接、URLをブックマークに登録できます。

〈例〉受信メール詳細画面からブックマーク登録する

1 登録するURLを含む受信メール詳細画面を表示する

- 受信／送信メール、受信／送信SMS詳細画面→p.231、p.236、p.253、p.255
- FOMAカード内のSMS詳細画面→p.258

2 URLを選択▶(メニュー)▶「0登録する」を押す

登録先を
　選んでください
1電話帳新規登録
2電話帳追加登録
3ﾌﾞｯｸﾏｰｸ登録
4画像を保存

■ 送信メール詳細画面から操作する：(メニュー)▶「9登録する」を押す

■ FOMAカード内の受信SMS詳細画面から操作する：(メニュー)▶「7登録する」を押す

■ FOMAカード内の送信SMS詳細画面から操作する：(メニュー)▶「6登録する」を押す

3 「3ブックマーク登録」▶登録先フォルダを選択▶(決定)を押す

ブックマークを追加した旨のメッセージが表示されます。(決定)を押すと受信メール詳細画面に戻ります。

ｉアプリ

ｉアプリとは

ｉアプリをサイトからダウンロードすることにより、ｉモード端末がさらに便利になります。たとえば、ｉモード端末にさまざまなゲームをダウンロードして楽しめたり、ｉアプリから電話帳や予定表に直接登録できるものや、画像保存、画像取得など写真やビデオのアルバムと連動できるｉアプリもあります。

● ｉアプリの詳細については『ご利用ガイドブック（ｉモード〈FOMA〉編）』をご覧ください。

お知らせ

● ｉアプリまたはｉアプリDXにより写真、ビデオが保存される場合は、それぞれ「写真のアルバムを見る」の「ｉモード」アルバム、「ビデオのアルバムを見る」の「ｉモード」アルバム、追加したアルバム、またはｉアプリ内に保存されます。トルカが保存される場合は、「保存したトルカを見る」の「トルカフォルダ」に保存されます。

● ｉアプリDXにより着信音が保存される場合は「保存した曲を再生する」の「ｉモード」フォルダまたはｉアプリ内に保存されます。

ｉアプリをダウンロードする

サイトからｉアプリをダウンロードしてFOMA端末に保存します。

● 保存できるｉアプリのサイズは1件あたり最大1Mバイトです。

● 最大保存件数→p.513

1 ｉアプリのあるサイトを表示し、ダウンロードするｉアプリを選択▶決定を押す

● ダウンロード中に決定を押すと、ダウンロードを終了するかどうかの確認画面が表示されます。終了するときは「1終了する」を押します。

● ダウンロードが中断されたときは、再開するかどうかの確認画面が表示される場合があります。「1再開する」を押すと、ダウンロードを再開し、「2再開しない」を押すと、部分保存できる場合は部分保存するかどうかの確認画面が表示されます。部分保存できない場合は、それまでダウンロードしたデータは削除されます。部分保存したｉアプリの残りは、ダウンロードできます。→p.272「ｉアプリを起動する」操作2

■ ICカード内にFOMAカード情報が保存されていない場合におサイフケータイ対応ｉアプリをダウンロードするとき

FOMAカード情報とICカードの対応付けを行う旨のメッセージが表示されます。決定を押します。

■ 携帯電話の情報、ICカードの製造番号やmicroSDメモリーカードを利用するｉアプリをダウンロードするとき

ダウンロードするかどうかの確認画面が表示されます。ダウンロードする場合は「1ダウンロードする」を押します。

• ガイド表示領域に「ガイド」と表示された場合に電話帳を押すと、そのｉアプリが利用するデータの詳細を確認できます。

■ 選択したｉアプリがすでにダウンロードされているとき

ダウンロード済みを示す画面が表示されます。

ｉアプリが更新されているときは、最新にするかどうかの確認画面が表示されます。最新にする場合は「1最新にする」を押します。

■ 選択したｉアプリがすでに異なるFOMAカードでダウンロードされているとき

上書きするかどうかの確認画面が表示されます。上書きする場合は「1上書きする」を押します。

2 決定を押す

ダウンロードしたソフトを今すぐ使用するかどうかの確認画面が表示されます。

■ ソフトの動作を設定する画面が表示されたとき：

- ｉアプリが対応していない項目は選択できません。
- 各設定について→p.274、p.275、p.282

ソフトの動作を
設定してください
1待受画面
設定しない
2通信を設定
許可しない
3位置情報の利用
利用しない
4番組表ボタン
設定しない

① **「1 待受画面」～「4 番組表ボタン」のいずれかを押す**
- 「1待受画面」▶「1設定する」または「2設定しない」を押す
- 「2 通信を設定」▶「1 許可する」または「2許可しない」を押す
- 「3位置情報の利用」▶「1利用する」または「2利用しない」を押す
- 「4番組表ボタン」▶「1設定する」または「2設定しない」を押す

② **電話帳を押す**
設定を完了した旨のメッセージが表示されます。
- 待受画面を「1設定する」に設定した場合は設定の確認画面が表示されます。「1設定する」を押すと待受画面に設定され、テロップ表示設定のテロップ表示が「表示する」の場合はテロップ表示が解除されます。

③ **決定を押す**

3 「1使用する」を押す

ダウンロードしたｉアプリが起動します。

● 「2使用しない」：サイト表示に戻ります。

お知らせ

● ｉアプリによっては、ダウンロード後、保存されていなくてもすぐに起動するものがあります。

● 保存領域の空きが足りないときや最大保存件数を超えるときは、不要なｉアプリを削除するかどうかの確認画面が表示されます。ｉアプリを保存する場合は、画面の指示に従いFOMA端末内のｉアプリを削除してください。

● ｉアプリの保存領域に空きがあってもICカード内の保存領域の空きが足りないときや、保存されているおサイフケータイ対応ｉアプリと同じサービスを利用するおサイフケータイ対応ｉアプリは、ダウンロードできない場合があります。その場合は画面の指示に従ってｉアプリを削除してください。ただし、ｉアプリによっては、削除対象として表示されなかったり、ｉアプリを起動または再ダウンロードしてICカード内データを削除する必要があります。

メール連動型ｉアプリのダウンロードについて

メール連動型ｉアプリをダウンロードすると、送信メール、受信メール、未送信メールのフォルダ一覧にメール連動型ｉアプリ用のフォルダが自動的に作成されます。フォルダ名はダウンロードしたメール連動型ｉアプリ名に設定され、変更できません。

● メール連動型ｉアプリは最大5件（ｉアプリの最大保存件数100件に含む）保存できます。最大保存件数を超えるときは、メールフォルダ利用ソフトがいっぱいのため削除してから保存するかどうかの確認画面が表示されます。保存する場合は、画面の指示に従ってメール連動型ｉアプリ用のフォルダを削除してください。

● 同じメールフォルダを利用するメール連動型ｉアプリが、すでにFOMA端末に保存されている場合は、ダウンロードできません。

お知らせ

- メール連動型 ｉ アプリ用のフォルダのみが残っているときに、そのフォルダを利用するメール連動型 ｉ アプリを再ダウンロードしようとすると、メールフォルダを利用するかどうかの確認画面が表示されます。利用しない場合は、「2利用しない」▶「1新規作成する」を押すとダウンロードされます。
- ダウンロードするメール連動型 ｉ アプリに対応したメールがすでにFOMA端末に保存されている場合、ダウンロード時に自動的に作成されたフォルダにメールを移動するかどうかの確認画面が表示されます。移動する場合は「1移動する」を押します。

ｉ アプリを起動する

1 待受画面で[iアプリ]を1秒以上押す

■ **おサイフケータイ対応 ｉ アプリのみ表示する：待受画面で[メニュー]▶「7 おサイフケータイを使う」▶「3 他のおサイフケータイ対応サービスを使う」を押す**

<ソフト一覧>　<ICカード一覧>

サムネイル表示

- ｉ アプリの状態は、次のマークで確認できます。

マーク	説　明
[iC]※1	おサイフケータイ対応 ｉ アプリ
[iC引越]※1	iCお引っこしサービスにより移し替えたICカードデータ
[メール連動]	メール連動型 ｉ アプリ
[DX]	ｉ アプリDX
[ｉアプリ]	ｉ アプリ
[待受可]	ｉ アプリ待受画面に設定可
[待受中]	ｉ アプリ待受画面に設定中
[時計]	自動起動設定中
[部分保存]※1	部分保存した ｉ アプリ
[制限]※1	FOMAカード動作制限機能により使用不可
[STOP]※1	IP（情報サービス提供者）によって停止状態
[SSL]	SSLページからダウンロードした ｉ アプリ
[GPS]	GPS対応 ｉ アプリ
[番組表可]	番組表ボタンに設定可
[番組表中]	番組表ボタンに設定中
[おサイフ] [iモードで探す] ※2	「おサイフケータイサイトに接続する」を選択して[決定]▶「1接続する」を押すと、ダウンロードするサイトに接続

※1　ICカード一覧ではこのマークのみ表示されます。
※2　ICカード一覧でのみ表示されます。

- [電話帳]を押すたびにサムネイル表示とリスト表示が切り替わります。

2 起動する ｉ アプリを選択▶[決定]を押す

ｉ アプリが起動します。

- 起動する ｉ アプリの通信設定（→p.274）が「起動ごとに確認」の場合は、通信するかどうかの確認画面が表示されます。「2通信しない」を押すと、ｉ アプリ動作中に通信しません。
- 部分保存した ｉ アプリを選択して[決定]を押すと、残りを取得するかどうかの確認画面が表示されます。「1取得する」を押すと残りを取得して起動できますが、取得できないときは、部分保存した ｉ アプリは削除される場合があります。

● iCお引っこしサービスにより移し替えたICカードデータを選択して決定を押すと、ダウンロード、またはサイトに接続するかどうかの確認画面が表示されます。対応するおサイフケータイ対応ｉアプリをダウンロードすると、起動できます。
● ICカード内にFOMAカード情報が保存されていないときにおサイフケータイ対応ｉアプリを起動するときは、対応付けを行う旨のメッセージが表示されます。決定を押します。
● ｉアプリを終了するには、ｉアプリごとに設定されている方法で操作を行ってください。⌒を押し「1終了する」を押しても終了できます。

お知らせ

● ｉアプリによって表示領域は異なります。
● 起動ソフト設定の番組表ボタン（→p.275）に設定されているｉアプリ以外は、ディスプレイを回転させた場合、「画面を縦に戻してください」と表示されます。
● ｉアプリの音量は調整できます。ただし、音が鳴らないｉアプリもあります。→p.115
● ｉアプリで利用する画像（ｉアプリからカメラ撮影した画像やｉアプリの赤外線通信／iC通信機能によって取得した画像）やお客様が入力したデータなどは、インターネットを経由してサーバに送信される可能性があります。
● 部分保存したｉアプリは、ソフト詳細情報の表示、削除はできます。
● iCお引っこしサービスにより移し替えたICカードデータは、削除のみできます。
● microSDメモリーカードを利用するｉアプリは、ｉアプリからmicroSDメモリーカードにデータを保存できます。microSDメモリーカードに保存したデータは、他機種で利用できない場合があります。microSDメモリーカードを利用するｉアプリは、「ｉアプリのデータの表示」で確認できます。→p.365
● 次のような場合、ｉアプリは中断される場合があります。動作中の機能が終了するとｉアプリは再開しますが、ｉアプリによっては、中断したときの状態に戻らない場合があります。
・電話がかかってきたとき
・開閉ロックが起動したとき
・ワンセグの視聴／録画予約や目覚まし、予定の通知の時刻や日時になったとき
・ワンタッチブザーを鳴らしたとき
● 圏外にいる場合や携帯電話の情報が使用できない場合、ｉアプリによっては起動しないことや、正常に動作しないことがあります。
● ｉアプリによっては、IP（情報サービス提供者）が携帯電話に保存されたｉアプリにアクセスし、直接使用停止状態にすることがあります。その場合はそのｉアプリの起動、待受画面設定、最新にするなどができなくなり、削除およびソフト詳細情報の表示のみできます。もう一度ご利用いただくにはｉアプリ停止解除の通信を受ける必要があるため、IP（情報サービス提供者）にお問い合わせください。
● ｉアプリによっては、IP（情報サービス提供者）が携帯電話に保存されたｉアプリにデータを送信する場合があります。
● IP（情報サービス提供者）がｉアプリに対し、停止・再開要求を行ったり、データを送信した場合、FOMA端末は通信を行い、が点滅します。その場合、通信料はかかりません。
● ｉアプリ作成者の方へ
ｉアプリを作成中、正常に動作しないときはトレース情報が参考になる場合があります。トレース情報は、待受画面でメニュー▶「8ｉアプリを使う」▶「3ｉアプリの履歴を表示する」▶「4トレース情報」を押すと表示されます。ただし、トレース情報を記録するｉアプリが保存されていないときは、表示できません。
トレース情報を削除するときは電話帳▶「1削除する」を押します。

携帯電話の情報を利用できずに終了したときの履歴の表示 <セキュリティエラー履歴>

ｉアプリが携帯電話の情報を利用できないなどの理由でエラーが発生して終了したときは、ｉアプリ名、日時、セキュリティエラー理由が記録されます。
● 最大20件記録されます。20件を超えると古いものから順に消去されます。

1 待受画面でメニュー▶「8ｉアプリを使う」▶「3ｉアプリの履歴を表示する」▶「3セキュリティエラー履歴」を押す

セキュリティエラー履歴一覧が表示されます。決定を押すとメニュー画面に戻ります。
● 履歴を削除するときは電話帳▶「1削除する」を押します。

iアプリの詳細情報の表示 <ソフト詳細情報>

1 待受画面で[iα]を1秒以上▶iアプリを選択▶[メニュー]▶「1詳細情報を見る」を押す

ソフト詳細情報が表示されます。[決定]を押すとソフト一覧に戻ります。

- 表示される項目はiアプリによって異なります。
- SSLページからダウンロードしたiアプリの場合、ソフト詳細情報画面で[電話帳]を押すとサイトの証明書を確認できます。

iアプリの動作条件の設定 <ソフト動作設定>

- iアプリが対応していない項目は選択できません。

1 待受画面で[iα]を1秒以上▶iアプリを選択▶[メニュー]▶「5動作を設定」を押す

ソフト動作設定
ソフトの設定をしてください
1通信を設定
許可する
2端末情報の設定
許可する
3連携起動の設定
許可する
4位置情報の設定
利用する

1 **通信を設定**：iアプリ動作中に自動的に通信することを許可するかどうかを設定します。

2 **端末情報の設定**：iアプリが端末情報を利用することを許可するかどうかを設定します。

3 **連携起動の設定**：サイトやメール、トルカなどからiアプリを起動することを許可するかどうかを設定します。

4 **位置情報の設定**：位置情報を自動的に利用するかどうかを設定します。

2 「1通信を設定」～「4位置情報の設定」のいずれかを押す

- **通信を許可するかどうかを設定する**：「1通信を設定」▶「1許可する」～「3起動ごとに確認」のいずれかを押す
- **端末情報の利用を許可するかどうかを設定する**：「2端末情報の設定」▶「1許可する」または「2許可しない」を押す
- **連携起動を許可するかどうかを設定する**：「3連携起動の設定」▶「1許可する」または「2許可しない」を押す
- **位置情報の利用を許可するかどうかを設定する**：「4位置情報の設定」▶「1利用する」または「2利用しない」を押す

3 [電話帳]を押す

ソフトの動作を設定した旨のメッセージが表示されます。[決定]を押すとソフト一覧に戻ります。

お知らせ

- 「通信を設定」を「許可しない」に設定すると、iアプリが起動できない場合や、株価情報やお天気情報などのiアプリによるタイムリーな情報提供ができない場合があります。
- 「端末情報の設定」を「許可する」に設定すると、未読メール、未読メッセージR/F、電池残量、マナーモード、アンテナマークの有無がインターネットを経由してIP（情報サービス提供者）に送信される場合があるため、第三者に知得される可能性があります。マーク情報が必要なiアプリの場合、「許可しない」に設定すると、動作しないiアプリがあります。

起動するｉアプリの設定 ＜起動ソフト設定＞

メニュー操作や他の機能から、ナビソフトや番組表ボタン、外部機器接続のｉアプリを起動する際に、どのｉアプリを起動するかあらかじめ設定します。

● それぞれの機能に対応したｉアプリのみ設定できます。

1 待受画面でメニュー▶「8 ｉアプリを使う」▶「2 ｉアプリの詳細を設定する」▶「2 起動するｉアプリを設定する」を押す

起動ソフト設定
起動するソフトを設定してください
1 ナビソフト
地図アプリfor…
2 番組表ボタン
Gガイド番組表
3 外部機器接続
設定なし

1 **ナビソフト**：待受画面でメニュー▶「6 地図を見る・GPSを使う」▶「2 ナビを使う」またはテレビ電話を1秒以上押したときや、位置情報の利用選択画面で「地図を見る」を利用するときに起動するｉアプリを設定します。

2 **番組表ボタン**：待受画面でメニュー▶「9 ワンセグを使う」▶「2 番組表を見る」を押したときや、ワンセグから起動するｉアプリを設定します。

3 **外部機器接続**：外部機器を接続した際に起動するｉアプリを設定します。

2 「1 ナビソフト」～「3 外部機器接続」のいずれかを押す

設定できるｉアプリが表示されます。

● 設定できるｉアプリがない場合は、対応するソフトがない旨のメッセージが表示されます。決定を押すと、操作1の画面に戻ります。

3 設定するｉアプリを選択▶決定

操作1の画面に戻ります。

4 電話帳を押す

起動するソフトを設定した旨のメッセージが表示されます。決定を押すとメニュー画面に戻ります。

ｉアプリから他のｉアプリを起動

ｉアプリによっては指定されたｉアプリを起動でき、ソフト一覧に戻ることなくｉアプリを楽しめます。

1 ｉアプリを操作して他のｉアプリを起動する

おしらせ

● 起動するｉアプリが指定されていない場合は、ｉアプリを選択して決定を押します。

● 起動するｉアプリが指定されていても、FOMA端末に保存されていない場合はダウンロードする必要があります。

プリインストールｉアプリを使う

● お買い上げ時は、次のｉアプリが登録されています。
- ケータイ脳力トレッチング　らくらく版
- 地図アプリforらくらくホン
- メモ
- Gガイド番組表
- iD 設定アプリ
- DCMXクレジットアプリ
- 電子マネー「Edy」

● お買い上げ時に登録されているｉアプリを削除した場合は、「@Fケータイ応援団」のサイトからダウンロードできます。

アクセス方法（2008年4月現在）

待受画面でｉモード▶「1 ｉMenuを見る」▶「メニューリスト」▶「ケータイ電話メーカー」▶「@Fケータイ応援団」

※ アクセス方法は予告なしに変更される場合があります。

サイトアクセス用QRコード

ケータイ脳力ストレッチング　らくらく版

東北大学川島隆太教授が監修した、さまざまな問題を解いて脳をトレーニングしていくゲームです。

● 音声入力に対応した問題もあります。

■ メニュー画面について

タイトル画面で決定を押すと次の画面が表示されます。

- 脳力を鍛える：ゲームの開始や過去の記録を見ます。
- 設定を変更する：音量や振動の設定、記録を消去します。
- 説明を見る：操作方法や脳年齢測定、脳年齢について確認します。

「①脳力を鍛える」を押す

- 脳年齢を測定する：脳年齢を測定します。3種類の問題が出題されます。
- トレーニングを自分で選ぶ：自分で問題を選んでトレーニングします。
- 過去の記録を見る：脳年齢を測定した日が確認できるカレンダーや、脳年齢、各トレーニングでの過去30回分の記録を見ます。

■ 遊びかた

「①脳力を鍛える」▶「①脳年齢を測定する」▶決定を押します。

「①脳力を鍛える」▶「②トレーニングを自分で選ぶ」▶「①脳力ストレッチ」～「③記憶力ストレッチ」のいずれかを押すと自分で問題を選んでトレーニングできます。

- 問題のタイトル画面で電話帳を押すと、問題や操作ボタンの説明が表示されます。説明を確認してからゲームを開始してください。メニューを押すと問題のタイトル画面に戻ります。

地図アプリforらくらくホン

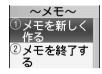
GPS機能を利用するｉアプリです。→p.301

メモ

さまざまな情報を入力し、確認できます。

● 最大50件登録できます。

■ メニュー画面について

起動すると、次の画面が表示されます。

メモを入力する：
「メモを新しく作る」を選択して決定を押し、1000文字以内で入力します。入力が終わったらメニューを押して登録します。

メモの内容を表示する：
「メモを読む／編集する」※を選択して決定を押し、表示するメモにカーソルを合わせて決定を押します。

- メモ一覧画面でメニューを押すとサブメニューが表示され、メモの削除や並び替え、表示方法の変更ができます。

※ 登録したメモがない場合は表示されません。

メモを終了する：
「メモを終了する」を選択して決定を押し、「①はい」を押します。

● 各画面で電話帳を押すと、操作説明が表示されます。

● 赤外線通信などでデータをやりとりすることはできません。

Gガイド番組表

※ 画面はイメージです。実際の画面とは異なります。お住まいの地域に応じた番組表が表示されます。

テレビ番組表アプリ「Gガイド番組表」でテレビ番組情報をいつでもどこでも簡単に取得できます。テレビ番組のタイトル・番組内容・開始／終了時間などを知ることができます。また、番組表からワンセグ、ワンセグから番組表を起動することができます。気になる番組があったら番組詳細画面からワンセグ録画予約や視聴予約をすることができます。

- テレビ番組表アプリ「Gガイド番組表」の利用料はかかりませんが、別途パケット通信料がかかります。
- はじめて利用するときは、初期設定を行って利用規約に同意する必要があります。
- ディスプレイは縦向き／横向きどちらでも利用することができます。
- 海外でのご利用時は、FOMA端末の日付時刻設定を日本時間に合わせてください。
- Gガイド番組表の詳細については『ご利用ガイドブック（ｉモード〈FOMA〉編）』をご覧ください。

■ **視聴予約機能について**

本アプリの番組表で視聴したい番組を選択し、ワンセグの視聴予約をすることができます。

視聴予約の方法：

本アプリを立ち上げ、視聴予約したい番組を選択し、[電話帳]を押して「4 視聴予約をする」を押すと予約スケジューラが起動されますので、画面の指示に従って視聴予約を行ってください。

■ **録画予約機能について**

本アプリの番組表で録画したい番組を選択し、ワンセグの録画予約をすることができます。

録画予約の方法：

本アプリを立ち上げ、録画予約したい番組を選択し、[電話帳]を押して「3 ワンセグ録画予約をする」を押すと予約スケジューラが起動されますので、画面の指示に従って録画予約を行ってください。

DCMXクレジットアプリ

ケータイかざしてお買い物
DCMX
DCMXならこんなに便利
◆小銭いらずですばやくお支払い
◆事前のチャージもサインもいりません

「DCMX」とは、NTTドコモが提供するクレジットサービスです。
iDのマークがあるお店で携帯電話をかざすだけですばやいお支払いができます。
事前のチャージやお支払い時のサインも不要です。
また、携帯電話ならではのセキュリティが充実していて、安心して使えます。さらに盗難や紛失のときも会員保障制度でお守りします。
DCMXには、今すぐ使えるDCMX miniと、ドコモポイントが貯まるDCMX、ワンランク上のサービスを受けられるDCMX GOLDの3つのサービスがございます。

- サービス内容やお申し込み方法の詳細についてはDCMXのｉモードサイトをご覧ください。
  ｉモードサイト：待受画面で[iα]▶「1 i Menuを見る」▶「DCMX iD」

サイトアクセス用QRコード

■ 利用までの流れ

お買物
事前のチャージは不要です。
設定済みのケータイをかざす※2だけで小銭いらずのすばやいお買物が楽しめます。

確認する
今月使える残りの金額※3やご利用明細もアプリから確認できます。

各種設定をする
機種変更や有効期限の更新もアプリから設定可能です。

※1 ドコモショップ窓口またはDCMXのホームページ、DCMXアプリからお申し込みできます。
※2 一定の条件で暗証番号の入力が必要な場合があります。
※3 DCMX miniのみ可能です。

■ 利用前の設定をする

① **待受画面で[メニュー]▶「7 おサイフケータイを使う」▶「1 DCMXを使う」を押す**

DCMXまたはDCMX GOLDにご入会いただいておりますが、この携帯電話でご利用いただくた…完了してお
会員番号下11桁
▼ここに入力▼
暗証番号
▼ここに入力▼
決定

② **会員番号欄を選択▶入会後にお届けしているクレジットカードの会員番号下11桁を入力▶暗証番号欄を選択▶暗証番号を入力▶[決定]を押す**
- DCMX miniを申し込んでいる場合は、会員番号と暗証番号の代わりにネットワーク暗証番号を入力してください。

③ **「設定が完了しました。」と表示されたらご利用いただけます**

■ 機種変更した携帯電話でDCMXを使う

F884iに機種変更した場合の設定：

① 機種変更前に利用していた携帯電話のDCMXアプリで機種変更の設定をする

② 待受画面で メニュー ▶「7 おサイフケータイを使う」▶「1 DCMXを使う」を押す

機種変更後に、この携
帯電話でDCMXまたは
DCMX GOLDを利用する
と設定に進みます。
(下の同意事項に同意
される場合のみ「決定」
を押してください)
▼ここに入力▼
決定

③ 入力欄を選択 ▶ 暗証番号を入力 ▶ 決定 を押す

- DCMX miniをご利用の場合は、暗証番号の代わりにネットワーク暗証番号を入力してください。

④「設定が完了しました。」と表示されたらご利用いただけます

F884iから機種変更する場合の設定：

① 待受画面で メニュー ▶「7 おサイフケータイを使う」▶「1 DCMXを使う」を押す

②「機種変更の前に必要な設定をする」を選択 ▶ 決定 ▶「次へ」を選択 ▶ 決定 を押す

DCMXのカード情報をド
コモに預けます。
カード情報を預けると
この携帯電話でDCMXを
使ってお買物ができな
くなります。暗証番号
を入力し、「決定」を押
してください。
▼ここに入力▼
決定

③ 入力欄を選択 ▶ 暗証番号を入力 ▶ 決定 を押す

- DCMX miniをご利用の場合は、暗証番号の代わりにネットワーク暗証番号を入力してください。

④「カード情報を預け終わり、この携帯電話ではお買物できない状態になりました。」と表示されたら機種変更する前の設定は完了です

⑤ 機種変更後に利用する携帯電話のDCMXアプリで利用設定をする

おしらせ

- 本アプリを初めて起動される際には、「ご利用上の注意」に同意の上、ご利用ください。
- 各種設定、操作時にはパケット通信料がかかります。
- 画面はイメージです。実際の画面とは異なることがあります。

iD 設定アプリ

※ 画面はイメージです。実際の画面とは異なることがあります。

チャージいらずの電子マネー「iD」とは、おサイフケータイや「iD」を搭載したクレジットカードをかざすだけでショッピングができるサービスです。今までのようにサインをすることなく、簡単・便利にショッピングができます。カード発行会社によっては、キャッシングにも対応しています。

- 「iD」のご利用には、iD に対応した各カード発行会社へのお申し込みのほか、iD アプリや各カード発行会社提供のカードアプリにより所定の設定を完了したおサイフケータイまたは「iD」を搭載したクレジットカードが必要になります。
- おサイフケータイで「iD」をご利用の場合、iD アプリの設定を完了のうえ、カード発行会社提供のカードアプリをダウンロードまたは起動し、カードアプリ側の設定を行う必要があります。なお、ご利用のカードによっては、iDアプリの設定を行わず、カードアプリ側の設定のみで利用することもできます。

※ DCMXをご利用の方は、「DCMXクレジットアプリ」をご覧ください。→p.277

- iD対応のサービスのご利用にかかる費用（年会費など）は、各カード発行会社により異なります。
- 「iD」に関する情報については、「iD」の i モードサイトをご覧ください。

i モードサイト：待受画面で iモード ▶「1 i Menuを見る」▶「メニューリスト」▶「iD」

サイトアクセス用QRコード

電子マネー「Edy」

「Edy」とは、ビットワレット株式会社が運営する電子マネーサービスです。
プリペイド（先払い）型なので、事前審査など不要でどなたでもご利用いただけます。

■ 初期設定をする

本アプリをはじめて起動したときは、初期設定の画面が表示されます。

① 待受画面で メニュー ▶「7 おサイフケータイを使う」▶「2 Edyを使う」を押す

電子マネーEdy（エディ）をご利用いただけるよう設定を行います。
1 同意の上、設定を行う
2 同意しない

② 注意事項、利用約款を読み、「1 同意の上、設定を行う」を選択する

Edyの設定が完了しました。
Edy初期設定ありがとうございました。
1 サービス登録を行う
9 メニューへ

③ 完了画面が表示されたら Edy をご利用頂けますが、さらに便利に使うために「1 サービス登録を行う」を選択してサービス登録をおすすめします

■ サービス登録を行う

サービス登録について
サービス登録（無料）をして頂くと、会員限定の
1 サービス登録する
9 メニューへ

① 「1 サービス登録する」を選択する

サービス登録
以下の「サービス登録会員規約」を必ずお読み
1 同意してサービス登録する
2 同意しない
0 戻る

② サービス登録会員規約を読み、「1 同意してサービス登録する」を選択する

サービス登録
基本情報の登録
以下に従って必要事項
1 登録内容を確認する
0 戻る

③ 基本情報の登録画面で必要事項を入力し、「1 登録内容を確認する」を選択する

サービス登録
基本情報の確認
お客様の登録情報をご
1 登録する
0 戻る

④ 登録内容を確認し、「1 登録する」を選択する

サービス登録
基本情報の登録完了
ご登録ありがとうございました。
1 次へ

⑤ 「1 次へ」を選択し、必要に応じ画面の指示に従って、メルマガ、クレジットカード情報の登録を行ってください

※ おサイフケータイのアプリ上でクレジットカードからEdyチャージ（入金）するには、クレジットカード情報の登録が必要になります。

ここまでの設定で、ご不明な点やEdyについてご質問がございましたら、「Edyらくらくホンサポートダイヤル」にお問い合わせください。
0120-063-999 （フリーダイヤル）
平日：9:30～19:00
土・日・祝日：10:00～18:00
※ 2008年12月31日までの期間限定

■ お店でEdyをチャージ（入金）する

お店のレジでチャージする：
Edy が使えるコンビニなど一部のお店のレジで、店員さんにお願いし、チャージしたい金額をお支払いください。

Edy チャージャー（現金入金機）でチャージする：
一部のお店や空港に設置されているEdyチャージャーにおサイフケータイを置き、チャージしたい金額の紙幣を入れてください。

■ Edyでお買い物をする

Edyが使えるお店でお買い上げの際、レジで「支払いはEdyで」と告げ、読み取り機におサイフケータイをかざし、「シャリ～ン♪」と音がすればお支払いは完了です。なお、「ピロロン」と音がした場合はお支払いが完了していませんので、店員さんの指示に従ってください。

● Edyに関する情報については、Edyのｉモードサイトをご覧ください。

ｉモードサイト：待受画面で[iα]▶「1 ｉMenuを見る」▶「メニューリスト」▶「おサイフケータイ」▶「電子マネー「Edy」」

サイトアクセス用QRコード

● Edyに関する諸手続きでお困りの場合：

Edy救急ダイヤル　0570-081-999（ナビダイヤル）、または03-6420-5699

平日：9:30 ～ 19:00

土・日・祝日：10:00 ～ 18:00

お知らせ

● 各種設定、操作時にはパケット通信料がかかります。

● 画面はイメージです。実際の画面とは異なることがあります。

おサイフケータイ対応ｉアプリに関するご注意

● ICカードに設定された情報につきましては、当社としては責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。

ｉアプリを自動起動する

自動起動するかどうかを設定 ＜自動起動設定＞

自動起動情報設定のユーザ設定を「利用する」に設定したすべてのｉアプリの自動起動を一括して設定します。

1 待受画面で[メニュー]▶「8 ｉアプリを使う」▶「2 ｉアプリの詳細を設定する」▶「4 ｉアプリ自動起動を設定する」を押す

自動起動を有効にするかどうかの確認画面が表示されます。

2 「1 有効にする」または「2 無効にする」を押す

ソフトの自動起動を有効／無効にした旨のメッセージが表示されます。[決定]を押すとメニュー画面に戻ります。

自動起動の日時を設定 ＜自動起動情報設定＞

ｉアプリごとに自動起動の利用や起動日時を設定したり、ｉアプリにあらかじめ設定されている自動起動を利用するかどうかを設定したりします。

● 設定できる条件は、ｉアプリによって異なります。

● 自動起動できないｉアプリもあります。

● 自動起動設定が「無効にする」の場合は、自動起動情報を登録できません。

1 待受画面で[iα]を1秒以上▶設定するｉアプリを選択▶[メニュー]▶「4 自動起動を設定」を押す

自動起動情報設定
自動起動の設定をしてください
1 ユーザ設定
　利用しない
2 時刻　00時00分
3 繰り返し
　一回のみ
4 毎週　日曜日
5 日付
　2008年01月01日

1 **ユーザ設定**：次の設定する条件で自動起動を利用するかどうかを設定します。
2 **時刻**：自動起動する時刻を入力します。
3 **繰り返し**：自動起動の繰り返し動作を設定します。
4 **毎週**：繰り返しを「毎週」に設定したとき、自動起動する曜日を設定します。
5 **日付**：繰り返しを「1回のみ」に設定したとき、自動起動する日付を設定します。

2 「1 ユーザ設定」を押す

自動起動を利用するかどうかの確認画面が表示されます。

3 「1 利用する」を押す

操作1の画面に戻ります。

● 「2 利用しない」：操作6に進みます。

4 **「2時刻」▶時刻を入力▶決定を押す**

操作1の画面に戻ります。

5 **「3繰り返し」▶「1一回のみ」～「3毎週」のいずれかを押す**

操作1の画面に戻ります。

- 「一回のみ」に設定した場合は、「5日付」▶日付を入力▶決定を押します。
- 「毎週」に設定した場合は、「4毎週」▶「1日曜日」～「7土曜日」のいずれかを押します。

6 **電話帳を押す**

自動起動情報を登録した旨のメッセージが表示されます。決定を押すとソフト一覧に戻ります。

■ iアプリ設定、ソフト設定を設定する

iアプリによっては、ガイド行の左側に「ソフト」と表示される場合があります。この場合、メニューを押すと次の画面が表示されます。「1ソフト設定」～「5iアプリ設定4」のいずれかを押し、「1利用する」または「2利用しない」を押します。設定後、操作6を行います。

自動起動情報設定
1ソフト設定
利用しない
2 iアプリ設定1
利用しない
3 iアプリ設定2
利用しない
4 iアプリ設定3
利用しない
5 iアプリ設定4
利用しない

1**ソフト設定**：iアプリにあらかじめ設定されている時間間隔で自動起動を利用するかどうかを設定します。

2**iアプリ設定1～5iアプリ設定4**：iアプリDXによっては、動作中に自動起動の条件を最大4件設定できます。それらの設定を利用するかどうかを設定します。

お知らせ

- 自動起動を設定しても、次のときは起動せず、待受画面にが表示され、自動起動失敗履歴に記録されます。
  - 待受画面以外が表示されているとき
  - FOMAカード動作制限機能が設定中（プリインストールiアプリを除く）
  - FOMAカードを認識できないとき
  - 自動起動の間隔が短すぎたとき
  - オールロック中、おまかせロック中、個人情報表示制限中
  - IP（情報サービス提供者）によってiアプリの使用を停止されているとき
- 複数のiアプリを「繰り返し」を変更して同時刻に自動起動するように設定しても、設定時刻に起動するのはいずれか1つです。起動できなかったiアプリの情報は自動起動失敗履歴に記録されますが、待受画面には表示されません。

自動起動できなかったときの履歴の表示<自動起動失敗履歴>

iアプリの自動起動に失敗したときに、待受画面にが表示され、iアプリ名、日時、起動失敗理由が記録されます。

- 最大20件記録されます。20件を超えると古いものから順に消去されます。
- 自動起動失敗履歴を表示するか、次の自動起動が成功すると、待受画面のが消えます。

1 **待受画面でメニュー▶「8iアプリを使う」▶「3iアプリの履歴を表示する」▶「1自動起動失敗履歴」を押す**

自動起動失敗履歴一覧が表示されます。決定を押すとメニュー画面に戻ります。

- 履歴を削除するときは電話帳▶「1削除する」を押します。

連携起動

サイトやメール、トルカから i アプリを起動する

1 **サイトや i モードメール、トルカの i アプリを連携起動できるリンク項目を選択▶決定▶「1起動する」を押す**

i アプリが起動します。

おしらせ

- 連携起動する i アプリがFOMA端末に保存されていない場合は、起動できません。ただし、 i アプリによっては、サイトからダウンロード後、保存されていなくてもすぐに起動するものがあります。
- メールから連携起動する場合、部分保存した i アプリは起動できません。
- サイトからダウンロード後すぐに起動する i アプリは、起動中に通信するかどうかの確認画面が表示される場合があります。
- FOMA端末に保存できない i アプリもあります。
- ソフト動作設定の「連携起動の設定」を「許可しない」に設定している場合は起動できません。 →p.274

i アプリ待受画面

i アプリ待受画面を操作する

i アプリ待受画面の設定

待受画面に i アプリを表示するように設定します。 i アプリ待受画面動作中に自動的に通信するかどうかも設定できます。

- 対応している i アプリのみ設定できます。

1 **待受画面でメニュー▶「8 i アプリを使う」▶「2 i アプリの詳細を設定する」▶「3 i アプリ待受画面を設定する」を押す**

iｱﾌﾟﾘ待受画面
iｱﾌﾟﾘ待受画面の
設定を
してください
1 iｱﾌﾟﾘ待受画面 設定なし
2 通信を設定 許可する

1 **i アプリ待受画面**：待受画面に設定する i アプリを設定します。テロップ表示設定のテロップ表示を「表示する」にしている場合は、テロップ表示が解除されます。

2 **通信を設定**：設定した i アプリ待受画面が自動的に通信することを許可するかどうかを設定します。

- 通信しない i アプリでは設定できません。

■ **すでに i アプリ待受画面を設定しているとき**

次の画面が表示されます。通信の設定や待受画面の解除などができます。

iｱﾌﾟﾘ待受画面
iｱﾌﾟﾘ待受画面の
操作を
選んでください
1 通信を設定する
2 終了する
3 解除する

1 **通信を設定する**：「通信を設定」と同様です。

2 **終了する**： i アプリ待受画面が動作中の場合は、動作を中止します。

3 **解除する**： i アプリ待受画面の設定を解除します。解除すると、テロップ表示設定のテロップ表示が「表示する」に設定されます。

2 「1 ｉアプリ待受画面」または「2 通信を設定」を押す

■ ｉアプリ待受画面を設定する：
① 「1 ｉアプリ待受画面」▶設定するｉアプリを選択▶決定を押す
ｉアプリ待受画面に設定するかどうかの確認画面が表示されます。
② 「1 設定する」を押す
操作1の画面に戻ります。

■ 通信を許可するかどうかを設定する：
「2 通信を設定」▶「1 許可する」または「2 許可しない」を押す
操作1の画面に戻ります。

3 電話帳を押す

ｉアプリ待受画面の設定をした旨のメッセージが表示されます。決定を押すとメニュー画面に戻ります。
- ｉアプリ待受画面表示中は、ディスプレイ上部に または がグレーで表示されます。

お知らせ

- ｉアプリ待受画面を設定中にFOMA端末の電源を入れると、ｉアプリ待受画面を起動するかどうかの確認画面が表示されます。「1 起動する」を押すか、約5秒間何も操作しないと起動します。「2 起動しない」を押すとｉアプリ待受画面を解除します。
自動電源ON設定によって電源が入った場合は確認画面は表示されず、自動的にｉアプリ待受画面が起動します。
- 通信を行うｉアプリをｉアプリ待受画面に設定した場合、電波状況などにより正しく動作しないことがあります。
- 待受画面にお知らせ情報や新着情報が表示されると、ｉアプリ待受画面は表示されません。情報を確認すると、表示されます。
- オールロック中、おまかせロック中、個人情報表示制限中、開閉ロック中は、ｉアプリ待受画面は一時的に解除され、お買い上げ時の画像が表示されます。
- ｉアプリ待受画面が解除されるようなエラーが発生すると、解除するかどうかの確認画面が表示されます。「1 解除する」を押すと解除され、異常終了履歴に記録されます。

ｉアプリ待受画面のｉアプリを起動

1 ｉアプリ待受画面で戻る▶ｉアプリを操作する

ディスプレイ上部の または がグレーから黒になり点滅します。

ｉアプリを終了してｉアプリ待受画面に戻る

1 ｉアプリ動作中に ▶「1 終了する」を押す

ディスプレイ上部の または が黒からグレーに変わります。
ｉアプリを終了してｉアプリ待受画面に戻る方法は、ｉアプリによって異なります。
- 「2 解除する」を押すとｉアプリ待受画面が解除されます。ディスプレイ上部の または が消えます。

ｉアプリ待受画面の終了履歴を表示<異常終了履歴>

ｉアプリ待受画面が解除されるようなエラーが発生したときに、ｉアプリ名と日時が記録されます。
- 最大20件記録されます。20件を超えると古いものから順に消去されます。

1 待受画面でメニュー▶「8 ｉアプリを使う」▶「3 ｉアプリの履歴を表示する」▶「2 異常終了履歴」を押す

異常終了履歴一覧が表示されます。決定を押すとメニュー画面に戻ります。
- 履歴を削除するときは電話帳▶「1 削除する」を押します。

ｉアプリを管理する

ｉアプリを最新にしたり、削除したり、ソフトを並べ替えたり、ｉアプリをより使いやすくするためのさまざまな機能があります。

ｉアプリを最新にする

ｉアプリが更新されている場合は最新にできます。
- パケット通信料がかかります。

1 **待受画面で[iアプリ]を1秒以上▶ｉアプリを選択▶[メニュー]▶「[3]最新にする」を押す**

最新にするかどうかの確認画面が表示されます。

2 **「[1]最新にする」を押す**

- ｉアプリによっては、携帯電話情報を送信するかどうかの確認画面が表示される場合があります。→p.177「サイトを表示する」のお知らせ
  また、ダウンロードするかどうかの確認画面やソフトの動作設定画面などの確認画面が表示される場合があります。その場合は、「ｉアプリをダウンロードする」をご覧ください。→p.270
- ｉアプリが最新の場合は、最新である旨のメッセージが表示されます。[決定]を押すと、ソフト一覧に戻ります。

3 **[決定]を押す**

ダウンロードしたソフトを今すぐ使用するかどうかの確認画面が表示されます。

4 **「[1]使用する」を押す**

ｉアプリが起動します。

- 「[2]使用しない」：ソフト一覧に戻ります。

お知らせ

- 最新にすると、ｉアプリが記録しているゲームスコアなどのデータが消去される場合があります。
- ｉアプリによっては、使用期間と使用回数によりドコモのサーバへ継続して使用できるかどうかを問い合わせる場合があります。このとき、サーバからｉアプリが更新されていると通知された場合は、最新にするかどうかを確認した上で最新にできます。
- ｉアプリによっては、自動的に最新にするものがあります。

ｉアプリの削除

- 「地図アプリforらくらくホン」「ケータイ脳力ストレッチング　らくらく版」「メモ」は削除できません。
- おサイフケータイ対応ｉアプリによっては、ICカード内データも削除されたり、削除する前にｉアプリを起動または再ダウンロードしてICカード内データを削除したりしておく必要があります。
- おサイフケータイ対応ｉアプリによっては、削除できない場合があります。

1 **待受画面で[iアプリ]を1秒以上押す**

ソフト一覧が表示されます。

2 **削除するｉアプリを選択▶[メニュー]▶「[2]削除する」▶「[1]選択1件」を押す**

削除するかどうかの確認画面が表示されます。

- ｉアプリを全件削除するときは、[メニュー]▶「[2]削除する」▶「[2]全件」▶端末暗証番号を入力▶[決定]を押します。

3 **「[1]削除する」**

削除した旨のメッセージが表示されます。

- メール連動型ｉアプリを削除する場合は、メールフォルダも削除するかどうかの確認画面が表示されます。
  - 「[1]削除する」：メールフォルダとフォルダ内のメールも削除されます。
  - 「[2]削除しない」：ｉアプリのみ削除されます。
  - 「[3]元の画面に戻る」：削除せずに、ソフト一覧に戻ります。

ただし、「1 削除する」を選択しても、メールフォルダ内に保護されているメールがある場合は、iアプリやメールフォルダは削除できません。

● 全件削除するときに、ICカード内データを削除できないおサイフケータイ対応iアプリが含まれる場合は、それ以外のiアプリを削除するかどうかの確認画面が表示されます。「1 削除する」を押すと削除されます。
● 起動ソフト設定（→p.275）の各項目に設定されているiアプリを削除するときは、削除するかどうかの確認画面が表示されます。「1 削除する」を押すと削除され、起動ソフト設定の各項目は次のように設定されます。
  - ナビソフト：「地図アプリforらくらくホン」が設定されます。
  - 番組表ボタン：「Gガイド番組表」が保存されている場合は「Gガイド番組表」が設定され、保存されていない場合は設定なしになります。
  - 外部機器接続：設定なしになります。
● microSDメモリーカード内のデータを使用するiアプリを削除する場合は、microSDメモリーカード内のデータも削除するかどうかの確認画面が表示されることがあります。
  - 「1 削除する」：microSDメモリーカード内のデータも削除されます。
  - 「2 削除しない」：iアプリのみ削除されます。
  - 「3 元の画面に戻る」：削除せずに、ソフト一覧に戻ります。

4 決定を押す

ソフト一覧に戻ります。

おしらせ

● iアプリのみ削除し、メール連動型iアプリ用のフォルダを残した場合は、メールフォルダ一覧のサブメニューからメールを表示できます。→p.231、p.236
● 削除対象のメール連動型iアプリ用フォルダが使用中（一覧表示中など）の場合、iアプリを削除できないことがあります。

iアプリの並び順変更 <ソフトの並べ替え>

1 待受画面で iアプリ を1秒以上▶ メニュー ▶「6 並べ替え」を押す

並び順を
選択してください
1 使用日時順
2 名前順

1 **使用日時順**：使用した日時順に並べ替えます。
2 **名前順**：名前を50音順に並べ替えます。

2 「1 使用日時順」または「2 名前順」▶ 決定 を押す

選択した並び順でiアプリが並び替わります。

おしらせ

● 使用日時は、日付時刻設定で設定されている日時で記録されます。
● iアプリ名に全角や半角、英字が混在していると、「名前順」の並べ替えた結果が、50音順にならない場合があります。

iアプリの保存容量の確認

FOMA端末本体にiアプリが保存できる領域のサイズや、空き領域のサイズなどを表示します。
● 空き領域のサイズは、iアプリの保存状況だけでなく、画像やビデオ、メロディのデータの保存状況によっても変わります。

1 待受画面で iアプリ を1秒以上▶ メニュー ▶「7 保存容量を確認」を押す

保存容量が表示されます。決定 を押すとソフト一覧に戻ります。
● 画面の見かた→p.346「画像の保存容量を確認する」操作2

ｉアプリからさまざまな機能を利用する

- それぞれの機能に対応したｉアプリをあらかじめダウンロードしておく必要があります。
- ｉアプリによっては、操作方法が異なったり、利用できない場合があります。

ｉアプリから電話をかける

1 電話発信機能を起動する

電話の種類を選択する画面が表示されます。

- 以降の操作→p.97「発信方法を選択した電話のかけかた」操作3以降

ｉアプリからのカメラ機能の利用

1 ｉアプリを操作してカメラ撮影を行う

- 写真撮影→p.160
- ビデオ撮影→p.164

おしらせ

- ｉアプリからカメラを起動した場合、撮影した写真またはビデオは、ｉアプリ内（ｉアプリによっては「写真のアルバムを見る」の「ｉモード」アルバム、「ビデオのアルバムを見る」の「ｉモード」アルバム、または追加したアルバム）に保存されます。また、自動的にサーバへ送られる場合があります。

ｉアプリからのバーコードリーダーの利用

1 ｉアプリを操作してコードを読み取る

- 読み取ったデータはｉアプリで利用、保存されます。
- バーコードリーダー→p.172

ｉアプリからの赤外線通信の利用

- 相手の機器によっては、赤外線通信機能が搭載されていても通信できない場合があります。

1 赤外線通信するかどうかの確認画面で「1通信する」を押す

- ｉアプリ起動データを受信し、ｉアプリを起動することもできます。
- 赤外線通信→p.368

ｉアプリからのiC通信の利用

1 iC送信するかどうかの確認画面で「1送信する」▶送信先にFeliCaマークをかざす

- iC通信→p.368

ｉアプリからのトルカの利用

ｉアプリからトルカを保存する

1 トルカの操作の選択画面で「1保存する」を押す

トルカは「保存したトルカを見る」の「トルカフォルダ」に保存されます。

- ■ 上書き保存する：「2上書き保存する」▶フォルダを選択▶決定▶上書きするトルカを選択▶決定を押す
- ■ 表示する：「4トルカを表示」を押す

おしらせ

- 保存領域の空きが足りないときや最大保存件数を超えるときは、不要なトルカを削除するかどうかの確認画面が表示されます。保存する場合は、画面の指示に従って保存されているトルカを削除してください。

ｉアプリからトルカを使用する

1 トルカを選択する旨の画面で決定▶フォルダを選択▶トルカを選択する

ｉアプリからトルカを検索する

1 トルカを読み込むかどうかの確認画面で「1読み込む」を押す

おサイフケータイ／トルカ

おサイフケータイとは

現金やクレジットカードを使わずに、携帯電話で支払いができる機能です。
お店などの読み取り機に携帯電話をかざすだけで支払いができるほか、携帯電話をポイントカードやクーポン券としても利用できます。
さらに、通信を利用して電子マネーを入金したり、残高や利用履歴を確認できたりと、より便利に利用できます。
また、おサイフケータイを安心してご利用いただけるよう、セキュリティも充実しています。

※ おサイフケータイ対応サービスをご利用いただくには、おサイフケータイ対応サイトよりおサイフケータイ対応ｉアプリをダウンロードし、設定を行う必要があります。らくらくｉメニューの「メニューリスト」に進み、「おサイフケータイ」および各サイトからダウンロードしてください。

※ ご利用にあたっての注意事項については『ご利用ガイドブック（ｉモード〈FOMA〉編）』をご覧ください。

- おサイフケータイの故障により、ICカード内データ※が消失、変化してしまう場合があります（修理時など、おサイフケータイをお預かりする場合は、データが残った状態でお預かりすることができませんので、原則データをお客様自身で消去していただきます）。データの再発行や復元、一時的なお預かりや移し替えなどのサポートは、iCお引っこしサービスによる移し替えを除き、おサイフケータイ対応サービス提供者のバックアップサービスをご利用いただきます。バックアップサービスの有無やご利用条件（必要な事前手続きや料金など）、iCお引っこしサービスへの対応の有無はサービスごとに異なりますので、事前におサイフケータイ対応サービス提供者にご確認ください。重要なデータについては必ずバックアップサービスのあるサービスをご利用ください。
  ※ おサイフケータイに内蔵された IC カードに保存されたデータ（電子マネー、ポイントなど含む）
- 故障、機種変更など、いかなる場合であっても、ICカード内データの消失、変化、その他おサイフケータイ対応サービスに関して生じた損害について、当社としては責任を負いかねます。
- おサイフケータイの盗難、紛失時は、すぐにご利用のおサイフケータイ対応サービスの提供者に対応方法をお問い合わせください。なお、本FOMA端末では、おまかせロック、ICカードロックを利用できます。

おサイフケータイの利用方法

ステップ1

おサイフケータイ対応ｉアプリをダウンロードする→p.270

お買い上げ時は、iD 設定アプリ、DCMXクレジットアプリ、電子マネー「Edy」が保存されています。また、待受画面で「7おサイフケータイを使う」▶「7他のおサイフケータイ対応サービスを探す」▶「1接続する」を押すと、おサイフケータイ対応ｉアプリをダウンロードするサイトに接続できます。

ステップ2

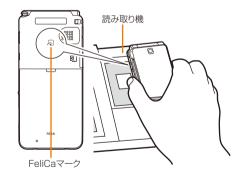
おサイフケータイ対応ｉアプリを起動してサービスの初期設定を行う→p.289

おサイフケータイ対応ｉアプリを起動して画面に従って設定後、チャージ（入金）したり、残高や利用履歴を携帯電話で確認したりできます。

ステップ3

FeliCaマークを読み取り機にかざす

おサイフケータイのFeliCaマークを読み取り機にかざして、電子マネーとして支払いに利用したり、乗車券の代わりとして利用したりできます。この機能は、おサイフケータイ対応ｉアプリを起動せずに利用できます。

※ パケット通信料はかかりません。

お知らせ

- FeliCaマークを読み取り機の読み取り可能な範囲にかざすと背面ディスプレイの照明が点灯します。
- FOMA端末のFeliCaマークを読み取り機にかざしてもうまく認識されない場合は、前後左右にずらしてかざしてください。
- 電源を切っているときや、電池が切れてからも、FeliCaマークを読み取り機にかざしておサイフケータイの機能をご利用いただくことができます。ただし、電池パックを装着していないときや、電池パックを装着していても電池パックを長時間利用しなかったり、電池残量警告音が鳴った後で充電せずに放置した場合は、おサイフケータイの機能をご利用いただけなくなる場合もあります。
- 電源を切った状態では、おサイフケータイ対応ｉアプリを起動してICカード内データを読み書きしたり、トルカを取得したりできません。
- FeliCaマークを読み取り機にかざしたとき、ｉアプリが起動する場合があります。
- FeliCaマークを読み取り機にかざすときに、FOMA端末に強い衝撃を与えないでください。

iCお引っこしサービスとは

iCお引っこしサービス※1は、機種変更や故障修理時など、おサイフケータイをお取り替えになる際、おサイフケータイのICカード内データを一括※2でお取り替え先のおサイフケータイに移し替える※3ことができるサービスです。
ICカード内データを移し替えた後は、おサイフケータイ対応ｉアプリをダウンロード※4するだけで、簡単におサイフケータイ対応サービスがご利用になれます。iCお引っこしサービスはお近くのドコモショップなど窓口にてご利用いただけます。
詳しくは『ご利用ガイドブック（ｉモード〈FOMA〉編）』をご覧ください。

※1 移行元、移行先ともに、iCお引っこしサービス対応のおサイフケータイである必要があります。ご利用にあたってはお近くのドコモショップにご来店ください。

※2 おサイフケータイ対応サービスによっては、一部iCお引っこしサービス対象外のサービスがあり、移行できるのはiCお引っこしサービス対象のおサイフケータイ対応サービスのICカード内データのみになります（対象のサービスは、ドコモWelcomeサポートツール「DOCOPY」に接続してご確認ください）。

※3 このサービスは、「コピー」ではなく「移行」されるため、ICカード内データは、移行元おサイフケータイに残りません。iCお引っこしサービスをご利用いただけない場合もございますので、各おサイフケータイ対応サービスのバックアップサービスをご利用になるなどの必要な措置を講じてください。

※4 おサイフケータイ対応ｉアプリのダウンロード、各種設定にはパケット通信料がかかります。

おサイフケータイ対応ｉアプリを起動する

- おサイフケータイ対応ｉアプリを初めて起動またはダウンロードすると、「FOMAカード情報とICカードの対応付けを行います」と表示されます。決定を押すと、それ以降は対応付けされたFOMAカードを挿入していないとICカード機能を利用できません。なお、別のFOMAカードに差し替えて利用する場合は、対応付けされたFOMAカードを挿入しておサイフケータイ対応ｉアプリをすべて削除しないとICカード機能を利用できません。

1 待受画面でメニュー▶「7おサイフケータイを使う」▶「1DCMXを使う」または「2Edyを使う」を押す

- 以降の操作→p.277、p.279
- 他のおサイフケータイ対応ｉアプリを起動する→p.272

お知らせ

- おサイフケータイ対応 ｉアプリ起動中は、FeliCaマークを読み取り機にかざしてもおサイフケータイを利用できない場合があります。
- 次の場合は、動作中のおサイフケータイ対応ｉアプリが中断されることがあります。そのとき、読み書きしていたデータが破棄されることがあります。
  - 電話がかかってきたとき
  - 開閉ロックが起動したとき
  - ワンセグの視聴／録画予約、目覚まし、予定の通知の時刻や日時になったとき
  - ワンタッチブザーを鳴らしたとき
- 圏外にいる場合や登録データが利用できない場合は、おサイフケータイ対応ｉアプリによっては起動しないことや、正常に動作しないことがあります。

トルカ

トルカとは

トルカとは、おサイフケータイで取得できる電子カードで、チラシやレストランカード、クーポン券などの用途で便利にご利用いただけます。
トルカは読み取り機やサイトなどから取得が可能で、メール、赤外線通信／iC通信、microSDメモリーカードを使って簡単に交換できます。

● 対応機種：トルカ対応機種でご利用いただけます。詳細は『ご利用ガイドブック（ｉモード〈FOMA〉編）』をご覧ください。

トルカ利用の流れ

おサイフケータイを読み取り機にかざしてトルカを取得

トルカフォルダ
001/035件
14:05 赤坂
炭火・焼肉レ…
04/07 新宿
みなさまにプ…
04/06 大手町
おいしいお菓…

フォルダ内のトルカ一覧からトルカを選択して決定

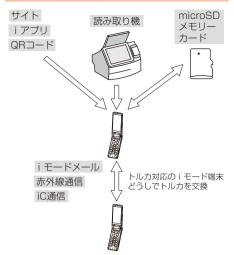
「詳細」ボタンを押して詳しい情報をダウンロード

トルカ（詳細）

トルカ取得

トルカを取得する

● 保存できるトルカのサイズは1件あたり最大1Kバイトです。トルカ（詳細）は1件あたり最大100Kバイトです。
● 最大保存件数→p.513

トルカの取得手段

● 読み取り機からの取得方法は、「おサイフケータイの利用方法」のステップ3と同じです。
→p.288
● その他の取得・交換方法
QRコード読み取り→p.172
サイトからダウンロード→p.191
ｉモードメール添付・保存→p.225、p.243
ｉアプリから保存→p.286
microSDメモリーカード移動／コピー→p.367
赤外線通信／iC通信→p.369、p.371

お知らせ

● 読み取り機からトルカを取得するには、トルカ取得設定を「取得する」に設定する必要があります。読み取り機からトルカを取得すると、取得音が鳴り、背面ディスプレイの照明が点灯します。
● 取得、ダウンロードしたトルカは「トルカフォルダ」に保存されます。
● 次の方法で取得したトルカは既読のトルカとして保存されます。
・QRコード読み取り
・サイトからダウンロード
・ｉモードメール受信
・既読のトルカを赤外線通信／iC通信で受信
● 保存領域の空きが足りないときや最大保存件数を超えるときは、保存できない旨のメッセージが表示されます。保存する場合は、画面の指示に従って不要なトルカを削除してください。

- トルカ（詳細）はメール添付、赤外線送信／iC 送信、microSDメモリーカードへ移動／コピーをすると、詳細は含まれない、または保存されない旨のメッセージが表示される場合があります。
- トルカによっては更新や移動／コピー、メールや赤外線などの送信ができない場合があります。

トルカ一覧

トルカを表示する

取得したトルカを表示したり、サイトから詳細情報をダウンロードしたりします。

1 待受画面で[メニュー]▶「[7]おサイフケータイを使う」▶「[5]保存したトルカを見る」を押す

トルカ一覧
トルカフォルダ
microSDのトルカ
レストラン
お買い物
利用済みトルカ

＜トルカ一覧＞

- フォルダの状態は次のマークで確認できます。
  （グレー）：トルカが保存されていないフォルダ
  （黒）：トルカが保存されているフォルダ（未読なし）
  ：トルカが保存されているフォルダ（未読あり）
  ：microSDメモリーカードのトルカフォルダ
  （グレー）：利用済みトルカが保存されていないフォルダ
  （黒）：利用済みトルカが保存されているフォルダ

2 フォルダを選択▶[決定]を押す

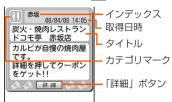
トルカフォルダ
001/035件
14:05 赤坂
炭火・焼肉レ…
04/07 新宿
みなさまにプ…
04/06 大手町
おいしいお菓…

取得日時
トルカ番号／トルカ件数
インデックス
タイトル
状態マーク
カテゴリマーク

＜フォルダ内のトルカ一覧＞

- 状態マークの意味は次のとおりです。
  NEW：未読　　表示なし：既読

■ **microSDメモリーカード内のトルカ一覧を表示する**：「microSDのトルカ」フォルダを選択▶[決定]▶フォルダを選択▶[決定]を押す

3 トルカを選択▶[決定]を押す

＜トルカ＞

- [メール][iアプリ]：スクロールします。1秒以上押すと連続スクロールします。
- [*][#]：1秒以上押すと画面単位でスクロールします。
- [→][←]：前後のトルカを表示できます。
- トルカに詳細情報がある場合は「詳細」ボタンが表示されます。「詳細」を選択して[決定]▶「[1]接続する」を押すとトルカ（詳細）をダウンロードできます。

■ **トルカをメールで送信する**：**フォルダ内のトルカ一覧で添付するトルカを選択▶[メニュー]▶「[1]メールで送る」を押す**

- メールに添付できるサイズ→p.225
- iモードメールの作成・送信方法→p.214、p.217
- トルカ（詳細）を添付できる場合は、詳細を含めてメールに貼り付けるかどうかの確認画面が表示されます。
- トルカ（詳細）を添付できない場合は、詳細は含まれないがメールに貼り付けるかどうかの確認画面が表示されます。
- 表示中のトルカをメールに添付する場合は、[メニュー]▶「[2]メールで送る」を押します。

お知らせ

- トルカによっては有効期限が設定されている場合があります。期限が過ぎると、フォルダ内のトルカ一覧の文字色が異なる色で表示されます。
- フォルダ内のトルカ一覧とトルカ（詳細）に、トルカ発行者独自のカテゴリマークが表示される場合があります（検索の条件「ジャンル」のカテゴリマークには含まれません）。
- トルカ（詳細）を更新する場合は、[メニュー]▶「1更新する」▶「1接続する」を押します。
- Flash画像がトルカ（詳細）に収まっていない場合は、スクロールにより画面内に収まった時点で動作が開始します。
- トルカ（詳細）を表示中にFlash画像やGIFアニメーションをもう一度動作させる場合は、[メニュー]▶「*再表示する」を押します。
- 「利用済みトルカ」フォルダ内のトルカは表示できません。
- 詳細情報をダウンロードするときは、パケット通信料がかかります。
- 受信側がトルカ対応機種の場合でも、機種によってはトルカ（詳細）を受信できない場合があります。

トルカの検索

〈例〉ジャンルで検索する

1 待受画面で[メニュー]▶「7おサイフケータイを使う」▶「5保存したトルカを見る」▶[メニュー]▶「1全件検索」を押す

検索条件の選択画面が表示されます。

2 「1ジャンル」を押す

- ジャンル選択画面でジャンルを選択して[電話帳]を押すと、ジャンルに含まれるカテゴリマークを確認できます。もう一度[電話帳]を押すとジャンル選択画面に戻ります。

■ **タイトルまたはインデックスで検索する：「2タイトル」または「3インデックス」▶検索する文字列の一部を入力▶[決定]を押す**

検索結果一覧が表示されます。

- タイトルは全角10文字、半角21文字以内で入力します。インデックスは全角7文字、半角15文字以内で入力します。

3 「1グルメ」～「0その他」のいずれかを押す

検索結果一覧が表示されます。

お知らせ

- フォルダ内のトルカ一覧から検索する場合は、[メニュー]▶「2フォルダ内検索」を押します。
- 「利用済みトルカ」フォルダ内のトルカは検索できません。

トルカを管理する

フォルダの作成やトルカの削除など、トルカをより便利に使うためのさまざまな機能があります。

フォルダの作成

- 「トルカフォルダ」「microSDのトルカ」「利用済みトルカ」フォルダ以外に最大20個作成できます。

1 待受画面で[メニュー]▶「7おサイフケータイを使う」▶「5保存したトルカを見る」を押す

トルカ一覧が表示されます。

2 [メニュー]▶「2フォルダを追加」▶フォルダ名を入力する

- 全角7文字、半角14文字以内で入力します。

■ **フォルダ名を変更する：フォルダ名を変更するフォルダを選択▶[メニュー]▶「4フォルダ名変更」▶フォルダ名を入力する**

- 「トルカフォルダ」「microSDのトルカ」「利用済みトルカ」フォルダのフォルダ名は変更できません。

3 [決定]を押す

フォルダを追加した旨のメッセージが表示されます。[決定]を押すとトルカ一覧に戻ります。

フォルダの削除

●「トルカフォルダ」「microSDのトルカ」「利用済みトルカ」フォルダは削除できません。

1 待受画面で[メニュー]▶「7おサイフケータイを使う」▶「5保存したトルカを見る」を押す

トルカ一覧が表示されます。

2 削除するフォルダを選択▶[メニュー]▶「3フォルダを削除」▶端末暗証番号を入力▶[決定]を押す

フォルダとフォルダ内のすべてのトルカを削除するかどうかの確認画面が表示されます。

3 「1削除する」を押す

フォルダを削除した旨のメッセージが表示されます。[決定]を押すとトルカ一覧に戻ります。

トルカの削除

〈例〉トルカを1件削除する

1 待受画面で[メニュー]▶「7おサイフケータイを使う」▶「5保存したトルカを見る」▶フォルダを選択▶[決定]▶削除するトルカを選択▶[メニュー]▶「3削除する」を押す

削除するトルカを選択する画面が表示されます。

2 「1選択1件」を押す

トルカを削除するかどうかの確認画面が表示されます。

■ フォルダ内のトルカを全件削除する：「2フォルダ内全件」▶端末暗証番号を入力▶[決定]を押す

3 「1削除する」を押す

トルカを削除した旨のメッセージが表示されます。[決定]を押すとフォルダ内のトルカ一覧に戻ります。

● フォルダ内のトルカがなくなった場合は、トルカがない旨のメッセージが表示されます。

お知らせ

●表示中のトルカを削除する場合は、[メニュー]▶「3削除する」を押します。
●「利用済みトルカ」フォルダ内のトルカを削除する場合は、トルカを選択して[決定]▶「1削除する」を押します。

他のフォルダへの移動／コピー

● トルカを microSD メモリーカードへ移動／コピーすることもできます。→p.367

〈例〉トルカを1件移動／コピーする

1 待受画面で[メニュー]▶「7おサイフケータイを使う」▶「5保存したトルカを見る」▶フォルダを選択▶[決定]▶移動／コピーするトルカを選択▶[メニュー]▶「4移動する」または「5コピーする」を押す

移動先またはコピー先を選択する画面が表示されます。

2 「1フォルダへ移動」または「1フォルダへコピー」を押す

移動またはコピーするトルカを選択する画面が表示されます。

3 「1選択1件」を押す

移動先またはコピー先のフォルダを選択する画面が表示されます。

■ フォルダ内のトルカを全件移動／コピーする：「2フォルダ内全件」を押す

4 移動先またはコピー先のフォルダを選択▶決定を押す

トルカを移動またはコピーした旨のメッセージが表示されます。決定を押すとフォルダ内のトルカ一覧に戻ります。

- フォルダ内のトルカがなくなった場合は、トルカがない旨のメッセージが表示されます。

おしらせ

- 表示中のトルカから操作する場合は、メニュー▶「4移動する」または「5コピーする」を押します。
- 「利用済みトルカ」フォルダ内には移動／コピーできません。

トルカの並び順変更

トルカの並び順（「日付順」）を一時的に並べ替えます。

1 待受画面でメニュー▶「7おサイフケータイを使う」▶「5保存したトルカを見る」▶フォルダを選択▶決定▶メニュー▶「7並び順を変更」を押す

並び順を選択する画面が表示されます。

2 「1日付順」～「5かな順」のいずれかを押す

選択した並び順でトルカが並び替わります。

おしらせ

- 全角や半角の文字が混在していると、「タイトル順」「インデックス順」で並べ替えた結果が50音順にならない場合があります。
- 「かな順」を選択すると、トルカがデータとして保有するID順に並べ替えます（IDは表示できません）。

トルカの件数や領域使用状況の確認＜保存内容確認＞

未読、既読のトルカの保存件数と、保存領域の使用状況を確認します。

1 待受画面でメニュー▶「7おサイフケータイを使う」▶「5保存したトルカを見る」▶メニュー▶「5保存内容を確認」を押す

保存内容確認
未読 2件
既読 33件
使用状況
使用量
14KB
空き容量
1,010KB
全容量
1,024KB

2 確認が終わったら決定を押す

トルカ一覧に戻ります。

おしらせ

- 表示中のフォルダ内の保存件数を確認する場合は、メニュー▶「8件数を確認」を押します。
- 「利用済みトルカ」フォルダ内のトルカは、保存件数や保存領域に影響しません。

トルカの情報を利用する

電話番号やメールアドレス、URLを電話帳やブックマークに登録したり、画像を保存したりできます。

- 電話番号、メールアドレス、URL から Phone To（AV Phone To）、Mail To、SMS To、Web To機能を利用できます。

〈例〉電話番号やメールアドレスを電話帳に新規登録する

1 待受画面でメニュー▶「7おサイフケータイを使う」▶「5保存したトルカを見る」▶フォルダを選択▶決定▶トルカ（詳細）を選択▶決定を押す

トルカ（詳細）が表示されます。

2 登録する電話番号やメールアドレスを選択▶メニュー▶「0電話帳に登録」▶「1新規に登録」を押す

名前の入力画面が表示されます。

● 以降の操作→p.87「ステップ1」操作2以降

■ **電話番号やメールアドレスを電話帳に追加登録する**：**登録する電話番号やメールアドレスを選択▶メニュー▶「0電話帳に登録」▶「2追加で登録」を押す**

電話帳の検索画面が表示されます。

- 以降の操作→p.193「登録済みの電話帳データに追加する」操作3以降

■ **URLをブックマークに登録する**：**登録するURLを選択▶メニュー▶「7ブックマークに登録」を押す**

登録先フォルダ選択画面が表示されます。

- 以降の操作→p.185「ブックマークの登録」操作2

■ **画像を保存する**：**メニュー▶「8画像を保存」を押す**

- 以降の操作→p.190「サイトから画像をダウンロードする」操作2以降
- 背景画像を保存するときはメニュー▶「9背景画像を保存」を押します。

■ **位置情報を利用する**：**利用する位置情報を選択▶決定を押す**

- 以降の操作→p.194「位置情報を利用する」操作2以降

トルカの機能を設定する

トルカ取得の動作の設定 ＜トルカ取得設定＞

読み取り機からトルカを取得するかどうかを設定します。

1 待受画面でメニュー▶「7おサイフケータイを使う」▶「6トルカの設定を行う」▶「1取得時動作を設定する」を押す

読み取り装置からトルカを取得するかどうかの確認画面が表示されます。

2 「1取得する」または「2取得しない」を押す

トルカを取得する／取得しないに設定した旨のメッセージが表示されます。決定を押すとメニュー画面に戻ります。

トルカ取得時の重複確認の設定 ＜取得時重複確認設定＞

本機能を「行う」に設定すると、読み取り機からトルカを取得する際、保存しているトルカと重複している場合は新たにトルカを取得しません。

1 待受画面でメニュー▶「7おサイフケータイを使う」▶「6トルカの設定を行う」▶「2取得時重複確認を設定する」を押す

トルカ取得時の重複確認を行うかどうかの確認画面が表示されます。

2 「1行う」または「2行わない」を押す

トルカ取得時の重複確認を行う／行わないに設定した旨のメッセージが表示されます。決定を押すとメニュー画面に戻ります。

自動読取機能の設定 ＜自動読取機能設定＞

読み取り機にFOMA端末をかざしてトルカを利用する際、利用可能なトルカを自動的に読み取りさせるかどうかを設定します。「利用する」に設定すると、利用可能なトルカが自動的に認識され、「利用済みトルカ」フォルダに移動されます。

● 本機能を「利用する」に設定しないと、トルカによっては利用できない場合があります。
●「利用済みトルカ」フォルダには、トルカが最大20件保存されます。20件を超えると古いものから順に上書きされます。

1 待受画面でメニュー▶「7おサイフケータイを使う」▶「6トルカの設定を行う」▶「3自動読み取り機能を設定する」を押す

トルカの自動読取機能を利用するかどうかの確認画面が表示されます。

2 「1利用する」または「2利用しない」を押す

トルカの自動読取機能を利用する／利用しないに設定した旨のメッセージが表示されます。決定を押すとメニュー画面に戻ります。

お知らせ

- 本機能を「利用しない」に設定しているときに読み取り機にFOMA端末をかざすと、トルカの自動読取機能を利用するかどうかの確認画面や自動読取機能無効を示す画面が表示される場合があります。トルカを利用する場合は「利用する」に設定してください。

ICカードロック

ICカード機能を使用できないようにする

ICカード機能をロックして、他人が不正にICカードを使用するのを防ぎます。

- 次の機能が利用できなくなります。
  - ICカードの利用
  - 読み取り機からのトルカ取得
  - おサイフケータイ対応ｉアプリのダウンロードや利用
  - iC通信
- ICカードロックとオールロックの両方を起動するには、先にICカードロックを起動してから、オールロックを起動してください。

1 待受画面でメニュー▶「7おサイフケータイを使う」▶「4おサイフケータイ機能を制限する」▶「1ICカードロックを設定する」▶端末暗証番号を入力▶決定を押す

ICカードロックを設定するかどうかの確認画面が表示されます。

2 「1設定する」または「2設定しない」を押す

ICカードロックを設定／解除した旨のメッセージが表示されます。決定を押すとメニュー画面に戻ります。

- 本機能を使用中は待受画面に[IC]が表示されます。

お知らせ

- 電池パックを取り外したり、おまかせロックを起動したりすると、ICカードロックの設定に関わらずICカード機能が利用できなくなります。
- ICカードロック中は、おサイフケータイ対応ｉアプリによっては削除できない場合があります。

電源を切ったときのICカード機能ロックの設定 <電源切時ICカードロック設定>

電源を切ったとき、電源を切る前のICカードロックの状態を継続するか、すべてのICカード機能をロックするかを選択できます。

1 待受画面でメニュー▶「7おサイフケータイを使う」▶「4おサイフケータイ機能を制限する」▶「2電源切時ICカードロックを設定する」▶端末暗証番号を入力▶決定を押す

電源を切る時のICカードロックの状態を設定する画面が表示されます。

2 「1直前のロック状態を継続する」または「2ICカード機能を停止する」を押す

直前のロック状態を継続する／ICカード機能を停止するに設定した旨のメッセージが表示されます。決定を押すとメニュー画面に戻ります。

ICカードロックの自動起動の設定 <ICカードオートロック設定>

指定した時間が経過すると、ICカードロックが自動的に起動するように設定します。

1 **待受画面で[メニュー]▶「7おサイフケータイを使う」▶「4おサイフケータイ機能を制限する」▶「3ICカードオートロックを設定する」を押す**

ICカードオートロックを設定するかどうかの確認画面が表示されます。

2 **「1設定する」を押す**

ICカードオートロックを設定するまでの時間を設定する画面が表示されます。

- 「2解除する」: ICカードオートロック設定を解除します。操作4に進みます。

3 **「1 1分」〜「6 90分」のいずれかを押す**

ICカードオートロックを設定した旨のメッセージが表示されます。

4 **[決定]を押す**

メニュー画面に戻ります。

お知らせ

- 本機能を「設定する」に設定しているときに電源を切ったり、電池残量がなくなって電源が切れたりした場合は、指定した時間を待たずにICカードロックが起動します。
- 本機能を「設定する」に設定しているときにICカードロックを解除すると、設定した時間が経過した後、再び自動的にICカードロックが起動します。
- おサイフケータイ対応ｉアプリの利用中にロックするまでの時間が経過した場合は、おサイフケータイ対応ｉアプリの終了後にICカードロックが起動します。

GPS機能

GPSのご利用について

GPS利用時の留意事項

- FOMA端末の故障や誤動作、不具合、停電などの外部要因（電池切れを含む）によって測位結果の確認や通信などの機会を逸したりしたために生じた損害などの純粋経済損害につきましては、当社は一切その責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。
- 航空機、車両、人などの航法装置や、高精度の測量用GPSとしての使用はできません。そのため、位置情報を利用して航法を行うことによる損害や位置の誤差による損害が発生しても、当社は一切その責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。
- GPSは米国国防総省により運営されているため、米国の国防上の都合によりGPSの電波の状態がコントロール（精度の劣化や電波の停止など）される場合があります。また、同じ場所・環境で測位した場合でも、人工衛星の位置によって電波の状況が異なるため、同じ結果が得られないことがあります。
- 次の状態や環境下では、人工衛星の電波を正常に受信しにくい、または受信できない可能性があります。
  - 樹木の中や下、ビル街、住宅密集地
  - 建物の中や直下
  - 地下やトンネル、地中、水中
  - 高圧線の近く
  - 自動車や電車内
  - 大雨や雪などの悪天候
  - 手などで覆っていたり、かばんなどに入れていたりする
  - FOMA端末を閉じている
  - 周囲に障害物（人や物）がある

  このような場合、得られる位置情報の誤差が300m以上になる場合があります。
- 圏外または海外では、現在地確認を除きGPS機能をご利用いただけません。

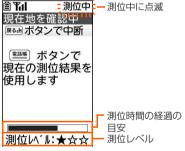
現在地確認

現在地の地図を見る

今いる場所を測位し、現在地の地図を見ます。位置情報はナビソフトの情報提供者に送信されます。

- 位置提供または現在地通知により現在地を測位しているときは現在地確認できません。
- 圏外や海外でも、見晴らしのよい場所であれば測位できる場合がありますが、時間がかかるなど通常とは動作が異なったり、周囲の状況によっては測位できなかったりすることがあります。また、測位を行った後に地図を見たりメールで送ったりすることはできません（位置情報は位置履歴に保存されます）。
- GPSを利用する現在地確認にはパケット通信料はかかりません。地図を見る場合はｉモードを利用するため、別途パケット通信料がかかります。

1 待受画面でテレビ電話を1秒以上押す

測位を行います。

今いる場所の
確認が
終了しました。
今いる場所を
情報提供者に
送信します
決定

- 測位レベルのマークの意味は次のとおりです。
  ★★★：ほぼ正確な位置情報（誤差がおおむね50m未満）
  ★★☆：比較的正確な位置情報（誤差がおおむね300m未満）
  ★☆☆：おおよその位置情報（誤差がおおむね300m以上）

※ 測位レベルはあくまで目安です。周囲の電波状況などにより実際とは異なる場合があります。

- 測位中に戻るまたは⌒を押すと、測位を中断します。
- ガイド行の右側に「利用」が表示されているときに電話帳を押すと、その時点での位置情報を利用できます。

2 決定を押す

位置情報がナビソフトの情報提供者に送信されます。その後、ナビソフトが起動して今いる場所の地図が表示されます。

GPS対応iアプリを利用する

GPS対応ｉアプリを利用すると、利用するｉアプリの情報提供者に位置情報を送信したり、現在地や指定した場所の地図を見たりすることができます。

- GPS対応ｉアプリで各種のGPS機能を利用する場合、利用するｉアプリのソフト動作設定の「位置情報の設定」を「利用する」に設定する必要があります。→p.274
- ナビソフトとして利用するには、ｉアプリの「起動ソフト設定」の「ナビソフト」に設定する必要があります。→p.275
- お買い上げ時には、GPS対応ｉアプリとして「地図アプリforらくらくホン」が登録されています。
- GPS対応ｉアプリを終了するには、それぞれのｉアプリごとに設定されている方法で操作を行ってください。

ナビを使う（地図アプリforらくらくホンを利用する）

お買い上げ時に登録されている「地図アプリforらくらくホン」では、GPS機能と地図を利用して、現在地や指定した場所の地図を見たり、周辺の情報を調べたり、目的地まで乗り物、徒歩、自動車向けのナビゲーションなどあらゆることができます。また音声で入力することで簡単に操作することができます。

- ご利用には別途、パケット通信料がかかります。本ソフトはパケ・ホーダイ／パケ・ホーダイフルのご利用をおすすめいたします。
- 地図、経路情報などについて、正確性、即時性など、いかなる保証もいたしませんので、あらかじめご了承ください。
- 走行中は必ず、ドライバー以外の方が操作を行ってください。

1 メニュー▶「6地図を見る・GPSを使う」▶「2ナビを使う」

地図アプリforらくらくホンのメニューが表示されます。

基本サービスと付加サービスについて

本ソフトには、基本サービスと付加サービスがあります。

基本サービス：ドコモが無料で提供するサービス
付加サービス：ゼンリンデータコムが有料で提供するサービス

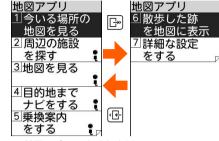
- 初めて本ソフトを起動した日から90日までは交通情報以外の付加サービスを無料でご利用いただけます。91日以降に付加サービスを利用するには、ゼンリンデータコムが提供する「ゼンリン地図＋ナビ」の会員登録（有料）が必要です。
- 本ソフトを利用途中に会員登録しても、ソフトを再度ダウンロードする必要はありません。本ソフトをそのままご利用いただけます。

メニュー	内　容	91日以降
今いる場所の地図を見る	• GPS機能を利用して、今いる場所の地図を見たり、地図をメールで送ったりします。	無料

メニュー	内　容	91日以降
周辺の施設を探す	• 今いる場所や指定した場所周辺のお店や施設などの情報を調べます。 • 音声で入力して調べることもできます。	無料
地図を見る	• フリーワードやジャンル、住所、電話番号などを入力して地図を見ます。 • 音声で入力して調べることもできます。	無料
	• 登録している地点や履歴の地図を見ます。 • サーバに地点を登録すると、パソコンと登録地点を共有します。	有料
目的地までナビをする	• 目的地まで乗り物、徒歩、自動車を含めたナビをします。 • 登録した自宅まで簡単にナビをします。 • 音声で入力して調べることもできます。	有料
乗換案内をする	• 電車の乗換案内や時刻表を確認します。 • 電車ルートを地図で確認、出発前にアラーム設定をします。 • 音声で入力して調べることもできます。	有料
散歩した跡を地図に表示	• 動いた軌跡、移動時間、移動距離、時速を地図に表示します。 • microSDメモリーカードに軌跡を保存します。	無料
詳細な設定をする	• 地図表示、ナビ表示などの設定、使いかたの確認をします。	無料

「地図アプリ for らくらくホン」メニューの画面と操作

● 画面はイメージです。実際の画面と異なる場合があります。

● 初回起動時には利用規約やご利用の注意事項が表示されます。

＜地図アプリforらくらくホンのメニュー画面＞

■ 会員登録をせずに91日経過した場合

91日以降に最初に起動した際に、利用できる機能が制限されることを通知するメッセージと、会員登録の照会メッセージが表示されます。また、付加サービスメニューを選択した場合にも、同様のメッセージが表示されます。

• 会員登録する場合は、本ソフトから「ゼンリン地図＋ナビ」のサイトで会員登録します。

お試し期間終了
90日経過しました
下記の機能を
利用するには
会員登録(有料)が
必要です。
･ナビ･渋滞情報
･乗換案内･時刻表
･登録･履歴
1 会員登録する
2 前の頁に戻る

地図の画面と操作

＜地図表示画面＞

● 地図表示画面では次の操作ができます。

操作ボタン	動　作
メニュー	メニューを表示します。
決定	地図利用メニューを表示します。
電話帳	縮尺を示すバーを表示します。広域表示する場合は[上]、詳細表示する場合は[下]を押します。電話帳を押すと、縮尺を決定してバーが消えます。
[上] [下] [左] [右]	地図を上下左右に移動します。
＊	地図を左に回転します。
0	北を上にして地図を表示します。
＃	地図を右に回転します。

● 地図利用メニューでは次のメニューを利用できます。

メニュー項目	動　作
1 この場所の住所を表示する	地図の中心の住所や周辺の情報を表示します。
2 この場所に行く	地図の中心を目的地としてナビをします。
3 この場所の周辺施設を探す	表示している地図の周辺情報を調べます。
4 この場所でタクシーを呼ぶ	表示している地図周辺で呼ぶことができるタクシー会社を探します。
5 この場所をメールで送る	表示している地図のURLをメールで送ります。
6 この場所を登録する	表示している地点を本ソフトやサーバ、電話帳に登録します。
7 この場所を自宅に登録する	表示している地点を自宅として本ソフトに登録します。
8 地下鉄の出口を探す	表示している地図に地下鉄の出口をマークします。

ルートを検索して音声と画面で目的地まで案内（ナビゲーション）する

出発地と目的地を設定してルートを検索します。徒歩、公共交通機関、自動車を利用したルートを表示します。ルートを検索後、音声と画面で目的地まで案内（ナビゲーション）します。

1 **地図アプリforらくらくホンのメニュー画面で「4目的地までナビをする」▶「1ナビをする」を押す**

2 **出発地欄を選択▶決定▶項目を選択▶決定▶出発地を設定する**

項　目	動　作
現在地（GPS）	現在地を測位して設定します。
地図上で指定	地図で出発地を設定します。
住所を検索	住所を検索、選択して設定します。
駅を検索	駅を検索して設定します。
施設を検索	施設を検索、選択して設定します。
電話番号	電話番号で検索して設定します。
郵便番号	郵便番号で検索して設定します。
履歴から	過去に検索した場所から設定します。
登録地点から	本ソフトやサーバ、電話帳に保存している位置情報から設定します。
自宅	自宅の位置情報を設定します。
出発地の確認	出発地の情報を確認します。

3 **目的地欄を選択▶決定▶項目を選択▶決定▶目的地を設定する**

● 操作2と同様の操作で設定します。

4 時間指定欄を選択▶決定▶項目を選択▶決定▶時間指定を設定する

項　目	動　作
現時刻で指定	現在の時間でルートを調べます。
出発時刻指定	出発時間を指定してルートを調べます。
到着時刻指定	到着時間を指定してルートを調べます。
終電を利用	当日の最も遅い時刻の電車ルートを調べます。

5 条件設定欄を選択▶決定▶項目を選択▶決定▶条件を設定▶「1上記で設定」▶決定を押す

項　目	動　作
乗換条件	乗り換えの選択基準を「早い」、「安い」、「楽々」から選択します。
徒歩ルート	ルートの選択基準を「おまかせ」、「屋根が多い」、「階段が少ない」から選択します。
利用車種	利用する車種を選択します。

6 「1ルート検索」または「2自動車のみ検索」

● すべてのルートを検索する「ルート検索」と自動車ルートだけの「自動車のみ検索」でルートを検索できます。検索結果としてルート（最大6件まで）が表示されます。異なる交通機関の乗り換えルートがある場合は、ルートの特徴を表示します。

表　示	意　味
早	到着時間が早いルート
安	運賃が安いルート
楽	乗り換えが少ないルート
オススメ	早／安／楽のすべての条件を満たしたルート
有料	有料道路を使った自動車ルート
一般	一般道路を使った自動車ルート

■ ルートを登録する：ルート検索結果画面で「ルートを登録する」を押す

7 ルートを選択▶決定▶「1ナビ・ルートを確認」▶「1ナビ」または「2ナビ（省電力）」▶「1同意の上利用」を押す

目的地までのナビゲーションを開始します。

■ ルートを確認する：ルートを選択▶決定▶「1ナビ・ルートを確認」▶「3ルート確認」▶「1同意の上利用」を押す

ルート（自動車）／ナビゲーション（自動車）表示の画面と操作

● 画面はイメージです。実際の画面と異なる場合があります。

＜ナビゲーション（自動車）＞

● 目的地までのルートの色は場所によって異なります。通過すると、ルートの色は赤色に変わります。

● ナビゲーション利用時は次の操作ができます。

操作ボタン	動　作
[メニュー]	ナビを終了し、地図アプリforらくらくホンのメニュー画面を表示します。
[決定]	地図利用メニューを表示します。
[電話帳]	縮尺を示すバーを表示します。広域表示する場合は[上]、詳細表示する場合は[下]を押します。[電話帳]を押すと、縮尺を決定してバーが消えます。
[上][下][左][右]	地図を上下左右に移動します。
[戻る]	現在地の位置に戻ります。
[2]	交差点モードに切り替えます。
[5]	ナビゲーションの中止／開始を行います。
[＊]	地図を左に回転します。
[0]	北を上にして地図を表示します。
[＃]	地図を右に回転します。

● 地図利用メニューでは次のメニューを利用できます。

メニュー項目	動　作
1 経由地を設定する	目的地までのルートに経由地を2箇所まで加えてルートを検索します。
2 ルートを再探索する	現在地から目的地までのルートを再度検索します。
3 検索結果と設定画面を表示	ルートの検索結果（時刻や料金など）を表示したり、ナビの設定をしたりします。
4 ルートを消去する	表示しているルートを消去します。
5 交差点モードへ切り替える	交差点モードに切り替えます。
6 ルート画面に戻る	メニューを閉じてナビゲーションの画面に戻ります。

音声で入力する

住所や駅名、施設名を音声で入力することで、簡単に操作することができます。

〈例〉地図を音声入力で利用する

1 **地図アプリforらくらくホンのメニューで「3 地図を見る」▶「1 住所で検索」▶「1 音声で検索」を押す**

音声入力方法の説明画面が表示されます。

2 **入力方法を確認して[決定]**

[決定]ボタンを押し
発信音や
振動の後に
住所を
お話ください

例：東京都豊島区
　池袋1丁目1の1

GPS機能

3 音声入力画面で検索する内容を発声する

発声を終了すると、音声を認識し、確認画面が表示されます。

東京都豊島区池袋
1丁目1-1
1この条件で検索
2修正する

- 画面は「東京都豊島区池袋1丁目1の1」と発声した場合の例です。
- 認識の結果が間違っていた場合は、音声を再入力してください。

詳細な設定をする

1 地図アプリforらくらくホンのメニューで「7詳細な設定をする」を押す

- 次のメニューを利用できます。

メニュー項目	動　作
1案内の条件を設定する	ナビの音量やルート検索条件、動作の設定をします。
2自宅の場所を登録する	自宅の場所の登録、編集を行います。
3地図全般の設定をする	地図の色や、地図上に周辺情報を表示するかどうかなどを設定します。
4自宅最寄駅を設定する	自宅の最寄り駅を設定します。
5会員情報を確認する	「ゼンリン地図+ナビ」の会員情報を確認します。
6使い方の説明	使い方の説明をします。
7よくある質問	よくある質問と回答を確認します。
8利用規約を確認する	利用規約を確認します。

現在地をメールで送る

今いる場所の位置情報をメールで送信します。

● 送付する位置情報はｉモード対応端末でのみ表示できます。

1 **待受画面で[メニュー]▶「[6]地図を見る・GPSを使う」▶「[3]現在地をメールで送る」を押す**

測位を行います。測位が完了すると、題名欄に「位置メール」が、本文欄に「私の現在位置はこちらです。 」とURL化した位置情報が入力されたメール作成画面が表示されます。

● 測位中の画面の見かた→p.300

2 **メールを作成して送信する**

● ｉモードメールの作成・送信方法→p.214、p.217

おしらせ

● ワンタッチボタンや音声電話中のサブメニューから、今いる場所を知らせるメールを作成できます。→p.108、p.308

● 電波が入りにくいため測位に時間がかかる旨のメッセージが表示される場合があります。「続ける」を選択すると測位を続けますが、測位には時間がかかります。

GPS以外の機能から位置情報を利用する

位置情報貼付け／送信／登録

次の方法で位置情報を選択する画面が表示されます。

● メール本文の入力中にサブメニューで「位置情報貼付け」を押す。

● 簡単メール作成画面で「位置情報」を押す。

● ｉモードのサイト画面で位置情報送信用のリンク項目を押す。

● FOMA端末電話帳の詳細画面や個人情報（詳細）画面のサブメニューで「位置情報を登録」を押す。

● 写真撮影後の確認画面で[メニュー]を押す。

〈例〉「位置情報貼付け」を選択したとき

貼付ける
位置情報を
選んでください

[1]現在地から
[2]位置履歴から
[3]電話帳から
[4]個人情報から
[5]写真から

[1]**現在地から**：現在地確認を行い、測位した位置情報を貼付け／送信／登録します。

[2]**位置履歴から**：位置履歴の位置情報を貼付け／送信／登録します。

• 位置履歴がない場合は、位置履歴がない旨のメッセージが表示されます。

[3]**電話帳から**：FOMA端末電話帳の検索結果一覧に、位置情報が登録された電話帳データが表示されます。利用する電話帳データを選択して[決定]を押すと、位置情報を貼付け／送信／登録します。

• FOMA端末電話帳に位置情報を登録する場合は選択できません。

• 位置情報が登録された電話帳データがない場合は、該当するデータがない旨のメッセージが表示されます。

[4]**個人情報から**：端末暗証番号を入力すると、個人情報に登録された位置情報を貼付け／送信／登録します。

• 個人情報に位置情報を登録していない場合は、位置情報がない旨のメッセージが表示されます。

5 **写真から**：アルバム一覧が表示されます。位置情報の付いた写真を選択し、決定を押すと、位置情報を貼付け／送信／登録します。
- 位置情報の付いた写真がない場合は、選択できる写真がない旨のメッセージが表示されます。

● メール本文に貼付けたときは、「」とURL化した位置情報が入力されます。送付する位置情報はｉモード対応端末でのみ表示できます。
- ｉモードメールの作成・送信方法→p.214、p.217

位置情報の利用

次の方法で位置情報の利用方法を選択する画面が表示されます。

● 位置情報が登録されたFOMA端末電話帳の詳細画面で、を選択して決定を押す。
● 位置情報が登録された個人情報（詳細）画面のサブメニューで「位置情報を利用」を押す。
● 位置情報のある画像の情報を表示中にメニューを押す。
● 位置履歴の表示画面のサブメニューで「位置情報を利用」を押す。

位置情報の
利用方法を
選んでください
1 地図を見る
2 ｉアプリを使う
3 メールに貼付け
4 電話帳に追加

1 **地図を見る**：「1 送信する」を押すと、位置情報がナビソフトの情報提供者に送信されます。その後、ナビソフトが起動して今いる場所の地図が表示されます。
- パケット通信料がかかります。

2 **ｉアプリを使う**：利用するGPS対応ｉアプリを選択し決定を押すと、ｉアプリが起動します。

3 **メールに貼付け**：題名欄に「位置メール」が、本文欄に「位置情報付きメールです。」とURL化した位置情報が入力されたメール作成画面が表示されます。
- 送付する位置情報はｉモード対応端末でのみ表示できます。
- ｉモードメールの作成・送信方法→p.214、p.217

4 **電話帳に追加**：追加する電話帳を選択し決定を押すと、電話帳に位置情報が追加されます。
- 位置情報を登録している電話帳を選択したときは、上書きするかどうかの確認画面が表示されます。

音声電話中に位置確認／メール送信をする

音声電話中に今いる場所を地図で見る

音声電話中に今いる場所を地図で表示し、通話中の相手と自分におおよその住所をガイダンスでお知らせします。位置情報は情報提供者に送信されます。

● パケット通信料がかかります。

1 通話中にメニュー▶「8 現在地を見る」を押す

測位を行います。測位が完了すると、場所の確認が終了した旨のメッセージが表示されます。決定を押すか約2秒たつと位置情報が送信され、今いる場所の地図が表示され、受話口から測位した位置情報のガイダンスが流れます。このとき、通話中の相手にも位置情報をガイダンスでお知らせします。

● 測位中の画面の見かた→p.300
● ▶「1 終了する」を押すと通話中の画面に戻ります。
　※ 通話中の相手が音声通話を切っても、地図の表示は終了しません。

音声電話中に位置情報をメールで送る

音声電話中に今いる場所の位置情報をメールで送信します。

● 電話帳データに通話中の相手のメールアドレスを登録しているときに、自動で位置情報をメールで送信します。
● 該当する電話帳データにシークレット属性を設定してシークレットモード中でない場合や、個人情報表示制限中は送信できません。
● 同じ電話番号を複数の電話帳に登録している場合の送信先は、次の電話帳の優先順位により決まります（電話帳を利用して発信した場合を除く）。
①最初に登録したFOMA端末電話帳
②後から登録したFOMA端末電話帳
③FOMAカード電話帳

1 通話中に(メニュー)▶「7現在地を送る」を押す

測位を行います。測位が完了すると、題名欄に「位置メール」、本文欄に「私の現在位置はこちらです。」とURL化した位置情報が入力されたメールが通話中の相手に送信されます。

- 測位中の画面の見かた→p.300
- 電話帳データに複数のメールアドレスを登録しているときは、メールアドレスの選択画面が表示されます。送信するメールアドレスを選択▶(決定)を押します。

位置提供

要求に応えて現在の位置情報を提供する

位置提供を行うかどうかを設定します。

- 位置提供を利用するには、本設定を「受信する」に設定する必要があります。
- 位置提供を利用するには位置提供機能に対応したサービス提供者へのお申し込みや、サービスごとの利用設定が必要となる場合があります。また、サービスの利用は有料となる場合があります。ご利用にあたっては、GPSサービス提供者やドコモのホームページなどでのお知らせをご確認ください。
- 他の機能から、または位置提供により現在地を測位しているときや圏外にいるとき、セルフモード中、ナビソフトでｉモード通信中、赤外線通信／iC通信中、ソフトウェア更新中は位置提供できません。また、測位中に電池が切れたり、おまかせロックがかかったりしたときは、測位は中断されます。
- 「受信する」に設定すると、操作を行わなくても位置情報が送信され、検索者に通知される場合があります。
- 位置提供は利用料がかかりません。

1 待受画面で(メニュー)▶「6地図を見る・GPSを使う」▶「5詳細な機能・設定」▶「1位置提供機能の詳細を設定する」▶「1位置提供機能を設定する」▶端末暗証番号を入力▶(決定)を押す

位置の検索要求を受信するかどうかの確認画面が表示されます。

2 「1受信する」または「2受信しない」を押す

位置の検索要求を設定した旨のメッセージが表示されます。(決定)を押すとメニュー画面に戻ります。

- 「受信する」に設定中は、待受画面にが表示されます。

位置提供の要求があると

〈例〉サービスごとの利用設定を「許可」に設定しているとき

測位を行い、位置情報を送信します。**測位中** が点滅し、音が鳴り、背面ディスプレイの照明が青色で点灯し、バイブレータが振動します。

現在地を提供中
(戻る)ボタンで中断
送信先:
イマドコサーチ
要求元:
090XXXXXXXX
測位ﾚﾍﾞﾙ:★☆☆

送信先名

要求者ID（電話番号やメールアドレスなど）
・要求者 ID は表示されない場合があります。
・要求者 ID が電話帳データと一致した場合は、電話帳に登録している名前が表示されます。

- 位置提供を中断する場合は(戻る)または(━)を押します。
- サービスごとの利用設定を「毎回確認」に設定しているときは、次の画面が表示されます。「送信する」を選択すると測位を行い、位置情報を送信します。

今いる場所を
送信しますか？
送信先:
イマドコサーチ
要求元:
090XXXXXXXX
1送信する
2拒否する

お知らせ

- 位置提供を行っても、電波状態により相手に情報が届いていない場合があります。
- 公共モード（ドライブモード）中に位置提供の要求があったとき、サービスごとの利用設定を「毎回確認」に設定している場合は位置情報を送信しません。「許可」に設定している場合は、画面が表示され位置情報を送信しますが、音は鳴らず、バイブレータも動作しません。
- 位置提供の中止を行っても、タイミングによっては位置情報が送信される場合があります。また、緊急通報時に位置情報を送信する場合は中止できません。
- 要求者IDが電話帳に登録している電話番号またはメールアドレスと一致しても、オールロック中やおまかせロック中、個人情報表示制限中など電話帳が利用できない場合や、該当する電話帳データにシークレット属性が設定されていてシークレットモード中でない場合には、電話帳に登録している名前は表示されません。
- イマドコかんたんサーチを利用した相手から位置情報の提供を要求されたときは、次のように動作します。
  - 要求があるたびに位置提供の確認画面が表示されます。「1送信する」を押すと、すぐに大まかな測位結果が相手に通知されます。測位終了後には、精度の高い測位結果が相手に通知されます。
  - 位置提供の確認画面で「1送信する」を押した後に、位置提供を中断しても大まかな測位結果が相手に通知されます。この場合、位置履歴に記録されますが、位置情報は表示されません。

現在地通知

現在の位置情報を通知する

現在地の位置情報を他の人（現在地通知機能に対応したサービス提供者）に通知します。

- 現在地通知を利用するには現在地通知機能に対応したサービス提供者へのお申し込みが必要となる場合があります。また、サービスの利用は有料となる場合があります。ご利用にあたっては、GPSサービス提供者やドコモのホームページなどでのお知らせをご確認ください。
- 現在地確認または位置提供での測位中や圏外にいるとき、セルフモード中は、現在地通知はできません。また、ダイヤル発信制限中は通知先IDを入力しての通知はできません。

〈例〉通知先IDを入力して通知する

1 **待受画面でメニュー▶「6地図を見る・GPSを使う」▶「5詳細な機能・設定」▶「2現在地通知先に現在地を送る」を押す**

通知先を
選択してください
1一覧から選ぶ
2直接入力する

2 **「2直接入力する」を押す**

直接入力
通知先IDを
入力してください
XXXXXXXX

■ 一覧から選択する：「1一覧から選ぶ」▶通知する相手を選択▶決定を押す
操作4に進みます。

3 **通知先IDを入力▶決定を押す**

今いる場所と電話番号をサービス提供者に送信する旨のメッセージが表示されます。

- 半角12文字以内で入力します。

4 **決定を押す**

測位を行い、位置情報を通知します。測位中は **測位中** が点滅します。

通知先:
△△△△△△△△
△△
送信しました
決定

● 測位中に 戻る または ━ を押すと通知を中断します。

5 **送信結果を確認▶決定を押す**

メニュー画面に戻ります。

現在地の通知先一覧に通知先を登録する

通知先を登録すると、現在地通知を行うときに一覧から選択して通知できます。特定の相手に音声電話またはテレビ電話を発信すると、登録した通知先IDに現在地の通知を行うようにも設定できます。

● 通知先は最大5件登録できます。

1 **待受画面でメニュー▶「6地図を見る・GPSを使う」▶「5詳細な機能・設定」▶「3現在地通知先の一覧を見る」を押す**

現在地通知先一覧
0/5件
<新しい通知先>

2 **「<新しい通知先>」を選択▶決定を押す**

現在地通知先登録
通知先名
通知先ID
電話番号

● 登録済みの通知先を選択▶決定を押すと、登録内容が確認できます。電話帳を押すと編集できます。

● 登録済みの通知先を削除するときは、メニュー▶「3削除する」を押します。

3 **通知先名欄を選択▶決定を押す**

通知先名の選択画面が表示されます。

4 「2直接入力する」▶通知先名を入力▶決定を押す

操作2の画面に戻ります。

● 全角16文字、半角32文字以内で入力します。

■ 電話帳から選択する：

① 「1電話帳から選ぶ」▶電話帳を検索する

・検索方法→p.93

② 通知先にする相手を選択▶決定を押す

③ 電話番号欄に入力する電話番号を選択▶決定を押す

通知先名欄に名前が、電話番号欄に電話番号が入力されます。入力された電話番号を登録する場合は、操作6〜7の操作は不要です。

5 通知先ID欄を選択▶通知先IDを入力▶決定を押す

操作2の画面に戻ります。

● 契約したサービス提供者から付与される番号を入力します。

● 半角12文字以内で入力します。数字、「#」「*」を入力できます。

6 電話番号欄を選択▶決定を押す

電話番号の選択画面が表示されます。

7 「2直接入力する」▶相手の電話番号を入力▶決定を押す

操作2の画面に戻ります。

● 半角26文字以内で入力します。数字、「P」「T」「+」「#」「*」を入力できます。

● 「電話帳から選ぶ」を選択した場合の操作は、操作4と同様です。入力済みの通知先名は上書きされます。

8 発信時通知設定欄を選択▶「1送信する」〜「3発信時に確認」のいずれかを押す

操作2の画面に戻ります。

● 登録した相手に音声電話またはテレビ電話を発信するときに、登録した通知先IDに現在地を通知するかどうかを設定します。

● 「送信する」に設定すると、発信時に現在地が通知されます。

● 「発信時に確認」に設定すると、発信時に今いる場所を通知先に送信するかどうかの確認画面が表示されます。「送信する」を選択すると、現在地が通知されます。

9 電話帳を押す

現在地通知先を登録した旨のメッセージが表示されます。決定を押すと現在地通知先一覧画面に戻ります。

おしらせ

● 現在地通知を行っても、電波状態により相手に情報が届いていない場合があります。

● 発信時通知設定で現在地を通知するように設定しても、次の場合は通知できません。

・発信者番号を通知しないで発信したとき

・相手が話し中や圏外などのため通話できないとき

位置履歴

測位の履歴を表示する

現在地確認、位置提供、現在地通知のいずれかの機能で測位した履歴を表示します。

● 位置履歴は最大50件記録されます。50件を超えると、古いものから順に消去されます。

1 待受画面で[メニュー]▶「[6]地図を見る・GPSを使う」▶「[4]測位した位置の履歴を見る」を押す

最新の履歴が表示されます。[メール][iα]で前後の履歴を表示できます。

位置履歴01
4月 8日 火曜日
14時 5分
現在地確認
位置情報あり

測位した日時

機能
・ナビソフトを利用して測位したときも「現在地確認」と表示されます。

● 待受画面に表示される[アイコン]／[アイコン]／[アイコン]を選択して[決定]を押しても表示されます。

■ 位置情報を利用する：**利用する履歴を表示▶[メニュー]▶「[1]位置情報を利用」を押す**
- 以降の操作→p.308

■ 履歴を削除する：
① **削除する履歴を表示▶[メニュー]▶「[2]削除する」▶「[1]選択1件」**
- 全件削除するときは、「[2]全件」▶端末暗証番号を入力▶[決定]を押します。

② **「[1]削除する」▶[決定]を押す**
削除した旨のメッセージが表示されます。

2 詳細を確認する履歴を表示▶[電話帳]を押す

詳細情報
北緯：
XX°XX' X.XXX"
東経：
XXX° X'XX.XXX"
測地系：
WGS84
測位レベル：
★☆☆

<現在地確認>

詳細情報
送信先名：
イマドコサーチ
送信先ID：
XXXXXXXX
要求者名：
△△△△△
要求者ID：
090XXXXXXXX
北緯：
XX°XX' X.XXX"
東経：
XXX° X'XX.XXX"
測地系：
WGS84
測位レベル：
★☆☆

<位置提供>

詳細情報
通知先名：
△△株式会社
通知先ID：
XXXXXXXX
北緯：
XX°XX' X.XXX"
東経：
XXX° X'XX.XXX"
測地系：
WGS84
測位レベル：
★☆☆

<現在地通知>

3 確認が終わったら[決定]▶[戻る]を押す

メニュー画面に戻ります。

おしらせ

● 現在地確認で測位を中断したり失敗したりしたときは、履歴に保存されません。

● 位置提供や現在地通知の履歴に位置情報が登録されていても、電波状態によりサービス提供者に送信されていない場合があります。

GPSの設定をする

サービス利用設定

1 **待受画面で[メニュー]▶「6地図を見る・GPSを使う」▶「5詳細な機能・設定」▶「1位置提供機能の詳細を設定する」▶「2サービスの利用を設定する」を押す**

● 以降の操作については、各サービス提供者にお問い合わせください。

サービス利用設定サイトの接続先変更＜サービス利用／接続設定＞

通常は設定を変更する必要はありません。

1 **待受画面で[メニュー]▶「6地図を見る・GPSを使う」▶「5詳細な機能・設定」▶「1位置提供機能の詳細を設定する」▶「3接続先番号を設定する」を押す**

GPSの接続先の設定画面が表示されます。

2 **「1接続先」を押す**

GPSの接続先を選択する画面が表示されます。

3 **「2ユーザ設定」を押す**

GPSの接続先の設定画面に戻ります。

● 「1ドコモ」：操作6に進みます。

4 **「2ユーザ設定接続先」▶接続先を入力▶[決定]を押す**

GPSの接続先の設定画面に戻ります。

● 半角99文字以内で入力します。

5 **「3初期画面URL」▶表示するURLを入力▶[決定]を押す**

GPSの接続先の設定画面に戻ります。

● 半角100文字以内で入力します。

6 **[電話帳]を押す**

接続先設定を保存した旨のメッセージが表示されます。[決定]を押すとメニュー画面に戻ります。

ワンセグ

ワンセグとは

ワンセグは、モバイル機器向けの地上デジタルテレビ放送サービスで、映像音声と共にデータ放送を受信することができます。また、ｉモードを利用して、より詳細な番組情報の取得や、クイズ番組への参加、テレビショッピングなどを気軽に楽しめます。

● 「ワンセグ」サービスの詳細については、下記ホームページなどでご確認ください。
社団法人　デジタル放送推進協会
パソコン：http://www.dpa.or.jp/
ｉモード：http://www.dpa.or.jp/1seg/k/

ワンセグのご利用にあたって

● ワンセグは、テレビ放送事業者（放送局）などにより提供されるサービスです。
● 放送波で放送されるワンセグの映像・音声・データ放送の受信はお申し込みが不要な無料サービスです。
● データ放送領域に表示される情報には、「データ放送」「データ放送サイト」の2種類があります。
「データ放送」は映像・音声と共に放送波で表示され、「データ放送サイト」はデータ放送の情報から、テレビ放送事業者（放送局）などが用意したサイトに接続し表示します。また、「ｉモードサイト」などへ接続する場合もあります。なお、サイトへ接続する場合は、別途ｉモードのご契約が必要です。
● 「データ放送サイト」「ｉモードサイト」などを閲覧する場合は、パケット通信料がかかります。サイトによっては、ご利用になるために情報料が必要なもの（ｉモード有料サイト）があります。

電波について

ワンセグは、放送サービスの一つであり、FOMAサービスとは異なる電波（放送波）を受信しています。そのため、FOMAサービスの圏外／圏内に関わらず、放送波が届かない場所や放送休止中などの時間帯は受信できません。
また、地上デジタルテレビ放送サービスのエリア内であっても、次のような場所では、受信状態が悪くなったり、受信できなくなったりする場合があります。
- 放送波が送信される電波塔から離れている場所
- 山間部やビルの陰など、地形や建物などによって電波がさえぎられる場所
- トンネル、地下、建物内の奥まった場所など電波の弱い場所および届かない場所

受信状態を良くするためには、ワンセグアンテナを十分伸ばしてください。また、アンテナの向きを変えたり、FOMA端末を体から離したり近づけたり、場所を移動することで受信状態が良くなることがあります。

初めてワンセグを利用する場合の画面表示

お買い上げ後、初めてワンセグを利用する場合、ワンセグ起動の確認画面が表示されます。
各事項を確認し「決定」を押すと、以後同様の確認画面は表示されません。→p.321

放送用保存領域とは

放送用保存領域とは、ワンセグ専用の端末内保存領域です。放送用保存領域には、データ放送の指示に従いお客様が入力された情報が、テレビ放送事業者（放送局）の設定に基づき保存されます。保存される情報には、クイズの回答結果や、会員番号、性別、年齢、職業など個人情報が含まれる場合があります。保存された情報は、お客様が再度入力することなく、データ放送サイトの閲覧時に表示されたり、テレビ放送事業者（放送局）へ送信される場合があります。
放送用保存領域を消去する→p.333
別のFOMAカードに差し替えた場合は、差し替えたカードを今後も使用するかどうかの確認画面が表示されます。この操作で放送用保存領域の初期化が行えますので、「使用する」を選択し、放送用保存領域の初期化を行ってください。「使用しない」を選択すると、放送用保存領域を使用したサービスが利用できません。

■ 放送用保存領域の読み出し時の画面表示

番組を視聴中に放送用保存領域の保存情報を利用する場合、「放送用保存領域の情報を利用しますか？同一系列放送局で利用した情報を含む場合があります」と表示されます。「利用する」を選択すると、以降は同一番組の視聴中に行われる保存情報の読み出しについては、画面表示による確認が行われません。また、「利用する」を選択すると、「今後確認画面表示を省略しますか？」と表示されます。「省略する」を選択すると、以降、番組が変わっても確認は行われません。

こんなこともできます

- データ放送の表示と利用→p.329
- 番組表ｉアプリの利用→p.324
- 視聴予約、録画予約→p.324
- テレビリンクの利用→p.330
- ビデオの録画→p.331
- リモコン番号によるワンタッチ選局→p.321
- ディスプレイを回転させてワンセグ起動→p.322

ワンセグをご利用になる前に

■ ワンセグの視聴手順

〈例〉はじめてワンセグを視聴するとき

ステップ1

チャンネル設定→p.318

ご利用になる視聴地域を登録します。

ステップ2

ワンセグの起動→p.321

ワンセグアンテナを伸ばし、ワンセグを起動します。

■ ワンセグアンテナについて

ワンセグ視聴をするときは、ワンセグアンテナがワンセグの電波を受信します。

- ワンセグアンテナの方向を変えるときは、無理に力を加えないでください。
- ワンセグアンテナを引き出すときはワンセグアンテナ上部のミゾに指をかけて静かに行います。

- ワンセグアンテナの方向を変えるときはワンセグアンテナの根元近くを持って行います。

- ワンセグアンテナをしまうときはワンセグアンテナの根元を持って止まるまで引っ込めます。ワンセグアンテナの先端を持って引っ込めないでください。

■ ワンセグ視聴中に着信やアラームの起動があったときは

- 次の場合はワンセグ視聴が中断されます。
  - 音声電話、テレビ電話の着信
  - アラーム（目覚まし、予定表）
- 起動した機能の画面が表示されて、音が鳴ります。機能を終了すると視聴が再開されます。

お知らせ

- FOMAカードが挿入されていない場合、ドコモとのご契約を解約されている場合、またはFOMAサービスのご利用を休止されている場合はワンセグ視聴、録画はできません。
- FOMAカードを挿入していても、通信ができない状態でワンセグ視聴、録画を繰り返すと、ワンセグを起動できなくなる場合があります。その場合は、FOMAサービスエリア内に移動するなど、通信ができる状態で再度ワンセグを起動してください。

● FOMA端末の故障・修理やその他の取り扱いによって、保存内容が消失・変化しても、当社としては責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。
なお、FOMA端末を機種変更や故障修理する際に、端末内に保存した情報（テレビリンク、放送用保存領域に保存された情報など）は移し変えできませんので、万が一に備え、別にメモを取るなどして保管することをおすすめします。
● 充電しながら長時間ワンセグを視聴すると、電池パックの寿命が短くなることがあります。

チャンネルを設定する

ワンセグを視聴するには、視聴する地域で受信可能なチャンネルを地域ごとに登録する必要があります。

● 最大登録件数→p.513

視聴地域の登録

現在いる場所で受信できるチャンネルを自動的に検索して設定する方法（地域指定で検索する）と、FOMA端末に登録されている地域の一覧から選択して設定する方法（一覧から選ぶ）があります。

1 **待受画面で［メニュー］▶「9 ワンセグを使う」▶「7 視聴する地域を設定する」▶「1 視聴する地域を登録する」を押す**

視聴地域が登録
されていません。
視聴地域の
登録方法を
選んでください

1 地域指定で検索
2 一覧から選ぶ

2 **「1 地域指定で検索」を押す**

視聴地域登録
1/54件
1 指定しない
2 北海道（札幌）
3 北海道（函館）
4 北海道（旭川）
5 北海道（帯広）
6 北海道（釧路）
7 北海道（北見）
現在いる地域を
選んでください

■ **現在いる地域から選ぶ：**
① **「2 一覧から選ぶ」を押す**
② **地域を選択▶［決定］▶都道府県を選択▶［決定］▶市町村を選択▶［決定］を押す**
地域を登録するかどうかの確認画面が表示されます。操作5に進みます。
・選択した地域で受信可能な放送局が登録されます。
・市町村を選択する必要がない場合もあります。

3 **現在いる地域を選択▶［決定］を押す**

● 「指定しない」を選択して地域を指定せずに検索することもできます。

ワンセグアンテナを伸ばしてください
放送波が弱い場所では、すべてのチャンネルが検出できない場合があります

4 **［決定］を押す**

受信可能なチャンネルを検索中の画面が表示されます。検索中に［決定］▶「1 中断する」を押すと、検索を中断します。
検索が終了すると、地域を登録するかどうかの確認画面が表示されます。
● 選択した地域のチャンネルが優先して検索されます。
● 地域名は選択した地域名になります。ただし、「指定なし」を押したときには、設定日時により自動設定されます。
2008年4月8日14時5分に「指定なし」で設定したときは「08/04/08_14:05」となります。

● すでに登録した地域と同じ名前の地域を地域指定で検索すると、検索されたチャンネルが違っていても同じ地域名で登録されます。必要に応じて地域名を変更してください。

5 「1登録する」を押す

視聴地域を設定した旨のメッセージが表示されます。

● すでに視聴地域が設定されている場合は、視聴地域に設定するかどうかの画面が表示されます。「1設定する」を押すと、視聴地域に設定されます。「2終了する」を押すと、視聴地域には登録せずに地域だけを登録します。

おしらせ

● ワンセグ視聴中の画面から設定する場合は、メニュー▶「7視聴地域の設定」▶「1地域を登録する」を押します。
●「地域指定で検索」でチャンネルを検索するには約60秒かかります。放送局の数や放送電波の状態によってはさらに時間がかかる場合があります。
●「地域指定で検索」設定は地上デジタルテレビ放送サービスのエリア内でワンセグアンテナを伸ばして行ってください。
● パソコンや他の液晶テレビなどノイズの多い機器の近くで「地域指定で検索」でチャンネルを検索すると、時間がかかる場合があります。
●「一覧から選ぶ」を選択しても、視聴する場所によっては設定したチャンネルが視聴できないことがあります。その場合は、「地域指定で検索」を選択して設定を行います。

利用する視聴地域の設定

場所を移動したときなどに、その地域のチャンネルに切り替えることができます。

1 待受画面でメニュー▶「9ワンセグを使う」▶「7視聴する地域を設定する」▶「2視聴する地域を選ぶ」を押す

視聴地域設定
現在いる地域を
選んでください
1/2件
☑横浜
☐東京都

2 地域を選択▶決定を押す

視聴地域を設定した旨のメッセージが表示されます。決定を押すとメニュー画面に戻ります。

おしらせ

● ワンセグ視聴中の画面から設定する場合は、メニュー▶「7視聴地域の設定」▶「2地域を選ぶ」を押します。
● 地域が1件しか登録されていない場合は、自動的に利用する視聴地域に設定されます。

チャンネル一覧の表示

1 待受画面でメニュー▶「9ワンセグを使う」▶「1ワンセグを見る」を押す

ワンセグ視聴画面が表示されます。

2 メニュー▶「5チャンネル一覧」を押す

チャンネル一覧が表示されます。

視聴地域の編集

視聴地域の編集では、地域名の変更と地域の削除ができます。

1 **待受画面で[メニュー]▶「[9]ワンセグを使う」▶「[7]視聴する地域を設定する」▶「[3]視聴する地域を編集する」を押す**

視聴地域情報編集
編集する地域を
選んでください
1/2件
☑横浜
☐東京都

2 **編集する地域を選択▶[決定]を押す**

視聴地域の
編集方法を
選んでください

[1]地域名を変更
[2]地域を削除する
[3]ﾁｬﾝﾈﾙ一覧表示

3 **「[1]地域名を変更」を押す**

地域名入力画面が表示されます。

■ **地域を削除する**：

① **「[2]地域を削除する」▶「[1]選択1件」を押す**

- 全件削除するときは「[2]地域を削除する」▶「[2]全件」▶端末暗証番号を入力▶[決定]を押します。

② **「[1]削除する」を押す**

操作5に進みます。

4 **地域名を入力▶[決定]を押す**

視聴地域名を変更した旨のメッセージが表示されます。

● 全角10文字、半角20文字以内で入力します。

5 **[決定]を押す**

視聴地域の一覧に戻ります。

チャンネル一覧の編集

リモコン番号を変更したり、チャンネルを削除したりできます。

1 **待受画面で[メニュー]▶「[9]ワンセグを使う」▶「[7]視聴する地域を設定する」▶「[3]視聴する地域を編集する」を押す**

視聴地域の一覧が表示されます。

2 **編集するチャンネルの地域を選択▶[決定]を押す**

編集方法の選択画面が表示されます。

3 **「[3]チャンネル一覧表示」を押す**

チャンネル一覧
1/8件
1ch テレビ□◆
・東京
2ch ○×テレビ
・東京
3ch △△放送

4ch ○△テレビ

4 **編集する**

■ **リモコン番号を変更する**：

① **チャンネルを選択▶[メニュー]▶「[1]リモコン番号を変更」を押す**

② **リモコン番号を入れ替えるチャンネルを選択▶[決定]▶「[1]入替える」を押す**

■ **チャンネルを削除する**：**チャンネルを選択▶[メニュー]▶「[2]チャンネルを削除」▶「[1]削除する」を押す**

- チャンネルが1件だけ登録されている視聴地域からはチャンネルを削除できません。

■ **チャンネル一覧を更新する**：**[メニュー]▶「[3]チャンネル一覧更新」▶「[1]地域指定で更新」または「[2]一覧から選ぶ」を押す**

- 以降の操作→p.318「視聴地域の登録」操作2以降

5 **[決定]を押す**

チャンネル一覧に戻ります。

ワンセグ視聴

ワンセグを見る

1 **待受画面で[メニュー]▶「[9]ワンセグを使う」▶「[1]ワンセグを見る」を押す**

ワンセグを利用することを確認する画面が表示されます。

- 2回目以降に起動したときは、前回視聴したチャンネルが表示されます。
- 2回目以降に起動したときに、視聴地域が未設定の場合は、視聴地域の登録を行う旨のメッセージが表示されます。→p.318

2 **利用条件を確認▶[決定]を押す**

放送用保存領域の確認が表示されます。

3 **表示内容を確認▶[決定]を押す**

視聴地域の登録を行う旨のメッセージが表示されます。

- 以降の操作→p.318「視聴地域の登録」操作2以降

4 **視聴地域の登録を完了する**

<ワンセグ視聴画面（標準画面）>

① **放送局名／番組名**
選局中は放送局名が、選局が終了すると番組名が表示されます。
視聴中に番組が放送休止になった場合は、「放送休止中」と表示されます。

② **ワンセグ受信の状態**
[強][中][弱] [圏外]：放送圏外
強⟷弱

③ **音量**
[消音]：音量に関わらず音声出力をしない場合に表示されます。
[±]：[+][−]で音量調節ができることを示します。ワンセグ視聴画面（横画面）では音量調節できますが表示されません。

④ **ブラウザ機能の状態**
データ放送またはデータ放送サイトで[1あ]～[9ら]、[＊]、[0わをん]、[#マナー]で項目が選択可能な場合に[DATA]が表示されます。このとき、ワンタッチ選局はできません。

⑤ **リモコン番号**
現在選局されているリモコン番号が表示されます。
録画中はチャンネル番号の両脇の選局可を示す[◁][▷]が表示されません。

⑥ **録画中**
●：録画中に表示されます。

⑦ **映像**
音量調節時には音量も表示されます。

⑧ **字幕**
番組に字幕情報がある場合に表示できます。字幕情報がない場合は表示領域に何も表示されません。

⑨ **データ放送**
番組のデータ放送またはデータ放送サイトが表示されます。

- 選局中に放送圏外になった場合などは映像、データ放送ともに黒い画面が表示されます。
- [+][−]：音量調節
- [+]（1秒以上）：連続して音量大
- [−]（1秒以上）：消音
- [1あ]～[9ら]、[＊]、[0わをん]、[#マナー]：チャンネル一覧からワンタッチ選局※1
- [電話帳]：標準画面（字幕、データ放送の表示／非表示）／データ放送全画面の切り替え
- [終話]：ワンセグ視聴終了
  - 終了確認画面で「終了する」を選択すると終了します。
- [←][→]：チャンネル一覧の前後のチャンネルを選択
- [←][→]（1秒以上）：受信可能な前後の周波数をサーチ※2
- [カメラ]：ビデオ録画開始／停止→p.331
- [メール][iアプリ]：データ放送をスクロール（データ放送表示領域があるとき）、音量調節（データ放送表示領域がないとき）
- [メール][iアプリ]（1秒以上）：データ放送を高速スクロール（データ放送表示領域があるとき）、連続して音量大、音量0（データ放送表示領域がないとき）
- [戻る]：先頭のページに戻る（データ放送表示領域があるとき）※3

※1 [＊]は10ch、[0]は11ch、[＃]は12ch、13ch以降はチャンネル一覧から選択できます。

※2 場所を移動したときなどにチャンネルサーチを行うと、登録されていない放送局が受信できる場合があります。受信できないときは、視聴中のチャンネルに戻ります。受信できた放送局は、チャンネルに追加登録できます。なお、チャンネルサーチは周波数順に検索するため、リモコン番号の順番どおりに検索されない場合があります。

※3 表示されているコンテンツによっては、前のページに戻るなどの動作になる場合があります。

■ **視聴中のチャンネルをチャンネル一覧に登録する：[メニュー]▶「[9]チャンネル追加登録」▶リモコン番号を選択▶[決定]▶[決定]を押す**

- すでに登録されているチャンネルを選択した場合は、上書きの確認画面が表示されます。
- チャンネルは最大62件登録できます。

■ **チャンネル一覧を確認する：[メニュー]▶「[5]チャンネル一覧」を押す**

- チャンネル一覧でチャンネルを選択すると、チャンネルを切り替えられます。13チャンネル以降を視聴するときはこちらで切り替えてください。

■ **番組情報を確認する：[メニュー]▶「[3]番組情報を見る」を押す**

- 番組情報（開始時刻〜終了時刻、番組名）、番組説明、放送局名、音声／字幕情報（第一音声・第一音声／第二音声・音声なし、第一言語・第一言語／第二言語・字幕なし）が確認できます。ただし、設定されていなかったり読み込めなかったりすると、表示されない情報があります。

■ **キー操作一覧を確認する：[メニュー]▶「[2]ガイドを見る」を押す**

■ **サービスを切り替える：[メニュー]▶「[8]ワンセグの設定」▶「[5]サービス切替え」▶「[1]1stサービス」〜「[3]3rdサービス」のいずれかを押す**

- 同じチャンネル内に別の番組（サービス）がある場合に操作できます。

お知らせ

- 次の方法でもワンセグ視聴を起動できます。
  - ディスプレイを右へ回転させる（横画面で起動します）
  - 番組表ｉアプリ、メール、メッセージR/F、ｉチャネル、サイトやホームページなどに表示されているワンセグ視聴用情報などを選択する（Media To）→p.192
- 初めてワンセグ視聴を利用する場合は、FOMAサービスエリア内で起動してください。
- 一度表示したワンセグ利用や放送用保存領域の確認画面は、次にFOMAカードの差し替えや確認設定表示を戻すまで表示されません。
- ワンセグ視聴画面で音量調節をすると、ワンセグの映像に重なって現在の音量が約3秒表示されます。
- 地形などが放送電波の状態に影響するために、場所によって受信できないチャンネルがあります。チャンネル一覧を更新したり、「地域指定で検索」でチャンネルを検索すると、他のチャンネルが受信できることがあります。→p.318
- 放送電波の状態などにより、次のことが起きる場合があります。
  - 音声が途切れる
  - データ放送が操作できない
  - 映像にブロック状のノイズが入る、または停止する
- ワンセグ視聴の起動時やチャンネルを切り替えたときは、視聴できるまでに少し時間がかかります。
- 視聴予約の終了時間になると、視聴終了の確認画面が表示されます。そのまま30秒間操作しないと、ワンセグ視聴は終了します。
- ワンセグ視聴中は、操作確認音が鳴りません。
- ワンセグ視聴中にFOMA端末を閉じるとワンセグ視聴は終了します。なお、視聴中に録画している場合、ワンセグ視聴は終了しますが録画は継続します。

横画面でワンセグを視聴

1 ワンセグ視聴中にディスプレイを横に回転させる

＜ワンセグ視聴画面（横画面）＞

① **ワンセグ受信の状態**
② **音量**
③ **リモコン番号**
現在選局されているリモコン番号が表示されます。
録画中はチャンネル番号の両脇の選局可を示す◀▶が表示されません。
④ **録画中**
⑤ **放送局名／番組名**
⑥ **映像**
音量調節時には音量も表示されます。
⑦ **字幕**

- ディスプレイを右回転してワンセグ視聴を起動したときは、横画面が表示されます。
- 画面の表示について→p.321
- 電話帳：字幕を表示する／表示しない
- データ放送は表示できません。
- ワンセグ視聴の起動、チャンネル切替、番組変更、音量調節時には視聴状況を約3秒間表示します。
- 電話帳とデータ放送以外の操作はワンセグ視聴画面（標準画面）と同じです。→p.321

データ放送全画面を表示

1 ワンセグ視聴画面（標準画面）で 電話帳 を3回押す

＜データ放送全画面＞

- 字幕とデータ放送を表示しているときには2回、字幕を表示しているときには1回 電話帳 を押します。
- 1～9、＊、0、#：データ放送、データ放送サイトの項目を選択する（内容によって操作できない場合があります）
- ←□ □→：前後のページへ移動（前後のページがキャッシュに保存されているとき）
- メール iアプリ：データ放送をスクロール
- メール iアプリ（1秒以上）：データ放送を高速スクロール
- 戻る：先頭のページに戻る（前のページに戻るなどの動作になる場合もあります）
- ←□ □→ メール iアプリ 戻る、1～9、＊、0、#、カメラ 以外の操作はワンセグ視聴画面（標準画面）と同じです。

番組表ｉアプリを利用する

番組表ｉアプリを利用して、番組を選択してワンセグ視聴を起動したり、視聴予約や録画予約をしたりできます。

- お買い上げ時には番組表ｉアプリとして「Gガイド番組表」が登録されています。→p.276

1 待受画面で[メニュー]▶「[9]ワンセグを使う」▶「[2]番組表を見る」を押す

※ 画面はイメージです。実際の画面とは異なります。お住まいの地域に応じた番組表が表示されます。

- ワンセグ視聴画面から操作する場合は、[メニュー]▶「[1]番組表を見る」を押します。
- [メニュー]を押すと、選択しているチャンネルで放送中の番組を視聴できます。
- 番組表ｉアプリを終了するには、それぞれのｉアプリごとに設定されている方法で操作を行ってください。
- 詳細は『ご利用ガイドブック（ｉモード〈FOMA〉編）』をご覧ください。

お知らせ

- 初めて番組表ｉアプリを利用するときは、初期設定が必要です。
- 番組表ｉアプリは、ｉアプリの起動ソフト設定の「番組表ボタン」で設定できます。番組表ｉアプリをダウンロードして番組表ボタンに設定すると、ダウンロードした番組表ｉアプリが起動します。→p.275

視聴予約／録画予約

ワンセグの視聴・録画を予約する

視聴予約は、予約した日時の１分前にワンセグ視聴の起動をお知らせできます。録画予約は、予約した日時に自動的に録画を開始します。

- 予約は、視聴、録画合わせて最大100件登録できますが、最大登録件数は予定表の登録件数により変わります。→p.513
- 番組表ｉアプリや、サイトやメールなどに表示されているチャンネルなどの情報を使って予約を登録することもできます。その場合、開始日時、終了日時、チャンネル、番組名があらかじめ入力された状態で予約登録の画面が表示されることがあります。

予約一覧の確認

1 待受画面で[メニュー]▶「[9]ワンセグを使う」▶「[4]予約を登録・参照する」▶「[1]予約の一覧を見る」を押す

予約の一覧
2/100件
04/08 14:05
～04/08 14:15
5ch ○×テレビ
○×ニュース
04/09 14:05
～04/09 14:15
5ch ○×テレビ
○×ニュース

＜ワンセグ予約一覧画面＞

録画予約詳細
開始日時
2008/ 4/ 8(火)
14:05
終了日時
2008/ 4/ 8(火)
14:15
チャンネル
5ch ○×テレビ
番組名
○×ニュース

＜ワンセグ予約詳細画面＞

- [決定]を押すと詳細画面が表示されます。
- 予約は次のマークで確認できます。
  - [TV]：視聴予約
  - [REC]：録画予約
  - [繰り返し]：繰り返し設定あり
  - ↔：開始時間から終了時間までが24時間以上の予約
- 開始日時の過ぎた予約は、番組名の前に「済」と表示されます。

ワンセグ

視聴予約の登録

1 **待受画面で[メニュー]▶「9ワンセグを使う」▶「4予約を登録・参照する」▶「2視聴予約を登録する」を押す**

視聴の予約を
入力してください
1開始日時
----/--/-- --:--
2終了日時
なし
3チャンネル
4番組名

1 **開始日時**：視聴を開始する日付を入力します。
2 **終了日時**：視聴を終了する日付を入力します。
3 **チャンネル**：視聴するチャンネルをチャンネル一覧から選択します。
4 **番組名**：視聴する番組名を入力します。全角100文字、半角200文字以内で入力します。
5 **開始通知**：視聴開始時刻の前に通知画面を表示するかどうかを設定します。
6 **通知音**：開始通知が表示されるときに通知音を鳴らすかどうかを設定します。
7 **繰り返し**：視聴予約の繰り返し動作を設定します。

● 時刻は24時間制で入力します。
● 月、日、時、分が1桁のときは、前に0を付けます。

2 **「1開始日時」〜「7繰り返し」から設定する項目を選択▶[決定]を押す**

■ 「1開始日時」を選択したとき：**日付を入力▶時刻を入力▶[決定]を押す**

■ 「2終了日時」を選択したとき：
① **「1設定する」を押す**
② **日付を入力▶時刻を入力▶[決定]を押す**

■ 「3チャンネル」を選択したとき：**視聴するチャンネルを選択▶[決定]を押す**

■ 「4番組名」を選択したとき：**番組名を入力▶[決定]を押す**

■ 「5開始通知」を選択したとき：**「1通知する」または「2通知しない」を押す**

■ 「6通知音」を選択したとき：**「1鳴らす」または「2鳴らさない」を押す**

■ 「7繰り返し」を選択したとき：**「1毎日繰り返す」〜「3繰り返さない」のいずれかを押す**

• 「2 曜日を指定する」を押したときは曜日選択画面で「1日曜日」〜「7土曜日」のうち、選択する項目の番号を押して[電話帳]を押します。
• [決定]：曜日を選択／解除します。
• [メニュー]：すべての曜日を選択／解除します。

3 **[電話帳]を押す**

登録するかどうかの画面が表示されます。

● 登録済みの予約の開始時間と重複する時間を登録すると、登録するかどうかの確認画面が表示されます。「1登録する」を押すと視聴予約を登録します。

4 **「1登録する」を押す**

視聴予約を登録した旨のメッセージが表示されます。[決定]を押すとメニュー画面に戻ります。

● 開始通知を「あり」に設定して視聴予約を登録すると待受画面に[アイコン]（目覚ましが同時に設定されると[アイコン]）が表示されます。

おしらせ

● 視聴地域が設定されていない場合は、予約はできません。
● 開始日時は、開始通知が「あり」の場合は現在時刻の2分後より前に設定できません。開始通知が「なし」の場合は現在時刻の1分後より前に設定できません。

録画予約の登録

● microSDメモリーカードを挿入していないと録画できません。
● 録画時間の目安→p.331

1 **待受画面で(メニュー)▶「9ワンセグを使う」▶「4予約を登録・参照する」▶「3録画予約を登録する」を押す**

録画の予約を
入力してください

1開始日時
----/--/-- --:--
2終了日時
----/--/-- --:--
3チャンネル

4番組名

1**開始日時**：録画を開始する日付を入力します。
2**終了日時**：録画を終了する日付を入力します。
3**チャンネル**：録画するチャンネルをチャンネル一覧から選択します。
4**番組名**：録画する番組名を入力します。全角100文字、半角200文字以内で入力します。
5**繰り返し**：録画予約の繰り返し動作を設定します。
● 時刻は24時間制で入力します。
● 月、日、時、分が1桁のときは、前に0を付けます。

2 **「1開始日時」〜「5繰り返し」から設定する項目を選択▶(決定)を押す**

■ **「1開始日時」を選択したとき：日付を入力▶時刻を入力▶(決定)を押す**
■ **「2終了日時」を選択したとき：日付を入力▶時刻を入力▶(決定)を押す**
■ **「3チャンネル」を選択したとき：録画するチャンネルを選択▶(決定)を押す**
■ **「4番組名」を選択したとき：番組名を入力▶(決定)を押す**
■ **「5繰り返し」を選択したとき：「1毎日繰り返す」〜「3繰り返さない」のいずれかを押す**
- 「2曜日を指定する」を押したときは曜日選択画面で「1日曜日」〜「7土曜日」のうち、選択する項目の番号を押して(電話帳)を押します。
- (決定)：曜日を選択／解除します。
- (メニュー)：すべての曜日を選択／解除します。

3 **(電話帳)を押す**

録画予約の注意点を説明した画面が表示されます。
● 録画予約の説明文の画面を「省略する」に設定した場合は、操作6に進みます。
● 登録済みの録画予約と重複する時間や連続する時間を登録すると、登録するかどうかの確認画面が表示されます。「1登録する」を押すと録画予約を登録します。連続する時間のときには、前の時間の録画予約が1分早く終了します。

4 **内容を確認▶(電話帳)を押す**

今後
説明文の表示を
省略しますか？

1省略する
2省略しない

5 **「1省略する」または「2省略しない」を押す**

登録するかどうかの画面が表示されます。
● 「1省略する」を押したときは、次回から操作4の画面は表示されません。

6 **「1登録する」を押す**

録画予約を登録した旨のメッセージが表示されます。(決定)を押すとメニュー画面に戻ります。
● 録画開始日時までにmicroSDメモリーカードを挿入してください。
● 録画予約を登録すると待受画面に(アイコン)（目覚ましが同時に設定されると(アイコン)）が表示されます。

お知らせ

● 視聴地域が設定されていない場合は、予約はできません。
● 録画予約の開始日時は、現在時刻の2分後より前に設定できません。

予約した日時になると

視聴予約の日時になると

開始通知を「通知する」に設定した場合は予約日時の1分前にディスプレイに登録した予約内容が表示されます。

1/1件
14:05
5ch ○×放送
(1分前)
バラエティー

通知音を「鳴らす」に設定した場合は、通知音が鳴ります。通知音の音量、背面ディスプレイの照明の動作は予定表と同じです。

- 、、以外のボタンを押すか、何も操作せずに約1分間経過すると通知音が止まり、ワンセグ起動確認画面が表示されます。視聴を開始する場合は「1起動する」を押します。
- 同じ日時に視聴予約や予定を登録しているときは、登録した日時が新しいものが表示されます。ワンセグ起動確認画面で「2起動しない」を押した後の開始通知画面か、予定の通知画面でを押すと、他の視聴予約、予定の画面を表示できます。

開始通知を「通知しない」に設定した場合は、開始時間にワンセグ視聴が起動できません。

おしらせ

- 通話中に指定した日時になると、通知音ではなく警告音が鳴り開始通知画面が表示されます。開始通知画面で決定を押すと起動確認画面が表示されます。起動確認画面で「1起動する」を押して決定を押すと通話画面が表示されます。通話を終了するとワンセグ視聴が起動します。

録画予約の日時になると

自動的に録画が開始されます。

- 録画予約は開始日時より1分前に起動して録画の準備を行います。は点滅します。
- 録画を中止するには、ワンセグを起動して ▶「1終了する」を押します。

おしらせ

- 放送波の受信状態が悪い場合は録画準備を行い、受信状態が良くなると録画を開始します。
- 予約時間が重複すると、開始時間が早い予約が遅い予約によって中断されます。ただし、開始時刻が同じ場合には後に登録した予約が優先され、他の予約は取り消されます。
- ワンセグ利用の確認画面を一度も表示せずに録画予約を行った場合、時間になっても録画できません。→p.321
- 次の機能の動作中に予約録画が開始されると、操作中断と録画開始の確認画面が表示されます。操作を中断した機能では、編集中のデータが破棄されることがあります。
  - カメラ、バーコードリーダー
  - 一部のｉアプリ

予約録画が終了すると

予約録画が終了すると、待受画面にお知らせ情報（→p.27）と予約録画の結果を示すマークが表示されます。
決定 を押すと予約録画履歴を確認できます。履歴を確認するとマークは消えます。

- 予約録画履歴のマークは次のとおりです。
  TV：予約録画完了
  TV×：予約録画失敗
- 複数の予約録画を行ったときは、最後の予約録画履歴のマークが表示されます。
- 録画できない番組の条件は視聴中の録画と同じです。→p.331
- 録画の再生→p.335

予約の編集

1 ワンセグ予約一覧画面で メニュー ▶「3 編集する」を押す

- 以降の操作→p.325「視聴予約の登録」操作2、p.326「録画予約の登録」操作2

予約の削除

1 ワンセグ予約一覧画面で メニュー ▶「4 削除する」を押す

削除する予約の選択画面が表示されます。

2 「1 選択1件」を押す

予約を削除するかどうかの確認画面が表示されます。

■ 過去の予約を削除する：「2 過去の予約」を押す

■ 予約を全件削除する：「3 全件」▶端末暗証番号を入力▶ 決定 を押す

3 「1 削除する」を押す

予約を削除した旨のメッセージが表示されます。決定 を押すとワンセグ予約一覧に戻ります。

予約録画の結果を確認 ＜予約録画履歴＞

- 最大50件保存できます。最大件数を超えると古い履歴から上書きされます。

1 待受画面で メニュー ▶「9 ワンセグを使う」▶「5 予約録画した履歴を見る」を押す

予約録画した履歴
01/04件
TV 04/08 14:05
○×ニュース
TV× 04/07 14:05
△△ガイド
TV 04/06 14:05
○×ニュース
TV 04/05 14:05
△△ガイド

- 録画に成功した場合は TV、失敗した場合は TV× が表示されます。

■ 履歴を1件削除する：
① 削除する履歴を選択▶ メニュー ▶「2 削除する」▶「1 選択1件」を押す
② 「1 削除する」▶ 決定 を押す

■ 履歴を全件削除する：
① メニュー ▶「2 削除する」▶「2 全件」▶端末暗証番号を入力▶ 決定 を押す
② 「1 削除する」▶ 決定 を押す

2 履歴を選択▶ 電話帳 を押す

録画履歴の情報
録画結果：
成功
放送局名：
○×テレビ
番組名：
○×ニュース
録画日時：
04/08 14:05

- 録画失敗履歴を選択した場合は失敗理由が表示されます。

お知らせ

- 他の予約と重なったために取り消されたり、開始日時に電源が入っていないなどで開始できなかったりした録画予約は予約録画履歴に記録されません。

データ放送

データ放送を利用する

ワンセグでは、映像・音声に加えてデータ放送を利用できます。番組と連動したサイトなど、静止画や動画を含むさまざまな情報を利用できます。

1 ワンセグ視聴画面（標準画面）またはデータ放送全画面で［メール］［iα］▶各項目を選択▶［決定］を押す

ﾃﾞｰﾀ放送ｻｲﾄに
接続しますか？
iモード通信を
行います

1 接続する
2 接続しない

データ放送からサイト表示などに移ります。

- テレビリンクのデータ放送サイトへのリンクからも起動できます。
- データ放送とデータ放送サイトについて→p.316
- ［電話帳］を押すたびに標準画面とデータ放送全画面が切り替わります。テレビリンクからデータ放送を表示させた場合は標準画面への切り替えはできません。
- データ放送中もワンセグの音声は流れます。ｉモードサイトに接続するとワンセグの音声は中断されます。テレビリンクから表示したときにはワンセグ視聴は起動されていませんので、音声は流れません。
- 選択した項目によっては、ｉモードサイトに接続する、ダウンロードを開始する、他の機能を起動するなどの確認画面が表示されます。機能を利用するには「利用する」を選択します。続けて表示される確認画面の省略確認画面で「1省略する」を選択すると、次回から同じ機能を利用するときに確認画面が表示されず、データ放送・データ放送サイトの情報は自動的に更新される場合があります。このとき、パケット通信料がかかる場合がありますのでご注意ください。
- 画面表示中の操作→p.323
- ［メニュー］▶「0データ放送」（テレビリンクからデータ放送サイトを表示したときには「4データ放送」）を押して表示されるサブメニューから次の操作ができます。メニュー番号は表示する画面によって異なります。
  「前ページへ戻る」：前に表示したページに戻ります。
  「次ページへ進む」：次に表示するページに進みます。
  「再読み込み」：現在のページをもう一度読み込みます。
  「データ放送に戻る」：データ放送サイトからデータ放送に戻ります。テレビリンクからデータ放送サイトに接続したときには表示されません。
  「証明書詳細表示」：証明書を表示します。→p.197
- データ放送サイトの画像や効果音を設定するには次の操作をします。
  - 標準画面から設定するときは、［メニュー］▶「8ワンセグの設定」▶「3表示・効果設定」を押します。
  - テレビリンクからデータ放送サイトを表示した場合に設定するときは、［メニュー］▶「3表示・効果設定」を押します。
  - 待受画面から設定するときは、［メニュー］▶「9ワンセグを使う」▶「8ワンセグの詳細を設定する」▶「3データ放送を設定する」▶「1画像の表示を設定する」を押します。

おしらせ

- 放送用保存領域の空きが足りないときは、上書きの確認画面が表示されます。上書きする場合は、画面の指示に従って上書きを行ってください。
- 横画面ではデータ放送を表示できません。

テレビリンク

テレビリンクを利用する

データ放送、データ放送サイトによっては、サイトやメモ情報をテレビリンクに登録できます。テレビリンクに登録しておくと、直接目的のサイトやメモ情報を表示できます。

- 登録した内容はワンセグからの操作でのみ利用できます。ｉモードでは利用できません。

テレビリンクの登録

テレビリンク登録可能な項目を選択すると、テレビリンク登録の確認画面が表示されます。

- 最大登録件数→p.513

1 テレビリンク登録可能な項目を選択▶[決定]を押す

テレビリンクを登録するかどうかの確認画面が表示されます。

2 「[1]登録する」を押す

テレビリンクのフォルダ一覧が表示されます。

3 フォルダを選択▶[決定]を押す

テレビリンクが登録された旨のメッセージが表示されます。[決定]を押すとデータ放送画面に戻ります。

- 同じURLやメモ情報を登録しようとすると、上書きの確認画面が表示されます。

おしらせ

- 保存領域の空きが足りないときや最大保存件数を超える場合は、上書きの確認画面が表示されます。保存するときは、画面の指示に従ってテレビリンクを上書きしてください。

登録したテレビリンクの表示

1 待受画面で[メニュー]▶「[9]ワンセグを使う」▶「[6]テレビリンクを見る」を押す

テレビリンク一覧
フォルダ1
フォルダ2
フォルダ3
フォルダ4
フォルダ5

- フォルダの状態は、次のマークで確認できます。
  - [アイコン]：テレビリンクが登録されている
  - [アイコン]：テレビリンクが登録されていない
- ワンセグ視聴中にテレビリンク一覧を表示するとワンセグ視聴は中断されます。

■ **フォルダ内のテレビリンクをすべて削除する**：
① [メニュー]▶「[1]フォルダ内削除」▶端末暗証番号を入力▶[決定]を押す
② 「[1]削除する」▶[決定]を押す

■ **テレビリンクをすべて削除する**：
① [メニュー]▶「[2]すべて削除」▶端末暗証番号を入力▶[決定]を押す
② 「[1]削除する」▶[決定]を押す

■ **フォルダ名を変更する**：
① [メニュー]▶「[3]フォルダ名変更」▶フォルダ名を入力▶[決定]を押す
② [決定]を押す
- フォルダ名は全角7文字、半角14文字以内で入力します。

2 フォルダを選択▶[決定]を押す

- テレビリンクの状態は、次のマークで確認できます。
  - [DATA]：データ放送サイトへのリンク
  - [アイコン]：ｉモードサイトへのリンク
  - [アイコン]：メモ情報
- ワンセグ視聴中にデータ放送サイトやｉモードサイトを表示するとワンセグ視聴は終了します。

■ **テレビリンクを1件削除する**：
① 削除するテレビリンクを選択▶[メニュー]▶「[2]削除する」▶「[1]選択1件」を押す
② 「[1]削除する」▶[決定]を押す

ワンセグ

■ 他のフォルダに移動させる：
① 移動するテレビリンクを選択▶メニュー▶「3フォルダを移動」▶フォルダを選択▶決定を押す
② 決定を押す

■ 詳細画面を見る：詳細情報を表示するテレビリンクを選択▶メニュー▶「1詳細情報を見る」を押す
タイトル、URL、概要、種別、有効期限を表示します。

3 **表示するテレビリンクを選択▶決定を押す**

データ放送サイトやｉモードサイトへのリンクを選択するとテレビリンクに接続する確認画面が表示されます。

● メモ情報を選択した場合には、メモ情報の内容が表示されます。このとき操作4は不要です。

4 **「1接続する」または「1接続して表示」を押す**

テレビリンクに接続されます。

お知らせ

● ワンセグ視聴中の画面から表示する場合は、メニュー▶「6テレビリンク一覧」を選択します。ワンセグ再生中には操作できません。
● データ放送、データ放送サイトによっては、サイトを表示したときに自動的にテレビリンクリスト表示の確認画面が表示されます。

ワンセグ録画

視聴中にワンセグを録画する

映像、音声、データ放送を録画（ビデオ録画）します。

● ビデオの表示名には番組名が付けられます。
● microSDメモリーカードを挿入していないと録画できません。
● 録画が禁止されている番組はビデオ録画できません。また、放送波の受信状態が良くないときは録画できないことがあります。
● 録画したデータはメール添付や赤外線通信／iC通信で送信できません。また、待受画面などにも設定できません。
● データ放送全画面では録画の操作はできません。
● 録画した番組を見る→p.335

■ **ワンセグ録画の最大保存件数／最大録画時間**

最大保存件数※1	ビデオ99件
最大録画時間（合計）※2	約640分※3

※1 データ量により、実際に保存できる件数が少なくなる場合があります。
※2 放送局、番組によって最大録画時間は異なります。
※3 2GBのmicroSDメモリーカードへの録画時間です。

1 **ワンセグ視聴画面で📷▶決定を押す**

📷を押したときからワンセグの録画が開始されます。

● 録画中も一部の機能以外は通常のワンセグ視聴中と同様の操作ができます。→p.321
● 録画中はチャンネルの切り替えや「地域指定で検索」で行うチャンネル検索、サービスの切り替えはできません。

2 [📷]を押す

録画が終了します。

● 録画予約の場合は録画を終了するかどうかを確認する画面が表示されます。「1終了する」を押すと、録画を終了します。
● 終了操作を行わないときの録画終了時間は録画設定に従います。→p.334

■ **視聴のみ終了して録画を続ける**：[⌐]▶「3視聴のみ終了」を押す

視聴が終了して、録画が続きます。待受画面に[TV]が表示されます。

・録画終了時間の設定より前に録画を終了したいときは、ワンセグを起動して[⌐]▶「1終了する」を押します。

■ **録画および視聴を終了する**：[⌐]▶「1終了する」を押す

お知らせ

● 保存領域の空きが足りないときや最大保存件数を超えるときは録画できません。
● 録画中に保存領域の空きがなくなると録画が終了します。
● 次の場合、映像と音声は中断されますが、録画は継続します。各機能終了後はワンセグ視聴を再開します。
  ・音声電話、テレビ電話、64Kデータ通信を着信したとき
  ・音声電話を発信したとき
  ・目覚ましや予定の通知※1で指定した日時になったとき
  ・メロディを再生したとき
  ・ｉモーションを再生／表示したとき
  ・データ放送からｉアプリを起動したとき※2

※1 視聴予約の場合、録画終了と視聴起動の確認画面で「起動する」を選択すると、録画しているものとは違うチャンネルのときには、録画が終了します。視聴予約したチャンネルと録画中のチャンネルが同じであれば、録画は継続されます。
※2 視聴と録画継続の確認画面が表示されます。

● 次の場合、映像と音声が中断され、録画が終了します。各機能終了後はワンセグ視聴を再開できます。
  ・データ放送から録画と同時起動できないｉアプリを起動したとき（視聴と録画継続の確認画面が表示されます）
● 録画中に、サイトやメールなどに表示されているワンセグ視聴用情報のリンクを選択した場合、確認画面で「起動する」を選択すると録画が終了し、ワンセグ視聴用情報で指定されているチャンネルの視聴が開始されます。ただし、録画中のチャンネルと同じチャンネルが指定されているときには録画は終了しません。
● データ放送を録画してご覧になるには、放送波の受信状況がよい状態で少なくとも約1分以上録画してください。録画時間が短すぎると、データ放送を表示できない場合があります。
● 録画開始直後に放送圏外になり、放送波を受信できないまま録画を終了した場合、録画データが保存されない場合があります。
● 番組によっては、録画開始操作を行った時点より少し前の映像や音声から録画される場合があります。

ユーザ設定

ワンセグ視聴に関する各種設定をする

字幕の言語を設定

1 待受画面で[メニュー]▶「9ワンセグを使う」▶「8ワンセグの詳細を設定する」▶「1字幕の言語を設定する」を押す

字幕の言語を
選んでください
1第一言語
2第二言語

2 「1第一言語」または「2第二言語」を押す

字幕の言語を設定した旨のメッセージが表示されます。[決定]を押すとメニュー画面に戻ります。

おしらせ

● ワンセグ視聴中に設定するときは、[メニュー]▶「8ワンセグの設定」▶「1字幕言語の設定」を押します。

音声の設定

1 待受画面で[メニュー]▶「9ワンセグを使う」▶「8ワンセグの詳細を設定する」▶「2音声を設定する」を押す

ワンセグの音声を
設定してください
1音声
第一音声
2主音声･副音声
主音声

2 「1音声」を押す

ワンセグの音声を
選んでください
1第一音声
2第二音声

3 「1第一音声」または「2第二音声」を押す

設定する音声の選択画面に戻ります。

4 「2主音声・副音声」を押す

主音声･副音声の
設定を
選んでください
1主音声
2副音声
3主音声＋副音声

5 「1主音声」〜「3主音声＋副音声」のいずれかを押す

操作1の画面に戻ります。

6 [電話帳]を押す

ワンセグの音声を設定した旨のメッセージが表示されます。[決定]を押すとメニュー画面に戻ります。

おしらせ

● ワンセグ視聴中に設定するときは、[メニュー]▶「8ワンセグの設定」▶「2音声の設定」を押します。

データ放送の設定

放送用保存領域の情報を削除する

1 待受画面で[メニュー]▶「9ワンセグを使う」▶「8ワンセグの詳細を設定する」▶「3データ放送を設定する」▶「2放送用保存領域の一覧を見る」を押す

放送用保存領域
1/12件
テレビ□◆
□◆教育
△△放送系列
XXX系列
○×テレビ系列
テレビ◇▼系列
テレビ●◎系列
独立U局
その他1

● [決定]：個別事業者の保存領域がある場合は一覧画面が表示されます。

2 削除する放送用保存領域または個別事業者保存領域を選択▶(メニュー)▶「1 1件削除する」を押す

削除するかどうかの確認画面が表示されます。

■ 放送用保存領域または個別事業者保存領域を全件削除する：(メニュー)▶「2 全件削除する」▶端末暗証番号を入力▶(決定)を押す

3 「1 削除する」を押す

放送用保存領域を削除した旨のメッセージが表示されます。(決定)を押すと放送用保存領域の一覧に戻ります。

● 放送用保存領域がなくなった場合は、放送用保存領域がない旨のメッセージが表示されます。(決定)を押すとメニュー画面に戻ります。

確認画面の表示を設定する

データ放送の確認画面（ｉモードサイトに接続する、ダウンロードを開始する、他の機能を起動するなど）や予約編集の確認画面で「省略する」を選択した場合に、再び表示させるよう設定します。

1 待受画面で(メニュー)▶「9 ワンセグを使う」▶「8 ワンセグの詳細を設定する」▶「3 データ放送を設定する」▶「3 確認画面の表示を設定する」▶端末暗証番号を入力▶(決定)を押す

確認画面を
表示するように
戻しますか?

1 戻す
2 戻さない

2 「1 戻す」を押す

確認画面を表示するよう設定した旨のメッセージが表示されます。(決定)を押すとメニュー画面に戻ります。

● 「2 戻さない」：確認画面を表示しないままにします。

視聴中に録画するときの終了時間の設定

視聴中にワンセグを録画するときの録画終了時間を設定します。

1 待受画面で(メニュー)▶「9 ワンセグを使う」▶「8 ワンセグの詳細を設定する」▶「4 録画の終了時間を設定する」を押す

録画終了時間の
設定を
選んでください。
手動で録画時のみ
有効です

1 番組終了まで
2 指定なし
3 ３０分後
4 ６０分後
5 ９０分後

1 **番組終了まで**：視聴中の番組の放送終了時まで録画します。
2 **指定なし**：保存領域がいっぱいになるまで録画します。
3 **30分後**：録画開始から30分後に録画を終了します。
4 **60分後**：録画開始から60分後に録画を終了します。
5 **90分後**：録画開始から90分後に録画を終了します。

2 「1 番組終了まで」～「5 90分後」のいずれかを押す

録画終了時間を設定した旨のメッセージが表示されます。(決定)を押すとメニュー画面に戻ります。

お知らせ

● ワンセグ視聴中に設定するときは、(メニュー)▶「8 ワンセグの設定」▶「4 録画時間の設定」を押します。

録画した番組を見る

microSDメモリーカード内に保存した番組を再生します。

● 録画したデータのFOMA端末本体への移動はできません。

1 待受画面で[メニュー]▶「[9]ワンセグを使う」▶「[3]録画した番組を見る」を押す

録画した番組
01/05件
04/08 14:05
○×ニュース
04/07 14:05
△△ガイド
04/06 14:05
○×ニュース
04/05 14:05
△△ガイド

● 前回再生を中断した番組は、続きから再生できることを示す[TV]が表示されます。

■ **一覧の題名を変更する：[メニュー]▶「[2]題名を変更」▶「[1]題名を変更する」▶題名を入力▶[決定]を押す**

- 題名は50文字入力できます。
- 変更した題名を元に戻すには、[メニュー]▶「[2]題名を変更」▶「[2]オリジナルタイトルに戻す」を押します。

■ **番組の情報を表示する：[電話帳]を押す**

題名、放送局名、番組名、録画開始日時、録画終了日時、ファイル名、ファイル制限、ファイル種別、ファイルサイズ（バイト）、保存日時、取得元が表示されます。

- 確認が終わったら[電話帳]を押すと番組の一覧に戻ります。

2 再生する番組を選択▶[決定]を押す

● 録画した番組を前回最後まで再生せずに終了した場合は、続きからの再生確認画面が表示されます。

● 他の携帯電話で録画した複数のファイルに分割されている番組を選択した場合は、データ放送の表示や早送り／巻き戻し不可の確認画面が表示されます。

● 番組の再生画面の見かたは次のとおりです。

① **番組名**
② **音声の状態、音量→p.321**
③ **再生時間**
④ **再生状態**

[▶]：再生中
[II]：一時停止中または再生完了
[▶×1.3]、[▶▶]、[▶▶▶]、[▶▶▶▶]：早送り再生（1.3倍速、低速、中速、高速）
[◀◀]、[◀◀◀]、[◀◀◀◀]：巻き戻し再生（低速、中速、高速）

⑤ **映像**
⑥ **字幕→p.321**
⑦ **データ放送→p.321**

● 再生中は次の操作ができます。

[電話帳]：一時停止／再生
[→]：早送り再生
- 押すたびに速さが切り替わります。

[→]（1秒以上）、[3さ]：30秒早送り
[2か]：15秒早送り
[←]：巻き戻し再生
- 押すたびに速さが切り替わります。

[←]（1秒以上）、[1あ]：15秒巻き戻し
[4た]：先頭から再生
[テレビ電話]（縦画面）：標準画面（字幕、データ放送の表示／非表示）／データ放送全画面の切り替え
[テレビ電話]（横画面）：字幕の表示／非表示の切り替え
[戻る]：「[1]一覧に戻る」を押すと一覧画面に戻る
音量、字幕言語の設定、音声の設定、データ放送サイトの画像や効果音などの操作はワンセグ視聴と同じです。

おしらせ

● 録画した番組の再生中にFOMA端末を閉じると再生は終了します。

録画した番組の削除

1 **待受画面で(メニュー)▶「9ワンセグを使う」▶「3録画した番組を見る」を押す**

録画した番組の一覧が表示されます。

2 **削除する番組を選択▶(メニュー)▶「3削除する」▶「1選択1件」を押す**

番組を
　削除しますか？

1削除する
2削除しない

- 番組を全件削除するときは、(メニュー)▶「3削除する」▶「2全件」▶端末暗証番号を入力▶(決定)を押します。

3 **「1削除する」を押す**

番組を削除した旨のメッセージが表示されます。(決定)を押すと番組一覧に戻ります。

データ表示／編集／管理

画像を使いこなす

動画を使いこなす

メロディを使いこなす

microSDメモリーカードを使いこなす

赤外線通信を使いこなす

画像を表示する

FOMA端末に保存されている写真や画像を表示します。ｉモードメールに添付したり、待受画面に設定したりすることもできます。

● FOMA端末では、静止画（JPEGまたはGIF形式の画像）やアニメーション（GIFアニメーション、Flash画像）を表示できます。ただし、横縦（または縦横）のサイズが640×480（ドット）より大きいGIF形式の画像やGIFアニメーション、1728×2304（ドット）より大きいJPEG形式の画像は表示できません。

1 待受画面で[メニュー]▶「[3]写真・ビデオを撮る・見る」▶「[2]写真のアルバムを見る」を押す

アルバム一覧
撮影した写真
microSDの写真
ｉモード
アイテム
内蔵写真
データ交換

● 画像は、次の6つのアルバムに分類して保存されます。
  - ：カメラで撮影した写真が保存されているアルバム
  - ：microSDメモリーカードのアルバム
  - ：ｉモードサイトやメール、ｉアプリから取得した画像が保存されているアルバム
  - ：お買い上げ時に登録されているアイテム（フレーム）や、ダウンロードしたフレームが保存されているアルバム
  - ：お買い上げ時に登録されている画像が保存されているアルバム
  - ：microSDメモリーカードからの移動／コピー、赤外線通信／iC通信での受信、バーコードリーダーでの読み取り、パソコンなどから取り込んだ写真や画像が保存されているアルバム

● アルバムを作成すると、が表示されます。→p.344

2 アルバムを選択▶[決定]を押す

画像一覧が表示され、カーソル位置の画像の題名などが確認できます。

● [電話帳]：押すたびに画像表示とリスト表示が切り替わります。

● 画像のファイル形式は、次のファイル形式マークで確認できます。
  - JPG：JPEG形式の画像
  - JPG：FOMAカード動作制限機能により表示できないJPEG形式の画像
  - JPG：位置情報付きのJPEG形式の画像
  - JPG：FOMAカード動作制限機能により表示できない、位置情報付きのJPEG形式の画像
  - GIF：GIF形式の画像、GIFアニメーション
  - GIF：FOMAカード動作制限機能により表示できないGIF形式の画像、GIFアニメーション
  - ：Flash画像
  - ：FOMAカード動作制限機能により表示できないFlash画像

● メール添付やFOMA端末外への出力が可能かどうかは、次のメール添付マークで確認できます。
  - SD OK：メール添付が不可能で、microSDメモリーカードへ移動／コピーが可能なデータ
  - SD OK：メール添付とmicroSDメモリーカードへ移動／コピーが可能なデータ
  - 表示なし：メール添付とmicroSDメモリーカードへ移動／コピーが不可能なデータ

● FOMAカード動作制限により表示できないときは、画像の代わりにが表示されます。

■ microSDメモリーカード内の画像を表示する：「microSDの写真」アルバムを選択▶[決定]▶「[1]写真」または「[2]その他の画像」▶フォルダを選択▶[決定]を押す

3 **表示する画像を選択▶[決定]を押す**

200804081405　　―題名
0001/0006枚　　―画像番号／アルバム内の画像数

2008/04/08 14:05　　―メモ表示

- アニメーションは自動的に再生されます。[決定]を押すと停止／再生します。
- [✉][iα]：アルバム内の前後の画像を表示します。
- [決定]：等倍で表示します。
  - FOMA端末に保存されている静止画を、縦画面で表示している場合のみ操作できます。
  - 画面より大きい場合は、[✉][iα][⇐][⇒]を押すとスクロールします。
  - [戻る][メニュー][電話帳]のいずれかを押すと、元の表示に戻ります。
- [電話帳]：全画面で表示します。
  - [戻る][メニュー][電話帳]のいずれかを押すと、元の表示に戻ります。
  - 横画面のときは常に全画面表示になります。
  - 画面より大きいJPEG形式の画像は、表示サイズにより自動的にスクロールされます。[決定]を押すと一時停止／再開します。
- [戻る]を押すと画像一覧に戻ります。

画像を添付してｉモードメールを作成する

1 **画像一覧で添付する画像を選択▶[メニュー]▶「[1]メールで送る」▶ｉモードメールを作成する**

メール作成：新規
宛先：
題名：
添付　6.1KB
200804081405…
本文：
装飾：設定なし

選択した画像が添付され、ファイル名（拡張子含む）が表示されます。

- 画像一覧の表示方法→p.340「画像を表示する」操作1～2
- ｉモードメールの作成・送信方法→p.214、p.217

お知らせ

- 横縦（または縦横）のサイズが240×320（ドット）を超える画像を選択した場合は、次の画面が表示されます。

写真をケータイMの
大きさに合わせて
小さくしますか？
1 小さくして送る
2 このまま送る

[1]**小さくして送る**：縦横比を保持したまま、縦横（または横縦）のサイズが240×320（ドット）に収まるように変換して添付します。
[2]**このまま送る**：画像サイズを変更しないで添付します。

- ファイルサイズが2Mバイトを超えるJPEG形式の画像を選択した場合は、送信可能なサイズに縮小してメールに添付されます。

画像を待受画面に設定する

1 **画像一覧で設定する画像を選択▶[メニュー]▶「[2]待受画面に貼る」▶「[1]設定する」**

待受画面に設定した旨のメッセージが表示されます。[決定]を押すと画像一覧に戻ります。

- 画像一覧の表示方法→p.340「画像を表示する」操作1～2

お知らせ

- 待受画面に設定できる画像の最大サイズは、横縦（または縦横）が1728×2304（ドット）までです。ただし、画像の形式によっては、最大サイズは、横縦（または縦横）が640×480（ドット）までの場合があります。
- 横縦のサイズが240×432（ドット）を超える画像は、縮小して待受画面に設定されます。

画像の情報を表示する

1 画像一覧で情報を確認する画像を選択▶(メニュー)▶「3情報を見る」を押す

画像の情報
題名
200804081405
ファイル制限
なし

● 画像一覧の表示方法→p.340「画像を表示する」操作1～2
● 確認が終わったら、(決定)を押すと画像一覧に戻ります。

項　目	説　明
題名※1	この端末内で表示される題名を表示します。
ファイル制限※1、2	ファイル制限が設定されているかどうかを表示します。→p.343
microSDへの移動※2	microSDメモリーカードへの移動が可能かどうかを表示します。
表示サイズ	画像のサイズを表示します。Flash画像の場合は表示されません。 • 表示される名称ごとの縦×横（ドット）のサイズは次のとおりです。 ケータイS(縦):144×176 ケータイS(横):176×144 ケータイM(縦):240×320 ケータイM(横):320×240 待受（縦）:240×432 待受（横）:432×240 ケータイL(縦):480×640 ケータイL(横):640×480 デジカメS(縦):768×1280 デジカメS(横):1280×768 デジカメM(縦):1080×1920 デジカメM(横):1920×1080 デジカメL(縦):1536×2048 デジカメL(横):2048×1536 • 上記のサイズに該当しない場合は、縦×横（ドット）を表示します。
ファイルサイズ	ファイルサイズを表示します。
ファイル種別	ファイル形式を表示します。Flash画像は「---」で表示されます。
種別	種類が静止画かアニメーションかを表示します。
ファイル名	メールに添付したときなどに表示される名前を表示します。
保存日時（作成日時）	保存（作成）した日時を表示します。
保存元※2	最初に保存したアルバムが「撮影した写真」「iモード」「データ交換」のいずれかの場合に、アルバム名を表示します。 • 「撮影した写真」の場合は、「カメラ」と表示されます。
メモ※1、2	メモを表示します。
位置情報※2	位置情報があるかどうかを表示します。「あり」が表示されている場合は、(メニュー)を押すと位置情報の利用方法を選択する画面が表示されます。 • 以降の操作→p.308「位置情報の利用」
本体への移動※3	本体への移動が可能かどうかを表示します。

※1 内容を変更することができます。→p.342
※2 microSDメモリーカード内の画像の情報では表示されない項目です。
※3 microSDメモリーカード内の画像の情報で表示される項目です。

画像の題名やメモ、ファイル制限を変更する

● 「microSDの写真」アルバムの、画像の題名などの変更はできません。
● 画像によっては設定できない項目があります。

1 画像一覧で題名などを変更する画像を選択▶(メニュー)▶「4題名等を変更」を押す

変更する項目の選択画面が表示されます。
● 画像一覧の表示方法→p.340「画像を表示する」操作1～2

2 「1題名の変更」～「4ファイル制限の設定」のいずれかを押す

■ **題名を変更する**：「1題名の変更」▶題名を入力▶(決定)を押す
• 全角18文字、半角36文字以内で入力します。

■ **メモの内容を変更する**：「2メモの変更」▶メモを入力▶(決定)を押す
• 全角50文字、半角100文字以内で入力します。

■ 画像を表示したときにメモを表示するかどうかを設定する：「3メモ表示なし」または「3メモ表示あり」を押す

■ ファイル制限を設定する：「4ファイル制限の設定」▶「1設定する」を押す
- ファイル制限を解除する場合は「2設定しない」を押します。

● 変更または設定／解除した旨のメッセージが表示されます。決定を押すと画像一覧に戻ります。

ファイル制限について

ファイル制限は、この端末で撮影した写真やビデオ、またドコモケータイdatalinkで取り込んだ画像や動画、メロディをメールに添付して他の端末に送信したときに、それを受信した相手の端末から、さらに他の端末に送信／転送することを制限する機能です。したがって、ファイル制限を設定しても、この端末からの送信／転送は制限されません。

※ お買い上げ時に登録されているデータや、サイトやメールなどから保存したデータのファイル制限は変更できません。

画像のお預かりセンター保存 ＜電話帳お預かりサービス＞

電話帳お預かりサービスを利用して、FOMA端末に保存してある画像をネットワーク上のお預かりセンターに保存します。

● 電話帳お預かりサービスについて→p.141
● 本サービスはお申し込みが必要な有料サービスです。サービス未契約の場合は、お預かりセンターに接続しようとすると、その旨をお知らせする画面が表示されます。
● 1件あたりのファイルサイズが100Kバイトを超える画像は保存／復元できません。
●「microSDの写真」「アイテム」「内蔵写真」アルバム内の画像は保存できません。
● 復元操作の詳細は『ご利用ガイドブック（iモード〈FOMA〉編）』をご覧ください。
● 保存した履歴を確認できます。→p.100

1 **画像一覧で保存する画像を選択▶メニュー▶「✱お預りセンター保存」を押す**

お預かりセンターに保存するかどうかの確認画面が表示されます。
● 画像一覧の表示方法→p.340「画像を表示する」操作1～2

2 **「1保存する」▶端末暗証番号を入力▶決定を押す**

お預かりセンターに接続され、保存が始まります。保存が完了すると、送信した旨のメッセージが表示されます。
● 中断するときは保存中に決定を押します。

3 **決定を押す**

通信結果画面が表示されます。決定を押すと画像一覧に戻ります。

アルバムを利用する

アルバムを作成し、画像を撮影日やジャンルなどで分類して保存します。

アルバムの作成

- 最大100個作成できます。
- お買い上げ時に登録されているアルバムのアルバム名は変更できません。

1 待受画面で［メニュー］▶「3写真・ビデオを撮る・見る」▶「2写真のアルバムを見る」を押す

アルバム一覧が表示されます。

2 ［メニュー］▶「1アルバムを追加」▶アルバム名を入力する

アルバム名を
入力してください
マイアルバム

- 全角7文字、半角14文字以内で入力します。

■ アルバム名を変更する：**アルバム名を変更するアルバムを選択▶［メニュー］▶「3アルバム名変更」▶アルバム名を変更する**

3 ［決定］を押す

アルバムを追加した旨のメッセージが表示されます。［決定］を押すとアルバム一覧に戻ります。

アルバムの削除

- お買い上げ時に登録されているアルバムは削除できません。

1 待受画面で［メニュー］▶「3写真・ビデオを撮る・見る」▶「2写真のアルバムを見る」を押す

アルバム一覧が表示されます。

2 削除するアルバムを選択▶［メニュー］▶「2アルバムを削除」を押す

アルバムを削除するかどうかの確認画面が表示されます。

3 「1削除する」を押す

アルバムを削除した旨のメッセージが表示されます。［決定］を押すとアルバム一覧に戻ります。

- アルバム内の画像と同時にアルバムを削除する場合は、「1削除する」▶端末暗証番号を入力▶［決定］▶「1削除する」を押します。

おしらせ

- 待受画面やワンタッチダイヤルの着信画像に使用されている画像のあるアルバムを削除すると、設定されていた項目はお買い上げ時の状態に戻ります。

アルバムへの画像移動

- 「アイテム」「内蔵写真」アルバム内の画像は移動できません。
- 「microSDの写真」アルバム内の画像の移動 →p.367

1 画像一覧で移動する画像を選択▶［メニュー］▶「6移動する」▶「1アルバムを移動」を押す

移動する写真の選択画面が表示されます。

- 画像一覧の表示方法→p.340「画像を表示する」操作1～2

■ 元のアルバムに戻す：**画像一覧で戻す画像を選択▶［メニュー］▶「6移動する」▶「3最初の［フォルダ］に戻す」を押す**

2 「1選択1件」または「2アルバム内全件」▶移動先のアルバムを選択▶［決定］を押す

写真を移動した旨のメッセージが表示されます。［決定］を押すと画像一覧に戻ります。アルバム内に画像がなくなったときはアルバム一覧に戻ります。

画像削除
画像を削除する

1件ずつ削除したり、アルバム内の画像をまとめて削除したりします。

● 「内蔵写真」アルバム内の画像は削除できません。

1 画像一覧で削除する画像を選択▶メニュー▶「5削除する」(「microSDの写真」のときは「4削除する」)▶「1選択1件」を押す

写真を削除するかどうかの確認画面が表示されます。

● 画像一覧の表示方法→p.340「画像を表示する」操作1～2
● アルバム内の画像を全件削除するときは、画像一覧でメニュー▶「5 削除する」(「microSDの写真」のときは「4削除する」)▶「2アルバム内全件」▶端末暗証番号を入力▶決定を押します。

2 「1削除する」を押す

写真を削除した旨のメッセージが表示されます。決定を押すと画像一覧に戻ります。アルバム内に画像がなくなったときはアルバム一覧に戻ります。

お知らせ

● 待受画面やワンタッチダイヤルの着信画像に使用されている画像を削除すると、設定されていた項目はお買い上げ時の状態に戻ります。
● お買い上げ時に「アイテム」アルバムに登録されている画像(フレーム)を削除した場合は、「@Fケータイ応援団」のサイトからダウンロードできます。

アクセス方法 (2008年4月現在)

待受画面でiモード▶
「1 i Menuを見る」▶
「メニューリスト」▶
「ケータイ電話メーカー」▶
「@Fケータイ応援団」

サイトアクセス用QRコード

※ アクセス方法は予告なしに変更される場合があります。

並び順変更
画像一覧の並び順を変更する

● 「microSDの写真」アルバムの並び順は変更できません。

〈例〉題名を50音順に並べ替える

1 画像一覧でメニュー▶「9並び順を変更」を押す

並び順の
変更条件を
選んでください

1題名で変更
2保存日時で変更
3大きさで変更

● 画像一覧の表示方法→p.340「画像を表示する」操作1～2

1**題名で変更**:題名を50音順に並べ替えます。
2**保存日時で変更**:保存日時順に並べ替えます。
3**大きさで変更**:ファイルサイズ順に並べ替えます。

2 「1題名で変更」▶「1題名で昇順」または「2題名で降順」を押す

選択した並び順で画像が並び替わります。

■ 保存日時で並べ替える:「2保存日時で変更」▶「1保存日時で昇順」または「2保存日時で降順」を押す
■ 大きさで並べ替える:「3大きさで変更」▶「1大きさで昇順」または「2大きさで降順」を押す

お知らせ

● 題名に全角/半角の文字や漢字が混在していると、「題名で変更」の並べ替えた結果が50音順にならない場合があります。

残り枚数確認

画像の残り枚数を確認する

FOMA端末本体とmicroSDメモリーカードに、画像をあと残り何枚まで保存できるかを確認します。

- 「microSDの写真」アルバムでは確認できません。

1 画像一覧で[メニュー]▶「[0]残り枚数を確認」を押す

残り枚数の目安	
本体	
ケータイS	0972枚
ケータイM	0486枚
待受	0455枚
ケータイL	0202枚
デジカメS	0041枚
デジカメM	0025枚
デジカメL	0015枚

- 画像一覧の表示方法→p.340「画像を表示する」操作1～2
- [電話帳]：押すたびにmicroSDメモリーカードと本体の残り枚数の表示が切り替わります。
- 確認が終わったら、[決定]を押すと画像一覧に戻ります。

お知らせ

- お買い上げ時の残り枚数は画像サイズごとに異なります。
- 撮影した枚数が最大保存件数に近づくと、大きい撮影サイズから残り枚数が少なくなります。

画像の保存容量を確認する

FOMA端末本体に画像が保存できる領域のサイズや、空き領域のサイズなどを表示します。

- 空き領域のサイズは、画像の保存状況だけでなく、ビデオやメロディ、iアプリのデータの保存状況によっても変わります。

1 待受画面で[メニュー]▶「[3]写真・ビデオを撮る・見る」▶「[2]写真のアルバムを見る」を押す

アルバム一覧が表示されます。

2 [メニュー]▶「[4]保存容量を確認」を押す

アルバム
■
使用領域
666 KB
空き領域
14,194 KB
保存領域
14,860 KB

保存領域に対する使用領域の割合

使用領域：現在使用している領域のサイズを数値で示します。
空き領域：現在の空き領域のサイズを数値で示します。
保存領域：FOMA端末本体に画像が保存できる領域のサイズを数値で示します。

- 確認が終わったら、[決定]を押すとアルバム一覧に戻ります。

動画／ｉモーションを再生する

FOMA端末に保存されているビデオや動画／ｉモーションを再生します。ｉモードメールに添付することもできます。

1 待受画面で(メニュー)▶「3 写真・ビデオを撮る・見る」▶「4 ビデオのアルバムを見る」を押す

ビデオ一覧
撮影したビデオ
microSDのﾋﾞﾃﾞｵ
モード
内蔵ビデオ
データ交換

- 動画／ｉモーションは、次の5つのアルバムに分類して保存されます。
  - ：カメラで撮影したビデオ、音声メールで録音した音声が保存されているアルバム
  - ：microSDメモリーカードのアルバム
  - ：ｉモードサイトやメール、ｉアプリから取得したｉモーションが保存されているアルバム
  - ：お買い上げ時に登録されている動画が保存されているアルバム
  - ：microSDメモリーカードからの移動／コピー、赤外線通信／iC通信での受信、パソコンなどから取り込んだ動画／ｉモーションが保存されているアルバム

2 アルバムを選択▶(決定)を押す

動画一覧が表示され、カーソル位置の動画／ｉモーションの題名などが確認できます。

- (電話帳)：押すたびに画像表示とリスト表示が切り替わります。
- 動画／ｉモーションのファイル形式は、次のファイル形式マークで確認できます。
  - MP4：MP4形式のデータ
  - MP4：部分的に保存したMP4形式のデータ
  - MP4：FOMAカード動作制限機能により再生できないMP4形式のデータ
  - MP4：FOMAカード動作制限機能により再生できない、部分的に保存したMP4形式のデータ
  - ASF：ASF形式のデータ
- メール添付やFOMA端末外への出力が可能かどうかは、次のメール添付マークで確認できます。
  - SD OK：メール添付が不可能で、microSDメモリーカードへ移動／コピーが可能なデータ
  - SD OK：メール添付とmicroSDメモリーカードへ移動／コピーが可能なデータ
  - SD OK：メール添付とmicroSDメモリーカードへ移動／コピーが可能な切り出し後のデータ
  - 表示なし：メール添付とmicroSDメモリーカードへ移動／コピーが不可能なデータ
- 映像のない動画／ｉモーションの場合は画像の代わりに が、FOMAカード動作制限により表示できないときは が表示されます。

■ **microSDメモリーカード内の動画／ｉモーションを再生する：「microSDのビデオ」アルバムを選択▶(決定)▶「3 ビデオ」または「4 その他のビデオ」▶フォルダを選択▶(決定)を押す**

3 再生する動画／ｉモーションを選択▶[決定]を押す

再生状態：
[▶] 再生中
[❚❚] 一時停止中
[□] 停止中

再生バー：現在の再生位置を示します。

再生音量

再生時間

- 再生中に次の操作ができます。
  [決定]：一時停止／再生
  [ ][ ]／[＋][－]：音量調節
  [電話帳]：停止
  - 停止中に[決定]を押すと先頭から再生します。

  [ ]／[ ]：巻き戻し再生／早送り再生
- 再生が終わると自動的に停止します。[戻る]を押すと動画一覧に戻ります。

おしらせ

- 次の形式の動画／ｉモーションを再生できます。形式は動画／ｉモーションの情報で確認できます。→p.349

ファイル形式（拡張子）	符号化形式		画像サイズ（ドット）
MP4（MP4、3GP）	映像	MPEG4、H.263、H.264	48×48～320×240※1
	音声	AMR、AAC、HE-AAC、Enhanced aacPlus	
ASF※2（ASF）	映像	MPEG4	176×144、320×240
	音声	G.726	

※1 画像サイズが大きい場合でも、再生可能な音声があるときは、音声の再生を行います。

※2 microSD メモリーカードに保存されている動画／ｉモーションのみ再生できます。

- 表示サイズ設定が「元の大きさで表示する」に設定されている場合、再生する動画／ｉモーションのサイズによっては、縮小して再生する旨のメッセージが表示されます。
- 部分的に保存したｉモーションを再生しようとすると、残りのデータを取得するかどうかの確認画面が表示されます。「[1]取得する」を押すと、ｉモードサイトに接続してデータを取得します。
- 着信音の着モーションに設定できるのは、情報の着信音設定が「設定可能」になっている動画／ｉモーションのみです。ただし、次の動画／ｉモーションは設定できません。
  - パソコンや他のFOMA端末に転送してから、もう一度FOMA端末本体に戻したもの
  - microSD メモリーカードから、FOMA 端末本体にコピーまたは移動したもの（FOMA端末本体からmicroSDメモリーカードにコピーまたは移動してから、もう一度FOMA端末本体にコピーまたは移動したものを含む）
- 再生制限について→p.350

動画／ｉモーションを添付してｉモードメールを作成する

1 動画一覧で添付する動画／ｉモーションを選択▶[メニュー]▶「[1]メールで送る」▶「[1]このまま送る」▶ｉモードメールを作成する

ビデオを
送信しますか？
[1]このまま送る
[2]内容を確認する
[3]送信を中止する

↓

メール作成：新規
宛先：
題名：
添付 46.3KB
本文：
装飾：設定なし

選択した動画／ｉモーションが添付され、ファイル名（拡張子含む）が表示されます。

- 動画一覧の表示方法→p.347「動画／ｉモーションを再生する」操作1～2
- ｉモードメールの作成・送信方法→p.214、p.217
- 「[2]内容を確認する」を押すと、動画／ｉモーションを再生します。

お知らせ

- ファイルサイズが500Kバイトを超える動画／ｉモーションを選択したときは、次の画面が表示されます。「2切り出して送る」▶「1送信する」を押すと、先頭から切り出してメールに添付されます。

このビデオは
先頭を切り出して
送信できます。
切り出しますか？

1このまま送る
2切り出して送る
3内容を確認する
4送信を中止する

・添付した動画は元の動画／ｉモーションと同じアルバムに同じ題名で保存され、動画一覧ではが表示されます。
・情報表示の着信音設定が「設定可能」で取得元が「ｉモード」の場合や、microSDメモリーカードに保存されている場合など、編集不可の場合には表示されません。

動画／ｉモーションの情報を表示する

1 **動画一覧で情報を確認する動画／ｉモーションを選択▶(メニュー)▶「2情報を見る」を押す**

ビデオの情報
題名
　200804081405
ｵﾘｼﾞﾅﾙﾀｲﾄﾙ
　200804081405

- 動画一覧の表示方法→p.347「動画／ｉモーションを再生する」操作1～2
- 確認が終わったら、(決定)を押すと動画一覧に戻ります。

項　目	説　明
題名※1	この端末内で表示される題名を表示します。
オリジナルタイトル	あらかじめ設定されているタイトルを表示します。
ファイル名	メールに添付したときなどに表示される名前を表示します。
作成者※2	作成者の名前などを表示します。 ・この端末で撮影したビデオの場合、個人情報に登録した名前（登録していないときは「---」）が表示されます。
コピーライト※2	著作者名や著作物の公表年月日などを表示します。
説明※2	説明を表示します。
ファイル種別	ファイル形式を表示します。
音種別※2	音声の符号化形式を表示します。
表示サイズ	再生したときの表示サイズを表示します。
ファイルサイズ	ファイルサイズを表示します。
再生時間※2	再生時間を表示します。
保存日時（作成日時）	保存（作成）した日時を表示します。
着信音設定※2	着信音に設定できるかどうかを表示します。
ファイル制限※1、2	ファイル制限が設定されているかどうかを表示します。→p.343
microSDへの移動※2	microSDメモリーカードへの移動が可能かどうかを表示します。
再生制限※2	再生制限が設定されているかどうかを表示します。→p.350
取得元※2	保存したアルバムが「撮影したビデオ」「ｉモード」「データ交換」のいずれかの場合に、アルバム名を表示します。
画像※2	再生可能かどうかを表示します。
音※2	再生可能かどうかを表示します。
本体への移動※3	本体への移動が可能かどうかを表示します。

※1　内容を変更することができます。→p.350
※2　microSDメモリーカード内のビデオの情報では表示されない項目です。
※3　microSDメモリーカード内のビデオの情報で表示される項目です。

動画／ｉモーションの題名を変更する

● 「microSDのビデオ」アルバムの、動画／ｉモーションの題名は変更できません。

1 **動画一覧で題名を変更する動画／ｉモーションを選択▶[メニュー]▶「3 題名を変更」▶「1 題名を変更する」▶題名を入力▶[決定]を押す**

題名を変更した旨のメッセージが表示されます。[決定]を押すと動画一覧に戻ります。
- 動画一覧の表示方法→p.347「動画／ｉモーションを再生する」操作1～2
- 36文字以内で入力します。
- あらかじめ設定されていたタイトルに戻す場合は、「2 オリジナルタイトルに戻す」を押します。

動画／ｉモーションのファイル制限を設定する

● 「microSDのビデオ」「ｉモード」「内蔵ビデオ」アルバムの、動画／ｉモーションのファイル制限は変更できません。
● ファイル制限について→p.343

1 **動画一覧でファイル制限を設定する動画／ｉモーションを選択▶[メニュー]▶「8 ファイル制限を設定」▶「1 設定する」を押す**

ファイル制限の設定を変更した旨のメッセージが表示されます。[決定]を押すと動画一覧に戻ります。
- 動画の表示方法→p.347「動画／ｉモーションを再生する」操作1～2
- ファイル制限を解除する場合は「2 設定しない」を押します。

再生制限が設定されているときは

ｉモーションに再生制限が設定されているときは、再生開始前に確認画面が表示されます。

再生制限	状　態	メッセージ	再生可／不可
回数制限	再生回数残あり	あと×回（×／×）再生可能です。再生しますか？	可
	規定回数再生済み	再生可能回数が終了しました。削除しますか？	不可
期限制限	期限内	×年×月×日×時×分まで再生可能です。再生しますか？	可
	期限が過ぎた	再生可能期限が切れました。削除しますか？	不可
期間制限	期間内	×年×月×日×時×分から×年×月×日×時×分まで再生可能です。再生しますか？	可
	期間前	再生可能日前です　再生できません	不可
	期間が過ぎた	再生可能期限が切れました。削除しますか？	不可

● 再生不可のときに表示される削除確認画面で、「1 削除する」を押すと、動画／ｉモーションは削除されます。
● 日付・時刻を変更しても、再生制限の期限や期間を延長することはできません。

動画削除

動画／ｉモーションを削除する

1件ずつ削除したり、アルバム内の動画／ｉモーションをまとめて削除します。

● 「内蔵ビデオ」アルバムの動画は削除できません。

1 **動画一覧で削除する動画／ｉモーションを選択▶[メニュー]▶「4 削除する」（「microSDのビデオ」のときは「3 削除する」）▶「1 選択1件」を押す**

ビデオを削除するかどうかの確認画面が表示されます。
- 動画一覧の表示方法→p.347「動画／ｉモーションを再生する」操作1～2
- アルバム内の動画／ｉモーションを全件削除するときは、動画一覧で[メニュー]▶「4 削除する」（「microSDのビデオ」のときは「3 削除する」）▶「2 アルバム内全件」▶端末暗証番号を入力▶[決定]を押します。

2 **「1 削除する」を押す**

ビデオを削除した旨のメッセージが表示されます。[決定]を押すと動画一覧に戻ります。アルバム内に動画／ｉモーションがなくなったときはビデオ一覧に戻ります。

お知らせ

- 着信音に使用されている動画／ｉモーションを削除すると、設定されていた項目はお買い上げ時の状態に戻ります。

並び順変更

動画一覧の並び順を変更する

- 「microSDのビデオ」アルバムの並び順は変更できません。

1　動画一覧で［メニュー］▶「7並び順を変更」を押す

並び順の変更条件の選択画面が表示されます。

- 動画一覧の表示方法→p.347「動画／ｉモーションを再生する」操作1～2
- 以降の操作→p.345「画像一覧の並び順を変更する」操作2

お知らせ

- 題名に全角／半角の文字や漢字が混在していると、「題名で変更」の並べ替えた結果が50音順にならない場合があります。

表示サイズ設定

動画／ｉモーションの表示サイズを設定する

動画／ｉモーションの表示サイズ（最大240×200または320×240ドット）に合わせて拡大して表示するかどうかを設定します。

1　待受画面で［メニュー］▶「3写真・ビデオを撮る・見る」▶「4ビデオのアルバムを見る」を押す

ビデオ一覧が表示されます。

2　［メニュー］▶「1表示サイズ設定」を押す

ビデオの
表示の大きさを
選んでください

1画面に合わせて表示する
2元の大きさで表示する

1 **画面に合わせて表示する**：表示サイズの高さと幅の比率を保持したまま拡大し、画面の表示サイズに合わせて表示します。ただし、ｉモーションによっては拡大表示できない場合があります。

2 **元の大きさで表示する**：元のサイズで表示します。

3　「1画面に合わせて表示する」または「2元の大きさで表示する」を押す

表示サイズを設定した旨のメッセージが表示されます。［決定］を押すとビデオ一覧に戻ります。

動画／ｉモーションを再生するときの照明を設定する

1　待受画面で［メニュー］▶「3写真・ビデオを撮る・見る」▶「4ビデオのアルバムを見る」を押す

ビデオ一覧が表示されます。

2　［メニュー］▶「2照明を設定」を押す

照明を常に点灯させるかどうかの確認画面が表示されます。

3　「1常に点灯」または「21分で消灯」を押す

照明を設定した旨のメッセージが表示されます。［決定］を押すとビデオ一覧に戻ります。

- 「1常に点灯」：常時点灯します。
- 「21分で消灯」：何も操作しないで約1分経過すると消灯します。

音量調節

動画／iモーションを再生するときの音量を設定する

1 待受画面で[メニュー]▶「[3]写真・ビデオを撮る・見る」▶「[4]ビデオのアルバムを見る」を押す

ビデオ一覧が表示されます。

2 [メニュー]▶「[3]音量を調節」を押す

音量の調節画面が表示されます。

3 [✉][iα][◁][▷]または[+][−]を押して音量を調節▶[決定]を押す

音量を設定した旨のメッセージが表示されます。[決定]を押すとビデオ一覧に戻ります。

- 音量1のときに[iα]／[◁]／[−]:「消音」に設定します。

ビデオの保存容量を確認する

FOMA端末本体にビデオが保存できる領域のサイズや、空き領域のサイズなどを表示します。

- 空き領域のサイズは、ビデオの保存状況だけでなく、画像やメロディ、iアプリのデータの保存状況によっても変わります。

1 待受画面で[メニュー]▶「[3]写真・ビデオを撮る・見る」▶「[4]ビデオのアルバムを見る」を押す

ビデオ一覧が表示されます。

- 以降の操作→p.346「画像の保存容量を確認する」操作2
- 確認が終わったら、[決定]を押すとビデオ一覧に戻ります。

メロディを再生する

FOMA端末に保存されているメロディを再生します。iモードメールに添付することもできます。

- ディスプレイをスイングさせているときは、メロディは再生できません。

1 待受画面で[メニュー]▶「[#]詳細な機能・設定」▶「[4]音を設定する」▶「[6]保存した曲を再生する」を押す

メロディ一覧
iモード
内蔵メロディ
データ交換
microSDのﾒﾛﾃﾞｨ

- メロディは、次の4つのフォルダに分類して保存されます。
  - iモードフォルダ：iモードサイトやメール、iアプリから取得したメロディが保存されているフォルダ
  - 内蔵フォルダ：お買い上げ時にFOMA端末に内蔵されているメロディが保存されているフォルダ
  - データ交換フォルダ：microSDメモリーカードからの移動／コピー、赤外線通信／iC通信での受信、バーコードリーダーでの読み取り、パソコンなどから取り込んだメロディが保存されているフォルダ
  - SDフォルダ：microSDメモリーカードのフォルダ

2 フォルダを選択▶[決定]を押す

フォルダ内のメロディ一覧が表示され、メロディの種類などが確認できます。

フォルダ名
メロディ番号／フォルダ内のメロディ数
メール添付マーク：メール添付とmicroSDメモリーカードへの移動／コピーが可能なことを示します。
ファイル形式マーク

- メロディのファイル形式は、次のファイル形式マークで確認できます。
  - MFi：MFi形式のデータ
  - MFi（制限）：FOMAカード動作制限機能により再生できないMFi形式のデータ
  - SMF：SMF形式のデータ

データ表示／編集／管理

SMF：FOMAカード動作制限機能により再生できないSMF形式のデータ

■ **microSD メモリーカード内のメロディを再生する**：「microSDのメロディ」フォルダを選択▶決定▶フォルダを選択▶決定を押す

3 再生するメロディを選択▶決定を押す

- 再生中に次の操作ができます。
  決定：一覧に戻る
  ［メール］［iα］：フォルダ内の前後のメロディを再生
  ［←］［→］／［＋］［－］：音量調節
- フォルダ内のメロディ一覧または待受画面に戻るまで繰り返し再生します。

メロディを添付してｉモードメールを作成する

1 フォルダ内のメロディ一覧で添付するメロディを選択▶メニュー▶「1 メールで送る」▶ｉモードメールを作成する

メール作成：新規
宛先：
題名：
添付　4.5KB
♪着信音A.mid
本文：
装飾：設定なし

選択したメロディが添付され、ファイル名（拡張子含む）が表示されます。

- フォルダ内のメロディ一覧の表示方法
  →p.352「メロディを再生する」操作1～2
- ｉモードメールの作成・送信方法
  →p.214、p.217

お知らせ

- 相手がF884i以外の場合、メロディを正しく送受信できないことがあります。

メロディの情報を表示する

1 フォルダ内のメロディ一覧で情報を確認するメロディを選択▶メニュー▶「2 情報を見る」を押す

メロディの情報
題名
着信音A
ｵﾘｼﾞﾅﾙﾀｲﾄﾙ
着信音A

- フォルダ内のメロディ一覧の表示方法
  →p.352「メロディを再生する」操作1～2
- 確認が終わったら、決定を押すとフォルダ内のメロディ一覧に戻ります。

項　目	説　明
題名※1	この端末内で表示される題名を表示します。
オリジナルタイトル	あらかじめ設定されているタイトルを表示します。
ファイル制限※1、2	ファイル制限が設定されているかどうかを表示します。→p.343
microSDへの移動※2	microSDメモリーカードへの移動が可能かどうかを表示します。
ファイルサイズ	ファイルサイズを表示します。
ファイル種別	ファイル形式を表示します。
再生時間※2	再生時間を表示します。
ファイル名	メールに添付したときなどに表示される名前を表示します。
保存日時（作成日時）	保存（作成）した日時を表示します。
保存元※2	保存したフォルダが「ｉモード」または「データ交換」の場合に、フォルダ名を表示します。
本体への移動※3	本体への移動が可能かどうかを表示します。

※1 内容を変更することができます。→p.354
※2 microSDメモリーカード内のメロディの情報では表示されない項目です。
※3 microSDメモリーカード内のメロディの情報で表示される項目です。

メロディの題名を変更する

● 「microSDのメロディ」フォルダの、メロディの題名は変更できません。

1 **フォルダ内のメロディ一覧で題名を変更するメロディを選択▶メニュー▶「3題名を変更」▶「1題名を変更する」▶題名を入力▶決定を押す**

題名を変更した旨のメッセージが表示されます。決定を押すとフォルダ内のメロディ一覧に戻ります。

● フォルダ内のメロディ一覧の表示方法→p.352「メロディを再生する」操作1～2
● 全角25文字、半角50文字以内で入力します。
● あらかじめ設定されていたタイトルに戻す場合は、「2オリジナルタイトルに戻す」を押します。

メロディのファイル制限を設定する

● 「iモード」「内蔵メロディ」「microSDのメロディ」フォルダの、ファイル制限は変更できません。
● ファイル制限について→p.343

1 **フォルダ内のメロディ一覧でファイル制限を設定するメロディを選択▶メニュー▶「8ファイル制限を設定」▶「1設定する」を押す**

ファイル制限の設定を変更した旨のメッセージが表示されます。決定を押すとフォルダ内のメロディ一覧に戻ります。

● フォルダ内のメロディ一覧の表示方法→p.352「メロディを再生する」操作1～2
● ファイル制限を解除する場合は「2設定しない」を押します。

メロディ削除

メロディを削除する

1件ずつ削除したり、フォルダ内のメロディをまとめて削除します。

● 「内蔵メロディ」フォルダのメロディは削除できません。

1 **フォルダ内のメロディ一覧で削除するメロディを選択▶メニュー▶「4削除する」(「microSDのメロディ」のときは「3削除する」)▶「1選択1件」を押す**

メロディを削除するかどうかの確認画面が表示されます。

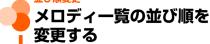
● フォルダ内のメロディ一覧の表示方法→p.352「メロディを再生する」操作1～2
● フォルダ内のメロディを全件削除するときは、フォルダ内のメロディ一覧でメニュー▶「4削除する」(「microSDのメロディ」のときは「3削除する」)▶「2フォルダ内全件」▶端末暗証番号を入力▶決定を押します。

2 **「1削除する」を押す**

メロディを削除した旨のメッセージが表示されます。決定を押すとフォルダ内のメロディ一覧に戻ります。フォルダ内にメロディがなくなったときはメロディ一覧に戻ります。

お知らせ

● 着信音や目覚ましに使用されているメロディを削除すると、設定されていた項目はお買い上げ時の状態に戻ります。

並び順変更

メロディ一覧の並び順を変更する

● 「microSDのメロディ」フォルダの並び順は変更できません。

1 **フォルダ内のメロディ一覧で[メニュー]▶「[7]並び順を変更」を押す**

並び順の変更条件の選択画面が表示されます。

● フォルダ内のメロディ一覧の表示方法
→p.352「メロディを再生する」操作1～2

● 以降の操作→p.345「画像一覧の並び順を変更する」操作2

お知らせ

● 題名に全角／半角の文字や漢字が混在していると、「題名で変更」の並べ替えた結果が50音順にならない場合があります。

再生位置設定

メロディを再生する位置を設定する

メロディを再生したときの再生位置を設定します。

1 **待受画面で[メニュー]▶「[#]詳細な機能・設定」▶「[4]音を設定する」▶「[6]保存した曲を再生する」を押す**

メロディ一覧が表示されます。

2 **[メニュー]▶「[2]再生位置を設定」を押す**

再生位置の選択画面が表示されます。

3 **「[1]フルコーラス再生」または「[2]ポイント再生」を押す**

再生位置を設定した旨のメッセージが表示されます。[決定]を押すとメロディ一覧に戻ります。

● 「[1]フルコーラス再生」：メロディをすべて再生するように設定します。

● 「[2]ポイント再生」：メロディを一部分のみ再生するように設定します。
- 設定しても、対応していないメロディではポイント再生を行いません。

メロディの保存容量を確認する

FOMA端末本体にメロディが保存できる領域のサイズや、空き領域のサイズなどを表示します。

● 空き領域のサイズは、メロディの保存状況だけでなく、画像やビデオ、ｉアプリのデータの保存状況によっても変わります。

1 **待受画面で[メニュー]▶「[#]詳細な機能・設定」▶「[4]音を設定する」▶「[6]保存した曲を再生する」を押す**

メロディ一覧が表示されます。

2 **[メニュー]▶「[1]保存容量を確認」を押す**

保存容量が表示されます。

● 画面の見かた→p.346「画像の保存容量を確認する」操作2

● 確認が終わったら、[決定]を押すとメロディ一覧に戻ります。

microSDメモリーカードについて

カメラで撮影した写真やビデオ、メロディ、ワンセグで録画した番組などのデータをmicroSDメモリーカードに保存したり、電話帳や予定表などのデータをバックアップデータとして一括で保存したりできます。また、保存した写真はプリンタやプリントサービスのお店などで簡単に印刷できます。さらに、microSDメモリーカードアダプタを組み合わせて、SDメモリーカードに対応したパソコンなどの外部機器から、画像や動画をmicroSDメモリーカードに保存してFOMA端末で表示、再生したり、microSDメモリーカード内のデータをパソコンから操作したりできます。

- 別途microSDメモリーカードが必要です。お持ちでない場合は、家電量販店などでお買い求めいただけます。
- 初期化されていないmicroSDメモリーカードは、FOMA端末で初期化してから使用してください（→p.359）。なお、初期化を中断したmicroSDメモリーカードの動作は保証できません。
- microSDメモリーカードは、SDメモリーカード規格に準拠したフォーマット（FAT12／FAT16）でお使いください。FAT32のフォーマットで初期化した場合は正常に動作しないことがあります。FAT以外のフォーマットで初期化されたmicroSDメモリーカードは、FOMA端末で利用できません。
- F884iでは市販の2GBまでのmicroSDメモリーカードに対応しています（2008年4月現在）。
  microSDメモリーカードの製造メーカや容量など、最新の動作確認情報については次のサイトをご覧ください。また、掲載されているmicroSDメモリーカード以外については、動作しない場合がありますのでご注意ください。
  - iモードから
    「@Fケータイ応援団」
    アクセス方法（2008年4月現在）
    待受画面でiモード▶「1 i Menuを見る」▶「メニューリスト」▶「ケータイ電話メーカー」▶「@Fケータイ応援団」
    ※アクセス方法は予告なしに変更される場合があります。

サイトアクセス用QRコード

  - パソコンから
    FMWORLD（http://www.fmworld.net/）→携帯電話→microSD対応状況
    なお、掲載されている情報は動作確認の結果であり、すべての動作を保証するものではありませんので、あらかじめご了承ください。

■ microSDメモリーカードの利用について

F884i

- 写真、ビデオ、メロディ、トルカを移動／コピーしたり、電話帳やメールなどを保存したりする
- 撮影した写真やビデオを直接保存したり、ワンセグの番組を録画したりする
- microSDメモリーカードの写真、ビデオ、メロディ、トルカをFOMA端末に移動／コピーしたり、電話帳やメールなどを復元したりする

microSDメモリーカード

パソコンなど

対応機器※で利用

- データを保管したり、写真やビデオを表示／再生したりする
- microSDメモリーカードに画像やビデオを保存する

プリンタやプリントサービス

- 写真を印刷する

※ 事前にmicroSDメモリーカードに対応しているかどうかをご確認の上ご利用ください。SDメモリーカードへの変換アダプタをお持ちの場合は、SDメモリーカード対応機器で使用することも可能です。

microSDメモリーカード使用時の留意事項

- データの保存中や削除中、使用状況確認中、初期化中は、microSDメモリーカードを取り外したり、電源を切ったり、衝撃を与えたりしないでください。データが壊れる場合があります。
- microSDメモリーカードを取り付けているFOMA端末に落下などの強い衝撃を与えないでください。microSDメモリーカードが飛び出す場合があります。
- microSDメモリーカードにラベルやシールを貼らないでください。
- データのコピー中、移動中、削除中やmicroSDメモリーカードの初期化中、情報更新中はディスプレイ上部に⇄が表示され、データ転送中（圏外と同じ状態）になるため、通話、iモード、データ通信などはできません。
- パソコンなど他の機器で書き込み保護されたmicroSDメモリーカードは、データの保存、削除、初期化などができません。
- パソコンなど他の機器からmicroSDメモリーカードに保存したデータは、FOMA端末で表示、再生できない場合があります。また、FOMA端末からmicroSDメモリーカードに保存したデータは、他の機器で表示、再生できない場合があります。
- ご利用になるmicroSDメモリーカードによっては、保存したビデオ、動画／iモーション、録画した番組の再生時に乱れが発生する場合があります。
- microSDメモリーカードに保存したデータは、バックアップをとるなどして別に保管してくださるようお願いします。万が一、保存されたデータが消失または変化しても、当社としては責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。

microSDメモリーカードのフォルダ構成

FOMA端末で表示したときの構成

待受画面で[メニュー]▶「5 便利なツールを使う」▶「9 microSDカードを使う」▶「4 microSDカードの内容を見る」を押すと表示される、microSDメモリーカードのフォルダ構成とデータの最大保存件数は次のとおりです。保存件数は、microSDメモリーカードの容量やデータのサイズにより少なくなる場合があります。

- データの種類によって、フォルダをアルバムと表示する場合があります。

① **写真**（9999件まで保存可能）
　カメラで撮影した写真、DCF※規格のJPEG、GIF形式の画像
　その他の画像（9999件まで保存可能）
　DCF※規格外のJPEG、GIF、SWF形式の画像
　ビデオ（4095件まで保存可能）
　カメラで撮影したビデオ、動画／iモーション
　その他のビデオ（9999件まで保存可能）
　録音した音声、映像のない動画／iモーション
　メロディ（9999件まで保存可能）
　ワンセグ（99件まで保存可能）
　録画した番組

② **電話帳／受信メール／未送信メール／送信メール／予定表／ブックマーク**（合計で9999件まで保存可能）
　現在地通知先（999件まで保存可能）

③ **トルカ**（999件まで保存可能）

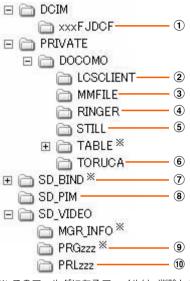
④ **iアプリのデータ**（1200件まで保存可能）

※ Design rule for Camera File systemの略でファイルシステムの規格です。

お知らせ

- 横縦（または縦横）のサイズが1728×2304（ドット）より大きい静止画をmicroSDメモリーカードに保存しても、FOMA端末では表示できません。

パソコンなどで表示したときの構成

FOMA端末からmicroSDメモリーカードにデータを移動またはコピーしたときや、撮影した写真やビデオを直接microSDメモリーカードに保存したときなどは、そのファイルに対応したフォルダがmicroSDメモリーカードに自動的に作成されます。パソコンなどの機器でmicroSDメモリーカードの内容を表示したときのフォルダとファイルの構成は次のとおりです。

※ このフォルダにあるファイルは、削除したりファイル名を変更したりしないでください。FOMA端末でデータを正しく表示、再生できなくなります。

① 写真（aaaaxxxx.JPG/GIF）
② 現在地通知先（LSCDCxxx.LSC）
③ その他のビデオ（MMFxxxx.3GP/ASF/MP4）
④ メロディ（RINGxxxx.MID/MLD/SMF）
⑤ その他の画像（STILxxxx.JPG/GIF/SWF）
⑥ トルカ（TORUCxxx.TRC）
⑦ ｉアプリのデータ（aaaaaaaa.aaa）
⑧ 個人情報データ（PIMxxxxx.VBM/VCF/VCS/VMG）
⑨ ワンセグ（MOVzzz.MAI/MOI/SB1、PRGzzz.PGI）
- 録画した番組は、パソコンでは再生できません。

⑩ ビデオ（MOLzzz.3GP/ASF/MP4）

- フォルダ名とファイル名の規則は次のとおりです。使用する文字はすべて半角です。
「xxx」001～999（「xxxFJDCF」のみ100～999）
「xxxx」0001～9999
「xxxxx」00001～65535
「zzz」001～FFF（16進数）
「a」A～Z（大文字）、0～9、_（アンダーバー）
- 拡張子が「3GP」「MP4」のファイルはMP4形式として扱われます。

パソコンでmicroSDメモリーカードのデータを操作するには

microSDメモリーカード内のフォルダやファイルをパソコンで操作するには、microSDメモリーカードをドライブとして認識させる必要があります。認識させるには、SDメモリーカードスロットやメモリーカードリーダー／ライター（USBポート接続やPCカード接続）などが必要です。SDメモリーカードとして利用するときは、SDメモリーカードへの変換アダプタが必要です。

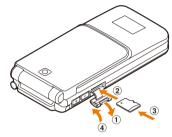
- microSDメモリーカードにデータを保存するときは、フォルダ構成（→p.358）に記載されたファイル形式、ファイル名で決められたフォルダに保存してください。フォルダが作成されていない場合は、フォルダ名の規則に従って作成してください。保存先フォルダを間違えたり、フォルダ名を変更したり、異なるファイル形式のデータを保存したりすると、FOMA端末では認識できません。
- microSDメモリーカードに保存したデータをFOMA端末で利用するには、FOMA端末で情報更新をする必要があります。→p.360
- フォルダやファイルの操作方法については、パソコンの取扱説明書をご覧ください。

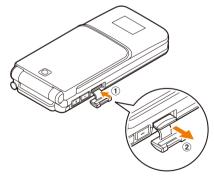
microSDメモリーカードの取り付けかた／取り外しかた

microSDメモリーカードは、FOMA端末のmicroSDメモリーカードスロットに取り付けて使用します。

- microSDメモリーカードの取り付け／取り外しは、必ず電源を切った状態で行ってください。
- microSDメモリーカードの取り付け／取り外しを行うときは、金属端子部分に触れないようにご注意ください。また、microSDメモリーカードが飛び出す場合がありますのでご注意ください。

● microSDメモリーカードは正しく取り付けてください。正しく取り付けていない状態では、データのコピーやバックアップなどの操作ができません。
● 傷や変形、ゴミの付着などのあるmicroSDメモリーカードはFOMA端末に取り付けないでください。故障の原因となる場合があります。

microSDメモリーカードの取り付けかた

① **microSDメモリーカードスロットのカバーを下方向に開く**
② **印字面を上にして、microSDメモリーカードをスロットにゆっくり差し込む**
③ **「カチッ」と音がするまで、さらにmicroSDメモリーカードを差し込む**
④ **microSDメモリーカードスロットのカバーを閉じる**
電源を入れると、待受画面に SD が表示されます。

microSDメモリーカードの取り外しかた

● カバーの開閉方法は取り付けかたと同じです。
① **microSDメモリーカードの中央付近を軽く押し込み、手を離す**
microSDメモリーカードが少し飛び出します。
② **microSDメモリーカードをまっすぐに、ゆっくりと取り出す**

microSDメモリーカードを管理する

microSDメモリーカードをFOMA端末で正しく使用できるように、microSDメモリーカードを初期化したり、情報更新したりします。また、使用状況などを確認します。

microSDメモリーカードの初期化<初期化>

microSDメモリーカードに保存してあるデータをすべて削除するときや、新たに購入したmicroSDメモリーカードをFOMA端末で使用するときに初期化します。

1 **待受画面で メニュー ▶「5 便利なツールを使う」▶「9 microSDカードを使う」▶「6 microSDカードを初期化する」を押す**

初期化する方法を選んでください
完全初期化の場合時間がかかります

1 簡易初期化する
2 完全初期化する
3 初期化しない

1 **簡易初期化する**：microSDメモリーカード内のデータ管理領域のみを初期化します。必要最小限の処理を行うことで、初期化の時間を短縮する方法です。保存されているデータはすべて消去されます。microSDメモリーカードが一度初期化済みで、microSDメモリーカードに問題がない場合のみ実行してください。
2 **完全初期化する**：microSDメモリーカード内のデータ管理領域と、データ領域の両方を初期化します。保存されているデータはすべて消去されます。新しく購入したmicroSDメモリーカードを初期化するときなどに実行してください。
3 **初期化しない**：microSDメモリーカードを初期化しません。

2 「1簡易初期化する」または「2完全初期化する」▶端末暗証番号を入力▶決定を押す

初期化を行うと
microSDカード内
のすべてのデータ
が失われます。
初期化しますか？

1初期化する
2初期化しない

1 **初期化する**：microSDメモリーカードを初期化します。
2 **初期化しない**：microSDメモリーカードを初期化しません。

3 「1初期化する」を押す

初期化が開始されます。終了すると初期化が終了した旨のメッセージが表示されます。決定を押すとメニュー画面に戻ります。

- 中断するときは、初期化中に決定を押します。

microSDメモリーカードの情報更新＜情報更新＞

他の機器でmicroSDメモリーカード内のデータを変更、追加、削除したことによって、FOMA端末でデータを正しく表示できなくなったときに、microSDメモリーカードの情報を更新します。データの種類ごとに情報を更新するかどうかを設定できます。

1 待受画面でメニュー▶「5便利なツールを使う」▶「9microSDカードを使う」▶「5microSDカードの情報を更新する」を押す

更新対象の選択画面が表示されます。

2 「1写真」～「7トルカ」のうち、選択する項目の番号を押す

項目の□が☑に変わります。

更新する対象を
選んでください

1☑写真
2□その他の画像
3□ビデオ
4□その他ビデオ
5□メロディ
6□個人情報ﾃﾞｰﾀ
7□トルカ

- 決定：項目を選択／解除します。
- メニュー：すべての項目を選択／解除します。

3 電話帳を押す

microSDメモリーカードの内容を更新するかどうかの確認画面が表示されます。

4 「1更新する」を押す

情報更新が終了した旨のメッセージが表示されます。決定を押すとメニュー画面に戻ります。

- 中断するときは更新中に決定を押します。

おしらせ

- microSDメモリーカードに保存されているデータが多い場合は、情報更新に時間がかかります。
- 他の機器でmicroSDメモリーカードにデータを保存した場合、FOMA端末で管理情報を作成するための必要な空き容量が不足し、microSDメモリーカードに保存したデータがFOMA端末で正しく表示できなくなることがあります。

microSDメモリーカードのチェック<カードチェック>

microSDメモリーカードに保存してあるデータをチェックして、問題があれば修復します。

1 待受画面で[メニュー]▶「5便利なツールを使う」▶「9microSDカードを使う」▶「7microSDカードをチェックする」を押す

カードチェックを実行するかどうかの確認画面が表示されます。

2 「1実行する」を押す

チェックが終了した旨のメッセージが表示されます。[決定]を押すとメニュー画面に戻ります。

おしらせ

- microSDメモリーカードの状態によっては、データを修復できない場合があります。

microSDメモリーカードの使用状況の確認

microSDメモリーカードの全容量や空き容量などを表示します。microSDメモリーカードにデータを保存したり、移動／コピーしたりする場合は、空き容量を確認してください。

1 待受画面で[メニュー]▶「5便利なツールを使う」▶「9microSDカードを使う」▶「4microSDカードの内容を見る」を押す

microSDカード画面が表示されます。

2 [電話帳]を押す

microSD使用状況
使用量
1,536 KB
空き容量
121,376 KB
全容量
122,912 KB

全容量に対する使用量の割合

使用量：現在使用している容量を数値で示します。
空き容量：現在の空き容量を数値で示します。
全容量：FOMA端末に取り付けているmicroSDメモリーカードの全容量を数値で示します。

- 確認が終わったら、[電話帳]を押すとmicroSDカード画面に戻ります。

FOMA端末電話帳やメールなどのデータをmicroSDメモリーカードに保存する

FOMA端末電話帳、メール、予定表、ブックマーク、現在地通知先をデータごとにmicroSDメモリーカードにまとめて保存します（バックアップ）。

- 保存するデータが複数件でもまとめて1件のデータとして保存されますが、内容は1件ずつ表示できます。
- 電話帳を保存すると、ワンタッチダイヤルに登録された電話番号やメールアドレス、ワンタッチブザーの自動音声発信の電話番号も保存されます。ただし、保存された内容は表示できません。
- 添付データを含めたメールサイズが100Kバイトを超える場合は、メール本文のみ保存されます。また、添付データが複数ある場合は、100Kバイトを超えた分の添付データは保存されません。

1 待受画面でメニュー▶「5便利なツールを使う」▶「9microSDカードを使う」▶「2microSDにデータを保存する」▶端末暗証番号を入力▶決定を押す

保存対象の選択画面が表示されます。

2 「1電話帳」～「7現在地通知先」のうち、選択する項目の番号を押す

項目の□が☑に変わります。

保存する対象を
選んでください
1 ☑電話帳
2 □受信メール
3 □未送信メール
4 □送信メール
5 □予定表
6 □ブックマーク
7 □現在地通知先

- 決定：項目を選択／解除します。
- メニュー：すべての項目を選択／解除します。

3 電話帳を押す

保存を開始するかどうかの確認画面が表示されます。

4 「1開始する」を押す

保存が完了した旨のメッセージが表示されます。決定を押すとメニュー画面に戻ります。

- 中断するときは保存中に決定を押します。

microSDメモリーカードの電話帳やメールなどのデータをFOMA端末に復元する

microSDメモリーカードに保存した、電話帳、メール、予定表、ブックマーク、現在地通知先のデータをFOMA端末に復元します。

- 電話帳を「全部上書きする」で復元すると、ワンタッチダイヤルに登録された電話番号やメールアドレス、ワンタッチブザーの自動音声発信の電話番号も復元されます。

1 待受画面でメニュー▶「5便利なツールを使う」▶「9microSDカードを使う」▶「3microSDのデータを復元する」を押す

復元する対象を
選んでください
1電話帳
2受信メール
3未送信メール
4送信メール
5予定表
6ブックマーク
7現在地通知先

2 「1電話帳」～「7現在地通知先」のいずれかを押す

復元するデータの選択画面が表示されます。

- 「7現在地通知先」：フォルダを選択▶決定を押します。
- 保存データの内容を表示したいときは、復元するデータの選択画面でメニューを押します。

3 復元するデータを選択▶決定を押す

復元方法を
選んでください
1本体ﾃﾞｰﾀに追加
2全部上書きする
3復元しない

1**本体データに追加**：FOMA端末に保存されているデータはそのままにして、選択したデータを追加で復元します。

2 **全部上書きする**：FOMA端末に保存されているデータをすべて削除してから、選択したデータを復元します。
3 **復元しない**：データを復元しません。

4 「1本体データに追加」または「2全部上書きする」▶端末暗証番号を入力▶[決定]を押す

本体へ 復元しますか？ 1復元する 2復元しない	復元を行うと 本体のデータが 削除されます。 復元しますか？ 1復元する 2復元しない
＜「本体データに追加」を選択した場合＞	＜「全部上書きする」を選択した場合＞

5 「1復元する」を押す

復元が終了した旨のメッセージが表示されます。[決定]を押すとメニュー画面に戻ります。

- 中断するときは復元中に[決定]を押します。このとき、中断する前に処理されたデータはFOMA端末に復元されます。

microSDメモリーカードの内容を見る

画像や動画／ｉモーションなどの表示・再生

画像やトルカを表示したり、動画／ｉモーションやメロディを再生したりします。

1 待受画面で[メニュー]▶「5便利なツールを使う」▶「9microSDカードを使う」▶「4microSDカードの内容を見る」を押す

microSDカード画面が表示されます。

2 「1画像・音・ワンセグ」を押す

画像・音・ﾜﾝｾｸﾞ
1写真
2その他の画像
3ビデオ
4その他のビデオ
5メロディ
6ワンセグ

- トルカを表示するときは、「3トルカ」を押し、操作4に進みます。

3 「1写真」～「5メロディ」のいずれかを押す

フォルダ一覧が表示されます。

- 「6 ワンセグ」を押すと、録画した番組の再生ができます。→p.335

4 フォルダを選択▶[決定]を押す

データ一覧が表示されます。

5 データを選択▶[決定]を押す

選択したデータが表示または再生されます。[戻る]（画像、メロディのときは[戻る]または[決定]）を押すとデータ一覧に戻ります。

- 動画／ｉモーションの再生操作→p.347
- メロディの再生操作→p.352

■ **データを添付してｉモードメールを作成する**：**データを選択▶[メニュー]▶「1メールで送る」▶ｉモードメールを作成する**
- ｉモードメールの作成・送信方法→p.214、p.217

■ **画像を待受画面に設定する**：**データを選択▶[メニュー]▶「2待受画面に貼る」▶「1設定する」▶[決定]を押す**
選択した画像は、FOMA端末本体に自動的にコピーされます。
- 設定できる画像サイズ→p.341「画像を待受画面に設定する」のお知らせ

■ **データの情報を表示する**：**データを選択▶[メニュー]▶「2情報を見る」（画像のときは「3情報を見る」）を押す**
- 画像の情報→p.342
- 動画／ｉモーションの情報→p.349
- メロディの情報→p.353
- トルカの場合は操作できません。

■ データを削除する：
①データを選択▶[メニュー]▶「3削除する」（画像のときは「4削除する」、トルカのときは「2削除する」）を押す
②「1選択1件」を押す
- フォルダ内のデータを全件削除するときは、「2アルバム内全件」、「2フォルダ内全件」、「2全件」のいずれか▶端末暗証番号を入力▶[決定]を押します。

③「1削除する」を押す

電話帳やメールなどの表示

電話帳、メール、予定表、ブックマーク、現在地通知先を表示します。

1 待受画面で[メニュー]▶「5便利なツールを使う」▶「9microSDカードを使う」▶「4microSDカードの内容を見る」▶「2個人情報データ」を押す

個人情報データ
1電話帳
2受信メール
3未送信メール
4送信メール
5予定表
6ブックマーク
7現在地通知先

2 「1電話帳」～「7現在地通知先」のいずれかを押す

データ一覧が表示されます。
- マークの意味は次のとおりです。
  - [アイコン]／[アイコン]：電話帳保存データ／個別データ
  - [アイコン]／[アイコン]：メール保存データ／個別データ
  - [アイコン]／[アイコン]：予定表保存データ／個別データ
  - [アイコン]／[アイコン]：ブックマーク保存データ／個別データ
  - [アイコン]／[アイコン]：現在地通知先保存データ／個別データ
- 「7現在地通知先」：フォルダを選択▶[決定]を押します。

3 データを選択▶[決定]を押す

個別データの一覧が表示されます。
- 個別データを選択した場合は、詳細が表示されます。操作4は不要です。

■ データを削除する：データを選択▶[メニュー]▶「1削除する」を押す

4 個別データを選択▶[決定]を押す

選択したデータによって、電話帳の詳細画面、メールの内容、予定表の内容、ブックマークのURL、現在地通知先の詳細が表示されます。[戻る]または[決定]（メールのときは[戻る]のみ）を押すと、各データの一覧に戻ります。
- 電話帳の詳細表示→p.96
- メールの表示→p.231、p.236
- 現在地通知先の内容→p.311
- 予定表の表示→p.383
- URLの表示画面で、[メニュー]▶「1URLをコピー」を押すと表示しているURLをコピーできます。

■ メールの内容を表示するときの大きさを変更する：メール表示画面で[メニュー]▶「1小さく表示する／1大きく表示する」を押す

■ メールアドレスを電話帳に登録する：メール表示画面で[メニュー]▶「2登録する」▶「1電話帳新規登録」または「2電話帳追加登録」を押す
- 電話帳の登録方法→p.87

■ メールの添付画像を確認する：メール表示画面で画像のファイル名を選択▶[メニュー]▶「3添付データ確認」▶「1画像表示あり／1画像表示なし」または「2題名を確認」を押す
- 「1画像表示あり」を押すとイメージを表示し、「1画像表示なし」を押すとイメージを表示しません。

■ メールの添付メロディを確認する：メール表示画面でメロディを選択▶[メニュー]▶「3添付データ確認」▶「1メロディを再生」～「3データ表示あり／3データ表示なし」のいずれかを押す
- 「3データ表示あり」を押すと埋め込まれたメロディを表示し、「3データ表示なし」を押すとメロディを表示しません。SMF形式のメロディでは、この機能は利用できません。

ｉアプリのデータの表示

1 **待受画面で[メニュー]▶「[5]便利なツールを使う」▶「[9]microSDカードを使う」▶「[4]microSDカードの内容を見る」▶「[4]ｉアプリのデータ」を押す**

データ一覧が表示されます。

2 **データを選択▶[決定]を押す**

選択したｉアプリのデータの詳細画面が表示されます。[戻る]または[決定]を押すとデータ一覧に戻ります。

- 詳細画面には、利用の可否、利用できない理由、プロバイダ（特定のプロバイダが提供する複数のｉアプリから利用できる場合）、ソフト（データを利用するｉアプリがFOMA端末に保存されている場合）の各項目が表示されます。データによっては表示されない項目があります。
- 利用できない理由の意味は次のとおりです。
  - ソフト動作制限あり：データを利用するｉアプリが存在しません。該当するｉアプリをもう一度ダウンロードすることで利用できることがあります。ただし、「FOMAカード（UIM）動作制限」「機種制限」「シリーズ制限」のいずれかが「あり」と表示されているときは、ｉアプリをダウンロードしても利用できないことがあります。
  - FOMAカード（UIM）動作制限あり：データは他のFOMAカード（UIM）で利用されている可能性があります。
  - 機種制限あり：データは他の機種によって利用されている可能性があります。
  - シリーズ制限あり：データはF884i以外で利用されている可能性があります。

■ データを削除する：

① **データを選択▶[メニュー]▶「[1]選択１件を削除」を押す**

- 全件削除するときは、「[2]全件を削除」▶端末暗証番号を入力▶[決定]を押します。

② **「[1]削除する」▶[決定]を押す**

削除した旨のメッセージが表示されます。

FOMA端末のデータをmicroSDメモリーカードに移動／コピーする

FOMA端末本体にある写真や画像、動画／ｉモーション、メロディ、トルカをmicroSDメモリーカードに移動／コピーします。

- FOMA端末外への出力が禁止されているデータ（この端末でファイル制限を「設定する」にしたデータを除く）、FOMAカード動作制限機能が設定されているデータは、microSDメモリーカードに移動／コピーできません。

画像をmicroSDメモリーカードに移動／コピー

1 **待受画面で[メニュー]▶「[3]写真・ビデオを撮る・見る」▶「[2]写真のアルバムを見る」▶アルバムを選択▶[決定]を押す**

画像一覧が表示されます。

2 **移動またはコピーする画像を選択▶[メニュー]▶「[6]移動する」または「[7]コピーする」を押す**

移動先の選択画面またはコピーする写真の選択画面が表示されます。

- 「[7]コピーする」：操作4に進みます。

3 **「[2]microSDへ移動」を押す**

移動する写真の選択画面が表示されます。

4 **「[1]選択１件」▶「[1]移動する」または「[1]コピーする」を押す**

画像を移動またはコピーした旨のメッセージが表示されます。[決定]を押すと画像一覧に戻ります。アルバム内に画像がなくなったときはアルバム一覧に戻ります。

- アルバム内の画像をmicroSDメモリーカードに全件移動するときは、「[2]アルバム内全件」▶「[1]移動する」▶「[1]移動する」を、全件コピーするときは、「[2]アルバム内全件」▶「[1]コピーする」を押します。

● 移動する画像が待受画面やワンタッチダイヤルの着信画像に使用されている場合は、「1選択1件」を押すと、使用されていても移動するかどうかの確認画面が表示されます。移動する場合は「1移動する」を押します。

おしらせ

● 待受画面やワンタッチダイヤルの着信画像に使用されている画像をmicroSDメモリーカードに移動すると、設定されていた項目はお買い上げ時の状態に戻ります。

動画／iモーションをmicroSDメモリーカードに移動／コピー

1 待受画面でメニュー▶「3写真・ビデオを撮る・見る」▶「4ビデオのアルバムを見る」▶アルバムを選択▶決定を押す

動画一覧が表示されます。

2 移動またはコピーする動画／iモーションを選択▶メニュー▶「5microSDへ移動」または「6microSDへコピー」を押す

移動またはコピーするビデオの選択画面が表示されます。

3 「1選択1件」▶「1移動する」または「1コピーする」を押す

動画／iモーションを移動またはコピーした旨のメッセージが表示されます。決定を押すと動画一覧に戻ります。アルバム内に動画／iモーションがなくなったときはビデオ一覧に戻ります。

● アルバム内の動画／iモーションをmicroSDメモリーカードに全件移動するときは、「2アルバム内全件」▶「1移動する」を、全件コピーするときは、「2アルバム内全件」▶「1コピーする」を押します。

● 移動する動画／iモーションが着信音に使用されている場合は、「1選択1件」を押すと、使用されていても移動するかどうかの確認画面が表示されます。移動する場合は「1移動する」を押します。

おしらせ

● 着信音に使用されている動画／iモーションをmicroSDメモリーカードに移動すると、設定されていた項目はお買い上げ時の状態に戻ります。

メロディをmicroSDメモリーカードに移動／コピー

1 待受画面でメニュー▶「#詳細な機能・設定」▶「4音を設定する」▶「6保存した曲を再生する」▶フォルダを選択▶決定を押す

フォルダ内のメロディ一覧が表示されます。

2 移動またはコピーするメロディを選択▶メニュー▶「5microSDへ移動」または「6microSDへコピー」を押す

移動またはコピーするメロディの選択画面が表示されます。

3 「1選択1件」▶「1移動する」または「1コピーする」を押す

メロディを移動またはコピーした旨のメッセージが表示されます。決定を押すとフォルダ内のメロディ一覧に戻ります。フォルダ内にメロディがなくなったときはメロディ一覧に戻ります。

● フォルダ内のメロディをmicroSDメモリーカードに全件移動するときは、「2フォルダ内全件」▶「1移動する」を、全件コピーするときは、「2フォルダ内全件」▶「1コピーする」を押します。

● 移動するメロディが着信音や目覚ましに使用されている場合は、「1選択1件」を押すと、使用されていても移動するかどうかの確認画面が表示されます。移動する場合は「1移動する」を押します。

おしらせ

● 着信音や目覚ましに使用されているメロディをmicroSDメモリーカードに移動すると、設定されていた項目はお買い上げ時の状態に戻ります。

トルカをmicroSDメモリーカードに移動／コピー

1　待受画面でメニュー▶「7おサイフケータイを使う」▶「5保存したトルカを見る」▶フォルダを選択▶決定を押す

フォルダ内のトルカ一覧が表示されます。

2　移動またはコピーするトルカを選択▶メニュー▶「4移動する」または「5コピーする」▶「2microSDへ移動」または「2microSDへコピー」を押す

移動またはコピーするトルカの選択画面が表示されます。

3　「1選択1件」▶「1移動する」または「1コピーする」を押す

トルカを移動またはコピーした旨のメッセージが表示されます。決定を押すとフォルダ内のトルカ一覧に戻ります。フォルダ内にトルカがなくなったときは、トルカがない旨のメッセージが表示されます。決定を押すとトルカ一覧に戻ります。

- フォルダ内のトルカをmicroSDメモリーカードに全件移動するときは、「2フォルダ内全件」▶「1移動する」を、全件コピーするときは、「2フォルダ内全件」▶「1コピーする」を押します。

microSDメモリーカードのデータをFOMA端末に移動／コピーする

画像や動画／iモーションなどをFOMA端末に移動／コピー

microSDメモリーカードの画像や動画／iモーション、メロディ、トルカをFOMA端末本体に移動／コピーします。

- 次のデータは、サイズが大きいため実行できない旨のメッセージが表示され、移動／コピーできません。
  - ファイルサイズが100Kバイトを超えるFlash画像やメロディ
  - FOMA端末で表示できないサイズの静止画

1　待受画面でメニュー▶「5便利なツールを使う」▶「9microSDカードを使う」▶「4microSDカードの内容を見る」を押す

microSDカード画面が表示されます。

2　「1画像・音・ワンセグ」を押す

画像・音・ワンセグの種類を選択する画面が表示されます。

- トルカを移動／コピーするときは、「3トルカ」を押し、操作4に進みます。

3　「1写真」～「5メロディ」のいずれかを押す

フォルダ一覧が表示されます。

- 「6ワンセグ」フォルダ内の録画した番組は、FOMA端末に移動／コピーできません。

4　フォルダを選択▶決定を押す

データ一覧が表示されます。

5　データを選択▶メニュー▶「4本体へ移動」または「5本体へコピー」（画像のときは「5本体へ移動」または「6本体へコピー」、トルカのときは「3本体へ移動」または「4本体へコピー」）を押す

移動またはコピーするデータの選択画面が表示されます。

6 「1選択1件」▶「1移動する」または「1コピーする」を押す

データを移動またはコピーした旨のメッセージが表示されます。決定を押すとデータ一覧に戻ります。フォルダ内にデータがなくなったときはフォルダ一覧に戻ります。

- フォルダ内のデータをFOMA端末に全件移動または全件コピーするときは、「2アルバム内全件」または「2フォルダ内全件」▶「1移動する」または「1コピーする」を押します。

電話帳やメールなどをFOMA端末にコピー

microSDメモリーカードの電話帳、メール、予定表、ブックマーク、現在地通知先の個別データをFOMA端末にコピーします。

1 待受画面でメニュー▶「5便利なツールを使う」▶「9microSDカードを使う」▶「4microSDカードの内容を見る」▶「2個人情報データ」を押す

個人情報データの種類を選択する画面が表示されます。

2 「1電話帳」～「7現在地通知先」のいずれかを押す

データ一覧が表示されます。

- 「7現在地通知先」：フォルダを選択▶決定を押します。

3 個別データを選択▶メニュー▶「2本体へコピー」▶「1コピーする」を押す

データをコピーした旨のメッセージが表示されます。決定を押すとデータ一覧に戻ります。

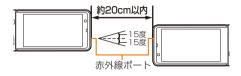
赤外線通信／iC通信について

FOMA端末では、赤外線通信／iC通信機能が搭載された他のFOMA端末や携帯電話、パソコンなどと、データのやりとりができます。

- 赤外線通信
  赤外線通信機能が搭載された他のFOMA端末や携帯電話、パソコンなどとデータの送受信ができます。また、赤外線通信に対応したｉアプリを利用することもできます。
- iC通信
  iC通信機能が搭載された他のFOMA端末とFeliCaマークを重ね合わせることで、データの送受信ができます。また、iC通信に対応したｉアプリを利用することもできます。
- 赤外線通信やiC通信とUSB接続は同時に使用できません。
- 赤外線通信やiC通信中はディスプレイ上部に⇄が表示され、データ転送中（圏外と同じ状態）になるため、通話、ｉモード、データ通信などはできません。
- FOMA端末の赤外線通信機能はIrMC™規格1.1に準拠しています。ただし、相手の端末がIrMC™規格1.1に準拠していても、データの種類によっては送受信できない場合があります。
- 絵文字を入力したデータをｉモード端末以外に送信すると、正しく表示されない場合があります。また、受信側がｉモード端末であっても絵文字2の対応機種でない場合は、絵文字2を入力してデータを送信すると、正しく表示されないことがあります。

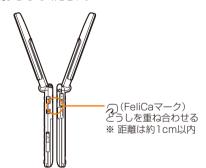
データ表示／編集／管理

赤外線通信を行うには

- 赤外線通信の通信距離は約20cm以内にしてください。また、データの送受信が終わるまで、FOMA端末を相手側の赤外線ポート部分に向けたまま動かさないでください。
- 赤外線放射角度は中心から15度以内です。

おしらせ

- 直射日光が当たる場所や蛍光灯の真下などでは、赤外線通信が正常にできない場合があります。

iC通信を行うには

- iC通信時は、送信側と受信側のFeliCaマークを約1cm以内に重ね合わせてください。また、データの送受信が終わるまで重ねたまま動かさないでください。
- FeliCaマークどうしを重ね合わせても通信が開始されない場合は、重ねる位置を5～10mm程度ずらしてください。

おしらせ

- FeliCa マークを重ね合わせるときに、FOMA 端末に強い衝撃を与えないでください。
- 相手側の FOMA 端末によっては、データの送受信がしにくい場合があります。

赤外線通信／iC通信を使ってデータを送信する

赤外線通信では、データを1件ずつ送信する方法と、データの種類ごとにまとめて送信する方法が利用できます。iC通信ではデータを1件ずつ送信する方法のみ利用できます。

- 送信できるデータは次のとおりです。

データの種類	留意事項
電話帳	－
個人情報	• 名前、フリガナ、1つ目の電話番号、1つ目のメールアドレスのみが送信されます。
受信／送信／未送信メール	• 赤外線通信での全件送信のみ利用できます。 • メール本文中に貼付された、i アプリを連携起動できるリンク項目は削除されます。
ブックマーク	• 全件送信した場合、相手の端末によってはフォルダ分けの設定が反映されない場合があります。
写真	• 全角で9文字、半角で18文字を超えた題名の文字は削除されます。 • ファイルサイズが500Kバイトより大きいデータは送信できません。
トルカ	• おサイフケータイ対応サービス提供者の設定によっては、送信できない場合があります。 • 相手の端末によっては、トルカ（詳細）は送信されない場合があります。

- FOMA端末外への出力が禁止されているデータは送信できません。ただし、この端末でファイル制限を「設定する」にしたデータや「データ交換」アルバム内の画像は除きます。

個人情報の送信

自分のFOMA端末の電話番号（自局電話番号）や名前、メールアドレスを相手の端末に送信します。

1 **相手のFOMA端末を受信待機状態にする**

2 **待受画面で[メニュー]▶「[0]自分の電話番号を見る」を押す**

個人情報（基本）画面が表示されます。

3 **[メニュー]▶「[1]赤外線で送信」または「[2]iC通信で送信」を押す**

送信を開始します
赤外線ポートを
相手に向けて
決定ボタンを
押してください

送信を開始します
送信先とマークを
重ね合わせて
決定ボタンを
押してください

＜赤外線送信開始画面＞　＜iC送信開始画面＞

- 赤外線ポートまたはFeliCaマークを相手側の端末に向けてから次の操作を行ってください。

4 **[決定]を押す**

赤外線送信／iC送信が開始されます。

- 赤外線送信／iC送信を中断する場合は[決定]を押します。
- データの送信が完了すると、通信が終了した旨のメッセージが表示されます。[決定]を押すと個人情報（基本）画面に戻ります。

データの1件送信

〈例〉FOMA端末電話帳の1件の電話帳データをFOMA端末に送信する

1 **相手のFOMA端末を受信待機状態にする**

2 **待受画面で[電話帳]▶電話帳を検索する**

- 検索方法→p.93

3 **送信する電話帳データを選択▶[メニュー]▶「[9]送信する」**

送信方法の選択画面が表示されます。

- FOMAカード電話帳の電話帳一覧、フォルダ内のブックマーク一覧、画像一覧、フォルダ内のトルカ一覧から操作する場合は、メニューの項目番号が異なります。

4 **「[1]赤外線で送信」または「[2]iC通信で送信」を押す**

赤外線送信／iC送信の開始画面が表示されます。

- 赤外線ポートまたはFeliCaマークを相手側の端末に向けてから次の操作を行ってください。

5 **[決定]を押す**

赤外線送信／iC送信が開始されます。

- 赤外線送信／iC送信を中断する場合は[決定]を押します。
- データの送信が完了すると、通信が終了した旨のメッセージが表示されます。[決定]を押すとFOMA端末電話帳の検索結果一覧に戻ります。

データの全件送信

赤外線通信を利用して、データの種類ごとにすべてのデータを送信します。

- 次のデータを送信できます。
  - 電話帳
  - 受信メール
  - 送信メール
  - 未送信メール
  - ブックマーク
- 送信側と受信側で同じ認証パスワードを入力します。あらかじめ数字4桁の認証パスワードを決めておいてください。
- 受信側でデータの並び順が変わることがあります。

1 相手のFOMA端末を受信待機状態にする

2 待受画面で[メニュー]▶「5便利なツールを使う」▶「8赤外線を使う」▶「3赤外線で全件送信する」を押す

全件送信の対象を選択する画面が表示されます。

3 「1電話帳」～「5ブックマーク」のいずれかを押す

端末暗証番号入力画面が表示されます。

4 端末暗証番号を入力▶[決定]▶認証パスワードを入力▶[決定]を押す

赤外線送信の開始画面が表示されます。

- 赤外線ポートを相手側の端末に向けてから次の操作を行ってください。

5 [決定]を押す

赤外線送信が開始されます。

- 赤外線送信を中断する場合は[決定]を押します。
- データの送信が完了すると、通信が終了した旨のメッセージが表示されます。[決定]を押すと操作2の画面に戻ります。

お知らせ

- 赤外線または iC で送信するときに受信先の端末が受信待機状態になっていなかったり、自分の端末と相手の赤外線ポートやFeliCaマークが正しく向き合っていなかったりすると、次の画面が表示されます。「1送信する」を押すと、もう一度送信します。相手側の端末が受信待機状態になっていることを確認してから操作してください。

接続相手が
見つかりません。
もう一度
送信しますか？

1送信する
2送信しない

赤外線受信／iC受信

赤外線通信／iC通信を使ってデータを受信する

赤外線通信／iC通信機能が搭載されている携帯電話やパソコンなどから、電話帳やメールなどのデータを受信します。受信したデータは直接FOMA端末に保存されます。

赤外線通信では、データを1件ずつ受信する方法と、データの種類ごとにまとめて受信する方法が利用できます。iC通信ではデータを1件ずつ受信する方法のみ利用できます。

- 受信できるデータの種類と保存先は次のとおりです。

データの種類	保存場所／1件受信時の保存順
電話帳 個人情報	FOMA端末電話帳／最も小さい空きメモリ番号（000～009以外）
予定表	予定表
受信／送信／未送信メール※	受信メール／受信日時順 送信メール／送信日時順 未送信メール／保存日時順 ・全件受信した場合、相手の端末によってはメール連動型 i アプリ用のフォルダに保存されることがあります。保存されたメールを確認するには、メール連動型 i アプリ用のフォルダを選択▶[メニュー]▶「6一覧を表示」を押します。
ブックマーク	ブックマーク一覧／一覧の先頭 ・FOMA Fシリーズ以外の端末から受信した場合は、先頭のフォルダに保存されます。
写真	アルバム一覧の「データ交換」アルバム／並び順に従う
ビデオ	ビデオ一覧の「データ交換」アルバム／並び順に従う
メロディ	メロディ一覧の「データ交換」フォルダ／並び順に従う
トルカ	トルカ一覧の「トルカフォルダ」／並び順に従う

※ 添付データを含めたメールサイズが100Kバイトを超える場合は、メール本文のみ受信できます。また、添付データが複数ある場合は、100Kバイトを超えた分の添付データは受信できません。

データの1件受信

相手側の端末に保存されているデータを赤外線通信／iC通信で1件受信します。

● iC通信で受信するときは、操作1～2の操作は不要です。待受画面の状態でFeliCaマークを相手側の端末に向け、操作3に進みます。

1 待受画面で[メニュー]▶「5便利なツールを使う」▶「8赤外線を使う」▶「1赤外線で受信する」を押す

受信を開始します
赤外線ポートを
相手に向けて
決定ボタンを
押してください

＜赤外線受信開始画面＞

● 赤外線ポートを相手側の端末に向けてから次の操作を行ってください。

2 [決定]を押す

受信待機状態になります。

3 相手側からデータを1件送信する

赤外線受信／iC受信が開始されます。

● 赤外線受信／iC受信を中断する場合は[決定]を押します。

● データの受信が完了すると、通信が終了した旨のメッセージが表示されます。

4 [決定]を押す

電話帳に
保存しますか？
1保存する
2保存しない

＜電話帳を1件受信した場合＞

1**保存する**：受信したデータを保存します。

2**保存しない**：受信したデータを保存しません。

5 「1保存する」を押す

保存した旨のメッセージが表示されます。[決定]を押すとメニュー画面または待受画面に戻ります。

データの全件受信

赤外線通信を利用して、データの種類ごとにすべてのデータを受信します。

● 受信側で保存していたデータは消去され、受信したデータのみ保存されますのでご注意ください。また、電話帳を全件受信すると、ワンタッチダイヤルの登録やワンタッチブザーの自動発信設定が解除されます。ただし、送信側もF884iで、これらの機能を設定している場合は、送信側の設定内容で上書きされます。

● 次のデータを受信できます。
- 電話帳
- 受信メール
- 送信メール
- 未送信メール
- ブックマーク

● 送信側と受信側で同じ認証パスワードを入力します。あらかじめ数字4桁の認証パスワードを決めておいてください。

1 待受画面で[メニュー]▶「5便利なツールを使う」▶「8赤外線を使う」▶「2赤外線で全件受信する」▶端末暗証番号を入力▶[決定]▶認証パスワードを入力▶[決定]を押す

赤外線受信の開始画面が表示されます。

● 赤外線ポートを相手側の端末に向けてから次の操作を行ってください。

2 [決定]を押す

受信待機状態になります。

3 相手側からデータを全件送信する

赤外線受信が開始されます。

● 赤外線受信を中断する場合は[決定]を押します。

● データの受信が完了すると、通信が終了した旨のメッセージが表示されます。

4 [決定]を押す

電話帳を全件
書き換えて
保存しますか？
1保存する
2保存しない

＜電話帳を全件受信した場合＞

1**保存する**：受信側で保存していたデータを消去し、受信したデータのみ保存します。

2 **保存しない**：受信したデータを保存しません。

5 「1保存する」を押す

保存した旨のメッセージが表示されます。決定を押すとメニュー画面に戻ります。

お知らせ

- 赤外線で受信するときに相手の端末からデータが送信されていなかったり、自分の端末と相手の赤外線ポートが正しく向き合っていなかったりすると、次の画面が表示されます。「1受信する」を押すと、もう一度受信します。相手側の端末から、データが送信されていることを確認してから操作してください。iCの場合は、中断された旨のメッセージが表示されます。決定を押して操作し直してください。

接続相手が
見つかりません。
もう一度
受信しますか？

1受信する
2受信しない

- FOMA端末に保存できないデータを受信したときは、受信した旨のメッセージが表示されますが、データは破棄されます。

赤外線リモコン機能を利用する

赤外線リモコン用のｉアプリをダウンロードして、FOMA端末を赤外線リモコンとして使用します。

- 各機器に対応したｉアプリをダウンロードしてください。操作はｉアプリによって異なります。
- 対応機器や周囲の明るさによって、通信動作に影響を受ける場合があります。
- 赤外線リモコンに対応した機器でも操作できない場合があります。

リモコン操作について

FOMA端末の赤外線ポートを対応機器の赤外線受信部に向けてリモコン操作をしてください。リモコン操作ができる角度は中心から15度、距離は最大で約4mです。ただし、操作する機器や周囲の明るさなどによって、操作できる角度と距離は変わります。

その他の便利な機能

マルチアクセスについて

マルチアクセスとは、音声電話、パケット通信、SMSの3つの通信を同時に利用できる機能です。

マルチアクセスでできる主な操作

- マルチアクセスで同時に利用できる通信の詳細は「マルチアクセスの組み合わせについて」をご覧ください。→p.481
- マルチアクセス中は、それぞれの通信に通信料がかかります。

音声電話中にｉモードメールを受信する

1 通話中にメールを受信する

メールの受信中はディスプレイ上部にと✉が点滅表示され、受信が終了するとが表示されます。

- 着信音は鳴りません。
- 通話中にメールの内容を確認することはできません。

ｉモード中に音声電話をかける

- 平型スイッチ付イヤホンマイク（別売）（→p.399）またはPhone To機能（→p.191）を使用して音声電話をかけることができます。

〈例〉サイト表示中に平型スイッチ付イヤホンマイクを使って音声電話をかける

1 サイト表示中に平型スイッチ付イヤホンマイクのスイッチを1秒以上押す

「ピピッ」と音がするまで押し続けると、電話がかかります。

2 お話しが終わったら平型スイッチ付イヤホンマイクのスイッチを1秒以上押す

「ピッ」と音がするまで押し続けると、サイト表示画面に戻ります。

- [終話]を押しても電話を切ることができます。

ｉモード中に音声電話を受ける

1 サイト表示中に電話がかかってくる

着信中の画面が表示されます。

2 [開始]を押す

電話がつながります。

3 お話しが終わったら[終話]を押す

サイト表示画面に戻ります。

自動電源ON設定

自動的に電源を入れる

指定した時刻にFOMA端末の電源が自動的に入るように設定します。

● 自動電源OFF設定と本機能を同時刻に設定することはできません。→p.378

1 **待受画面で[メニュー]▶「[#]詳細な機能・設定」▶「[0]設定時刻に電源を入/切する」▶「[1]電源が入る時刻を設定する」を押す**

決めた時刻に
電源が入る機能を
設定してください
[1]自動電源入
停止する
[2]時刻　00時00分
[3]繰り返し
繰り返さない

[1]**自動電源入**：自動で電源を入れるかどうかを設定します。
[2]**時刻**：自動で電源を入れる時刻を設定します。
[3]**繰り返し**：自動で電源を入れる設定を繰り返すかどうかを設定します。

2 **「[1]自動電源入」を押す**

決めた時刻に電源を入れるかどうかの確認画面が表示されます。

3 **「[1]入れる」を押す**

電源が入る時刻の設定画面が表示されます。

●「[2]入れない」：操作6に進みます。

4 **時刻を入力▶[決定]を押す**

繰り返しの種類を
選んでください
[1]毎日繰り返す
[2]繰り返さない

● 24時間制で入力します。時、分が1桁のときは、前に0を付けます。

[1]**毎日繰り返す**：毎日指定した時刻に自動で電源を入れます。
[2]**繰り返さない**：指定した時刻に一度だけ自動で電源を入れます。

5 **「[1]毎日繰り返す」または「[2]繰り返さない」を押す**

操作1の画面に戻ります。

6 **[電話帳]を押す**

決めた時刻に電源を入れる設定を起動／停止した旨のメッセージが表示されます。[決定]を押すとメニュー画面に戻ります。

お知らせ

● 病院、医療機関、航空機の中など携帯電話の使用を禁止された場所では、電源を切るだけではなく、本機能の設定も解除してください。

自動電源OFF設定

自動的に電源を切る

指定した時刻にFOMA端末の電源が自動的に切れるように設定します。

● 自動電源ON設定と本機能を同時刻に設定することはできません。→p.377

1 **待受画面で[メニュー]▶「[#]詳細な機能・設定」▶「[0]設定時刻に電源を入／切する」▶「[2]電源が切れる時刻を設定する」を押す**

決めた時刻に
電源を切る機能を
設定してください
[1]自動電源切
停止する
[2]時刻　00時00分
[3]繰り返し
繰り返さない

[1]**自動電源切**：自動で電源を切るかどうかを設定します。
[2]**時刻**：自動で電源を切る時刻を設定します。
[3]**繰り返し**：自動で電源を切る設定を繰り返すかどうかを設定します。

2 **「[1]自動電源切」を押す**

決めた時刻に電源を切るかどうかの確認画面が表示されます。

3 **「[1]切る」を押す**

電源を切る時刻の設定画面が表示されます。

●「[2]切らない」：操作6に進みます。

4 **時刻を入力▶[決定]を押す**

繰り返しの種類を
選んでください
[1]毎日繰り返す
[2]繰り返さない

● 24時間制で入力します。時、分が1桁のときは、前に0を付けます。

[1]**毎日繰り返す**：毎日指定した時刻に自動で電源を切ります。
[2]**繰り返さない**：指定した時刻に一度だけ自動で電源を切ります。

5 **「[1]毎日繰り返す」または「[2]繰り返さない」を押す**

操作1の画面に戻ります。

6 **[電話帳]を押す**

決めた時刻に電源を切る設定を起動／停止した旨のメッセージが表示されます。[決定]を押すとメニュー画面に戻ります。

おしらせ

● 待受画面表示中以外のときに指定した時刻になった場合は、電源は切れません。動作中の機能を終了すると電源が切れます。

通知時刻自動電源ON設定

目覚ましや予定の時刻に自動的に電源を入れる

目覚ましや予定の通知の時刻に電源が切れているとき、電源を自動的に入れて目覚まし音や通知音声が鳴るようにするかどうかを設定します。

1 待受画面で(メニュー)▶「5便利なツールを使う」▶「3予定表を使う」▶「3通知の時刻に電源を入れる」を押す

目覚ましや予定の通知の時刻に電源を入れるかどうかの確認画面が表示されます。

2 「1入れる」または「2入れない」を押す

目覚ましや予定の通知の時刻に電源を入れる／入れないに設定した旨のメッセージが表示されます。(決定)を押すとメニュー画面に戻ります。

お知らせ

- PIN1コード使用の設定中（→p.126）は、指定した時刻に電源が入ると、PIN1コード入力画面の表示よりも優先して目覚ましや予定の通知が動作します。このとき、目覚まし音にダウンロードしたメロディを設定していた場合は「目覚まし1」が鳴ります。
- 電池パックが外れてしまった場合など、電源を切る操作や自動電源OFF設定以外で電源が切れると、本機能は動作しません。
- 病院、医療機関、航空機の中など携帯電話の使用を禁止された場所では、電源を切るだけではなく、本機能の設定も解除してください。

目覚まし

指定した時刻に目覚まし音で知らせる

指定した時刻になったことを、設定した目覚まし音でお知らせします。

1 待受画面で(メニュー)▶「5便利なツールを使う」▶「2目覚ましを使う」を押す

目覚ましを
設定してください
1目覚まし　停止
2時刻　00時00分
3繰り返し
　毎日繰り返す
4音　　目覚まし1
5音量　　　4

1 **目覚まし**：目覚ましを起動するかどうかを設定します。
2 **時刻**：目覚ましを起動する時刻を設定します。
3 **繰り返し**：目覚ましを繰り返し起動するかどうかを設定します。
4 **音**：目覚まし音の種類を設定します。
5 **音量**：目覚まし音の音量を設定します。

2 「1目覚まし」を押す

目覚ましを動かすかどうかの確認画面が表示されます。

3 「1動かす」を押す

時刻の設定画面が表示されます。

- 「2止める」：目覚ましを起動しません。操作10に進みます。

4 時刻を入力▶[決定]を押す

繰り返しの種類を
設定してください

1 毎日繰り返す
2 曜日を指定する
3 繰り返さない

- 24時間制で入力します。時、分が1桁のときは、前に0を付けます。

1 **毎日繰り返す**：目覚ましを毎日起動します。
2 **曜日を指定する**：目覚ましを特定の曜日に起動します。
3 **繰り返さない**：目覚ましを一度だけ起動します。

5 「1 毎日繰り返す」～「3 繰り返さない」のいずれかを押す

- 「1 毎日繰り返す」「3 繰り返さない」：操作8に進みます。

6 「1 日曜日」～「7 土曜日」のうち、選択する項目の番号を押す

曜日の□が☑に変わります。

曜日を
選んでください

1 ☑日曜日
2 □月曜日
3 □火曜日
4 □水曜日
5 □木曜日
6 □金曜日
7 □土曜日

- [決定]：曜日を選択／解除します。
- [メニュー]：すべての曜日を選択／解除します。

7 [電話帳]を押す

メロディ一覧が表示されます。

8 フォルダを選択▶[決定]▶メロディを選択▶[決定]を押す

音量の調節画面が表示されます。

9 [メール][iアプリ][←][→]または[+][−]を押して音量を調節▶[決定]を押す

操作1の画面に戻ります。

- 音量1のときに[iアプリ]／[←]／[−]:「消音」に設定します。

10 [電話帳]を押す

目覚ましを設定／止めた旨のメッセージが表示されます。[決定]を押すとメニュー画面に戻ります。

- 目覚ましを設定すると、待受画面に🕒または（予定の通知も設定しているとき）が表示されます。

目覚ましの時刻になると

設定した時刻になると次の画面が表示され、設定した音と音量で目覚まし音が鳴ります。

7:30 — 現在の時刻

- FOMA端末を閉じているときは、背面ディスプレイに「時間です」と時刻が表示されます。
- [終話]を押すと目覚ましが終了し、目覚ましが動作する前の画面に戻ります。
- 次の操作を行うと目覚ましが停止し、「1分間鳴った後、4分間停止」する動作（スヌーズ動作）を30分間繰り返します。
  - 約1分間何も操作をしない
  - [終話]、[+][−]、[サイド]以外のボタンを押す

お知らせ

- 通話中（通話保留中の場合は保留解除後）に設定した時刻になると、目覚まし音ではなく警告音が鳴り、画面の表示でお知らせします。[終話]を押すと、通話中の画面に戻ります。
- 電話の発着信中、呼出中、切断中、64Kデータ通信の発着信中、データ転送中、ワンタッチブザー動作中に設定した時刻になると、それぞれの動作終了後に目覚ましが動作します。
- 公共モード（ドライブモード）中に設定した時刻になると、目覚まし音は鳴らず、画面の表示のみでお知らせします。
- マナーモード中に設定した時刻になると、目覚まし音は鳴らず、「パターンA」で振動します。

予定表

予定を管理する

行事や用件などの予定を登録して、必要なときに確認できるようにします。登録した予定の日時になると音声で通知するように設定することもできます。

- 最大登録件数→p.513

カレンダーの表示

予定は、カレンダー画面から登録、確認します。

1 待受画面で[メニュー]▶「[5]便利なツールを使う」▶「[3]予定表を使う」▶「[1]予定を見る・登録する」を押す

予定を登録している日付は左上に◤が表示されます。

2008年 4月

日	月	火	水	木	金	土
30	31	1	2	3	4	5
6	7	8	9	10	11	12
13	14	15	16	17	18	19
20	21	22	23	24	25	26
27	28	29	30	1	2	3
4	5	6	7	8	9	10

4月 8日の予定
4件

カーソル

カーソル位置の日付に登録している予定の件数

<カレンダー画面>

- [上][下][左][右]：カーソルが移動します。
- [メニュー]：前の月が表示されます。
- [電話帳]：次の月が表示されます。

お知らせ

- カレンダーは2000年1月1日から2060年12月31日まで表示できます。
- カレンダーの祝日は、「国民の祝日に関する法律及び老人福祉法の一部を改正する法律（平成17年法律第43号までのもの）」に基づいています。春分の日、秋分の日の日付は前年の2月1日の官報で発表されるため異なる場合があります（2008年4月現在）。また、上記法律は2007年1月から施行されていますが、2006年までの一部の祝日、振替休日については、改正前の日付で表示されないため、ご注意ください。

予定の登録

1 カレンダー画面で登録する日付を選択▶[決定]を押す

予定はありません
登録しますか？
[1]登録する
[2]登録しない

■ **すでに予定を登録している日付に追加する：カレンダー画面で登録する日付を選択▶[決定]▶[電話帳]を押す**
操作3に進みます。

2 「[1]登録する」を押す

予定を
入力してください
[1]予定の内容
[2]時刻　指定なし
[3]通知　なし

[1]**予定の内容**：予定を入力します。
[2]**時刻**：予定の時刻を指定します。
[3]**通知**：予定の時刻になったとき、通知するかどうかを設定します。

3 「[1]予定の内容」を押す

予定の内容の入力画面が表示されます。

4 予定の内容を入力▶決定を押す

予定の時刻を指定するかどうかの確認画面が表示されます。

● 全角45文字、半角90文字以内で入力します。

5 「1指定する」または「2指定しない」を押す

予定の時刻の入力画面が表示されます。

● 「2指定しない」：操作8に進みます。

6 予定の時刻を入力▶決定を押す

予定の時刻に通知するかどうかの確認画面が表示されます。

● 24時間制で入力します。時、分が1桁のときは、前に0を付けます。

7 「1通知する」または「2通知しない」を押す

操作2の画面に戻ります。

8 電話帳を押す

予定を登録した旨のメッセージが表示されます。決定を押すと予定一覧画面が表示されます。

4月 8日(火)予定
1/1件 ― 予定番号／表示中の日付に登録している予定の件数
14:00
ドライブ

<予定一覧画面>

● 予定の時刻に通知する設定にしているときは、予定一覧画面の通知する予定の時刻の右側にが表示されます。また、待受画面にまたは（目覚ましも設定しているとき）が表示されます。

おしらせ

● 予定表の保存領域の空きが足りないときや最大登録件数を超えるときは、予定を登録できない旨のメッセージが表示されます。不要な予定を削除してください。→p.384

予定を通知する日時になると

予定の通知を設定した時刻になると次の画面が表示され、電話着信音量で設定した音量の「予定の時刻です」という通知音声と背面ディスプレイの照明の点滅でお知らせします。

● FOMA端末を閉じているときは、背面ディスプレイに「時間です」と時刻が表示されます。

● を押すと予定の通知が終了し、予定の通知が動作する前の画面に戻ります。

● 、、以外のボタンを押すか、何も操作せずに約1分間経過すると予定の通知が停止します。決定を押すと予定の通知が動作する前の画面に戻ります。

● 同じ日時に複数の予定を通知するように設定している場合は、を押すと前後の予定の内容を確認できます。

おしらせ

● 電話や通信の操作中、ワンタッチブザー動作中、公共モード中に、設定した時刻になったときの通知の動作は、目覚ましと同様です。→p.381

● マナーモード中に設定した時刻になると、通知音声は鳴らず「パターンA」で振動し、背面ディスプレイの照明が点滅します。

● 電源を切っているときに本機能を動作させるには、通知時刻自動電源ON設定を「入れる」に設定してください。→p.379

予定の確認

1 カレンダー画面で確認する日付を選択▶決定を押す

予定一覧画面が表示されます。

2 確認する予定を選択▶決定を押す

4月 8日(火)予定
1/4件
予定の内容
買い物
時刻 10:00
通知 なし

予定番号／表示中の日付に登録している予定の件数

＜予定詳細画面＞

- 同じ日付に複数の予定を登録している場合は、◁▷を押すと前後に登録している予定詳細画面に切り替わります。
- 決定を押すと予定一覧画面に戻ります。

■ **表示中の予定を変更する：予定詳細画面で電話帳を押す**

- 以降の操作→p.381「予定の登録」操作3以降

おしらせ

- 予定一覧画面から予定を変更する場合は、変更する予定を選択してメニュー▶「2修正する」を押します。

予定をコピーする

登録済みの予定を、別の日付にコピーします。

〈例〉日付を指定してコピーする

1 カレンダー画面でコピーする予定を登録している日付を選択▶決定を押す

2 コピーする予定を選択▶メニューを押す

3 「4指定日にコピー」▶コピーする日付を入力▶決定を押す

予定をコピーした旨のメッセージが表示されます。決定を押すとコピーした予定が予定一覧画面に表示されます。

- 西暦は下2桁を入力します。月、日が1桁のときは、前に0を付けます。

■ **翌日にコピーする：「5翌日にコピー」を押す**

予定をコピーした旨のメッセージが表示されます。

おしらせ

- 予定詳細画面からコピーする場合は、メニュー▶「3指定日にコピー」または「4翌日にコピー」を押します。

予定の日付を変更する

登録済みの予定の日付を変更します。日付を変更しても、予定の内容、時刻、通知の設定はそのまま引き継がれます。

1 カレンダー画面で変更する予定を登録している日付を選択▶決定を押す

2 日付を変更する予定を選択▶メニュー▶「6日付を変更」を押す

予定の日付の入力画面が表示されます。

3 日付を入力▶決定を押す

予定の日付を変更した旨のメッセージが表示されます。決定を押すと日付を変更した予定が予定一覧画面に表示されます。

- 西暦は下2桁を入力します。月、日が1桁のときは、前に0を付けます。

おしらせ

- 予定詳細画面から変更する場合は、メニュー▶「5日付を変更」を押します。

知られたくない予定を守る ＜シークレット属性設定／解除＞

他の人に見られたくない予定には、シークレット属性を設定します。シークレット属性を設定するには、FOMA端末をシークレットモードに設定する必要があります。

1 **シークレットモードを設定する**

● 操作方法→p.132

2 **カレンダー画面でシークレット属性を設定する予定を登録している日付を選択▶決定を押す**

3 **シークレット属性を設定する予定を選択▶決定▶メニュー▶「6シークレット属性設定」を押す**

シークレット属性を設定するかどうかの確認画面が表示されます。

4 **「1設定する」を押す**

シークレット属性を設定した旨のメッセージが表示されます。決定を押すと予定詳細画面に戻ります。

14:05
4月 8日(火)予定
4/4件
予定の内容
飲み会
時刻 20:00
通知 あり

表示している予定にシークレット属性を設定していると点滅します。

■ **シークレット属性を解除する**：

① **シークレットモード中にシークレット属性を設定している予定詳細画面を表示▶メニュー▶「6シークレット属性解除」を押す**

シークレット属性を解除するかどうかの確認画面が表示されます。

② **「1解除する」を押す**

シークレット属性を解除した旨のメッセージが表示されます。決定を押すと予定詳細画面に戻ります。

お知らせ

● シークレット属性を設定している予定は、シークレットモード中のみ表示できます。また、予定の通知もシークレットモード中のみ動作します。

● シークレットモード中に登録、変更した予定は、自動的にシークレット属性が設定されます。

予定の登録件数の確認 ＜登録件数確認＞

1 **待受画面でメニュー▶「5便利なツールを使う」▶「3予定表を使う」▶「2予定の登録件数を見る」を押す**

予定表登録件数
登録件数 4件
残り 296件

2 **確認が終わったら決定を押す**

メニュー画面に戻ります。

お知らせ

● シークレットモード中は、シークレット属性を設定している予定の件数も表示されます。

予定の削除

1件ずつ、または1日分を削除したり、選択した日付の前日まで、またはすべての予定をまとめて削除したりできます。

1 **カレンダー画面で削除する予定を登録している日付を選択▶決定を押す**

2 **削除する予定を選択▶メニュー▶「3削除する」を押す**

削除する予定の選択画面が表示されます。

3 「1選択1件」～「4全件」のいずれかを押す

予定を削除するかどうかの確認画面が表示されます。

- **選択した予定のみ削除する**：「1選択1件」を押す
- **選択した日付の予定をすべて削除する**：「2選択1日」を押す
- **選択した日付より前の日付の予定をすべて削除する**：「3選択日前日まで」を押す
- **すべての予定を削除する**：「4全件」▶端末暗証番号を入力▶決定を押す

4 「1削除する」を押す

予定を削除した旨のメッセージが表示されます。決定を押すとカレンダー画面に戻ります。予定を削除した日付に他の予定がある場合や、「3選択日前日まで」を押した場合は予定一覧画面に戻ります。

お知らせ

- 予定詳細画面から削除する場合は、メニュー▶「2削除する」を押します。

音声メモ

音声電話中に録音された相手の声を聞く

音声メモを設定しておくと、音声電話中の相手の声を録音することができます。

- 電話を切る約1分前からの通話が最大4件録音されます。
- 最大録音件数を超えると、保護されていない古い音声メモから順に上書きされます。残しておきたい音声メモは保護してください。→p.387

音声メモの設定

1 待受画面でメニュー▶「5便利なツールを使う」▶「6伝言メモ・音声メモを使う」▶「2音声メモを使う」▶「2通話音声メモを設定する」を押す

通話音声メモを開始するかどうかの確認画面が表示されます。

2 「1開始する」または「2停止する」を押す

通話音声メモを開始／停止した旨のメッセージが表示されます。決定を押すとメニュー画面に戻ります。

音声メモの再生

1 **待受画面で［メニュー］▶「1電話帳・伝言メモ・音声メモを使う」▶「6通話音声メモを再生する」を押す**

保存されている音声メモの件数が表示されます。

2 **［決定］を押す**

① 音声メモの番号
② 録音した日時（海外滞在時は滞在地の日時）
③ 海外滞在時の音声メモ（GMT+09:00を除きます。録音日時が記録されていないときなど、表示されない場合があります）
④ 国際電話の場合→p.64
⑤ 電話帳に登録している場合は名前→p.86
発信者番号が非通知の場合は発信者番号非通知理由→p.69
⑥ 電話番号（国際電話の場合は、電話番号の前に「+」が表示されます）

3 **［メール］［iアプリ］を押して再生する音声メモを表示▶［決定］を押す**

- ［決定］：再生を途中で停止します。
- ［メール］［iアプリ］／［+］［−］：音量を調節します。
- ［ [］：受話口からの再生とスピーカーホン機能を使用した再生を切り替えます。

再生が終了すると音声メモの表示画面に戻ります。

お知らせ

- ワンタッチブザーを鳴らして、自動的に音声電話が発信された場合の通話は録音されません。また、このときかかってきた音声電話の通話も録音されません。
- 通話保留中も録音は継続されます。ただし、キャッチホンで別の相手に電話をかけたり受けたりすると、保留中の録音は停止し、キャッチホンで通話中になった相手の声が録音されます。このとき、再び保留中の相手に通話を切り替えると、最初の録音は破棄され、新たに録音を開始します。
- 音声電話中にテレビ電話に切り替えた場合は、切り替えた時点で録音が停止します。再び音声電話に切り替えると、最初の録音は破棄され、新たに録音を開始します。
- 音声メモに電話番号が記録されている場合は、サブメニューから発信者番号の通知／非通知を選択して音声電話やテレビ電話をかけたり、電話帳に登録したりすることができます。→p.63、p.90

音声メモの保護／解除

音声メモを削除したり、上書きされたりしないように保護します。
● 最大2件保護できます。

1 **待受画面で(メニュー)▶「1電話帳・伝言メモ・音声メモを使う」▶「6通話音声メモを再生する」▶(決定)を押す**

音声メモが表示されます。

2 **(メール)(iモード)を押して保護する音声メモを表示▶(メニュー)▶「5保護する」を押す**

音声メモが保護されると、音声メモの番号の横に「保護」と表示されます。

■ **保護を解除する**：(メール)(iモード)を押して保護を解除する音声メモを表示▶(メニュー)▶「5保護を解除する」を押す

音声メモの削除

1件ずつ、またはすべての音声メモをまとめて削除できます。

〈例〉1件削除する

1 **待受画面で(メニュー)▶「1電話帳・伝言メモ・音声メモを使う」▶「6通話音声メモを再生する」▶(決定)を押す**

音声メモが表示されます。

2 **(メール)(iモード)を押して削除する音声メモを表示▶(メニュー)▶「4削除する」▶「1選択1件」を押す**

選択した音声メモを削除するかどうかの確認画面が表示されます。

■ **全件削除する**：(メニュー)▶「4削除する」▶「2全件」▶端末暗証番号を入力▶(決定)を押す

3 **「1削除する」を押す**

削除した旨のメッセージが表示されます。(決定)を押すと音声メモの表示画面に戻ります。音声メモがない場合や全件削除した場合は、メニュー画面に戻ります。

直前通話時間／積算通話時間

通話時間を確認する

直前に行った通話時間と、これまでに行った通話の積算時間を確認します。

● 通話時間は、かけた場合とかかってきた場合の両方がカウントされます。
● 直前通話時間は、直前に行った音声電話、テレビ電話、データ通信のいずれかの通話時間が表示されます。
● 積算通話時間は、音声電話、テレビ電話、データ通信に分けて表示されます。
● 以前に積算通話時間をリセット（→p.388）した場合は、リセット時から現在までの積算通話時間が表示されます。
● 表示される通話時間はあくまでも目安であり、実際の通話時間とは異なる場合があります。

1 **待受画面で(メニュー)▶「#詳細な機能・設定」▶「8情報の表示やリセットを行う」▶「1通話時間を見る」を押す**

確認する項目を
　選んでください
1直前の通話時間
2積算の通話時間

1**直前の通話時間**：直前に行った通話時間を表示します。
2**積算の通話時間**：現在までの積算した通話時間を表示します。

2 **「1直前の通話時間」または「2積算の通話時間」を押す**

通話時間
直前の通話時間
01分17秒

＜直前通話時間＞

積算通話時間
音声電話
1時間53分32秒
テレビ電話
20分34秒
データ通信
00秒

＜積算通話時間＞

● (決定)を押すと操作1の画面に戻ります。

お知らせ

● 直前通話時間、積算通話時間が9999時間59分59秒を超えると、0秒に戻ってカウントされます。
● iモード通信、パケット通信の通信時間はカウントされません。
● 着信中や相手を呼び出している時間はカウントされません。

積算時間リセット

1 待受画面で(メニュー)▶「#詳細な機能・設定」▶「8情報の表示やリセットを行う」▶「3通話時間をリセットする」を押す

端末暗証番号入力画面が表示されます。

2 端末暗証番号を入力▶(決定)を押す

積算時間を
ﾘｾｯﾄする項目を
選んでください

1音声電話
2テレビ電話
3データ通信
4全ての通話

1**音声電話**：音声電話の積算時間をリセットします。
2**テレビ電話**：テレビ電話の積算時間をリセットします。
3**データ通信**：データ通信の積算時間をリセットします。
4**全ての通話**：すべての積算時間をリセットします。

3 「1音声電話」～「4全ての通話」のいずれかを押す

積算時間をリセットするかどうかの確認画面が表示されます。

4 「1リセットする」を押す

積算時間をリセットした旨のメッセージが表示されます。(決定)を押すとメニュー画面に戻ります。

直前通話料金／積算通話料金

通話料金を確認する

直前に行った通話料金と、これまでに行った通話の積算料金を確認します。

● 通話料金は、かけた場合のみカウントされます。ただし、フリーダイヤルなどの無料通話先や番号案内（104）などにかけた場合は、直前通話料金に「0円」または「******」が表示されます。
● 直前通話料金は、音声電話、テレビ電話、データ通信に分けて表示されます。
● 積算通話料金は、音声電話、テレビ電話、データ通信を合わせて表示されます。
● 通話料金はFOMAカードに蓄積されるため、FOMAカードを差し替えてご利用になる場合、蓄積されている積算料金（2004年12月から積算）が表示されます。
※ 901i シリーズより前に発売された FOMA端末では、FOMAカードに蓄積された料金を表示することはできません（FOMAカードには蓄積されています）。
● 以前に積算通話料金をリセット（→p.389）した場合は、リセット時から現在までの積算通話料金が表示されます。
● 表示される通話料金はあくまでも目安であり、実際の通話料金とは異なる場合があります。また、表示される通話料金に消費税は含まれていません。

1 待受画面で(メニュー)▶「#詳細な機能・設定」▶「8情報の表示やリセットを行う」▶「2通話料金を見る」を押す

確認する項目を
　選んでください

1直前の通話料金
2積算の通話料金

1**直前の通話料金**：直前に行った通話料金を表示します。
2**積算の通話料金**：現在までの積算した通話料金を表示します。

2 「1直前の通話料金」または「2積算の通話料金」を押す

直前通話料金
音声電話
100 円
テレビ電話
100 円
データ通信
0 円

＜直前通話料金＞

積算通話料金
積算通話料金
12,345 円
前回ﾘｾｯﾄ日時
2008年03月01日
16時00分

＜積算通話料金＞

- 決定を押すと操作1の画面に戻ります。

おしらせ

- 通話中に音声電話とテレビ電話を切り替えた場合の直前通話料金には、音声電話、テレビ電話それぞれの合計額が表示されます。なお、切り替え中には、料金は加算されません。
- ｉモード通信、パケット通信の通信料金はカウントされません。ｉモード利用料などの確認方法については『ご利用ガイドブック（ｉモード〈FOMA〉編）』をご覧ください。
- FOMA 端末の電源を入れ直すと、直前通話料金に「******」が表示されます。
- WORLD CALL利用時の国際通話料はカウントされます。その他の国際電話サービス利用時はカウントされません。

積算通話料金リセット

1 待受画面でメニュー▶「#詳細な機能・設定」▶「8情報の表示やリセットを行う」▶「4通話料金をリセットする」を押す

PIN2コード入力画面が表示されます。

2 PIN2コードを入力▶決定を押す

PIN2コードが認識された旨のメッセージが表示されます。

3 決定を押す

積算通話料金をリセットするかどうかの確認画面が表示されます。

4 「1リセットする」を押す

積算通話料金をリセットした旨のメッセージが表示されます。決定を押すとメニュー画面に戻ります。

ワンタッチブザー

ワンタッチで大音量ブザーを鳴らす

ワンタッチブザーを有効にしておくと、緊急時にワンタッチ操作で大音量のブザーを鳴らすことができます。また、ワンタッチブザーを鳴らしたとき、自動的に音声電話を発信したり、GPS機能を利用して居場所を知らせたりすることができます。

- 自動的に音声電話を発信できるようにする場合は、あらかじめ電話帳に発信相手の電話番号を登録しておく必要があります。→p.87
- 音声電話を発信する相手（自動音声発信先）は、最大3件登録できます。
- GPS機能を利用して居場所を通知できるようにする場合は、あらかじめ位置提供を「受信する」に設定しておく必要があります（→p.309）。また、イマドコサーチの検索対象として設定されている必要があります。イマドコサーチについては、ドコモのホームページなどをご覧ください。

アクセス方法（2008年4月現在）

待受画面でｉモード▶「1 i Menuを見る」▶「料金＆お申込・設定」▶「イマドコサーチ（パケット通信料がかかります）」

※ アクセス方法は予告なしに変更される場合があります。

サイトアクセス用QRコード

ワンタッチブザーの設定

〈例〉自動音声発信先を電話帳から選んで設定する

1 待受画面でメニュー▶「*基本の機能・設定」▶「0ワンタッチブザーを使う」を押す

ワンタッチブザーを有効にするかどうかの確認画面が表示されます。

2 「1有効にする」を押す

ワンタッチブザーを鳴らしたとき自動で音声発信するかどうかの確認画面が表示されます。

- 「2無効にする」：ワンタッチブザーを無効にします。操作8に進みます。
- 電話帳に1件も登録していないときに「1有効にする」を押すと、自動音声発信を設定するには発信相手を電話帳に登録後に再度設定する旨のメッセージが表示されます。決定を押し、操作8に進みます。

3 「1発信する」を押す

自動音声発信先の登録画面が表示されます。

- 「2発信しない」：音声電話を発信しません。操作8に進みます。

4 「1未登録」～「3未登録」のいずれかを押す

相手の電話帳を選ぶ画面が表示されます。

■ **自動音声発信先を変更する：変更する自動音声発信先を選択▶決定を押す**

■ **自動音声発信先を解除する：**

① **解除する自動音声発信先を選択▶メニュー▶「2解除する」を押す**
選択した自動音声発信先を解除するかどうかの確認画面が表示されます。

② **「1解除する」を押す**
操作7に進みます。

5 「2電話帳から選ぶ」を押す

電話帳の検索画面が表示されます。

■ **ワンタッチダイヤルから選択する：「1ワンタッチダイヤルから選ぶ」▶発信する相手を選択▶決定を押す**
操作7に進みます。

6 電話帳を検索▶発信する相手を選択▶決定を押す

操作3の画面に戻ります。

- 検索方法→p.93
- 発信する相手の電話帳データに電話番号を2件以上登録している場合は、音声発信先に登録する電話番号の選択画面が表示されます。発信する電話番号を選択して決定を押します。

7 電話帳を押す

ワンタッチブザーを有効にした旨のメッセージが表示されます。

- 自動音声発信先を1件も登録していない場合は、自動音声発信先が未登録のため発信しないに設定した旨のメッセージが表示されます。決定を押します。

8 決定を押す

メニュー画面に戻ります。

- ワンタッチブザーを「有効にする」に設定しているときは、待受画面に、背面ディスプレイにが表示されます。

お知らせ

- 自動音声発信先には緊急通報（110番、119番、118番）を登録できません。
- 自動音声発信先に設定した電話番号を修正して上書き登録すると、自動音声発信先も修正した電話番号に変更されます。
- 次の場合は、ワンタッチブザーの設定は「有効にする」のまま、自動音声発信先の設定のみ解除されます。
  - 自動音声発信先に設定した電話番号を削除したり、緊急通報（110番、119番、118番）に修正したりした場合
  - 自動音声発信先に設定した電話帳データを削除したり、他の電話帳データで上書きしたりした場合
- シークレット属性を設定している電話帳データを自動音声発信先に設定する場合は、設定前にシークレットモードを設定してください。

ワンタッチブザーの鳴らしかた

1 を3秒以上押す

ブザーが鳴り、背面ディスプレイの照明が点滅し、バイブレータが振動します。
自動音声発信先を設定している場合は、音声電話を発信します（→p.391）。位置提供を「受信する」に設定していて、イマドコサーチの検索対象に設定されている場合は、位置提供が行われます。→p.391

- ワンタッチブザー動作中の画面は、音声電話画面→位置提供画面→ワンタッチブザー鳴動画面の優先順位で表示されます。
- を押すとブザー音が停止します（元に戻すときは3秒以上押さなくても停止します）。このとき、音声電話発信や位置提供の動作は継続します。

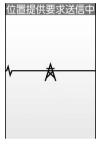
■ 自動音声発信先を設定している場合

ワンタッチブザーが動作すると、設定した相手に自動的に音声電話を発信します。相手が電話を受けると、FOMA端末を開いているときは次の画面が表示されます。「緊急通話です」と音声ガイダンスが3回流れた後、スピーカーホン機能（→p.58）を使用した通話に切り替わります。

ﾜﾝﾀｯﾁﾌﾞｻﾞｰ通知中
決定ボタンで通話
02秒
携帯花子
090XXXXXXXX

- FOMA端末を閉じているときは、相手が電話を受けると背面ディスプレイに「開いて通話開始」と表示されます。
- 登録した自動音声発信先のいずれかの相手が電話を受けるまで、順次発信を繰り返します。
- 発信者番号通知の設定に関わらず、相手に自分の電話番号が通知されます。
- 音声電話発信を中止する場合は、発信中、呼出中、待機中に を押します。
- ワンタッチブザー通知中の画面が表示されているときに 決定 または を押すと、スピーカーホン機能を使用した通話に切り替わります。
- 音声ガイダンスや通話を終了する場合は、 を押します。

■ 位置提供が行われている場合

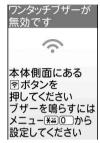
ワンタッチブザーが動作すると、次の画面が表示され位置提供要求が送信されます。位置提供の要求があると、測位を行い位置情報を送信します。

- 位置提供要求を中止する場合は、位置提供要求送信中の画面が表示されているときに を押します。

■ ワンタッチブザーが鳴っている場合

FOMA端末を開いているときは、次の画面が表示されます。

- FOMA端末を閉じているときは、背面ディスプレイに「ブザー鳴動中」と表示されます。

■「ワンタッチブザーが無効です」と表示される場合

ワンタッチブザーを「無効にする」に設定しているときにを3秒以上押してもワンタッチブザーは動作しません。次の画面が表示されるので、を押して元の画面に戻してください。

- FOMA端末を閉じているときは、背面ディスプレイに「ブザー無効」と表示されます。

■「ブザー音停止中」と表示される場合

緊急通報（110番、119番、118番）への発信中、呼出中、通話中にを3秒以上押した場合は、ブザー音や自動音声発信先への音声電話発信は動作せず、緊急通報が優先されます。緊急通報を終了すると、次の画面とディスプレイ上部にが表示されます。を押して元の画面に戻してください。

- FOMA端末を閉じているときは、背面ディスプレイに「ブザー停止中」とが表示されます。

お知らせ

- ワンタッチブザー設定を「有効にする」に設定していても、次の場合は動作しません。
  - 電源が切れているとき
  - 電源を入れて起動中のとき
  - 電池が切れそうなとき（→p.44）
  - おまかせロック中
  - パソコンと接続してデータ送受信中
  - ソフトウェア更新の起動中、書き換え中
- 国際ローミング中は、ワンタッチブザーのGPS機能をご利用いただけません。
- ワンタッチブザー動作中に電池が切れそうになると、ワンタッチブザーが終了します。
- PINコードがロックされているときは、ブザーは鳴りますが音声電話発信や位置提供は行われません。
- FOMAカードを取り付けていない場合は、音声電話発信や位置提供は行われませんのでご注意ください。
- 圏外でを3秒以上押した場合は、圏内になったときに自動的に音声電話を発信したり位置提供を行ったりします。
- ワンタッチブザーの音量は調節できません。大音量で音が鳴りますので、ご使用の際はご注意ください。
- 通話中にを3秒以上押した場合、通話は切断されワンタッチブザーが動作します。
- 着信中にを3秒以上押した場合、着信は切断されワンタッチブザーが動作します。かかってきた電話は、着信履歴に記録されます。
- 公共モード（ドライブモード）中、マナーモード中、オールロック中、開閉ロック中、個人情報表示制限中もワンタッチブザーは動作します。
- セルフモード中はセルフモードが解除され、自動的に音声電話を発信したり位置提供を行ったりします。
- 赤外線通信／iC通信中やmicroSDメモリーカードを利用してデータ転送中にを3秒以上押した場合、データ転送は中断されワンタッチブザーが動作します。
- ワンタッチブザー動作中の電話やデータ通信の着信は次のようになります。
  - 自動音声発信先を「発信する」に設定している場合は、音声電話発信中（呼出中を除く）と待機中に、自動音声発信先に登録している電話番号からの電話着信のみ受けることができます。このとき、音声電話着信の場合は自動的に応答します。自動音声発信先に登録している電話番号以外からの電話着信は拒否され、不在着信として記録されます。

・自動音声発信先を「発信しない」に設定している場合は、電話着信を受けることができます（自動的に応答しません）。
・テレビ電話の着信を受けた場合、FOMA端末を開いているときは自画像を、FOMA端末を閉じているときはカメラオフ画像を相手に送信します。
・データ通信の着信は拒否されます。64Kデータ通信の場合は不在着信として記録されます。

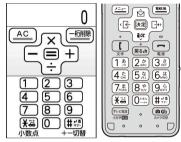
● ワンタッチブザー動作中に通話できる状態になっても、ブザー音は鳴り続け、相手の声が聞こえません。そのままでも送話できますが、必要に応じて[電話帳]を押してください。
● 自動音声発信先を1件のみ登録している場合は、その1件が応答するまで音声電話発信を繰り返します。
● 自動音声発信先を複数登録した場合は、呼出中から約30秒経過しても相手の応答がないと発信を中断し、登録番号順に次の発信先に音声電話を発信します。このとき、位置提供要求が送信されている場合は、測位が開始するまで発信を待機します。
● すべての自動音声発信先に音声電話を発信しても応答がない場合は、約1分間待機した後に再び音声電話を発信します。
● 自動音声発信先の相手が、応答保留にしたり伝言メモ応答にしたりした場合は、相手が応答したことになり音声ガイダンスが再生します。また、留守番電話サービスや転送でんわサービスの利用、公共モード（ドライブモード）中など、相手の状態によっては相手が応答したことになる場合があります。
● キャッチホンを利用している場合は、次のようになります。
・通話中にかかってきた音声電話を受けることができます。ただし、自動音声発信先を「発信する」に設定している場合は、自動音声発信先に登録している電話番号からの音声電話のみ応答でき、他の電話は不在着信として記録されます。
・音声ガイダンスが流れているときにかかってきた電話は、不在着信として記録されます。

● ワンタッチブザー動作中に目覚ましや予定の通知の時刻になったときは、ワンタッチブザーが終了した後に目覚まし音や通知音声が鳴ります。
● ワンタッチブザー動作中にソフトウェア更新の予約日時になったときは、ソフトウェア更新は始まりません。
● 位置提供要求を送信できても、位置提供を行えない場合があります。
● 長期間に渡って使用しない場合、定期的に操作して正常に動作することを確認してください。

● ワンタッチブザーは、周囲の注意をこちらに向けるためのもので、犯罪防止や安全を保障するものではありません。本機能を使用した際に、万が一損害が発生したとしても、当社は一切責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。

電卓

電卓として使う

1 待受画面で[メニュー]▶「[5]便利なツールを使う」▶「[1]電卓を使う」を押す

<電卓画面>

● 電卓画面には、操作に使用するボタンの位置と機能が表示されます。

2 計算する

● 次のボタンを押して操作ができます。
[0]〜[9]：数字を入力します。
[→]／[←]／[✉]／[iα]：＋／−／×／÷を入力します。
[決定]：＝を入力します（計算の実行）。
[＊]：小数点を入力します。
[＃]：入力した数字の＋と−を切り替えます。
[電話帳]：最後に入力した数字を一桁削除します。
[メニュー]：入力した数字や計算結果を削除します。

〈例〉18＋30＝を計算する

1	8	＋	3	0	＝48
[1]	[8]	[→]	[3]	[0]	[決定]

おしらせ

● 最大8桁入力できます。
● 計算結果の整数部分が8桁を超えたり、0で除算したりするとエラーとなり、「E」と表示されます。小数点を含む数値が8桁を超える場合は、表示に収まらない小数部分が四捨五入されて表示されます。

歩数計

歩数計として使う

歩数計を設定すると、カウントした歩数や歩いた距離、消費カロリーや脂肪燃焼量を確認できます。また、有酸素運動の目安となる「いきいき歩行」をカウントしたり、毎日の歩数データを指定した宛先へ自動的にメールで送信したりできます。

● 次の場合は、歩数のカウントを行いません。
 • 電源が入っていないとき
 • 歩数計を「利用しない」に設定しているとき
 • バイブレータが振動しているとき
● カウントした歩数計機能の数値は、あくまでも目安としてご活用ください。
● カウントする歩数は、装着のしかたや歩きかたによって正確にカウントされない場合があります。

いきいき歩行とは

いきいき歩行の歩数および歩行時間は、有酸素運動（呼吸によって取り入れられる酸素を効果的に使い、全身持久力を高めつつ体脂肪を効果的に燃やす運動）の目安となる歩行を計測したものです。

● FOMA端末で次の条件を満たしたとき自動的にカウントを始めます。
 • 毎分60歩以上の速さで歩くこと
 • 3分以上続けて歩くこと（歩きはじめから3分未満の歩数は、いきいき歩行としてカウントされません）

〈例〉毎分100歩の速さで20分歩いた場合、いきいき歩行の歩数は1700歩となります。
※ 4分以内の休息は継続したものとします。

歩数計利用時の注意事項

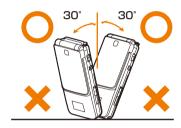
歩数を正確にカウントするためには、正しく装着して毎分100～120歩程度の速さで歩くことをおすすめします。

● 装着するときは次の点にご注意ください。
 • キャリングケース（別売）に入れるときは、キャリングケースを腰のベルトなどに装着してください。
 • かばんに入れるときには、ポケットや仕切りの中に入れてください。

歩数カウント中のご注意

次の場合は、歩数を正確にカウントしないことがあります。

● FOMA端末が地面と水平のとき

● FOMA端末が地面に対して垂直から前後30度以上傾いているとき
 垂直から前後30度以内の傾きであればカウントします。

 地面に対して垂直であれば、傾いても逆さまになってもカウントします。

● FOMA端末が不規則に動くとき
 • FOMA端末を入れたかばんが足や腰に当たって不規則な動きをしているとき
 • FOMA端末を腰やかばんからぶら下げたとき
● 不規則な歩行をしたとき
 • すり足のような歩きかたや、サンダル、下駄、草履などを履いて不規則な歩行をしたとき
 • 混雑した場所を歩くなど、歩行が乱れたとき
● 上下運動や振動の多い所で使用したとき
 • 立ったり、座ったりしたとき
 • 歩行以外のスポーツを行ったとき
 • 階段や急斜面の昇り降りを行ったとき
 • 乗り物（自転車、車、電車、バスなど）に乗車中の上下振動または横揺れのとき
● ジョギングをしたり、極端にゆっくり歩いたとき

歩数計の設定

1 **待受画面で[メニュー]▶「5便利なツールを使う」▶「5歩数計を使う」▶「1歩数計の利用／停止を設定する」を押す**

歩数計を利用するかどうかの確認画面が表示されます。

2 **「1利用する」を押す**

歩数計を
設定します。
歩数計の測定値は
あくまでも
目安として
ご利用ください

[決定]

● 「2利用しない」：操作6に進みます。

3 **[決定]を押す**

歩幅の入力画面が表示されます。

4 **歩幅を入力▶[決定]を押す**

体重の入力画面が表示されます。

● 30～120cmの間で設定します。

5 **体重を入力▶[決定]を押す**

歩数計の利用を開始した旨のメッセージが表示されます。

● 30～120kgの間で設定します。

6 **[決定]を押す**

メニュー画面に戻ります。

● 本機能を使用中は、待受画面に 🏃 または 🏃(歩数計自動送信メールも使用しているとき）が表示され、歩数がカウントされます。

カウント中の歩数を確認する

歩数計を「利用する」に設定しているときは、FOMA端末を閉じると背面ディスプレイに今日の歩数が表示されます。

今日 321歩
14:05

● 背面ディスプレイの照明が点灯しているときは、[サイドキー]を押すたびに、今日の歩数と時計→いきいき歩行の歩数と時計→マークと時計→時計大→時計の順で表示が切り替わります。
- 表示の切り替え→p.30

おしらせ

● 日付・時刻が設定されていない場合は、歩数計のお買い上げ時は「利用しない」に設定されます。日付・時刻を設定しないと歩数計の設定を変更できません。

● 歩き始めは、誤カウントを防ぐために歩行を始めたかどうかを判断しているため、表示が変わりません。目安として4秒程度歩くとそこまでの歩数が一度に表示されます。

● カウントした歩数は、約10分ごとに保存されます。歩数計を使用中に、FOMA端末の電源を切らずに電池パックを取り外すと、保存されていない歩数が消失してしまう場合があります。

● 電池パックを取り外したり、電池が切れたまま充電しなかったりすると、歩数計の設定が解除される場合があります。

● 背面ディスプレイに歩数を表示していても、新着情報の表示（→p.27）が優先されます。

歩数の履歴の確認

毎日午前0時0分になると、1日分の歩数の履歴が自動的に保存されます。次の項目の履歴を、当日を含めて過去32日分、確認できます。

● 表示される数値は、あくまでも目安としてご活用ください。

表示項目	内　容
歩数	1日分の歩数が表示されます。
歩いた距離	歩数と歩幅から算出した歩行距離が表示されます。※1
消費カロリー	歩数、歩行時間、設定した体重から算出した消費カロリーが表示されます。※2
脂肪燃焼量	歩行によって燃焼された脂肪量が表示されます。
いきいき歩数	いきいき歩行の1日分の歩数が表示されます。
いきいき歩行時間	いきいき歩行の1日分の歩行時間が表示されます。

※1　1分あたりの歩数により歩幅は補正されるため、設定した歩幅から算出した歩行距離とは異なる場合があります。

※2　1分間に歩いた距離が30m未満の場合は、カロリー計算は行われません。

1　**待受画面で[メニュー]▶「[5]便利なツールを使う」▶「[5]歩数計を使う」▶「[2]歩数の履歴を表示する」を押す**

歩数の履歴が表示されます。

歩数
1/5件
04/08　1750歩
04/07　3000歩
04/06　3500歩
04/05　3000歩
04/04　3500歩

<履歴表示画面（歩数の場合）>

- 履歴表示画面で[決定]を押すたびに、歩数→歩いた距離→消費カロリー→脂肪燃焼量→いきいき歩数→いきいき歩行時間の順で表示が切り替わります。

■ **歩数の履歴をメールで送信する：履歴表示画面で履歴を選択▶[メニュー]▶「[7]メールで送る」を押す**

- ｉモードメールの作成・送信方法 →p.214、p.217
- 送信される内容は、歩数計自動送信メールの内容と同様です。→p.399

2　**確認が終わったら[戻る]を押す**

メニュー画面に戻ります。

お知らせ

- 歩数は 999999 歩まで表示されます。999999 歩を超えた場合は、0歩に戻って表示されます。
- 距離は9999.9kmまで表示されます。9999.9kmを超えた場合は、0kmに戻って表示されます。また、0.1km未満のときは0kmと表示されます。
- カロリーの算出は65535kcalまでです。
- 脂肪燃焼量の算出は9362gまでです。
- 時間は99時間59分まで表示されます。99時間59分を超えた場合は、0分に戻って表示されます。
- FOMA端末の故障、修理やその他の取り扱いによって、歩数の履歴が消失してしまう場合があります。また、歩数の履歴は、電池パックを外した状態や空の状態でも約1か月は保持されますが、それ以上経過すると消失してしまう場合があります。万が一、歩数の履歴が消失してしまうことがあっても、当社としては責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。

歩数の履歴の削除

すべての歩数の履歴を削除する

現在カウント中の歩数、歩数の履歴、歩数計自動送信メールの累積歩数を削除します。歩数計に設定した歩幅、体重は削除されません。

1　**待受画面で[メニュー]▶「[5]便利なツールを使う」▶「[5]歩数計を使う」▶「[4]歩数の履歴を削除する」を押す**

歩数の履歴を削除するかどうかの確認画面が表示されます。

2　**「[1]削除する」を押す**

歩数の履歴を削除した旨のメッセージが表示されます。[決定]を押すとメニュー画面に戻ります。

今日の歩数を削除する

1 **待受画面で メニュー ▶「5便利なツールを使う」▶「5歩数計を使う」▶「5今日の歩数を削除する」を押す**

今日の歩数を削除するかどうかの確認画面が表示されます。

2 **「1削除する」を押す**

今日の歩数を削除した旨のメッセージが表示されます。決定を押すとメニュー画面に戻ります。

歩数計自動送信メール

毎日指定した時間帯に、指定した宛先へ、最新の歩数の履歴を自動的にメールで送信します。
自分で指定する宛先1件と歩数計サービス1件の合計2件を、歩数計自動送信メールの宛先として同時に設定できます。

- 歩数計自動送信メールを利用するには、ｉモードのご契約が必要です。
- 送信される歩数の履歴に当日分は含まれません。
- 歩数計自動送信メールの通信料は、お客様のご負担となります。

歩数計サービスとは

歩数計自動送信メールを使用して、「@Fケータイ応援団」の歩数計サービスを利用できます。サービスの利用を設定すると、歩数の履歴が「@Fケータイ応援団」に自動送信され、「東海道五十三次」や「富士登山」などの仮想のコースを歩いて、チェックポイント通過時にそのポイントの写真や紹介文のメールを受け取ることができます。

- 歩数計サービスの利用料はかかりませんが、メールの送受信やｉモードサイトに接続した際の通信料はお客様のご負担となります。
- 迷惑メール対策（受信／拒否設定）によるメールの受信制限を行うと、歩数計サービスは利用できませんのでご注意ください。
- お客様ご自身のメールアドレスの変更を行うと、新たに歩数計サービスの利用開始となりますのでご注意ください。
- 詳細は「@Fケータイ応援団」のサイトをご覧ください。

アクセス方法 （2008年4月現在）
待受画面で iα ▶
「1ｉMenuを見る」▶
「メニューリスト」▶
「ケータイ電話メーカー」▶
「@Fケータイ応援団」
※ アクセス方法は予告なしに変更される場合があります。

サイトアクセス用QRコード

1 **待受画面で メニュー ▶「5便利なツールを使う」▶「5歩数計を使う」▶「3歩数の自動送信メールを設定する」を押す**

歩数の自動送信を設定してください
1送信先アドレス 設定なし
2連携サービス 設定なし
3送信時間帯 14時～16時

1**送信先アドレス**：指定した宛先に歩数計自動送信メールを送信するかどうかを設定します。
2**連携サービス**：歩数計サービスを利用するかどうかを設定します。
3**送信時間帯**：歩数計自動送信メールを送信する時間帯を設定します。

2 **「1送信先アドレス」を押す**

自動送信の宛先の選択画面が表示されます。

■ **歩数計サービスのみ設定する**：**「2連携サービス」を押す**
操作4に進みます。

3 「2直接入力する」▶宛先を入力▶決定を押す

利用するサービスの選択画面が表示されます。

- 半角英数字50文字以内で入力します。
- ｉモード端末にメールを送信するときは、メールアドレスの「@docomo.ne.jp」は省略できます。
- 半角英字入力モード時に1あ：
  「.」「@」「-」などを入力できます。
- 半角英字入力モード時に✱：
  「@docomo.ne.jp」「.com」「.or.jp」などを入力できます。

■ **電話帳から選択する**：
① **「1電話帳から選択」▶電話帳を検索する**
• 検索方法→p.93
② **送信する相手を選択▶決定を押す**
送信する相手のメールアドレスの選択画面が表示されます。
③ **メールアドレスを選択▶決定を押す**

■ **設定しない**：**「3設定しない」を押す**

4 「1東海道五十三次」～「4設定しない」のいずれかを押す

- 「3その他のコース」を押した場合は、最初の自動送信後に送られてくるメールの指示に従って、コースを選択してください。
- 操作3で「3設定しない」を押し、さらに操作4で「4設定しない」を押した場合は、操作6に進みます。

5 「10時～2時」～「#22時～24時」のいずれかを押す

操作1の画面に戻ります。

6 電話帳を押す

歩数の自動送信メールを設定／解除した旨のメッセージが表示されます。決定を押すとメニュー画面に戻ります。

- 本機能を使用中は、待受画面にが表示されます。
- 歩数計を「利用しない」に設定しているときは、歩数計が停止している旨のメッセージが表示されます。歩数計停止中は、歩数計自動送信メールは送信されません。

送信時間帯になると

歩数計自動送信メールは、送信時間帯に待受画面が表示されているときに送信されます。歩数計自動送信メールが送信されると、送信した旨のメッセージが約3秒間表示されます。

- 歩数計自動送信メールは、「送信したメールを見る」の「送信箱」フォルダに保存されます（→p.231）。歩数計自動送信メールは編集できません。

■ **送信に失敗したとき**

自動送信に失敗すると、送信に失敗したメールがある旨のメッセージが表示されます。決定を押すと待受画面に戻り、ディスプレイにが表示されます。その場合は未送信メールとして保存され、自動で再送信されませんので、次の操作で再送信してください。

① **待受画面で✉▶「4未送信のメールを見る」を押す**
② **「未送信箱」フォルダを選択▶決定▶歩数計自動送信メールを選択▶メニュー▶「1送信する」を押す**

■ **FOMA端末を閉じているとき**

ｉモードメールが自動的に送信されます。送信に失敗したときは、背面ディスプレイに「自動送信メール失敗」と表示されます。

お知らせ

- 次の場合は自動送信が行われず、未送信メールとして保存されます。
  - FOMAカードを正しく取り付けていないときやFOMAカードに異常があるとき
  - セルフモード中
  - ダイヤル発信制限中で、電話帳に登録されていないメールアドレスを自動送信メールの送信先に設定しているとき（歩数計サービスへはダイヤル発信制限中でも自動送信されます）
- 送信時間帯に歩数計自動送信メール設定の変更を行うと、当日の自動送信は行われず、未送信メールとしても保存されません。翌日から自動送信が行われます。
- 次の場合は、自動送信は行われません。
  - 電源を切っているとき
  - オールロック中
  - おまかせロック中
  - 個人情報表示制限中
  - 歩数計を「利用しない」に設定しているとき
  - 前日の歩数の履歴がないとき

● 未送信メールの保存領域の空きが足りないときや最大保存件数を超えるときは、メールを作成できない旨のメッセージが表示され、自動送信できません。「未送信のメールを見る」から不要なｉモードメール、SMSを削除してください。→p.262
● 送信時間帯に待受画面以外を表示している場合は、待受画面が表示されたとき自動送信されます。

歩数計自動送信メールの内容

以下の内容のメールが自動的に作成され、送信されます。
● 歩数の数値が0の場合も送信されます。

送信箱
003/007件
08/04/09 14:05
宛 docomo.taro.…
題 2008/04/08 歩数 ― 計測日が自動で入ります。
日付:2008/04/08
歩数:XXXXX歩
カロリー:XXXXkcal
累積歩数:XXXXX歩
いきいき歩数:XXXXX歩
いきいき累積歩数:XXXXX歩
脂肪燃焼量:XXXXグラム
- END -

メール本文の項目	内　容
日付	歩数の計測日
歩数	計測日の歩数
カロリー	計測日の消費カロリー
累積歩数	いままでの累積歩数※
いきいき歩数	計測日のいきいき歩行の歩数
いきいき累積歩数	いままでのいきいき歩行の累積歩数※
脂肪燃焼量	計測日の脂肪燃焼量

※ 履歴に保存されている32日分より前の歩数も含まれます。

スイッチ付イヤホンマイク

スイッチ付イヤホンマイクの使いかた

イヤホンマイク端子に平型スイッチ付イヤホンマイク（別売）などを接続すると、スイッチを押すだけで電話をかけたり受けたりすることができます。

● スイッチを押して音声電話をかけるには、イヤホンスイッチ設定を設定する必要があります。→p.400
● スイッチを押してテレビ電話をかけることはできません。
● 平型スイッチ付イヤホンマイクのコードをFOMA端末に巻き付けないでください。電波の受信レベルが低下する場合があります。
● 平型スイッチ付イヤホンマイクのコードをアンテナ部分に近づけると、雑音が入ることがあります。
● 平型スイッチ付イヤホンマイクのプラグは、確実にFOMA端末に差し込んでください。差し込みが不十分な状態では、音が聞こえない場合があります。

スイッチ付イヤホンマイクの接続

● イヤホンジャック変換アダプタ P001（別売）と接続すると、市販のイヤホンマイクを使うことができます。
● マナーモード中に平型スイッチ付イヤホンマイクを接続すると、イヤホン切替設定に関わらずイヤホンから音が鳴ります。このとき、途中でイヤホンを抜くと、メロディは停止します。ｉアプリ、ワンセグ視聴、動画／ｉモーションなどは、消音で動作や再生を続けます。

1　イヤホンマイク端子のカバーを開け、平型スイッチ付イヤホンマイクの接続プラグを差し込む

イヤホンマイクのスイッチ動作の設定<イヤホンスイッチ設定>

平型スイッチ付イヤホンマイクのスイッチで、音声電話を発信できるように設定します。

1 待受画面で[メニュー]▶「[#]詳細な機能・設定」▶「[3]電話・電話帳の詳細を設定する」▶「[6]イヤホンマイクを設定する」▶「[2]イヤホンマイクスイッチの動作を設定する」を押す

イヤホンマイク
接続時の動作を
設定してください
[1]ｲﾔﾎﾝｽｲｯﾁ動作
発信しない
[2]発信先
999:

[1]**イヤホンスイッチ動作**：スイッチを押して音声電話を発信するかどうかを設定します。
[2]**発信先**：音声電話を発信する相手を電話帳から選んで設定します。

2 「[1]イヤホンスイッチ動作」▶「[1]発信する」を押す

電話帳の検索画面が表示されます。
- 「[2]発信しない」：スイッチを押して音声電話を発信しません。操作4に進みます。

3 電話帳を検索▶発信する相手を選択▶[決定]を押す

操作1の画面に戻ります。
- 検索方法→p.93

4 [電話帳]を押す

イヤホンマイク接続時の動作を設定した旨のメッセージが表示されます。[決定]を押すとメニュー画面に戻ります。

お知らせ

- シークレット属性を設定している電話帳データを本機能の発信先に設定する場合は、設定前にシークレットモードを設定してください。
- 発信先に設定した電話帳データに電話番号を2件以上登録している場合は、1件目に登録している電話番号に音声電話がかかります。
- 発信先に設定した電話帳データを削除したり他の電話帳データで上書きしたりすると、設定は解除されます。

スイッチを使った音声電話のかけかた

平型スイッチ付イヤホンマイクのスイッチを押すだけで、イヤホンスイッチ設定で指定した相手に音声電話をかけることができます。

1 待受画面で平型スイッチ付イヤホンマイクのスイッチを1秒以上押す

「ピピッ」と音がするまで押し続けます。
イヤホンスイッチ設定の発信先に指定した電話番号に電話がかかります。
- FOMA端末を閉じているときは、背面ディスプレイに通信状態が表示されます。

2 お話しが終わったらスイッチを1秒以上押す

「ピッ」と音がするまで押し続けます。

お知らせ

- イヤホンスイッチ設定の発信先に設定した電話帳データにシークレット属性を設定している場合は、スイッチを押して電話をかける前に、シークレットモードを設定してください。
- 平型スイッチ付イヤホンマイクを接続中は、FOMA端末を閉じても電話は切れません。

スイッチを使った音声電話の受けかた

1 **電話がかかってきたらスイッチを1秒以上押す**

「ピピッ」と音がするまで押し続けると、電話がつながります。

● イヤホン切替設定（→p.402）に従って着信音が鳴ります。

● FOMA端末を閉じているときは、背面ディスプレイに通信状態が表示されます。

2 **お話しが終わったらスイッチを1秒以上押す**

「ピッ」と音がするまで押し続けます。

お知らせ

● 平型スイッチ付イヤホンマイクを接続中は、FOMA端末を閉じても電話は切れません。

● 平型スイッチ付イヤホンマイクを接続中にテレビ電話がかかってきた場合、イヤホンのスイッチを1秒以上押してテレビ電話を受けることができます。このときFOMA端末を開いている場合は自画像を、FOMA端末を閉じている場合はカメラオフ画像を相手に送信します。

音声電話中にかかってきた別の音声電話を受ける

キャッチホンをご契約いただくと、音声電話中に別の音声電話がかかってくると「ププ…ププ…」という通話中着信音（→p.70）が聞こえます。サービスを開始に設定すると、キャッチホンがご利用いただけます。

1 **通話中に電話がかかってくる**

通話中着信音が聞こえます。

2 **スイッチを1秒以上押す**

キャッチホン中（マルチ接続中）の画面が表示されます。
最初の相手との通話が保留になり、後からかかってきた電話を受けます。

● 通話中に［電話帳］またはスイッチを1秒以上押す：通話の相手を切り替えます。

● 通話中に［決定］：現在通話中の相手も保留します。もう一度［決定］を押すと解除します。

オート着信機能設定

イヤホンをつないで自動で電話を受ける

平型スイッチ付イヤホンマイク（別売）などを接続しているときに着信があった場合、設定した応答時間になると自動的に応答します。音声電話またはテレビ電話を受けたとき、接続したイヤホンマイクなどから音声が聞こえます。

● 通話中の着信に対しては、本機能は動作しません。

1 **待受画面で［メニュー］▶「[#]詳細な機能・設定」▶「[3]電話・電話帳の詳細を設定する」▶「[6]イヤホンマイクを設定する」▶「[1]イヤホンマイク接続時着信動作を選ぶ」を押す**

イヤホンマイク使用中の
着信方法を
設定してください

[1]応答方法　手動
[2]応答時間　4秒

[1]**応答方法**：自動と手動のどちらで接続するかを設定します。

[2]**応答時間**：着信から自動で応答するまでの時間を設定します。

2 **「[1]応答方法」▶「[2]自動で応答する」を押す**

応答時間の設定画面が表示されます。

● 「[1]手動で応答する」：手動で応答します。操作4に進みます。

3 時間を入力▶決定を押す

操作1の画面に戻ります。

- 応答時間の秒数を0～120秒の間で設定します。

4 電話帳を押す

イヤホンマイク使用中は自動で応答する／手動で応答するに設定した旨のメッセージが表示されます。決定を押すとメニュー画面に戻ります。

お知らせ

- テレビ電話を本機能で受けた場合、相手にはカメラオフ画像を送信して自動的にテレビ電話を開始します。
- 電話帳指定着信拒否（→p.137）、非通知理由別着信設定（→p.139）、登録外着信拒否（→p.141）を設定中は、対象に設定している相手から電話がかかってくると、各機能が優先して動作します。
- 伝言メモ、留守番電話サービス、転送でんわサービスと本機能を同時に設定している場合、設定した呼出時間により、優先順位が異なります。
- 伝言メモの呼出時間設定と本機能の応答時間を同じ時間に設定できません。→p.77
- 本機能と無音着信時間設定（→p.140）を同時に設定している場合、無音着信時間を本機能の応答時間以上に設定すると、本機能は動作しません。

イヤホン切替設定

イヤホンだけから着信音を鳴らす

平型スイッチ付イヤホンマイク（別売）などを接続したときに、着信音や目覚まし音などをイヤホンマイクとスピーカーの両方から鳴らすか、イヤホンマイクのみから鳴らすかを設定します。

1 待受画面でメニュー▶「#詳細な機能・設定」▶「4音を設定する」▶「3イヤホンマイク利用時の切替を選ぶ」を押す

着信音の鳴る所の選択画面が表示されます。

1 **イヤホンマイク＋スピーカー**：着信音や目覚まし音などをイヤホンマイクとスピーカーの両方から鳴らします。

2 **イヤホンマイク（20秒後通知有）**：イヤホンから着信音や目覚まし音などが鳴った後、約20秒経過するとスピーカーからも鳴らします。

3 **イヤホンマイクのみ**：着信音や目覚まし音などをイヤホンマイクからのみ鳴らします。

2 「1イヤホンマイク＋スピーカー」～「3イヤホンマイクのみ」のいずれかを押す

イヤホンマイク切替を設定した旨のメッセージが表示されます。決定を押すとメニュー画面に戻ります。

各種設定リセット

各種機能の設定をリセットする

各種機能の設定をお買い上げ時の状態に戻します。

- 本機能を行ったときにお買い上げ時の状態に戻る機能については、「メニュー一覧」をご覧ください。→p.444
- 「メニュー一覧」に記載されていない機能やお客様が登録したデータで、お買い上げ時の状態に戻るものは次のとおりです。

リセットする項目	お買い上げ時の状態に戻る機能／データ
基本設定	背面ディスプレイの時計表示、マナーモード、公共モード（ドライブモード）、ワンタッチダイヤル登録、簡単メール作成、データ放送の確認画面、当日の歩数の履歴、ソフトウェア更新の自動更新設定
iアプリ設定	iアプリ一覧のソフトの並べ替え、サムネイル表示とリスト表示の切り替え
予測辞書データ	予測変換機能で登録されたデータ
ユーザ辞書データ	単語登録のデータ

1 **待受画面で［メニュー］▶「#詳細な機能・設定」▶「8情報の表示やリセットを行う」▶「7設定を初めの状態に戻す」を押す**

端末暗証番号入力画面が表示されます。

2 **端末暗証番号を入力▶［決定］を押す**

リセット項目選択
1 ☑基本設定
2 ☑メール設定
3 ☑ i モード設定
4 ☑ i アプリ設定
5 ☑ロック機能
6 ☑予測辞書データ
7 ☑ユーザ辞書データ
8 ☑読上辞書データ
9 ☑呼出辞書データ

3 **「1基本設定」～「9呼出辞書データ」のうち、お買い上げ時の状態に戻さない項目の番号を押す**

チェックボックスが☑から□に切り替わり、選択が解除されます。

- ［決定］：項目を選択／解除します。
- ［メニュー］：すべての項目を選択／解除します。

4 **［電話帳］を押す**

選んだ項目をお買い上げ時の状態に戻すかどうかの確認画面が表示されます。

5 **「1戻す」を押す**

選んだ項目をお買い上げ時の状態に戻した旨のメッセージが表示されます。［決定］を押すとメニュー画面に戻ります。

お知らせ

- iモード設定をリセットすると、待受画面にiチャネルの情報がテロップ表示されなくなります。待受画面で［戻る］を押してチャネル一覧を表示すると、最新の情報が受信され、待受画面にテロップ表示されるようになります。

データ一括削除

登録したデータを一括して削除する

FOMA端末に保存、登録、設定したデータをすべて削除します。

- 保護したデータも削除されます。
- お買い上げ時に登録されているアルバム一覧の「アイテム」アルバム内の画像は削除されます。
- お買い上げ時に登録されているｉアプリは次のようになります。
  - 「ケータイ脳力ストレッチング　らくらく版」「Gガイド番組表」は削除されます。
  - 「地図アプリforらくらくホン」「メモ」の登録内容や最新にした情報などはお買い上げ時の状態に戻ります。
- 各種設定リセットの対象となる機能（→p.403）は、お買い上げ時の状態に戻ります。
- 保存、登録、設定した次のデータや機能は、削除されたりお買い上げ時の状態に戻ります。
  - 自局電話番号以外の個人情報
  - リダイヤル
  - 着信履歴
  - 伝言メモ
  - 電話帳データ（グループの設定含む）
  - 電話帳検索優先設定
  - 端末暗証番号
  - 電話帳指定着信拒否／許可の登録一覧
  - 電話帳お預かりサービスの電話帳通信履歴
  - 写真の撮影時の設定
  - ビデオの撮影時の設定
  - ラストURL
  - URL入力
  - URL履歴
  - ブックマーク（簡易接続含む）
  - 画面メモ
  - メッセージR/F
  - ｉモードメール
  - メール振り分け設定
  - エリアメール
  - エリアメールの受信登録
  - SMS
  - 編集したメール例文
  - ｉアプリ
  - ｉアプリのソフト一覧で行う設定
  - 起動ソフト設定
  - ｉアプリ待受画面
  - ｉアプリの履歴表示
  - トルカ
  - GPSの現在地通知先の一覧
  - GPSの位置履歴
  - 視聴／録画予約
  - テレビリンク
  - 視聴地域
  - 放送用保存領域の情報
  - 予約録画履歴
  - 内蔵写真以外の画像
  - 内蔵写真の設定
  - 内蔵ビデオ以外のビデオ、動画／ｉモーション
  - ビデオ一覧、内蔵ビデオの設定
  - 内蔵メロディ以外のメロディ
  - メロディ一覧、内蔵メロディの設定
  - 作成したフォルダ、アルバム
  - 目覚ましの設定
  - 予定
  - 音声メモ
  - 通話時間
  - 歩数の履歴
  - 定型文
  - ソフトウェア更新（書き換え予告マーク、更新お知らせマーク、ダウンロードした更新ファイル、予約更新）

1 待受画面でメニュー▶「#詳細な機能・設定」▶「8情報の表示やリセットを行う」▶「8本体内データを全て削除する」を押す

端末暗証番号入力画面が表示されます。

2 端末暗証番号を入力▶決定を押す

本体内の全てのデータを削除するかどうかの確認画面が表示されます。

3 「1削除する」を押す

FOMA端末が再起動します。

おしらせ

- 次のデータは削除されません。また、お買い上げ時の設定に戻りません。
  - おサイフケータイ対応ｉアプリとその関連データ
  - FOMAカードやmicroSDメモリーカードに保存、登録、設定されているデータ
  - パソコンから設定したデータ通信の設定
- 「受信箱」フォルダに保存されている「はじめまして❀」を削除した場合は、再び保存されます。
- 削除されるデータが多い場合は、再起動に時間がかかることがあります。途中で電源を切らないようご注意ください。
- データ一括削除の再起動後は、初めて電源を入れたときの画面が表示されます。→p.46

文字入力／音声入力

文字入力をする

音声入力をする

区点コード一覧の詳細については付属のCD-ROM内または、ドコモのホームページ上の「区点コード一覧」（PDF版）をご覧ください。
PDF版「区点コード一覧」をご覧になるには、Adobe® Reader®が必要です。お使いのパソコンにインストールされていない場合は、付属のCD-ROM内のAdobe® Reader®をインストールしてご覧ください。ご使用方法などの詳細につきましては、「Adobe Readerヘルプ」をご覧ください。

文字入力について

ここでは、電話帳やメールなどで文字を入力する方法を説明します。

- 文字には「全角文字」と「半角文字」があります。全角文字は、半角文字2文字分にカウントされます。

○：入力可　―：入力文字なし

	全角	半角
ひらがな／漢字、絵文字	○	―
カタカナ、英字、数字、記号	○	○

- 入力できる漢字はJIS第一水準漢字と第二水準漢字の6355文字です。
- 複雑な漢字は変形または省略して表示されます。

文字入力画面の見かた

文字の入力方法には、インライン入力と、全画面入力の2種類があります。

インライン入力

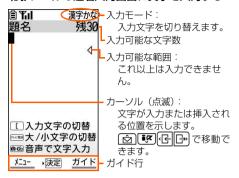
入力欄を選択して、文字を直接入力します。

〈例〉日付時刻設定の時刻欄に文字を入力する

＜入力欄を選択した状態＞　＜文字を入力した状態＞

全画面入力

全画面で表示される入力エリアに文字を入力します。

〈例〉メールの題名入力画面に文字を入力する

文字入力のガイド表示について

ガイド行の右側に「ガイド」が表示されている画面で電話帳を押すと、ガイド画面が表示されます。

＜メールの題名入力画面のガイド画面＞

- 電話帳を押すと元の画面に戻ります。
- ガイド画面では、入力文字の切り替え、大文字／小文字の切り替え、音声文字入力、1つ前の文字に戻す、改行の操作を画像で説明します。
- ガイド画面は、操作する画面により表示が異なります。

文字入力画面のサブメニュー

文字入力画面で[メニュー]を押すと表示されるサブメニュー（→p.34）から、次の操作ができます。

サブメニュー	説　明	参照先
1 絵文字を入力	絵文字を一覧から入力します。	p.410
2 記号を入力	記号を一覧から入力します。	p.410
3 声で文字を入力	メール作成時に、音声で文字を入力します。	p.414
4 定型文を貼付け	定型文を一覧から入力します。	p.411
5 編集を取り消す	文字入力を終了します。	－
6 文字をコピー	文字をコピーします。	p.412
7 コピー貼付け	コピーした文字を貼り付けます。	p.412
8 電話帳を呼出す	電話帳データの内容を入力します。	p.414
9 文頭へ移動	カーソルを文頭に移動します。	－
0 文末へ移動	カーソルを文末に移動します。	－
* 位置情報貼付け	位置情報を貼り付けます。	p.307
# 区点コード入力	区点コードを使って入力します。	p.413

※ ひらがな／漢字入力モードでは、文字が確定するまでサブメニューを表示できません。

入力モードの切り替え

文字入力画面で[[ ]を押すたびに、次のように入力モードが切り替わります。

● 文字入力画面によっては、表示されない入力モードがあります。
● ひらがなしか入力できない場合は **全角かな**、全角カタカナしか入力できない場合は **全角カナ** が表示されます。
● 全角英字や全角数字は、ひらがな／漢字入力モードで読みを入力して変換します。

文字を入力する

● 文字は、ダイヤルボタンを押して入力します。個々のボタンに複数の文字が割り当ててあり、ボタンを押すたびに文字が変わります。文字の割り当てについては「ダイヤルボタンの文字割り当て一覧」をご覧ください。→p.456

〈例〉電話帳の登録で「企業」と入力する

1 **待受画面で[メニュー]▶「1 電話帳・伝言メモ・音声メモを使う」▶「4 電話帳に登録する」を押す**

2 **「きぎょう」と入力する**

「き」→ [2か]を2回押します。[→]を押して、カーソルを1つ右に移動します。
「ぎ」→ [2か]を2回押して[*゛゜]を押します。
「ょ」→ [8や]を3回押して[テレビ電話]を押します。
「う」→ [1あ]を3回押します。

● ボタンを押し間違えたときは[戻る]を押して取り消します。

■ **同じボタンに割り当てられている文字を続けて入力する：**
最初の文字を入力した後に[→]を押してカーソルを右に移動させ、次の文字を入力します。

■ **別のボタンに割り当てられている文字を続けて入力する：**
続けて別のボタンを押すと、カーソルは自動的に移動して文字が入力されます。

■ **文字に「゛」「゜」を付ける**：
文字を入力して[＊]を押します。
〈例〉「ほ」を入力して[＊]を押すと、押すたびに「ぼ」→「ぽ」→「ほ」→…と切り替わります。
- 「゛」「゜」が付けられない文字と半角文字の場合は、「゛」「゜」が別の１文字として入力されます。

■ **大文字と小文字を切り替える**：
文字入力後に[テレビ電話]を押します。英字を入力するときも同様に操作します。
〈例〉「あ」を入力して[テレビ電話]を押すと、押すたびに「ぁ」→「あ」→…と切り替わります。
同じボタンを複数回押しても、大文字と小文字が切り替えられます。
〈例〉「あ」を入力して[1]を押すと、押すたびに「い」→「う」→「え」→「お」→「ぁ」→「ぃ」→「ぅ」→「ぇ」→「ぉ」→「1」→「あ」→…と切り替わります。
- 切り替えが可能な文字については「ダイヤルボタンの文字割り当て一覧」（→p.456）をご覧ください。

■ **入力中に１つ前の文字に切り替える**：
文字入力中に[＃]を押すと、押すたびにボタンに割り当てられている１つ前の文字に切り替わります。
〈例〉「あ」を入力して[＃]を押すと、押すたびに「1」→「ぉ」→「ぇ」→「ぅ」→「ぃ」→「ぁ」→「お」→「え」→「う」→「い」→「あ」→…と切り替わります。

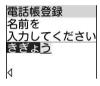
3 **[電話帳]を押す**

電話帳登録
名前を
入力してください
企業

- 候補選択リスト（→p.410）が表示されていない場合は[iα]を押しても変換されます。
- [戻る]：変換した後に押すと、変換前の状態に戻ります。

■ **ひらがなのまま確定する**：
ひらがなを入力した状態で[決定]を押します。

■ **カタカナに変換する**：
ひらがなを入力した状態で[メニュー]を押します。

■ **変換候補一覧を表示する**：
[電話帳]を押しても目的の文字が表示されないときは、[メール][iα]または[電話帳]を押すと変換候補一覧が表示されます。
[メール][iα]を押して変換候補を選択し、[決定]を押します。候補の番号のダイヤルボタンを押しても選択できます。
- 変換候補一覧が複数ページある場合は、[電話帳]を押して次ページ、[メニュー]を押して前ページに切り替えることができます。

電話帳登録
名前を
入力してください
企業

きぎょう (2/12)
1 企業
2 起業
3 機業
4 きぎょう
5 キギョウ
6 ｷｷﾞｮｳ
7 ＫＩＧＹＯＵ
8 Ｋｉｇｙｏｕ
9 ｋｉｇｙｏｕ
0 KIGYOU

変換候補の番号／変換候補の件数

＜変換候補一覧＞

4 決定を押す

文字が確定します。決定を押すと文字入力が終了して、フリガナの入力画面が表示されます。

■ **文字を挿入する**：
　メール/iアプリ/左/右を押して挿入する位置までカーソルを移動し、文字を入力します。入力した文字はカーソル位置に挿入されます。

■ **文字を削除する**：
- カーソルが入力中にある場合
（例：企業）
  - 戻る：カーソル位置の1文字を削除します。
  - 戻るを1秒以上：カーソル位置の文字とそれ以降の文字をすべて削除します。
- カーソルが文末にある場合
（例：企業█）
  - 戻る：カーソルの左の1文字を削除します。
  - 戻るを1秒以上：すべての入力文字を削除します。

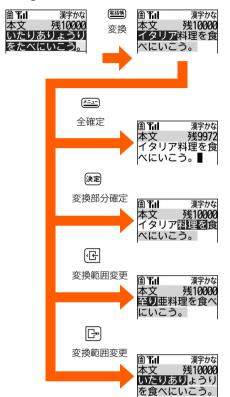
■ **改行する**：
　改行する位置にカーソルを移動して#マナーを押します。
- 改行した位置には「↵」（改行マーク）が表示されます。改行マークは全角1文字分にカウントされます。
- 入力欄によっては改行できない場合があります。

複数の文節を一括変換するには

複数の文節を一括変換して、文章を簡単に入力できます。

● 全角で最大24文字まで一括して変換できます。

〈例〉「イタリア料理を食べにいこう。」と入力する

お知らせ

● ひらがな／漢字入力モードで読みを入力して、全角英字、ギリシャ文字、顔文字などに変換できます。
読みと文字の対応→ p.458「特殊記号一覧」、p.474「顔文字読み上げ一覧」

● 入力文字の末尾にカーソルがある場合、右を押すと空白が入力できます。

入力予測機能

入力予測機能は、文字を入力したときに、読みの先頭部分が一致する単語の候補選択リストが表示される機能です。候補選択リストには、一度入力した単語が自動的に予測辞書データとして登録されるため、次に同じ内容を入力するときには、先頭の文字を入力するだけですばやく入力できます。

- 標準搭載の単語の他に、次の単語や文字列が候補として表示されます。
  - 過去に入力した単語
  - 単語登録した文字列
- 入力予測機能は、主に次の画面のひらがな／漢字モードで使用できます。
  - メールの題名入力画面と本文入力画面（メール例文含む）
  - メモの作成画面
  - 署名登録画面
  - 定型文編集画面
- 候補選択リストに予測辞書データとして登録されたデータをリセットして、お買い上げ時の状態に戻せます。→p.403
- 候補選択リストを表示しないように設定できます。→p.414
- 音声入力メールのソフトで音声で入力した文字を変換したときに表示される選択候補リストでは動作しません。

〈例〉候補選択リストから「明日」を選択して入力する

1 メールの本文入力画面で「あ」を入力する

本文 残10000
あ
候補選択 67
あなた あの
ある 明日
アメリカ

候補選択リスト

- 入力文字が増えるたびに候補が変わります。
- [決定]：ひらがなのまま確定します。
- [メニュー]：全角カタカナに変換します。

2 [i✓]▶候補を選択▶[決定]を押す

候補の順番／候補の件数

- 候補選択リストに目的の単語の候補がない場合は、[電話帳]を押すと候補選択リストが消え、[✉][i✓]または[電話帳]を押すと変換候補一覧が表示されます。

絵文字・記号・定型文を入力する

絵文字・記号の入力

1 文字入力画面で[メニュー]▶「[1]絵文字を入力」または「[2]記号を入力」を押す

絵文字一覧または記号一覧が表示されます。

<絵文字入力の場合>

- 絵文字・記号が入力できる場合のみ選択できます。
- 記号一覧→p.457
- 絵文字読み上げ一覧→p.460

2　一覧から選択▶決定を押す

絵文字・記号が挿入されます。

● メニュー／電話帳：前後のページを表示できます。

お知らせ

● 次のかっこの左側（例：{）を選択した場合は、右側のかっこ（例：}）も自動的に入力されます。
- 半角記号：( )　[ ]　{ }　｢ ｣
- 全角記号：（ ）〔 〕［ ］｛ ｝〈 〉《 》「 」『 』【 】

● 絵文字や記号の読みを入力しても変換できます。→p.458、p.460

● 絵文字や記号は、赤外線通信などでデータ転送を行った際、正しく表示されない場合があります。

定型文の入力

1　文字入力画面でメニュー▶「4定型文を貼付け」を押す

定型文が登録されているフォルダが表示されます。

定型文一覧
挨拶･連絡
ビジネス
絵文字入り
顔文字
文例集
ｱﾄﾞﾚｽ･ﾃﾞｰﾀ形式
ユーザ作成

● 定型文が入力できる場合のみ選択できます。

● 定型文一覧→p.479

2　フォルダを選択▶決定を押す

挨拶･連絡
1/29件
OKです。
NGです。
おはようござい…
こんにちは。
こんばんは。
おやすみなさい。
ご無沙汰してお…
さようなら。
お疲れさま。

定型文の番号／定型文の件数

3　一覧から選択▶決定▶決定を押す

定型文が挿入されます。

● 定型文を入力したとき、編集中の文章が入力可能な文字数を超える場合は、貼り付けるかどうかの確認画面が表示され、「貼り付ける」を押すと入力可能な文字数以降は削除されます。

お知らせ

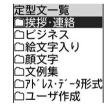
● 顔文字は「かお」または「かおもじ」と入力するか、読みを入力しても変換できます。→p.480

定型文登録

定型文を登録／編集する

定型文を新しく登録したり、お買い上げ時に登録されている定型文を編集して新しい定型文として登録したりできます。登録した定型文は「ユーザ作成」フォルダに登録されます。

● 最大50件登録できます。

1　待受画面でメニュー▶「#詳細な機能・設定」▶「2入力に関する設定を行う」▶「3よく使う定型文を登録する」を押す

■ **登録済みの定型文を編集して登録する**：

① **使用したい定型文が登録されているフォルダを選択▶決定▶利用したい定型文を選択▶決定を押す**

定型文が表示されます。

② **決定を押す**

定型文編集画面が表示されます。操作3に進みます。

2　「ユーザ作成」フォルダを選択▶決定▶「<新しい定型文>」を選択▶決定を押す

定型文編集画面が表示されます。

3 定型文を入力▶決定を押す

定型文を登録した旨のメッセージが表示されます。決定を押すと定型文一覧に戻ります。

- 全角64文字、半角128文字以内で入力します。

定型文を削除します

- 「ユーザ作成」フォルダに登録されている定型文のみ削除できます。

1 定型文一覧を表示する

- 操作方法→p.411 操作1

2 「ユーザ作成」フォルダを選択▶決定▶削除する定型文を選択▶メニューを押す

定型文を削除するかどうかの確認画面が表示されます。

- 削除する定型文を選択し決定を押すと、登録内容が確認できます。そのままメニューを押しても同様に操作できます。

3 「1削除する」を押す

定型文を削除した旨のメッセージが表示されます。決定を押すと定型文一覧に戻ります。

文字コピー／貼り付け

文字のコピーと貼り付け

入力済みの文字を選択してコピーを行い、コピーした文字を別の場所に貼り付けます。別の文字入力画面に貼り付けることもできます。

- コピーした文字は新たにコピーを行うか電源を切るまで記録され、何度でも貼り付けられます。

1 文字入力画面でメニュー▶「6文字をコピー」を押す

2 コピー開始位置にカーソルを合わせて決定を押す

- メニュー：全文を選択します。操作4に進みます。

3 終了位置にカーソルを合わせて決定を押す

コピーした旨のメッセージが表示されます。

- メニュー／電話帳：カーソルを文頭／文末に移動します。

4 決定を押す

5 文字入力画面で、貼り付ける位置にカーソルを合わせてメニュー▶「7コピー貼付け」を押す

文字がカーソル位置に挿入されます。

- 貼り付けを行ったとき、編集中の文章が入力可能な文字数を超える場合は、貼り付けるかどうかの確認画面が表示され、「貼り付ける」を押すと入力可能な文字数以降は削除されます。

おしらせ

- コピーした文字種と、貼り付け先の文字種が適合しているときのみ、貼り付けられます。たとえば、メールアドレス欄の場合は半角英数字しか入力できないため、ひらがなや漢字などの文字は貼り付けられません。
- 改行が入力できない入力画面に、「↵」（改行マーク）を含んだ文字列を貼り付けた場合は、半角空白に置き換えられます。

区点コード入力

区点コードで入力する

区点コード一覧にある文字、数字、記号を4桁の区点コードを使って入力します。

● 「区点コード一覧」については、付属のCD-ROM内のPDF版「区点コード一覧」をご覧ください。

〈例〉「携」(区点コード2340)を入力する

1 文字入力画面でメニュー▶「#区点コード入力」を押す

区点コード入力画面が表示されます。

2 4桁の区点コード(2か3さ4た0わをん)を入力▶決定を押す

「携」が入力されます。

単語登録

よく使う単語を登録する

よく使う単語をあらかじめ登録しておくと、文字の変換のときに簡単に呼び出せます。

● 最大50件登録できます。

1 待受画面でメニュー▶「#詳細な機能・設定」▶「2入力に関する設定を行う」▶「2よく使う単語を登録する」を押す

登録されている単語の件数と、登録できる件数が表示されます。

2 決定を押す

単語登録一覧
新規登録 — 単語を登録するときに選択します。
あありがとう
Internet
か📷 — 登録済みの単語
・読みの50音順に並びます。

行の先頭を示すマーク

■ **登録済みの単語を編集する**:**編集する単語を選択▶電話帳を押す**
単語の入力画面が表示されます。操作4に進みます。

3 「新規登録」を選択▶決定を押す

単語の入力画面が表示されます。

4 単語を入力▶決定を押す

DoCoMo
読みを
入力してください

● 全角12文字、半角24文字以内で入力します。

5 読みを入力▶決定を押す

単語を登録した旨のメッセージが表示されます。決定を押すと単語の一覧に戻ります。

● 8文字以内で入力します。
● 次の文字を先頭に入力すると、登録できません。
  • を、ん、ぁ、ぃ、ぅ、ぇ、ぉ、っ、ゃ、ゅ、ょ、ゎ、゛(濁点)、゜(半濁点)、ー(長音)
● 空白を入力すると、登録後に削除されます。

単語を削除します

1 単語の一覧を表示する

● 操作方法→p.413 「よく使う単語を登録する」操作1~2

2 削除する単語を選択▶メニュー▶「2削除する」を押す

選択した単語を削除するかどうかの確認画面が表示されます。

● 削除する単語を選択し決定を押すと、登録内容が確認できます。そのままメニューを押しても同様に操作できます。

3 「1削除する」を押す

単語を削除した旨のメッセージが表示されます。決定を押すと単語の一覧に戻ります。

おしらせ

● 単語と読みは必ず入力してください。
● 読みにひらがなと長音、濁点、半濁点以外の文字が入力されていた場合は、登録できません。
● 単語と読みの組み合わせが同じ単語が登録されている場合は、登録できません。
● 同じ読みの単語は、最大5つ登録できます。さらに登録する場合は、読みを変更して登録してください。
● 単語登録した単語データをリセットして、お買い上げ時の状態に戻せます。→p.403

電話帳呼出
電話帳を引用して入力する

電話帳の登録内容を引用して入力することができます。

- 電話帳登録の文字入力画面では、本機能を使用できません。

1 文字入力画面でメニュー▶「8電話帳を呼出す」を押す

電話帳の検索画面が表示されます。

2 引用する電話帳データを検索して選択▶決定を押す

項目一覧
携帯花子
03XXXXXXXX
090XXXXXXXX
docomo.taro.ΔΔ…
docomo-ΔΔ-taro…
挿入する項目を
選んでください

- 検索方法→p.93

3 引用する内容を選択▶決定を押す

選択した内容が挿入されます。

おしらせ

- 入力画面によっては、選択した内容が挿入されない場合があります。

文字入力方法設定
入力予測機能を使用する／使用しない

文字を入力するときに、入力予測機能を使用するかどうかを設定します。

- 入力予測機能について→p.410

1 待受画面でメニュー▶「#詳細な機能・設定」▶「2入力に関する設定を行う」▶「1文字の入力方法を設定する」を押す

入力予測を有効にするかどうかの確認画面が表示されます。

2 「1有効にする」または「2無効にする」を押す

入力予測機能を有効／無効にした旨のメッセージが表示されます。決定を押すとメニュー画面に戻ります。

音声で文字を入力する

音声を文字に変換してメールを作成します。

- 音声入力メールはお申し込みが必要な有料サービスです（お申し込みにはｉモード契約が必要です）。音声入力メールの利用料とは別にパケット通信料がかかります。
- メールの題名入力画面と本文入力画面（メール例文含む）、SMSの本文入力画面のみ有効です。
- 音声入力メールのソフトで文字を変換したときに表示される選択候補リストと通常の文字入力で表示される選択候補リストでは、表示される内容が異なります。
- 次の場合は、音声を認識しないことがあります。
  - 周囲の雑音が大きい場合
  - 発声が明瞭でない場合
  - 発声が中断された場合
  - 発声の前後に咳払いをしたり、雑音を出したりした場合
  - ボタンを押したり、こすったりした場合
- 平型スイッチ付イヤホンマイク（別売）などの使用時はマイク部分を口に近づけて発声してください。
- 初めて音声入力メールのソフトを利用するときは、このソフトは携帯電話の情報を利用する旨のメッセージが表示されます。「1起動する」を押すと、音声入力メールが利用できます。

〈例〉メール本文に音声で「お元気ですか？」と入力する

1 **メール本文入力画面で［カメラ］▶表示される画面で［決定］**

［決定］ボタンを押し
発信音や
振動の後に
３０秒以内で
入力する文章を
お話しください

＜音声入力前画面＞

音量に応じてバーの色が変化します。バーが緑色になっている範囲が適切な音量です。

＜音声入力中画面＞

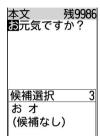
音声入力中画面が表示され、スピーカーから発信音が鳴り、バイブレータが振動します。なお、マナーモード中は発信音は鳴りません。公共モード中は発信音は鳴らず、バイブレータも動作しません。

■ **音声入力を中断する：音声入力画面で［メニュー］を押す**

音声入力前画面に戻ります。

● 入力する文章は、30秒以内で発声してください。

2 **音声入力中画面で「お元気ですか？」と発声する**

音声入力メールサーバと通信し、数秒で音声が文字に変換され、候補選択リストが表示されます。

■ **選択候補リストから選択して入力する：［候補］▶候補を選択▶［決定］を押す**

- 文節が複数ある場合は操作を繰り返します。
- 選択候補リストの「(候補なし)」を選択すると「＿」に置き換えられ、［読み上げ］を押すと、「カッココウホナシ」と読み上げます。また、置き換えられた「＿」は、本文を確定すると削除されます。

■ **手入力で文字を挿入：カーソルを挿入位置に移動▶［メニュー］を押す**

- 通常の文字入力の入力方法に切り替わります。

■ **再入力する：［電話帳］▶「1音声で入力する」または「2編集に戻る」を押す**

- 「音声で入力する」を選択したときは、操作１の画面に戻ります。「編集に戻る」を選択したときは、元の画面に戻ります。

3 決定を押す

本文　残9986
お元気ですか？
左右ボタンで挿入箇所を選択
1音声で入力する
2ボタンで入力する
3本文を確定する

1**音声で入力する**：続けて、音声で文字を入力します。
2**ボタンで入力する**：ボタン入力に切り替えて文字を入力します。
3**本文を確定する**：メール本文の入力を確定します。

4 「3本文を確定する」を押す

音声入力メールで入力した文章が確定され、メール本文入力画面に戻ります。

- ｉモードメールの作成・送信方法→p.214、p.217
- メールを送信する→p.218「ｉモードメールを作成して送信する」操作5

■ **続けて音声で入力する：カーソルを挿入位置に移動▶「1音声で入力する」を押す**
操作1に戻り、続けて音声を入力します。

■ **ボタンで文字を入力する：「2ボタンで文字を入力する」を押す**
通常の文字入力の入力方法に切り替わります。決定を押すと、元の画面に戻ります。

音声入力メールのソフトを最新にする

- 音声入力メールのソフトを最新にする場合は、パケット通信料はかかりません。
- 音声入力メールご利用時に「音声入力メールのソフトを最新にしますか？」のメッセージが表示されたときは、「1最新にします」を選択すると、最新のソフトに更新されます。

1 待受画面でメニュー▶「#詳細な機能・設定」▶「8情報の表示やリセットを行う」▶「9音声入力メールのソフトを最新にする」を押す

2 「1最新にする」を押す

ダウンロード中画面が表示された後、携帯電話の情報を送信し、ダウンロードするかどうかの確認画面が表示されます。

- ソフトが最新の場合は、最新である旨のメッセージが表示されます。決定を押すと、メニュー画面に戻ります。

3 「1ダウンロードする」を押す

ダウンロード中画面が表示されます。

4 決定を押す

メニュー画面に戻ります。

おしらせ

- メールの題名入力画面、メール本文入力画面、SMSの本文入力画面でメニュー▶「3声で文字を入力」を押しても、同様に音声入力ができます。

ネットワークサービス

利用できるネットワークサービス

● FOMA端末では、次のようなドコモのネットワークサービスをご利用いただけます。

サービス名	申し込み	月額使用料	サービス名	申し込み	月額使用料
留守番電話サービス	必要	有料	デュアルネットワークサービス	必要	有料
キャッチホン	必要	有料	英語ガイダンス	不要	無料
転送でんわサービス	必要	無料	公共モード（ドライブモード）※	不要	無料
迷惑電話ストップサービス	不要	無料	公共モード（電源OFF）※	不要	無料
番号通知お願いサービス	不要	無料			

※ 公共モード→p.73、p.74

● サービスエリア外や電波の届かない場所ではネットワークサービスはご利用できません。

● お申し込み、お問い合わせについては取扱説明書裏面の「総合お問い合わせ先」までお問い合わせください。

● **本書では、各ネットワークサービスの概要を、FOMA端末のメニューを使って操作する方法で説明しています。詳細は『ご利用ガイドブック（ネットワークサービス編）』をご覧ください。**

留守番電話サービス

電波の届かない所にいるとき、電源が入っていないとき、設定した呼出時間内に応答しなかったときなどに、音声電話またはテレビ電話をかけてきた相手に応答メッセージでお答えし、お客様に代わって伝言メッセージをお預かりするサービスです。

- 伝言メモを同時に設定しているとき、留守番電話サービスを優先させるためには、伝言メモの呼出時間よりも留守番電話サービスの呼出時間を短く設定してください。
- 留守番電話サービスを開始に設定しているときに、かかってきた音声電話またはテレビ電話に応答しなかった場合は、着信履歴に不在着信として記録され、待受画面に新着情報(→p.27)と📱«が表示されます。
- 留守番電話のテレビ電話対応設定について変更するには、「1412」へ音声電話をかけてください。
- テレビ電話で新しい伝言メッセージをお預かりしたときはSMSでお知らせします。

留守番電話サービスの基本的な流れ

ステップ1：サービスを開始に設定する
ステップ2：電話をかけてきた相手が伝言を録音する
ステップ3：伝言メッセージを再生する

1 待受画面でメニュー▶「#詳細な機能・設定」▶「1ネットワークサービスを使う」▶「1留守番サービスを使う」▶メニュー項目を選択▶決定を押し操作する

メニュー項目	機能と操作
1 留守番メッセージを再生する	**▶「1再生する」▶音声ガイダンスの指示に従って操作する** • 新しい伝言メッセージがあると、待受画面に**留守番**［ **長押し**が表示された後、留守番電話件数が増加した旨のメッセージが表示され、着信音（着信音1）が5回鳴ります。
2 メッセージがあるか問合せる	**▶「1問合せる」▶決定を押す** • 新しい伝言メッセージがあると、待受画面に**留守番**［ **長押し**が表示されます。
3 留守番サービスを開始する	**▶「1開始する」▶「1設定する」▶呼出時間を入力▶決定▶決定を押す**
4 留守番サービスを停止する	**▶「1停止する」▶決定を押す**
5 留守番サービスの詳細を設定する	音声ガイダンスを聞きながら留守番電話サービスを設定します。 **▶「1設定する」▶音声ガイダンスの指示に従って操作する**
6 留守番呼出時間を設定する	**▶「1設定する」▶呼出時間を入力▶決定▶決定を押す** • 呼出時間を0秒に設定すると、着信履歴には記録されません。
7 留守番サービスの設定を確認する	**▶「1確認する」▶決定を押す** • 設定確認画面で、サブメニューから設定を変更できます。
8 着信通知を使う	
1 着信通知を開始する	FOMA端末の電源が入っていないときや圏外にいるときに着信があった場合、電源が入ったときや圏内になったときに、着信があったことをSMSでお知らせします。 **▶「1開始する」▶「1発番号ありのみ」または「2全ての着信」▶決定を押す** •「1発番号ありのみ」：発信者番号通知の着信のみ通知します。 •「2全ての着信」：すべての着信を通知します。
2 着信通知を停止する	**▶「1停止する」▶決定を押す**
3 着信通知の設定を確認する	**▶「1確認する」▶決定を押す**

キャッチホン

音声電話中に別の音声電話がかかってきたときに、通話中着信音でお知らせし、現在の音声電話を保留にして新しい音声電話に出ることができます。また、通話中の電話を保留にして、別の相手へ電話をかけることもできます。

● テレビ電話中や音声電話中にテレビ電話がかかってくると、キャッチホンは動作しませんが、着信履歴には不在着信として記録されます。

● キャッチホンを利用する場合は、あらかじめ通話中着信動作選択を「通常着信する」に設定してください。ほかの設定になっている場合は、キャッチホンを開始しても音声電話中にかかってきた音声電話に応答することはできません。

● 音声電話中にかかってきた別の音声電話に出るときは、次の操作を行います。
[開始]：現在の通話を保留にし、かかってきた電話に応答します。
[終了]：現在の通話が切断され、かかってきた電話の着信画面が表示されます。[開始]を押し電話に応答します。

● キャッチホン中は、[電話帳]を押すたびに通話相手を切り替えられます。

1 待受画面で[メニュー]▶「[#]詳細な機能・設定」▶「[1]ネットワークサービスを使う」▶「[2]キャッチホンを使う」▶メニュー項目を選択▶[決定]を押し操作する

メニュー項目	機能と操作
[1] キャッチホンを開始する	▶「[1]開始する」▶[決定]を押す
[2] キャッチホンを停止する	▶「[1]停止する」▶[決定]を押す
[3] キャッチホンの設定を確認する	▶「[1]確認する」▶[決定]を押す

転送でんわサービス

電波の届かない所にいるとき、電源が入っていないとき、設定した呼出時間内に応答しなかったときなどに、かかってきた音声電話またはテレビ電話を転送するサービスです。

● 伝言メモを同時に設定しているとき、転送でんわサービスを優先させるためには、伝言メモの呼出時間よりも転送でんわサービスの呼出時間を短く設定してください。

● 転送でんわサービスを開始に設定しているときに、かかってきた音声電話やテレビ電話に応答しなかった場合は、着信履歴に不在着信として記録され、待受画面に新着情報（→p.27）と[アイコン]が表示されます。

転送でんわサービスの基本的な流れ

ステップ1：転送でんわサービスを開始に設定する
ステップ2：転送先の電話番号を登録する
ステップ3：お客様のFOMA端末に電話がかかる
ステップ4：電話に出ないと自動的に指定した転送先に転送される

1 待受画面で[メニュー]▶「[#]詳細な機能・設定」▶「[1]ネットワークサービスを使う」▶「[3]転送サービスを使う」▶メニュー項目を選択▶[決定]を押し操作する

メニュー項目	機能と操作
[1] 転送サービスを開始する	▶「[1]開始する」▶「[1]設定する」▶転送先電話番号を入力▶[決定]▶「[1]設定する」▶呼出時間を入力▶[決定]▶[決定]を押す • 電話番号入力画面で[電話帳]を押すと、電話帳や着信履歴、リダイヤルを引用できます。 • 呼出時間を0秒に設定すると、着信履歴には記録されません。
[2] 転送サービスを停止する	▶「[1]停止する」▶[決定]を押す
[3] 転送先を変更する	▶転送先電話番号を入力▶[決定]▶「[1]設定する」▶[決定]を押す • 電話番号入力画面で[電話帳]を押すと、電話帳や着信履歴、リダイヤルを引用できます。

メニュー項目	機能と操作
4 転送先が通話時の設定をする	転送先の電話が通話中などで転送できないときに、留守番電話サービスで応対するように設定します。 ▶「1 接続する」▶決定を押す
5 転送サービスの設定を確認する	▶「1 確認する」▶決定を押す

転送ガイダンスの有／無を設定する

1 待受画面で 1あ 4た 2か 9ら ▶ [▶音声ガイダンスの指示に従って操作する

● 詳細は『ご利用ガイドブック（ネットワークサービス編)』をご覧ください。

迷惑電話ストップサービス

いたずら電話などの迷惑電話を着信しないように拒否するサービスです。着信拒否登録すると、以後の着信を自動的に拒否し、相手にはガイダンスで応答します。

● 着信拒否登録した電話番号から電話がかかってきても、着信音は鳴りません。着信履歴にも記録されません。

1 待受画面で メニュー ▶「# 詳細な機能・設定」▶「1 ネットワークサービスを使う」▶「4 迷惑電話ストップを使う」▶メニュー項目を選択▶決定を押し操作する

メニュー項目	機能と操作
1 迷惑電話着信拒否を登録する	最後に応答した電話番号を着信拒否に登録します。 ▶「1 登録する」▶決定を押す • 通話していない不在着信などは登録の対象になりません。
2 着信拒否する番号を登録する	指定した電話番号を着信拒否に登録します。 ▶「1 登録する」▶電話番号を入力▶決定▶「1 登録する」▶決定を押す • 電話番号入力画面で 電話帳 を押すと、電話帳や着信履歴、リダイヤルを引用できます。
3 迷惑電話登録を全件削除する	▶「1 削除する」▶決定を押す
4 迷惑電話登録を1件削除する	最後に登録した電話番号を1件削除します。同様の操作を繰り返し行うことにより、最後に登録した順より1件ずつ削除することができます。 ▶「1 削除する」▶決定を押す
5 拒否登録件数を確認する	▶「1 確認する」▶決定を押す

番号通知お願いサービス

電話番号を通知してこない音声電話またはテレビ電話に対して、番号通知のお願いをガイダンスで応答し、自動的に電話を切るサービスです。

● 番号通知お願いサービスによって着信しなかった電話は、着信履歴に記録されず、待受画面に新着情報は表示されません。

1 待受画面で メニュー ▶「# 詳細な機能・設定」▶「1 ネットワークサービスを使う」▶「5 番号通知お願いサービスを使う」▶メニュー項目を選択▶決定を押し操作する

メニュー項目	機能と操作
1 番号通知お願いサービスを開始する	▶「1 開始する」▶決定を押す
2 番号通知お願いサービスを停止する	▶「1 停止する」▶決定を押す
3 番号通知お願いサービスを確認する	▶「1 確認する」▶決定を押す

デュアルネットワークサービス

お使いになっているFOMA端末の電話番号で、mova端末をご利用いただけるサービスです。FOMAとmovaのサービスエリアに応じた使い分けが可能です。

- FOMA端末とmova端末を同時に利用することはできません。
- デュアルネットワークサービスの切り替え操作は、利用不可状態の端末から切り替え操作を行ってください。

1　待受画面でメニュー▶「#詳細な機能・設定」▶「1ネットワークサービスを使う」▶「0その他のサービスを使う」▶「3デュアルネットワークを使う」▶メニュー項目を選択▶決定を押し操作する

メニュー項目	機能と操作
1 デュアルネットワークを切替える	mova端末に切り替えていたデュアルネットワークサービスを、FOMA端末に切り替えます。 ▶「1切替える」▶4桁のネットワーク暗証番号を入力▶決定を押す
2 デュアルネットワークの状態を確認する	▶「1確認する」▶決定を押す

英語ガイダンス

ガイダンスの日本語／英語切り替え

留守番電話サービスなどの各種ネットワークサービス設定時のガイダンスや、圏外などの音声ガイダンスを英語に設定することができます。

1　待受画面でメニュー▶「#詳細な機能・設定」▶「1ネットワークサービスを使う」▶「0その他のサービスを使う」▶「2英語ガイダンスを使う」▶メニュー項目を選択▶決定を押し操作する

メニュー項目	機能と操作
1 ガイダンスを設定する	**▶「1設定する」▶「1日本語」または「2英語」を押す** • 発信時に自分が聞くガイダンスの言語を選択します。 **▶「1設定する」▶「1日本語」〜「3英語＋日本語」のいずれかを押す▶決定を押す** • 着信時に相手が聞くガイダンスの言語を選択します。「日本語＋英語」に設定すると日本語→英語の順に、「英語＋日本語」に設定すると英語→日本語の順にガイダンスが流れます。
2 ガイダンスの設定を確認する	▶「1確認する」▶決定を押す

サービスダイヤル

ドコモ総合案内・受付や故障の問い合わせ先へ電話をかけることができます。

- お使いのFOMAカードによっては、表示される項目が異なる場合や表示されない場合があります。→p.37

1　待受画面でメニュー▶「#詳細な機能・設定」▶「1ネットワークサービスを使う」▶「0その他のサービスを使う」▶「4サービスダイヤルを使う」▶メニュー項目を選択▶決定を押し操作する

メニュー項目	機能と操作
1 ドコモ総合案内･受付に電話する	ドコモ総合案内・受付に電話をかけます。 ▶「1電話する」を押す
2 ドコモ故障問合せ窓口に電話する	ドコモ指定の故障取扱窓口に電話をかけます。 ▶「1電話する」を押す

通話中着信設定

通話中着信動作（→p.422）の設定を開始／停止したり、設定内容を確認したりします。

1 待受画面で［メニュー］▶「[#]詳細な機能・設定」▶「[1]ネットワークサービスを使う」▶「[7]通話中着信設定を使う」▶メニュー項目を選択▶［決定］を押し操作する

メニュー項目	機能と操作
[1] 通話中着信設定を開始する	▶「[1]開始する」▶［決定］を押す
[2] 通話中着信設定を停止する	▶「[1]停止する」▶［決定］を押す
[3] 通話中着信設定を確認する	▶「[1]確認する」▶［決定］を押す

通話中着信動作選択

通話中にかかってきた電話の応対方法の選択

留守番電話サービス、転送でんわサービス、キャッチホンをご契約されているお客様の通話中にかかってきた音声電話、テレビ電話、または64Kデータ通信にどのように対応するかを設定できます。

- 留守番電話サービス、転送でんわサービス、キャッチホンを契約されていない場合は、通話中にかかってきた着信に応答できません。
- 通話中着信動作選択を利用する場合は、あらかじめ通話中着信設定を開始に設定してください。

1 待受画面で［メニュー］▶「[#]詳細な機能・設定」▶「[1]ネットワークサービスを使う」▶「[8]通話中着信動作を選ぶ」▶メニュー項目を選択▶［決定］を押す

メニュー項目	機能と操作
[1] 通常着信する	キャッチホンを開始に設定しているときは、キャッチホンが動作します。停止に設定しているときは、音声電話または64Kデータ通信を終了し、かかってきた音声電話に応答できます。また、音声電話中にかかってきた音声電話の対応をサブメニューから選択できます。→p.70
[2] 留守番電話	通話中にかかってきた音声電話またはテレビ電話を、留守番電話サービスで応答します。
[3] 電話を転送する	通話中にかかってきた音声電話、テレビ電話、64Kデータ通信を、あらかじめ登録している転送先に転送します。 • 64Kデータ通信中に64Kデータ通信を着信した場合は転送されません。
[4] 電話を拒否する	通話中にかかってきた音声電話、テレビ電話、64Kデータ通信の着信を拒否します。

- いずれの設定の場合でも、着信履歴に不在着信として記録されます。

遠隔操作設定

留守番電話サービスや転送でんわサービスなどを、プッシュ式の一般電話や公衆電話、ドコモの携帯電話などから操作できるようにします。

- 海外で留守番電話サービスや転送でんわサービスを利用する場合は、あらかじめ遠隔操作設定を開始に設定する必要があります。

1 待受画面で［メニュー］▶「[#]詳細な機能・設定」▶「[1]ネットワークサービスを使う」▶「[0]その他のサービスを使う」▶「[1]遠隔操作設定を使う」▶メニュー項目を選択▶［決定］を押し操作する

メニュー項目	機能と操作
[1] 遠隔操作を開始する	▶「[1]開始する」▶［決定］を押す
[2] 遠隔操作を停止する	▶「[1]停止する」▶［決定］を押す
[3] 遠隔操作の設定を確認する	▶「[1]確認する」▶［決定］を押す

パソコン接続

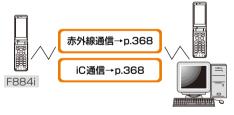
データ通信の詳細については付属のCD-ROM内または、ドコモのホームページ上の「パソコン接続マニュアル」（PDF版）をご覧ください。
PDF版「パソコン接続マニュアル」をご覧になるには、Adobe® Reader®が必要です。お使いのパソコンにインストールされていない場合は、付属のCD-ROM内のAdobe® Reader®をインストールしてご覧ください。ご使用方法などの詳細につきましては、「Adobe Readerヘルプ」をご覧ください。

データ通信

FOMA端末とパソコンを接続して利用できる通信形態は、パケット通信、64Kデータ通信とデータ転送（OBEX™通信）に分類されます。

- パソコンと接続してパケット通信や64Kデータ通信を行ったり、電話帳などのデータを編集したりするには、付属のCD-ROMからソフトのインストールや各種設定を行う必要があります。
- OS をアップグレードして使用されている場合の動作は保証いたしかねます。
- 海外でパケット通信を行う場合は、IP接続で通信を行ってください（PPP接続ではパケット通信できません）。また、海外では64Kデータ通信はできません。
- FOMA端末は、FAX通信やRemote Wakeupには対応しておりません。
- ドコモのPDA、museaやsigmarion Ⅱ、sigmarion Ⅲと接続してデータ通信が行えます。ただし、museaやsigmarion Ⅱをご利用の場合は、これらのアップデートが必要です。アップデートの方法などの詳細は、ドコモのホームページをご覧ください。

データ転送（OBEX™通信）

画像や音楽、電話帳、メールなどのデータを、他のFOMA端末やパソコンなどとの間で送受信します。

FOMA充電機能付USB接続ケーブル 01／02
microSDメモリーカード→p.356
ドコモケータイdatalink→p.427

パケット通信

送受信したデータ量に応じて課金されるため、メールの送受信など、比較的少ないデータ量を高速でやりとりする場合に適しています。ネットワークに接続していても、データの送受信を行っていないときには通信料がかからないため、ネットワークに接続したまま必要なときにデータを送受信するという使いかたができます。

ドコモのインターネット接続サービスmopera Uやmoperaなど、FOMAパケット通信に対応したアクセスポイントを利用して、受信最大3.6Mbps、送信最大384kbpsの高速パケット通信ができます。通信環境や混雑状況の影響により通信速度が変化するベストエフォート方式による提供です。

画像を含むホームページの閲覧やデータのダウンロードなど、データ量の多い通信を行った場合には通信料が高額になりますのでご注意ください。

※ FOMA ハイスピードエリア外や mopera などHIGH-SPEEDに対応していないアクセスポイントに接続するとき、またはドコモのPDA、musea や sigmarion Ⅱ、sigmarion Ⅲなど HIGH-SPEEDに対応していない機器をご利用の場合は、送受信ともに最大384kbpsでの接続になります。

64Kデータ通信

データ量に関係なく、ネットワークに接続している時間の長さに応じて課金されるため、マルチメディアコンテンツのダウンロードなど、比較的データ量の多い送受信を行う場合に適しています。

ドコモのインターネット接続サービスmopera Uやmoperaなど、FOMA64Kデータ通信に対応したアクセスポイント、またはISDN同期64Kアクセスポイントを利用して、データを送受信できます。

長時間通信を行った場合には通信料が高額になりますのでご注意ください。

ご利用になる前に

動作環境

データ通信を利用するためのパソコンの動作環境は、次のとおりです。

項　目	必要環境
パソコン本体	USBポート（USB仕様1.1／2.0に準拠）を持つPC/AT互換機
OS （各日本語版）	Windows 2000 Windows XP Windows Vista
必要メモリ※	Windows 2000　:64MB以上 Windows XP　:128MB以上 Windows Vista　:512MB以上
ハードディスク容量※	5MB以上の空き容量

※ FOMA　PC設定ソフトの動作環境です。パソコンのシステム構成により異なる場合があります。

- 動作環境によってはご使用になれない場合があります。また、上記の動作環境以外でのご使用について、当社では責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。

必要な機器

FOMA端末とパソコン以外に、次の機器が必要です。

- FOMA 充電機能付USB接続ケーブル 01／02（別売）またはFOMA USB接続ケーブル（別売）
- 付属のCD-ROM「FOMA® F884i用CD-ROM」

※ パソコン用のUSBケーブルはコネクタ部の形状が異なるため利用できません。

※ USB HUBを使用すると、正常に動作しない場合があります。

ご利用時の留意事項

インターネットサービスプロバイダの利用料について

パソコンでインターネットを利用する場合、通常ご利用になるインターネットサービスプロバイダ（以降プロバイダ）の利用料が必要です。この利用料は、FOMAサービスの利用料とは別に直接プロバイダにお支払いいただきます。利用料の詳細は、ご利用のプロバイダにお問い合わせください。

- ドコモのインターネット接続サービスmopera Uやmoperaがご利用いただけます。
  mopera Uは、お申し込みが必要な有料サービスです。使用した月だけ月額使用料がかかるプランもご利用いただけます。FOMA端末でのインターネット接続には、ブロードバンド接続オプションなどに対応したmopera Uのご利用をおすすめします。
  moperaはお申し込みが不要で、月額使用料は無料です。今すぐインターネットに接続したい方に便利なサービスです。

接続先（プロバイダなど）について

パケット通信と64Kデータ通信では接続先が異なります。パケット通信を行うときはパケット通信対応の接続先、64Kデータ通信を行うときはFOMA64Kデータ通信、またはISDN同期64K対応の接続先をご利用ください。

- DoPaのアクセスポイントには接続できません。

ユーザー認証について

接続先によっては、接続時にユーザー認証が必要な場合があります。その場合は、通信ソフトまたはダイヤルアップネットワークでIDとパスワードを入力して接続してください。IDとパスワードはプロバイダまたは社内LANなど接続先のネットワーク管理者から付与されます。詳細はプロバイダまたはネットワーク管理者にお問い合わせください。

パソコンのブラウザを利用してのアクセス認証について

パソコンのブラウザを利用してのアクセス認証でFirstPass（ユーザ証明書）が必要な場合は、付属のCD-ROMからFirstPass PCソフトをインストールし、設定してください。詳細は付属のCD-ROM内の『簡易操作マニュアル』をご覧ください。『簡易操作マニュアル』（PDF形式）をご覧になるには、Adobe® Reader®（バージョン6.0以上を推奨）が必要です。パソコンにインストールされていない場合は、付属のCD-ROMからインストールできます。

パケット通信および64Kデータ通信の条件

日本国内で通信を行うには、次の条件が必要です。

- FOMAサービスエリア内であること
- パケット通信の場合、アクセスポイントがFOMAパケット通信に対応していること
- 64Kデータ通信の場合、接続先がFOMA64Kデータ通信、またはISDN同期64Kに対応していること

※ 上記の条件が整っていても、基地局が混雑していたり、電波状態が悪かったりするときは通信できない場合があります。

データ転送（OBEX™通信）の準備の流れ

FOMA 充電機能付USB接続ケーブル 01／02（別売）をご利用になる場合には、FOMA通信設定ファイルをインストールしてください。

FOMA通信設定ファイルをダウンロード、インストールする
・付属のCD-ROMからインストール
または
・ドコモのホームページからダウンロードし、インストール

データ転送

データ通信の準備の流れ

パケット通信および64Kデータ通信を利用する場合の準備について説明します。

①通信設定ファイルをダウンロード、インストールする
・付属のCD-ROMからインストール
または
・ドコモのホームページからダウンロードし、インストール

②パソコンとFOMA端末を接続する

③通信設定ファイルを確認する

FOMA PC設定ソフトをインストールする

かんたん設定でパケット通信を設定する

かんたん設定で64Kデータ通信を設定する

FOMA PC設定ソフトを利用しない通信を設定する

通信を実行する

FOMA通信設定ファイルについて

パソコンと接続してパケット通信または64Kデータ通信を行うには、通信設定ファイルをインストールする必要があります。

FOMA PC設定ソフトについて

付属のCD-ROMからFOMA PC設定ソフトをパソコンにインストールすると、パケット通信または64Kデータ通信を行うために必要なさまざまな設定を、パソコンから簡単な操作で設定できます。

ATコマンドについて

ATコマンドとは、パソコンでFOMA端末の各機能を設定するためのコマンド（命令）です。FOMA端末はATコマンドに準拠し、さらに拡張コマンドの一部や独自のATコマンドをサポートしています。
ATコマンドの詳細は付属のCD-ROM内の「パソコン接続マニュアル」をご覧ください。

CD-ROMについて

付属のCD-ROMには、FOMA端末でデータ通信をご利用になる際のソフトウェアや、PDF版「パソコン接続マニュアル」、PDF版「区点コード一覧」などが収録されています。詳細は、付属のCD-ROMをご覧ください。

■ 収録ソフト／PDF
- FOMA通信設定ファイル
- FOMA PC設定ソフト
- FOMAバイトカウンタ
- ドコモケータイdatalinkのご案内
- FirstPass PCソフト
- mopera Uのご案内（mopera Uかんたんスタート／U かんたん接続設定ソフト／FOMA バイトカウンタ／U オリジナルデータ取得ソフト）
- PDF版「パソコン接続マニュアル」
- PDF版「区点コード一覧」
- Adobe® Reader®

CD-ROMをパソコンにセットすると、次のような警告画面が表示される場合があります。この警告は、Internet Explorerのセキュリティの設定によって表示されますが、使用には問題ありません。［はい］をクリックしてください。
※ 画面はWindows XPを使用した場合の例です。お使いのパソコンの環境により異なる場合があります。

ドコモケータイdatalinkの紹介

「ドコモケータイdatalink」は、お客様の携帯電話の電話帳やメールなどをパソコンにバックアップして、編集などを行うソフトです。ドコモのホームページにて提供しております。詳細およびダウンロードは下記サイトのページをご覧ください。また、付属のCD-ROMから下記サイトへのアクセスも可能です。
http://datalink.nttdocomo.co.jp/

ダウンロード方法、転送可能なデータ、対応OSなど動作環境、インストール方法、操作方法、制限事項などの詳細については上記ホームページをご覧ください。また、インストール後の操作方法については、ソフト内のヘルプをご覧ください。
なお、ドコモケータイdatalinkをご利用になるには、別途USB接続ケーブル（別売）が必要となります。

海外利用

国際ローミング（WORLD WING）の概要

国際ローミング（WORLD WING）とは、ドコモのサービスエリア外の海外でも、提携する通信事業者のネットワークを利用して通話やｉモードなどが利用できるサービスです。

● 2005年9月1日以降にFOMAサービスをご契約いただいたお客様はWORLD WINGのお申し込みは不要です。ただし、FOMAサービスご契約時に不要である旨お申し出いただいたお客様や途中でご解約されたお客様は、再度お申し込みが必要です。
● 2005年8月31日以前にFOMAサービスをご契約でWORLD WINGをお申し込みいただいていないお客様はお申し込みが必要です。
● 一部ご利用になれない料金プランがあります。
● WORLD WINGに対応しているFOMAカード（青色以外）をFOMA端末に取り付けておく必要があります。
● ご利用可能なエリアやご利用料金についての詳細は、ドコモの『国際サービスホームページ』をご覧ください。

■ 海外のネットワークについて

海外のネットワークには、W-CDMA（3G）、GPRS、GSMの通信方式があります。

ネットワーク	説　明
W-CDMA（3G）	世界標準規格である3GPP※1に準拠した第3世代移動通信ネットワークです。
GPRS※2	GSM通信方式を利用して高速パケット通信が可能な第2.5世代移動通信ネットワークです。
GSM※3	世界的に最も普及しているデジタル方式の第2世代移動通信ネットワークです。

※1　3rd Generation Partnership Projectの略。3GPPは、第3世代移動通信システム（IMT-2000）に関する共通技術仕様開発のために設置された地域標準化団体です。
※2　General Packet Radio Serviceの略。GSMを高速化し、パケット通信などのデータ通信を容易にしています。
※3　Global System for Mobile Communicationsの略。世界で最も普及している携帯電話のネットワークシステムです。

■ 主要国の国番号

国際電話を利用するときや国際ダイヤルアシスト設定などで利用する国番号は、次の番号を使用してください（2008年4月現在）。

地　域	番　号	地　域	番　号
アメリカ合衆国	1	ドイツ	49
イギリス	44	トルコ	90
イタリア	39	日本	81
インド	91	ニューカレドニア	687
インドネシア	62	ニュージーランド	64
エジプト	20	ノルウェー	47
オーストラリア	61	ハンガリー	36
オーストリア	43	フィジー	679
オランダ	31	フィリピン	63
カナダ	1	フィンランド	358
韓国	82	フランス	33
ギリシャ	30	ブラジル	55
シンガポール	65	ベトナム	84
スイス	41	ペルー	51
スウェーデン	46	ベルギー	32
スペイン	34	香港	852
タイ	66	マカオ	853
台湾	886	マレーシア	60
タヒチ（仏領ポリネシア）	689	モルディブ	960
チェコ	420	ロシア	7
中国	86		

• 国番号については、ドコモの『国際サービスホームページ』をご覧ください。

海外で利用できるサービス

滞在国の通信事業者とネットワークによって、利用できる通信サービスが異なります。

● サービスに対応している国・地域および通信事業者などの情報については、ドコモの『国際サービスホームページ』をご覧ください。
● 滞在国のネットワークの状況などにより、通話時間、待受時間が通常の半分程度になることがあります。

ネットワークと利用できる通信サービス

● 通信事業者や地域によっては利用できないサービスもあります。

通信サービス	ネットワーク		
	3G	GPRS	GSM
	3G ※1	GPRS	GSM
音声電話	○	○	○
テレビ電話※2	○	×	×
iモード接続※3	○	○	×
iモードメール	○	○	×
SMS	○	○	○
iチャネル※4	○	○	×
GPSの現在地確認※5	○	○	○
データ通信（パケット通信）※6	○	○	×

※1 3G（赤）が表示されているときは、音声電話とSMSの発着信、GPSの現在地確認のみ利用できます。
※2 海外の特定3G通信事業者をご利用のお客様、またはFOMA端末をご利用のお客様と国際テレビ電話ができます。
※3 テレビリンク一覧からのデータ放送サイトへの接続を含みます。ただし、海外でワンセグ視聴はできません。
※4 自動更新は、海外の通信事業者に接続されたとき自動的に一時停止されます。iチャネルの自動更新を再開するには、再度iチャネル設定を行う必要があります。なお、海外ではiチャネル受信ごとにパケット通信料がかかります（日本国内の無料通話適用外）。
海外利用時には、ベーシックチャネルの自動更新についても通信料がかかります（日本国内では、月額サービス利用料に含まれます）。
※5 GPSのサービス利用設定のサイトに接続した場合、また海外で測位を行いドコモの地図を参照した場合は、サイトに接続されますがエラー画面が表示され、利用できません。その場合でもパケット通信料がかかります。
※6 海外ではパソコンなどと接続して行う64Kデータ通信は利用できません。

■ SMSについて

ドコモ以外の海外通信事業者をご利用のお客様との間でも送受信が可能です。ご利用可能な国・海外通信事業者については、ドコモの『国際サービスホームページ』をご覧ください。

- 宛先がFOMA端末の場合は、日本国内と同様に相手の電話番号をそのまま入力します。
- 宛先がドコモ以外の海外通信事業者の場合は、相手の電話番号の前に「+」と「国番号」を入力します。または、「010」「国番号」「相手の携帯電話番号」の順で入力します（相手の電話番号が「0」で始まる場合は、「0」を除いた電話番号を入力します）。
- 海外の通信事業者を利用している相手に送信したSMSの本文中に相手側が対応していない文字が含まれる場合は、それらの文字が正しく表示されないことがあります。詳細は『ご利用ガイドブック（国際サービス編）』や『ご利用ガイドブック（ネットワークサービス編）』をご覧ください。

ネットワークサービス

ネットワークサービスをご契約いただいている場合、ネットワークサービスの設定／解除などの操作を、海外からも行えます。

● 設定／解除などの操作が可能なネットワークサービスでも、利用する海外の通信事業者によっては利用できない場合があります。
詳細は『ご利用ガイドブック（国際サービス編）』や『ご利用ガイドブック（ネットワークサービス編）』をご覧ください。

海外利用の準備と確認

● 海外でのご利用料金は毎月のご利用料金と合わせてご請求させていただきます。ただし、渡航先の通信事業者などの事情により、翌月以降の請求書にてお支払いいただく場合があります。また、同一課金対象期間のご利用であっても同一月に請求されない場合がありますので、あらかじめご了承ください。

出発前の準備

充電について

● ACアダプタの取扱上の注意について→p.17
● ACアダプタの充電方法について→p.39

iモードの利用

● 詳細は『ご利用ガイドブック（iモード〈FOMA〉編）』をご覧ください。

■ 日本での設定
待受画面で[iα]▶「[1] i Menuを見る」▶「料金＆お申込・設定」▶「オプション設定」▶「海外利用設定」▶「iモード利用設定」

■ 海外での設定
待受画面で[iα]▶「[1] i Menuを見る」▶「海外利用設定」▶「iモード利用設定」

ネットワークサービスの利用

海外で留守番電話サービスや転送でんわサービスをご利用になるには、各ネットワークサービスをご契約いただき、あらかじめ遠隔操作設定を開始に設定する必要があります。

滞在国での利用

■ ネットワークに接続する
海外で電源を入れると、自動的に利用可能なネットワークに接続されます。→p.435、p.438

■ ディスプレイの見かた
利用中のネットワークを示すマークと接続中のオペレータ名が表示されます。→p.438
- マークの意味は次のとおりです。
  3G／3G：3Gネットワークに接続中
  GPRS：GPRSネットワークに接続中
  GSM：GSMネットワークに接続中
- ドコモのネットワークを利用しているときは、マークは表示されません。

■ 日付・時刻について
海外の通信事業者のネットワークに接続されると、日付や時刻を設定する旨のメッセージが表示されます。[決定]を押してタイムゾーンやサマータイムを設定します（→p.439）。日付時刻設定を「自動で設定する」に設定していて、手動で設定したくない場合は、[戻る]を押して待受画面に戻ります。
- 日付時刻設定を「自動で設定する」に設定しているときは、接続している通信事業者のネットワークから時刻・時差補正情報を受信すると時刻や時差の補正が行われます。通信事業者のネットワークによっては時差補正が行われない場合があります。時差が補正されると、時差補正を行った旨のメッセージが表示され、発着信履歴やメール送信などの表示時間は現地時間になります。
- 日付時刻設定を「自動で設定する」に設定している場合でも、数秒程度の誤差が生じる場合があります。

お問い合わせについて

海外での紛失や盗難、精算、故障については、取扱説明書裏面の「海外での紛失、盗難、精算などについて」または「海外での故障に関して」をご覧ください。なお紛失、盗難された後に発生した通話料や通信料もお客様のご負担となりますので、ご注意ください。

● 国際電話アクセス番号、ユニバーサルナンバー用国際電話識別番号の最新情報については、ドコモの『国際サービスホームページ』をご覧ください。

■ 主要国の国際電話アクセス番号（表1）
主要国の国際電話アクセス番号は次のとおりです（2008年3月現在）。

地　域	番　号	地　域	番　号
アイルランド	00	デンマーク	00
アメリカ合衆国	011	ドイツ	00
アラブ首長国連邦	00	トルコ	00
イギリス	00	ニュージーランド	00
イタリア	00	ノルウェー	00
インド	00	ハンガリー	00
インドネシア	001	フィリピン	00
オーストラリア	0011	フィンランド	00
オランダ	00	フランス	00
カナダ	011	ブラジル	0021／0014
韓国	001	ベトナム	00

地　域	番　号	地　域	番　号
ギリシャ	00	ベルギー	00
シンガポール	001	ポーランド	00
スイス	00	ポルトガル	00
スウェーデン	00	香港	001
スペイン	00	マカオ	00
タイ	001	マレーシア	00
台湾	002	モナコ	00
チェコ	00	ルクセンブルク	00
中国	00	ロシア	810

■ ユニバーサルナンバー用国際電話識別番号（表2）

各国のユニバーサルナンバー用国際電話識別番号は次のとおりです（2008年3月現在）。

地　域	番　号	地　域	番　号
アイルランド	00	中国	00
アメリカ合衆国	011	デンマーク	00
アルゼンチン	00	ドイツ	00
イギリス	00	ニュージーランド	00
イスラエル	014	ノルウェー	00
イタリア	00	ハンガリー	00
オーストラリア	0011	フィリピン	00
オーストリア	00	フィンランド	990
オランダ	00	フランス	00
カナダ	011	ブラジル	0021
韓国	001	ブルガリア	00
コロンビア	009	ペルー	00
シンガポール	001	ベルギー	00
スイス	00	ポルトガル	00
スウェーデン	00	香港	001
スペイン	00	マレーシア	00
タイ	001	南アフリカ共和国	09
台湾	00	ルクセンブルク	00

- 一部ご利用できない場合があります。
- ユニバーサルナンバーは、上記に記載のある国のみご利用可能です。
- 携帯電話でかけた場合、滞在国内通信料がかかります。
- ホテルから電話される場合、電話使用料を別途ホテルから請求される場合があります（お客様の負担となります）。ホテル側に確認してからご利用ください。
- 携帯電話、公衆電話、ホテルなどからは、ユニバーサルナンバーをご利用いただけない場合が多いためご注意ください。

帰国後の確認

帰国後に電源を入れると、自動的にドコモのネットワークに接続されます。
ドコモのネットワークに接続できない場合は、ネットワークサーチ設定を「オート」に、3G/GSM切替を「自動」に設定し直します。

●日付時刻設定を「手動で設定する」に設定している場合、電源を入れると日付や時刻を自動で設定するかどうかの確認画面が表示されます。「1設定する」を選択すると、日付時刻設定を「自動で設定する」に変更します。→p.48

滞在国で電話をかける

国際ローミングサービスを利用して、海外から音声電話やテレビ電話をかけられます。

●接続可能な国および通信事業者などの情報についてはドコモの『国際サービスホームページ』をご覧ください。
●テレビ電話の場合、接続先の端末によりFOMA端末に表示される相手側の映像が乱れたり、接続できない場合があります。
●通信事業者によっては、発信者番号通知を「通知する」に設定していても、発信者番号が通知されなかったり正しい番号表示にならない可能性があります。
●よくかける相手の国名と国番号を国際ダイヤルアシスト設定で登録しておけば、ダイヤル操作が簡単にできます。

滞在国外（日本を含む）に電話をかける

1 待受画面で［0わをん］を1秒以上▶国番号▶地域番号（市外局番）▶電話番号を入力する

● ［0わをん］を1秒以上押すと「+」が入力されます。
● 地域番号（市外局番）が「0」で始まる場合には「0」を除いて入力してください。ただし、イタリアの一般電話などにおかけになる場合は「0」が必要です。

2 ［発信］を押す

電話がかかります。
● ［テレビ電話］：テレビ電話がかかります。

国番号を変換して滞在国外（日本を含む）に電話をかける

● あらかじめ国際ダイヤルアシスト設定の国番号自動変換機能で国番号変換を「自動変換する」に、国番号選択で自動変換する国番号を電話をかける国に設定しておく必要があります。

1 待受画面で地域番号（市外局番）▶電話番号を入力▶［発信］を押す

国際電話番号に
変換しました。
+8190XXXXXXXX
日本
へ音声電話を
かけますか？

1 電話をかける
2 元番号でかける
3 電話をかけない

<国際電話番号変換確認画面>

地域番号（市外局番）の先頭の「0」が「+」と設定した国番号に変換されます。
● テレビ電話をかける場合は［テレビ電話］を押します。

2 「1 電話をかける」を押す

電話がかかります。

電話帳を利用して滞在国外（日本を含む）に電話をかける

● 電話帳に登録している電話番号が「0」で始まる場合にのみ有効です。
● あらかじめ国際ダイヤルアシスト設定の国番号自動変換機能で国番号変換を「自動変換する」に、国番号選択で自動変換する国番号を電話をかける国に設定しておく必要があります。

1 待受画面で［電話帳］▶電話帳を検索▶電話をかける相手を選択▶［発信］を押す

国際電話番号変換確認画面が表示されます。地域番号（市外局番）の先頭の「0」が「+」と設定した国番号に変換されます。
● 検索方法→p.93
● テレビ電話をかける場合は［テレビ電話］を押します。

2 「1 電話をかける」を押す

電話がかかります。

滞在国内に電話をかける

● 滞在国内に電話をかけるときも国際電話番号変換確認画面が表示されます。国際電話番号に変換しないで発信します。

1 待受画面で電話番号を入力▶［発信］を押す

国際電話番号変換確認画面が表示されます。
● テレビ電話をかける場合は［テレビ電話］を押します。

■ **電話帳を利用して電話をかける：待受画面で［電話帳］▶電話帳を検索▶電話をかける相手を選択▶［発信］を押す**
- 検索方法→p.93
- テレビ電話をかける場合は［テレビ電話］を押します。

2 「2 元番号でかける」を押す

電話がかかります。
● 国際電話番号変換確認画面が表示されずに発信される場合もあります。

海外にいるWORLD WING利用者に電話をかける

同じ国に滞在している場合でも、「+」と日本の国番号「81」を入力して電話をかけてください。
- 電話帳を利用して電話をかけることもできます。

1 **待受画面で 0 を1秒以上▶81▶90-XXXXXXXXまたは80-XXXX-XXXX▶ を押す**

電話がかかります。
- テレビ電話：テレビ電話がかかります。

滞在国で電話を受ける

日本国内で電話を受けるのと同様の操作で、電話を受けられます。

■ 日本から電話をかけてもらうときは

お客様が日本国内にいるときと同様に、お客様の電話番号を入力して電話をかけてもらいます。

090-XXXX-XXXXまたは080-XXXX-XXXXを押す

■ 日本以外から電話をかけてもらうときは

滞在国に関わらず日本経由で電話をかけるため、日本への国際電話をかけるのと同様の操作で電話をかけてもらいます。

発信国の国際アクセス番号▶81（日本の国番号）▶90-XXXX-XXXXまたは80-XXXX-XXXXを押す

おしらせ

- 国際ローミング中に電話がかかってきた場合は、いずれの国からの電話であっても日本からの国際転送となります。発信者には日本までの通話料がかかり、着信者には国際転送料を含んだ着信料がかかります。
- 相手が発信者番号を通知して電話をかけてきても、海外の通信事業者によっては、発信者番号が通知されない場合があります。また、相手が利用している通信事業者によっては、相手の発信者番号と異なる番号が通知される場合があります。

ネットワークサーチ設定

ネットワークの検索方法を設定する

国際ローミング開始時や利用中のネットワークが圏外になったとき、利用可能なネットワークを自動的に検索して接続し直します。
- 電波の状態やネットワークの状況によって設定できない場合があります。
- 日本国内ではNTT DoCoMo以外の通信事業者は選択できません。

〈例〉ネットワークの検索方法を自動に設定する

1 **待受画面で メニュー ▶「# 詳細な機能・設定」▶「1 ネットワークサービスを使う」▶「9 国際ローミングを設定する」▶「1 国際ローミングを設定する」▶「1 ネットワークサーチを設定する」を押す**

ネットワークサーチを
設定してください
1 オート
2 マニュアル
3 ネットワーク再検索
4 優先ネットワーク設定

1 **オート**：利用可能なネットワークに自動的に接続し直します。

2 **マニュアル**：利用するネットワークを選択します。

3 **ネットワーク再検索**：ネットワークを検索し直します。

4 **優先ネットワーク設定**：ネットワークの優先順位の設定→p.436

2 **「1 オート」を押す**

オートに設定した旨のメッセージが表示されます。決定 を押すと操作1の画面に戻ります。
- 「マニュアル」から「オート」に変更しようとすると、自動で接続先の検出を行うかどうかの確認画面が表示されます。「1 行う」を押すと「オート」に設定されます。

■ ネットワークの検索方法を手動に設定する：
① 「2マニュアル」を押す
ネットワークが検索し直され、接続ネットワーク一覧が表示されます。
- メニュー：再検索します。

② 利用するネットワークを選択▶決定を押す
マニュアルに設定した旨のメッセージが表示されます。

■ 検索方法を設定後にネットワークを再検索する：「3ネットワーク再検索」を押す
- ネットワークの検索方法を「オート」に設定している場合は、利用可能なネットワークに自動的に接続し直します。「マニュアル」に設定している場合は、ネットワークが検索し直され、接続ネットワーク一覧が表示されます。利用するネットワークを選択します。

お知らせ

- 接続ネットワーク一覧では利用できないネットワークに ✕ が、3Gネットワークのときは3Gが、GSM/GPRSネットワークのときはGSMが表示されます。
- 「マニュアル」のときに接続したネットワークが圏外になった場合は、再度ネットワークを検索し直すか、「オート」にしてください。

優先ネットワーク設定

優先的に接続するネットワークを設定する

ネットワークサーチ設定を「オート」に設定した場合に接続するネットワークの優先順位を設定します。

1 待受画面でメニュー▶「#詳細な機能・設定」▶「1ネットワークサービスを使う」▶「9国際ローミングを設定する」▶「1国際ローミングを設定する」▶「1ネットワークサーチを設定する」▶「4優先ネットワーク設定」を押す

優先ネットワーク登録画面が表示されます。優先順位の高い順に表示されます。
- ネットワークを選択すると、ネットワーク詳細情報画面が表示されます。

2 優先順位を変更するネットワークを選択▶メニュー▶「2優先順位を変更」を押す

優先順位の指定画面が表示されます。

■ 1件削除する：削除するネットワークを選択▶メニュー▶「3削除する」▶「1選択1件」▶「1削除する」を押す
優先ネットワーク登録画面に戻ります。操作4に進みます。

■ 全件削除する：メニュー▶「3削除する」▶「2全件」▶端末暗証番号を入力▶決定▶「1削除する」を押す
優先ネットワーク登録画面に戻ります。操作4に進みます。

3 優先順位の変更先を選択▶決定を押す

選択した優先順位の上に順位が変更され、優先ネットワーク登録画面に戻ります。
- 優先順位を最後にする場合は「<最後に指定>」を選択します。

4 電話帳を押す

優先ネットワークを登録した旨のメッセージが表示されます。決定を押すとネットワークサーチ設定画面に戻ります。

優先ネットワークリストに追加登録する

● 最大20件登録できます。

〈例〉FOMA 端末に登録されていないネットワークを追加する

1 **待受画面で[メニュー]▶「[#]詳細な機能・設定」▶「[1]ネットワークサービスを使う」▶「[9]国際ローミングを設定する」▶「[1]国際ローミングを設定する」▶「[1]ネットワークサーチを設定する」▶「[4]優先ネットワーク設定」を押す**

優先ネットワーク登録画面が表示されます。優先順位の高い順に表示されます。

2 **[メニュー]▶「[1]追加する」を押す**

ネットワークの追加方法の選択画面が表示されます。

3 **「[1]自分で登録」を押す**

国番号（MCC）の入力画面が表示されます。

■ **国名から選択する**：**「[2]国名から登録」▶国名を選択▶[決定]▶ネットワークを選択▶[決定]を押す**
RATの選択画面が表示されます。操作6に進みます。

■ **現在利用できるネットワークから選択する**：**「[3]現在地のネットワーク」▶ネットワークを選択▶[決定]を押す**
優先順位の指定画面が表示されます。操作7に進みます。

4 **3桁の国番号を入力▶[決定]を押す**

ネットワーク番号（MNC）の入力画面が表示されます。

5 **2～3桁のネットワーク番号を入力▶[決定]を押す**

RATを
選んでください
[1]3G
[2]GSM
[3]3GおよびGSM

[1]**3G**：通信方式として3Gネットワークを指定します。
[2]**GSM**：通信方式としてGSMネットワークを指定します。
[3]**3GおよびGSM**：3GネットワークおよびGSMネットワークの両方を指定します。

6 **「[1]3G」～「[3]3GおよびGSM」のいずれかを押す**

優先順位の指定画面が表示されます。

● 国・地域および通信事業者によって指定できる通信方式が異なります。滞在国の通信方式をご確認の上、設定してください。

7 **優先順位の変更先を選択▶[決定]を押す**

選択した優先順位の上に追加され、優先ネットワーク登録画面に戻ります。

● 優先順位を最後にする場合は「<最後に指定>」を選択します。

8 **[電話帳]を押す**

優先ネットワークを登録した旨のメッセージが表示されます。[決定]を押すとネットワークサーチ設定画面に戻ります。

3G/GSM切替

ネットワークを切り替える

● 「自動」に設定すると、異なるネットワークのサービスエリアに移動した場合でも、自動的に利用可能なネットワークに接続されます。

1 待受画面でメニュー▶「#詳細な機能・設定」▶「1ネットワークサービスを使う」▶「9国際ローミングを設定する」▶「1国際ローミングを設定する」▶「2 3G/GSM切替を行う」を押す

利用する
通信方式を
選んでください

1自動
2 3G
3 GSM/GPRS

1 **自動**：通信方式に関係なくすべてのネットワークを利用できます。
2 **3G**：3Gネットワークのみ利用できます。
3 **GSM/GPRS**：GSM/GPRSネットワークのみ利用できます。

2 「1自動」～「3GSM/GPRS」のいずれかを押す

通信方式を設定した旨のメッセージが表示されます。決定を押すとメニュー画面に戻ります。

おしらせ

● 「自動」の場合、3GおよびGSM/GPRSネットワークの両方を検出したときは3Gネットワークが優先されます。

通信状態表示

現在の通信状態を表示する

1 待受画面でメニュー▶「#詳細な機能・設定」▶「8情報の表示やリセットを行う」▶「6通信状態を表示する」を押す

現在の通信状態
すべて可能

● 「パケットのみ可能」のときは音声電話／テレビ電話を除く通信サービスが利用できます。

国際ローミング中の待受画面の表示について

オペレータ名の表示を設定する <オペレータ名表示設定>

待受画面に接続中のオペレータ名を表示するかどうかを設定します。

3G
3 UK
4/8(火) 05:05 ロンドン
4/8(火) 14:05 日本

1 待受画面でメニュー▶「#詳細な機能・設定」▶「1ネットワークサービスを使う」▶「9国際ローミングを設定する」▶「1国際ローミングを設定する」▶「3オペレータ名表示を設定する」を押す

オペレータ名を表示するかどうかの確認画面が表示されます。

2 「1表示する」または「2表示しない」を押す

オペレータ名表示を設定した旨のメッセージが表示されます。決定を押すとメニュー画面に戻ります。

おしらせ

- ドコモのネットワークを利用しているときや圏外のときは、本設定に関わらずオペレータ名は表示されません。

海外で日付・時刻を合わせる

日本から海外に移動したり、滞在国を移動した場合などに、滞在国の日付や時刻などを手動で設定します。

- 日付や時刻を手動で設定すると、待受画面に滞在国の時刻と都市名、日本の時刻が表示されます。

4/8(火) 05:05 ロンドン | 4/8(火) 14:05 日本

1 **待受画面で[メニュー]▶「[＊]基本の機能・設定」▶「[9]時計を設定する」▶「[1]日付と時刻を設定する」▶「[2]手動で設定する」を押す**

日付と時刻を設定してください
[1]日時 2008年04月08日 14時05分
[2]タイムゾーン 東京
[3]サマータイム 無効

[1]**日時**：日本国内での日付時刻設定→p.48

[2]**タイムゾーン**：時差を補正するために滞在している国を選択します。

[3]**サマータイム**：滞在国でサマータイムがある場合に設定します。

2 **「[2]タイムゾーン」を押す**

国の選択画面が表示されます。

3 **国を選択▶[決定]を押す**

操作1の画面に戻ります。

- 滞在している国が表示されないときは「その他」を選択し、タイムゾーンを選択します。
- 都市が複数ある場合は、都市の選択画面が表示されます。都市を選択して[決定]を押します。

4 **「[3]サマータイム」を押す**

サマータイムを有効にするかどうかの確認画面が表示されます。

5 **「[1]有効にする」または「[2]無効にする」を押す**

操作1の画面に戻ります。

6 **[電話帳]を押す**

日付と時刻を設定した旨のメッセージが表示されます。[決定]を押すとメニュー画面に戻ります。

おしらせ

- 時計表示設定の表示形式に関わらず24時間表示で表示されます。
- 日付時刻設定を「自動で設定する」に設定している場合でも、時刻・時差補正が行われたときは滞在国と日本の時刻が表示されますが、滞在国の都市名は表示されません。
- ｉアプリ待受画面を設定している場合は、本機能は動作しません。

ローミングガイダンス設定

ローミングガイダンスを設定する

かけてきた相手に国際ローミング中であることを通知するガイダンスを流すように設定します。

- 日本国内で設定してください。

〈例〉ローミングガイダンスを開始にする

1 **待受画面で[メニュー]▶「[＃]詳細な機能・設定」▶「[1]ネットワークサービスを使う」▶「[9]国際ローミングを設定する」▶「[3]ローミングガイダンスを設定する」を押す**

ローミングガイダンス設定のメニュー画面が表示されます。

2 「1ローミングガイダンスを開始する」▶「1開始する」を押す

ネットワークに接続され、ローミングガイダンスを開始した旨のメッセージが表示されます。決定を押すとメニュー画面に戻ります。

■ **ローミングガイダンスを停止にする**:**「2ローミングガイダンスを停止する」▶「1停止する」を押す**
ネットワークに接続され、ローミングガイダンスを停止した旨のメッセージが表示されます。

■ **ローミングガイダンス設定を確認する**:**「3ローミングガイダンス設定を確認する」▶「1確認する」を押す**
ネットワークに接続され、現在の設定状態が表示されます。

おしらせ

- 本設定を停止に設定しているときでも、通信事業者で設定している呼出音が流れます。
- 本設定を開始に設定しているときでも、通信事業者の事情により、外国語ガイダンスが流れる場合があります。

ローミング時着信規制

国際ローミング中の着信を規制する

すべての着信を規制したり、テレビ電話の着信を規制したりできます。

- 海外の通信事業者によっては、設定できない場合があります。
- 海外ではパソコンなどと接続して行う64Kデータ通信は利用できません。

〈例〉ローミング時着信規制を開始にする

1 待受画面でメニュー▶「#詳細な機能・設定」▶「1ネットワークサービスを使う」▶「9国際ローミングを設定する」▶「1国際ローミングを設定する」▶「9ローミング時の着信を規制する」を押す

ローミング時着信規制のメニュー画面が表示されます。

2 「1ローミング時着信規制を開始する」を押す

ローミング時に
規制する着信を
選んでください
1テレビ電話/
64Kデータ
2全て

1テレビ電話/64Kデータ:テレビ電話と64Kデータ通信の着信を規制します。
2全て:すべての着信を規制します。

■ **ローミング時着信規制を停止する**:**「2ローミング時着信規制を停止する」▶「1停止する」▶4桁のネットワーク暗証番号を入力▶決定を押す**
ネットワークに接続され、規制を停止する旨のメッセージが表示されます。決定を押すとメニュー画面に戻ります。

■ **ローミング時着信規制を確認する**:**「3ローミング時着信規制を確認する」▶「1確認する」を押す**
ネットワークに接続され、現在の設定状態が表示されます。決定を押すとメニュー画面に戻ります。

3 「1テレビ電話/64Kデータ」または「2全て」を押す

着信規制を開始するかどうかの確認画面が表示されます。

4 「1開始する」を押す

ネットワーク暗証番号の入力画面が表示されます。

5 4桁のネットワーク暗証番号を入力▶決定を押す

ネットワークに接続され、規制を開始する旨のメッセージが表示されます。決定を押すとメニュー画面に戻ります。

海外用サービス

国際ローミング中にネットワークサービスを利用する

海外から留守番電話サービスや転送でんわサービスなどの設定を操作します。

- ネットワークサービスの詳細は『ご利用ガイドブック（国際サービス編）』や『ご利用ガイドブック（ネットワークサービス編）』をご覧ください。
- あらかじめ遠隔操作設定を開始にしておく必要があります。
- 海外から操作した場合は、ご利用いただいた国の国際通話料がかかります。

1 **待受画面でメニュー▶「#詳細な機能・設定」▶「1ネットワークサービスを使う」▶「9国際ローミングを設定する」▶「1国際ローミングを設定する」▶メニュー項目を選択▶決定を押し操作する**

メニュー項目		機能と操作
4留守番電話（海外）を使う		
	1 留守番サービスを開始する	▶「1開始する」▶決定を押す
	2 留守番サービスを停止する	▶「1停止する」▶決定を押す
	3 留守番メッセージを再生する	▶「1再生する」▶決定を押す
	4 留守番サービスを設定する	▶「1設定する」▶決定を押す
	5 留守番呼出時間を設定する	▶「1設定する」▶決定を押す
5転送でんわ（海外）を使う		
	1 転送サービスを開始する	▶「1開始する」▶決定を押す
	2 転送サービスを停止する	▶「1停止する」▶決定を押す
	3 転送サービスを設定する	▶「1設定する」▶決定を押す
6遠隔操作設定（海外）を使う		海外から遠隔操作設定を操作します。▶「1設定する」▶決定を押す
7番号通知お願い（海外）を使う		海外から番号通知お願いサービスを操作します。▶「1設定する」▶決定を押す
8ローミングガイダンス（海外）を使う		海外からローミングガイダンス設定を操作します。▶「1設定する」▶決定を押す

2 **音声ガイダンスの指示に従って操作する**

付録／外部機器連携／困ったときには

困ったときには

メニュー一覧

● ［ ］は、各種設定リセットを行うとお買い上げ時の状態に戻るメニューです。
● 音声でメニューの説明を聞くことができます。→p.148

メニュー	お買い上げ時	参照先
1 電話帳・伝言メモ・音声メモを使う		
1 電話してきた相手を見る	−	p.61
2 電話をかけた相手を見る	−	p.61
3 電話帳の内容を見る	50音順検索	p.93 p.96
4 電話帳に登録する	−	p.87
5 伝言メモを使う		
1 伝言メモを再生する	−	p.78
2 伝言メモを設定する	停止する	p.75
3 伝言メモの応答メッセージを選ぶ	標準	p.77
6 通話音声メモを再生する	−	p.386
7 電話帳のグループを設定する		
1 グループ名を変更する	−	p.91
2 グループ専用電話着信音を選ぶ	[グループ1～30] 着信音設定：専用設定なし	p.91
3 グループ専用メール着信音を選ぶ	[グループ1～30] 着信音設定：専用設定なし	p.91
8 自分の電話番号を見る	名称未登録 電話番号：ご契約電話番号 メールアドレス：−	p.51
2 メールを使う		
1 受信したメールを見る	−	p.236 p.255
2 メールを作る	−	p.214 p.217
3 例文を使ってメールを作る	−	p.221
4 未送信のメールを見る	−	p.231 p.253
5 送信したメールを見る	−	p.231 p.253
6 メールがあるか問合せる		
1 メール·メッセージを受信する	−	p.235
2 メール選択受信を行う	−	p.234
7 メールアドレスを確認・変更する	−	p.214
8 メールを設定する		
1 メールに付ける署名を登録する	−	p.247
2 例文を編集する	−	p.222
3 メール選択受信を設定する	利用しない	p.234

メニュー	お買い上げ時	参照先
2 メールを使う		
8 メールを設定する		
4 らくらく返信を設定する	利用する	p.247
5 らくらく返信の本文を編集する	了解しました。 今から帰ります。 後で連絡します。 遅くなります。 ありがとうございます。 ごめんなさい。	p.248
6 メールの振り分けを設定する	[自動振分け設定] 受信、送信メール：振り分ける [受信、送信振分け条件] －	p.244
9 SMSを使う		
1 SMSを作る	－	p.251
2 届いているSMSを全部受信する	－	p.255
3 SMSを設定する	送信文字種：日本語 送達通知：要求しない 有効期間：3日 SMSC：ドコモ アドレス：81903101652 Type of Number：international	p.260
4 FOMAカードの受信SMSを見る	－	p.258
5 FOMAカードの送信SMSを見る	－	p.258
0 エリアメールを設定する		
1 エリアメールの利用を設定する	利用しない	p.250
2 エリアメールの受信登録を設定する	－	p.250
3 エリアメールのブザーを設定する	ブザー音設定：従う 鳴らす時間：10秒	p.251
3 写真・ビデオを撮る・見る		
1 写真を撮影する	－	p.160
2 写真のアルバムを見る	－	p.340
3 ビデオを撮影する	－	p.164
4 ビデオのアルバムを見る	－	p.347
4 iモードを使う		
1 iMenuを見る	－	p.176
2 ブックマークを見る	－	p.185
3 最後に表示したサイトを見る	－	p.179
4 インターネットに接続する		
1 URLを入力して接続する	http://	p.183
2 サイトの入力履歴から接続する	－	p.184
5 画面メモを見る	－	p.188
6 メッセージを見る		
1 メッセージリクエストを見る	－	p.201
2 メッセージフリーを見る	－	p.201
3 メール･メッセージを受信する	－	p.200

メニュー	お買い上げ時	参照先
4 ｉモードを使う		
7 ｉチャネルを見る	−	p.209
8 ｉチャネルを設定する		
1 ｉチャネルの表示を設定する	表示設定：表示する 表示速度：標準速度で表示	p.210
2 ｉチャネルボタンを設定する	利用する	p.211
3 ｉチャネルを初期化する	−	p.211
5 便利なツールを使う		
1 電卓を使う	−	p.393
2 目覚ましを使う	目覚まし：停止	p.379
3 予定表を使う		
1 予定を見る・登録する	−	p.381
2 予定の登録件数を見る	−	p.384
3 通知の時刻に電源を入れる	入れない	p.379
4 メモを使う	−	p.276
5 歩数計を使う		
1 歩数計の利用／停止を設定する※1	利用する（歩幅：50cm 体重：50kg）	p.395
2 歩数の履歴を表示する	−	p.395
3 歩数の自動送信メールを設定する	送信先アドレス、連携サービス：設定なし	p.397
4 歩数の履歴を削除する	−	p.396
5 今日の歩数を削除する	−	p.397
6 伝言メモ･音声メモを使う		
1 伝言メモを使う		
1 伝言メモを再生する	−	p.78
2 伝言メモを設定する	停止する	p.75
3 伝言メモの応答メッセージを選ぶ	標準	p.77
2 音声メモを使う		
1 通話音声メモを再生する	−	p.386
2 通話音声メモを設定する	開始する	p.385
7 ICカードロックを設定する	設定しない	p.296
8 赤外線を使う		
1 赤外線で受信する	−	p.372
2 赤外線で全件受信する	−	p.372
3 赤外線で全件送信する	−	p.370
9 microSDカードを使う		
1 電話帳の保存をお知らせする	通知する	p.109
2 microSDにデータを保存する	−	p.361
3 microSDのデータを復元する	−	p.362
4 microSDカードの内容を見る	−	p.363
5 microSDカードの情報を更新する	−	p.360

メニュー	お買い上げ時	参照先
5 便利なツールを使う		
9 microSDカードを使う		
6 microSDカードを初期化する	―	p.359
7 microSDカードをチェックする	―	p.361
0 手書きメモを使う	―	p.172
* 拡大鏡を使う	―	p.172
# バーコードを読取る	―	p.173
6 地図を見る・GPSを使う		
1 現在地の地図を見る	―	p.300
2 ナビを使う	―	p.301
3 現在地をメールで送る	―	p.307
4 測位した位置の履歴を見る	―	p.313
5 詳細な機能・設定		
1 位置提供機能の詳細を設定する		
1 位置提供機能を設定する	受信しない	p.309
2 サービスの利用を設定する	―	p.314
3 接続先番号を設定する	接続先：ドコモ	p.314
2 現在地通知先に現在地を送る	―	p.310
3 現在地通知先の一覧を見る	―	p.311
7 おサイフケータイを使う		
1 DCMXを使う	―	p.289
2 Edyを使う	―	p.289
3 他のおサイフケータイ対応サービスを使う	―	p.272
4 おサイフケータイ機能を制限する		
1 ICカードロックを設定する	設定しない	p.296
2 電源切時ICカードロックを設定する	直前のロック状態を継続する	p.296
3 ICカードオートロックを設定する	解除する	p.297
5 保存したトルカを見る	―	p.291
6 トルカの設定を行う		
1 取得時動作を設定する	取得する	p.295
2 取得時重複確認を設定する	行う	p.295
3 自動読み取り機能を設定する	利用する	p.295
7 他のおサイフケータイ対応サービスを探す	―	p.288
8 ｉアプリを使う		
1 ｉアプリの一覧を見る	―	p.272
2 ｉアプリの詳細を設定する		
1 ｉアプリの音量を設定する	音量4	p.115
2 起動するｉアプリを設定する	ナビソフト：地図アプリforらくらくホン 番組表ボタン：Gガイド番組表 外部機器接続：設定なし	p.275
3 ｉアプリ待受画面を設定する	ｉアプリ待受画面：設定なし	p.282
4 ｉアプリ自動起動を設定する	有効にする	p.280

メニュー	お買い上げ時	参照先
8 ｉアプリを使う		
3 ｉアプリの履歴を表示する	［自動起動失敗履歴、異常終了履歴、セキュリティエラー履歴］ －	p.273 p.281 p.283
9 ワンセグを使う		
1 ワンセグを見る	－	p.321
2 番組表を見る	－	p.324
3 録画した番組を見る	－	p.335
4 予約を登録・参照する		
1 予約の一覧を見る	－	p.324
2 視聴予約を登録する	－	p.325
3 録画予約を登録する	－	p.326
5 予約録画した履歴を見る	－	p.328
6 テレビリンクを見る	－	p.330
7 視聴する地域を設定する		
1 視聴する地域を登録する	－	p.318
2 視聴する地域を選ぶ	－	p.319
3 視聴する地域を編集する	－	p.320
8 ワンセグの詳細を設定する		
1 字幕の言語を設定する	第一言語	p.333
2 音声を設定する	音声：第一音声 主音声・副音声：主音声	p.333
3 データ放送を設定する		
1 画像の表示を設定する	画像：表示する 効果音設定、アニメーション：再生する	p.329
2 放送用保存領域の一覧を見る	－	p.333
3 確認画面の表示を設定する	－	p.334
4 録画の終了時間を設定する	指定なし	p.334
0 自分の電話番号を見る	名称未登録 電話番号：ご契約電話番号 メールアドレス：－	p.51
* 基本の機能・設定		
1 発信者番号通知を使う		
1 発信者番号通知を設定する	－	p.50
2 発信者番号通知設定を確認する	－	p.50
2 画面の設定を行う		
1 待受画面の表示を設定する	画像を表示（平安）	p.118
2 メニュー形式と配色を設定する	メニュー形式：リスト 画面の配色：青	p.120
3 画面の明るさを設定する	自動で調整	p.121
4 文字の種類を選ぶ	ゴシック体	p.121

メニュー	お買い上げ時	参照先
[*] 基本の機能・設定		
[3] 電話着信時の設定を行う		
[1] 電話着信時の音を選ぶ		
[1] 音声電話の着信音を選ぶ	着信音設定：鳴らす 着信音：着信音1	p.112
[2] テレビ電話の着信音を選ぶ	着信音設定：鳴らす 着信音：ハープ	p.112
[2] 電話着信時の音量を調節する	呼出音量：音量4 自動音量設定：大きくする	p.114
[3] 電話着信時の振動を選ぶ		
[1] 音声電話の振動を選ぶ	振動させない	p.115
[2] テレビ電話の振動を選ぶ	振動させない	p.115
[4] メール・メッセージの受信設定を行う		
[1] メール・メッセージ受信時の音を選ぶ		
[1] メール受信時の音を選ぶ	メール着信音設定：鳴らす 着信音：着信音2 鳴らす時間：10秒	p.113
[2] メッセージ受信時の音を選ぶ	[メッセージリクエスト、メッセージフリー] 着信音設定：鳴らす 着信音：着信音2 鳴らす時間：10秒	p.113
[2] メール・メッセージ受信音量を調節する	音量4	p.115
[3] メール・メッセージ受信時の振動を選ぶ		
[1] メール受信時の振動を選ぶ	振動させない	p.116
[2] メッセージ受信時の振動を選ぶ	[メッセージリクエスト、メッセージフリー] 振動させない	p.116
[5] 相手の声の音量を調節する	音量4	p.115
[6] ボタンを押した時の音を設定する	鳴らす	p.116
[7] 音声読み上げを使う		
[1] 音声読み上げを設定する	動作：なし 声質：女声 速さ：2 音量：4	p.149
[2] 音声読み上げの単語を登録する	–	p.154
[3] スピーカー／受話口の切替を行う		
[1] 音声読み上げの送出先を選ぶ	スピーカー	p.150
[2] マナーモード中の読み上げを選ぶ	読み上げる	p.150
[8] 音声呼出しを登録する		
[1] 音声呼出電話帳を登録する	–	p.144
[2] 音声呼出機能を登録する	–	p.146

メニュー	お買い上げ時	参照先
[*] 基本の機能・設定		
[9] 時計を設定する		
[1] 日付と時刻を設定する	自動で設定する	p.48
[2] 待受画面の時計を設定する	待受時計表示：大きく表示 表示形式：24時間形式	p.122
[0] ワンタッチブザーを使う	無効にする	p.389
[#] 詳細な機能・設定		
[1] ネットワークサービスを使う※2		
[1] 留守番サービスを使う		p.418
[1] 留守番メッセージを再生する	–	
[2] メッセージがあるか問合せる	–	
[3] 留守番サービスを開始する	–	
[4] 留守番サービスを停止する	–	
[5] 留守番サービスの詳細を設定する	–	
[6] 留守番呼出時間を設定する	–	
[7] 留守番サービスの設定を確認する	–	
[8] 着信通知を使う		
[1] 着信通知を開始する	–	
[2] 着信通知を停止する	–	
[3] 着信通知の設定を確認する	–	
[2] キャッチホンを使う		p.419
[1] キャッチホンを開始する	–	
[2] キャッチホンを停止する	–	
[3] キャッチホンの設定を確認する	–	
[3] 転送サービスを使う		p.419
[1] 転送サービスを開始する	–	
[2] 転送サービスを停止する	–	
[3] 転送先を変更する	–	
[4] 転送先が通話時の設定をする	–	
[5] 転送サービスの設定を確認する	–	
[4] 迷惑電話ストップを使う		p.420
[1] 迷惑電話着信拒否を登録する	–	
[2] 着信拒否する番号を登録する	–	
[3] 迷惑電話登録を全件削除する	–	
[4] 迷惑電話登録を1件削除する	–	
[5] 拒否登録件数を確認する	–	
[5] 番号通知お願いサービスを使う		p.420
[1] 番号通知お願いサービスを開始する	–	
[2] 番号通知お願いサービスを停止する	–	
[3] 番号通知お願いサービスを確認する	–	
[6] 電話帳お預かりサービスを使う		
[1] お預かりセンターに接続する	–	p.99
[2] 通信履歴を表示する	–	p.100

メニュー	お買い上げ時	参照先
# 詳細な機能・設定		
1 ネットワークサービスを使う※2		
7 通話中着信設定を使う		p.422
1 通話中着信設定を開始する	−	
2 通話中着信設定を停止する	−	
3 通話中着信設定を確認する	−	
8 通話中着信動作を選ぶ	通常着信する	p.422
9 国際ローミングを設定する		
1 国際ローミングを設定する		
1 ネットワークサーチを設定する	オート	p.435
2 3G/GSM切替を行う	自動	p.438
3 オペレータ名表示を設定する	表示する	p.438
4 留守番電話（海外）を使う		p.441
1 留守番サービスを開始する	−	
2 留守番サービスを停止する	−	
3 留守番メッセージを再生する	−	
4 留守番サービスを設定する	−	
5 留守番呼出時間を設定する	−	
5 転送でんわ（海外）を使う		
1 転送サービスを開始する	−	
2 転送サービスを停止する	−	
3 転送サービスを設定する	−	
6 遠隔操作設定（海外）を使う	−	
7 番号通知お願い（海外）を使う	−	
8 ローミングガイダンス（海外）を使う	−	
9 ローミング時の着信を規制する		p.440
1 ローミング時着信規制を開始する	−	
2 ローミング時着信規制を停止する	−	
3 ローミング時着信規制を確認する	−	
2 国際ダイヤルアシストを設定する		
1 自動国番号変換機能を設定する	国番号変換：自動変換する 国番号選択：81 日本	p.66
2 自動プレフィックス変換を設定する	プレフィックス変換：自動変換する プレフィックス選択：World Call 009130010	p.66
3 国番号を設定する	−	p.67
4 国際プレフィックスを設定する	−	p.67

メニュー	お買い上げ時	参照先
# 詳細な機能・設定		
1 ネットワークサービスを使う※2		
9 国際ローミングを設定する		
3 ローミングガイダンスを設定する		p.439
1 ローミングガイダンスを開始する	－	
2 ローミングガイダンスを停止する	－	
3 ローミングガイダンス設定を確認する	－	
0 その他のサービスを使う		
1 遠隔操作設定を使う		p.422
1 遠隔操作を開始する	－	
2 遠隔操作を停止する	－	
3 遠隔操作の設定を確認する	－	
2 英語ガイダンスを使う		p.421
1 ガイダンスを設定する	－	
2 ガイダンスの設定を確認する	－	
3 デュアルネットワークを使う		p.421
1 デュアルネットワークを切替える	－	
2 デュアルネットワークの状態を確認する	－	
4 サービスダイヤルを使う		p.421
1 ドコモ総合案内・受付に電話する	－	
2 ドコモ故障問合せ窓口に電話する	－	
5 スキャン機能を使う		
1 パターンデータを更新する	－	p.509
2 パターンデータ自動更新設定を行う	－	p.508
3 スキャン機能を設定する	スキャン機能、メッセージスキャン：有効	p.508
4 パターンデータの版数を確認する	－	p.511
6 ソフトウェアを更新する	－	p.498
2 入力に関する設定を行う		
1 文字の入力方法を設定する	有効にする	p.414
2 よく使う単語を登録する	－	p.413
3 よく使う定型文を登録する	－	p.411
3 電話・電話帳の詳細を設定する		
1 電話帳の登録件数を見る	－	p.107
2 着信を拒否する相手を指定する※3	解除する	p.137
3 着信を許可する相手を指定する※3	解除する	p.137
4 電話帳登録外の着信を拒否する	許可する	p.141
5 発番号なしの着信動作を選ぶ	［非通知設定、通知不可能、公衆電話］設定を解除	p.139

メニュー	お買い上げ時	参照先
# 詳細な機能・設定		
3 電話・電話帳の詳細を設定する		
6 イヤホンマイクを設定する		
1 イヤホンマイク接続時着信動作を選ぶ	応答方法：手動	p.401
2 イヤホンマイクスイッチの動作を設定する	イヤホンスイッチ動作：発信しない	p.400
7 背面の画面表示を設定する	表示する	p.119
8 オートスピーカーホンを設定する	解除する	p.71
9 無音着信時間を設定する	無音着信動作：設定しない	p.140
0 テレビ電話を設定する		
1 テレビ電話画面の表示を設定する	相手を大きく	p.82
2 テレビ電話画面の明るさを選ぶ	標準の明るさ	p.82
3 音声電話再発信を設定する	かけ直さない	p.82
4 発信時の自画像送信を設定する	送る	p.83
5 テレビ電話画面の大きさを選ぶ	拡大して表示	p.83
6 テレビ電話切替え通知を設定する		
1 テレビ電話切替え通知を開始する	－	p.84
2 テレビ電話切替え通知を停止する	－	p.84
3 テレビ電話切替え通知を確認する	－	p.84
7 パケット通信中の着信動作を選ぶ	テレビ電話優先	p.84
* 通話中に自分の番号を表示する	表示する	p.60
4 音を設定する		
1 充電開始と完了を音で通知する	知らせる	p.116
2 電池残量の警告を音で通知する	鳴らす	p.44
3 イヤホンマイク利用時の切替を選ぶ	イヤホンマイク+スピーカー	p.402
4 通話状態が悪い時の音を選ぶ	鳴らさない	p.117
5 再接続した時の音を選ぶ	鳴らさない	p.68
6 保存した曲を再生する	－	p.352
5 メールの詳細を設定する		
1 問合せ内容を選ぶ	すべて選択	p.236
2 受信する添付種別を選ぶ	すべて選択	p.248
3 添付のメロディを自動演奏する	自動演奏する	p.249
6 メッセージの詳細を設定する		
1 メッセージのメロディを自動演奏する	自動演奏する	p.200
2 未読メッセージを自動で表示する	メッセージR優先	p.199
7 ｉモードの詳細を設定する		
1 問合せ内容を選ぶ	すべて選択	p.236
2 文字の大きさを選ぶ	標準の大きさ	p.194
3 画像表示・照明を設定する	画像：表示する 照明設定：常に点灯 効果音設定、アニメーション：再生する 端末情報利用：利用する	p.195

メニュー	お買い上げ時	参照先
# 詳細な機能・設定		
7 iモードの詳細を設定する		
4 iモーションの再生を設定する	自動再生する	p.208
5 接続先番号を設定する	iモード	p.196
6 証明書の表示と使用を設定する※4	CA証明書1～13、ドコモ証明書1：有効	p.197
7 ユーザ証明書を操作する	－	p.203
8 証明書の発行先を変更する	接続先：ドコモ	p.205
8 情報の表示やリセットを行う		
1 通話時間を見る	－	p.387
2 通話料金を見る	－	p.388
3 通話時間をリセットする	－	p.388
4 通話料金をリセットする	－	p.389
5 電池残量を確認する	－	p.43
6 通信状態を表示する	－	p.438
7 設定を初めの状態に戻す	－	p.403
8 本体内データを全て削除する	－	p.416
9 音声入力メールのソフトを最新にする	－	p.414
9 操作の制限をする		
1 開閉ロックを設定する	解除する	p.136
2 全ての操作を制限する	－	p.129
3 セルフモードを設定する	解除する	p.131
4 シークレットモードに設定する	解除する	p.132
5 電話の履歴表示を制限する	制限しない	p.133
6 個人の情報表示を制限する	制限しない	p.133
7 暗証番号を変更する	0000	p.125
8 FOMAカードのPINコードを設定する	［PIN1／PIN2コード変更］0000 ［PIN1コード使用］使用しない	p.126
9 ダイヤル入力での発信を制限する	制限しない	p.135
0 おサイフケータイ機能を制限する		
1 ICカードロックを設定する	設定しない	p.296
2 電源切時ICカードロックを設定する	直前のロック状態を継続する	p.296
3 ICカードオートロックを設定する	解除する	p.297
0 設定時刻に電源を入／切する		
1 電源が入る時刻を設定する	自動電源入：停止する	p.377
2 電源が切れる時刻を設定する	自動電源切：停止する	p.378

※1 日付・時刻が設定されていない場合は、お買い上げ時は「利用しない」に設定されます。
※2 ネットワークサービスについては『ご利用ガイドブック（ネットワークサービス編）』をご覧ください。
※3 各種設定リセットを行っても、着信拒否／許可一覧の登録内容はリセットされません。
※4 各種設定リセットを行うと、FOMAカードに保存されている証明書もすべて有効になります。

着信音用メロディ一覧

分　類	表示名	作曲者
固定着信音	着信音1～9　穏やか着信音1～2 でか着信音	――――
メロディ	川の流れのように	見岳　章
	ウィリアムテル序曲	GIOACCHINO ANTONIO ROSSINI
	交響曲第7番	LUDWIG VAN BEETHOVEN
	威風堂々	EDWARD ELGAR
	おもちゃの兵隊のマーチ	LEON JESSEL
	ホルン協奏曲第一番二長調 k412	WOLFGANG AMADEUS MOZART
	ジュピター	GUSTAV HOLST
	新世界より第四楽章	Antonín Leopold Dvořák
	ラデツキー行進曲	Johan Baptist Strauss
	交響曲第25番ト短調	WOLFGANG AMADEUS MOZART
	凱旋行進曲	GIUSEPPE VERDI
	アメージンググレース	アメリカ民謡
	エンターテイナー	SCOTT JOPLIN
効果音／ボイス	ハープ 鳩時計 オフィスの電話音 風鈴 目覚まし1～3 メールです	ドアチャイム 黒電話の音 近未来の電話音 フルート 電話です 起きて下さい 自転車ベル 現代の電話音 うぐいす アテンションプリーズ テレビ電話です 予定の時刻です

許諾番号：T-0810008

ダイヤルボタンの文字割り当て一覧

ボタン	ひらがな／漢字入力モード※1	半角カタカナ入力モード	半角英字入力モード	半角数字入力モード※2
1あ	あ　い　う　え　お　1	ア　イ　ウ　エ　オ　1	.　／　@　˜　－　: _　[　¥　]　^　` {　|　}　1	1
2か	か　き　く　け　こ　2	カ　キ　ク　ケ　コ　2	a　b　c　2	2
3さ	さ　し　す　せ　そ　3	サ　シ　ス　セ　ソ　3	d　e　f　3	3
4た	た　ち　つ　て　と　4	タ　チ　ツ　テ　ト　4	g　h　i　4	4
5な	な　に　ぬ　ね　の　5	ナ　ニ　ヌ　ネ　ノ　5	j　k　l　5	5
6は	は　ひ　ふ　へ　ほ　6	ハ　ヒ　フ　ヘ　ホ　6	m　n　o　6	6
7ま	ま　み　む　め　も　7	マ　ミ　ム　メ　モ　7	p　q　r　s　7	7
8や	や　ゆ　よ　8	ヤ　ユ　ヨ　8	t　u　v　8	8
9ら	ら　り　る　れ　ろ　9	ラ　リ　ル　レ　ロ　9	w　x　y　z　9	9
0わをん	わ　を　ん　ー　、　。 ・　？　！　「　」　■　0	ワ　ヲ　ン　ー　、　。 ・　？　！　「　」　■　0	!　”　#　$　%　& ’　(　)　*　+　, ;　<　=　>　? ■　0	0　+※3
*	゛　゜	゛　゜	@docomo.ne.jp .com　.or.jp　.go.jp .ne.jp　.co.jp　.ac.jp http://www.　www. .html　.htm	*　P※3
#マナー	↵（改行）	↵（改行）	↵（改行）	#　T※3

■：空白を示します。

■：文字入力後に[テレビ電話]を押すか、ボタンを押し続けると大文字／小文字に切り替わります。ただし、「わ」を入力した場合は[テレビ電話]を押した場合のみ大文字／小文字に切り替わります。

※1 数字は半角で入力されます。

※2 半角数字入力モードの「P」「T」「+」「#」「*」は、これらの文字が有効な入力欄でのみ入力できます。

※3 該当するボタンを1秒以上押すと入力できます。

記号一覧

<table>
<tr><td>半角</td><td>░ ! " # $ % & ' ( ) * + , - . / : ; < = > ? @ [¥] ^ _ ` { | } ~ ｡ ｢ ｣ ､ ･ ｰ ﾞ ﾟ</td></tr>
<tr><td>全角</td><td>░、。，．・：；？！゛゜´｀¨＾￣＿ヽヾゝゞ〃仝々〆〇ー―‐／＼～‖｜…‥‘’“<br>”（）〔〕［］｛｝〈〉《》「」『』【】＋－±×÷＝≠＜＞≦≧∞∴♂♀°′″℃￥＄
¢£％＃＆＊＠§☆★○●◎◇◆□■△▲▽▼※〒→←↑↓〓∈∋⊆⊇⊂⊃∪∩∧∨¬⇒
⇔∀∃∠⊥⌒∂∇≡≒≪≫√∽∝∵∫∬Å‰♯♭♪†‡¶◯ΑΒΓΔΕΖΗΘΙΚΛΜΝ
ΞΟΠΡΣΤΥΦΧΨΩαβγδεζηθικλμνξοπρστυφχψωАБВГД
ЕЁЖЗИЙКЛМНОПРСТУФХЦЧШЩЪЫЬЭЮЯабвгдеёжзийк
лмнопрстуфхцчшщъыьэюя─│┌┐┘└├┬┤┴┼━┃┏┓┛┗┣┳
┫┻╋┠┯┨┷┿┝┰┥┸╂①②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱⑲⑳ⅠⅡⅢⅣⅤⅥⅦ
ⅧⅨⅩ㍉㌔㌢㍍㌘㌧㌃㌶㍑㍗㌍㌦㌣㌫㍊㌻㎜㎝㎞㎎㎏㏄㎡㍻〝〟№㏍℡㊤㊥㊦㊧㊨㈱㈲㈹
㍾㍽㍼≒≡∫∮∑√⊥∠∟⊿∵∩∪</td></tr>
</table>

░：空白を示します。

※ 実際の表示と異なるものがあります。

特殊記号一覧

ひらがな／漢字入力モードで読みを入力して変換してください。→p.407

読　み	入力文字
あーる	Ｒｒ㌃
あい	Ｉｉ
あすたりすく	＊
あすてりすく	＊
あっとまーく	＠
あるふぁ	Αα
あるふぁー	Αα
あんだーばー	＿
あんど	＆
あんぱさんど	＆
いー	Ｅｅ
いーた	Ηη
いおた	Ιι
いこーる	＝
いち	①Ⅰ
いぷしろん	Εε
うぷしろん	Υυ
えい	Ａａ
えいち	Ｈｈ
えー	Ａａ
えす	Ｓｓ
えっくす	Ｘｘ
えっち	Ｈｈ
えぬ	Ｎｎ
えふ	Ｆｆ
えむ	Ｍｍ
える	Ｌｌ
えん	￥
おう	Ｏｏ
おー	Ｏｏ
おーむ	Ωω
おす	♂
おなじ	々〃
おみくろん	Οο
おめが	Ωω
おんぐすとろーむ	Å
おんぷ	♪
かい	Χχ
かける	×
かっこ	「」『』【】‘’ “”（）〔〕［］ ｛｝〈〉《》
かっぱ	Κκ

読　み	入力文字
かぶ	㈱
かぶしきがいしゃ	㈱㏍
から	～
かろりー	㌍
がんま	Γγ
がんまー	Γγ
きー	Χχ
きごう	＜＞＠／〃 ±々×≠÷ ≦≧∴§＼ ∞∧∈∨¬ ∋∀⊆⊇∃ ∠⊂⊥⊃⌒ ∪∩∂⊿∇ Σ≡≒∮≪ „″≫∟√ ∽∝∵∫∬ Å‰†‡¶
きゅー	Ｑｑ
きゅう	⑨Ⅸ
きろ	㌔
きろぐらむ	㎏
きろめーとる	㎞
く	⑨Ⅸ
くさい	Ξξ
ぐざい	Ξξ
くしー	Ξξ
ぐらむ	㌘
くろぼし	★
くろまる	●
けい	Κκ
けー	Κκ
ご	⑤Ⅴ
ごうどう	≡
こめ	※
こめじるし	※
ころん	：
さん	③Ⅲ
さんかく	△▲▽▼
し	④Ⅳ
しー	Ｃｃ
じー	Ｇｇ
しーしー	㏄
しーた	Θθ

読　み	入力文字
じーた	Ζζ
じぇい	Ｊｊ
じぇー	Ｊｊ
しかく	□■◇◆
しぐま	Σσ
しち	⑦Ⅶ
しめ	〆
しゃーぷ	＃
しゃせん	／＼
じゅう	⑩Ⅹ
じゅういち	⑪
じゅうきゅう	⑲
じゅうく	⑲
じゅうご	⑮
じゅうさん	⑬
じゅうし	⑭
じゅうしち	⑰
じゅうなな	⑰
じゅうに	⑫
じゅうはち	⑱
じゅうよん	⑭
じゅうろく	⑯
しょうなり	＜
しょうわ	㍼
しろぼし	☆
しろまる	○
ずけい	☆★○●◎ ◇◆□■△ ▲▽▼
すらっしゅ	／＼
ぜーた	Ζζ
せくしょん	§
せっし	℃
ぜっと	Ｚｚ
せみころん	；
せんち	㎝㌢
せんちめーとる	㎝
せんと	￠㌣
だい	㈹
たいしょう	㍽
だいなり	＞
だいひょう	㈹
たう	Ττ

読　み	入力文字
だがー	†
だくてん	゛
たす	＋
だぶりゅ	Ｗｗ
だぶりゅー	Ｗｗ
だぶるだがー	‡
たんい	° ′ ″ ℃ ￥ ＄ ¢ £ ％
てぃー	Ｔｔ
でぃー	Ｄｄ
てー	Ｔｔ
でー	Ｄｄ
でるた	Δ δ
てん	、, …‥．’ ” ‘ “ ヽ ゝ ¨ ヽ ヾ ゝ ゞ 、 ` ' "
てんてん	‥ …
でんわ	℡
ど	℃ °
どう	々 〃 仝
どしー	℃
どる	＄ ㌦
とん	㌧
ないし	～
なぜならば	∵
なな	⑦ Ⅶ
なみ	～
なんばー	№
に	② Ⅱ
にじゅう	⑳
にじゅうまる	◎
にゅー	Ｎ ν
のま	々
ぱーせんと	％ ㌫
ぱーみる	‰
ぱい	Π π
はいふん	‐

読　み	入力文字
はち	⑧ Ⅷ
ばつ	×
はてな	？
はんだくてん	゜
びー	Ｂｂ
ぴー	Ｐｐ Π π
ひく	－
ひしがた	◇◆
びっくり	！
びょう	″
ふぁい	Φ φ
ぶい	Ｖｖ
ふぃー	Φ φ
ぷさい	Ψ ψ
ぷしー	Ψ ψ
ふとうごう	＜＞≦≧≠ ≪≫
ぷらす	＋
ぷらすまいなす	±
ふらっと	♭
ふん	′
へいせい	㍻
へいほうめーとる	㎡
ぺーじ	㌻
べーた	Ｂ β
べーたー	Ｂ β
へくたーる	㌶
ほし	☆★※
ぽんど	£
まいなす	－
まる	○ ● ◎ 。 ． ① ② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨ ⑩ ⑪ ⑫ ⑬ ⑭ ⑮ ⑯ ⑰ ⑱ ⑲ ⑳ ㊤ ㊥ ㊦ ㊧ ㊨

読　み	入力文字
みゅー	Ｍ μ
みり	㎜ ㍉
みりぐらむ	㎎
みりばーる	㍊
みりめーとる	㎜
むげん	∞
むげんだい	∞
めいじ	㍾
めーとる	㍍
めす	♀
やじるし	→←↑↓ ⇒⇔
ゆう	㈲
ゆー	Ｕｕ
ゆうげんがいしゃ	㈲
ゆうびん	〒
ゆうびんばんごう	〒
ゆえに	∴
ゆぷしろん	Υ υ
よん	④ Ⅳ
らむだ	Λ λ
りっとる	㍑
ろー	Ｐ ρ
ろく	⑥ Ⅵ
わい	Ｙｙ
わっと	㍗
わる	÷

※ 実際の表示と異なるものがあります。
※ 入力文字には全角のみ、半角のみ、全角と半角の両方が存在するものがあります。

絵文字読み上げ一覧

ひらがな／漢字入力モードで読みを入力して変換してください。→p.407
音声読み上げの動作を「自動で読み上げ」に設定しているとき（→p.149）に、入力した絵文字や変換候補一覧の絵文字を選択したり、絵文字を入力変換して確定したりした場合の読み上げを記載しています。

読　み	変換	音声読み上げ
はーと、あい、こころ、すき、らぶ		はーとまーく
はーと、あい、こころ、どきどき、すき、らぶ、ゆれるはーと		ゆれるはーとまーく
はーと、しつれん、ふられた、わかれた、しょっく		しつれんまーく
はーと、あい、こころ、すき、らぶ、はーとたち		ふくすうはーとまーく
かお、えがお、わらう、わらい、わーい、うれしい、にこにこ		わーいまーく
かお、おこる、いかり、ぷん、ちっ		ぷんぷんまーく
かお、かなしい、こまった、ごめん、がく		がくーまーく
かお、かなしい、こまった、さいあく、もうやだ		もうやだーまーく
かお、だめ、ふら		ふらふらまーく
どうぶつ、いぬ		いぬまーく
どうぶつ、ねこ		ねこまーく
てんき、はれ、たいよう		はれまーく
てんき、くもり、くも		くもりまーく
てんき、あめ、かさ		あめまーく
てんき、ゆき、ゆきだるま		ゆきまーく
てんき、かみなり、いかずち、いかづち、でんき		かみなりまーく
てんき、うずまき、たいふう、あらし、ぐるぐる、くるくる、めまい		たいふうまーく
てんき、きり、あめ		きりまーく
てんき、こさめ、あめ、かさ		こさめまーく
おんぷ、おんがく、うた、るん		るんるんまーく
おんぷ、おんがく、うた、さんれんぷ、るん、むーど		むーどまーく
おんせん、ふろ、おふろ、いいきぶん		おんせんまーく
はな、かわいい		かわいいまーく
きす、きっす、くちびる、くち、ちゅ、ちゅう、ちゅー、きすまーく		ちゅっまーく
きらきら、ぴかぴか		ぴかぴかまーく
でんきゅう、ぴか、あいであ、あいでぃあ、ひらめき		ひらめきまーく
いかり、おこる、おこり、きれる、むかつく、むか		むかっまーく
がんばる、がんばれ、ぱんち、ぐー、ぐう		ぱんちまーく
ばくだん、ばくはつ		ばくだんまーく
おやすみ、すいみん、ねる、ねむい、ぐー、ずー、ぐう、ずう	zzz	ねむいまーく
びっくり、あっ、えくすくらめーしょん、えくすくらめいしょん	!	びっくりまーく
びっくり、ほんと、えっ、えー、えくすくらめーしょん、えくすくらめいしょん	!?	びっくりはてなまーく

読　み	変換	音声読み上げ
びっくり、ちょー、えくすくらめーしょん、えくすくらめいしょん	!!	にじゅうびっくりまーく
しょっく、ぐらぐら、どん		どーんまーく
あせ、あせる、ひやあせ		あせあせまーく
あせ、あせる、ひやあせ、なみだ、だらー、たらー		あせたらーっまーく
いそぐ、いそげ、だっしゅ、ためいき、ふぅ、ふう、ふー、はしる		だっしゅまーく
のばす、ちょうおん、ちょーおん		うーまーく
のばす、くるり、ちょうおん、ちょーおん		うーんまーく
おっけー、おーけー、おーけい、おうけい、けってい	OK	けっていまーく
やじるし、みぎうえ、あがる、あげる、あっぷ、みぎななめうえ	↗	みぎななめうえやじるしまーく
やじるし、みぎした、さがる、さげる、だうん、みぎななめした	↘	みぎななめしたやじるしまーく
やじるし、ひだりうえ、あがる、あげる、あっぷ、ひだりななめうえ	↖	ひだりななめうえやじるしまーく
やじるし、ひだりした、さがる、さげる、だうん、ひだりななめした	↙	ひだりななめしたやじるしまーく
やじるし、ぐっど、あがる、あげる、ぐっと	⤴	ぐっどまーく
やじるし、ばっど、さがる、さげる、ばっと	⤵	ばっどまーく
かお、め、からだ		めまーく
かお、みみ、からだ		みみまーく
ぐー、ぐう、じゃんけん、て、こぶし、ぱんち、からだ		ぐーまーく
ちょき、じゃんけん、て、ぴーす		ちょきまーく
ぱー、ぱあ、じゃんけん、て、ばい、さんせい		ぱーまーく
あし、あしあと、あるく、とほ、からだ、きっく、けり、ける		あしまーく
とらんぷ、はーと、あい、こころ	♥	はーとまーく
とらんぷ、すぺーど	♠	すぺーどまーく
とらんぷ、だいや	♦	だいやまーく
とらんぷ、くらぶ	♣	くらぶまーく
のりもの、こうつう、でんしゃ、れっしゃ、えき		でんしゃまーく
のりもの、こうつう、ちかてつ、えむ	M	ちかてつまーく
のりもの、こうつう、しんかんせん、のぞみ、ひかり、こだま		しんかんせんまーく
のりもの、こうつう、じどうしゃ、くるま、たくしー、どらいぶ、せだん		せだんまーく
のりもの、こうつう、じどうしゃ、くるま、たくしー、どらいぶ、あーるぶい		あーるぶいまーく
のりもの、こうつう、ばす		ばすまーく
のりもの、こうつう、ふね、ふぇりー、こうかい		ふねまーく
のりもの、こうつう、ひこうき、じぇっと、じぇっとき、ふらいと、くうこう		ひこうきまーく
のりもの、よっと、ふね、りぞーと		りぞーとまーく
つりー、くりすます、き		くりすますまーく
いえ、うち、おうち、じたく		いえまーく
びる、かいしゃ、しょくば、がっこう		びるまーく
ゆうびん、ゆうびんきょく、ぽすと		ゆうびんきょくまーく

読　み	変換	音声読み上げ
びょういん、びょうき、けが		びょういんまーく
ぎんこう、ばんく	BK	ぎんこうまーく
えーてぃーえむ、えいてぃえむ、ぎんこう	ATM	えーてぃーえむまーく
ほてる	H	ほてるまーく
こんびに、こんびにえんす、こんびにえんすすとあ	CVS	こんびにまーく
がそりんすたんど、がそりん、がすすた、すたんど	GS	がそりんすたんどまーく
ちゅうしゃじょう、ちゅうしゃ、ぱーきんぐ	P	ちゅうしゃじょうまーく
しんごう、しんごうき		しんごうまーく
といれ、かっぷる、でーと、けっこん		といれまーく
しょくじ、ごはん、れすとらん、ふぁみれす		れすとらんまーく
こーひー、どりんく、のみもの、かっぷ、こっぷ、きっさてん、さてん、おちゃ		きっさてんまーく
かくてる、おさけ、さけ、ばー		ばーまーく
びーる、おさけ、さけ、いざかや、のみかい、こんぱ、かんぱい		びーるまーく
はんばーがー、ばーがー、けいしょく、ふぁーすとふーど		ふぁーすとふーどまーく
はいひーる、ひーる、くつ、あし		ぶてぃっくまーく
はさみ、かっと、びよういん、びようしつ、さんぱつ、とこや		びよういんまーく
まいく、からおけ、うた、うたう		からおけまーく
えいが、えいがかん、しねま、かめら、さつえい、びでお		えいがまーく
うま、けいば、もくば、めりーごーらんど、ゆうえんち		ゆうえんちまーく
おんがく、おと、きく、へっどほん、へっどふぉん		おんがくまーく
え、あーと、げいじゅつ、びじゅつ、ぱれっと		あーとまーく
えんげき、ひと、しんし、ぼうし		えんげきまーく
いべんと、はた		いべんとまーく
ちけっと、きっぷ		ちけっとまーく
すぽーつ、うんどう、しゃつ、たんくとっぷ		すぽーつまーく
すぽーつ、うんどう、やきゅう、そふと、ぼーる、そふとぼーる		やきゅうまーく
すぽーつ、うんどう、ごるふ		ごるふまーく
すぽーつ、うんどう、てにす、たっきゅう、らけっと		てにすまーく
すぽーつ、うんどう、さっかー、ぼーる		さっかーまーく
すぽーつ、うんどう、すきー、すのーぼーど、ぼーど、すけーと、すのぼ、すべる		すきーまーく
すぽーつ、うんどう、ばすけっと、ばすけ、ばすけっとぼーる		ばすけっとまーく
すぽーつ、うんどう、ごーる、はた、れーす、えふわん、もーたーすぽーつ		もーたーすぽーつまーく
ぽけべる、ぽけっとべる、ぺーじゃー		ぽけべるまーく
たばこ、しがー、しがれっと、きつえん、いっぷく		きつえんまーく
たばこ、しがー、しがれっと、きんえん		きんえんまーく
かめら、しゃしん、さつえい、げきしゃ		かめらまーく
かばん、ばっぐ、てさげ、りょこう		かばんまーく
ほん、のーと、しょしんしゃ		ほんまーく

読　み	変換	音声読み上げ
りぼん、ちょうねくたい、ねくたい、あめ		りぼんまーく
ぷれぜんと、たんじょうび、おくりもの		ぷれぜんとまーく
ろうそく、きゃんどる、たんじょうび、ばーすでい、ばーすでー		ばーすでーまーく
でんわ、くろでん、てれふぉん、てれほん、てる、てれ		でんわまーく
けいたいでんわ、けいたい、けーたい、でんわ、ぴっち、ふぉーん、ふぉん		けいたいでんわまーく
めーる、てがみ		めーるまーく
めも、しょるい、れぽーと、しゅくだい、しけん		めもまーく
てれび、がめん、ばんぐみ		てれびまーく
げーむ、こんとろーら		げーむまーく
しーでぃー、あるばむ、しんぐる、でぃすく		しーでぃーまーく
くつ、しゅーず、すにーかー、あし		くつまーく
めがね		めがねまーく
くるまいす		くるまいすまーく
せいざ、おひつじざ、おひつじ		おひつじざまーく
せいざ、おうしざ、おうし		おうしざまーく
せいざ、ふたござ、ふたご、すなどけい		ふたござまーく
せいざ、かにざ、かに		かにざまーく
せいざ、ししざ、しし		ししざまーく
せいざ、おとめざ、おとめ		おとめざまーく
せいざ、てんびんざ、てんびん、おもち、もち		てんびんざまーく
せいざ、さそりざ、さそり		さそりざまーく
せいざ、いてざ、いて、あがる、あっぷ		いてざまーく
せいざ、やぎざ、やぎ		やぎざまーく
せいざ、みずがめざ、みずがめ、なみ		みずがめざまーく
せいざ、うおざ、うお、さかな		うおざまーく
つき、しんげつ、まる		しんげつまーく
つき		かけづきまーく
つき、はんげつ		はんげつまーく
つき、みかづき		みかづきまーく
つき、まんげつ、まる		まんげつまーく
でんわ、けいたいでんわ、けいたい、けーたい、ふぉーん、ふぉん、ぴっち、ちゃくしん		でんわへまーく
めーる、てがみ、じゅしん		めーるへまーく
ふぁっくす、ふぁくす、じゅしん		ふぁっくすへまーく
あいもーど、あい、どこも		あいもーどまーく
あいもーど、あい、どこも		あいもーどまーく
どこもていきょう、でい、でー、でぃー		どこもていきょうまーく
どこもぽいんと、ぽいんと、でい、でー、でぃー		どこもぽいんとまーく
えん、かね、きんがく、ねだん、りょうきん		ゆうりょうまーく
ただ、むりょう、じゆう、ひま、ふりー		むりょうまーく

読　み	変換	音声読み上げ
あいでぃ、あいでぃー、あいでー	ID	あいでぃーまーく
かぎ、きー、ひみつ、ぱすわーど、ろっく		ぱすわーどまーく
かいぎょう、まがる、つづく、つづき		つぎありまーく
さくじょ、しーえる、くりあ、くーる	CL	くりあまーく
さがす、しらべる、むしめがね、さーち		さーちまーく
にゅー、にゅう、あたらしい、しん	NEW	にゅーまーく
はた、もくひょう、ごるふ、いちじょうほう、いち		いちじょうほうまーく
だいやる、だいある、ふりーだいやる、ふりーだいある		ふりーだいやるまーく
しゃーぷ	#	しゃーぷだいやるまーく
もばきゅー、もばきゅう、しつもん、きゅう、きゅー		もばきゅーまーく
1、いち、すうじ、ばんごう	1	しかくいち
2、に、すうじ、ばんごう	2	しかくに
3、さん、すうじ、ばんごう	3	しかくさん
4、よん、し、すうじ、ばんごう	4	しかくよん
5、ご、すうじ、ばんごう	5	しかくご
6、ろく、すうじ、ばんごう	6	しかくろく
7、しち、なな、すうじ、ばんごう	7	しかくなな
8、はち、すうじ、ばんごう	8	しかくはち
9、きゅう、く、きゅー、すうじ、ばんごう	9	しかくきゅう
0、ぜろ、れい、すうじ、ばんごう	0	しかくぜろ
かちんこ、さつえい、すたーと、はこ		かちんこまーく
ふくろ、つぼ		ふくろまーく
ぺんさき、ぺん		ぺんまーく
はんこ、ひと、ひとかげ		ひとかげまーく
いす、ざせき、すわる		いすまーく
よる、よなか、しんや、れいと		よるまーく
すぐ、もうすぐ、すーん	SOON	すーんまーく
おん	ON!	おんまーく
おわり、えんど	END	えんどまーく
じかん、じこく、たいむ、とけい		とけいまーく
じてんしゃ、ちゃり、ちゃりんこ、のりもの		じてんしゃまーく
れんち、すぱな、こうぐ、どうぐ		れんちまーく
ぱそこん、ぴーしー、こんぴゅーた、こんぴゅーたー		ぱそこんまーく
えんぴつ、ぶんぼうぐ		えんぴつまーく
くりっぷ、ぶんぼうぐ、てんぷ		くりっぷまーく
やじるし、さゆう	↔	さゆうまーく
やじるし、じょうげ	↕	じょうげまーく
やじるし、りさいくる、かいてん、まわる		りさいくるまーく
えぬじー、だめ	NG	えぬじーまーく
ひみつ、まるひ	秘	まるひまーく

読　み	変換	音声読み上げ
きんし、げんきん、だめ	禁	きんしまーく
くうしつ、くうせき、くうしゃ、あき、あく、から	空	くうしつまーく
ごうかく	合	ごうかくまーく
まんしつ、まんせき、まんしゃ、いっぱい、まんたん、ふる	満	まんしつまーく
けいこく、きけん、びっくり		きけんまーく
こぴーらいと、しー、まるしー	©	こぴーらいとまーく
とれーどまーく、てぃーえむ	TM	とれーどまーく
れじすたーどとれーどまーく、とれーどまーく、あーる、まるあーる	®	れじすとれっどまーく
あいあぷり、あるふぁ、あぷり		あいあぷりまーく
あいあぷり、あるふぁ、あぷり		あいあぷりまーく
どるぶくろ、どる、かね、おかね		どるぶくろまーく
うでどけい、とけい、うぉっち		うでどけいまーく
すなどけい、とけい		とけいまーく
おにぎり、おむすび、ごはん、おべんとう、べんとう		おにぎりまーく
けーき、しょーとけーき、でざーと、おかし、かし		しょーとけーきまーく
ぱん、ぶれっど		ぱんまーく
どんぶり、らーめん、めん、うどん、そば		どんぶりまーく
ゆのみ、おゆのみ、おちゃ、ちゃ		ゆのみまーく
とっくり、おちょこ、おさけ、さけ、にほんしゅ		とっくりまーく
わいんぐらす、わいん、おさけ、さけ		わいんぐらすまーく
ばなな、くだもの		ばななまーく
りんご、あっぷる、くだもの		りんごまーく
さくらんぼ、ちぇりー、くだもの		さくらんぼまーく
くろーばー、よつば、はっぱ		くろーばーまーく
ちゅーりっぷ、はな		ちゅーりっぷまーく
わかば、ふたば、はっぱ		わかばまーく
もみじ、こうよう、はっぱ		もみじまーく
さくら、はな		さくらまーく
かたつむり、まいまい、でんでんむし、どうぶつ、むし		かたつむりまーく
ひよこ、とり、どうぶつ		ひよこまーく
ぺんぎん、とり、どうぶつ		ぺんぎんまーく
さかな、おさかな、どうぶつ		さかなまーく
うま、どうぶつ		うままーく
ぶた、どうぶつ、ぶー		ぶたまーく
しゃつ、てぃーしゃつ、ふく、ようふく、てぃしゃつ		てぃーしゃつまーく
ずぼん、ぱんつ、じーぱん、じーんず、ふく、ようふく		じーんずまーく
けしょう、くちべに、るーじゅ、りっぷ		けしょうまーく
ゆびわ、あくせさりー、りんぐ		ゆびわまーく
おうかん、かんむり、おうさま		おうかんまーく
べる、ちゃぺる、かね		ちゃぺるまーく

読　み	変換	音声読み上げ
どあ、とびら、と		どあまーく
がっこう、だいがく		がっこうまーく
なみ、うみ、つなみ、おおなみ		なみまーく
ふじさん、やま		ふじさんまーく
すぽーつ、うんどう、すのーぼーど、ぼーど、すのぼ、すべる		すのぼーまーく
すぽーつ、うんどう、はしる、にげる		はしるひとまーく
かお、こまる、うーむ、うーん、うむ、むすっ、かんがえる		むむまーく
かお、ほっ		ほっまーく
かお、ひやあせ、たらー、だらー、あせ、あせる		ひやあせまーく
かお、ひやあせ、たらー、だらー、あせ、あせる		ひやあせまーく
かお、おこる、ぷー、ぶー		ぷくっまーく
かお、ぼけー、しらー、しらけ		ぼけーまーく
かお、はーと、らぶ、すき、わーい、うれしい		らぶらぶまーく
かお、あっかんべー、べー、いたずら		あっかんべーまーく
かお、うぃんく、ういんく、ぱちっ、ぱち		うぃんくまーく
かお、うれしい、わーい、きゃっ、きゃ		うれしいまーく
かお、がまん		がまんまーく
かお、どうぶつ、ねこ		ねこまーく
かお、かなしい、なく、えーん、わーん、なきがお		なきまーく
かお、なみだ、かなしい、ぽろり、なく、なきがお		なみだまーく
かお、おいしい、うまい、まんぞく		うまいまーく
かお、えがお、わらう、うっしっし、うしし、ししし		うっしっしまーく
かお、さけぶ、さけび、げっそり、ひゃー、むんく		げっそりまーく
て、おっけー、おーけー、おーけい、おうけい、ぐっど、ゆび、おやゆび、ぐっと		おーけーまーく
てがみ、めーる、らぶれたー、こいぶみ		らぶれたーまーく
がまぐち、さいふ、おかね、かね		がまぐちさいふまーく

お知らせ

- 絵文字を入力したｉモードメールを他社携帯電話に送信すると、自動的に受信側の類似絵文字に変換されます。ただし、受信側の携帯電話の機種や機能によって正しく表示されないことや、該当する絵文字がない場合に文字または〓に変換されることがあります。また、受信側がｉモード端末であっても絵文字2の対応機種でない場合は、正しく表示されないことがあります。
- SMSで半角カタカナを使うと、受信側に正しく表示されない場合があります。また、絵文字の は に置き換わります。受信側の端末によっては、 以外は空白に置き換わって表示されます。

記号・かな・英数字読み上げ一覧

音声読み上げの動作を「自動で読み上げ」に設定しているとき（→p.149）に、入力した文字や変換候補一覧の文字を選択した場合の読み上げを記載しています。

● 入力変換して確定したときの読み上げや、カーソルの移動のしかたによって、異なる読み上げを行う場合があります。

■ 全角記号

入力文字	音声読み上げ
、	とーてん
。	くてん
，	こんま
．	ぴりおど
・	なかぐろ
：	ころん
；	せみころん
？	ぎもんふ
！	かんたんふ
゛	だくてん
゜	はんだくてん
´	あくさんてぎゅ
｀	ばっくくおーと
¨	うむらうと
＾	きゃれっと
￣	おーばーらいん
＿	あんだーらいん
ヽ	かたかなくりかえし
ヾ	かたかなだくてんくりかえし
ゝ	かなくりかえし
ゞ	かなだくてんくりかえし
〃	おなじく
仝	どう
々	かんじくりかえし
〆	しめ
〇	ぜろ
ー	ちょーおん
―	だっしゅ
‐	はいふん
／	すらっしゅ

入力文字	音声読み上げ
＼	ばっくすらっしゅ
～	から
∥	にじゅうたてせん
｜	たてせん
…	さんてんりーだー
‥	にてんりーだー
‘	ひだりいんようふ
’	みぎいんようふ
“	ひだりにじゅういんようふ
”	みぎにじゅういんようふ
（	かっこ
）	とじかっこ
〔	きっこうかっこ
〕	とじきっこうかっこ
［	だいかっこ
］	とじだいかっこ
｛	ちゅうかっこ
｝	とじちゅうかっこ
〈	やまかっこ
〉	とじやまかっこ
《	にじゅうやまかっこ
》	とじにじゅうやまかっこ
「	かぎかっこ
」	とじかぎかっこ
『	にじゅうかぎかっこ
』	とじにじゅうかぎかっこ
【	すみつきかっこ
】	とじすみつきかっこ
＋	ぷらす
－	まいなす

入力文字	音声読み上げ
±	ぷらすまいなす
×	かける
÷	わる
＝	いこーる
≠	のっといこーる
＜	しょーなり
＞	だいなり
≦	しょーなりいこーる
≧	だいなりいこーる
∞	むげんだい
∴	ゆえに
♂	おす
♀	めす
°	ど
′	ふん
″	びょー
℃	どしー
￥	えん
＄	どる
¢	せんと
£	ぽんど
％	ぱーせんと
＃	しゃーぷ
＆	あんど
＊	こめじるし
＠	あっとまーく
§	せくしょん
☆	ほし
★	くろぼし
○	まる

入力文字	音声読み上げ
●	くろまる
◎	にじゅーまる
◇	ひしがた
◆	くろひしがた
□	しかく
■	くろしかく
△	さんかく
▲	くろさんかく
▽	さんかく
▼	くろさんかく
※	こめじるし
〒	ゆーびんばんごー
→	みぎやじるし
←	ひだりやじるし
↑	うえやじるし
↓	したやじるし
〓	げたきごー
∈	ぞくする
∋	ふくむ
⊆	ぶぶんしゅうごう
⊇	ぶぶんしゅうごうふくむ
⊂	しんぶぶんしゅうごう
⊃	しんぶぶんしゅうごうふくむ
∪	がっぺー
∩	きょーつー
∧	および
∨	またわ
¬	ひてー
⇒	ならば
⇔	どーち
∀	すべての
∃	ある
∠	かく
⊥	すいちょく
⌒	こ
∂	らうんどでぃー
∇	なぶら
≡	ごーどー
≒	にありーいこーる

入力文字	音声読み上げ
≪	ひじょーにちーさい
≫	ひじょーにおーきい
√	るーと
∽	そーじ
∝	ひれー
∵	なぜならば
∫	いんてぐらる
∬	だぶるいんてぐらる
Å	おんぐすとろーむ
‰	ぱーみる
♯	しゃーぷ
♭	ふらっと
♪	おんぷ
†	だがー
‡	だぶるだがー
¶	だんらくきごー
◯	まる
Α	あるふぁ おおもじ
Β	べーた おおもじ
Γ	がんま おおもじ
Δ	でるた おおもじ
Ε	いぷしろん おおもじ
Ζ	つぇーた おおもじ
Η	いーた おおもじ
Θ	しーた おおもじ
Ι	いおた おおもじ
Κ	かっぱ おおもじ
Λ	らむだ おおもじ
Μ	みゅー おおもじ
Ν	にゅー おおもじ
Ξ	くざい おおもじ
Ο	おみくろん おおもじ
Π	ぱい おおもじ
Ρ	ろー おおもじ
Σ	しぐま おおもじ
Τ	たう おおもじ
Υ	うぷしろん おおもじ
Φ	ふぁい おおもじ
Χ	かい おおもじ

入力文字	音声読み上げ
Ψ	ぷしー おおもじ
Ω	おめが おおもじ
α	あるふぁ
β	べーた
γ	がんま
δ	でるた
ε	いぷしろん
ζ	つぇーた
η	いーた
θ	しーた
ι	いおた
κ	かっぱ
λ	らむだ
μ	みゅー
ν	にゅー
ξ	くざい
ο	おみくろん
π	ぱい
ρ	ろー
σ	しぐま
τ	たう
υ	うぷしろん
φ	ふぁい
χ	かい
ψ	ぷしー
ω	おめが
А	あー おおもじ
Б	べー おおもじ
В	べー おおもじ
Г	げー おおもじ
Д	でー おおもじ
Е	いぇー おおもじ
Ё	よー おおもじ
Ж	じぇー おおもじ
З	ぜー おおもじ
И	いー おおもじ
Й	いくらとかや おおもじ
К	かー おおもじ
Л	える おおもじ

入力文字	音声読み上げ
М	えむ おおもじ
Н	えぬ おおもじ
О	おー おおもじ
П	ぺー おおもじ
Р	える おおもじ
С	えす おおもじ
Т	てー おおもじ
У	うー おおもじ
Ф	えふ おおもじ
Х	はー おおもじ
Ц	つぇー おおもじ
Ч	ちぇー おおもじ
Ш	しゃー おおもじ
Щ	ししゃー おおもじ
Ъ	つぼるでぃーずなーく おおもじ
Ы	いー おおもじ
Ь	みゃーふぃーずなーく おおもじ
Э	えー おおもじ
Ю	ゆー おおもじ
Я	やー おおもじ
а	あー
б	べー
в	べー
г	げー
д	でー
е	いぇー
ё	よー
ж	じぇー
з	ぜー
и	いー
й	いくらとかや
к	かー
л	える
м	えむ
н	えぬ
о	おー
п	ぺー
р	える
с	えす

入力文字	音声読み上げ
т	てー
у	うー
ф	えふ
х	はー
ц	つぇー
ч	ちぇー
ш	しゃー
щ	ししゃー
ъ	つぼるでぃーずなーく
ы	いー
ь	みゃーふぃーずなーく
э	えー
ю	ゆー
я	やー
─	よこけいせん
│	たてけいせん
┌	した みぎけいせん
┐	した ひだりけいせん
┘	うえ ひだりけいせん
└	うえ みぎけいせん
├	たて みぎけいせん
┬	した よこけいせん
┤	たて ひだりけいせん
┴	うえ よこけいせん
┼	たて よこけいせん
━	よこふとけいせん
┃	たてふとけいせん
┏	したふと みぎふとけいせん
┓	したふと ひだりふとけいせん
┛	うえふと ひだりふとけいせん
┗	うえふと みぎふとけいせん
┣	たてふと みぎふとけいせん
┳	したふと よこふとけいせん
┫	たてふと ひだりふとけいせん
┻	うえふと よこふとけいせん
╋	たてふと よこふとけいせん
┠	たてふと みぎけいせん
┯	した よこふとけいせん
┨	たてふと ひだりけいせん

入力文字	音声読み上げ
┷	うえ よこふとけいせん
┿	たて よこふとけいせん
┝	たて みぎふとけいせん
┰	したふと よこけいせん
┥	たて ひだりふとけいせん
┸	うえふと よこけいせん
╂	たてふと よこけいせん
①	まるいち
②	まるに
③	まるさん
④	まるよん
⑤	まるご
⑥	まるろく
⑦	まるなな
⑧	まるはち
⑨	まるきゅー
⑩	まるじゅー
⑪	まるじゅーいち
⑫	まるじゅーに
⑬	まるじゅーさん
⑭	まるじゅーよん
⑮	まるじゅーご
⑯	まるじゅーろく
⑰	まるじゅーなな
⑱	まるじゅーはち
⑲	まるじゅーきゅー
⑳	まるにじゅー
Ⅰ	わん
Ⅱ	つー
Ⅲ	すりー
Ⅳ	ふぉー
Ⅴ	ふぁいぶ
Ⅵ	しっくす
Ⅶ	せぶん
Ⅷ	えいと
Ⅸ	ないん
Ⅹ	てん
㍉	みり
㌔	きろ

入力文字	音声読み上げ
㌢	せんち
㍍	めーとる
㌘	ぐらむ
㌧	とん
㌃	あーる
㌶	へくたーる
㍑	りっとる
㍗	わっと
㌍	かろりー
㌦	どる
㌣	せんと
㌫	ぱーせんと
㍊	みりばーる
㌻	ぺーじ
㎜	みりめーとる
㎝	せんちめーとる
㎞	きろめーとる

入力文字	音声読み上げ
㎎	みりぐらむ
㎏	きろぐらむ
㏄	しーしー
㎡	へーほーめーとる
㍻	へーせー
〝	たてがきにじゅういんよーふ
〟	たてがきとじにじゅういんよーふ
№	なんばー
㏍	けーけー
℡	でんわ
㊤	まるうえ
㊥	まるなか
㊦	まるした
㊧	まるひだり
㊨	まるみぎ
㈱	かっこかぶ
㈲	かっこゆー

入力文字	音声読み上げ
㈹	かっこだい
㍾	めーじ
㍽	たいしょー
㍼	しょーわ
≒	にありーいこーる
≡	ごーどー
∫	いんてぐらる
∮	ふぁい
∑	しぐま
√	るーと
⊥	すいちょく
∠	かく
∟	ちょっかく
⊿	さんかっけー
∵	なぜならば
∩	きょーつー
∪	がっぺー

※ 空白は「くうはく」と読み上げられます。
※ 実際の表示と異なるものがあります。

■ 半角記号

入力文字	音声読み上げ
!	かんたんふはんかく
"	にじゅういんようふはんかく
#	しゃーぷはんかく
$	どるはんかく
%	ぱーせんとはんかく
&	あんどはんかく
'	いんようふはんかく
(	かっこはんかく
)	とじかっこはんかく
*	こめじるしはんかく
+	ぷらすはんかく
,	こんまはんかく
-	まいなすはんかく
.	ぴりおどはんかく

入力文字	音声読み上げ
/	すらっしゅはんかく
:	ころんはんかく
;	せみころんはんかく
<	しょーなりはんかく
=	いこーるはんかく
>	だいなりはんかく
?	ぎもんふはんかく
@	あっとまーくはんかく
[	だいかっこはんかく
¥	えんはんかく
]	とじだいかっこはんかく
^	きゃれっとはんかく
_	あんだーらいんはんかく

入力文字	音声読み上げ
`	ばっくくおーとはんかく
{	ちゅうかっこはんかく
|	たてせんはんかく
}	とじちゅうかっこはんかく
~	おーばーらいんはんかく
｡	くてんはんかく
｢	かぎかっこはんかく
｣	とじかぎかっこはんかく
､	とーてんはんかく
･	なかぐろはんかく
ｰ	ちょーおんはんかく
ﾞ	だくてんはんかく
ﾟ	はんだくてんはんかく

※ 空白は「くうはくはんかく」と読み上げられます。
※ 実際の表示と異なるものがあります。

：半角数字入力モードでは、「#」は「しゃーぷ」、「＊」は「こめじるし」と読み上げられます。

■ かな（特種のみ）

入力文字	音声読み上げ（半角）	音声読み上げ（全角）
ぁ	—	あ こもじ
ぃ	—	い こもじ
ぅ	—	う こもじ
ぇ	—	え こもじ
ぉ	—	お こもじ
っ	—	つ こもじ

入力文字	音声読み上げ（半角）	音声読み上げ（全角）
ゃ	—	や こもじ
ゅ	—	ゆ こもじ
ょ	—	よ こもじ
ゎ	—	わ こもじ
ゐ	—	わぎょうのい
ゑ	—	わぎょうのえ

■ カナ（カタカナ）

入力文字	音声読み上げ（半角）	音声読み上げ（全角）
ｧ	あ こもじはんかく	あ こもじぜんかく
ｱ	あ はんかく	あ ぜんかく
ｨ	い こもじはんかく	い こもじぜんかく
ｲ	い はんかく	い ぜんかく
ｩ	う こもじはんかく	う こもじぜんかく
ｳ	う はんかく	う ぜんかく
ヴ	—	う゛ ぜんかく
ｪ	え こもじはんかく	え こもじぜんかく
ｴ	え はんかく	え ぜんかく
ｫ	お こもじはんかく	お こもじぜんかく
ｵ	お はんかく	お ぜんかく
ヵ	—	か こもじぜんかく
ｶ	か はんかく	か ぜんかく
ガ	—	が ぜんかく
ｷ	き はんかく	き ぜんかく
ギ	—	ぎ ぜんかく
ｸ	く はんかく	く ぜんかく
グ	—	ぐ ぜんかく
ヶ	—	け こもじぜんかく
ｹ	け はんかく	け ぜんかく
ゲ	—	げ ぜんかく
ｺ	こ はんかく	こ ぜんかく
ゴ	—	ご ぜんかく
ｻ	さ はんかく	さ ぜんかく
ザ	—	ざ ぜんかく
ｼ	し はんかく	し ぜんかく
ジ	—	じ ぜんかく

入力文字	音声読み上げ（半角）	音声読み上げ（全角）
ｽ	す はんかく	す ぜんかく
ズ	—	ず ぜんかく
ｾ	せ はんかく	せ ぜんかく
ゼ	—	ぜ ぜんかく
ｿ	そ はんかく	そ ぜんかく
ゾ	—	ぞ ぜんかく
ﾀ	た はんかく	た ぜんかく
ダ	—	だ ぜんかく
ﾁ	ち はんかく	ち ぜんかく
ヂ	—	ぢ ぜんかく
ｯ	つ こもじはんかく	つ こもじぜんかく
ﾂ	つ はんかく	つ ぜんかく
ヅ	—	づ ぜんかく
ﾃ	て はんかく	て ぜんかく
デ	—	で ぜんかく
ﾄ	と はんかく	と ぜんかく
ド	—	ど ぜんかく
ﾅ	な はんかく	な ぜんかく
ﾆ	に はんかく	に ぜんかく
ﾇ	ぬ はんかく	ぬ ぜんかく
ﾈ	ね はんかく	ね ぜんかく
ﾉ	の はんかく	の ぜんかく
ﾊ	は はんかく	は ぜんかく
バ	—	ば ぜんかく
パ	—	ぱ ぜんかく
ﾋ	ひ はんかく	ひ ぜんかく
ビ	—	び ぜんかく
ピ	—	ぴ ぜんかく
ﾌ	ふ はんかく	ふ ぜんかく
ブ	—	ぶ ぜんかく
プ	—	ぷ ぜんかく
ﾍ	へ はんかく	へ ぜんかく

入力文字	音声読み上げ（半角）	音声読み上げ（全角）
ベ	—	べ ぜんかく
ペ	—	ぺ ぜんかく
ホ	ほ はんかく	ほ ぜんかく
ボ	—	ぼ ぜんかく
ポ	—	ぽ ぜんかく
マ	ま はんかく	ま ぜんかく
ミ	み はんかく	み ぜんかく
ム	む はんかく	む ぜんかく
メ	め はんかく	め ぜんかく
モ	も はんかく	も ぜんかく
ャ	や こもじはんかく	や こもじぜんかく
ヤ	や はんかく	や ぜんかく
ュ	ゆ こもじはんかく	ゆ こもじぜんかく
ユ	ゆ はんかく	ゆ ぜんかく
ョ	よ こもじはんかく	よ こもじぜんかく

入力文字	音声読み上げ（半角）	音声読み上げ（全角）
ヨ	よ はんかく	よ ぜんかく
ラ	ら はんかく	ら ぜんかく
リ	り はんかく	り ぜんかく
ル	る はんかく	る ぜんかく
レ	れ はんかく	れ ぜんかく
ロ	ろ はんかく	ろ ぜんかく
ヮ	—	わ こもじぜんかく
ワ	わ はんかく	わ ぜんかく
ヰ	—	わぎょうのい ぜんかく
ヱ	—	わぎょうのえ ぜんかく
ヲ	を はんかく	を ぜんかく
ン	ん はんかく	ん ぜんかく

■ 英字

入力文字	音声読み上げ（半角）	音声読み上げ（全角）
a	えー	えー ぜんかく
b	びー	びー ぜんかく
c	しー	しー ぜんかく
d	でぃー	でぃー ぜんかく
e	いー	いー ぜんかく
f	えふ	えふ ぜんかく
g	じー	じー ぜんかく
h	えっち	えっち ぜんかく
i	あい	あい ぜんかく
j	じぇー	じぇー ぜんかく
k	けー	けー ぜんかく
l	える	える ぜんかく
m	えむ	えむ ぜんかく
n	えぬ	えぬ ぜんかく
o	おー	おー ぜんかく
p	ぴー	ぴー ぜんかく
q	きゅー	きゅー ぜんかく
r	あーる	あーる ぜんかく
s	えす	えす ぜんかく
t	てぃー	てぃー ぜんかく
u	ゆー	ゆー ぜんかく
v	ぶい	ぶい ぜんかく

入力文字	音声読み上げ（半角）	音声読み上げ（全角）
w	だぶりゅー	だぶりゅー ぜんかく
x	えっくす	えっくす ぜんかく
y	わい	わい ぜんかく
z	ぜっと	ぜっと ぜんかく
A	えー おおもじ	えー おおもじぜんかく
B	びー おおもじ	びー おおもじぜんかく
C	しー おおもじ	しー おおもじぜんかく
D	でぃー おおもじ	でぃー おおもじぜんかく
E	いー おおもじ	いー おおもじぜんかく
F	えふ おおもじ	えふ おおもじぜんかく
G	じー おおもじ	じー おおもじぜんかく
H	えっち おおもじ	えっち おおもじぜんかく
I	あい おおもじ	あい おおもじぜんかく

入力文字	音声読み上げ（半角）	音声読み上げ（全角）
J	じぇー おおもじ	じぇー おおもじぜんかく
K	けー おおもじ	けー おおもじぜんかく
L	える おおもじ	える おおもじぜんかく
M	えむ おおもじ	えむ おおもじぜんかく
N	えぬ おおもじ	えぬ おおもじぜんかく
O	おー おおもじ	おー おおもじぜんかく
P	ぴー おおもじ	ぴー おおもじぜんかく
Q	きゅー おおもじ	きゅー おおもじぜんかく
R	あーる おおもじ	あーる おおもじぜんかく

入力文字	音声読み上げ（半角）	音声読み上げ（全角）
S	えす おおもじ	えす おおもじぜんかく
T	てぃー おおもじ	てぃー おおもじぜんかく
U	ゆー おおもじ	ゆー おおもじぜんかく
V	ぶい おおもじ	ぶい おおもじぜんかく
W	だぶりゅー おおもじ	だぶりゅー おおもじぜんかく
X	えっくす おおもじ	えっくす おおもじぜんかく
Y	わい おおもじ	わい おおもじぜんかく
Z	ぜっと おおもじ	ぜっと おおもじぜんかく

■ 数字

入力文字	音声読み上げ（半角）	音声読み上げ（全角）
0	ぜろ	ぜろ ぜんかく
1	いち	いち ぜんかく
2	に	に ぜんかく
3	さん	さん ぜんかく
4	よん	よん ぜんかく
5	ご	ご ぜんかく

入力文字	音声読み上げ（半角）	音声読み上げ（全角）
6	ろく	ろく ぜんかく
7	なな	なな ぜんかく
8	はち	はち ぜんかく
9	きゅー	きゅー ぜんかく

※ 変換候補一覧で数字を選択している場合は、表に記載の音声読み上げの前に「すうじの」と読み上げます。たとえば、「ぜろぜんかく」は「すうじのぜろぜんかく」と読み上げます。

顔文字読み上げ一覧

ひらがな／漢字入力モードで読みを入力して変換してください。→p.407
音声読み上げの動作を「自動で読み上げ」に設定しているとき（→p.149）に、顔文字を入力変換して確定した場合の読み上げを記載しています。

● 変換候補一覧で選択しているときや、カーソルの移動のしかたによって、異なる読み上げを行う場合があります。

読　み	変　換	音声読み上げ
かお、ばい、あいさつ	(^-^)/~~	ばい
かお、ばいばい、あいさつ	(＾ ＾)ﾉｼ	ばいばい
ばいばい、あいさつ	(^_^)/~	ばいばい
ばいばい、あいさつ	ヾ (^_^) byebye!!	ばいばい
おーい、じゃあ、どーも、よろしく、あいさつ	(^^)/	おーい
おーい、じゃあ、どーも、よろしく、あいさつ	(^-^)/	おーい
ばいばい、あいさつ	(^^)/~~~	ばいばい
おーい、あいさつ	(^_^)/	おーい
にこっ、あいさつ	(〃⌒ー⌒〃) ∫゛	にこっ
やぁ、あいさつ	～('-'*)	やぁ
ちわっ、あいさつ	(*^-^)ノ	ちわっ
おはよう、あいさつ	ヾ (´ ω ` ＝ ´ ω `) ノ	おはよう
ぐっ、ぐー、へんじ	(o^-')b	ぐー
ぐっ、ぐー、へんじ	(≧ ω ≦) b	ぐー
はい、へんじ	(・ ∀ ・ ∩)	はい
かお、おっけー、へんじ	('-^*)ok	おっけー
かお、りょうかい、へんじ	(` _ ´) ゞ了解！	りょうかい
かお、やあ、あいさつ	(｡･_･｡)ノ	やあ
かお、やあ、あいさつ	(=゜ ω゜)ノ	やあ
かお、にこっ、わらう	(^-^)	にこっ
かお、にこっ、うれしい	(^-^)v	ぴーす
かお、うほほ、にこっ、わーい、うれしい	(^o^)	わーい
かお、うきうき、うれしい	o(^o^)o	うきうき
かお、にこっ、うれしい	(o^_^o)	ぽっ
かお、にこっ、うれしい	(*^_^*)	にこっ
かお、きたー、にこっ、わらう	(･∀･)	きたー
かお、わーい、うれしい	ヾ (^▽^)ノ	わーい
かお、わーい、うれしい	ヽ (´ ー `) ノ	ふっ
かお、にこっ、うれしい	(*⌒▽⌒*)	わーい
きらーん、うれしい	(☆▽☆)	きらーん
やったね、ぴーす、にこっ、ぶい、うれしい	(^^)v	ぴーす
にこっ、うれしい	(=⌒ー⌒=)	にこっ
かお、にこっ、うれしい	(´ ∀ `)	にこっ
かお、うれしい	(≧ ∀ ≦)	うれしい
にこっ、すまいる、わらう	:)	にこっ
ぴーす、うれしい	V(^0^)	ぴーす

読　み	変　換	音声読み上げ
ちゅっ、にこっ、わらう	(^３^)/ﾁｭｯ	ちゅっ
わくわく、うれしい	((o(^-^)o))	わくわく
にこっ、わらう	(^^)	にこっ
いえい、ぶい、ぴーす、うれしい	v(^o^)	ぴーす
やったね、ぴーす、にこっ、ぶい、うれしい	(^_^)v	ぴーす
にこっ、わらう	(^・^)	にこっ
わーい、わらう	(^O^)	わーい
おーい、はーい、わらう	(^O^)/	おーい
やったね、ぴーす、にこっ、ぶい、わらう	(^O^)v	ぴーす
ほっぺがおちる、わらう	)^o^(	わーい
わーい、わらう	＼(^o^)／	ばんざーい
にこっ、すまいる、わらう	:-)	にこっ
きゃー、うれしい	ヽ(≧▽≦)/	うれしい
ぐー、うれしい	d=(^o^)=b	ぐー
きゃー、うれしい	ε＝ヾ(*˜▽˜)ノ	きゃー
うれしい	(@^O^@)	うれしい
むふふ、うれしい	(´艸`)	むふふ
かお、あいた、いたい、いてー、ひぇー、なく	(>_<)	いたっ
かお、うるうる、なく	(T^T)	えーん
かお、しくしく、なく	(T_T)	しくしく
かお、しくしく、なく	(/_;)	しくしく
かお、びくっ、かなしい	(+_+)	びくっ
かお、がっくり、かなしい	(x_x;)	いたっ
かお、くすん、なく	(/_・、)	くすん
かお、ぐすん、なく	(つд｀)	ぐすん
かお、がっくし、かなしい	○｜￣｜＿	がっくし
かお、しょぼん、かなしい	(´・ω・｀)	しょぼん
しくしく、なく	(;O;)	しくしく
かお、なく	(>_<。)	いたっ
しくしく、なく	(;_;)	しくしく
なき、うるうる、なく	(T-T)	えーん
なき、うるうる、なく	(TOT)	うるうる
いたい、なく	(ﾉ_・。)	なく
なく、かなしい	:<	かなしい
かお、なき、ぐすん、なく	(；´д⊂)	ぐすん
えーん、なく	° ・(ノД`)・° ・	えーん
かお、こら、ごるあ、ごるぁ、おこる	ヽ(*｀Д´)ノ	こら
かお、ぱんち、おこる	o-_-)=○☆	ぱんち
かお、ちゃぶだい、おこる	(ノ-"-)ノ˜┻━┻	かえれー
こらっ、おこる	(-_-#)	ぴくっ
ふまん、おこる	:-(	ふまん
こら、おこる	Ψ(｀◇´)Ψ	こら
こらっ、おこる	(ノ｀△´)ノ	こらっ
ぷんぷん、むかっ、おこる	(●｀ε´●)	むかっ
かお、ぽりぽり、てれる	(^^ゞ	ぽりぽり

読　み	変　換	音声読み上げ
かお、てへ、てれる	f(^_^)	ぽりぽり
にこっ、ぽっ、てれる	(#^.^#)	にこっ
えへっ、てれる	(*^.^*)	えへっ
てれ、てれる	(//▽//)	てれ
てへっ、てれる	(*'-')	てへっ
てへっ、てれる	(=°　ω°　=)	てへっ
かお、こまる、てれ、てれる	(*´　д　`*)	てれ
てへっ、てれる	:p	てへっ
うふふ、てれる	('∇')	うふふ
かお、びくっ、おどろき	(*_*)	びくっ
かお、めがてん、おどろき	(・・?	めがてん
かお、めがてん、おどろき	(・・;)	めがてん
かお、うーん、おどろき	(°-°)	ほけー
かお、びくっ、おどろき	(@_@)	びくっ
かお、ぎくっ、おどろき	(--;)	ぎくっ
かお、きらーん、おどろき	(-_☆)	きらーん
がーん、おどろき	(￣□￣;)!!	あせ
かお、ぽかーん、おどろき	(°　o°　；)	ぽかーん
かお、びっくり、がーん、ぎく、おどろき	Σ(￣□￣)！	がーん
えっ、おどろき	(￣◇￣;)	えっ
えっ、おどろき	ヽ（°　□°　；）ノ	えっ
えっ、おどろき	(;°　□°　)	えっ
かお、がくがく、おどろき	((((°　д°　;))))	がくがく
かお、ぎくっ、てつや、おどろき	(=_=;)	てつや
めがてん、おどろき	(・.・;)	めがてん
ぎくっ、ぎょ、おどろき	(°o°)	ほけー
ぎくっ、ぎょ、おどろき	(°o°;	ぎくっ
びくっ、ぎょっ、おどろき	(@_@。	びくっ
かお、ぽかーん、おどろき	(°Д°)	ぽかーん
うーん、おどろき	(°_°)	うーん
めがてん、おどろき	(・。・;	めがてん
めがてん、おどろき	(・_・)	めがてん
めがてん、おどろき	(・_・;	めがてん
めがてん、おどろき	(・o・)	めがてん
おおー、びっくり、おどろき	(°o°)/	びっくり
ぎくっ、おどろき	(°o°;;	ぎくっ
がーん、おどろき	Σ(°□°;)	がーん
かお、ぎくっ、あせ、あせり	(^^;)	あせ
かお、なぜ、ぎもん	(?_?)	なぜ
ぎくっ、あせ、あせり	(-_-;)	じとっ
ばたばた、ぎもん	w=(°o°)=w	ばたばた
かお、えっ、ぎもん	σ(^_^；)？	あせ
かお、じー、ぎもん	(;¬_¬)ｼﾞｰ	じー
かお、あたふた、あせり	O(><;)(;><)O	ひえー
かお、あたふた、あせり	(°　Д°　；≡；°　Д°　)	あたふた

読　み	変　換	音声読み上げ
ぎくっ、あせり	^^;	あせあせ
ぎくっ、あせ、あせり	(^^;;	あせあせ
かお、ぎくっ、あせ、あせり	(^_^;)	あせあせ
ぎくっ、あせ、あせり	(^-^;	あせ
ぎくっ、あせ、あせり	(~_~;)	ほへー
ぎくっ、あせ、ぎもん	(¥_¥;	ぎくっ
びくっ、あせり	(*_*;	びくっ
ぎくっ、あせ、あせり	^_^;	あせあせ
ぎくっ、なぜ、ぎもん	(?_?;	ぎくっ
にげる、あせり	ε＝┌(・_・)┘	にげる
ぎくっ、あせ、えっ、あせり	(°　∇°　;)	ぎくっ
じたばた、あせり	((○(>_<)○))	じたばた
ぎくっ、あせ、あせり	(;°　O°　)	ぎくっ
うたう	(~▽~@)♪♪♪	うたう
かお、りょうかい、おっけー、らじゃ	('◇')ゞ	りょうかい
かお、ぺこり	m(_ _)m	ぺこり
ぺこり	_(._.)_	ぺこり
ありがと、おねがい、ごめん、ぺこり	<(_ _)>	ぺこり
いそぐ、にげる	≡≡≡ヘ(*--)ノ	にげる
こそこそ	(^_^;))))))ｺｿｺｿ…	こそこそ
かお、がんばれ、ふぁいと	p(^-^)q	ふぁいと
ういんく	;)	ういんく
かお、ういんく	(^_-)	ういんく
いい	(・ ∀ ・)イイ	いい
かんしゃ、ありがとう	(^人^)	ごめん
ぴんぽーん	!(^^)!	ぴんぽーん
かお、よしよし、おい	ヽ(^^)	よしよし
かお、ぷっ	(*≧m≦*)	ぷっ
げっつ	(σ・∀・)σ	げっつ
かお、にやり	(￣ー￣)	にやり
どうぞ	(　・ ∀ ・)つ	どうぞ
どうぞ、おちゃ	(^-^)_旦～	おちゃ
きて、かもん、おいで	(ﾟДﾟ　□°　)ﾟДﾟ	おいで
くちぶえ	♪～(￣ε￣)	くちぶえ
たばこ	(￣。￣)y-～～	たばこ
しゃきーん	(｀ ・ ω ・ ´)	しゃきーん
せーふ	⊂(・ ∀ ・)⊃	せーふ
かお、いっぷく	(-.-;)y-~~~	いっぷく
かお、いっぷく	(-。-)y-°°°	いっぷく
うまい、たべる	(￣～￣)	うまい
おねがい	(￣人￣)	おねがい
かんぱい、なかま、たっち	(^-^)人(^-^)	なかま
かお、よしよし	(i_i)＼(^_^)	よしよし
つんつん	(^▽^)σ)~O~)	つんつん
たすけて	～～(m ´ Д ｀)m	たすけて

読　み	変　換	音声読み上げ
いひひ	～～(m｀∀´)m	いひひ
かお、めもめも、かきかき	φ(._.)ﾒﾓﾒﾓ	めもめも
もしもし	(°∇^)] ﾓｼﾓｼ	もしもし
あーん	(´□`)	あーん
やれやれ	┐(￣∇￣;)┌	やれやれ
はぁ、ためいき	(´へ`;)	ためいき
ためいき	(；-_-)=3	ためいき
かお、うーん	(-"-;)	うーん
ふふん、じまん	(´ー`)	ふっ
よだれ	(´¬`)	よだれ
ふっ	(￣ー＋￣)ﾌｯ	ふっ
ほへー	(~_~)	ほへー
ほへー	(~o~)	ほへー
かお、むしめがね	(p_-)	むしめがね
かお、じとっ	(-_-)	じとっ
じとっ	(-.-)	じとっ
かお、ちちち	(-.-")凸	ちっちっち
どれどれ	(..)	うーん
ちらっ	[壁]_-)	ちらっ
いたい	(+。+)	いたい
かお、ねてる、ねる	(-_-)zzz	ぐーぐー
ねむい	(_ _).oO	ねる
かお、ふーん	(´_ゝ`)	ふーん
ねむい	(UoU)	ねむい
くま	(^(I)^)	くま
かお、いぬ	U^I^U	いぬ
ぽい	ﾎﾟｲｯ(-__-)ノ⌒	ぽい
よだれ	ヽ(ﾟ▽、ﾟ)ノ	よだれ
さかな	＞ﾟ))))彡	さかな

※「かお」は「かおもじ」と入力しても変換できます。
※ 実際の表示と異なるものがあります。

定型文一覧

■ 挨拶・連絡（29件）

ＯＫです。	ＮＧです。	おはようございます。
こんにちは。	こんばんは。	おやすみなさい。
ご無沙汰しております。	さようなら。	お疲れさま。
ありがとうございました。	ごめんなさい。	いってらっしゃい。
おまかせします。	お待ちしています。	すぐ行きます。
お休みします。	遅れます。	あとで連絡します。
先に行きます。	戻ってきます。	出席します。
欠席します。	再開します。	すぐに戻って下さい。
もう少し待って下さい。	すぐ連絡下さい。	迎えに来て下さい。
先に行って下さい。	今どこにいますか？	

■ ビジネス（16件）

○○の件、よろしくお願い致します。	待ち合わせの変更です。場所は○○です。時間は○○時です。
○○の件、確認しました。	予定変更です。至急電話下さい。
○○時頃まで携帯電話の電源を切ります。	○○時頃出社します。
直行します。	直帰します。
本日の会議は、○○となりました。	本日のご訪問は、○○となりました。
ＦＡＸを確認して下さい。	ご報告致します。
お知らせします。	よろしくお伝えください。
ご伝言をお願い致します。	いつもお世話になっております。

■ 絵文字入り（15件）

【おはよう】おはよう今日も一日頑張りましょう！
【おやすみ】おやすみなさいまた明日ねzzz
【楽しかったよ】今日はとっても楽しかったよ。ありがとう
【元気？】お元気ですか？ご無沙汰しております
【遅れます】ごめんなさい遅れます。あと○○分くらいで着きます。
【外食して帰る】今日は外で食べて帰りますご飯はいりません。
【誕生日】HAPPY BIRTHDAY！お誕生日おめでとう
【アドレス変更】アドレス変更しました。新アドレスは @docomo.ne.jpです。電話帳を変更してください。番号は変わりません。
【乗車中です】すみません。今、電車に乗っているため電話に出られません。降りたら折り返し連絡します
【今から帰る】今、終わりましたこれから帰ります
【洗濯物】雨が降りそうです。洗濯物を取りこんでおいてください
【今夜の夕食】今から買い物して帰ります今夜の夕食は何がいいですか？
【ビデオ録画】○○時から○○チャンネルで放送する○○をビデオ録画しておいてください
【帰ってきなさい】今、どこに居るんですか!?遅くならないうちに帰ってきなさい
【お届けもの】今日○○を送っておきました。届いたら連絡ください

※ 先頭に表示される【xxx】は入力されません。

■ 顔文字（15件）

(^^)	(^^;	(; ;)	(-_-)	(^_^)/
(^_^)V	m(__)m	＼(^_^)／	(*_*)	(?_?)
(˙.˙)	(..)	(>_<)	(@_@)	o(^-^)o

※ 実際の表示と異なるものがあります。

■ 文例集（16件）

【寒中見舞い】寒さ厳しき折、お変わりございませんか。ご自愛なさいますようお祈り申し上げます。
【暑中見舞い】暑中お見舞い申し上げます。時節柄、ご健康には十分ご留意のうえご活躍くださいますよう心から祈念致しております。
【御礼】時下益々ご盛栄のこととお慶び申し上げます。この度はご丁寧なお心遣いをいただき、厚く御礼申し上げます。
【残暑見舞い】残暑お見舞い申し上げます。残暑ことのほか厳しい折柄、皆様のご健康をお祈り申し上げます。
【結婚祝い】時下益々ご清栄のこととお慶び申し上げます。この度はご結婚おめでとうございます。お二人の門出を心より祝福申し上げます。
【出産祝い】時下益々ご清祥のこととお慶び申し上げます。この度はご出産おめでとうございます。お子様の壮健なご成長を祈念致します。
【入学祝い】ご入学おめでとうございます。充実した学生生活を送り、さらに大きく飛躍されることをお祈り致します。
【卒業祝い】ご卒業おめでとうございます。新しい人生の門出を心よりお祝い申し上げます。
【就職祝い】ご就職おめでとうございます。ご健康に留意され、ご活躍を心よりお祈り申し上げます。
【病気見舞い】お体の具合はいかがでしょうか。一日も早いご回復をお祈り申し上げます。
【転居案内】転居のご案内を申し上げます。住所、電話番号などは改めてお知らせ致します。取り急ぎご連絡まで。
【詫状】この度は多大なご迷惑をおかけし、誠に申し訳ございません。何卒ご寛容の上、引続きご愛顧賜りますようお願い申し上げます。
【誕生日祝い】心から○○様のお誕生日をお祝い致しますとともに、今後のご健康とご繁栄を祈念致します。
【成功祝い】ご成功の報に接し、心よりお祝い申し上げますとともに、今後益々のご活躍を祈念致します。
【就任祝い】この度のご就任、心からお喜び申し上げます。今後益々のご健勝とご隆盛をお祈り致します。
【人事異動通知】この度弊社の人事異動により○○へ異動となりました。今後ともご指導ご鞭撻の程、宜しくお願い致します。

※ 先頭に表示される【xxx】は入力されません。

■ アドレス・データ形式（9件）

http://www.	@docomo.ne.jp	.com	.ne.jp
.co.jp	.or.jp	.go.jp	.ac.jp
.html			

■ ユーザ作成（最大50件）

登録した定型文が表示されます。

マルチアクセスの組み合わせについて

現在実行中の動作ごとに発生、実行する処理の動作可否を次に示します。

- ｉモード中（ｉモード接続）は、ｉチャネル（情報の受信を除く）、データ放送サイトでの通信を含みます。
- ｉモードメール受信は、メッセージR/F、ｉチャネルの情報の受信を含みます。

○：新たに実行できます。
△：条件により新たに実行できます。
×：新たに実行できません。

実行する通信 / 現在の通信状態	音声電話		テレビ電話		ｉモード	ｉモードメール	
	発信	着信	発信	着信	接続	送信	受信
音声電話中	△※1	△※1、2、3	×	△※2、3、4	×	○※5、6	○※7
テレビ電話中	×	△※2、3、4	×	△※2、3、4	×	×	×
ｉモード中	△※10、11	○	△※11、12	△※13	△※14	○※15	○※7
パソコンとつないだパケット通信中	△※10	○	×	△※9、17	×	×	×
64Kデータ通信中	×	△※2、3、18	×	△※2、3、4	×	×	×

実行する通信 / 現在の通信状態	SMS		パソコンとつないだパケット通信		64Kデータ通信	
	送信	受信	発信	着信	発信	着信
音声電話中	○※5	○※7	○	○	×	△※3、8、9
テレビ電話中	×	○※7	×	×	×	△※3、8、9
ｉモード中	△※16	○※7	×	×	×	△※8、9
パソコンとつないだパケット通信中	△※16	○※7	×	×	×	△※8、9
64Kデータ通信中	×	○※7	×	×	×	△※8、9

※1 キャッチホンをご利用の場合は、通話中に別の相手に電話をかけたり受けたりできます。
※2 留守番電話サービスまたは転送でんわサービスをご利用の場合は、各サービスで対応できます。
※3 通話中着信設定を開始に設定している場合、通話中着信動作選択の設定に従います。
※4 キャッチホンを開始に設定している場合、不在着信として記録されます。
※5 電話帳、個人情報からメールを作成・送信できます。
※6 サブメニューから通話中の相手に位置情報を送信できます。
※7 着信音は鳴りません。
※8 転送でんわサービスを開始に設定し、呼出時間を「0秒」に設定している場合は、転送でんわサービスで対応できます。
※9 不在着信として記録されます。
※10 平型スイッチ付イヤホンマイク（別売）を使用して音声電話をかけることができます。
※11 Phone To機能を使用して電話をかけることができます。
※12 ｉモードが切断されます。
※13 パケット通信中着信設定の設定に従います。
※14 データ放送サイトの接続のみ可能です。
※15 位置情報を選択、Mail To機能、サブメニューからｉモードメールを作成・送信できます。
※16 音声電話中のみ電話帳、個人情報からSMSを作成・送信できます。

※17 留守番電話サービスまたは転送でんわサービスを開始に設定し、呼出時間を「0秒」に設定している場合は各サービスで対応できます。

※18 キャッチホンを開始に設定している場合、現在の通信を終了して電話を受けるか、着信を拒否するかなどを選択できます。

FOMA端末から利用できるサービス

FOMA端末から利用できるサービス	電話番号
番号案内サービス（有料：案内料＋通話料）（電話番号の案内を希望されないお客様については案内しておりません）	（局番なし）104
電報の発信（有料：電報料）	（局番なし）115
時報サービス（有料）	（局番なし）117
天気予報（有料）	知りたい地域の市外局番＋177
警察への緊急通報	（局番なし）110
消防・救急への緊急通報	（局番なし）119
海上で事件・事故が起きたときの緊急通報	（局番なし）118
災害用伝言ダイヤル（有料）	（局番なし）171
コレクトコール（有料：案内料＋通話料）	（局番なし）106

お知らせ

● 番号案内（104）をご利用の際には、案内料100円（税込105円）に加えて通話料がかかります。また、目や上肢などの不自由な方には、無料でご案内をしております。詳細は一般電話から116番（NTT営業窓口）までお問い合わせください（2008年4月現在）。

● 本FOMA端末は、「緊急通報位置通知」に対応しております。110番、119番、118番などの緊急通報をおかけになった場合、発信場所の情報（位置情報）が自動的に警察機関などの緊急通報受理機関に通知されます。お客様の発信場所や電波の受信状況により、緊急通報受理機関が正確な位置を確認できないことがあります。位置情報を通知した場合には、待受画面に通報した緊急通報受理機関の名称が表示されます。
なお、「184」を付加してダイヤルするなど、通話ごとに非通知とした場合は、位置情報と電話番号は通知されませんが、緊急通報受理機関が人命の保護等の事由から必要であると判断した場合は、お客様の設定によらず、機関側が位置情報と電話番号を取得することがございます。また、「緊急通報位置通知」の導入地域／導入時期については、各緊急通報受理機関の準備状況により異なります。

● FOMA端末から110番、119番、118番通報の際は、警察、消防機関側から確認などの電話をする場合があるため、携帯電話からかけていることと、電話番号を伝えてから、明確に現在地を伝えてください。また、通報は途中で通話が切れないように移動せず通報し、通報後はすぐに電源を切らず10分程度は着信のできる状態にしておいてください。

● おかけになった地域により、管轄の消防署、警察署に接続されない場合があります。接続されない場合は、お近くの公衆電話または一般電話からおかけください。

● コレクトコール（106）をご利用の際には、電話を受けた方に、通話料と1回の通話ごとの取扱手数料90円（税込94.5円）がかかります（2008年4月現在）。

● 一般電話の転送電話をご利用のお客様で、転送先を携帯電話に指定した場合、一般電話または携帯電話の設定によって携帯電話が通話中、サービスエリア外および電源を切っているときでも、発信者には呼出音が聞こえることがあります。

● 116番（NTT営業窓口）、ダイヤルQ2、伝言ダイヤル、クレジット通話などのサービスはご利用できませんのでご注意ください。ただし、一般電話または公衆電話からFOMA端末へおかけになる際の自動クレジット通話は利用できます。

オプション・関連機器のご紹介

FOMA端末にさまざまな別売りのオプション品を組み合わせることで、パーソナルからビジネスまでさらに幅広い用途に対応できます。なお、地域によってお取り扱いしていない商品もあります。詳細はドコモショップなどの窓口にお問い合わせください。また、オプション品の詳細は各機器の取扱説明書などをご覧ください。

- FOMA ACアダプタ 01／02※1
- FOMA DCアダプタ 01／02
- FOMA 乾電池アダプタ 01
- FOMA 補助充電アダプタ 01
- 車載ハンズフリーキット 01※2
- FOMA車載ハンズフリー接続ケーブル 01
- 電池パック F11
- 車内ホルダ 01
- 卓上ホルダ F25
- リアカバー F28
- キャリングケースL 01
- FOMA USB接続ケーブル※3
- FOMA 充電機能付USB接続ケーブル 01※3／02※3
- 平型スイッチ付イヤホンマイク P01／P02
- 平型ステレオイヤホンセット P01
- イヤホンジャック変換アダプタ P001
- スイッチ付イヤホンマイク P001※4／P002※4
- ステレオイヤホンセット P001※4
- イヤホンターミナル P001※4
- FOMA 海外兼用ACアダプタ 01※1
- 骨伝導レシーバマイク 01
- FOMA 室内用補助アンテナ※5
- FOMA 室内用補助アンテナ（スタンドタイプ）※5

※1 ACアダプタの充電方法について→p.39
※2 F884iをUSB接続／充電するには、FOMA車載ハンズフリー接続ケーブル 01が必要です。
※3 USB HUBを使用すると、正常に動作しない場合があります。
※4 F884iと接続するには、イヤホンジャック変換アダプタ P001が必要です。
※5 日本国内で使用してください。

FOMA端末と外部機器とのデータ連携

動画を外部機器から取り込んでFOMA端末で再生する

パソコンなどの外部機器で作成した動画（MP4形式）をmicroSDメモリーカードに保存することで、FOMA端末で再生できます。

- microSDメモリーカード内の動画を再生する→p.363
- 再生可能なMP4形式→p.348

※ 対応外部機器については、次のホームページをご覧ください。
　パソコンから
　FMWORLD（http://www.fmworld.net/）→携帯電話→動画再生機能の対応状況

- microSDメモリーカード内の動画を再生するには、FOMA FシリーズSDユーティリティなどを使って決められたフォルダに保存します。
  microSDメモリーカードのフォルダ構成→p.357
  microSDメモリーカードの情報更新→p.360

※ FOMA FシリーズSDユーティリティについては、次のホームページをご覧ください。
　パソコンから
　FMWORLD（http://www.fmworld.net/）→携帯電話→データリンクソフト

FOMA端末で撮影したビデオをパソコンなどで再生する

FOMA端末で撮影したビデオ（MP4形式）をmicroSDメモリーカードやメール添付などでデータ転送し、パソコンで再生できます。

- FOMA端末で撮影した動画→p.160

動画再生ソフトのご紹介

パソコンで動画（MP4形式）を再生するには、アップルコンピュータ株式会社のQuickTime Player（無料）ver.6.4以上（またはver.6.3＋3GPP）が必要です。
QuickTime Playerは、次のホームページからダウンロードできます。
http://www.apple.com/jp/quicktime/download/

- ダウンロードするには、インターネットと接続した環境のパソコンが必要です。また、ダウンロードにあたっては別途通信料がかかります。
- 動作環境、ダウンロード方法、操作方法など詳細は上記ホームページをご覧ください。

ドットパターン対応メールアプリケーションを利用する

外部機器を接続して携帯電話を操作する

外部接続端子に接続した外部機器と機器に対応したｉアプリを使用してFOMA端末を操作することができます。

操作支援用外部機器のご紹介

ドットパターン対応メールアプリケーション（ダウンロードが必要）、専用のペン型スキャナー（市販品）およびそれに対応する冊子（市販品）により、冊子に記載されている絵をペン型スキャナーで読み取ることで、簡単にメール作成などができます。
詳細についてはパソコンから下記のドコモホームページ、または「ユニバーサルデザインへの取組み」をご覧ください。

- らくらくホン プレミアム製品詳細ホームページ
  http://www.nttdocomo.co.jp/product/easy_phone/premium/index.html
  （2008年4月現在）

故障かな？と思ったら、まずチェック

まず初めに、ソフトウェアを更新する必要があるかをチェックしていただき、必要な場合にはソフトウェアを更新してください。→p.498

■ 電源・充電関連

● FOMA端末の電源が入らない（FOMA端末が使えない）

- 電池パックが正しく取り付けられていますか。→p.38
- 電池切れになっていませんか。→p.39、p.43
- デュアルネットワークサービスでmova端末が有効となっている場合、FOMA端末でのサービスの利用はできません。FOMA端末が有効になっているかご確認ください。詳細は『ご利用ガイドブック（ネットワークサービス編）』をご覧ください。

● 充電できない

- 電池パックが正しく取り付けられていますか。→p.38
- 充電端子が汚れていませんか。端子部分を乾いた綿棒などで清掃してください。
- ACアダプタのコネクタがFOMA端末の外部接続端子や卓上ホルダの接続端子にしっかりと差し込まれていますか。→p.41
- 卓上ホルダにFOMA端末が正しく取り付けられていますか。→p.42

● 充電中に背面ディスプレイの照明が点滅する

- 通話中、通信中の場合は、直ちに終了してください。FOMA端末からACアダプタ（卓上ホルダ）、DCアダプタを外してセットし直し、正しい方法でもう一度充電してください。→p.41
- 以上の操作を行っても正常に充電できない場合は、ドコモショップなどの窓口にご連絡ください。

● ディスプレイのすべてのマークが点滅してアラームが鳴っている

電池が少なくなっています。充電してください。→p.39、p.44

■ 電話関連

● ダイヤルボタンを押しても発信できない

- オールロックを設定していませんか。→p.129
- おまかせロックを起動していませんか。→p.130
- セルフモードを設定していませんか。→p.131
- ダイヤル発信制限を設定していませんか。→p.135
- 開閉ロックを設定していませんか。→p.136

● 着信音が鳴らない

- 電話着信音量の呼出音量を「消音」に設定していませんか。→p.72、p.114
- 次の機能を設定していませんか。
  - 電話帳指定着信拒否／許可→p.137
  - 非通知理由別着信設定→p.139
  - 無音着信時間設定→p.140
  - 登録外着信拒否→p.141
- 公共モードを設定していませんか。→p.73
- マナーモードを設定していませんか。→p.117
- セルフモードを設定していませんか。→p.131
- 留守番電話サービスや転送でんわサービスの呼出時間を「0秒」に設定していませんか。→p.418、p.419
- 伝言メモの呼出時間設定を「0秒」に設定していませんか。→p.77
- オート着信機能設定の応答時間を「0秒」に設定していませんか。→p.401

● 通話中、相手の声が聞こえにくい、相手の声が大きすぎる

- はっきりボイス、ゆっくりボイスを設定すると、相手の声が聞き取りやすくなります。→p.59
- 受話音量の設定を変更していませんか。→p.72、p.115

● 電話がかかってきたとき、電話帳に登録している名前が表示されない

- 相手の電話番号と電話帳に登録している電話番号が一致していますか（名前の表示について→p.86）。
- シークレット属性を設定している相手から電話がかかってきたときは、シークレットモード中のみ電話帳データに登録されている名前が表示されます。→p.100
- オールロックを設定していませんか。→p.129
- おまかせロックを起動していませんか。→p.130
- 個人情報表示制限を設定していませんか。→p.133

● 電話をかけたが話中音（プープー音）が流れてつながらない

- 圏外と表示されていませんか。→p.45
- 市外局番を忘れていませんか。→p.56
- 発信音を聞かず、急いで電話番号を入力していませんか。

● 電話がかかってきたとき、設定していない電話着信音が鳴る

- 発信者番号が通知された場合は、優先順位に従って鳴ります。→p.112
- 相手が発信者番号を通知してこなかった場合、音声電話の着信音は非通知理由別着信設定（→p.139）に従い、テレビ電話の着信音は着信音設定（→p.112）に従います。
- オールロックを設定していませんか。→p.129
- おまかせロックを起動していませんか。→p.130
- 個人情報表示制限を設定していませんか。→p.133

■ 設定・操作関連

● FOMA端末の電源を入れると「FOMAカードを挿入してください」と表示される

FOMAカードが正しく取り付けられていないか、破損している可能性があります。FOMAカードが正しく取り付けられているかどうか確認してください。→p.35

● FOMA端末を開くたびに端末暗証番号入力画面が表示される

開閉ロック中です。→p.136

● 目覚ましや予定の時刻に通知するように設定しても、電源が切れているときに指定した日時に動作しない

通知時刻自動電源ON設定を「入れない」に設定していませんか。→p.379

● 通話料金が積算されなくなった

通話料金のFOMAカードへの積算が上限（約1677万円）に達した可能性があります。リセットすることにより0円に戻せます。→p.389

● 日付・時刻が消去された

日付時刻設定を「手動で設定する」に設定したときは、電池パックを取り外したり、電池が切れたまま長い間充電しなかったりすると、日付・時刻が消去される場合があります。→p.48

● ディスプレイが暗い

- 省電力の状態になっていませんか。→p.45
- 照明設定を「暗く設定」に設定していませんか。→p.121

● ディスプレイが真っ暗で決定が点滅している

省電力の状態になっていませんか。→p.45

● 動画／ｉモーションの再生が途切れる、カメラの操作中に画面が動作しない

動画／ｉモーションの再生中やカメラの操作中にメールを受信したりすると、再生中の音声が途切れたり、画面がスムーズに動作しない場合があります。

■ メール・ｉアプリ・データ関連

● ボタンを押したときの画面の反応が遅い

FOMA端末とmicroSDメモリーカードの間で容量の大きいデータをやりとりしているときは、FOMA端末の画面の反応が遅くなる場合があります。

● カメラで撮影した写真やビデオがぼやける

近くの被写体を撮影するときは、接写撮影に切り替えるか、オートフォーカスを利用してください。→p.167、p.169

● 静止画や動画が や で表示される

データが壊れている場合は正しく表示されません。

● ダウンロードデータ、メール添付のデータ、メッセージR/Fの表示や再生ができない

FOMAカード動作制限機能により、別のFOMAカードに差し替えた場合やFOMAカードを取り付けていない場合は、これらの機能は動作しません。→p.36

● メール受信時に、設定していないメール着信音が鳴る

- メールを受信したときの着信音は、優先順位に従って鳴ります。→p.113
- 複数のメールを同時に受信したときは、最後に受信したメールに設定されている条件に従って動作します。

● メール受信時に、着信音や背面ディスプレイの照明が動作しない

- 公共モードを設定していませんか。→p.73
- メール・メッセージ受信音量を「消音」に設定していませんか。→p.115
- マナーモードを設定していませんか。→p.117
- 個人情報表示制限を設定していませんか。→p.133
- 待受画面／メニュー画面以外（他の機能が起動中）のときは、メールを自動受信しますが、受信中画面や受信結果画面は表示されず、着信音と背面ディスプレイの照明も動作しません。受信したメールを確認するには、他の機能を終了してください。

● ｉアプリ／ｉアプリ待受画面が起動できない

- FOMAカード動作制限機能により、起動できません。→p.36
- ｉアプリがIP（情報サービス提供者）により停止状態になっていませんか。
- ｉアプリDXを起動するには日付・時刻の設定が必要です。→p.48
- ｉアプリDXでは、ｉアプリの有効性を確認するため、ｉアプリの通信設定に関わらず通信する場合があります。また、有効性の確認が完了するまでｉアプリを起動できない場合があります。
- オールロック中、おまかせロック中、個人情報表示制限中はｉアプリ待受画面を起動できません。→p.129、p.130、p.133

● データ転送が行われない

USB HUBを使用していませんか。USB HUBを使用すると、正常に動作しない場合があります。

■ その他

● おサイフケータイが使えない

- ICカードロックを起動していませんか。→p.296
- 電池パックを取り外したり、おまかせロックを起動したりすると、ICカードロックの設定に関わらずICカード機能が利用できなくなります。→p.38、p.130

● ワンセグ視聴できない

- 地上デジタルテレビ放送サービスのエリア外か放送電波の弱い所にいませんか。
- FOMAカードを正しく取り付けていますか。→p.35
- チャンネルを設定していますか。→p.318

● ディスプレイに残像が残る

- FOMA端末の電源を切らずに電池パックを取り外すとしばらくの間、ディスプレイから残像が消えないことがあります。電池パックの取り外しは、電源を切ってから行ってください。
- FOMA端末を開いたまましばらく同じ画面を表示していると、何か操作して画面が切り替わったとき、前の画面表示の残像が残る場合があります。

● ディスプレイに常時点灯する／点灯しないドット（点）がある

FOMA端末のディスプレイは非常に高度な技術を駆使して作られていますが、一部に常時点灯するドットや点灯しないドットが存在する場合があります。これは液晶ディスプレイの特性であり、FOMA端末の故障ではありません。あらかじめご了承ください。

● 背面液晶の点灯色や明るさに差異がある

- 次の現象は背面液晶のランプに用いているLEDやFOMA端末の特性によるものであり、FOMA端末の故障ではありません。あらかじめご了承ください。
  - FOMA端末ごとに、あるいはランプによって点灯色や明るさに差異があります。
  - FOMA端末ごとに、あるいは塗装色によってランプの色が異なる色に見えることがあります。

■ 海外利用時

● 圏外が表示され、国際ローミングサービスが利用できない

- 国際ローミングサービスのサービスエリア外か、電波の弱い所にいませんか。
- 利用可能なサービスエリアまたは通信事業者かどうか、『ご利用ガイドブック（国際サービス編）』などの国際サービスガイドで確認してください。
- ネットワークサーチ設定でサービスに対応している通信事業者を検索してください。→p.435
- 日本国内から海外へ移動した後に3G/GSM切替を「自動」または対応しているネットワークに切り替えてください。日本国内で「自動」に設定していた場合は、FOMA端末の電源を入れ直してください。→p.438

● 音声電話やテレビ電話がかかってこない

ローミング時着信規制を開始に設定していませんか。→p.440

● テレビ電話、i モード、SMSが利用できない

- 利用可能なサービスエリアまたは通信事業者かどうか、『ご利用ガイドブック（国際サービス編）』などの国際サービスガイドで確認してください。
- 3G/GSM切替の設定を確認してください。→p.438

● 相手の電話番号が通知されない／相手の電話番号とは違う番号が通知される／電話帳の登録内容や発信者番号通知を利用する機能が動作しない

相手が発信者番号を通知して電話をかけてきても、利用しているネットワークや通信事業者から発信者番号が通知されない場合は、FOMA端末に発信者番号は表示されません。また、利用しているネットワークや通信事業者によっては、相手の電話番号とは違う番号が通知される場合があります。

エラーメッセージ一覧

こんな表示が出たら

FOMA端末に表示される主なエラーメッセージを50音順に示します。

● エラーメッセージ内の「(数字)」または「(xxx)」は、ｉモードセンターより送信されたエラーを区別するためのコードです。

● **今いる場所の送信中に通信エラーが発生しました**

通信エラーにより送信できませんでした。決定を押してGPS機能を終了し、しばらくたってから操作し直してください。

● **遠隔操作可能なサービスは未契約です**

遠隔操作を行おうとした留守番電話サービスまたは転送でんわサービスが未契約です。利用するには別途ご契約が必要です。

● **応答がありませんでした（408）**

サイトやインターネットホームページから規定時間内に応答がなく、通信が切断されました。しばらくたってから操作し直してください。

● **同じサービスを利用するソフトがあるためダウンロードが／最新にできません。該当するサービスを削除しますか？**

すでに登録しているおサイフケータイ対応ｉアプリを削除しないと、同様のおサイフケータイ対応ｉアプリをダウンロードまたは最新にできません。「1削除する」を押して、登録済みのおサイフケータイ対応ｉアプリを削除してください。

● **おまかせロック中です**

おまかせロック中です。→p.130

● **圏外です**

電波の届かない所かFOMAサービスエリア外にいるため実行できません。

● **現在このソフトは利用できません**

IP（情報サービス提供者）によってｉアプリの使用が停止されています。

● **更新できませんでした**

パターンデータの更新に失敗しました。他に起動している機能をすべて終了し、電波状態のよい所で更新し直してください。

● **このカードは認識できません**

FOMAカードが正しく取り付けられていないか、異常があります。FOMAカードを確認してください。→p.35

● **この形式のデータは実行できません**

FOMA端末で対応していないファイル形式のデータをmicroSDメモリーカードからFOMA端末に移動／コピーできません。

● **このサイトとのSSL通信は無効です**

サイトの証明書が書き換えられています。接続できません。

● **このサイトの安全性が確認できません。接続しますか？**

サイトの証明書がFOMA端末で対応していません。

● **このサイトは安全でない可能性があります。接続しますか？**

サイトの証明書が有効期限前か期限切れです。日付・時刻を設定していない場合や、誤っている場合にも表示されることがあります。→p.48

● **この接続先の安全性が確認できません。接続しますか？**

CA証明書が有効期限切れです。日付・時刻を設定していない場合や、誤っている場合にも表示されることがあります。→p.48

● **この接続先は安全でない可能性があります。接続しますか？**

サイトの証明書のCN名（サーバ名）が実際のサーバ名と一致していません。

● **このチャンネルは受信できません**

有料放送または何らかの原因で受信できません。

● **このチャンネルは放送休止中です**

選局したチャンネルが放送休止中です。

● **このデータは再生できない可能性があります**

動画／ｉモーションがFOMA端末で対応していない形式です。

● **サービス未契約です**

- ｉモードの契約がされていないため実行できません。利用するには申し込みが必要です。
- ｉモードを途中から契約された場合は、FOMA端末の電源を入れ直してください。→p.45

● サービス未提供です
SMSが未提供です。

● 再生可能日前です　再生できません
ｉモーションに設定されている再生期間より前のため再生できません。動画／ｉモーションの情報で確認してください。
→p.349

● 再生制限データに誤りがあるため取得できません
再生制限データが誤っているため取得できません。

● 再生できませんでした
ワンセグの再生処理でエラーが発生したため、録画した番組を再生できませんでした。

● 最大サイズを超えたので中断しました
サイトやインターネットホームページのサイズが最大サイズを超えました。決定を押すと正常に取得した部分まで表示します。

● サイトが移動しました（301）
サイトやインターネットホームページが自動的にURL転送を行っているか、URLが変更されています。

● サイトに接続できませんでした（403）
接続を拒否されるなど、何らかの原因でサイトに接続できませんでした。

● 時刻がリセットされたためこのデータを取得できません。時刻を自動設定にして電源を入れ直してください
日付時刻設定を「手動で設定する」に設定したときは、電池パックを取り外したり、電池が切れたまま長い間充電しなかったりすると、日付・時刻が消去される場合があります。→p.48

● 指定サイトがみつかりません（404）
URLが正しいかどうか確認してください。

● 指定サイトに表示データがありません（204）
指定のサイトにデータがありませんでした。

● 指定されたソフトが起動できませんでした
ｉアプリにエラーが発生したため、起動できません。連携起動で起動するとき、ソフト動作設定や起動条件などに問題がある場合は起動できません。

● 指定したサイトへは接続できませんでした（504）
何らかの原因で、指定のサイトなどに接続できませんでした。

● しばらくお待ちください
- 音声回線／パケット通信設備が故障、または音声回線ネットワーク／パケット通信ネットワークが非常に混み合っています。しばらくたってから操作し直してください。
- 110番、119番、118番には電話をかけることができます。ただし、状況によりつながらない場合があります。

● しばらくお待ちください（パケット）
パケット通信設備が故障、またはパケット通信ネットワークが非常に混み合っています。しばらくたってから操作し直してください。

● 受信が中断されました。受信できなかったメッセージがあります
受信中にエラーが発生したため、SMSをすべて受信できませんでした。電波状態のよい所でSMS問合せを行ってください。
→p.255

● 既にメッセージをお預かりしています
すでにSMSは送信済みです。

● 全ての操作を制限しています
オールロック中です。→p.129

● 正常に接続できませんでした（400）
サイトやインターネットホームページのエラーにより接続できません。URLを確認してください。

● セキュリティエラーのため、終了しました
許可されていない操作やｉアプリの動作があったため、ｉアプリが終了しました。

● セキュリティエラーのためｉアプリ待受画面を解除しました
許可されていない操作やｉアプリの動作があったため、ｉアプリ待受画面が終了しました。

● 接続相手が見つかりません。もう一度受信しますか？
赤外線通信／iC通信状態にしてから通信する相手が見つからないまま一定時間が経過しました。自分と相手のFOMA端末を正しく配置してから「1受信する」を押してください。→p.369

● 接続が中断されました
電波状態のよい所で操作し直してください。同じエラーになる場合は、しばらくたってから操作し直してください。

● 接続できませんでした（562）
ｉモードセンターとの接続に失敗しました。電波状態のよい所で操作し直してください。

● **設定時間内に接続できませんでした**

ｉモードセンターが混み合っています。しばらくたってから操作し直してください。

● **送信できませんでした。通信に失敗したかサービス未契約の可能性があります**

- ワンタッチブザーを鳴らして位置提供要求が送信されたとき、何らかのエラーが発生しました。
- イマドコサーチの検索対象として設定されていません。→p.389

● **送信できませんでした（552）**

ｉモードセンターのエラーにより、ｉモードメールの送信に失敗しました。しばらくたってから送信し直してください。

● **そのソフトは最新です**

すでに最新のｉアプリに更新されています。

● **ソフトに誤りがあります**

ｉアプリのデータに誤りがあるためダウンロードできません。

● **ソフトを起動しICカード内のデータを削除したあとソフトを削除してください**

ICカード内データを削除しておく必要があります。おサイフケータイ対応ｉアプリを起動し、ICカード内データを削除してから、おサイフケータイ対応ｉアプリを削除してください。→p.272、p.284、p.289

● **ダイヤル発信が制限されています**

ダイヤル発信制限中は禁止されている操作ができません。→p.135

● **ただいま利用制限中のためしばらくしてからご利用ください**

ｉモードパケット定額サービスをご利用の場合に限り、一定時間内に著しく大量なデータ通信があったときに表示されます。一定時間接続できなくなることがありますので、しばらくたってからｉモードをご利用ください。

● **注意！電話番号やURLの記述があります。送信元に心当たりが無い場合はご注意ください。**

- スキャン機能設定のメッセージスキャンを「有効にする」に設定しているとき、電話番号やURLの記載が含まれているSMSを表示しようとしました。
- mopera メールや留守番電話の着信通知などをSMSで受信した場合には、表示されません。

● **中断されました**

赤外線通信／iC通信中にエラーが発生しました。赤外線通信／iC通信中は、データの送受信が終了するまでFOMA端末を正しい位置から動かさないでください。→p.369

● **次の宛先にはメール送信できませんでした（561）**

次の宛先にｉモードメールを送信できませんでした。決定を押すと送信に失敗した宛先が表示されます。宛先を確認し、電波状態のよい所で送信し直してください。

● **データが壊れています。お買い上げ時の状態に戻しますか？**

データにエラーがあります。「1戻す」を押してお買い上げ時の状態に戻します。お買い上げ時の状態に戻さないと起動できません。

● **データ転送モードへ移行できません**

FOMA端末が通信中のため、データ転送モードへ移行できません。通信が終了してから操作し直してください。

● **データまたはmicroSDカードが壊れています**

microSDメモリーカードに保存しているデータまたはmicroSDメモリーカードに問題があるため、アクセスできません。microSDメモリーカードを初期化するか、新しいmicroSDメモリーカードを取り付けてください。→p.359

● **問合せできませんでした**

電波状態のよい所で操作し直してください。同じエラーになる場合は、しばらくたってから操作し直してください。

● **登録件数がいっぱいです**

FOMAカードの保存領域が足りないため、SMSを保存できません。FOMAカード内のSMSを削除するか、FOMA端末に移動してください。→p.259

● **登録中です。しばらくしてからご利用ください（554）**

ｉモードへのユーザ登録中です。しばらくたってから操作し直してください。

● **入力データをご確認ください（205）**

サイトやインターネットホームページの入力データに誤りがあります。

● **認証接続できませんでした**

認証パスワードが正しくないため、データの全件送信ができませんでした。→p.370

● 認証タイプに未対応です（401）

認証タイプに未対応のため、指定のサイトやインターネットホームページに接続できません。

● 認証を中止しました

認証画面で戻るを押して認証を中止したときに表示されます。

● パケット通信がリミット超過のためこれ以上ご利用することができません リミットを変更する場合は、eサイトよりお申し込みください

リミット機能付料金プランの上限額が超えているため、音声入力メールが利用できません。

● パスワードをご確認ください（401）

サイトやインターネットホームページの認証画面に入力したユーザ名またはパスワードに誤りがあります。

● 不正なmicroSDカードです。著作権保護機能は利用できません

何らかの原因でmicroSDメモリーカード内の認証領域にアクセスできません。エラーの発生したmicroSDメモリーカードには、ｉアプリのデータを保存できません。

● 放送圏外のためこのチャンネルは受信できません

放送圏外のため受信できません。電波状態のよい所で操作し直してください。

● 他の機能が起動中のため起動できません

パターンデータの更新を行う場合は、他の機能をすべて終了してください。

● 保存できないデータです

赤外線通信／iC通信で受信したデータがFOMA端末で対応していないファイル形式のため保存できません。

● 保存領域がいっぱいで保存できません

FOMA端末の保存領域が足りないため、SMSを保存できません。SMSをFOMAカードに移動するか、メールやSMSを削除してください。→p.257、p.262

● 無効なデータを受信しました（xxx）

- 指定のサイトやインターネットホームページに対応していません。
- URLを確認してください。
- 受信データにエラーがあるため表示できません。
- 圏内自動送信メールの送信に失敗しました。

● メール／メッセージがいっぱいです。これ以上受信できません

FOMA端末またはFOMAカードの受信メールの保存領域が足りないため、SMSを受信できません。未読のメールを読むか、保護を解除するか、削除してください。
→p.255、p.262、p.263

● メモリ不足です

メモリが不足したため処理を中断します。頻繁に表示される場合は、一度電源を入れ直してください。

● ユーザ証明書がありません。継続しますか？

ユーザ証明書がダウンロードされていません。→p.203

● ユーザ証明書の有効期限が切れています。継続しますか？

ユーザ証明書の有効期限が切れています。

● 料金情報の読み込み／リセットができませんでした

FOMAカードが正しく取り付けられていないか、異常があります。→p.35

● ワンセグを起動できませんでした

起動や選局の処理でエラーが発生したため、ワンセグ視聴を起動できませんでした。

● FOMAカードが異なるためダウンロード／起動／最新にできません

FOMAカードとICカードの対応付けを行った後に、異なるFOMAカードに差し替えておサイフケータイ対応ｉアプリをダウンロード、起動、最新にしようとした場合に表示されます。→p.289

● FOMAカードが異なるためご利用できません

FOMAカード動作制限機能により操作できません。データやファイルを保存したときと同じFOMAカードを取り付けてください。
→p.35、p.36

● FOMAカードが異なるため指定されたソフトが起動できませんでした

FOMAカード動作制限機能によりｉアプリを起動できません。ｉアプリのダウンロード時と同じFOMAカードを取り付けて利用してください。→p.35、p.36

● FOMAカードが挿入されていないため指定されたソフトが起動できませんでした

赤外線通信／iC通信で受信したデータに連携起動が設定されていても、FOMAカード動作制限機能により起動できません。→p.36

● ｉアプリの通信回数が多くなっています。通信を継続しますか？

ｉアプリ利用時の通信回数が一定時間内に著しく多い場合に表示されます。ｉアプリを継続して利用するには「1継続する」、ｉアプリの通信を終了して継続するには「2継続しない」、ｉアプリを終了するには「3終了する」を押します。

● ｉアプリ利用を継続し通信を行いますか？

「ｉアプリの通信回数が多くなっています。通信を継続しますか？」と表示された後で、再びｉアプリが通信しようとしました。

● ｉモーション最大サイズを超えています

ｉモーションの取得時に最大サイズを超えたため取得を中断しました。→p.206

● ｉモードセンターが混みあっています　しばらくお待ちください（555）

ｉモードセンターが混み合っています。しばらくたってから操作し直してください。

● ICカード内のデータがいっぱいのためダウンロードが／起動／最新にできません。いずれかのサービスを削除しますか？

おサイフケータイ対応ｉアプリをダウンロード、起動、最新にする際、ICカード内データの保存領域が足りない場合に表示されます。画面の指示に従ってICカード内データを削除後、おサイフケータイ対応ｉアプリを削除してください。→p.284、p.289

● ICカード内のデータが削除できないソフトが存在します。それ以外を削除しますか？

削除するｉアプリの中に、ICカード内データを削除できないために削除できないおサイフケータイ対応ｉアプリが含まれています。それ以外のｉアプリを削除するときは「1削除する」を押します。

● ICカード内のデータに誤りがあるため削除できません

ICカード内データに不正があるおサイフケータイ対応ｉアプリは削除できません。

● ICカード内のデータも削除されます。このソフトを削除しますか？

ｉアプリを削除するとICカード内データも削除されるおサイフケータイ対応ｉアプリが含まれます。ｉアプリおよびICカード内データを削除するときは「1削除する」を押します。

● microSDカードの保存領域がいっぱいです

microSDメモリーカードの保存領域が足りないため、データの移動／コピー、バックアップ、情報更新ができません。不要なデータを削除してください。→p.363

● microSDカードを挿入してからもう一度操作してください

microSDメモリーカードをFOMA端末に取り付けていないときにmicroSDメモリーカードを選択したり、microSDメモリーカード内を表示中にmicroSDメモリーカードを取り外した場合に表示されます。

● PINロック解除コードがロックされています

ドコモショップ窓口にお問い合わせください。→p.125

● SMSセンター設定を確認してください

SMS設定（SMSC）が誤っています。→p.260

● SSL通信が切断されました

SSL通信中にエラーが発生したか、サーバ側での認証エラーのためSSL通信が中断されました。

● SSL通信が無効です

SSL通信の認証処理で問題が検出されました。接続は中止されます。

● SSL通信が無効に設定されています

FOMA端末の証明書が無効に設定されています。設定を変更してください。→p.197

● URLが長すぎて登録できません

URLが登録可能な文字数を超えているためブックマークに登録できません。

● "○○○.ne.jp" 宛のメールが混み合っているため、送信することができません（555）
Unable to send. "○○○.ne.jp" is not available temporarily.（555）

ｉモードセンターが混み合っています。しばらくたってから操作し直してください。メッセージ内に表示されるドメイン名は送信先により異なります。

保証とアフターサービス

保証について

- FOMA端末をお買い上げいただくと、保証書が付いていますので、必ずお受け取りください。記載内容および『販売店名・お買い上げ日』などの記載事項をお確かめの上、大切に保管してください。必要事項が記載されていない場合は、すぐにお買い上げいただいた販売店へお申し付けください。無料保証期間は、お買い上げ日から1年間です。
- この製品は付属品を含め、改良のため予告なく製品の全部または一部を変更する場合がありますので、あらかじめご了承ください。
- FOMA端末の故障、修理やその他取り扱いによって電話帳などに登録された内容が変化、消失する場合があります。万が一に備え、電話帳などの内容はメモなどに控えをお取りくださるようお願いします。また、FOMA端末の修理などを行った場合、iモード・iアプリでダウンロードした情報は、一部を除き著作権法により修理済みのFOMA端末などに移行を行っておりません。

※ 本FOMA端末は、電話帳などのデータやiモーション、iアプリの利用するデータをmicroSDメモリーカードに保存していただくことができます。

※ 本FOMA端末は電話帳お預かりサービス（お申し込みが必要な有料サービス）をご利用いただくことにより、電話帳などのデータをお預かりセンターに保存していただくことができます。

※ パソコンをお持ちの場合は、ドコモケータイdatalink（→p.427）とFOMA 充電機能付USB接続ケーブル 01／02（別売）またはFOMA USB接続ケーブル（別売）をご利用いただくことにより、電話帳などに登録された内容をパソコンに転送・保管していただくことができます。

アフターサービスについて

◎ 調子が悪い場合は

修理を依頼される前に、この取扱説明書の「故障かな？と思ったら、まずチェック」をご覧になってお調べください（→p.486）。それでも調子がよくないときは、取扱説明書裏面の「故障お問い合わせ先」にご連絡の上、ご相談ください。

◎ お問い合わせの結果、修理が必要な場合

ドコモ指定の故障取扱窓口にご持参いただきます。ただし、故障取扱窓口の営業時間内の受付となります。また、ご来店時には必ず保証書をご持参ください。

◎ 保証期間内は

- 保証書の規定に基づき無料で修理を行います。
- 故障修理を実施の際は、必ず保証書をお持ちください。保証期間内であっても保証書の提示がないもの、お客様のお取り扱い不良による故障、損傷などは有料修理となります。
- ドコモの指定以外の機器および消耗品の使用に起因する故障は、保証期間内であっても有料修理となります。
- お買い上げ後の液晶画面・コネクタなどの破損の場合は、有料修理となります。

◎次の場合は、修理できないことがあります。

● 水濡れシールが反応している場合、試験の結果、水濡れ・結露・汗などによる腐食が発見された場合、および内部の基板が破損・変形している場合は修理できないことがありますのであらかじめご了承願います。なお、修理を実施できる場合でも保証対象外となりますので有料修理となります。

◎保証期間が過ぎたときは

● ご要望により有料修理いたします。

◎部品の保有期間は

● FOMA端末の補修用性能部品（機能を維持するために必要な部品）の最低保有期間は、製造打ち切り後6年間を基本としております。ただし、故障箇所によっては修理部品の不足などにより修理ができない場合もございますので、あらかじめご了承ください。また、保有期間が経過した後も、故障箇所によっては修理可能なことがありますので、取扱説明書裏面の「故障お問い合わせ先」へお問い合わせください。

◎お願い

● FOMA端末および付属品の改造はおやめください。
- 火災、けが、故障の原因となります。
- 改造が施された機器などの故障修理は、改造部分を元の状態に戻すことをご了承いただいた上でお受けいたします。ただし、改造の内容によっては故障修理をお断りする場合があります。

● 以下のような場合は改造とみなされる場合があります。
- 液晶部やボタン部にシールなどを貼る
- 接着剤などによりFOMA端末に装飾を施す
- 外装などをドコモ純正品以外のものに交換するなど

● 改造が原因による故障、損傷の場合は、保証期間内であっても有料修理となります。

● FOMA端末に貼付されている銘版シールは、はがさないでください。
銘版シールには、技術基準を満たす証明書の役割があり、銘版シールが故意にはがされたり、貼り替えられた場合など、銘版シールの内容が確認できないときは、技術基準適合の判断ができないため、故障修理をお受けできない場合がありますので、ご注意願います。

● 各種機能の設定や積算通話時間などの情報は、FOMA端末の故障、修理やその他取り扱いによって、クリア（リセット）される場合があります。お手数をおかけしますが、その場合はもう一度設定してくださるようお願いします。

● FOMA端末の受話口部やスピーカーなどに磁気を発生する部品を使用しています。キャッシュカードなど、磁気の影響を受けやすいものを近づけるとカードが使えなくなることがありますので、ご注意ください。

● FOMA端末が濡れたり湿気を帯びてしまった場合は、すぐに電源を切って電池パックを外し、お早めにドコモ指定の故障取扱窓口へご来店ください。ただし、FOMA端末の状態によっては修理できないことがあります。

◆メモリダイヤル（電話帳機能）およびダウンロード情報などについて◆

● お客様ご自身で FOMA 端末などに登録された情報内容は、別にメモを取るなどして保管してくださるようお願いいたします。情報内容の変化、消失に関し、当社は何らの義務を負わないものとし、一切の責任を負いかねます。

● FOMA端末を機種変更や故障修理する際に、お客様が作成されたデータまたは外部から取り込まれたデータあるいはダウンロードされたデータなどが変化・消失などする場合があります。これらについて当社は一切の責任を負いません。また、当社の都合によりお客様のFOMA端末を代替品と交換することにより修理に代えさせていただく場合があります。本FOMA端末はFOMA端末にダウンロードされた画像、着信メロディを含むデータおよびお客様が作成されたデータを故障修理時に限り移し替えを行います（一部移し替えできないデータもあります。また、故障の程度によっては移し替えできない場合があります）。

※ FOMA端末に保存されたデータの容量により、移し替えに時間がかかる場合、もしくは移し替えができない場合があります。

ｉモード故障診断サイトについて

ご利用中のFOMA端末において、メール送受信や画像・メロディのダウンロードなどが正常に動作しているかを、お客様ご自身でご確認いただけます。

ｉﾓｰﾄﾞ故障診断
画像・ﾒﾛﾃﾞｨ・ﾒｰﾙなどが正常に動作しているか確認する事ができます。
このﾍﾟｰｼﾞをBookmark登録される事をお勧めします
↓　↓　↓
ﾃｽﾄﾒﾆｭｰ一覧へ
ﾊﾟｹｯﾄ通信料無料!

＜TOP画面＞

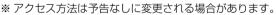
ｉモード故障診断
ﾃｽﾄﾒﾆｭｰ一覧
GIF画像表示ﾃｽﾄ
JPEG画像表示ﾃｽﾄ
ｱﾆﾒｰｼｮﾝ画像表示ﾃｽﾄ
ﾒｰﾙ送受信ﾃｽﾄ
画像ﾒｰﾙ表示ﾃｽﾄ
ﾒﾛﾃﾞｨﾒｰﾙ受信ﾃｽﾄ
着信ﾒﾛﾃﾞｨ再生ﾃｽﾄ
i-motionﾀﾞｳﾝﾛｰﾄﾞﾃｽﾄ

＜テストメニュー一覧画面＞

●「ｉモード故障診断サイト」へのアクセス方法

待受画面で ▶「1 ｉMenuを見る」▶「お知らせ」▶「サービス・機能」▶「ｉモード」▶「ｉモード故障診断」

※ アクセス方法は予告なしに変更される場合があります。

サイトアクセス用QRコード

- ｉモード故障診断を行う場合のパケット通信料は無料です。ただし、海外からアクセスする場合のパケット通信料は有料です。
- FOMA端末の機種によりテスト項目は異なります。また、テスト項目は変更になることがあります。
- 各テスト項目で動作を確認する際は、サイト内の注意事項をよくお読みになり、テストを行ってください。
- ｉモード故障診断サイトへの接続およびメール送信テストを行う際に、お客様のFOMA端末固有の情報（機種名やメールアドレスなど）が自動的にサーバ（ｉモード故障診断サーバ）に送信されます。当社は送信された情報をｉモード故障診断以外の目的には利用いたしません。
- ご確認の結果、故障と思われる場合は、取扱説明書裏面の「故障お問い合わせ先」までお問い合わせください。

ソフトウェア更新

ソフトウェアを更新する

FOMA端末のソフトウェアを更新する必要があるかどうかネットワークに接続してチェックし、必要な場合にはパケット通信※を使ってソフトウェアの一部をダウンロードし、ソフトウェアを更新する機能です。
ソフトウェア更新が必要な場合は、ドコモのホームページおよびらくらくｉメニューの「お知らせ」でご案内させていただきます。

※ ソフトウェア更新を行う場合のパケット通信料はかかりません。

● ソフトウェア更新には、次の3種類の方法があります。
- 自動更新 ：新しいソフトウェアを自動でダウンロードし、あらかじめ設定した時間に書き換えを行います。
- 即時更新 ：更新したいときすぐに更新を行います。→p.503
- 予約更新 ：更新する日時を予約すると、予約した日時に自動的にソフトウェアが更新されます。→p.505

お知らせ

● ソフトウェア更新中は、電池パックを絶対に外さないでください。更新に失敗することがあります。
● ソフトウェア更新は、FOMA端末に登録された電話帳、カメラ画像、ダウンロードデータなどのデータを残したまま行えますが、お客様のFOMA端末の状態（故障・破損・水濡れなど）によってはデータの保護ができない場合がありますので、あらかじめご了承ください。必要なデータはバックアップを取っていただくことをおすすめします。ただし、ダウンロードデータなどバックアップが取れないデータがありますので、あらかじめご了承ください。
● 接続先番号を「ｉモード」以外に設定している場合でもソフトウェア更新ができます。→p.196
● ソフトウェア更新は、電池をフル充電して、電池残量が十分にある状態（→p.43）で実行してください。
● 次の場合はソフトウェア更新を実行できません。
- FOMAカードが取り付けられていないとき
- 電源が入っていないとき
- 日付・時刻を設定していないとき
- 他の機能を使用しているとき
- PIN1コードロック中
- セルフモード中
- 64Kデータ通信中
- 電池がフル充電されていないとき
- 圏外が表示されているとき
- 通話中
- PIN1コード入力中
- おまかせロック中
- パソコンとつないだパケット通信中

● ソフトウェア更新（ダウンロード、書き換え）には時間がかかる場合があります。
● PIN1コード使用の設定中（→p.126）にソフトウェア更新を実行すると、ソフトウェア書き換え終了後の自動再起動時にはPIN1コード入力画面が表示されません。
● ソフトウェア更新中は、電話の発信、着信、各種通信機能およびその他の機能を利用できません。ただし、ダウンロード中は音声電話の着信のみ受けられます。
● ソフトウェア更新の際には、サーバ（当社のサイト）へSSL通信を行います。証明書表示／使用設定でSSL証明書を有効に設定してください。お買い上げ時は、有効に設定されています。→p.197
● ソフトウェア更新は、電波が強く、アンテナマークが3本表示されている状態（→p.45）で、移動せずに実行することをおすすめします。ソフトウェアダウンロード中に電波状態が悪くなったり、ダウンロードが中止された場合は、もう一度電波状態のよい所でソフトウェア更新を行ってください。
● ソフトウェア更新後、表示されていたｉモードセンター蓄積状態表示のマーク（→p.26）は消えます。また、メール選択受信設定を「利用する」に設定している場合、ソフトウェア更新中にメールが届くと、ソフトウェア更新後にｉモードセンターにメールがあることを通知する画面（→p.234）が表示されないことがあります。

● ソフトウェア更新の際、お客様のFOMA端末固有の情報（機種や製造番号など）が、自動的にサーバ（当社が管理するソフトウェア更新用サーバ）に送信されます。当社は送信された情報を、ソフトウェア更新以外の目的には利用いたしません。
● ソフトウェア更新に失敗した場合、「書換えに失敗しました」と表示され、一切の操作ができなくなります。その場合には、たいへんお手数ですがドコモ指定の故障取扱窓口までお越しいただきますようお願いいたします。
● 海外ではソフトウェア更新をご利用できません。

ソフトウェア更新を自動で行う<自動更新設定>

ソフトウェア更新が必要なとき、自動で更新を行うか更新が必要なことを通知するかを選択できます。
● お買い上げ時は、自動更新設定が「自動で更新する」、曜日が「指定なし」、時刻が「03時00分」に設定されています。

〈例〉ソフトウェア更新を自動で行うように設定する

1 **待受画面で[メニュー]▶「[#]詳細な機能・設定」▶「[1]ネットワークサービスを使う」▶「[0]その他のサービスを使う」▶「[6]ソフトウェアを更新する」を押す**

端末暗証番号入力画面が表示されます。

2 **端末暗証番号を入力▶[決定]を押す**

ソフトウェア更新
更新を実行するか
自動更新の設定を
するかを
選んでください
1 更新を実行する
2 自動更新
の設定をする

3 **「[2]自動更新の設定をする」を押す**

ソフトウェア更新
自動更新を
設定してください
1 自動更新設定
自動で更新する
2 曜日　指定なし
3 時刻　03時00分

[1]**自動更新設定**：更新が必要なとき、自動で更新を行うか、更新が必要なことを通知するかを設定します。
[2]**曜日**：自動で更新する曜日を指定します。
[3]**時刻**：自動で更新する時刻を指定します。

4 「1自動更新設定」を押す

ソフトウェア更新
自動更新設定を
選んでください

1自動で更新する
2更新を通知する
3解除する

5 「1自動で更新する」を押す

曜日の選択画面が表示されます。

■ **更新が必要なことを通知する**：「2更新を通知する」を押す
操作3の画面に戻ります。操作8に進みます。

■ **自動更新設定を解除する**：
①「3解除する」▶電話帳を押す
自動更新設定を解除するかどうかの確認画面が表示されます。
②「1解除する」を押す
自動更新設定を解除した旨のメッセージが表示されます。操作9に進みます。

6 「1指定なし」～「8土曜日」のいずれかを押す

時刻の設定画面が表示されます。

7 時刻を入力▶決定を押す

操作3の画面に戻ります。
● 24時間制で入力します。時、分が1桁のときは前に0を付けます。

8 電話帳を押す

自動更新設定を設定した旨のメッセージが表示されます。

9 決定を押す

メニュー画面に戻ります。

更新が必要になると

- 自動更新設定を「自動で更新する」に設定した場合は、自動的に更新ファイルがダウンロードされ、待受画面にお知らせ情報（→p.27）と（書き換え予告マーク）が表示されます。決定を押すと、書き換えの開始時刻を確認したり変更したりできます。
- 自動更新設定を「更新を通知する」に設定した場合は、（更新お知らせマーク）が表示されます。→p.502「ソフトウェア更新の起動」

〈例〉書き換えの時刻を変更する

1 待受画面に書き換え予告のお知らせが表示される▶決定を押す

2 「2時刻を変更する」▶端末暗証番号を入力▶決定を押す

書換え時刻を設定する画面が表示されます。

■ **書き換え予告マークを消す**：「1終了する」を押す
待受画面に戻り、（書き換え予告マーク）が消えます。

■ **すぐに書き換える**：「3今すぐ書換える」▶端末暗証番号を入力▶決定を押す
- 以降の操作→p.504「ソフトウェアの即時更新」操作3以降

3 「1曜日」▶「1日曜日」～「7土曜日」のいずれかを押す

時刻の設定画面が表示されます。

4 時刻を入力▶決定押す

操作2の画面に戻ります。
- 24時間制で入力します。時、分が1桁のときは、前に0を付けます。

5 電話帳を押す

書換えを開始する時刻を変更した旨のメッセージが表示されます。決定を押すと待受画面に戻ります。

おしらせ

- （書き換え予告マーク）は次の場合に表示されます。
  - 更新ファイルのダウンロードが完了した場合
  - 他の機能が起動していて書き換えできなかった場合
  - 書き換えを中止した場合
  - 書き換えの開始時刻を変更した場合

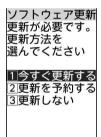
● !↓（更新お知らせマーク）は次の場合に表示されます。
- ドコモから通知があった場合
- 予約更新に失敗した場合
- 予約更新を取り消した場合
- 更新方法選択画面を表示した場合

ソフトウェア更新の起動

待受画面にお知らせ情報（→p.27）と!↓（更新お知らせマーク）が表示されているときに決定を押す方法と、メニューの項目番号を押す方法があります。

更新お知らせマークが表示されているときにソフトウェア更新を起動する

1　待受画面に更新のお知らせが表示される▶決定を押す

2　「1確認する」▶端末暗証番号を入力▶決定を押す

<更新方法選択画面>

● 更新が必要な場合は「更新が必要です。更新方法を選んでください」と表示されます。「1今すぐ更新する」（→p.503）または「2更新を予約する」（→p.505）を押してください。

■ 更新お知らせマークを消す：

①「2確認しない」を押す

ソフトウェア更新のお知らせアイコンを消去するかどうかの確認画面が表示されます。

②「1消去する」を押す

待受画面に戻り、!↓（更新お知らせマーク）が消えます。

■ 更新が必要ないとき

ソフトウェア更新
更新の必要は
ありません。
このまま
ご利用ください
決定

左の画面が表示されます。決定を押してそのままご利用ください。

メニューからソフトウェア更新を起動する

1 待受画面でメニュー▶「#詳細な機能・設定」▶「1ネットワークサービスを使う」▶「0その他のサービスを使う」▶「6ソフトウェアを更新する」を押す

端末暗証番号入力画面が表示されます。

2 端末暗証番号を入力▶決定▶「1更新を実行する」を押す

更新が必要な場合は、更新方法選択画面が表示されます。

ソフトウェアの即時更新

● サーバが混み合っていて、即時更新ができない場合があります。

1 更新方法選択画面を表示する

● 操作方法→p.502

2 「1今すぐ更新する」▶約5秒後に自動的にダウンロードが開始される

決定を押すと、すぐにダウンロードを開始します。

● ダウンロード中に決定：ダウンロードを中止します。

■ サーバが混み合っているとき

ソフトウェア更新
サーバーが
混んでいるため
今すぐ
更新できません。
予約しますか？

1 更新を予約する
2 予約しない

左の画面が表示されます。「1 更新を予約する」を押して日時の予約をしてください。→p.505「ソフトウェアの予約更新」操作3 以降

3 ダウンロード終了後、約5秒後に自動的にソフトウェア書き換えが開始される

決定を押すと、すぐにソフトウェアの書き換えを開始します。ソフトウェアの書き換え中はすべてのボタン操作が無効となり、更新を中止することもできません。

ソフトウェア更新
書換えを
開始します
決定

4 書き換え終了後、自動的に再起動▶決定を押す

更新が終了して待受画面が表示されます。

ソフトウェアの予約更新

ダウンロードに時間がかかる場合やサーバが混み合っている場合には、あらかじめソフトウェア更新を起動する日時をサーバと通信して設定しておきます。

〈例〉表示されている候補から予約する

1 更新方法選択画面を表示する

● 操作方法→p.502

2 「2更新を予約する」を押す

予約可能な日時がサーバの時刻で表示されます。

ソフトウェア更新
希望日時を
　選んでください
04/08火　18:59
04/08火　21:04
04/08火　22:34
04/08火　23:57
04/09水　00:54

3 希望日時を選択▶決定▶「1予約する」を押す

ソフトウェア更新
　4月 8日(火)
18:59に
予約しますか？

1予約する
2予約しない

ソフトウェア更新

　4月 8日(火)
18:59に
予約しました
決定

■ 表示されている候補以外から予約する：

①「その他の日時」▶決定を押す

希望日の選択画面が表示されます。

② 希望日を選択▶決定を押す

ソフトウェア更新
時間帯を
　選んでください
△　00:00〜
○　02:00〜
○　03:00〜
○　04:00〜
△　06:00〜

各時間帯の予約の空き状況が表示されます。

○：空きあり　　△：空きわずか

電話帳：時間帯の左に表示されている記号の説明を表示できます。

③ 希望時間帯を選択▶決定を押す

サーバに接続され、選択した希望日と時間帯に近い予約候補が表示されます。

④ 希望日時を選択▶決定▶「1予約する」を押す

4 決定を押す

待受画面またはメニュー画面に戻ります。

- 予約中は、待受画面に が表示されます。

予約の確認・変更・取り消しをする

〈例〉ソフトウェア更新の予約日時を確認する

1 待受画面でメニュー▶「#詳細な機能・設定」▶「1ネットワークサービスを使う」▶「0その他のサービスを使う」▶「6ソフトウェアを更新する」を押す

端末暗証番号入力画面が表示されます。

2 端末暗証番号を入力▶決定▶「1更新を実行する」を押す

ソフトウェア更新
4月 8日(火)
18:59に
予約されています
1終了する
2変更する
3取消す

3 内容を確認▶「1終了する」を押す

メニュー画面に戻ります。

■ **予約を変更する**：「2変更する」を押す

希望日の選択画面が表示されます。

- 以降の操作→p.505「■表示されている候補以外から予約する」操作②以降

■ **予約を取り消す**：「3取消す」▶「1取消す」▶決定を押す

予約が取り消され、メニュー画面に戻ります。

予約の日時になると

ソフトウェア更新
予約時刻です。
更新を開始します
決定

- 予約日時になると左の画面が表示され、約５秒後に自動的にソフトウェア更新を開始します（決定を押すと、すぐにソフトウェア更新を開始します）。予約日時前には、電池がフル充電されていることをご確認の上、電波の十分届く所でFOMA端末を待受画面にしておいてください。ダウンロードが完了するとソフトウェアの書き換えが行われ、再起動します。
- ソフトウェア更新を中止する場合は ▶「1終了する」を押します。

お知らせ

● 次の場合は、ソフトウェア更新の予約が解除されることがあります。
  ・電池パックを取り外したり、電池が切れたまま充電しなかった場合
  ・データ一括削除を行った場合
  ・おまかせロック中に予約日時になったとき
● 他の機能を使用していると予約日時になっても起動しないことがありますのでご注意ください。通話中またはメール受信中に予約日時になったときは、通話終了後またはメール受信終了後にソフトウェア更新を開始します。
● 同じ日時に目覚ましなどが設定されていた場合には、目覚ましなどが優先され、ソフトウェア更新が起動しないことがあります。

スキャン機能

障害を引き起こすデータからFOMA端末を守る

まず初めに、パターンデータの更新を行い、パターンデータを最新にしてください。

サイトからのダウンロードやメールなど外部からFOMA端末に取り込んだデータやプログラムについて、データを検知して障害を引き起こす可能性を含むデータの削除やアプリケーションの起動を中止します。

● チェックのために使用するパターンデータは、新たな問題が発見された場合に随時バージョンアップされます。自動更新設定を「有効にする」に設定すると、パターンデータがバージョンアップされたときに自動的にダウンロードと更新が行われます。
● スキャン機能は、ホームページの閲覧やメール受信などの際に携帯電話に何らかの障害を引き起こすデータが侵入することに対して、一定の防衛手段を提供する機能です。各障害に対応したパターンデータが携帯電話にダウンロードされていない場合、または各障害に対応したパターンデータが存在しない場合には、本機能によって障害などの発生を防げませんので、あらかじめご了承ください。
● パターンデータは携帯電話の機種ごとにデータの内容が異なります。また、当社の都合により端末発売開始後3年を経過した機種向けパターンデータの配信は停止する場合がありますので、あらかじめご了承ください。

スキャン機能の設定<スキャン機能設定>

本機能を「有効にする」に設定すると、データの表示やプログラムを実行する際、自動的にチェックします。障害を引き起こすデータを検出すると5段階の警告レベルで表示されます。→p.510

1 **待受画面で[メニュー]▶「[#]詳細な機能・設定」▶「[1]ネットワークサービスを使う」▶「[0]その他のサービスを使う」▶「[5]スキャン機能を使う」▶「[3]スキャン機能を設定する」を押す**

スキャン機能の
有効または無効を
設定してください
[1]スキャン機能
有効
[2]ﾒｯｾｰｼﾞｽｷｬﾝ
有効

[1]**スキャン機能**　：スキャン機能を有効にするかどうかを設定します。

[2]**メッセージスキャン**：SMSを表示する際にスキャン機能を有効にするかどうかを設定します。

2 **「[1]スキャン機能」▶「[1]有効にする」を押す**

操作1の画面に戻ります。

● 「[2]無効にする」：操作4に進みます。

3 **「[2]メッセージスキャン」▶「[1]有効にする」または「[2]無効にする」を押す**

操作1の画面に戻ります。

4 **[電話帳]を押す**

スキャン機能を設定した旨のメッセージが表示されます。[決定]を押すとメニュー画面に戻ります。

自動でパターンデータを更新する<自動更新設定>

● パターンデータの自動更新に成功すると、待受画面にお知らせ情報（→p.27）と[アイコン]が表示されます。[決定]を押してメッセージを確認した後、[決定]を押してください。

1 **待受画面で[メニュー]▶「[#]詳細な機能・設定」▶「[1]ネットワークサービスを使う」▶「[0]その他のサービスを使う」▶「[5]スキャン機能を使う」▶「[2]パターンデータ自動更新設定を行う」を押す**

パターンデータ自動更新設定を有効にするかどうかの確認画面が表示されます。

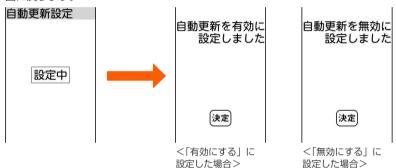
2 「1有効にする」▶「1続ける」を押す

自動更新設定
自動更新を
有効にするため
通信を行います
通信では携帯電話
情報を送信します
1続ける
2中止する

● 「2無効にする」：自動更新設定を無効にします。

3 「1続ける」を押す

自動更新を有効／無効に設定した旨のメッセージが表示されます。決定を押すとメニュー画面に戻ります。

<「有効にする」に設定した場合>

<「無効にする」に設定した場合>

パターンデータを更新する

自動更新設定を「無効にする」に設定しているときや、待受画面に（パターンデータの自動更新失敗）が表示された場合には、パターンデータを手動で更新してください。

1 待受画面でメニュー▶「#詳細な機能・設定」▶「1ネットワークサービスを使う」▶「0その他のサービスを使う」▶「5スキャン機能を使う」▶「1パターンデータを更新する」を押す

パターンデータを更新するかどうかの確認画面が表示されます。

2 「1更新する」▶「1送信する」を押す

パターンデータのダウンロードと更新が開始されます。終了すると、更新を完了した旨のメッセージが表示されます。決定を押すとメニュー画面に戻ります。

● パターンデータの更新が必要ないときは、パターンデータが最新である旨のメッセージが表示されます。決定を押してそのままご利用ください。

おしらせ

- パターンデータの更新の際、お客様の携帯電話端末固有の情報（機種や製造番号など）が自動的にサーバ（当社が管理するスキャン機能用サーバ）に送信されます。当社は送信された情報をスキャン機能以外の目的には利用いたしません。
- FOMA端末で正しい日付・時刻を設定していない場合は、パターンデータの更新はできません。
- パターンデータ更新中に音声電話の着信があったり、ワンタッチブザーが鳴動した場合は、更新は中断されます。

スキャン結果の表示

■ スキャンされた問題要素の表示について

警告レベル画面で「詳細を表示する」を押すと検出された問題要素の名前の一覧が表示されます。ただし、問題要素が6個以上検出された場合は、6個目以降の問題要素名は省略され、検出された問題要素の総数が表示されます。

問題要素一覧
PadHtml001.H
PadHtml002.H
PadHtml003.H
PadHtml004.H
PadHtml005.H
以下省略します
総数30

- 決定を押すと警告レベル画面に戻ります。

■ スキャン結果の表示について

警告レベル	対応方法
警告レベル0 スキャン機能 正常に動作できない場合があります 1続ける 2詳細を表示する	1**続ける**：起動中のアプリケーションの処理を続行します。 2**詳細を表示する**：検出された問題要素の名前の一覧を表示します。
警告レベル1 スキャン機能 正常に動作できない場合があります 動作を 中止しますか？ 1中止する 2続ける 3詳細を表示する	1**中止する**：障害を引き起こす可能性のあるアプリケーションの処理を中止します。 2**続ける**：起動中のアプリケーションの処理を続行します。 3**詳細を表示する**：検出された問題要素の名前の一覧を表示します。

警告レベル	対応方法
警告レベル2 スキャン機能 正常に動作できない場合があるため終了します 1終了する 2詳細を表示する	1終了する：障害を引き起こす可能性のあるアプリケーションの処理を中止します。 2詳細を表示する：検出された問題要素の名前の一覧を表示します。
警告レベル3 スキャン機能 正常に動作できない場合があります データを 削除しますか？ 1削除する 2削除しない 3詳細を表示する	1削除する：障害を引き起こす可能性のあるデータを削除します。 2削除しない：障害を引き起こす可能性のあるアプリケーションの処理を中止します。 3詳細を表示する：検出された問題要素の名前の一覧を表示します。
警告レベル4 スキャン機能 正常に 動作できないため データを 削除します 1削除する 2詳細を表示する	1削除する：障害を引き起こす可能性のあるデータを削除します。 2詳細を表示する：検出された問題要素の名前の一覧を表示します。

※ 上記以外のメッセージが表示されたときは、電話帳を押して警告レベル画面を表示します。

パターンデータのバージョン表示

1 **待受画面でメニュー▶「#詳細な機能・設定」▶「1ネットワークサービスを使う」▶「0その他のサービスを使う」▶「5スキャン機能を使う」▶「4パターンデータの版数を確認する」を押す**

パターンデータのバージョンが表示されます。

2 **確認が終わったら決定を押す**

メニュー画面に戻ります。

主な仕様

■ 本体

項目		仕様
品名		FOMA F884i
サイズ		高さ109mm×幅50mm×厚さ20mm（閉じたとき）
質量		約140g（電池パック装着時）
連続待受時間 ※1、2、3	FOMA／3G	静止時（自動）：約335時間（約465時間） 移動時（自動）：約250時間（約315時間） 移動時（3G固定）：約270時間（約335時間）
	GSM	静止時（自動）：約215時間（約270時間）
連続通話時間 ※2、4	FOMA／3G	音声電話時：約140分 テレビ電話時：約110分
	GSM	約155分
ワンセグ視聴時間※5		約270分
充電時間※6		ACアダプタ：約135分 DCアダプタ：約135分
液晶部	方式	ディスプレイ：カラー TFT262,144色 背面ディスプレイ：モノクロSTN1色
	サイズ	ディスプレイ：約3.1inch 背面ディスプレイ：約0.9inch
	画素数	ディスプレイ：103,680画素（240×432） 背面ディスプレイ：5,760画素（96×60）
撮像素子	種類	インカメラ：CMOS アウトカメラ：CMOS
	サイズ	インカメラ：1/7.4inch アウトカメラ：1/4inch
	有効画素数	インカメラ：約32万画素 アウトカメラ：約320万画素
カメラ部	記録画素数（最大時）	インカメラ：約31万画素 アウトカメラ：約320万画素
	ズーム（デジタル）	インカメラ：最大約2.0倍 アウトカメラ：最大約16.0倍
記録部	静止画記録枚数※7	約1000枚
	静止画ファイル形式	JPEG
	動画録画時間※8	最大約29秒（本体保存時） 最大約488秒（microSDメモリーカード64MB保存時）
	動画ファイル形式	MP4
	ワンセグ録画時間	最大約640分（microSDメモリーカード2GB保存時）
音楽再生（連続再生時間）		ｉモーション：約280分
保存容量（着うた®）		約20MB※9

※1 連続待受時間とは、電波を正常に受信できる状態での時間の目安です。なお、電池の充電状態、機能設定状況、気温などの使用環境、利用場所の電波状態（電波が届かないか弱い場合など）などにより、待受時間は約半分程度になる場合があります。静止時の連続待受時間とは、FOMA端末を閉じて、電波を正常に受信できる静止状態での平均的な利用時間です。移動時の連続待受時間とは、

FOMA端末を閉じて、電波を正常に受信できるエリア内で「静止」「移動」と「圏外」を組み合わせた状態での平均的な利用時間です。
※2 ｉモード通信を行うと連続待受時間、連続通話（通信）時間は短くなります。また、通話やｉモード通信をしなくてもｉモードメールの作成、音声読み上げ、動画／ｉモーションの再生、ダウンロードしたｉアプリの起動やｉアプリ待受画面設定、カメラの使用、ワンセグの視聴や録画、マルチアクセスの実行、データ通信などによっても、連続待受時間、連続通話時間は短くなります。
※3 （）内の時間は、歩数計を「利用しない」に設定している状態での目安です。
※4 連続通話時間とは、電波を正常に送受信できる状態で通話に使用できる時間の目安です。
※5 ワンセグ視聴時間は、電池充電状態、機能設定状況、気温などの使用環境、利用場所の電波状態（電波が届かないか弱い場合など）などにより、短くなる場合があります。
※6 充電時間は、FOMA端末の電源を切って、電池パックが空の状態から充電したときの目安です。FOMA端末の電源を入れて充電した場合、充電時間は長くなります。
※7 静止画記録枚数とは、写真の大きさが「ケータイS（176×144）」、ファイルサイズが10Kバイトの場合です。また、お買い上げ時に登録されている「アイテム」アルバム内のデータの容量を含みます。
※8 動画録画時間とは、1件あたりの数値です。画質の設定、ビデオサイズ（容量）、撮影する映像によって異なります。
※9 着うた®専用に約10MBの保存領域を確保しています。

■ 電池パック

品名	電池パックF11
使用電池	リチウムイオン電池
公称電圧	3.7V
公称容量	770mAh

F884iの保存・登録・保護件数

● FOMA端末内のデータのファイルサイズの表示は、データを扱う機能によって多少の誤差が生じる場合があります。

種別		保存・登録件数	保護件数
電話帳※1		最大1000件	−
ブックマーク		最大100件	−
画面メモ※1		最大100件	最大50件
メッセージR※1		最大100件	最大50件
メッセージF※1		最大50件	最大25件
メール	受信メール※1、2、3	最大1000件	最大500件
	送信メール※1、2	最大200件	最大100件
	未送信メール※1、2	最大200件	最大100件
エリアメール		最大30件	−
FOMAカードのSMS※4		最大20件	−
ｉアプリ※1、5		最大100件	−
トルカ※1		最大100件	−
視聴地域		最大10件	−
テレビリンク		最大50件	−
画像※1、6		最大1000件	−

種　別	保存・登録件数	保護件数
動画／ｉモーション（ビデオ、音声）※1	最大100件	－
メロディ※1、7	最大545件	－
予定表※8	最大300件	－

※1 実際に保存・登録できる件数は、データのサイズにより少なくなる場合があります。
※2 ｉモードメールとSMSの合計件数です。
※3「はじめまして」の件数を含みます。
※4 送信SMSと受信SMSの合計件数です。送達通知は保存件数に含まれません。
※5 お買い上げ時に登録されているｉアプリの件数を含みます。また、メール連動型ｉアプリは最大5件（ｉアプリの最大保存件数100件に含む）保存できます。
※6 お買い上げ時に登録されている「アイテム」アルバム内のデータの件数を含みます。
※7 お買い上げ時に登録されている「内蔵メロディ」フォルダのメロディの件数を含みます。
※8 視聴／録画予約は最大100件（予定表の最大登録件数300件に含む）登録できます。

携帯電話機の比吸収率などについて

携帯電話機の比吸収率（SAR）について

この機種FOMA F884iの携帯電話機は、国が定めた電波の人体吸収に関する技術基準に適合しています。
この技術基準は、人体頭部のそばで使用する携帯電話機などの無線機器から送出される電波が人間の健康に影響を及ぼさないよう、科学的根拠に基づいて定められたものであり、人体側頭部に吸収される電波の平均エネルギー量を表す比吸収率（SAR：Specific Absorption Rate）について、これが2W/kg※の許容値を超えないこととしています。この許容値は、使用者の年齢や身体の大きさに関係なく十分な安全率を含んでおり、世界保健機関（WHO）と協力関係にある国際非電離放射線防護委員会（ICNIRP）が示した国際的なガイドラインと同じものとなっています。
すべての機種の携帯電話機は、発売開始前に、電波法に基づき国の技術基準に適合していることの確認を受ける必要があります。この携帯電話機FOMA F884iのSARの値は1.38W/kgです。この値は、財団法人テレコムエンジニアリングセンターによって取得されたものであり、国が定めた方法に従い、携帯電話機の送信電力を最大にして測定された最大の値です。個々の製品によってSARに多少の差異が生じることもありますが、いずれも許容値を満足しています。また、携帯電話機は、携帯電話基地局との通信に必要な最低限の送信電力になるよう設計されているため、実際に通話している状態では、通常SARはより小さい値となります。
SARについて、さらに詳しい情報をお知りになりたい方は、次のホームページをご覧ください。

総務省のホームページ　http://www.tele.soumu.go.jp/j/ele/index.htm
社団法人電波産業会のホームページ　http://www.arib-emf.org/index.html
ドコモのホームページ　http://www.nttdocomo.co.jp/product/
富士通のホームページ　http://www.fmworld.net/product/phone/sar/

※ 技術基準については、電波法関連省令（無線設備規則第14条の2）で規定されています。

Declaration of Conformity

The product "FOMA F884i" is declared to conform with the essential requirements of European Union Directive 1999/5/EC Radio and Telecommunications Terminal Equipment Directive 3.1(a), 3.1(b) and 3.2. The Declaration of Conformity can be found on http://www.fmworld.net/product/phone/doc/.

This mobile phone complies with the EU requirements for exposure to radio waves. Your mobile phone is a radio transceiver, designed and manufactured not to exceed the SAR* limits** for exposure to radio-frequency(RF) energy, which SAR* value, when tested for compliance against the standard was 1.5W/Kg. While there may be differences between the SAR* levels of various phones and at various positions, they all meet*** the EU requirements for RF exposure.

---

* The exposure standard for mobile phones employs a unit of measurement known as the Specific Absorption Rate, or SAR.

** The SAR limit for mobile phones used by the public is 2.0 watts/kilogram (W/Kg) averaged over ten grams of tissue, recommended by The Council of the European Union. The limit incorporates a substantial margin of safety to give additional protection for the public and to account for any variations in measurements.

*** Tests for SAR have been conducted using standard operation positions with the phone transmitting at its highest certified power level in all tested frequency bands. Although the SAR is determined at the highest certified power level, the actual SAR level of the phone while operating can be well below the maximum value. This is because the phone is designed to operate at multiple power levels so as to use only the power required to reach the network. In general, the closer you are to a base station antenna, the lower the power output.

Federal Communications Commission (FCC) Notice

● This device complies with part 15 of the FCC rules.
Operation is subject to the following two conditions :
①This device may not cause harmful interference, and
②This device must accept any interference received, including interference that may cause undesired operation.

● Changes or modifications made in or to the radio phone, not expressly approved by the manufacturer, will void the user's authority to operate the equipment.

Industry Canada (IC) Notice

● Operation is subject to the following two conditions :
① This device may not cause interference, and
② This device must accept any interference, including interference that may cause undesired operation of the device.

FCC and IC RF Exposure Information

This model phone meets the U.S. Government's and Canadian Government's requirements for exposure to radio waves.
This model phone contains a radio transmitter and receiver. This model phone is designed and manufactured not to exceed the emission limits for exposure to radio frequency (RF) energy as set by the FCC of the U.S. Government and IC of the Canadian Government. These limits are part of comprehensive guidelines and establish permitted levels of RF energy for the general population. The guidelines are based on standards that were developed by independent scientific organizations through periodic and thorough evaluation of scientific studies.
The exposure standard for wireless mobile phones employs a unit of measurement known as the Specific Absorption Rate (SAR). The SAR limit set by the FCC and IC is 1.6 W/kg.
Tests for SAR are conducted using standard operating positions as accepted by the FCC and IC with the phone transmitting at its highest certified power level in all tested frequency bands. Although the SAR is determined at the highest certified power level, the actual SAR level of the phone while operating can be well below the maximum value. This is because the phone is designed to operate at multiple power levels so as to use only the power required to reach the network. In general, the closer you are to a wireless base station antenna, the lower the power output level of the phone.
Before a phone model is available for sale to the public, it must be tested and certified to prove to the FCC and IC that it does not exceed the limit established by the U.S. and Canadian government-adopted requirement for safe exposure. The tests are performed on position and locations (for example, at the ear and worn on the body) as required by FCC and IC for each model. The highest SAR value for this model phone as reported to the FCC and IC, when tested for use at the ear, is 0.228 W/kg, and when worn on the body, is 0.118 W/kg. (Body-worn measurements differ among phone models, depending upon available accessories and FCC and IC requirements).
While there may be differences between the SAR levels of various phones and at various positions, they all meet the U.S. and Canadian government requirements.
The FCC and IC has granted an Equipment Authorization for this model phone with all reported SAR levels evaluated as in compliance with the FCC and IC RF exposure guidelines. SAR information on this model phone is on file with the FCC and can be found under the Equipment Authorization Search section at http:// www.fcc.gov/oet/ (please search on FCC ID EJE-FOMAF884I).

For body worn operation, this phone has been tested and meets the FCC and IC RF exposure guidelines when used with an accessory designated for this product or when used with an accessory that contains no metal and which positions the handset at a minimum distance of 1.5 cm from the body.

※ In the United States and Canada, the SAR limit for wireless mobile phones used by the general public is 1.6 Watts/kg (W/kg), averaged over one gram of tissue. SAR values may vary depending upon national reporting requirements and the network band.

Important Safety Information

AIRCRAFT

Switch off your wireless device when boarding an aircraft or whenever you are instructed to do so by airline staff. If your device offers flight mode or similar feature consult airline staff as to whether it can be used on board.

DRIVING

Full attention should be given to driving at all times and local laws and regulations restricting the use of wireless devices while driving must be observed.

HOSPITALS

Mobile phones should be switched off wherever you are requested to do so in hospitals, clinics or health care facilities. These requests are designed to prevent possible interference with sensitive medical equipment.

PETROL STATIONS

Obey all posted signs with respect to the use of wireless devices or other radio equipment in locations with flammable material and chemicals. Switch off your wireless device whenever you are instructed to do so by authorized staff.

INTERFERENCE

Care must be taken when using the phone in close proximity to personal medical devices, such as pacemakers and hearing aids.

Pacemakers

Pacemaker manufacturers recommend that a minimum separation of 15 cm be maintained between a mobile phone and a pace maker to avoid potential interference with the pacemaker. To achieve this use the phone on the opposite ear to your pacemaker and does not carry it in a breast pocket.

Hearing Aids

Some digital wireless phones may interfere with some hearing aids. In the event of such interference, you may want to consult your hearing aid manufacturer to discuss alternatives.

For other Medical Devices :

Please consult your physician and the device manufacturer to determine if operation of your phone may interfere with the operation of your medical device.

日本輸出管理規制／米国再輸出管理規制について

本製品および付属品は、日本輸出管理規制（「外国為替及び外国貿易法」およびその関連法令）の適用を受ける場合があります。また米国再輸出規制（Export Administration Regulations）の適用を受けます。本製品および付属品を輸出および再輸出する場合は、お客様の責任および費用負担において必要となる手続きをお取りください。詳しい手続きについては経済産業省または米国商務省へお問い合わせください。

索引／クイックマニュアル

索引

索引の使いかた

機能名やキーワードを列挙した索引には、「50音目次」としての機能もあります。なお、「登録」「削除」などの操作については、まず第一階層（**太字**）の機能名やキーワードで検索したのち、第二階層の索引項目から探してください。

〈例〉歩数の履歴を確認したいとき

歩数計 394
　いきいき歩行 394
　設定 395
　歩数計サービス 397
　履歴確認 395
　履歴削除 396

ア

カ

ナ

ハ

マ

ヤ

ラ

ワ

英数字・記号

クイックマニュアル

クイックマニュアルの使いかた

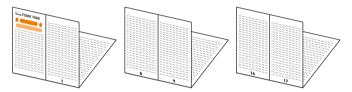
本書に綴じ込みされている「クイックマニュアル」は、FOMA端末の基本的な画面表示や操作方法について簡潔に説明しています。キリトリ線で切り取り、下記のように折ってご使用ください。「クイックマニュアル（海外利用編）」は、海外で国際ローミングサービス（WORLD WING）をご利用いただく際に携帯してください。

1 キリトリ線から切り離す

※ 切り離しの際には、けがなどにご注意ください。

2 それぞれを横半分に折る

3 それぞれを縦半分に折る

クイックマニュアル

総合お問い合わせ先〈DoCoMoインフォメーションセンター〉

取扱説明書に不明な点がございましたら、下記までお問い合わせください。

ドコモの携帯電話からの場合（局番なしの）	一般電話などからの場合
151（無料）	0120-800-000
※一般電話などからはご利用になれません。	※携帯電話、PHS からもご利用になれます。

故障お問い合わせ先

故障、異常かなと思われたら、下記までお問い合わせください。

ドコモの携帯電話からの場合（局番なしの）	一般電話などからの場合
113（無料）	0120-800-000
※一般電話などからはご利用になれません。	※携帯電話、PHS からもご利用になれます。

- ダイヤルの番号をよくご確認の上、お間違いのないようおかけください。

電話／テレビ電話

電話／テレビ電話のかけかた

1. 待受画面で電話番号を入力する
2. 電話をかける

● **音声電話をかける**：[通話キー]を押す

● **テレビ電話をかける**：(テレビ電話)を押す

3. 通話する
4. 通話が終了したら[終話キー]を押す

発信者番号を通知する／通知しない

● **音声電話をかける**：待受画面で電話番号を入力▶(メニュー)▶「3通知で音声電話」または「4非通知音声電話」を押す

● **テレビ電話をかける**：待受画面で電話番号を入力▶(メニュー)▶「5通知でテレビ電話」または「6非通知テレビ電話」を押す

通話を保留する

通話中に(決定)を押す

- (決定)を押すたびに保留／解除されます。

スピーカーホン機能を使用する

通話中に[通話キー]または(電話帳)を押す

- [通話キー]または(電話帳)を押すたびに設定／解除されます。

電話／テレビ電話の受けかた

1. 電話がかかってくる
2. 電話を受ける

● **音声電話を受ける**：[通話キー]を押す

● **テレビ電話を受ける**：(テレビ電話)を押す

- [通話キー]：カメラオフ画像でテレビ電話を受けます。

3. 通話する
4. 通話が終了したら[終話キー]を押す

キリトリ線

電話帳の登録

- FOMAカード電話帳の電話帳データは、直接登録したり修正したりできません。FOMA端末電話帳に登録またはコピーして修正してからFOMAカード電話帳にコピーしてください。

1. 待受画面で(メニュー)▶「1電話帳・伝言メモ・音声メモを使う」▶「4電話帳に登録する」を押す
2. 名前／フリガナ／電話番号／メールアドレス／郵便番号と住所／グループ／電話帳Noを登録▶(決定)を押す
3. 「1登録する」を押す
   - 登録を終了する場合は「2終了する」を押す。
4. 登録先を選択する

● **ワンタッチダイヤルに登録する**：「1 ワンタッチダイヤル登録」▶「1ワンタッチダイヤル1」～「3ワンタッチダイヤル3」▶電話番号／メールアドレスの選択▶音声電話／テレビ電話／メールの着信音を設定▶決定を押す

● **音声呼び出しに登録する**：「2 音声呼出し登録」▶単語を入力▶決定▶決定を押す

5.「3終了する」を押す

電話帳の検索

1. 待受画面でメニュー▶「1 電話帳・伝言メモ・音声メモを使う」▶「3電話帳の内容を見る」を押す

● **FOMAカード電話帳を検索する**：待受画面でメニュー▶「1電話帳・伝言メモ・音声メモを使う」▶「3 電話帳の内容を見る」▶電話帳を押す

2.「1 50音順検索」～「6電話帳No検索」を押す
   - FOMAカード電話帳は、「1 50音順検索」～「4電話番号検索」を押す
3. 目的の相手を検索して選択する

電話帳の修正

1.「電話帳の検索」（→p.4）の操作1～3を行う
2. メニュー▶「4修正する」を押す
3. 必要な項目を修正する
4.「1上書きする」または「2新規登録する」を押す
   - 以降は「電話帳の登録」の操作3～5と同様に操作します。→p.3

文字の入力

文字の入力・変換

〈例〉「企業」と入力する

1. ひらがな／漢字入力モードで文字を入力する

   「き」：2かを2回押します。→を押して、カーソルを1つ右に移動します。
   「ぎ」：2かを2回押して＊を押します。
   「ょ」：8やを3回押してテレビ電話を押します。
   「う」：1あを3回押します。
   - 文字を挿入する場合：カーソルを挿入位置に移動▶文字を入力する
   - 入力した文字の確定前にできる操作
     戻る：入力した文字を取り消します。
     テレビ電話：大文字／小文字を切り替えます。
     ＊（複数回）：濁点「゛」や半濁点「゜」を付加します。

2. 電話帳を押す
   - ✉／iα／電話帳：変換候補一覧を表示します。
   - 戻る：変換前の状態に戻します。
3. 決定を押す

入力モードの切り替え

文字入力画面で【を複数回押す
- 押すたびに入力モードは…→「半角カタカナ」→「半角英字」→「半角数字」→「ひらがな／漢字」→…と切り替わります。

文字の削除

カーソルが文中にあるとき

戻る：カーソル位置の1文字を削除します。
戻るを1秒以上：カーソル位置から文末までの文字をすべて削除します。

カーソルが文末にあるとき

戻る：カーソル位置の左の1文字を削除します。

戻るを1秒以上：入力した文字をすべて削除します。

絵文字・記号・定型文の入力

絵文字を入力する

1. 文字入力画面でメニュー▶「1絵文字を入力」を押す
2. 絵文字を選択▶決定を押す
   - メニュー／電話帳：ページを切り替えます。

記号を入力する

1. 文字入力画面でメニュー▶「2記号を入力」を押す
2. 記号を選択▶決定を押す
   - メニュー／電話帳：ページを切り替えます。

定型文を入力する

1. 文字入力画面でメニュー▶「4定型文を貼付け」を押す
2. フォルダを選択▶決定▶定型文を選択▶決定▶決定を押す
   - ◁／▷：ページを切り替えます。

カメラ機能

写真／ビデオの撮影

写真を撮影する

1. 待受画面で📷を押す

写真の大きさと撮影（保存）できる残りの枚数

2. 被写体にカメラを向けて決定▶決定を押す
3. 「1保存する」▶決定を押す

● **microSD メモリーカードを取り付けているとき**：「1microSDに保存」または「2本体に保存」▶決定を押す

ビデオを撮影する

1. 待受画面で📷を1秒以上押す
2. 「2ビデオ撮影」を押す

撮影（保存）できる残り時間の目安

3. 被写体にカメラを向けて決定を押す
4. 決定▶決定を押す
5. 「1保存する」▶決定を押す

● **microSD メモリーカードを取り付けているとき**：「1microSDに保存」または「2本体に保存」▶決定を押す

キリトリ線

キリトリ線

撮影した写真の表示／ビデオの再生

写真を表示する

1. 待受画面で[メニュー]▶「[3]写真・ビデオを撮る・見る」を押す
2. 「[2]写真のアルバムを見る」を押す
3. 「撮影した写真」のアルバムを選択▶[決定]を押す

● **microSD メモリーカード内の写真を表示する**：「microSDの写真」のアルバムを選択▶[決定]▶「[1]写真」▶フォルダを選択▶[決定]を押す

4. 表示する写真を選択▶[決定]を押す
   - [メール][iアプリ]：アルバム内の前後の写真を表示

ビデオを再生する

1. 待受画面で[メニュー]▶「[3]写真・ビデオを撮る・見る」を押す
2. 「[4]ビデオのアルバムを見る」を押す
3. 「撮影したビデオ」のアルバムを選択▶[決定]を押す

● **microSD メモリーカード内のビデオを再生する**：「microSDのビデオ」のアルバムを選択▶[決定]▶「[3]ビデオ」▶フォルダを選択▶[決定]を押す

4. 再生するビデオを選択▶[決定]を押す
   - [決定]　：一時停止／再生
   - [メール][iアプリ]／[＋][－]：音量調節
   - [電話帳]　：停止
     停止中に[決定]を押すと先頭から再生します。
   - [巻き戻し]／[早送り]：巻き戻し再生／早送り再生

i モードメール

i モードメールの作成・送信

1. 待受画面で[メール]を1秒以上押す

メール作成：新規		
宛先：		宛先欄
題名：		題名欄
本文：		本文欄
装飾：	設定なし	装飾欄
送信する		

- 簡単メール作成画面が表示された場合は、[電話帳]▶「[1]切替える」を押して通常メール作成画面に切り替えます。
- 装飾欄を選択して[決定]を押すと、装飾用のメールテンプレートの一覧が表示されます。読み込むメールテンプレートを選択して[決定]▶[決定]を押すと、簡単にデコメール®を作成できます。

2. 宛先欄を選択▶[決定]を押す

3. 宛先を入力する
   - 「[1]電話帳から選ぶ」：電話帳から選択します。電話帳を検索（→p.4）▶相手を選択▶[決定]▶メールアドレスを選択▶[決定]を押します。
   - 「[2]直接入力する」：直接入力します。宛先を入力▶[決定]を押します。
4. 題名欄を選択▶[決定]▶題名を入力▶[決定]を押す
5. 本文欄を選択▶[決定]▶本文を入力▶[決定]を押す
6. 「送信する」を選択▶[決定]を押す
   - メールを保存する：[メニュー]▶「[2]保存する」を押します。

データの添付

1.通常メール作成画面（→p.14）でメニュー▶「4添付データ」を押す
2.「1追加する」を押す
 • 添付データを解除する：「2解除する」または「3全て解除する」を押します。
3.「1音声」～「6トルカ」を押す

● **音声を添付する**：「1音声」▶音声を録音して保存する
● **写真を添付する**：「2写真」▶今から撮影／アルバムから選択する
● **ビデオを添付する**：「3ビデオ」▶今から撮影／アルバムから選択する
● **メロディを添付する**：「4メロディ」▶メロディを選択する
● **手書きメモを添付する**：「5手書きメモ」▶手書きメモを撮影して保存する
● **トルカを添付する**：「6トルカ」▶フォルダから選択する

iモードメールの受信

1.メールを受信する
 画面表示や着信音などでお知らせします。受信結果が表示されます。
2.「1メール」を押す
3.フォルダを選択▶決定を押す
4.メールを選択▶決定を押す

iモード問合せ

1.待受画面で[メール]▶「6メールがあるか問合せる」を押す
2.「1メール・メッセージを受信する」を押す

ワンセグの利用

メニュー 9ら 1あ：ワンセグ視聴起動
[終話]：ワンセグ視聴終了
[+][−]：音量調節
[+]（1秒以上）：連続して音量大
[−]（1秒以上）：消音
[←][→]（データ放送全画面以外）：チャンネル一覧の前後のチャンネルを選択、1秒以上押すと前後の周波数をサーチ
（データ放送全画面のみ）：データ放送の前後のページへ移動
[メール][iα]（データ放送が表示されているとき）：データ放送スクロール
（データ放送が表示されていないとき）：音量調節
1あ～9ら、#マナー、0わをん、*：チャンネル一覧からワンタッチ選局（#マナーは10、0わをんは11、*は12のチャンネル番号に対応）

電話帳：（縦画面）字幕、データ放送表示の切り替え、（横画面）字幕表示の切り替え
[カメラ]：ビデオ録画開始／停止

その他の主な操作

リダイヤルを表示する

1.待受画面で[→]を押す

リダイヤルから電話をかける

1.待受画面で[→]を押す
2.[メール][iα]を押して目的の電話番号を表示する
3.[発信]またはテレビ電話を押す

着信履歴を表示する

1.待受画面で[←]を押す

着信履歴から電話をかける

1.待受画面で[←]を押す

キリトリ線

2. [✉][i/α]を押して目的の電話番号を表示する

3. [[]または[テレビ電話]を押す

マナーモードを設定／解除する

1. 待受画面で[#マナー]を1秒以上▶[決定]を押す
   - 解除する：マナーモード中に待受画面で[#マナー]を1秒以上▶[決定]を押す

公共モード（ドライブモード）を設定／解除する

1. 待受画面で[*]を1秒以上▶[決定]を押す
   - 解除する：公共モード（ドライブモード）中に待受画面で[*]を1秒以上▶[決定]を押す

公共モード（電源OFF）を設定／解除する

1. 待受画面で[*][2か][5な][2か][5な][1あ][[]を押す
   - 解除する：公共モード（電源OFF）中に待受画面で[*][2か][5な][2か][5な][0わをん][[]を押す

伝言メモを設定／解除する

1. 待受画面で[メニュー]▶「[1]電話帳･伝言メモ･音声メモを使う」▶「[5]伝言メモを使う」▶「[2]伝言メモを設定する」▶「[1]開始する」▶[決定]を押す
   - 解除する：伝言メモを設定中に待受画面で[メニュー]▶「[1]電話帳･伝言メモ･音声メモを使う」▶「[5]伝言メモを使う」▶「[2]伝言メモを設定する」▶「[2]停止する」▶[決定]を押す

伝言メモを再生する

1. 待受画面で[メニュー]▶「[1]電話帳･伝言メモ･音声メモを使う」▶「[5]伝言メモを使う」▶「[1]伝言メモを再生する」▶[決定]を押す
2. [✉][i/α]を押して目的の伝言メモを選択▶[決定]を押す
   伝言メモが再生されます。
3. 「[1]削除する」または「[2]削除しない」を押す

クイック伝言メモを利用する

1. 着信中に[メニュー]▶「[1]伝言メモ」を押す

自分の電話番号を確認する

1. 待受画面で[メニュー]▶「[0]自分の電話番号を見る」を押す

ディスプレイの見かた

ディスプレイ 上

①②③④⑤⑥⑦⑧⑨

① ：電池残量の表示
② ／圏外：受信レベルの表示
SELF：セルフモード中
：データ転送（送受信）中など
③ ：ｉモード中、接続中
：SSLページ表示中
④ ：赤外線通信中など
：シークレットモード中
⑤ ：音声電話中
：テレビ電話中
：音声電話とテレビ電話の切り替え中
：音声電話／テレビ電話切断中
：64Kデータ通信中
：音声読み上げ可能／音声読み上げ中
⑥ ：未読エリアメール
：ｉモードメール、SMS、メッセージR/Fの受信完了通知

キリトリ線

／ ：ワンタッチブザー有効／停止中
⑦ ：ワンセグ予約録画中
：オートスピーカーホン機能の設定中
通信中：ｉモード中
取得中：ｉモーションデータ取得中
測位中：GPSで測位中
漢字かな：入力モードの表示
／ ：メッセージR/Fの受信中
⑧ ：マナーモード中
：音声電話のバイブレータを設定中
：電話着信音量を消音に設定中
：ｉモードメール、SMSの受信中
⑨ ：公共モード（ドライブモード）中
（黒）：FOMAカードを読み込み中

ディスプレイ 中

① ：GPS位置提供成功
：電話帳の自動更新失敗
：電話帳保存のお知らせ
：パターンデータの自動更新の通知
：ワンセグ予約録画完了
② メール、不在着信、伝言メモの新着あり
③ 留守番［ ］長押し：留守番電話サービスセンターに伝言メッセージあり
：圏内、歩数計自動送信メールの状態表示
④ ／ ：歩数計の使用設定中／歩数計自動送信メールを設定中

ディスプレイ 下

① ② ③ ④⑤ ⑥ ⑦⑧ ⑨ ⑩

① （赤）：伝言メモが満杯
：未確認の伝言メモあり
（黒）：伝言メモの設定中
② ：未確認の不在着信情報あり
③ ：未読ｉモードメール、SMS状態表示
④ ：未読メッセージR状態表示
⑤ ：未読メッセージF状態表示
⑥ ：ｉモードセンター蓄積状態表示
：GPSで位置提供設定中
⑦ ：ソフトウェア更新の予約中
：microSDメモリーカードあり
⑧ ：FOMA USB接続ケーブルでパソコンなどと接続中
⑨ ：ダイヤル発信制限中
⑩ ：個人情報表示制限中
：目覚まし設定中
：予定を通知するように設定中
：目覚ましと予定を通知するように設定中

キリトリ線

ネットワークサービス

主なネットワークサービスを開始／停止する

1. 待受画面で（メニュー）▶「#詳細な機能・設定」▶「1ネットワークサービスを使う」を押す
2. 「1留守番サービスを使う」～「5番号通知お願いサービスを使う」を押す

●**留守番電話サービスを設定する**：「1留守番サービスを使う」▶「3留守番サービスを開始する」または「4留守番サービスを停止する」を押す

• 以降、画面の指示に従い操作します。

●**キャッチホンを設定する**：「2キャッチホンを使う」▶「1キャッチホンを開始する」または「2キャッチホンを停止する」を押す

• 以降、画面の指示に従い操作します。

キリトリ線

- **転送でんわサービスを設定する**：「3 転送サービスを使う」▶「1 転送サービスを開始する」または「2 転送サービスを停止する」を押す
  - 以降、画面の指示に従い操作します。
- **迷惑電話ストップサービスを利用する**：「4 迷惑電話ストップを使う」▶「1 迷惑電話着信拒否を登録する」または「2 着信拒否する番号を登録する」▶「1 登録する」を押す
  - 以降、画面の指示に従い操作します。
- **番号通知お願いサービスを設定する**：「5 番号通知お願いサービスを使う」▶「1 番号通知お願いサービスを開始する」または「2 番号通知お願いサービスを停止する」を押す
  - 以降、画面の指示に従い操作します。

FOMA端末から利用できるサービス

FOMA端末から利用できるサービス	電話番号
番号案内サービス （有料：案内料＋通話料） （電話番号の案内を希望されないお客様については案内しておりません）	（局番なし）104
電報の発信（有料：電報料）	（局番なし）115
時報サービス（有料）	（局番なし）117
天気予報（有料）	知りたい地域の市外局番＋177
警察への緊急通報	（局番なし）110
消防・救急への緊急通報	（局番なし）119
海上で事件・事故が起きたときの緊急通報	（局番なし）118
災害用伝言ダイヤル（有料）	（局番なし）171
コレクトコール （有料：案内料＋通話料）	（局番なし）106

メニュー一覧

各機能の先頭の数字や記号は、ショートカット操作のボタンを示します。

- 1 電話帳・伝言メモ・音声メモを使う
  - 1 電話してきた相手を見る
  - 2 電話をかけた相手を見る
  - 3 電話帳の内容を見る
  - 4 電話帳に登録する
  - 5 伝言メモを使う
  - 6 通話音声メモを再生する
  - 7 電話帳のグループを設定する
  - 8 自分の電話番号を見る
- 2 メールを使う
  - 1 受信したメールを見る
  - 2 メールを作る
  - 3 例文を使ってメールを作る
  - 4 未送信のメールを見る
  - 5 送信したメールを見る
  - 6 メールがあるか問合せる
  - 7 メールアドレスを確認・変更する
  - 8 メールを設定する

- 2 メールを使う
  - 9 SMSを使う
    - 1 SMSを作る
    - 2 届いているSMSを全部受信する
    - 3 SMSを設定する
    - 4 FOMAカードの受信SMSを見る
    - 5 FOMAカードの送信SMSを見る
  - 0 エリアメールを設定する
    - 1 エリアメールの利用を設定する
    - 2 エリアメールの受信登録を設定する
    - 3 エリアメールのブザーを設定する
- 3 写真・ビデオを撮る・見る
  - 1 写真を撮影する
  - 2 写真のアルバムを見る
  - 3 ビデオを撮影する
  - 4 ビデオのアルバムを見る
- 4 iモードを使う
  - 1 i Menuを見る
  - 2 ブックマークを見る
  - 3 最後に表示したサイトを見る
  - 4 インターネットに接続する
  - 5 画面メモを見る
  - 6 メッセージを見る

- 4 iモードを使う
  - 7 iチャネルを見る
  - 8 iチャネルを設定する
- 5 便利なツールを使う
  - 1 電卓を使う
  - 2 目覚ましを使う
  - 3 予定表を使う
  - 4 メモを使う
  - 5 歩数計を使う
  - 6 伝言メモ・音声メモを使う
  - 7 ICカードロックを設定する
  - 8 赤外線を使う
  - 9 microSDカードを使う
  - 0 手書きメモを使う
  - * 拡大鏡を使う
  - # バーコードを読取る
- 6 地図を見る・GPSを使う
  - 1 現在地の地図を見る
  - 2 ナビを使う
  - 3 現在地をメールで送る
  - 4 測位した位置の履歴を見る
  - 5 詳細な機能・設定

- 7 おサイフケータイを使う
  - 1 DCMXを使う
  - 2 Edyを使う
  - 3 他のおサイフケータイ対応サービスを使う
  - 4 おサイフケータイ機能を制限する
  - 5 保存したトルカを見る
  - 6 トルカの設定を行う
  - 7 他のおサイフケータイ対応サービスを探す
- 8 iアプリを使う
  - 1 iアプリの一覧を見る
  - 2 iアプリの詳細を設定する
  - 3 iアプリの履歴を表示する
- 9 ワンセグを使う
  - 1 ワンセグを見る
  - 2 番組表を見る
  - 3 録画した番組を見る
  - 4 予約を登録・参照する
    - 1 予約の一覧を見る
    - 2 視聴予約を登録する
    - 3 録画予約を登録する
  - 5 予約録画した履歴を見る
  - 6 テレビリンクを見る

- 9 ワンセグを使う
  - 7 視聴する地域を設定する
    - 1 視聴する地域を登録する
    - 2 視聴する地域を選ぶ
    - 3 視聴する地域を編集する
  - 8 ワンセグの詳細を設定する
    - 1 字幕の言語を設定する
    - 2 音声を設定する
    - 3 データ放送を設定する
    - 4 録画の終了時間を設定する
- 0 自分の電話番号を見る
- * 基本の機能・設定
  - 1 発信者番号通知を使う
  - 2 画面の設定を行う
  - 3 電話着信時の設定を行う
  - 4 メール・メッセージの受信設定を行う
  - 5 相手の声の音量を調節する
  - 6 ボタンを押した時の音を設定する
  - 7 音声読み上げを使う
  - 8 音声呼出しを登録する
  - 9 時計を設定する
    - 1 日付と時刻を設定する
    - 2 待受画面の時計を設定する

- * 基本の機能・設定
  - 0 ワンタッチブザーを使う
- # 詳細な機能・設定
  - 1 ネットワークサービスを使う
    - 1 留守番サービスを使う
    - 2 キャッチホンを使う
    - 3 転送サービスを使う
    - 4 迷惑電話ストップを使う
    - 5 番号通知お願いサービスを使う
    - 6 電話帳お預かりサービスを使う
    - 7 通話中着信設定を使う
    - 8 通話中着信動作を選ぶ
    - 9 国際ローミングを設定する
    - 0 その他のサービスを使う
  - 2 入力に関する設定を行う
    - 1 文字の入力方法を設定する
    - 2 よく使う単語を登録する
    - 3 よく使う定型文を登録する
  - 3 電話・電話帳の詳細を設定する
    - 1 電話帳の登録件数を見る
    - 2 着信を拒否する相手を指定する
    - 3 着信を許可する相手を指定する
    - 4 電話帳登録外の着信を拒否する

キリトリ線

[#] 詳細な機能・設定
- [3] 電話・電話帳の詳細を設定する
  - [5] 発番号なしの着信動作を選ぶ
  - [6] イヤホンマイクを設定する
  - [7] 背面の画面表示を設定する
  - [8] オートスピーカーホンを設定する
  - [9] 無音着信時間を設定する
  - [0] テレビ電話を設定する
  - [*] 通話中に自分の番号を表示する
- [4] 音を設定する
  - [1] 充電開始と完了を音で通知する
  - [2] 電池残量の警告を音で通知する
  - [3] イヤホンマイク利用時の切替を選ぶ
  - [4] 通話状態が悪い時の音を選ぶ
  - [5] 再接続した時の音を選ぶ
  - [6] 保存した曲を再生する
- [5] メールの詳細を設定する
  - [1] 問合せ内容を選ぶ
  - [2] 受信する添付種別を選ぶ
  - [3] 添付のメロディを自動演奏する
- [6] メッセージの詳細を設定する
  - [1] メッセージのメロディを自動演奏する
  - [2] 未読メッセージを自動で表示する

[#] 詳細な機能・設定
- [7] ｉモードの詳細を設定する
  - [1] 問合せ内容を選ぶ
  - [2] 文字の大きさを選ぶ
  - [3] 画像表示・照明を設定する
  - [4] ｉモーションの再生を設定する
  - [5] 接続先番号を設定する
  - [6] 証明書の表示と使用を設定する
  - [7] ユーザ証明書を操作する
  - [8] 証明書の発行先を変更する
- [8] 情報の表示やリセットを行う
  - [1] 通話時間を見る
  - [2] 通話料金を見る
  - [3] 通話時間をリセットする
  - [4] 通話料金をリセットする
  - [5] 電池残量を確認する
  - [6] 通信状態を表示する
  - [7] 設定を初めの状態に戻す
  - [8] 本体内データを全て削除する
  - [9] 音声入力メールのソフトを最新にする

[#] 詳細な機能・設定
- [9] 操作の制限をする
  - [1] 開閉ロックを設定する
  - [2] 全ての操作を制限する
  - [3] セルフモードを設定する
  - [4] シークレットモードに設定する
  - [5] 電話の履歴表示を制限する
  - [6] 個人の情報表示を制限する
  - [7] 暗証番号を変更する
  - [8] FOMAカードのPINコードを設定する
  - [9] ダイヤル入力での発信を制限する
  - [0] おサイフケータイ機能を制限する
- [0] 設定時刻に電源を入／切する
  - [1] 電源が入る時刻を設定する
  - [2] 電源が切れる時刻を設定する

紛失時などの緊急連絡先

おまかせロック

※ おまかせロックは有料サービスです。ご利用の一時中断と同時、もしくは一時中断中に申し込まれた場合、無料になります。おまかせロック中でも位置提供機能の設定が「受信する」の場合は、GPS機能の位置提供要求に対応します。

おまかせロックの設定／解除

0120-524-360（24時間受付）

その他緊急連絡先

連絡先：

連絡先：

連絡先：

- ダイヤルの番号をよくご確認の上、お間違いのないようおかけください。

キリトリ線

FOMA® F884i

クイックマニュアル（海外利用編）

海外での紛失、盗難、精算などについて

〈DoCoMo インフォメーションセンター〉
（24時間受付）

● ドコモの携帯電話からの場合

滞在国の国際電話アクセス番号（表1）	-81-3-5366-3114*（無料）

＊ 一般電話などでかけた場合には、日本向け通話料がかかります。

※ F884iからご利用の場合は、+81-3-5366-3114でつながります（「+」は0わをんを1秒以上押します）。

● 一般電話などからの場合〈ユニバーサルナンバー〉

ユニバーサルナンバー用国際電話識別番号（表2）	-800-0120-0151*

＊ 滞在国内通話料などがかかる場合があります。

※ 主要国の国際電話アクセス番号（表1）／ユニバーサルナンバー用国際電話識別番号（表2）の最新情報については、ドコモの『国際サービスホームページ』をご覧ください。

海外での故障に関して

〈ネットワークテクニカルオペレーションセンター〉
（24時間受付）

● ドコモの携帯電話からの場合

滞在国の国際電話アクセス番号（表1）	-81-3-6718-1414*（無料）

＊ 一般電話などでかけた場合には、日本向け通話料がかかります。

※ F884iからご利用の場合は、+81-3-6718-1414でつながります（「+」は0わをんを1秒以上押します）。

● 一般電話などからの場合〈ユニバーサルナンバー〉

ユニバーサルナンバー用国際電話識別番号（表2）	-800-5931-8600*

＊ 滞在国内通話料などがかかる場合があります。

※ 主要国の国際電話アクセス番号（表1）／ユニバーサルナンバー用国際電話識別番号（表2）の最新情報については、ドコモの『国際サービスホームページ』をご覧ください。

海外で利用するための準備

i モードの設定

● 日本での設定

待受画面でi▶「1 i Menuを見る」▶「料金＆お申込・設定」▶「オプション設定」▶「海外利用設定」▶「i モード利用設定」

● 海外での設定

待受画面でi▶「1 i Menuを見る」▶「海外利用設定」▶「i モード利用設定」

遠隔操作設定の開始

● 日本での設定

1. 待受画面でメニュー▶「# 詳細な機能・設定」▶「1 ネットワークサービスを使う」▶「0 その他のサービスを使う」▶「1 遠隔操作設定を使う」▶「1 遠隔操作を開始する」▶「1 開始する」▶決定を押す

● 海外での設定

1. 待受画面でメニュー▶「# 詳細な機能・設定」▶「1 ネットワークサービスを使う」▶「9 国際ローミングを設定する」▶「1 国際ローミングを設定する」▶「6 遠隔操作設定(海外)を使う」▶「1 設定する」▶音声ガイダンスの指示に従って操作する

日付・時刻について

海外の通信事業者のネットワークに接続されると、日付や時刻を設定する旨のメッセージが表示されます。決定を押してタイムゾーンやサマータイムを設定します。日付時刻設定を「自動で設定する」に設定していて、手動で設定したくない場合は、戻るを押して待受画面に戻ります。日付や時刻を手動で設定すると、待受画面に滞在国の時刻と都市名、日本の時刻が表示されます。

キリトリ線

ネットワークサービスと利用できる通信サービス

通信サービス	ネットワーク		
	3G	GPRS	GSM
	3G ※1	GPRS	GSM
音声電話	○	○	○
テレビ電話	○	×	×
ｉモード接続	○	○	×
ｉモードメール	○	○	×
SMS	○	○	○
ｉチャネル	○	○	×
GPSの現在地確認	○	○	○
データ通信（パケット通信）※2	○	○	×

※1 3G（赤）が表示されているときは、音声電話とSMSの発着信、GPSの現在地確認のみ利用できます。
※2 海外ではパソコンなどと接続して行う64Kデータ通信は利用できません。

ネットワークサーチ設定

1. 待受画面で［メニュー］▶「[#] 詳細な機能・設定」▶「[1] ネットワークサービスを使う」▶「[9] 国際ローミングを設定する」▶「[1] 国際ローミングを設定する」▶「[1] ネットワークサーチを設定する」▶「[1] オート」～「[3] ネットワーク再検索」▶［決定］を押す

優先ネットワーク設定

1. 待受画面で［メニュー］▶「[#] 詳細な機能・設定」▶「[1] ネットワークサービスを使う」▶「[9] 国際ローミングを設定する」▶「[1] 国際ローミングを設定する」▶「[1] ネットワークサーチを設定する」▶「[4] 優先ネットワーク設定」を押す
2. 優先順位を変更するネットワークを選択▶［メニュー］▶「[2] 優先順位を変更」を押す
3. 優先順位の変更先を選択▶［決定］▶［電話帳］▶［決定］を押す

3G/GSM切替

1. 待受画面で［メニュー］▶「[#] 詳細な機能・設定」▶「[1] ネットワークサービスを使う」▶「[9] 国際ローミングを設定する」▶「[1] 国際ローミングを設定する」▶「[2] 3G/GSM切替を行う」を押す
2. 「[1] 自動」～「[3] GSM/GPRS」▶［決定］を押す

オペレータ名表示設定

待受画面に接続しているオペレータ名を表示するかどうかを設定します。

3G
3 UK
4/8(火) 05:05 ロンドン
4/8(火) 14:05 日本

1. 待受画面で［メニュー］▶「[#] 詳細な機能・設定」▶「[1] ネットワークサービスを使う」▶「[9] 国際ローミングを設定する」▶「[1] 国際ローミングを設定する」▶「[3] オペレータ名表示を設定する」を押す
2. 「[1] 表示する」または「[2] 表示しない」▶［決定］を押す

帰国後の確認

帰国後に電源を入れると、自動的にドコモのネットワークに接続されます。ドコモのネットワークに接続できない場合は、ネットワークサーチ設定を「オート」に、3G/GSM切替を「自動」に設定し直します。

- 日付時刻設定を「手動で設定する」に設定している場合、電源を入れると日付や時刻を自動で設定するかどうかの確認画面が表示されます。

キリトリ線

音声電話／テレビ電話のかけかた

- 海外にいるWORLD WING利用者へ電話をかけるときは、同じ国に滞在している場合でも、「+」と日本の国番号「81」を入力してください。

滞在国外（日本を含む）への電話のかけかた

1. 待受画面で[0わをん]を1秒以上▶国番号▶地域番号（市外局番）▶電話番号を入力する
2. [発信]または[テレビ電話]を押す
   - 地域番号（市外局番）が「0」で始まる場合には「0」を除いて入力してください。ただし、イタリアの一般電話などにおかけになる場合は「0」が必要です。

滞在国内への電話のかけかた

1. 待受画面で電話番号を入力▶[発信]または[テレビ電話]▶「[2]元番号でかける」を押す
   - [発信]または[テレビ電話]を押した後、そのまま発信される場合もあります。

音声電話／テレビ電話の受けかた

1. 電話がかかってくる
2. [発信]または[テレビ電話]を押す

ローミングガイダンス設定

- 日本国内で設定してください。

1. 待受画面で[メニュー]▶「[#]詳細な機能・設定」▶「[1]ネットワークサービスを使う」▶「[9]国際ローミングを設定する」▶「[3]ローミングガイダンスを設定する」を押す
2. 「[1]ローミングガイダンスを開始する」▶「[1]開始する」▶[決定]を押す

国際ローミング中の着信を規制する

- 海外の通信事業者によっては、設定できない場合があります。

1. 待受画面で[メニュー]▶「[#]詳細な機能・設定」▶「[1]ネットワークサービスを使う」▶「[9]国際ローミングを設定する」▶「[1]国際ローミングを設定する」▶「[9]ローミング時の着信を規制する」▶「[1]ローミング時着信規制を開始する」を押す
2. 「[1]テレビ電話／64Kデータ」または「[2]全て」を押す
3. 「[1]開始する」▶4桁のネットワーク暗証番号を入力▶[決定]▶[決定]を押す

ネットワークサービス

1. 待受画面で[メニュー]▶「[#]詳細な機能・設定」▶「[1]ネットワークサービスを使う」▶「[9]国際ローミングを設定する」▶「[1]国際ローミングを設定する」を押す
2. メニュー項目を選択する

● **留守番電話サービスを開始する**：「[4]留守番電話（海外）を使う」▶「[1]留守番サービスを開始する」▶「[1]開始する」を押す
- 以降、音声ガイダンスに従い操作します。

● **転送でんわサービスを開始する**：「[5]転送でんわ（海外）を使う」▶「[1]転送サービスを開始する」▶「[1]開始する」を押す
- 以降、音声ガイダンスに従い操作します。

● **ローミングガイダンス設定を設定する**：「[8]ローミングガイダンス（海外）を使う」▶「[1]設定する」または「[2]設定しない」を押す
- 以降、音声ガイダンスに従い操作します。

キリトリ線

主要国の国番号

国際電話を利用するときや国際ダイヤルアシスト設定などで利用する国番号は、次の番号を使用してください。

(2008年4月現在)

地　域	番　号	地　域	番　号
アメリカ合衆国	1	中国	86
イギリス	44	ドイツ	49
イタリア	39	トルコ	90
インド	91	日本	81
インドネシア	62	ニューカレドニア	687
エジプト	20	ニュージーランド	64
オーストラリア	61	ノルウェー	47
オーストリア	43	ハンガリー	36
オランダ	31	フィジー	679
カナダ	1	フィリピン	63
韓国	82	フィンランド	358
ギリシャ	30	フランス	33
シンガポール	65	ブラジル	55
スイス	41	ベトナム	84
スウェーデン	46	ペルー	51
スペイン	34	ベルギー	32

地　域	番　号	地　域	番　号
タイ	66	香港	852
台湾	886	マカオ	853
タヒチ(仏領ポリネシア)	689	マレーシア	60
		モルディブ	960
チェコ	420	ロシア	7

主要国の国際電話アクセス番号(表1)

(2008年3月現在)

地　域	番　号	地　域	番　号
アイルランド	00	ドイツ	00
アメリカ合衆国	011	トルコ	00
アラブ首長国連邦	00	ニュージーランド	00
イギリス	00	ノルウェー	00
イタリア	00	ハンガリー	00
インド	00	フィリピン	00
インドネシア	001	フィンランド	00
オーストラリア	0011	フランス	00
オランダ	00	ブラジル	0021／0014
カナダ	011		
韓国	001	ベトナム	00
ギリシャ	00	ベルギー	00
シンガポール	001	ポーランド	00
スイス	00	ポルトガル	00

地　域	番　号	地　域	番　号
スウェーデン	00	香港	001
スペイン	00	マカオ	00
タイ	001	マレーシア	00
台湾	002	モナコ	00
チェコ	00	ルクセンブルク	00
中国	00	ロシア	810
デンマーク	00		

ユニバーサルナンバー用国際電話識別番号(表2)

(2008年3月現在)

地　域	番　号	地　域	番　号
アイルランド	00	中国	00
アメリカ合衆国	011	デンマーク	00
アルゼンチン	00	ドイツ	00
イギリス	00	ニュージーランド	00
イスラエル	014	ノルウェー	00
イタリア	00	ハンガリー	00
オーストラリア	0011	フィリピン	00
オーストリア	00	フィンランド	990
オランダ	00	フランス	00
カナダ	011	ブラジル	0021
韓国	001	ブルガリア	00
コロンビア	009	ペルー	00

地　域	番　号	地　域	番　号
シンガポール	001	ベルギー	00
スイス	00	ポルトガル	00
スウェーデン	00	香港	001
スペイン	00	マレーシア	00
タイ	001	南アフリカ共和国	09
台湾	00	ルクセンブルク	00

お問い合わせについて

海外での紛失や、盗難、精算、故障については、クイックマニュアル(海外利用編)表紙の「海外での紛失、盗難、精算などについて」、またはP1の「海外での故障に関して」までお問い合わせください。

- 各お問い合わせ番号の先頭には、滞在先に割り当てられている「国際電話アクセス番号(表1)」「ユニバーサルナンバー用国際電話識別番号(表2)」が必要になります。

キリトリ線

「ドコモeサイト」では住所変更、料金プラン変更などの各種お手続き、資料請求を承っております。

iモードから　iMenu ⇒ 料金＆お申込・設定 ⇒ 各種手続き（ドコモeサイト）パケット通信料無料

パソコンから　My DoCoMo (http://www.mydocomo.com/) ⇒ 各種手続き（ドコモeサイト）

※ iモードからご利用になる場合、「ネットワーク暗証番号」が必要となります。
※ iモードからご利用になる場合のパケット通信料は無料です。海外からのアクセスの場合は有料となります。
※パソコンからご利用になる場合、「DoCoMo ID／パスワード」が必要となります。
※「ネットワーク暗証番号」および「DoCoMo ID／パスワード」をお持ちでない方・お忘れの方は、取扱説明書裏面の「総合お問い合わせ先」にご相談ください。
※ご契約内容によりご利用になれない場合があります。
※システムメンテナンスなどにより、ご利用になれない場合があります。

マナーもいっしょに携帯しましょう

こんな場合は必ず電源を切りましょう

■使用禁止の場所にいる場合

航空機内、病院内では、必ずFOMA端末の電源を切ってください。

※ 医用電気機器を使用している方がいるのは病棟内だけではありません。ロビーや待合室などでも、必ず電源を切ってください。

■満員電車の中など、植込み型心臓ペースメーカおよび植込み型除細動器を装着した方が近くにいる可能性がある場合

植込み型心臓ペースメーカおよび植込み型除細動器に悪影響を与えるおそれがあります。

こんな場合は公共モードに設定しましょう

■運転中の場合

運転中の携帯電話を手で保持しての使用は罰則の対象となります。

※ やむを得ず電話を受ける場合には、ハンズフリーで「かけ直す」ことを伝え、安全な場所に停車してから発信してください。

■劇場・映画館・美術館など公共の場所にいる場合

静かにすべき公共の場所でFOMA端末を使用すると、周囲の方への迷惑になります。

使用する場所や声・着信音の大きさに注意しましょう

■レストランやホテルのロビーなどの静かな場所でFOMA端末を使用する場合は、声の大きさなどに気をつけましょう。

■街の中では、通行の妨げにならない場所で使用しましょう。

プライバシーに配慮しましょう

カメラ付き携帯電話を利用して撮影や画像送信を行う際は、プライバシーなどにご配慮ください。

こんな機能が公共のマナーを守ります

かかってきた電話に応答しない設定や、FOMA端末から鳴る音をすべて消す設定など、便利な機能があります。

- ●公共モード（ドライブモード／電源OFF）→p.73
- ●伝言メモ→p.75
- ●バイブレータ→p.115
- ●マナーモード→p.117

マナーもいっしょに携帯しましょう。

○公共の場所で携帯電話をご利用の際は、周囲の方への心くばりを忘れずに。

この印刷物はリサイクルに配慮して製本されています。不要となった際、回収・リサイクルに出しましょう。

総合お問い合わせ先
〈DoCoMo インフォメーションセンター〉

■ドコモの携帯電話からの場合
(局番なしの) **151** (無料)
※一般電話などからはご利用になれません。

■一般電話などからの場合
0120-800-000
※携帯電話、PHSからもご利用になれます。

●ダイヤルの番号をよくご確認の上、お間違いのないようにおかけください。

故障お問い合わせ先

■ドコモの携帯電話からの場合
(局番なしの) **113** (無料)
※一般電話などからはご利用になれません。

■一般電話などからの場合
0120-800-000
※携帯電話、PHSからもご利用になれます。

●ダイヤルの番号をよくご確認の上、お間違いのないようにおかけください。
●なお、詳しくはFOMA端末などに添付の「全国サービスステーション一覧」でご確認ください。

海外での紛失、盗難、精算などについて
〈DoCoMo インフォメーションセンター〉(24時間受付)

●ドコモの携帯電話からの場合
滞在国の国際電話アクセス番号(表1) **-81-3-5366-3114*** (無料)
*一般電話などでかけた場合には、日本向け通話料がかかります。
※F884iからご利用の場合は、+81-3-5366-3114でつながります(「+」は「0」キーを1秒以上押します)。

●一般電話などからの場合〈ユニバーサルナンバー〉
ユニバーサルナンバー用国際電話識別番号(表2) **-800-0120-0151***
*滞在国内通話料などがかかる場合があります。
※主要国の国際電話アクセス番号(表1)/ユニバーサルナンバー用国際電話識別番号(表2)は、取扱説明書P432、P433をご覧ください。

海外での故障に関して
〈ネットワークテクニカルオペレーションセンター〉(24時間受付)

●ドコモの携帯電話からの場合
滞在国の国際電話アクセス番号(表1) **-81-3-6718-1414*** (無料)
*一般電話などでかけた場合には、日本向け通話料がかかります。
※F884iからご利用の場合は、+81-3-6718-1414でつながります(「+」は「0」キーを1秒以上押します)。

●一般電話などからの場合〈ユニバーサルナンバー〉
ユニバーサルナンバー用国際電話識別番号(表2) **-800-5931-8600***
*滞在国内通話料などがかかる場合があります。
※主要国の国際電話アクセス番号(表1)/ユニバーサルナンバー用国際電話識別番号(表2)は、取扱説明書P432、P433をご覧ください。

●紛失・盗難などにあわれたら、速やかに利用中断手続きをお取りください。
●お客様が購入されたFOMA端末に故障が発生した場合は、ご帰国後にドコモ指定の故障取扱窓口へご持参ください。

ドコモ「あんしん」ミッション
みんなが、安心を、携帯できる世の中へ。

販売元　NTT DoCoMo グループ

株式会社NTTドコモ北海道　株式会社NTTドコモ東北　株式会社NTTドコモ
株式会社NTTドコモ東海　株式会社NTTドコモ北陸　株式会社NTTドコモ関西
株式会社NTTドコモ中国　株式会社NTTドコモ四国　株式会社NTTドコモ九州

製造元 富士通株式会社

・「音声読み上げ機能」により、視覚に頼らずにメニュー操作が行えたり、メール・i モードが利用できます。
・「ワンタッチダイヤル機能」により、ボタンひとつで電話がかけられます。

環境保全のため、不要になった電池はNTT DoCoMoまたは代理店、リサイクル協力店などにお持ちください。

大豆油インキを使用しています。

2008.4 (2.1版)
CA92002-5320

FOMA® F884i
パソコン接続マニュアル

■ パソコン接続マニュアルについて

本マニュアルでは、FOMA F884iでデータ通信をする際に必要な事項についての説明をはじめ、CD-ROM内の「FOMA通信設定ファイル」「FOMA PC設定ソフト」のインストール方法などを説明しています。

お使いの環境によっては操作手順や画面が一部異なる場合があります。

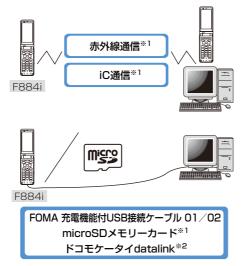
2008. 4（1版）
CA92002-5325

データ通信

FOMA端末とパソコンを接続して利用できる通信形態は、パケット通信、64Kデータ通信とデータ転送（OBEX™通信）に分類されます。

- パソコンと接続してパケット通信や64Kデータ通信を行ったり、電話帳などのデータを編集したりするには、付属のCD-ROMからソフトのインストールや各種設定を行う必要があります。
- OSをアップグレードして使用されている場合の動作は保証いたしかねます。
- 海外でパケット通信を行う場合は、IP接続で通信を行ってください（PPP接続ではパケット通信できません）。また、海外では64Kデータ通信は利用できません。
- FOMA端末は、FAX通信やRemote Wakeupには対応しておりません。
- ドコモのPDA、museaやsigmarion Ⅱ、sigmarion Ⅲと接続してデータ通信が行えます。ただし、museaやsigmarion Ⅱをご利用の場合は、これらのアップデートが必要です。アップデートの方法などの詳細は、ドコモのホームページをご覧ください。

データ転送（OBEX™通信）

画像や音楽、電話帳、メールなどのデータを、他のFOMA端末やパソコンなどとの間で送受信します。

※1 詳しくは、『らくらくホン プレミアム取扱説明書』の「データ表示／編集／管理」章をご覧ください。
※2 詳しくは、『らくらくホン プレミアム取扱説明書』の「パソコン接続」章をご覧ください。

パケット通信

送受信したデータ量に応じて課金されるため、メールの送受信など、比較的少ないデータ量を高速でやりとりする場合に適しています。ネットワークに接続していても、データの送受信を行っていないときには通信料がかからないため、ネットワークに接続したまま必要なときにデータを送受信するという使いかたができます。
ドコモのインターネット接続サービスmopera Uやmoperaなど、FOMAパケット通信に対応したアクセスポイントを利用して、受信最大3.6Mbps、送信最大384kbpsの高速パケット通信ができます。通信環境や混雑状況の影響により通信速度が変化するベストエフォート方式による提供です。
画像を含むホームページの閲覧やデータのダウンロードなど、データ量の多い通信を行った場合には通信料が高額になりますのでご注意ください。
※ FOMAハイスピードエリア外やmoperaなどHIGH-SPEEDに対応していないアクセスポイントに接続するとき、またはドコモのPDA、museaやsigmarion Ⅱ、sigmarion ⅢなどHIGH-SPEEDに対応していない機器をご利用の場合は、送受信ともに最大384kbpsでの接続になります。

64Kデータ通信

データ量に関係なく、ネットワークに接続している時間の長さに応じて課金されるため、マルチメディアコンテンツのダウンロードなど、比較的データ量の多い送受信を行う場合に適しています。
ドコモのインターネット接続サービスmopera Uやmoperaなど、FOMA64Kデータ通信に対応したアクセスポイント、またはISDN同期64Kのアクセスポイントを利用して、データを送受信できます。
長時間通信を行った場合には通信料が高額になりますのでご注意ください。

ご利用になる前に

動作環境

データ通信を利用するためのパソコンの動作環境は、次のとおりです。

項　目	必要環境
パソコン本体	USBポート（USB仕様1.1／2.0に準拠）を持つPC/AT互換機
OS（各日本語版）	Windows 2000、Windows XP、Windows Vista
必要メモリ※	Windows 2000：64MB以上　Windows XP：128MB以上 Windows Vista：512MB以上
ハードディスク容量※	5MB以上の空き容量

※ FOMA PC設定ソフトの動作環境です。パソコンのシステム構成により異なる場合があります。

- 動作環境によってはご使用になれない場合があります。また、上記の動作環境以外でのご使用について、当社では責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。
- メニューが動作する推奨環境はMicrosoft Internet Explorer6.0以降（Windows Vistaの場合は、Microsoft Internet Explorer7.0以降）です。CD-ROMをセットしてもメニューが表示されない場合は次の手順で操作してください。
  ①［スタート］→「ファイル名を指定して実行」を順にクリック
  Windows Vistaのとき：（スタート）→「すべてのプログラム」→「アクセサリ」→「ファイル名を指定して実行」を順にクリック
  ②「名前」に次のように入力して［OK］をクリック
  ＜CD-ROMドライブ名＞：index.html
  ※ CD-ROMドライブ名はお使いのパソコンによって異なります。

CD-ROMをパソコンにセットすると、次のような警告画面が表示される場合があります。この警告は、Internet Explorerのセキュリティの設定によって表示されますが、使用には問題ありません。［はい］をクリックしてください。
※ 画面はWindows XPを使用した場合の例です。お使いのパソコンの環境により異なる場合があります。

必要な機器

FOMA端末とパソコン以外に、次の機器が必要です。
- FOMA 充電機能付USB接続ケーブル01／02（別売）またはFOMA USB接続ケーブル（別売）
- 付属のCD-ROM「FOMA® F884i用CD-ROM」

※ パソコン用のUSBケーブルはコネクタ部の形状が異なるため利用できません。
※ USB HUBを使用すると、正常に動作しない場合があります。

ご利用時の留意事項

インターネットサービスプロバイダの利用料について

パソコンでインターネットを利用する場合、通常ご利用になるインターネットサービスプロバイダ（以降プロバイダ）の利用料が必要です。この利用料は、FOMAサービスの利用料とは別に直接プロバイダにお支払いいただきます。利用料の詳細は、ご利用のプロバイダにお問い合わせください。

● ドコモのインターネット接続サービスmopera Uやmoperaがご利用いただけます。
mopera Uはお申し込みが必要な有料サービスです。使用した月だけ月額使用料がかかるプランもご利用いただけます。FOMA端末でのインターネット接続には、ブロードバンド接続オプションなどに対応したmopera Uのご利用をおすすめします。
moperaはお申し込みが不要で、月額使用料は無料です。今すぐインターネットに接続したい方に便利なサービスです。

接続先（プロバイダなど）について

パケット通信と64Kデータ通信では接続先が異なります。パケット通信を行うときはパケット通信対応の接続先、64Kデータ通信を行うときはFOMA64Kデータ通信、またはISDN同期64K対応の接続先をご利用ください。

● DoPaのアクセスポイントには接続できません。

ユーザー認証について

接続先によっては、接続時にユーザー認証が必要な場合があります。その場合は、通信ソフトまたはダイヤルアップネットワークでIDとパスワードを入力してください。IDとパスワードはプロバイダまたは社内LANなど接続先のネットワーク管理者から付与されます。詳細はプロバイダまたはネットワーク管理者にお問い合わせください。

パソコンのブラウザを利用してのアクセス認証について

パソコンのブラウザを利用してのアクセス認証でFirstPass（ユーザ証明書）が必要な場合は、付属のCD-ROMからFirstPass PCソフトをインストールし、設定してください。詳細は付属のCD-ROM内の『簡易操作マニュアル』をご覧ください。

パケット通信および64Kデータ通信の条件

日本国内で通信を行うには、次の条件が必要です。

- FOMAサービスエリア内であること
- パケット通信の場合、アクセスポイントがFOMAパケット通信に対応していること
- 64Kデータ通信の場合、接続先がFOMA64Kデータ通信、またはISDN同期64Kに対応していること

※ 上記の条件が整っていても、基地局が混雑していたり、電波状態が悪かったりするときは通信できない場合があります。

データ転送（OBEX™通信）の準備の流れ

FOMA 充電機能付USB接続ケーブル01／02（別売）をご利用になる場合には、FOMA通信設定ファイルをインストールしてください。

FOMA通信設定ファイルをダウンロード、インストールする
- 付属のCD-ROMからインストール

または
- ドコモのホームページからダウンロードし、インストール

データ転送

データ通信の準備の流れ

パケット通信および64Kデータ通信を利用する場合の準備について説明します。

①FOMA通信設定ファイルをダウンロード、インストールする→P6
- 付属のCD-ROMからインストール

または
- ドコモのホームページからダウンロードし、インストール

②パソコンとFOMA端末を接続する→P5

③FOMA通信設定ファイルを確認する→P8

FOMA PC設定ソフトをインストールする→P10

かんたん設定でパケット通信を設定する
- mopera U／mopera→P12
- その他のプロバイダ→P15

かんたん設定で64Kデータ通信を設定する
- mopera U／mopera→P19
- その他のプロバイダ→P21

FOMA PC設定ソフトを利用しない通信を設定する→P30

通信を実行する→P23

FOMA通信設定ファイルについて

パソコンと接続してパケット通信または64Kデータ通信を行うには、FOMA通信設定ファイルをインストールする必要があります。

FOMA PC設定ソフトについて

付属のCD-ROMからFOMA PC設定ソフトをパソコンにインストールすると、パケット通信または64Kデータ通信を行うために必要なさまざまな設定を、パソコンから簡単に操作できます。

インストール／アンインストール前の注意点

- 操作を始める前に他のプログラムが稼動中でないことを確認し、稼動中のプログラムがある場合は終了してください。
- FOMA通信設定ファイルやFOMAバイトカウンタ、FOMA PC設定ソフトのインストール／アンインストールを行う場合は、必ずパソコンの管理者権限を持ったユーザーで行ってください。それ以外のユーザーで行うとエラーになる場合があります。Windows Vistaの場合、「ユーザーアカウント制御」画面が表示されたときは、「許可」または［続行］をクリックするか、パスワードを入力して［OK］をクリックしてください。パソコンの管理者権限の設定操作については、各パソコンメーカやマイクロソフト社にお問い合わせください。
- パソコンの操作方法、管理者権限の設定などについては、パソコンの取扱説明書をご覧ください。

パソコンとFOMA端末を接続する

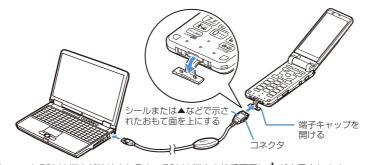
- パソコンとFOMA端末は、電源が入っている状態で接続してください。
- 初めてパソコンに接続する場合は、あらかじめFOMA通信設定ファイルをインストールしてください。→P6

USBケーブルで接続する

- FOMA 充電機能付USB接続ケーブル 01／02は別売りです。
- 本マニュアルでは、FOMA 充電機能付USB接続ケーブル 01での場合を例に説明しています。

1 USBケーブルのコネクタをFOMA端末の外部接続端子に差し込む

2 USBケーブルのパソコン側をパソコンのUSBポートに差し込む

- FOMA通信設定ファイルのインストール前にパソコンに接続した場合は、USBケーブルが差し込まれたことを自動的に認識してドライバが要求され、ウィザード画面が表示されます。その場合は、FOMA端末を取り外します。Windows 2000、Windows XPではウィザード画面で［キャンセル］をクリックして終了してください。

- パソコンとFOMA端末が接続されると、FOMA端末の待受画面に が表示されます。

取り外しかた

1 USBケーブルのコネクタのリリースボタンを押し（①）、FOMA端末から引き抜く（②）

2 パソコンからUSBケーブルを引き抜く

お知らせ

- FOMA端末からUSBケーブルを抜き差しする際は、コネクタ部分に無理な力がかからないように注意してください。取り外すときは、必ずリリースボタンを押しながら水平に引き抜いてください。無理に引き抜こうとすると故障の原因となります。
- データ通信中にUSBケーブルを外さないでください。データ通信が切断され、誤動作やデータ消失の原因となります。

FOMA通信設定ファイルをインストールする

FOMA端末をパソコンに接続してデータ通信を行うには、FOMA通信設定ファイルが必要です。使用するパソコンにFOMA端末を初めて接続する前に、インストールしておきます。

FOMA通信設定ファイルをインストールする

- 操作の前に、必ず「インストール／アンインストール前の注意点」をご覧ください。→P5
- 操作4までFOMA端末を接続しないでください。

〈例〉Windows XPにインストールするとき

1 CD-ROMをパソコンにセット

2 ［データリンクソフト・各種設定ソフト］→「FOMA通信設定ファイル(USBドライバ)」の「インストール」を順にクリックし、表示されるウィンドウから「F884ist.exe」アイコンをダブルクリック

3 ［インストール開始］をクリック

4 FOMA端末をパソコンに接続する旨のメッセージが表示されたら、FOMA端末をパソコンに接続

- FOMA端末は電源が入った状態で接続してください。

5 インストール完了画面で［OK］をクリック

- 続いてFOMAバイトカウンタをインストールします。FOMAバイトカウンタとは、携帯電話とパソコンを接続してデータ通信を行った際の、データ通信料金の概算を把握するソフトウェアです。FOMAバイトカウンタが稼働しているときは、終了させてください。

6 「FOMAバイトカウンタセットアップへようこそ」画面で［次へ］をクリック

7 「注意事項」をお読みの上、［次へ］をクリック

8 「使用許諾契約」画面で内容を確認の上、契約内容に同意する場合は「使用許諾契約の全条項に同意します」を選択し、［次へ］をクリック

9 「インストール先の選択」画面でインストール先を確認して［次へ］をクリック

• 変更する場合は［変更］をクリックし、任意のインストール先を指定して［OK］をクリックします。

10 ［インストール］をクリック

11 ［完了］をクリック

12 ［OK］をクリックし、ご利用に合わせてオプション設定を行う

• オプション設定の方法や、FOMAバイトカウンタの使いかたについては、『FOMAバイトカウンタ操作マニュアル』をご覧ください。

お知らせ

• インストールには数分かかる場合があります。
• Windowsを再起動する旨のメッセージが表示された場合は、画面の指示に従い再起動してください。
• データ通信中にインストールを行わないでください。

FOMA通信設定ファイルを確認する

● FOMA端末がパソコンに正しく認識されていない場合、設定および通信はできません。

〈例〉Windows XPで確認するとき

1 ［スタート］→「コントロールパネル」→［パフォーマンスとメンテナンス］アイコン→［システム］アイコンを順にクリック

■ Windows 2000のとき

［スタート］をクリック→「設定」から「コントロールパネル」をクリック→［システム］アイコンをダブルクリック

■ Windows Vistaのとき

（スタート）→「コントロールパネル」→「システムとメンテナンス」→「デバイスマネージャ」を順にクリック

操作3に進みます。

2 ［ハードウェア］タブをクリック→［デバイス マネージャ］をクリック

3 各デバイスの種類をダブルクリック→次のデバイス名が登録されていることを確認

- デバイスの種類とデバイス名は次のとおりです。表示される順番はOSにより異なります。
  - USB（Universal Serial Bus）またはユニバーサルシリアルバスコントローラ：FOMA F884i
  - ポート（COMとLPT）：
    FOMA F884i Command Port（COMx）※
    FOMA F884i OBEX Port（COMx）※
  - モデム：FOMA F884i

  ※x はパソコンの環境により、異なった数字が表示されます。

通信設定ファイル（ドライバ）をアンインストールする

- 操作の前に、必ず「インストール／アンインストール前の注意点」をご覧ください。→P5
- 操作の前に、パソコンからFOMA端末を取り外してください。

〈例〉Windows XP でアンインストールするとき

1 ［スタート］→「コントロールパネル」→［プログラムの追加と削除］アイコンを順にクリック

■ Windows 2000のとき

［スタート］をクリック→「設定」から「コントロールパネル」をクリック→［アプリケーションの追加と削除］アイコンをダブルクリック

■ Windows Vistaのとき

（スタート）→「コントロールパネル」→「プログラムのアンインストール」を順にクリック

2 「プログラムの追加と削除」画面で「FOMA F884i USB」を選択して［変更と削除］をクリック

■ Windows 2000のとき

「アプリケーションの追加と削除」画面で「FOMA F884i USB」を選択して［変更と削除］をクリック

■ Windows Vistaのとき

「プログラムのアンインストールまたは変更」画面で「FOMA F884i USB」を選択して「アンインストールと変更」をクリック

3 「FOMA F884i Uninstaller」と表示されていることを確認して［はい］をクリック

ドライバのアンインストールを開始します。

4 ドライバのアンインストール中画面の表示後に［OK］をクリック

お知らせ

- 削除画面で「FOMA F884i USB」が表示されていないときは、再度「FOMA通信設定ファイルをインストールする」の操作を行った後に、アンインストールを行ってください。→P6

FOMA PC設定ソフトを利用して通信する

FOMA PC設定ソフトを利用すると、簡単な操作で通信の設定が行えます。

FOMA PC設定ソフトについて

かんたん設定

ガイドに従い操作することで、FOMAデータ通信用ダイヤルアップの作成を行い、同時に通信設定最適化などを行います。

通信設定最適化

パケット通信を利用する前に、パソコン内の通信設定を最適化します。通信性能を最大限に活用するには、通信設定最適化が必要になります。

接続先（APN）の設定

パケット通信を行う際に必要な接続先（APN）の設定を行います。接続先には通常の電話番号は使用しません。あらかじめ接続先ごとに、FOMA端末にAPNと呼ばれる接続先名を設定し、その登録番号（cid）を接続先電話番号の入力欄に指定して接続します。お買い上げ時、cidの1にはmoperaに接続するためのAPN「mopera.ne.jp」が、3にはmopera Uに接続するためのAPN「mopera.net」が登録されていますが、その他のプロバイダや社内LANに接続する場合はAPN設定が必要です。

FOMA PC設定ソフトをインストールする

- 旧W-TCP環境設定ソフト、旧FOMAデータ通信設定ソフト、バージョンが4.0.0より前のFOMA PC設定ソフトをインストールされている場合は、あらかじめそれらのソフトをアンインストールしてください。
  FOMA PC設定ソフトのバージョンを確認するには、FOMA PC設定ソフトの起動画面で「メニュー」をクリック→「バージョン情報」をクリックします。
  FOMA PC設定ソフトの起動画面の表示方法→P12「かんたん設定でパケット通信を設定する」の「mopera U／moperaを利用する場合」操作1
- 操作の前に、必ず「インストール／アンインストール前の注意点」をご覧ください。→P5

〈例〉Windows XPにインストールするとき

1 CD-ROMをパソコンにセット

2 ［データリンクソフト・各種設定ソフト］→「FOMA PC設定ソフト」の「インストール」を順にクリック

- 「インストール」をクリックすると、次のような警告画面が表示される場合があります。この警告は、Internet Explorerのセキュリティの設定によって表示されますが、使用には問題ありません。［実行］または［実行する］をクリックしてください。
  ※ 画面はお使いのパソコンの環境により異なる場合があります。

3 インストールを開始するかどうかの確認画面で［はい］をクリック

4 「FOMA PC設定ソフト セットアップへようこそ」画面で［次へ］をクリック

5 「使用許諾契約」画面で内容を確認の上、契約内容に同意する場合は［はい］をクリック

- ［いいえ］をクリックし、［はい］をクリックすると、インストールを中止します。

■ Windows Vistaのとき
操作7に進みます。

6 「セットアップタイプ」画面で「タスクトレイに常駐する」を選択して［次へ］をクリック

セットアップ後、タスクトレイに「通信設定最適化」が常駐します。→P25
- インストール後に常駐の設定は変更できます。

7 「インストール先の選択」画面でインストール先を確認して［次へ］をクリック

- 変更する場合は［参照］をクリックし、任意のインストール先を指定して［OK］をクリックします。

8 「プログラム フォルダ」のフォルダ名を確認して［次へ］をクリック

- 変更する場合はフォルダ名を入力し、［次へ］をクリックします。

9 ［完了］をクリック

FOMA PC設定ソフトが起動します。このまま各種設定に進みます。

お知らせ

- 旧W-TCP環境設定ソフト、旧FOMAデータ通信設定ソフト、FOMA PC設定ソフトがインストールされている場合は、インストールを中断する旨のメッセージが表示されます。［OK］をクリックし、プログラムの追加と削除またはアプリケーションの追加と削除から、これらのソフトをアンインストールしてください。
- インストールの途中で［キャンセル］や［いいえ］をクリックした場合は、インストールを中断する確認画面が表示されます。インストールを継続する場合は［いいえ］をクリックしてください。中断する場合は［はい］をクリックし、［完了］をクリックしてください。

かんたん設定でパケット通信を設定する

FOMA PC設定ソフトのかんたん設定では、表示される内容に従って選択や入力を進めていくと、簡単にFOMA用ダイヤルアップを作成できます。

- 操作の前に、必ずパソコンとFOMA端末が正しく接続されていることを確認してください。→P5
- Windows Vistaをお使いの場合は、一部画面が異なります。

mopera U／moperaを利用する場合

〈例〉Windows XPで設定するとき

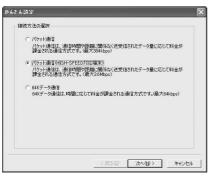
1 ［スタート］をクリック→「すべてのプログラム」→「FOMA PC設定ソフト」を順に選択して「FOMA PC設定ソフト」をクリック→［かんたん設定］をクリック

■ Windows 2000のとき

［スタート］をクリック→「プログラム」→「FOMA PC設定ソフト」を順に選択して「FOMA PC設定ソフト」をクリック→［かんたん設定］をクリック

■ Windows Vistaのとき

（スタート）→「すべてのプログラム」→「FOMA PC設定ソフト」→「FOMA PC設定ソフト」→［かんたん設定］を順にクリック

2 「パケット通信（HIGH-SPEED対応端末）」を選択して［次へ］をクリック

- moperaに接続する場合は「パケット通信」を選択します。

■ Windows Vistaのとき
「パケット通信」を選択して［次へ］をクリック

3 「『mopera U』への接続」または「『mopera』への接続」を選択して［次へ］をクリック

- 「『mopera U』への接続」を選択して［次へ］をクリックすると、ご契約の確認メッセージが表示されます。ご契約がお済みの場合、［はい］をクリックします。

4 「FOMA端末設定取得」画面で［OK］をクリック

5 「接続名」に任意の接続名を入力→「設定しない（推奨）」または「186を付加する（通知する）」を選択→「接続方式」を選択→［次へ］をクリック

- 「接続名」の先頭に．（半角文字のピリオド）は使用できません。また、次の記号（半角文字）は使用できません。
  ￥/:＊?!<>｜”
- 「発信者番号通知」は、海外で利用する場合、「設定しない（推奨）」を選択してください。
- 「接続方式」は、mopera Uは「PPP接続」、「IP接続」両方に対応しています。moperaは「PPP接続」のみに対応しております。海外で利用する場合は「IP接続」を選択してください。

6 「使用可能ユーザーの選択」を設定して［次へ］をクリック

■ Windows Vistaのとき

［次へ］をクリック

操作8に進みます。

- 「ユーザID」「パスワード」は空欄でもかまいません。

7 「最適化を行う」が選択されていることを確認して［次へ］をクリック

- すでに最適化されている場合、この画面は表示されません。
- 操作2で「パケット通信（HIGH-SPEED対応端末）」を選択した場合は、［次へ］をクリックすると個別の最適化設定はできない旨のメッセージが表示されます。すべてのダイヤルアップ設定をHIGH-SPEED用に最適化する場合は［はい］を選択します。64Kデータ通信やFOMA端末以外で通信を行う場合はご注意ください。

8 「設定情報」を確認して［完了］をクリック

9 ［OK］をクリック

設定した内容によっては、パソコンを再起動する必要があります。再起動する旨のメッセージが表示された場合は［はい］をクリックしてください。

通信を実行する→P23

その他のプロバイダを利用する場合

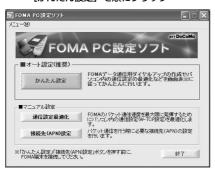
〈例〉Windows XPで設定するとき

1 ［スタート］をクリック→「すべてのプログラム」→「FOMA PC設定ソフト」を順に選択して「FOMA PC設定ソフト」をクリック→［かんたん設定］をクリック

■ Windows 2000のとき

［スタート］をクリック→「プログラム」→「FOMA PC設定ソフト」を順に選択して「FOMA PC設定ソフト」をクリック→［かんたん設定］をクリック

■ Windows Vistaのとき

(スタート）→「すべてのプログラム」→「FOMA PC設定ソフト」→「FOMA PC設定ソフト」→［かんたん設定］を順にクリック

2 「パケット通信（HIGH-SPEED対応端末)」を選択して［次へ］をクリック

- HIGH-SPEEDに対応していないアクセスポイントに接続する場合は「パケット通信」を選択します。

■ Windows Vistaのとき

「パケット通信」を選択して［次へ］をクリック

3 「その他」を選択して［次へ］をクリック

4 「FOMA端末設定取得」画面で［OK］をクリック

5 「接続名」に任意の接続名を入力→［接続先（APN）設定］をクリック

- 発信者番号通知の設定については、プロバイダなどから提供された各種情報に従ってください。なお、海外で利用する場合、「設定しない」を選択し、接続先（APN）の選択は、「IP接続」を選択してください。
- 「接続名」の先頭に．（半角文字のピリオド）は使用できません。また、次の記号（半角文字）は使用できません。
  ￥/:＊?!<>｜”
- プロバイダなどからIPおよびDNS情報の設定が指示されている場合は、［詳細情報の設定］をクリックし、各種情報を登録してください。

6 ［追加］をクリック

番号（cid）1にはmoperaに接続するためのAPN「mopera.ne.jp」が、3にはmopera Uに接続するためのAPN「mopera.net」が設定されています。番号（cid）2または4～10に接続先（APN）を設定してください。

7 「接続先（APN）」にプロバイダなどのFOMAパケット網に対応した接続先（APN）を正しく入力→「接続方式」を選択→［OK］をクリック

- 「接続先（APN)」には半角文字で、英数字、ハイフン（ -)、ピリオド（ . ）のみ使用できます。

8 ［OK］をクリック

9 「接続先（APN）の選択」の接続先名を確認して［次へ］をクリック

「接続先（APN）の選択」には、操作7で設定した「接続先（APN)」と「接続方式」が表示されます。

10 「使用可能ユーザーの選択」を設定→「ユーザID」を入力→「パスワード」を入力→［次へ］をクリック

■ Windows Vistaのとき

「ユーザID」を入力→「パスワード」を入力→［次へ］をクリック

操作12に進みます。

- 「ユーザID」「パスワード」には、プロバイダなどから提供された各種情報を、大文字、小文字などに注意し、正しく入力してください。

11 「最適化を行う」が選択されていることを確認して［次へ］をクリック

- すでに最適化されている場合、この画面は表示されません。
- 操作2で「パケット通信（HIGH-SPEED 対応端末）」を選択した場合は、［次へ］をクリックすると個別の最適化設定はできない旨のメッセージが表示されます。すべてのダイヤルアップ設定をHIGH-SPEED用に最適化する場合は［はい］を選択します。64Kデータ通信やFOMA端末以外で通信を行う場合はご注意ください。

12 「設定情報」を確認して［完了］をクリック

13 ［OK］をクリック

設定した内容によっては、パソコンを再起動する必要があります。再起動する旨のメッセージが表示された場合は［はい］をクリックしてください。

通信を実行する→P23

かんたん設定で64Kデータ通信を設定する

mopera U／moperaを利用する場合

〈例〉Windows XPで設定するとき

1 ［スタート］をクリック→「すべてのプログラム」→「FOMA PC設定ソフト」を順に選択して「FOMA PC設定ソフト」をクリック→［かんたん設定］をクリック

■ Windows 2000のとき

［スタート］をクリック→「プログラム」→「FOMA PC設定ソフト」を順に選択して「FOMA PC設定ソフト」をクリック→［かんたん設定］をクリック

■ Windows Vistaのとき

（スタート）→「すべてのプログラム」→「FOMA PC設定ソフト」→「FOMA PC設定ソフト」→［かんたん設定］を順にクリック

2 「64Kデータ通信」を選択して［次へ］をクリック

3 「『mopera U』への接続」または「『mopera』への接続」を選択して［次へ］をクリック

- 「『mopera U』への接続」を選択して［次へ］をクリックすると、ご契約の確認メッセージが表示されます。ご契約がお済みの場合、［はい］をクリックします。

4 「接続名」に任意の接続名を入力→「モデムの選択」が「FOMA F884i」に設定されていることを確認→「設定しない」または「186を付加する（通知する）」を選択→［次へ］をクリック

- 「接続名」の先頭に．（半角文字のピリオド）は使用できません。また、次の記号（半角文字）は使用できません。
￥/:＊?!<> | ”

5 「使用可能ユーザーの選択」を設定して［次へ］をクリック

■ Windows Vistaのとき

［次へ］をクリック

- 「ユーザID」「パスワード」は空欄でもかまいません。

6 「設定情報」を確認して［完了］をクリック

7 ［OK］をクリック

通信を実行する→P23

その他のプロバイダを利用する場合

〈例〉Windows XPで設定するとき

1 ［スタート］をクリック→「すべてのプログラム」→「FOMA PC設定ソフト」を順に選択して「FOMA PC設定ソフト」をクリック→［かんたん設定］をクリック

■ Windows 2000のとき

［スタート］をクリック→「プログラム」→「FOMA PC設定ソフト」を順に選択して「FOMA PC設定ソフト」をクリック→［かんたん設定］をクリック

■ Windows Vistaのとき

（スタート）→「すべてのプログラム」→「FOMA PC設定ソフト」→「FOMA PC設定ソフト」→［かんたん設定］を順にクリック

2 「64Kデータ通信」を選択して［次へ］をクリック

3 「その他」を選択して［次へ］をクリック

4 「接続名」に任意の接続名を入力→「モデムの選択」が「FOMA F884i」に設定されていることを確認→「電話番号」に接続先の電話番号を半角で入力→［次へ］をクリック

- 「接続名」の先頭に .（半角文字のピリオド）は使用できません。また、次の記号（半角文字）は使用できません。
  ¥/:＊?!<>｜"
- 「電話番号」はプロバイダなどから提供された情報を基に正しく入力してください。次の文字（半角文字）と半角空白が使用できます。
  0123456789ABCDPTWabcdptw!@$-.()+＊#,&
- 発信者番号通知の設定については、プロバイダなどから提供された各種情報に従ってください。
- プロバイダなどからIPおよびDNS情報の設定が指示されている場合は、［詳細情報の設定］をクリックし、各種情報を登録してください。

5 「使用可能ユーザーの選択」を設定→「ユーザID」を入力→「パスワード」を入力→［次へ］をクリック

■ Windows Vistaのとき
「ユーザID」を入力→「パスワード」を入力→［次へ］をクリック

- 「ユーザID」「パスワード」には、プロバイダなどから提供された各種情報を、大文字、小文字などに注意し、正しく入力してください。

6 「設定情報」を確認して［完了］をクリック

7 ［OK］をクリック

通信を実行する→P23

通信を実行する

通信の実行や切断について説明します。

〈例〉Windows XPで実行するとき

1 パソコンとFOMA端末を接続

接続方法→P5

2 デスクトップの接続アイコンをダブルクリック

Windows XP

Windows 2000

Windows Vista

- 接続アイコンが表示されていない場合は、次のスタートメニューからの接続方法を利用してください。

■ Windows XPのスタートメニューから接続するとき

［スタート］をクリック→「すべてのプログラム」→「アクセサリ」→「通信」を順に選択して「ネットワーク接続」をクリック→接続アイコンをダブルクリック

■ Windows 2000のスタートメニューから接続するとき

［スタート］をクリック→「プログラム」→「アクセサリ」→「通信」を順に選択して「ネットワークとダイヤルアップ接続」をクリック→接続アイコンをダブルクリック

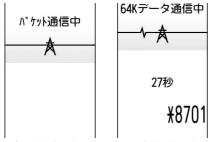
■ Windows Vistaのスタートメニューから接続するとき

（スタート）→「接続先」を順にクリック→接続先を選択して［接続］をクリック

3 「ユーザー名」を入力→「パスワード」を入力→［ダイヤル］をクリック

- mopera Uまたはmoperaを利用する場合、「ユーザー名」「パスワード」は空欄でもかまいません。
- 設定中に「ユーザー名」の入力や「パスワード」の保存をした場合、入力は不要です。
- 接続完了画面が表示された場合は［OK］をクリックしてください。

お知らせ

- FOMA 端末には、パケット通信を実行すると発信中画面が、64K データ通信を実行すると呼出中画面が表示され、接続すると次の画面が表示されます。

パケット通信のとき　　64Kデータ通信のとき

- パソコンに表示される通信速度は、実際の通信速度とは異なる場合があります。
- 通信を実行する場合、アイコン作成時のFOMA端末を接続した場合のみ有効です。

通信を切断する

パソコンのブラウザを終了しただけでは切断されない場合があります。確実に切断するには、次の操作を行ってください。

〈例〉Windows XPで通信を切断するとき

1 タスクトレイの をクリック→［切断］をクリック

■ Windows Vistaのとき

タスクトレイの を右クリック→「切断」を選択して切断する接続先をクリック

パケット通信の設定を最適化する<通信設定最適化>

通信設定最適化とは、Windows 2000、Windows XPをお使いの場合に、FOMAネットワークでパケット通信を行う際にTCP/IPの伝送能力を最適化するためのTCPパラメータ設定ツールです。FOMA端末の通信性能を最大限に活用するには、この設定が必要です。

通信設定最適化を利用してパソコンのパケット通信の設定をFOMAネットワーク用に最適化する方法と、最適化を解除する方法について説明します。

● 海外でパソコン接続を行う場合には、通信設定最適化を解除してからご利用ください。

〈例〉Windows XPでの最適化の設定と解除

1 ［スタート］をクリック→「すべてのプログラム」→「FOMA PC設定ソフト」を順に選択して「FOMA PC設定ソフト」をクリック→［通信設定最適化］をクリック

■ Windows 2000のとき

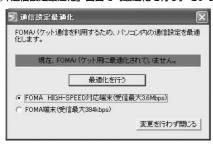
［スタート］をクリック→「プログラム」→「FOMA PC設定ソフト」を順に選択して「FOMA PC設定ソフト」をクリック→［通信設定最適化］をクリック

■ タスクトレイから通信設定最適化を起動するとき

タスクトレイの をクリック

2 次の操作を行う

■ システム設定が最適化されていないとき

①「通信設定最適化」画面で［最適化を行う］をクリック

- HIGH-SPEED対応のアクセスポイントを利用する場合は、「FOMA HIGH-SPEED対応端末（受信最大3.6Mbps）」を選択します。［最適化を行う］をクリックすると「HIGH-SPEED対応端末の確認」画面が表示されます。［はい］を選択すると、すべてのダイヤルアップ設定がHIGH-SPEED 用に最適化されますので、64Kデータ通信など、複数のダイヤルアップ設定がある場合はご注意ください。
- HIGH-SPEEDに対応していないアクセスポイントを利用する場合は、「FOMA端末（受信最大384kbps）」を選択します。

②［OK］をクリック

システム設定、ダイヤルアップ設定それぞれの最適化が実行されます。

■ システム設定が最適化されているとき

- 海外でパソコン接続を行う場合や、FOMA端末以外で通信を行う場合などに解除します。

①「通信設定最適化」画面で［最適化を解除する］をクリック

②［OK］をクリック

システム設定、ダイヤルアップ設定それぞれの最適化が解除されます。

3 画面に従ってパソコンを再起動

設定を有効にするには、パソコンの再起動が必要です。［いいえ］を選択したときは、次回起動後に設定が有効になります。

お知らせ

- Windows XPで「FOMA端末（受信最大384kbps）」を選択した場合は、ダイヤルアップ設定ごとに最適化を選択／解除することができます。

接続先（APN）を設定する

パケット通信を行う場合の接続先（APN）を設定します。

- 操作の前に、必ずパソコンとFOMA端末が正しく接続されていることを確認してください。→P5
- 接続先（APN）は、FOMA端末の登録番号（cid）1～10に設定できます。お買い上げ時、cidの1にはmoperaに接続するためのAPN「mopera.ne.jp」が、3にはmopera Uに接続するためのAPN「mopera.net」が設定されています。その他のプロバイダや社内LANに接続する場合は、cid2または4～10にAPNを設定します。
- 接続先（APN）については、プロバイダまたはネットワーク管理者にお問い合わせください。

〈例〉Windows XPで設定するとき

1 ［スタート］をクリック→「すべてのプログラム」→「FOMA PC設定ソフト」を順に選択して「FOMA PC設定ソフト」をクリック→［接続先（APN）設定］をクリック

■ Windows 2000のとき

［スタート］をクリック→「プログラム」→「FOMA PC設定ソフト」を順に選択して「FOMA PC設定ソフト」をクリック→［接続先（APN）設定］をクリック

■ Windows Vistaのとき

（スタート）→「すべてのプログラム」→「FOMA PC設定ソフト」→「FOMA PC設定ソフト」→［接続先（APN）設定］を順にクリック

2 「FOMA端末設定取得」画面で［OK］をクリック

3 接続先（APN）の設定を行う

■ 接続先（APN）を追加するとき

［追加］をクリック

■ 登録済みの接続先（APN）を編集・修正するとき

編集・修正する接続先（APN）を選択して［編集］をクリック

■ 登録済みの接続先（APN）を削除するとき

削除する接続先（APN）を選択して［削除］をクリック→［OK］をクリック

- 番号（cid）の1と3に登録されている接続先（APN）は削除できません。削除を実行してFOMA端末に設定を書き込んだ場合でも、実際には削除されず元の設定に戻ります。

■ ファイルへ保存するとき

「ファイル」をクリック→「名前を付けて保存」または「上書き保存」をクリック

- FOMA端末に登録された接続先（APN）設定のバックアップを取ったり、編集中の接続先（APN）設定を保存するときに利用します。

■ ファイルから読み込むとき

「ファイル」をクリック→「開く」をクリック

- パソコンに保存された接続先（APN）設定を再編集したり、FOMA端末に書き込みをしたりするときに利用します。

■ FOMA端末から接続先（APN）情報を読み込むとき

「ファイル」をクリック→「FOMA端末から設定を取得」をクリック

- FOMA端末に手動でアクセスし、登録された接続先（APN）設定を読み込みます。

■ FOMA端末に接続先（APN）情報を書き込むとき

［FOMA端末へ設定を書き込む］をクリック→［はい］をクリック

- 表示されている接続先（APN）設定がFOMA端末に書き込まれます。

■ ダイヤルアップを作成するとき

①追加、編集した接続先（APN）を選択して［ダイヤルアップ作成］をクリック

「FOMA端末設定書き込み」画面が表示されます。

②［はい］をクリック→［OK］をクリック

「パケット通信用ダイヤルアップの作成」画面が表示されます。

③「接続名」に任意の接続名を入力→［ユーザID・パスワードの設定］をクリック

- 「接続名」の先頭に.（半角文字のピリオド）は使用できません。また、次の記号（半角文字）は使用できません。
  ￥/:＊?!<>｜”
- 発信者番号通知の設定については、プロバイダなどから提供された各種情報に従ってください。
- 「186を付加する（通知する）」を選択すると、通信実行時に発信者番号を通知します。

④「使用可能ユーザーの選択」を設定→「ユーザID」を入力→「パスワード」を入力→［OK］をクリック
Windows Vistaのとき：「ユーザID」を入力→「パスワード」を入力→［OK］をクリック

- mopera Uまたはmoperaを利用する場合、「ユーザID・パスワード設定」はしなくてもかまいません。
- プロバイダなどからIPおよびDNS情報の設定が指示されている場合は、「パケット通信用ダイヤルアップの作成」画面で［詳細情報の設定］をクリックし、各種情報を登録後、［OK］をクリックしてください。

⑤［OK］をクリック→［OK］をクリック

お知らせ

- 接続先（APN）設定はFOMA端末に登録される情報のため、異なるFOMA端末（故障修理により交換された端末など）を接続する場合は、APNを登録し直してください。
- パソコンに登録されている接続先（APN）を継続利用する場合は、同じAPNの登録番号（cid）をFOMA端末に登録してください。

FOMA PC設定ソフトをアンインストールする

● 操作の前に、必ず「インストール／アンインストール前の注意点」をご覧ください。→P5

アンインストールを実行する前に

タスクトレイに が表示されている場合は、 を右クリックし、「終了」をクリックして、通信設定最適化の常駐を解除してください。

アンインストールする

〈例〉Windows XPでアンインストールするとき

1 ［スタート］→「コントロールパネル」→［プログラムの追加と削除］アイコンを順にクリック

■ Windows 2000のとき
［スタート］をクリック→「設定」から「コントロールパネル」をクリック→［アプリケーションの追加と削除］アイコンをダブルクリック

■ Windows Vistaのとき
（スタート）→「コントロールパネル」→「プログラムのアンインストール」を順にクリック

2 「NTT DoCoMo FOMA PC設定ソフト」を選択して［削除］をクリック

■ Windows 2000のとき
「NTT DoCoMo FOMA PC設定ソフト」を選択して［変更と削除］をクリック

■ Windows Vistaのとき
「NTT DoCoMo FOMA PC設定ソフト」を選択して「アンインストール」をクリック

3 「FOMA PC設定ソフトセットアップ」と表示されていることを確認して［はい］をクリック

FOMA PC設定ソフトのアンインストールを開始します。

■ 最適化されている場合に解除するとき
解除するかどうかの確認画面で［はい］をクリック→「再起動の確認」画面で今すぐ再起動するかどうかを設定→［完了］をクリック
- 最適化の解除はパソコンの再起動後に行われます。

4 ［完了］をクリック

FOMA PC設定ソフトを利用しない通信を設定する

FOMA PC設定ソフトを使わずに、ダイヤルアップ接続の設定を行う方法について説明します。

● パケット通信でmopera UなどHIGH-SPEED対応のアクセスポイントを利用する場合は、FOMA PC設定ソフトを利用して設定してください。

ダイヤルアップネットワークの設定の流れ

データ通信の準備の流れ→P4

接続先（APN）を設定する※→P30
• 接続先がmopera Uまたはmoperaの場合、設定は不要です。

発信者番号の通知／非通知を設定する※→P32
• 必要に応じて設定してください。

ダイヤルアップネットワークの設定をする

ご使用のOS	Windows Vista	Windows XP	Windows 2000
接続先の設定	P34	P37	P40
TCP/IP設定	P35	P39	P43

※ パケット通信の場合に設定します。
設定するには、ATコマンドを入力するための通信ソフトが必要です。
ここではWindows 2000、Windows XPに添付されている「ハイパーターミナル」を使った設定方法を説明します。Windows Vistaは「ハイパーターミナル」に対応していません。Windows Vistaの場合は、Windows Vista対応のソフトを使って設定してください（ご使用になるソフトの設定方法に従ってください）。

接続先（APN）を設定する

接続先（APN）と登録番号（cid）について

パケット通信の接続先（APN）は、FOMA端末の登録番号（cid）1～10に設定できます。お買い上げ時、cidの1にはmoperaに接続するためのAPN「mopera.ne.jp」が、3にはmopera Uに接続するためのAPN「mopera.net」が登録されています。その他のプロバイダや社内LANに接続する場合は、cid2または4～10にAPNを登録します。

● 接続先（APN）については、プロバイダまたはネットワーク管理者にお問い合わせください。
● 接続先の設定は、パケット通信用の電話帳登録として考えられます。接続先の設定項目をFOMA端末の電話帳と比較すると、次のようになります。

接続先の設定項目	FOMA端末の電話帳の登録項目
登録番号（cid）	登録番号（メモリ番号）
APN	相手の電話番号

● 登録したcidはダイヤルアップ接続設定での接続番号となります。

接続先（APN）を設定する

〈例〉Windows XPで設定するとき

1 パソコンとFOMA端末を接続

接続方法→P5

2 ［スタート］をクリック→「すべてのプログラム」（Windows 2000の場合は「プログラム」）→「アクセサリ」→「通信」を順に選択して「ハイパーターミナル」をクリック

3 「名前」に接続先名など任意の名前を入力→［OK］をクリック

- 「名前」に次の記号（半角文字）は使用できません。
  ￥/:＊?<>｜”

4 「電話番号」に実在しない電話番号（「0」など）を入力→「接続方法」が「FOMA F884i」に設定されていることを確認→［OK］をクリック

- 市外局番はパソコンの環境により異なります。接続先（APN）の設定とは関係ありませんので、変更不要です。

5 「接続」画面で［キャンセル］をクリック

6 接続先（APN）を「AT+CGDCONT=＜cid＞,"＜PDP_TYPE＞","＜APN＞"」の形式で入力→↵

＜cid＞　　　　　：2または4～10の範囲で任意の番号
＜PDP_TYPE＞：IPまたはPPP
＜APN＞　　　　：接続先（APN）

- +CGDCONTコマンド→P52「ATコマンドの補足説明」
- コマンドを入力しても画面に表示されない場合は、ATE1と入力し、↵を押します。

7 「OK」と表示されていることを確認して「ファイル」をクリック→「ハイパーターミナルの終了」をクリック

8 切断の確認で［はい］をクリック→保存の確認で［いいえ］をクリック

発信者番号の通知／非通知を設定する

パケット通信時の発信者番号の通知／非通知を一括して設定します。
発信者番号はお客様の大切な情報です。通知する際には十分にご注意ください。
● mopera Uまたはmoperaを利用する場合、「非通知」に設定すると接続できません。

〈例〉Windows XPで設定するとき

1 パソコンとFOMA端末を接続

接続方法→P5

2 ［スタート］をクリック→「すべてのプログラム」（Windows 2000の場合は「プログラム」）→「アクセサリ」→「通信」を順に選択して「ハイパーターミナル」をクリック

3 「名前」に接続先名など任意の名前を入力→［OK］をクリック

- 「名前」に次の記号（半角文字）は使用できません。
  ¥/:＊?<>｜"

4 「電話番号」に実在しない電話番号（「0」など）を入力→「接続方法」が「FOMA F884i」に設定されていることを確認→［OK］をクリック

- 市外局番はパソコンの環境により異なります。接続先（APN）の設定とは関係ありませんので、変更不要です。

5 「接続」画面で［キャンセル］をクリック

6 発信者番号の通知／非通知を「AT＊DGPIR=<n>」の形式で入力→↵

<n>：0〜2
0　：そのまま接続（お買い上げ時）
1　：184を付けて接続（非通知）
2　：186を付けて接続（通知）

- コマンドを入力しても画面に表示されない場合は、ATE1と入力し、↵を押します。

7 「OK」と表示されていることを確認して「ファイル」をクリック→「ハイパーターミナルの終了」をクリック

8 切断の確認で［はい］をクリック→保存の確認で［いいえ］をクリック

ダイヤルアップネットワークでの通知／非通知設定について

ダイヤルアップネットワークの設定でも、接続先の番号に186（通知）／184（非通知）を付けられます。

● ＊DGPIRコマンド、ダイヤルアップネットワークの設定の両方で設定を行った場合の発信者番号の通知／非通知は次のとおりです。

＊DGPIRコマンドによる設定 ／ ダイヤルアップネットワークの設定（<cid>=3の場合）	設定なし	非通知	通知
＊99＊＊＊3#	通知	非通知	通知
184＊99＊＊＊3#	非通知		
186＊99＊＊＊3#	通知		

Windows Vistaでダイヤルアップネットワークを設定する

接続先を設定する

1 パソコンとFOMA端末を接続

接続方法→P5

2 （スタート）→「接続先」を順にクリック

3 「接続またはネットワークをセットアップします」をクリック

4 「ダイヤルアップ接続をセットアップします」を選択して［次へ］をクリック

■「どのモデムを使いますか？」画面が表示されたとき

「FOMA F884i」をクリック

5 「ダイヤルアップの電話番号」に接続先の電話番号（パケット通信の場合は「＊99＊＊＊<cid>#」）を半角で入力→「ユーザー名」を入力→「パスワード」を入力→「接続名」を入力して［接続］をクリック

＜cid＞：P31「接続先（APN）を設定する」で登録したcid番号

- mopera Uまたはmoperaへ接続する場合は次のように入力します。

接続先	パケット通信	64Kデータ通信
mopera U	＊99＊＊＊3#	＊8701
mopera	＊99＊＊＊1#	＊9601

- 接続先がmopera Uまたはmoperaの場合、「ユーザー名」「パスワード」は空欄でもかまいません。
- 「接続名」の先頭に．（半角文字のピリオド）は使用できません。また、次の記号（半角文字）は使用できません。
  ¥/:＊?<>｜

6 接続中の画面で［スキップ］をクリック

- ここではすぐに接続せずに、設定だけを行います。

7 「インターネット接続テストに失敗しました」画面で「接続をセットアップします」をクリック

8 ［閉じる］をクリック

TCP/IPプロトコルを設定する

1 （スタート）→「接続先」を順にクリック

2 作成した接続先を右クリックして「プロパティ」をクリック

3 ［全般］タブの各項目の設定を確認

- 複数のモデムがインストールされている場合は、「接続の方法」の「モデム－FOMA F884i（COMx）」のみを選択します（xはパソコンの環境により、異なった数字が表示されます）。
- 「ダイヤル情報を使う」を非選択（□）にします。

4 ［ネットワーク］タブをクリック→各項目を画面例のように設定

- 「インターネットプロトコルバージョン6（TCP/IPv6）」を非選択（□）にします。
- プロバイダなどからIPおよびDNS情報の設定が指示されている場合は、「インターネットプロトコルバージョン4（TCP/IPv4）」を選択し［プロパティ］をクリックして、各種情報を設定してください。
- プロバイダなどから「QoSパケットスケジューラ」および、その他の項目についての指示がある場合は、必要に応じて選択、非選択を設定してください。

5 ［オプション］タブをクリック→［PPP設定］をクリック

6 すべての項目を非選択（□）に設定→［OK］をクリック

7 ［OK］をクリック

通信を実行する→P23

接続先を設定する

1 パソコンとFOMA端末を接続

接続方法→P5

2 ［スタート］をクリック→「すべてのプログラム」→「アクセサリ」→「通信」を順に選択して「ネットワーク接続」をクリック

3 「ネットワークタスク」の「新しい接続を作成する」をクリック

4 「新しい接続ウィザードの開始」画面で［次へ］をクリック

5 「インターネットに接続する」を選択して［次へ］をクリック

6 「接続を手動でセットアップする」を選択して［次へ］をクリック

7 「ダイヤルアップモデムを使用して接続する」を選択して［次へ］をクリック

■「デバイスの選択」画面が表示されたとき

「モデム-FOMA F884i（COMx)」のみを選択して［次へ］をクリック

- xはパソコンの環境により、異なった数字が表示されます。

8 「ISP名」に任意の接続名を入力→［次へ］をクリック

- 「ISP名」の先頭に.（半角文字のピリオド）は使用できません。また、次の記号（半角文字）は使用できません。
¥/:＊?<>|”

9 「電話番号」に接続先の電話番号（パケット通信の場合は「＊99＊＊＊<cid>#」）を半角で入力→［次へ］をクリック

<cid>：P31「接続先（APN）を設定する」で登録したcid番号

- mopera Uまたはmoperaへ接続する場合は次のように入力します。

接続先	パケット通信	64Kデータ通信
mopera U	＊99＊＊＊3#	＊8701
mopera	＊99＊＊＊1#	＊9601

10 「ユーザー名」を入力→「パスワード」を入力→「パスワードの確認入力」を入力→各項目を画面例のようにすべて選択して［次へ］をクリック

- 接続先がmopera Uまたはmoperaの場合、「ユーザー名」「パスワード」「パスワードの確認入力」は空欄でもかまいません。

11 「新しい接続ウィザードの完了」画面で［完了］をクリック

12 「(操作8で入力したISP名) へ接続」画面で設定内容を確認して［キャンセル］をクリック

- ここではすぐに接続せずに、設定の確認だけを行います。

TCP/IPプロトコルを設定する

1 作成した接続先アイコンを選択して「ファイル」をクリック→「プロパティ」をクリック

2 ［全般］タブの各項目の設定を確認

- 複数のモデムがインストールされている場合は、「接続方法」の「モデムーFOMA F884i (COMx)」のみを選択します（xはパソコンの環境により、異なった数字が表示されます）。
- 「ダイヤル情報を使う」を非選択（□）にします。

3 ［ネットワーク］タブをクリック→各項目を画面例のように設定

- 「この接続は次の項目を使用します」の「QoS パケットスケジューラ」は設定を変更できませんので、そのままにしてください。
- プロバイダなどからIPおよびDNS情報の設定が指示されている場合は、「インターネットプロトコル（TCP/IP）」を選択し［プロパティ］をクリックして、各種情報を設定してください。

4 ［設定］をクリック

5 すべての項目を非選択（□）に設定→［OK］をクリック

6 ［OK］をクリック

通信を実行する→P23

Windows 2000でダイヤルアップネットワークを設定する

接続先を設定する

1 パソコンとFOMA端末を接続

接続方法→P5

2 ［スタート］をクリック→「プログラム」→「アクセサリ」→「通信」を順に選択して「ネットワークとダイヤルアップ接続」をクリック→［新しい接続の作成］アイコンをダブルクリック

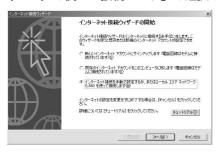
■「所在地情報」画面が表示されたとき

①「市外局番／エリアコード」に市外局番を入力→［OK］をクリック

②「電話とモデムのオプション」画面で［OK］をクリック

3 「ネットワークの接続ウィザードの開始」画面で［次へ］をクリック

4 「インターネットにダイヤルアップ接続する」を選択して［次へ］をクリック

5 「インターネット接続を手動で設定するか、またはローカルエリアネットワーク（LAN）を使って接続します」を選択して［次へ］をクリック

6 「電話回線とモデムを使ってインターネットに接続します」を選択して［次へ］をクリック

■「モデムの選択」画面が表示されたとき
「FOMA F884i」を選択して［次へ］をクリック

7 「電話番号」に接続先の電話番号（パケット通信の場合は「＊99＊＊＊＜cid＞#」）を半角で入力→［詳細設定］をクリック

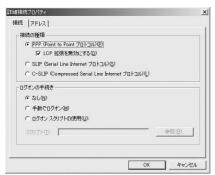
＜cid＞：P31「接続先（APN）を設定する」で登録したcid番号

- mopera Uまたはmoperaへ接続する場合は次のように入力します。

接続先	パケット通信	64Kデータ通信
mopera U	＊99＊＊＊3#	＊8701
mopera	＊99＊＊＊1#	＊9601

- 「市外局番とダイヤル情報を使う」を非選択（☐）にします。

8 ［接続］タブの各項目を画面例のように設定

9 ［アドレス］タブをクリック→各項目を設定

- プロバイダなどからIPおよびDNS情報の設定が指示されている場合は、各種情報を設定してください。
- 接続先がmopera Uまたはmoperaの場合は、設定を変更しなくてもかまいません。

10 ［OK］をクリック

11 ［次へ］をクリック

12 「ユーザー名」を入力→「パスワード」を入力→［次へ］をクリック

- 接続先がmopera Uまたはmoperaの場合、「ユーザー名」「パスワード」は空欄でもかまいません。［次へ］をクリックし、入力されていないことを確認する画面が表示されたら、［はい］をクリックします。

13 「接続名」に任意の接続名を入力→［次へ］をクリック

- 「接続名」の先頭に．（半角文字のピリオド）は使用できません。

14 「いいえ」を選択して［次へ］をクリック

15 ［完了］をクリック

TCP/IPプロトコルを設定する

1 作成した接続先アイコンを選択して「ファイル」をクリック→「プロパティ」をクリック

2 ［全般］タブの各項目の設定を確認

- 複数のモデムがインストールされている場合は、「接続の方法」の「モデム－FOMA F884i(COMx)」のみを選択します（xはパソコンの環境により、異なった数字が表示されます）。
- モデムを変更した場合は、「電話番号」の各項目が初期化されますので、もう一度接続先電話番号を入力してください。
- 「ダイヤル情報を使う」を非選択（ ）にします。

3 ［ネットワーク］タブをクリック→各項目を画面例のように設定

4 ［設定］をクリック→すべての項目を非選択（ ）に設定→［OK］をクリック

5 ［OK］をクリック

通信を実行する→P23

ATコマンド

ATコマンドとは、パソコンでFOMA端末の各機能を設定するためのコマンド（命令）です。FOMA端末はATコマンドに準拠し、さらに拡張コマンドの一部や独自のATコマンドをサポートしています。

ATコマンドについて

ATコマンドの入力形式

ATコマンドは、コマンドの先頭に必ず「AT」を付けて、半角英数字で入力してください。

〈例〉ATDコマンドでmopera Uに接続するとき

ATコマンドは、コマンドに続くパラメータを含めて、必ず1行で入力します。1行とは最初の文字から↵を押した直前までの文字のことで、「AT」を含む最大160文字入力できます。

ATコマンドの入力モード

ATコマンドでFOMA端末を操作する場合は、パソコンをターミナルモードにしてください。ターミナルモードとは、パソコンを1台の通信端末のように動作させるモードです。ターミナルモードにすると、キーボードから入力された文字がそのまま通信ポートに送られ、FOMA端末を操作できます。

- ●オフラインモード
  FOMA端末が待受の状態です。通常ATコマンドでFOMA端末を操作する場合は、この状態で操作します。
- ●オンラインデータモード
  FOMA端末が通信中の状態です。この状態のときにATコマンドを入力すると、送られてきた文字をそのまま通信先に送信して、通信先のモデムを誤動作させる場合がありますので、通信中はATコマンドを入力しないでください。
- ●オンラインコマンドモード
  FOMA端末が通信中の状態でも、ATコマンドでFOMA端末を操作できる状態です。その場合、通信先との接続を維持したままATコマンドを実行し、終了すると再び通信を続けられます。

■ オンラインデータモードとオンラインコマンドモードを切り替えるとき

FOMA端末をオンラインデータモードからオンラインコマンドモードに切り替えるには、次の方法があります。

- +++コマンドまたはS2レジスタに設定したコードを入力します。
- 「AT&D1」に設定されているときに、RS-232C※のER信号をOFFにします。
  ※ USBインタフェースにより、RS-232Cの信号線がエミュレートされていますので、通信アプリケーションによるRS-232Cの信号線制御が有効になります。

また、オンラインコマンドモードからオンラインデータモードに切り替えるには、「ATO↵」と入力します。

ATコマンド一覧

- FOMA F884i（モデム）で使用できるATコマンドです。
- パソコンや通信ソフトのフォント設定により、「¥」を入力しても「\」と表示される場合があります。
- FOMA端末の電源を切らずに電池パックを取り外した場合、設定値が記録されないことがあります。

上段：コマンド　下段：実行例	説　明
A/ A/ OK	直前に実行したコマンドを再実行します。 直前の応答が「ERROR」の場合は「ERROR」を返します。
AT AT ↵ OK	A/、+++以外のコマンドの先頭に付けて、本一覧のコマンドを使用します。本コマンドのみで使用すると、FOMA端末がATコマンドを使用できる状態のときに「OK」を返します。
ATA RING ATA ↵ CONNECT	パケット着信および64Kデータ通信の着信時に入力すると、着信処理を行います。 パケット着信中には次のコマンドが入力できます。 ATA184：発信者番号通知なし着信動作　　ATA186：発信者番号通知あり着信動作
ATD ATD＊99＊＊＊1# ↵ CONNECT 460800	ATD＊99＊＊＊<cid>#：パケット通信の発信処理を行います。 <cid>または＊＊＊<cid>を省略すると<cid>=1になります。 ATD［パラメータ］［電話番号］：64Kデータ通信の発信処理を行います。 電話番号に次の文字以外を入力すると発信できません。 0～9、＊、#、A、a、B、b、C、c また、次の文字と空白は入力できますが、ダイヤル時には認識されません。 ,、!、-、@、D、d、P、p、T、t、W、w ATDの後に186または184を挿入し、発信者番号の通知／非通知を指定できます。 ATDNまたはATDLでリダイヤル発信ができます。
ATE<n> ※1 ATE1 ↵ OK	パソコンから送信されたコマンドに対して、FOMA端末がエコーを返すかどうかを設定します。 n=0：エコーバックなし　　n=1：エコーバックあり（お買い上げ時） 通常はn=1で使用します。パソコンにエコー機能がある場合、n=0に設定すると文字が二重に表示されなくなります。
ATH ATH ↵ NO CARRIER	通信中に入力すると、回線を切断します。 オンラインコマンドモードで実行してください。→P45
ATI<n> ATI0 ↵ NTT DoCoMo OK	確認コードを表示します。 n=0：「NTT DoCoMo」　　n=1：FOMA端末の機種名を表示 n=2：FOMA端末のバージョンを表示　　n=3：ACMP信号の要素を表示 n=4：FOMA端末で通信可能な機能の詳細を数値で表示
ATO ATO ↵ CONNECT 460800	通信中にオンラインコマンドモードからオンラインデータモードに戻します。
ATQ<n> ※1 ATQ0 ↵ OK	リザルトコードを表示するかどうかを設定します。 n=0：表示（お買い上げ時）　　n=1：表示しない ATQ1を実行した場合は「OK」を返しません。
ATS0=<n> ※1 ATS0=0 ↵ OK	FOMA端末が自動着信するまでの呼出回数を設定します。 n=0：自動着信なし（お買い上げ時）　　n=1～255：指定したリング数で自動着信 ATS0?：現在の設定を表示
ATS2=<n> ATS2=43 ↵ OK	エスケープキャラクタの設定を行います。 n=0～127（お買い上げ時n=43）　　n=127に設定するとエスケープは無効になります。 ATS2?：現在の設定を表示
ATS3=<n> ATS3=13 ↵ OK	コマンド文字列の最後を認識する復帰（CR）キャラクタの設定を行います。エコーバックされたコマンド文字列とリザルトコードの最後に付きます。 n=13（固定値） ATS3?：現在の設定を表示
ATS4=<n> ATS4=10 ↵ OK	改行（LF）キャラクタの設定を行います。英文字でリザルトコードを表示する場合、復帰（CR）キャラクタの後に付きます。 n=10（固定値） ATS4?：現在の設定を表示

上段：コマンド　下段：実行例	説　明
ATS5=<n> ATS5=8 ↵ OK	バックスペース（BS）キャラクタの設定を行います。コマンド入力中にこのキャラクタを検出すると、入力バッファの最後のキャラクタを削除します。 n=8（固定値） ATS5?：現在の設定を表示
ATS6=<n> ATS6=5 ↵ OK	ダイヤルするまでのポーズ時間（秒）を設定できますが、動作しません。 n=2～10（お買い上げ時n=5） ATS6?：現在の設定を表示
ATS8=<n> ATS8=3 ↵ OK	カンマダイヤルするまでのポーズ時間（秒）を設定できますが、動作しません。 n=0～255（お買い上げ時n=3） ATS8?：現在の設定を表示
ATS10=<n> ※1 ATS10=1 ↵ OK	自動切断の遅延時間（1/10秒）を設定できますが、動作しません。 n=1～255（お買い上げ時n=1） ATS10?：現在の設定を表示
ATS30=<n> ATS30=0 ↵ OK	64Kデータ通信時、データの送受信がない場合に切断するまでの時間（分）を設定します。 n=0～255：（お買い上げ時n=0、n=0は不活動タイマOFF） ATS30?：現在の設定を表示
ATS103=<n> ATS103=1 ↵ OK	64Kデータ通信で、着サブアドレスを付けて発信する場合の区切りを設定します。 n=0：＊　n=1：/（お買い上げ時）　n=2：￥または\ ATS103?：現在の設定を表示
ATS104=<n> ATS104=1 ↵ OK	64Kデータ通信で、発サブアドレスを付けて発信する場合の区切りを設定します。 n=0：#　n=1：%（お買い上げ時）　n=2：& ATS104?：現在の設定を表示
ATV<n> ※1 ATV1 ↵ OK	リザルトコードの表示方法を設定します。 n=0：数字表示　n=1：英文字表示（お買い上げ時） ATV0を実行した場合は、同じ行に「0」を返します。
ATX<n> ※1 ATX4 ↵ OK	ビジートーン、ダイヤルトーンの検出を行うかどうかと、接続時の「CONNECT」に速度を表示するかどうかを設定します。 ビジートーン検出：接続先が通話中のとき「BUSY」応答を送出 ダイヤルトーン検出：FOMA端末に接続されているかどうかを判定 n=0：ビジートーン検出なし、ダイヤルトーン検出なし、速度表示なし n=1：ビジートーン検出なし、ダイヤルトーン検出なし、速度表示あり n=2：ビジートーン検出なし、ダイヤルトーン検出あり、速度表示あり n=3：ビジートーン検出あり、ダイヤルトーン検出なし、速度表示あり n=4：ビジートーン検出あり、ダイヤルトーン検出あり、速度表示あり（お買い上げ時） n=0に設定すると、AT&EおよびAT￥Vコマンドが無効になります。
ATZ ※3 ATZ ↵ OK（オフライン時）	FOMA端末のATコマンド設定を不揮発メモリの内容にリセットします。 通信中に実行すると、回線を切断（「NO CARRIER」を表示）してからリセットします。
AT%V AT%V ↵ Ver1.00 OK	FOMA端末のバージョンを表示します。
AT&C<n> ※1 AT&C1 ↵ OK	DTEへの回路CD（DCD）信号の動作条件を設定します。 n=0：常にON　n=1：回線接続状態に従い変化（お買い上げ時） n=0に設定する場合は、接続完了時の「CONNECT」を送出する直前にCD信号をONにします。回路が切断され、「NO CARRIER」を送出する直前にCD信号をOFFにします。
AT&D<n> ※1 AT&D2 ↵ OK	オンラインデータモードのときに、DTEから受け取る回路ER（DTR）信号がONからOFFに変わったときの動作を設定します。 n=0：状態を無視（常にONとみなす） n=1：ONからOFFに変わるとオンラインコマンドモードに移行 n=2：ONからOFFに変わると回線を切断しオフラインモードに移行（お買い上げ時）
AT&E<n> ※1 AT&E1 ↵ OK	接続時の速度表示仕様を設定します。 n=0：無線区間通信速度を表示 n=1：パソコンとFOMA端末間の通信速度を表示（お買い上げ時）
AT&F AT&F ↵ OK（オフライン時）	FOMA端末のATコマンド設定をお買い上げ時の状態に戻します。 通信中に実行すると、回線を切断（「NO CARRIER」を表示）してから戻します。

上段：コマンド　下段：実行例	説　明
AT&S<n> ※1 AT&S0 ↵ OK	DTEへ出力するデータセットレディ（DR）信号の制御を設定します。 n=0：常にON（お買い上げ時）　n=1：接続時にON
AT&W AT&W ↵ OK	現在の設定をFOMA端末に記録します。
AT＊DANTE AT＊DANTE ↵ ＊DANTE：3 OK	FOMA端末の受信レベルを「＊DANTE：<n>」の形式で表示します。 n=0：圏外　n=1：FOMA端末の受信レベルのアンテナが0または1本 n=2：FOMA端末の受信レベルのアンテナが2本 n=3：FOMA端末の受信レベルのアンテナが3本 AT＊DANTE=?：表示可能な値のリストを表示
AT＊DGANSM=<n> ※2 AT＊DGANSM=0 ↵ OK	パケット着信呼に対する着信拒否／許可を設定します。 n=0：着信拒否設定OFF、着信許可設定OFF（お買い上げ時） n=1：着信拒否設定ON　n=2：着信許可設定ON AT＊DGANSM?：現在の設定を表示　AT＊DGANSM=?：設定可能な値のリストを表示
AT＊DGAPL=<n>[,<cid>] ※2 AT＊DGAPL=0,1 ↵ OK	パケット着信呼に対して着信を許可する接続先（APN）を設定します。APNは+CGDCONTコマンドで定義した<cid>を使用します。 n=0：着信許可リストに追加　n=1：着信許可リストから削除 <cid>を+CGDCONTコマンドで定義していない場合でも、リストへ追加または削除します。 <cid>を省略した場合は、すべての<cid>をリストに追加または削除します。 AT＊DGAPL?：現在の設定を表示　AT＊DGAPL=?：設定可能な値のリストを表示
AT＊DGARL=<n>[,<cid>] ※2 AT＊DGARL=0,1 ↵ OK	パケット着信呼に対して着信を拒否する接続先（APN）を設定します。APNは+CGDCONTコマンドで定義した<cid>を使用します。 n=0：着信拒否リストに追加　n=1：着信拒否リストから削除 <cid>を+CGDCONTコマンドで定義していない場合でも、リストへ追加または削除します。 <cid>を省略した場合は、すべての<cid>をリストに追加または削除します。 AT＊DGARL?：現在の設定を表示　AT＊DGARL=?：設定可能な値のリストを表示
AT＊DGPIR=<n> ※2 AT＊DGPIR=0 ↵ OK	パケット通信確立時に、発信者番号を通知するかどうかを設定します。発信時、着信時に有効です。 n=0：APNにそのまま接続（お買い上げ時）　n=1：APNに184を付けて接続 n=2：APNに186を付けて接続 ダイヤルアップネットワークでも通知／非通知を設定した場合→P34 AT＊DGPIR?：現在の設定を表示　AT＊DGPIR=?：設定可能な値のリストを表示
AT＊DRPW AT＊DRPW ↵ ＊DRPW：0 OK	FOMA端末が受信する電波の受信電力指標を表示します。 AT＊DRPW=?：表示可能な値のリストを表示
AT+CAOC AT+CAOC ↵ +CAOC："000024" OK	直前通話料金を表示します。
AT+CBC AT+CBC ↵ +CBC：0,100 OK	FOMA端末の電池残量を「+CBC：<bcs>,<bcl>」の形式で表示します。 bcs=0：電池パックから電源の供給あり　bcs=1：電池パックから電源の供給なし bcs=2：電池パックが取り外されている　bcs=3：電源供給エラー bcl=0：電池残量なしまたは電池パックが取り外されている　bcl=1～100：電池残量あり AT+CBC=?：表示可能な値のリストを表示
AT+CBST=<n>,1,0 ※1 AT+CBST=116,1,0 ↵ OK	利用する回線を設定します（ベアラサービスの設定）。 n=116：64Kデータ通信（固定値） AT+CBST?：現在の設定を表示　AT+CBST=?：設定可能な値のリストを表示
AT+CDIP=<n> ※1 AT+CDIP=0 ↵ OK	着サブアドレスの通知の有無を設定します。また、マルチナンバーの契約状況を確認できます。 n=0：サブアドレスを表示しません。（お買い上げ時）　n=1：サブアドレスを表示します。 AT+CDIP?：現在の設定を「+CDIP:<n>,<m>」で表示します。 m=0：マルチナンバー未契約　m=1：マルチナンバー契約中 AT+CDIP=?：設定可能な値のリストを表示
AT+CEER AT+CEER ↵ +CEER：36 OK	直前の通信の切断理由を表示します。 切断理由一覧→P51
AT+CGDCONT ※2 →P52	パケット通信の接続先（APN）を設定します。→P52

上段：コマンド　下段：実行例	説　明
AT+CGEQMIN　※2 →P52	パケット通信確立時にネットワーク側から通知されるQoS（サービス品質）を許容するかどうかの判定基準を設定します。→P52
AT+CGEQREQ　※2 →P53	パケット通信の発信時にネットワークへ要求するQoS（サービス品質）を設定します。→P53
AT+CGMR AT+CGMR ↵ 1234567890123456 OK	FOMA端末のバージョンを表示します。
AT+CGREG=<n>　※1 AT+CGREG=0 ↵ OK	ネットワーク登録状態を通知するかどうかを設定します。通知される内容は圏内／圏外です。 n=0：通知なし（お買い上げ時） n=1：圏内から圏外または圏外から圏内へ移動時「+CGREG：<stat>」の形式で通知 stat=0：圏外　stat=1：圏内　stat=4：不明 stat=5：圏内（国際ローミング中） AT+CGREG?：「+CGREG：<n>,<stat>」の形式で現在の設定と状態を表示 AT+CGREG=?：設定可能な値のリストを表示
AT+CGSN AT+CGSN ↵ 123456789012345 OK	FOMA端末の製造番号を表示します。
AT+CLIP=<n>　※1 AT+CLIP=0 ↵ OK	64Kデータ通信の着信時に、相手の発信番号をパソコンに表示するかどうかを設定します。 n=0：リザルトを表示しない（お買い上げ時）　n=1：リザルトを表示する AT+CLIP?：「+CLIP：<n>,<m>」の形式で現在の設定と状態を表示 m=0：発信時に相手に番号を通知しないNW設定 m=1：発信時に相手に番号を通知するNW設定　m=2：不明 AT+CLIP=?：設定可能な値のリストを表示
AT+CLIR=<n>　※2 AT+CLIR=2 ↵ OK	64Kデータ通信の発信時に、電話番号を相手に通知するかどうかを設定します。 n=0：サービスご契約の設定に従う　n=1：通知しない n=2：通知する（お買い上げ時） AT+CLIR?：「+CLIR：<n>,<m>」の形式で現在の設定と状態を表示 m=0：CLIRは未起動（常時通知）　m=1：CLIRは起動（常時非通知） m=2：不明　m=3：CLIRテンポラリーモード（非通知デフォルト） m=4：CLIRテンポラリーモード（通知デフォルト） AT+CLIR=?：設定可能な値のリストを表示
AT+CMEE=<n>　※1 AT+CMEE=0 ↵ OK	FOMA端末のエラーレポートの有無を設定します。 n=0：リザルトコードを使用せずに「ERROR」を表示（お買い上げ時） n=1：リザルトコードを使用し、数字で理由を表示 n=2：リザルトコードを使用し、英文字で理由を表示 n=1またはn=2に設定すると、「+CME ERROR：xxxx」の形式で理由を表示します（xxxxには、数字または英文字が表示されます）。→P51「エラーレポート一覧」 AT+CMEE?：現在の設定を表示　AT+CMEE=?：設定可能な値のリストを表示
AT+CNUM AT+CNUM ↵ +CNUM：,"090XXXXXXXX",129 OK	FOMA端末の自局電話番号を「+CNUM：,"<number>",<type>」の形式で表示します。 number：自局電話番号 type=129：国際アクセスコード+を含まない type=145：国際アクセスコード+を含む
AT+COPS=<n>,2,<oper>　※2 AT+COPS=0 ↵ OK	接続する通信事業者の検索方法を設定します。 n=0：オート（お買い上げ時）　n=1：マニュアル　n=3：マッピングしない n=1に設定した場合は、<oper>にPLMN Numberを16進数で設定します。 AT+COPS?：現在の設定を表示　AT+COPS=?：設定可能な値のリストを表示
AT+CPAS AT+CPAS ↵ +CPAS：0 OK	FOMA端末が外部機器にATコマンドを送受信できる状態かどうかを「+CPAS：<n>」の形式で表示します。 n=0：可能　n=1：不可能　n=2：状態不明　n=3：可能かつ着信中 n=4：可能かつ通信中 AT+CPAS=?：表示可能な値のリストを表示

上段：コマンド　下段：実行例	説　明
AT+CPIN="<pin>", "<newpin>" AT+CPIN="0000" ↵ OK	PIN1／PIN2コードやPINロック解除コードの入力が必要な場合に、これらを入力します。PINロック解除コードの入力が必要な場合は、<newpin>に新しいPIN1／PIN2コードを入力します。PIN1／PIN2コードの入力が要求されているときに<newpin>を入力しても、PIN1／PIN2コードの変更はできません。 AT+CPIN?：現在の要求されているコードを「+CPIN：<n>」の形式で表示 n=READY：コード入力の要求なし　n=SIM PIN：PIN1コード入力待ち n=SIM PIN2：PIN2コード入力待ち n=SIM PUK：PIN1ロック解除失敗によりPINロック解除コード入力待ち n=SIM PUK2：PIN2ロック解除失敗によりPINロック解除コード入力待ち
AT+CR=<n> ※1 AT+CR=0 ↵ OK	接続時に「CONNECT」が表示される前に、通信の種別を表示するかどうかを設定します。 n=0：表示しない（お買い上げ時）　n=1：「+CR：<serv>」の形式で通信の種別を表示 serv=GPRS：パケット通信　serv=SYNC：64Kデータ通信 AT+CR?：現在の設定を表示　AT+CR=?：設定可能な値のリストを表示
AT+CRC=<n> ※1 AT+CRC=0 ↵ OK	着信時に+CRINGのリザルトコードを使用するかどうかを設定します。 n=0：使用しない（お買い上げ時） n=1：「+CRING：<type>」のリザルトコードを使用する type=GPRS "PPP",,,"<APN>"：パケット通信　type=SYNC：64Kデータ通信 AT+CRC?：現在の設定を表示　AT+CRC=?：設定可能な値のリストを表示
AT+CREG=<n> ※1 AT+CREG=0 ↵ OK	ネットワークの圏内／圏外情報を表示するかどうかを設定します。 n=0：通知なし（お買い上げ時） n=1：圏内から圏外または圏外から圏内へ移動時「+CREG：<stat>」の形式で通知 stat=0：圏外　stat=1：圏内　stat=4：不明 stat=5：圏内（国際ローミング中） AT+CREG?：「+CREG：<n>,<stat>」の形式で現在の設定と状態を表示 AT+CREG=?：設定可能な値のリストを表示
AT+CUSD=<n>,"<str>" ※1 AT+CUSD=0,"012345678" ↵ OK	ネットワークサービスの追加サービス（USSD登録）の問い合わせや設定を行います。<str>には、ドコモから通知されたサービスコードを入力します。 n=0：中間リザルトを応答しない（お買い上げ時） n=1：中間リザルトを「+CUSD：<m>, "<str>",0」の形式で応答する m=0：情報の要求なし　m=1：情報の要求あり AT+CUSD?：現在の設定を表示　AT+CUSD=?：設定可能な値のリストを表示
AT+FCLASS=<n> ※1 AT+FCLASS=0 ↵ OK	FOMA端末がサポートする通信種別を設定します。 n=0：データのみサポート（固定値） AT+FCLASS?：現在の設定を表示　AT+FCLASS=?：設定可能な値のリストを表示
AT+GCAP AT+GCAP ↵ +GCAP：+CGSM,+FCLASS,+W OK	FOMA端末でサポートしているATコマンドの範囲を「+GCAP：<n>」の形式で表示します。 n=+CGSM：GSMコマンドをサポート（一部のみサポートの場合を含む） n=+FCLASS：+FCLASSコマンドをサポート　n=+W：+Wコマンドをサポート
AT+GMI AT+GMI ↵ FUJITSU OK	FOMA端末のメーカ名を表示します。
AT+GMM AT+GMM ↵ FOMA F884i OK	FOMA端末の機種名を表示します。
AT+GMR AT+GMR ↵ Ver1.00 OK	FOMA端末のバージョンを表示します。
AT+IFC=<n,m> ※1 AT+IFC=2,2 ↵ OK	パソコンとFOMA端末間のローカルフロー制御方式を設定します。 n：DCE by DTE　m：DTE by DCE 0：フロー制御を行わない　1：XON/XOFFフロー制御を行う 2：RS/CS（RTS/CTS）フロー制御を行う（お買い上げ時） AT+IFC?：現在の設定を表示　AT+IFC=?：設定可能な値のリストを表示
AT+WS46=<n> ※1	発信時に使用する無線ネットワークをnの値で表示します。 変更はできないので、AT+WS46=<n>と入力すると、ERRORを返します。 n=12：GSMネットワーク　n=22：3Gネットワーク（FOMA） n=25：GSMおよび3Gネットワーク(FOMA)（お買い上げ時） AT+WS46?：現在の設定を表示　AT+WS46=?：設定可能な値のリストを表示

上段：コマンド　下段：実行例	説　明
AT¥S	現在設定されている各コマンドとSレジスタの内容を表示します。
AT¥S ↵ E1 Q0 V1 X4 &C1 &D2 &S0 ・・・（中略）・・・S104=001 OK	
AT¥V<n> ※1	接続時の応答コード仕様を設定します。 n=0：拡張リザルトコードを使用しない（お買い上げ時） n=1：拡張リザルトコードを使用する
AT¥V0 ↵ OK	
+++	通信中に入力すると、オンラインデータモードからオンラインコマンドモードに移行します。 エスケープガード区間は1秒の固定値です。
+++(非表示) OK	

※1 &WコマンドでFOMA端末に記録されます。
※2 &FおよびZコマンドによるリセットは行われません。
※3 &Wコマンドを使用する前にZコマンドを実行すると、最後に記録した状態に戻り、それまでの変更内容は消去されます。

切断理由一覧

■ パケット通信

値	理　由
26	APNが存在しないか、または正しくありません。
27	
30	ネットワークによって切断されました。
33	パケット通信の契約がされていません。
36	正常に切断されました。

■ 64Kデータ通信

値	理　由
1	指定した番号は存在しません。
16	正常に切断されました。
17	相手側が通信中のため、通信ができません。
18	発信しましたが、指定時間内に応答がありません。
19	相手側を呼び出しましたが応答がありません。
21	相手側が着信を拒否しました。
63	ネットワークのサービスおよびオプションが有効ではありません。
65	提供されていない処理速度を指定しました。
88	端末属性の異なる端末に発信したか、または着信を受けました。

エラーレポート一覧

数字表示	文字表示	理　由
10	SIM not inserted	FOMAカードがセットされていません。
15	SIM wrong	ドコモ以外のSIM（FOMAカードに相当するICカード）が挿入されています。
16	incorrect password	パスワードが間違っています。
100	unknown	不明なエラーです。

ATコマンドの補足説明

- ＜cid＞は、FOMA端末内に登録するパケット通信での接続先（APN）を管理する番号です。FOMA端末では「1～10」が登録できます。お買い上げ時、1にはmoperaに接続するためのAPN「mopera.ne.jp」（PPP接続）が、3にはmopera Uに接続するためのAPN「mopera.net」（IP接続）が登録されています。
＜APN＞は接続先を示す接続ごとの任意の文字列です。

■ コマンド名：+CGDCONT=［パラメータ］

- **概要**
パケット通信の接続先（APN）を設定します。
- **書式**
+CGDCONT=［＜cid＞［,"＜PDP_TYPE＞"［,"＜APN＞"］］］
- **パラメータ説明**
＜cid＞：1～10
＜PDP_TYPE＞：IPまたはPPP
＜APN＞：任意
- **実行例**
PPP接続の「abc」というAPN名を登録する場合のコマンド（＜cid＞=2の場合）
AT+CGDCONT=2,"PPP","abc" ↵
OK
- **パラメータを省略した場合の動作**
AT+CGDCONT=：すべての＜cid＞をお買い上げ時の状態に戻します。
AT+CGDCONT=＜cid＞：指定した＜cid＞をお買い上げ時の状態に戻します。
AT+CGDCONT?：現在の設定を表示します。
AT+CGDCONT=?：設定可能な値のリストを表示します。

■ コマンド名：+CGEQMIN=［パラメータ］

- **概要**
パケット通信確立時にネットワーク側から通知されるQoS（サービス品質）を許容するかどうかの判定基準を設定します。
- **書式**
AT+CGEQMIN=［＜cid＞［,,＜Maximum bitrate UL＞［,＜Maximum bitrate DL＞］］］
- **パラメータ説明**
＜cid＞：1～10
＜Maximum bitrate UL＞：なし（お買い上げ時）または384
＜Maximum bitrate DL＞：なし（お買い上げ時）または3648
※＜Maximum bitrate UL＞および＜Maximum bitrate DL＞では、FOMA端末と基地局間の上りおよび下りの最低通信速度（kbps）を設定します。「なし（お買い上げ時）」に設定した場合は、すべての速度を許容しますが、「384」および「3648」を設定した場合、これらの速度以下の接続は許容されないため、パケット通信が接続されない場合がありますのでご注意ください。
- **実行例**
(1) 上りと下りですべての速度を許容する場合のコマンド（＜cid＞=2の場合）
AT+CGEQMIN=2 ↵
OK
(2) 上り384kbps、下り3648kbpsの速度のみ許容する場合のコマンド（＜cid＞=4の場合）
AT+CGEQMIN=4,,384,3648 ↵
OK
(3) 上り384kbps、下りすべての速度のみ許容する場合のコマンド（＜cid＞=5の場合）
AT+CGEQMIN=5,,384 ↵
OK
(4) 上りすべての速度、下り3648kbpsの速度のみ許容する場合のコマンド（＜cid＞=6の場合）
AT+CGEQMIN=6,,,3648 ↵
OK

- **パラメータを省略した場合の動作**
  AT+CGEQMIN=：すべての＜cid＞をお買い上げ時の状態に戻します。
  AT+CGEQMIN=＜cid＞：指定した＜cid＞をお買い上げ時の状態に戻します。
  AT+CGEQMIN?：現在の設定を表示します。
  AT+CGEQMIN=?：設定可能な値のリストを表示します。

■ コマンド名：+CGEQREQ= ［パラメータ］

- **概要**
  パケット通信の発信時にネットワークへ要求するQoS（サービス品質）を設定します。
- **書式**
  AT+CGEQREQ= ［＜cid＞］
- **パラメータ説明**
  上り384kbps、下り3648kbpsの速度で接続を要求するコマンドのみ設定できます。各＜cid＞にはその内容がお買い上げ時に設定されています。
  ＜cid＞：1～10
- **実行例**
  （＜cid＞=3の場合）
  AT+CGEQREQ=3 ↵
  OK
- **パラメータを省略した場合の動作**
  AT+CGEQREQ=：すべての＜cid＞をお買い上げ時の状態に戻します。
  AT+CGEQREQ=＜cid＞：指定した＜cid＞をお買い上げ時の状態に戻します。
  AT+CGEQREQ?：現在の設定を表示します。
  AT+CGEQREQ=?：設定可能な値のリストを表示します。

リザルトコード

● ATVコマンドがn=1（お買い上げ時）に設定されている場合は英文字、n=0の場合は数字でリザルトコードが表示されます。→P47

■ リザルトコード

数字表示	文字表示	意　味
0	OK	正常に実行しました。
1	CONNECT	相手と接続しました。
2	RING	着信が来ています。
3	NO CARRIER	回線が切断されました。
4	ERROR	コマンドを受け付けられません。
6	NO DIALTONE	ダイヤルトーンの検出ができません。
7	BUSY	話中音の検出中です。
8	NO ANSWER	接続完了タイムアウト。
100	RESTRICTION	ネットワークが規制中です（通信ネットワークが混雑しています。しばらくたってから接続し直してください）。
101	DELAYED	リダイヤル発信規制中です。

■ 拡張リザルトコード

- **AT&Eコマンドがn=0に設定されている場合**

数字表示	文字表示	FOMA端末－基地局間の接続速度
122	CONNECT 64000	64000bps
125	CONNECT 384000	384000bps
133	CONNECT 3648000	3648000bps

• AT&Eコマンドがn=1に設定されている場合

数字表示	文字表示	FOMA端末ーパソコン間の接続速度
5	CONNECT 1200	1200bps
10	CONNECT 2400	2400bps
11	CONNECT 4800	4800bps
13	CONNECT 7200	7200bps
12	CONNECT 9600	9600bps
15	CONNECT 14400	14400bps
16	CONNECT 19200	19200bps
17	CONNECT 38400	38400bps
18	CONNECT 57600	57600bps
19	CONNECT 115200	115200bps
20	CONNECT 230400	230400bps
21	CONNECT 460800	460800bps

※ 従来のRS-232Cで接続するモデムとの互換性を保つため通信速度を表示しますが、FOMA端末ーパソコン間はUSBケーブルで接続されているため、実際の接続速度と異なります。

■ 通信プロトコルリザルトコード

数字表示	文字表示	意　味
1	PPPoverUD	64Kデータ通信で接続（BC=UDI、+CBST=116,1,0）
5	PACKET	パケット通信で接続

■ リザルトコード表示例

ATX0が設定されているとき

AT¥Vコマンドの設定に関わらず、接続完了の際に「CONNECT」のみの表示となります。

文字表示例 ：ATD＊99＊＊＊3#
CONNECT

数字表示例 ：ATD＊99＊＊＊3#
1

ATX1が設定されているとき

• ATX1、AT¥V0（お買い上げ時）が設定されている場合
接続完了のときに、「CONNECT<FOMA端末ーパソコン間の速度>」の書式で表示します。
文字表示例 ：ATD＊99＊＊＊3#
CONNECT 460800
数字表示例 ：ATD＊99＊＊＊3#
1 21

• ATX1、AT¥V1が設定されている場合※1
接続完了のときに、次の書式で表示します。
「CONNECT<FOMA端末ーパソコン間の速度><通信プロトコル><接続先APN>/<上り方向（FOMA端末→無線基地局間）の最高速度>/<下り方向（FOMA端末←無線基地局間）の最高速度>」※2
文字表示例 ：ATD＊99＊＊＊3#
CONNECT 460800 PACKET mopera.net/384/3648
（mopera.netに、上り最大384kbps、下り最大3648kbpsで接続したことを表します。）
数字表示例 ：ATD＊99＊＊＊3#
1 21 5

※1 ATX1、AT¥V1を同時に設定した場合、ダイヤルアップ接続が正しくできないことがあります。AT¥V0だけでのご利用をおすすめします。

※2 AT¥V1が設定されている場合、<接続先APN>以降はパケットで接続している場合のみ表示されます。

FOMA® F884i
区点コード一覧

2008.4（1版）
CA92002-5324

区点コード一覧

※ 区点コード入力の操作については、取扱説明書「文字入力／音声入力」章の「区点コードで入力する」をご覧ください。

※ 区点コード一覧の表示には、実際の表示と見えかたが異なるものがあります。

区点 1～3桁	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
010		(スペース)	、	。	，	．	・	：	；	？
011	！	゛	゜	´	｀	¨	＾	￣	＿	ヽ
012	ヾ	ゝ	ゞ	〃	仝	々	〆	〇	ー	―
013	‐	／	＼	～	‖	｜	…	‥	‘	’
014	“	”	（	）	〔	〕	［	］	｛	｝
015	〈	〉	《	》	「	」	『	』	【	】
016	＋	－	±	×	÷	＝	≠	＜	＞	≦
017	≧	∞	∴	♂	♀	°	′	″	℃	￥
018	＄	¢	£	％	＃	＆	＊	＠	§	☆
019	★	○	●	◎	◇					
020		◆	□	■	△	▲	▽	▼	※	〒
021	→	←	↑	↓	〓					
022							∈	∋	⊆	⊇
023	⊂	⊃	∪	∩						
024			∧	∨	￢	⇒	⇔	∀	∃	
026	∠	⊥	⌒	∂	∇	≡	≒	≪	≫	√
027	∽	∝	∵	∫	∬					
028			Å	‰	♯	♭	♪	†	‡	¶
029					◯					
031							０	１	２	３
032	４	５	６	７	８	９				
033				Ａ	Ｂ	Ｃ	Ｄ	Ｅ	Ｆ	Ｇ
034	Ｈ	Ｉ	Ｊ	Ｋ	Ｌ	Ｍ	Ｎ	Ｏ	Ｐ	Ｑ
035	Ｒ	Ｓ	Ｔ	Ｕ	Ｖ	Ｗ	Ｘ	Ｙ	Ｚ	
036						ａ	ｂ	ｃ	ｄ	ｅ
037	ｆ	ｇ	ｈ	ｉ	ｊ	ｋ	ｌ	ｍ	ｎ	ｏ
038	ｐ	ｑ	ｒ	ｓ	ｔ	ｕ	ｖ	ｗ	ｘ	ｙ
039	ｚ									
040		ぁ	あ	ぃ	い	ぅ	う	ぇ	え	ぉ
041	お	か	が	き	ぎ	く	ぐ	け	げ	こ
042	ご	さ	ざ	し	じ	す	ず	せ	ぜ	そ
043	ぞ	た	だ	ち	ぢ	っ	つ	づ	て	で
044	と	ど	な	に	ぬ	ね	の	は	ば	ぱ
045	ひ	び	ぴ	ふ	ぶ	ぷ	へ	べ	ぺ	ほ
046	ぼ	ぽ	ま	み	む	め	も	ゃ	や	ゅ
047	ゆ	ょ	よ	ら	り	る	れ	ろ	ゎ	わ
048	ゐ	ゑ	を	ん						
050		ァ	ア	ィ	イ	ゥ	ウ	ェ	エ	ォ
051	オ	カ	ガ	キ	ギ	ク	グ	ケ	ゲ	コ
052	ゴ	サ	ザ	シ	ジ	ス	ズ	セ	ゼ	ソ
053	ゾ	タ	ダ	チ	ヂ	ッ	ツ	ヅ	テ	デ
054	ト	ド	ナ	ニ	ヌ	ネ	ノ	ハ	バ	パ
055	ヒ	ビ	ピ	フ	ブ	プ	ヘ	ベ	ペ	ホ
056	ボ	ポ	マ	ミ	ム	メ	モ	ャ	ヤ	ュ
057	ユ	ョ	ヨ	ラ	リ	ル	レ	ロ	ヮ	ワ
058	ヰ	ヱ	ヲ	ン	ヴ	ヵ	ヶ			
060		Α	Β	Γ	Δ	Ε	Ζ	Η	Θ	Ι
061	Κ	Λ	Μ	Ν	Ξ	Ο	Π	Ρ	Σ	Τ
062	Υ	Φ	Χ	Ψ	Ω					
063				α	β	γ	δ	ε	ζ	η
064	θ	ι	κ	λ	μ	ν	ξ	ο	π	ρ
065	σ	τ	υ	φ	χ	ψ	ω			
070		А	Б	В	Г	Д	Е	Ё	Ж	З
071	И	Й	К	Л	М	Н	О	П	Р	С
072	Т	У	Ф	Х	Ц	Ч	Ш	Щ	Ъ	Ы
073	Ь	Э	Ю	Я						
074										а
075	б	в	г	д	е	ё	ж	з	и	й
076	к	л	м	н	о	п	р	с	т	у
077	ф	х	ц	ч	ш	щ	ъ	ы	ь	э
078	ю	я								
080		─	│	┌	┐	┘	└	├	┬	┤
081	┴	┼	━	┃	┏	┓	┛	┗	┣	┳
082	┫	┻	╋	┠	┯	┨	┷	┿	┝	┰

区点 1～3桁	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
083	┥	┸	╂							
130		①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨
131	⑩	⑪	⑫	⑬	⑭	⑮	⑯	⑰	⑱	⑲
132	⑳	Ⅰ	Ⅱ	Ⅲ	Ⅳ	Ⅴ	Ⅵ	Ⅶ	Ⅷ	Ⅸ
133	Ⅹ		㍉	㌔	㌢	㍍	㌘	㌧	㌃	㌶
134	㍑	㍗	㌍	㌦	㌣	㌫	㍊	㌻	㎜	㎝
135	㎞	㎎	㎏	㏄	㎡					
136				㍻	〝	〟	№	㏍	℡	㊤
137	㊥	㊦	㊧	㊨	㈱	㈲	㈹	㍾	㍽	㍼
138	≒	≡	∫	∮	∑	√	⊥	∠	∟	⊿
139	∵	∩	∪							
	あ									
160		亜	唖	娃	阿	哀	愛	挨	姶	逢
161	葵	茜	穐	悪	握	渥	旭	葦	芦	鯵
162	梓	圧	斡	扱	宛	姐	虻	飴	絢	綾
163	鮎	或	粟	袷	安	庵	按	暗	案	闇
164	鞍	杏								
	い									
164			以	伊	位	依	偉	囲	夷	委
165	威	尉	惟	意	慰	易	椅	為	畏	異
166	移	維	緯	胃	萎	衣	謂	違	遺	医
167	井	亥	域	育	郁	磯	一	壱	溢	逸
168	稲	茨	芋	鰯	允	印	咽	員	因	姻
169	引	飲	淫	胤	蔭					
170		院	陰	隠	韻	吋				
	う									
170							右	宇	烏	羽
171	迂	雨	卯	鵜	窺	丑	碓	臼	渦	嘘
172	唄	欝	蔚	鰻	姥	厩	浦	瓜	閏	噂
173	云	運	雲							
	え									
173				荏	餌	叡	営	嬰	影	映
174	曳	栄	永	泳	洩	瑛	盈	穎	頴	英
175	衛	詠	鋭	液	疫	益	駅	悦	謁	越
176	閲	榎	厭	円	園	堰	奄	宴	延	怨
177	掩	援	沿	演	炎	焔	煙	燕	猿	縁
178	艶	苑	薗	遠	鉛	鴛	塩			
	お									
178								於	汚	甥
179	凹	央	奥	往	応					
180		押	旺	横	欧	殴	王	翁	襖	鴬
181	鴎	黄	岡	沖	荻	億	屋	憶	臆	桶
182	牡	乙	俺	卸	恩	温	穏	音		
	か									
182									下	化
183	仮	何	伽	価	佳	加	可	嘉	夏	嫁
184	家	寡	科	暇	果	架	歌	河	火	珂
185	禍	禾	稼	箇	花	苛	茄	荷	華	菓
186	蝦	課	嘩	貨	迦	過	霞	蚊	俄	峨
187	我	牙	画	臥	芽	蛾	賀	雅	餓	駕
188	介	会	解	回	塊	壊	廻	快	怪	悔
189	恢	懐	戒	拐	改					
190		魁	晦	械	海	灰	界	皆	絵	芥
191	蟹	開	階	貝	凱	劾	外	咳	害	崖
192	慨	概	涯	碍	蓋	街	該	鎧	骸	浬
193	馨	蛙	垣	柿	蛎	鈎	劃	嚇	各	廓
194	拡	撹	格	核	殻	獲	確	穫	覚	角
195	赫	較	郭	閣	隔	革	学	岳	楽	額
196	顎	掛	笠	樫	橿	梶	鰍	潟	割	喝
197	恰	括	活	渇	滑	葛	褐	轄	且	鰹
198	叶	椛	樺	鞄	株	兜	竃	蒲	釜	鎌
199	噛	鴨	栢	茅	萱					
200		粥	刈	苅	瓦	乾	侃	冠	寒	刊
201	勘	勧	巻	喚	堪	姦	完	官	寛	干
202	幹	患	感	慣	憾	換	敢	柑	桓	棺
203	款	歓	汗	漢	澗	潅	環	甘	監	看
204	竿	管	簡	緩	缶	翰	肝	艦	莞	観
205	諌	貫	還	鑑	間	閑	関	陥	韓	館
206	舘	丸	含	岸	巌	玩	癌	眼	岩	翫

区点 1～3桁	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
207	贋	雁	頑	顔	願					
	き									
207						企	伎	危	喜	器
208	基	奇	嬉	寄	岐	希	幾	忌	揮	机
209	旗	既	期	棋	棄					
210		機	帰	毅	気	汽	畿	祈	季	稀
211	紀	徽	規	記	貴	起	軌	輝	飢	騎
212	鬼	亀	偽	儀	妓	宜	戯	技	擬	欺
213	犠	疑	祇	義	蟻	誼	議	掬	菊	鞠
214	吉	吃	喫	桔	橘	詰	砧	杵	黍	却
215	客	脚	虐	逆	丘	久	仇	休	及	吸
216	宮	弓	急	救	朽	求	汲	泣	灸	球
217	究	窮	笈	級	糾	給	旧	牛	去	居
218	巨	拒	拠	挙	渠	虚	許	距	鋸	漁
219	禦	魚	亨	享	京					
220		供	侠	僑	兇	競	共	凶	協	匡
221	卿	叫	喬	境	峡	強	彊	怯	恐	恭
222	挟	教	橋	況	狂	狭	矯	胸	脅	興
223	蕎	郷	鏡	響	饗	驚	仰	凝	尭	暁
224	業	局	曲	極	玉	桐	粁	僅	勤	均
225	巾	錦	斤	欣	欽	琴	禁	禽	筋	緊
226	芹	菌	衿	襟	謹	近	金	吟	銀	
	く									
226										九
227	倶	句	区	狗	玖	矩	苦	躯	駆	駈
228	駒	具	愚	虞	喰	空	偶	寓	遇	隅
229	串	櫛	釧	屑	屈					
230		掘	窟	沓	靴	轡	窪	熊	隈	粂
231	栗	繰	桑	鍬	勲	君	薫	訓	群	軍
232	郡									
	け									
232		卦	袈	祁	係	傾	刑	兄	啓	圭
233	珪	型	契	形	径	恵	慶	慧	憩	掲
234	携	敬	景	桂	渓	畦	稽	系	経	継
235	繋	罫	茎	荊	蛍	計	詣	警	軽	頚
236	鶏	芸	迎	鯨	劇	戟	撃	激	隙	桁
237	傑	欠	決	潔	穴	結	血	訣	月	件
238	倹	倦	健	兼	券	剣	喧	圏	堅	嫌
239	建	憲	懸	拳	捲					
240		検	権	牽	犬	献	研	硯	絹	県
241	肩	見	謙	賢	軒	遣	鍵	険	顕	験
242	鹸	元	原	厳	幻	弦	減	源	玄	現
243	絃	舷	言	諺	限					
	こ									
243						乎	個	古	呼	固
244	姑	孤	己	庫	弧	戸	故	枯	湖	狐
245	糊	袴	股	胡	菰	虎	誇	跨	鈷	雇
246	顧	鼓	五	互	伍	午	呉	吾	娯	後
247	御	悟	梧	檎	瑚	碁	語	誤	護	醐
248	乞	鯉	交	佼	侯	候	倖	光	公	功
249	効	勾	厚	口	向					
250		后	喉	坑	垢	好	孔	孝	宏	工
251	巧	巷	幸	広	庚	康	弘	恒	慌	抗
252	拘	控	攻	昂	晃	更	杭	校	梗	構
253	江	洪	浩	港	溝	甲	皇	硬	稿	糠
254	紅	紘	絞	綱	耕	考	肯	肱	腔	膏
255	航	荒	行	衡	講	貢	購	郊	酵	鉱
256	砿	鋼	閤	降	項	香	高	鴻	剛	劫
257	号	合	壕	拷	濠	豪	轟	麹	克	刻
258	告	国	穀	酷	鵠	黒	獄	漉	腰	甑
259	忽	惚	骨	狛	込					
260		此	頃	今	困	坤	墾	婚	恨	懇
261	昏	昆	根	梱	混	痕	紺	艮	魂	
	さ									
261										些
262	佐	叉	唆	嵯	左	差	査	沙	瑳	砂
263	詐	鎖	裟	坐	座	挫	債	催	再	最
264	哉	塞	妻	宰	彩	才	採	栽	歳	済
265	災	采	犀	砕	砦	祭	斎	細	菜	裁
266	載	際	剤	在	材	罪	財	冴	坂	阪

区点	区点4桁目									
1～3桁	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
267	堺	榊	肴	咲	崎	埼	碕	鷺	作	削
268	咋	搾	昨	朔	柵	窄	策	索	錯	桜
269	鮭	笹	匙	冊	刷					
270		察	拶	撮	擦	札	殺	薩	雑	皐
271	鯖	捌	錆	鮫	皿	晒	三	傘	参	山
272	惨	撒	散	桟	燦	珊	産	算	纂	蚕
273	讃	賛	酸	餐	斬	暫	残			
	し									
273								仕	仔	伺
274	使	刺	司	史	嗣	四	士	始	姉	姿
275	子	屍	市	師	志	思	指	支	孜	斯
276	施	旨	枝	止	死	氏	獅	祉	私	糸
277	紙	紫	肢	脂	至	視	詞	詩	試	誌
278	諮	資	賜	雌	飼	歯	事	似	侍	児
279	字	寺	慈	持	時					
280		次	滋	治	爾	璽	痔	磁	示	而
281	耳	自	蒔	辞	汐	鹿	式	識	鴫	竺
282	軸	宍	雫	七	叱	執	失	嫉	室	悉
283	湿	漆	疾	質	実	蔀	篠	偲	柴	芝
284	屡	蕊	縞	舎	写	射	捨	赦	斜	煮
285	社	紗	者	謝	車	遮	蛇	邪	借	勺
286	尺	杓	灼	爵	酌	釈	錫	若	寂	弱
287	惹	主	取	守	手	朱	殊	狩	珠	種
288	腫	趣	酒	首	儒	受	呪	寿	授	樹
289	綬	需	囚	収	周					
290		宗	就	州	修	愁	拾	洲	秀	秋
291	終	繍	習	臭	舟	蒐	衆	襲	讐	蹴
292	輯	週	酋	酬	集	醜	什	住	充	十
293	従	戎	柔	汁	渋	獣	縦	重	銃	叔
294	夙	宿	淑	祝	縮	粛	塾	熟	出	術
295	述	俊	峻	春	瞬	竣	舜	駿	准	循
296	旬	楯	殉	淳	準	潤	盾	純	巡	遵
297	醇	順	処	初	所	暑	曙	渚	庶	緒
298	署	書	薯	藷	諸	助	叙	女	序	徐
299	恕	鋤	除	傷	償					
300		勝	匠	升	召	哨	商	唱	嘗	奨
301	妾	娼	宵	将	小	少	尚	庄	床	廠
302	彰	承	抄	招	掌	捷	昇	昌	昭	晶
303	松	梢	樟	樵	沼	消	渉	湘	焼	焦
304	照	症	省	硝	礁	祥	称	章	笑	粧
305	紹	肖	菖	蒋	蕉	衝	裳	訟	証	詔
306	詳	象	賞	醤	鉦	鍾	鐘	障	鞘	上
307	丈	丞	乗	冗	剰	城	場	壌	嬢	常
308	情	擾	条	杖	浄	状	畳	穣	蒸	譲
309	醸	錠	嘱	埴	飾					
310		拭	植	殖	燭	織	職	色	触	食
311	蝕	辱	尻	伸	信	侵	唇	娠	寝	審
312	心	慎	振	新	晋	森	榛	浸	深	申
313	疹	真	神	秦	紳	臣	芯	薪	親	診
314	身	辛	進	針	震	人	仁	刃	塵	壬
315	尋	甚	尽	腎	訊	迅	陣	靭		
	す									
315									笥	諏
316	須	酢	図	厨	逗	吹	垂	帥	推	水
317	炊	睡	粋	翠	衰	遂	酔	錐	錘	随
318	瑞	髄	崇	嵩	数	枢	趨	雛	据	杉
319	椙	菅	頗	雀	裾					
320		澄	摺	寸						
	せ									
320					世	瀬	畝	是	凄	制
321	勢	姓	征	性	成	政	整	星	晴	棲
322	栖	正	清	牲	生	盛	精	聖	声	製
323	西	誠	誓	請	逝	醒	青	静	斉	税
324	脆	隻	席	惜	戚	斥	昔	析	石	積
325	籍	績	脊	責	赤	跡	蹟	碩	切	拙
326	接	摂	折	設	窃	節	説	雪	絶	舌
327	蝉	仙	先	千	占	宣	専	尖	川	戦
328	扇	撰	栓	栴	泉	浅	洗	染	潜	煎
329	煽	旋	穿	箭	線					
330		繊	羨	腺	舛	船	薦	詮	賎	践
331	選	遷	銭	銑	閃	鮮	前	善	漸	然
332	全	禅	繕	膳	糎					
	そ									
332						噌	塑	岨	措	曾
333	曽	楚	狙	疏	疎	礎	祖	租	粗	素
334	組	蘇	訴	阻	遡	鼠	僧	創	双	叢
335	倉	喪	壮	奏	爽	宋	層	匝	惣	想

区点	区点4桁目									
1～3桁	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
336	捜	掃	挿	掻	操	早	曹	巣	槍	槽
337	漕	燥	争	痩	相	窓	糟	総	綜	聡
338	草	荘	葬	蒼	藻	装	走	送	遭	鎗
339	霜	騒	像	増	憎					
340		臓	蔵	贈	造	促	側	則	即	息
341	捉	束	測	足	速	俗	属	賊	族	続
342	卒	袖	其	揃	存	孫	尊	損	村	遜
	た									
343	他	多	太	汰	詑	唾	堕	妥	惰	打
344	柁	舵	楕	陀	駄	騨	体	堆	対	耐
345	岱	帯	待	怠	態	戴	替	泰	滞	胎
346	腿	苔	袋	貸	退	逮	隊	黛	鯛	代
347	台	大	第	醍	題	鷹	滝	瀧	卓	啄
348	宅	托	択	拓	沢	濯	琢	託	鐸	濁
349	諾	茸	凧	蛸	只					
350		叩	但	達	辰	奪	脱	巽	竪	辿
351	棚	谷	狸	鱈	樽	誰	丹	単	嘆	坦
352	担	探	旦	歎	淡	湛	炭	短	端	箪
353	綻	耽	胆	蛋	誕	鍛	団	壇	弾	断
354	暖	檀	段	男	談					
	ち									
354						値	知	地	弛	恥
355	智	池	痴	稚	置	致	蜘	遅	馳	築
356	畜	竹	筑	蓄	逐	秩	窒	茶	嫡	着
357	中	仲	宙	忠	抽	昼	柱	注	虫	衷
358	註	酎	鋳	駐	樗	瀦	猪	苧	著	貯
359	丁	兆	凋	喋	寵					
360		帖	帳	庁	弔	張	彫	徴	懲	挑
361	暢	朝	潮	牒	町	眺	聴	脹	腸	蝶
362	調	諜	超	跳	銚	長	頂	鳥	勅	捗
363	直	朕	沈	珍	賃	鎮	陳			
	つ									
363								津	墜	椎
364	槌	追	鎚	痛	通	塚	栂	掴	槻	佃
365	漬	柘	辻	蔦	綴	鍔	椿	潰	坪	壷
366	嬬	紬	爪	吊	釣	鶴				
	て									
366							亭	低	停	偵
367	剃	貞	呈	堤	定	帝	底	庭	廷	弟
368	悌	抵	挺	提	梯	汀	碇	禎	程	締
369	艇	訂	諦	蹄	逓					
370		邸	鄭	釘	鼎	泥	摘	擢	敵	滴
371	的	笛	適	鏑	溺	哲	徹	撤	轍	迭
372	鉄	典	填	天	展	店	添	纏	甜	貼
373	転	顛	点	伝	殿	澱	田	電		
	と									
373									兎	吐
374	堵	塗	妬	屠	徒	斗	杜	渡	登	菟
375	賭	途	都	鍍	砥	砺	努	度	土	奴
376	怒	倒	党	冬	凍	刀	唐	塔	塘	套
377	宕	島	嶋	悼	投	搭	東	桃	梼	棟
378	盗	淘	湯	涛	灯	燈	当	痘	祷	等
379	答	筒	糖	統	到					
380		董	蕩	藤	討	謄	豆	踏	逃	透
381	鐙	陶	頭	騰	闘	働	動	同	堂	導
382	憧	撞	洞	瞳	童	胴	萄	道	銅	峠
383	鴇	匿	得	徳	涜	特	督	禿	篤	毒
384	独	読	栃	橡	凸	突	椴	届	鳶	苫
385	寅	酉	瀞	噸	屯	惇	敦	沌	豚	遁
386	頓	呑	曇	鈍						
	な									
386					奈	那	内	乍	凪	薙
387	謎	灘	捺	鍋	楢	馴	縄	畷	南	楠
388	軟	難	汝							
	に									
388				二	尼	弐	迩	匂	賑	肉
389	虹	廿	日	乳	入					
390		如	尿	韮	任	妊	忍	認		
	ぬ									
390									濡	
	ね									
390										禰
391	祢	寧	葱	猫	熱	年	念	捻	撚	燃
392	粘									
	の									
392		乃	廼	之	埜	嚢	悩	濃	納	能
393	脳	膿	農	覗	蚤					

区点	区点4桁目									
1～3桁	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
	は									
393						巴	把	播	覇	杷
394	波	派	琶	破	婆	罵	芭	馬	俳	廃
395	拝	排	敗	杯	盃	牌	背	肺	輩	配
396	倍	培	媒	梅	楳	煤	狽	買	売	賠
397	陪	這	蝿	秤	矧	萩	伯	剥	博	拍
398	柏	泊	白	箔	粕	舶	薄	迫	曝	漠
399	爆	縛	莫	駁	麦					
400		函	箱	硲	箸	肇	筈	櫨	幡	肌
401	畑	畠	八	鉢	溌	発	醗	髪	伐	罰
402	抜	筏	閥	鳩	噺	塙	蛤	隼	伴	判
403	半	反	叛	帆	搬	斑	板	氾	汎	版
404	犯	班	畔	繁	般	藩	販	範	釆	煩
405	頒	飯	挽	晩	番	盤	磐	蕃	蛮	
	ひ									
405										匪
406	卑	否	妃	庇	彼	悲	扉	批	披	斐
407	比	泌	疲	皮	碑	秘	緋	罷	肥	被
408	誹	費	避	非	飛	樋	簸	備	尾	微
409	枇	毘	琵	眉	美					
410		鼻	柊	稗	匹	疋	髭	彦	膝	菱
411	肘	弼	必	畢	筆	逼	桧	姫	媛	紐
412	百	謬	俵	彪	標	氷	漂	瓢	票	表
413	評	豹	廟	描	病	秒	苗	錨	鋲	蒜
414	蛭	鰭	品	彬	斌	浜	瀕	貧	賓	頻
415	敏	瓶								
	ふ									
415			不	付	埠	夫	婦	富	冨	布
416	府	怖	扶	敷	斧	普	浮	父	符	腐
417	膚	芙	譜	負	賦	赴	阜	附	侮	撫
418	武	舞	葡	蕪	部	封	楓	風	葺	蕗
419	伏	副	復	幅	服					
420		福	腹	複	覆	淵	弗	払	沸	仏
421	物	鮒	分	吻	噴	墳	憤	扮	焚	奮
422	粉	糞	紛	雰	文	聞				
	へ									
422							丙	併	兵	塀
423	幣	平	弊	柄	並	蔽	閉	陛	米	頁
424	僻	壁	癖	碧	別	瞥	蔑	箆	偏	変
425	片	篇	編	辺	返	遍	便	勉	娩	弁
426	鞭									
	ほ									
426		保	舗	鋪	圃	捕	歩	甫	補	輔
427	穂	募	墓	慕	戊	暮	母	簿	菩	倣
428	俸	包	呆	報	奉	宝	峰	峯	崩	庖
429	抱	捧	放	方	朋					
430		法	泡	烹	砲	縫	胞	芳	萌	蓬
431	蜂	褒	訪	豊	邦	鋒	飽	鳳	鵬	乏
432	亡	傍	剖	坊	妨	帽	忘	忙	房	暴
433	望	某	棒	冒	紡	肪	膨	謀	貌	貿
434	鉾	防	吠	頬	北	僕	卜	墨	撲	朴
435	牧	睦	穆	釦	勃	没	殆	堀	幌	奔
436	本	翻	凡	盆						
	ま									
436					摩	磨	魔	麻	埋	妹
437	昧	枚	毎	哩	槙	幕	膜	枕	鮪	柾
438	鱒	桝	亦	俣	又	抹	末	沫	迄	侭
439	繭	麿	万	慢	満					
440		漫	蔓							
	み									
440				味	未	魅	巳	箕	岬	密
441	蜜	湊	蓑	稔	脈	妙	粍	民	眠	
	む									
441										務
442	夢	無	牟	矛	霧	鵡	椋	婿	娘	
	め									
442										冥
443	名	命	明	盟	迷	銘	鳴	姪	牝	滅
444	免	棉	綿	緬	面	麺				
	も									
444							摸	模	茂	妄
445	孟	毛	猛	盲	網	耗	蒙	儲	木	黙
446	目	杢	勿	餅	尤	戻	籾	貰	問	悶
447	紋	門	匁							
	や									
447				也	冶	夜	爺	耶	野	弥
448	矢	厄	役	約	薬	訳	躍	靖	柳	薮

区点 1～3桁	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
449	鍵									
	ゆ									
449		愉	愈	油	癒					
450		諭	輸	唯	佑	優	勇	友	宥	幽
451	悠	憂	揖	有	柚	湧	涌	猶	猷	由
452	祐	裕	誘	遊	邑	郵	雄	融	夕	
	よ									
452										予
453	余	与	誉	輿	預	傭	幼	妖	容	庸
454	揚	揺	擁	曜	楊	様	洋	溶	熔	用
455	窯	羊	耀	葉	蓉	要	謡	踊	遥	陽
456	養	慾	抑	欲	沃	浴	翌	翼	淀	
	ら									
456										羅
457	螺	裸	来	莱	頼	雷	洛	絡	落	酪
458	乱	卵	嵐	欄	濫	藍	蘭	覧		
	り									
458									利	吏
459	履	李	梨	理	璃					
460		痢	裏	裡	里	離	陸	律	率	立
461	葎	掠	略	劉	流	溜	琉	留	硫	粒
462	隆	竜	龍	侶	慮	旅	虜	了	亮	僚
463	両	凌	寮	料	梁	涼	猟	療	瞭	稜
464	糧	良	諒	遼	量	陵	領	力	緑	倫
465	厘	林	淋	燐	琳	臨	輪	隣	鱗	麟
	る									
466	瑠	塁	涙	累	類					
	れ									
466						令	伶	例	冷	励
467	嶺	怜	玲	礼	苓	鈴	隷	零	霊	麗
468	齢	暦	歴	列	劣	烈	裂	廉	恋	憐
469	漣	煉	簾	練	聯					
470		蓮	連	錬						
	ろ									
470					呂	魯	櫓	炉	賂	路
471	露	労	婁	廊	弄	朗	楼	榔	浪	漏
472	牢	狼	篭	老	聾	蝋	郎	六	麓	禄
473	肋	録	論							
	わ									
473				倭	和	話	歪	賄	脇	惑
474	枠	鷲	亙	亘	鰐	詫	藁	蕨	椀	湾
475	碗	腕								
480		弌	丐	丕	个	丱	丶	丼	丿	乂
481	乖	乘	亂	亅	豫	亊	舒	弍	于	亞
482	亟	亠	亢	亰	亳	亶	从	仍	仄	仆
483	仂	仗	仞	仭	仟	价	伉	佚	估	佛
484	佝	佗	佇	佶	侈	侏	侘	佻	佩	佰
485	侑	佯	來	侖	儘	俔	俟	俎	俘	俛
486	俑	俚	俐	俤	俥	倚	倨	倔	倪	倥
487	倅	伜	俶	倡	倩	倬	俾	俯	們	倆
488	偃	假	會	偕	偐	偈	做	偖	偬	偸
489	傀	傚	傅	傴	傲					
490		僉	僊	傳	僂	僖	僞	僥	僭	僣
491	僮	價	僵	儉	儁	儂	儖	儕	儔	儚
492	儡	儺	儷	儼	儻	儿	兀	兒	兌	兔
493	兢	竸	兩	兪	兮	冀	冂	囘	册	冉
494	冏	冑	冓	冕	冖	冤	冦	冢	冩	冪
495	冫	决	冱	冲	冰	况	冽	凅	凉	凛
496	几	處	凩	凭	凰	凵	凾	刄	刋	刔
497	刎	刧	刪	刮	刳	剏	剄	剋	剌	剞
498	剔	剪	剴	剩	剳	剿	剽	劍	劔	劒
499	剱	劈	劑	辨	辧					
500		劬	劭	劼	劵	勁	勍	勗	勞	勣
501	勦	飭	勠	勳	勵	勸	勹	匆	匈	甸
502	匍	匐	匏	匕	匚	匣	匯	匱	匳	匸
503	區	卆	卅	丗	卉	卍	凖	卞	卩	卮
504	夘	卻	卷	厂	厖	厠	厦	厥	厮	厰
505	厶	參	簒	雙	叟	曼	燮	叮	叨	叭
506	叺	吁	吽	呀	听	吭	吼	吮	吶	吩
507	吝	呎	咏	呵	咎	呟	呱	呷	呰	咒
508	呻	咀	呶	咄	咐	咆	哇	咢	咸	咥
509	咬	哄	哈	咨						
510		咫	哂	咤	咾	咼	哘	哥	哦	唏
511	唔	哽	哮	哭	哺	哢	唹	啀	啣	啌
512	售	啜	啅	啖	啗	唸	唳	啝	喙	喀

区点 1～3桁	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
513	咯	喊	喟	啻	啾	喘	喞	單	啼	喃
514	喩	喇	喨	嗚	嗅	嗟	嗄	嗜	嗤	嗔
515	嘔	嗷	嘖	嗾	嗽	嘛	嗹	噎	噐	營
516	嘴	嘶	嘲	嘸	噫	噤	嘯	噬	噪	嚆
517	嚀	嚊	嚠	嚔	嚏	嚥	嚮	嚶	嚴	囂
518	嚼	囁	囃	囀	囈	囎	囑	囓	囗	囮
519	囹	圀	囿	圄	圉					
520		圈	國	圍	圓	團	圖	嗇	圜	圦
521	圷	圸	坎	圻	址	坏	坩	埀	垈	坡
522	坿	垉	垓	垠	垳	垤	垪	垰	埃	埆
523	埔	埒	埓	堊	埖	埣	堋	堙	堝	塲
524	堡	塢	塋	塰	毀	塒	堽	塹	墅	墹
525	墟	墫	墺	壞	墻	墸	墮	壅	壓	壑
526	壗	壙	壘	壥	壜	壤	壟	壯	壺	壹
527	壻	壼	壽	夂	夊	夐	夛	梦	夥	夬
528	夭	夲	夸	夾	竒	奕	奐	奎	奚	奘
529	奢	奠	奧	奬	奩					
530		奸	妁	妝	佞	侫	妣	妲	姆	姨
531	姜	妍	姙	姚	娥	娟	娑	娜	娉	娚
532	婀	婬	婉	娵	娶	婢	婪	媚	媼	媾
533	嫋	嫂	媽	嫣	嫗	嫦	嫩	嫖	嫺	嫻
534	嬌	嬋	嬖	嬲	嫐	嬪	嬶	嬾	孃	孅
535	孀	孑	孕	孚	孛	孥	孩	孰	孳	孵
536	學	斈	孺	宀	它	宦	宸	寃	寇	寉
537	寔	寐	寤	實	寢	寞	寥	寫	寰	寶
538	寳	尅	將	專	對	尓	尠	尢	尨	尸
539	尹	屁	屆	屎	屓					
540		屐	屏	孱	屬	屮	乢	屶	屹	岌
541	岑	岔	妛	岫	岻	岶	岼	岷	峅	岾
542	峇	峙	峩	峽	峺	峭	嶌	峪	崋	崕
543	崗	嵜	崟	崛	崑	崔	崢	崚	崙	崘
544	嵌	嵒	嵎	嵋	嵬	嵳	嵶	嶇	嶄	嶂
545	嶢	嶝	嶬	嶮	嶽	嶐	嶷	嶼	巉	巍
546	巓	巒	巖	巛	巫	已	巵	帋	帚	帙
547	帑	帛	帶	帷	幄	幃	幀	幎	幗	幔
548	幟	幢	幤	幇	幵	并	幺	麼	广	庠
549	廁	廂	廈	廐	廏					
550		廖	廣	廝	廚	廛	廢	廡	廨	廩
551	廬	廱	廳	廰	廴	廸	廾	弃	弉	彝
552	彜	弋	弑	弖	弩	弭	弸	彁	彈	彌
553	彎	弯	彑	彖	彗	彙	彡	彭	彳	彷
554	徃	徂	彿	徊	很	徑	徇	從	徙	徘
555	徠	徨	徭	徼	忖	忻	忤	忸	忱	忝
556	悳	忿	怡	恠	怙	怐	怩	怎	怱	怛
557	怕	怫	怦	怏	怺	恚	恁	恪	恷	恟
558	恊	恆	恍	恣	恃	恤	恂	恬	恫	恙
559	悁	悍	惧	悃	悚					
560		悄	悛	悖	悗	悒	悧	悋	惡	悸
561	惠	惓	悴	忰	悽	惆	悵	惘	慍	愕
562	愆	惶	惷	愀	惴	惺	愃	愡	惻	惱
563	愍	愎	慇	愾	愨	愧	慊	愿	愼	愬
564	愴	愽	慂	慄	慳	慷	慘	慙	慚	慫
565	慴	慯	慥	慱	慟	慝	慓	慵	憙	憖
566	憇	憬	憔	憚	憊	憑	憫	憮	懌	懊
567	應	懷	懈	懃	懆	憺	懋	罹	懍	懦
568	懣	懶	懺	懴	懿	懽	懼	懾	戀	戈
569	戉	戍	戌	戔	戛					
570		戞	戡	截	戮	戰	戲	戳	扁	扎
571	扞	扣	扛	扠	扨	扼	抂	抉	找	抒
572	抓	抖	拔	抃	抔	拗	拑	抻	拏	拿
573	拆	擔	拈	拜	拌	拊	拂	拇	抛	拉
574	挌	拮	拱	挧	挂	挈	拯	拵	捐	挾
575	捍	搜	捏	掖	掎	掀	掫	捶	掣	掏
576	掉	掟	掵	捫	捩	掾	揩	揀	揆	揣
577	揉	插	揶	揄	搖	搴	搆	搓	搦	搶
578	攝	搗	搨	搏	摧	摯	摶	摎	攪	撕
579	撓	撥	撩	撈	撼					
580		據	擒	擅	擇	撻	擘	擂	擱	擧
581	舉	擠	擡	抬	擣	擯	攬	擶	擴	擲
582	擺	攀	擽	攘	攜	攅	攤	攣	攫	攴
583	攵	攷	收	攸	畋	效	敖	敕	敍	敘
584	敞	敝	敲	數	斂	斃	變	斛	斟	斫
585	斷	旃	旆	旁	旄	旌	旒	旛	旙	无
586	旡	旱	杲	昊	昃	旻	杳	昵	昶	昴
587	昜	晏	晄	晉	晁	晞	晝	晤	晧	晨
588	晟	晢	晰	暃	暈	暎	暉	暄	暘	暝
589	曁	暹	曉	暾	暼					

区点 1～3桁	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
590		曄	暸	曖	曚	曠	昿	曦	曩	曰
591	曵	曷	朏	朖	朞	朦	朧	霸	朮	朿
592	朶	杁	朸	朷	杆	杞	杠	杙	杣	杤
593	枉	杰	枩	杼	杪	枌	枋	枦	枡	枅
594	枷	柯	枴	柬	枳	柩	枸	柤	柞	柝
595	柢	柮	枹	柎	柆	柧	檜	栞	框	栩
596	桀	桍	栲	桎	梳	栫	桙	档	桷	桿
597	梟	梏	梭	梔	條	梛	梃	檮	梹	桴
598	梵	梠	梺	椏	梍	桾	椁	棊	椈	棘
599	椢	椦	棡	椌	棍					
600		棔	棧	棕	椶	椒	椄	棗	棣	椥
601	棹	棠	棯	椨	椪	椚	椣	椡	棆	楹
602	楷	楜	楸	楫	楔	楾	楮	椹	楴	椽
603	楙	椰	楡	楞	楝	榁	楪	榲	榮	槐
604	榿	槁	槓	榾	槎	寨	槊	槝	榻	槃
605	榧	樮	榑	榠	榜	榕	榴	槞	槨	樂
606	樛	槿	權	槹	槲	槧	樅	榱	樞	槭
607	樔	槫	樊	樒	櫁	樣	樓	橄	樌	橲
608	樶	橸	橇	橢	橙	橦	橈	樸	樢	檐
609	檍	檠	檄	檢	檣					
610		檗	蘗	檻	櫃	櫂	檸	檳	檬	櫞
611	櫑	櫟	檪	櫚	櫪	櫻	欅	蘖	櫺	欒
612	欖	鬱	欟	欸	欷	盜	欹	飮	歇	歃
613	歉	歐	歙	歔	歛	歟	歡	歸	歹	歿
614	殀	殄	殃	殍	殘	殕	殞	殤	殪	殫
615	殯	殲	殱	殳	殷	殼	毆	毋	毓	毟
616	毬	毫	毳	毯	麾	氈	氓	气	氛	氤
617	氣	汞	汕	汢	汪	沂	沍	沚	沁	沛
618	汾	汨	汳	沒	沐	泄	泱	泓	沽	泗
619	泅	泝	沮	沱	沾					
620		沺	泛	泯	泙	泪	洟	衍	洶	洫
621	洽	洸	洙	洵	洳	洒	洌	浣	涓	浤
622	浚	浹	浙	涎	涕	濤	涅	淹	渕	渊
623	涵	淇	淦	涸	淆	淬	淞	淌	淨	淒
624	淅	淺	淙	淤	淕	淪	淮	渭	湮	渮
625	渙	湲	湟	渾	渣	湫	渫	湶	湍	渟
626	湃	渺	湎	渤	滿	渝	游	溂	溪	溘
627	滉	溷	滓	溽	溯	滄	溲	滔	滕	溏
628	溥	滂	溟	潁	漑	灌	滬	滸	滾	漿
629	滲	漱	滯	漲	滌					
630		漾	漓	滷	澆	潺	潸	澁	澀	潯
631	潛	濳	潭	澂	潼	潘	澎	澑	濂	潦
632	澳	澣	澡	澤	澹	濆	澪	濟	濕	濬
633	濔	濘	濱	濮	濛	瀉	瀋	濺	瀑	瀁
634	瀏	濾	瀛	瀚	潴	瀝	瀘	瀟	瀰	瀾
635	瀲	灑	灣	炙	炒	炯	烱	炬	炸	炳
636	炮	烟	烋	烝	烙	焉	烽	焜	焙	煥
637	煕	熈	煦	煢	煌	煖	煬	熏	燻	熄
638	熕	熨	熬	燗	熹	熾	燒	燉	燔	燎
639	燠	燬	燧	燵	燼					
640		燹	燿	爍	爐	爛	爨	爭	爬	爰
641	爲	爻	爼	爿	牀	牆	牋	牘	牴	牾
642	犂	犁	犇	犒	犖	犢	犧	犹	犲	狃
643	狆	狄	狎	狒	狢	狠	狡	狹	狷	倏
644	猗	猊	猜	猖	猝	猴	猯	猩	猥	猾
645	獎	獏	默	獗	獪	獨	獰	獸	獵	獻
646	獺	珈	玳	珎	玻	珀	珥	珮	珞	璢
647	琅	瑯	琥	珸	琲	琺	瑕	琿	瑟	瑙
648	瑁	瑜	瑩	瑰	瑣	瑪	瑶	瑾	璋	璞
649	璧	瓊	瓏	瓔	珱					
650		瓠	瓣	瓧	瓩	瓮	瓲	瓰	瓱	瓸
651	瓷	甄	甃	甅	甌	甎	甍	甕	甓	甞
652	甦	甬	甼	畄	畍	畊	畉	畛	畆	畚
653	畩	畤	畧	畫	畭	畸	當	疆	疇	畴
654	疊	疉	疂	疔	疚	疝	疥	疣	痂	疳
655	痃	疵	疽	疸	疼	疱	痍	痊	痒	痙
656	痣	痞	痾	痿	痼	瘁	痰	痺	痲	痳
657	瘋	瘍	瘉	瘟	瘧	瘠	瘡	瘢	瘤	瘴
658	瘰	瘻	癇	癈	癆	癜	癘	癡	癢	癨
659	癩	癪	癧	癬	癰					
660		癲	癶	癸	發	皀	皃	皈	皋	皎
661	皖	皓	皙	皚	皰	皴	皸	皹	皺	盂
662	盍	盖	盒	盞	盡	盥	盧	盪	蘯	盻
663	眈	眇	眄	眩	眤	眞	眥	眦	眛	眷
664	眸	睇	睚	睨	睫	睛	睥	睿	睾	睹
665	瞎	瞋	瞑	瞠	瞞	瞰	瞶	瞹	瞿	瞼
666	瞽	瞻	矇	矍	矗	矚	矜	矣	矮	矼

区点	区点4桁目									
1〜3桁	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
667	砌	砒	礦	砠	礪	硅	碎	硴	碆	硼
668	碚	碌	碣	碵	碪	碯	磑	磆	磋	磔
669	碾	碼	磅	磊	磬					
670		磧	磚	磽	磴	礇	礒	礑	礙	礬
671	礫	祀	祠	祗	祟	祚	祕	祓	祺	祿
672	禊	禝	禧	齋	禪	禮	禳	禹	禺	秉
673	秕	秧	秬	秡	秣	稈	稍	稘	稙	稠
674	稟	禀	稱	稻	稾	稷	穃	穗	穉	穡
675	穢	穩	龝	穰	穹	穽	窈	窗	窕	窘
676	窖	窩	竈	窰	窶	竅	竄	窿	邃	竇
677	竊	竍	竏	竕	竓	站	竚	竝	竡	竢
678	竦	竭	竰	笂	笏	笊	笆	笳	笘	笙
679	笞	笵	笨	笶	筐					
680		筺	笄	筍	笋	筌	筅	筵	筥	筴
681	筧	筰	筱	筬	筮	箝	箘	箟	箍	箜
682	箚	箋	箒	箏	筝	箙	篋	篁	篌	篏
683	箴	篆	篝	篩	簑	簔	篦	篥	籠	簀
684	簇	簓	篳	篷	簗	簍	篶	簣	簧	簪
685	簟	簷	簫	簽	籌	籃	籔	籏	籀	籐
686	籘	籟	籤	籖	籥	籬	籵	粃	粐	粤
687	粭	粢	粫	粡	粨	粳	粲	粱	粮	粹
688	粽	糀	糅	糂	糘	糒	糜	糢	鬻	糯
689	糲	糴	糶	糺	紆					
690		紂	紜	紕	紊	絅	絋	紮	紲	紿
691	紵	絆	絳	絖	絎	絲	絨	絮	絏	絣
692	經	綉	絛	綏	絽	綛	綺	綮	綣	綵
693	緇	綽	綫	總	綢	綯	緜	綸	綟	綰
694	緘	緝	緤	緞	緻	緲	緡	縅	縊	縣
695	縡	縒	縱	縟	縉	縋	縢	繆	繦	縻
696	縵	縹	繃	縷	縲	縺	繧	繝	繖	繞
697	繙	繚	繹	繪	繩	繼	繻	纃	緕	繽
698	辮	繿	纈	纉	續	纒	纐	纓	纔	纖
699	纎	纛	纜	缸	缺					
700		罅	罌	罍	罎	罐	网	罕	罔	罘
701	罟	罠	罨	罩	罧	罸	羂	羆	羃	羈
702	羇	羌	羔	羞	羝	羚	羣	羯	羲	羹
703	羮	羶	羸	譱	翅	翆	翊	翕	翔	翡
704	翦	翩	翳	翹	飜	耆	耄	耋	耒	耘
705	耙	耜	耡	耨	耿	耻	聊	聆	聒	聘
706	聚	聟	聢	聨	聳	聲	聰	聶	聹	聽
707	聿	肄	肆	肅	肛	肓	肚	肭	冐	肬
708	胛	胥	胙	胝	胄	胚	胖	脉	胯	胱
709	脛	脩	脣	脯	腋					
710		隋	腆	脾	腓	腑	胼	腱	腮	腥
711	腦	腴	膃	膈	膊	膀	膂	膠	膕	膤
712	膣	腟	膓	膩	膰	膵	膾	膸	膽	臀
713	臂	膺	臉	臍	臑	臙	臘	臈	臚	臟
714	臠	臧	臺	臻	臾	舁	舂	舅	與	舊
715	舍	舐	舖	舩	舫	舸	舳	艀	艙	艘
716	艝	艚	艟	艤	艢	艨	艪	艫	舮	艱
717	艷	艸	艾	芍	芒	芫	芟	芻	芬	苡
718	苣	苟	苒	苴	苳	苺	莓	范	苻	苹
719	苞	茆	苜	茉	苙					
720		茵	茴	茖	茲	茱	荀	茹	荐	荅
721	茯	茫	茗	茘	莅	莚	莪	莟	莢	莖
722	茣	莎	莇	莊	荼	莵	荳	荵	莠	莉
723	莨	菴	萓	菫	菎	菽	萃	菘	萋	菁
724	菷	萇	菠	菲	萍	萢	萠	莽	萸	蔆
725	菻	葭	萪	萼	蕚	蒄	葷	葫	蒭	葮
726	蒂	葩	葆	萬	葯	葹	萵	蓊	葢	蒹
727	蒿	蒟	蓙	蓍	蒻	蓚	蓐	蓁	蓆	蓖
728	蒡	蔡	蓿	蓴	蔗	蔘	蔬	蔟	蔕	蔔
729	蓼	蕀	蕣	蕘	蕈					
730		蕁	蘂	蕋	蕕	薀	薤	薈	薑	薊
731	薨	蕭	薔	薛	藪	薇	薜	蕷	蕾	薐
732	藉	薺	藏	薹	藐	藕	藝	藥	藜	藹
733	蘊	蘓	蘋	藾	藺	蘆	蘢	蘚	蘰	蘿
734	虍	乕	虔	號	虧	虱	蚓	蚣	蚩	蚪
735	蚋	蚌	蚶	蚯	蛄	蛆	蚰	蛉	蠣	蚫
736	蛔	蛞	蛩	蛬	蛟	蛛	蛯	蜒	蜆	蜈
737	蜀	蜃	蛻	蜑	蜉	蜍	蛹	蜊	蜴	蜿
738	蜷	蜻	蜥	蜩	蜚	蝠	蝟	蝸	蝌	蝎
739	蝴	蝗	蝨	蝮	蝙					
740		蝓	蝣	蝪	蠅	螢	螟	螂	螯	蟋
741	螽	蟀	蟐	雖	螫	蟄	螳	蟇	蟆	螻
742	蟯	蟲	蟠	蠏	蠍	蟾	蟶	蟷	蠎	蟒
743	蠑	蠖	蠕	蠢	蠡	蠱	蠶	蠹	蠧	蠻
744	衄	衂	衒	衙	衞	衢	衫	袁	衾	袞
745	衵	衽	袵	衲	袂	袗	袒	袮	袙	袢
746	袍	袤	袰	袿	袱	裃	裄	裔	裘	裙
747	裝	裹	褂	裼	裴	裨	裲	褄	褌	褊
748	褓	襃	褞	褥	褪	褫	襁	襄	褻	褶
749	褸	襌	褝	襠	襞					
750		襦	襤	襭	襪	襯	襴	襷	襾	覃
751	覈	覊	覓	覘	覡	覩	覦	覬	覯	覲
752	覺	覽	覿	觀	觚	觜	觝	觧	觴	觸
753	訃	訖	訐	訌	訛	訝	訥	訶	詁	詛
754	詒	詆	詈	詼	詭	詬	詢	誅	誂	誄
755	誨	誡	誑	誥	誦	誚	誣	諄	諍	諂
756	諚	諫	諳	諧	諤	諱	謔	諠	諢	諷
757	諞	諛	謌	謇	謚	諡	謖	謐	謗	謠
758	謳	鞫	謦	謫	謾	謨	譁	譌	譏	譎
759	證	譖	譛	譚	譫					
760		譟	譬	譯	譴	譽	讀	讌	讎	讒
761	讓	讖	讙	讚	谺	豁	谿	豈	豌	豎
762	豐	豕	豢	豬	豸	豺	貂	貉	貅	貊
763	貍	貎	貔	豼	貘	戝	貭	貪	貽	貲
764	貳	貮	貶	賈	賁	賤	賣	賚	賽	賺
765	賻	贄	贅	贊	贇	贏	贍	贐	齎	贓
766	賍	贔	贖	赧	赭	赱	赳	趁	趙	跂
767	趾	趺	跏	跚	跖	跌	跛	跋	跪	跫
768	跟	跣	跼	踈	踉	跿	踝	踞	踐	踟
769	蹂	踵	踰	踴	蹊					
770		蹇	蹉	蹌	蹐	蹈	蹙	蹤	蹠	踪
771	蹣	蹕	蹶	蹲	蹼	躁	躇	躅	躄	躋
772	躊	躓	躑	躔	躙	躪	躡	躬	躰	軆
773	躱	躾	軅	軈	軋	軛	軣	軼	軻	軫
774	軾	輊	輅	輕	輒	輙	輓	輜	輟	輛
775	輌	輦	輳	輻	輹	轅	轂	輾	轌	轉
776	轆	轎	轗	轜	轢	轣	轤	辜	辟	辣
777	辭	辯	辷	迚	迥	迢	迪	迯	邇	迴
778	逅	迹	迺	逑	逕	逡	逍	逞	逖	逋
779	逧	逶	逵	逹	迸					
780		遏	遐	遑	遒	逎	遉	逾	遖	遘
781	遞	遨	遯	遶	隨	遲	邂	遽	邁	邀
782	邊	邉	邏	邨	邯	邱	邵	郢	郤	扈
783	郛	鄂	鄒	鄙	鄲	鄰	酊	酖	酘	酣
784	酥	酩	酳	酲	醋	醉	醂	醢	醫	醯
785	醪	醵	醴	醺	釀	釁	釉	釋	釐	釖
786	釟	釡	釛	釼	釵	釶	鈞	釿	鈔	鈬
787	鈕	鈑	鉞	鉗	鉅	鉉	鉤	鉈	銕	鈿
788	鉋	鉐	銜	銖	銓	銛	鉚	鋏	銹	銷
789	鋩	錏	鋺	鍄	錮					
790		錙	錢	錚	錣	錺	錵	錻	鍜	鍠
791	鍼	鍮	鍖	鎰	鎬	鎭	鎔	鎹	鏖	鏗
792	鏨	鏥	鏘	鏃	鏝	鏐	鏈	鏤	鐚	鐔
793	鐓	鐃	鐇	鐐	鐶	鐫	鐵	鐡	鐺	鑁
794	鑒	鑄	鑛	鑠	鑢	鑞	鑪	鈩	鑰	鑵
795	鑷	鑽	鑚	鑼	鑾	钁	鑿	閂	閇	閊
796	閔	閖	閘	閙	閠	閨	閧	閭	閼	閻
797	閹	閾	闊	濶	闃	闍	闌	闕	闔	闖
798	關	闡	闥	闢	阡	阨	阮	阯	陂	陌
799	陏	陋	陷	陜	陞					
800		陝	陟	陦	陲	陬	隍	隘	隕	隗
801	險	隧	隱	隲	隰	隴	隶	隸	隹	雎
802	雋	雉	雍	襍	雜	霍	雕	雹	霄	霆
803	霈	霓	霎	霑	霏	霖	霙	霤	霪	霰
804	霹	霽	霾	靄	靆	靈	靂	靉	靜	靠
805	靤	靦	靨	勒	靫	靱	靹	鞅	靼	鞁
806	靺	鞆	鞋	鞏	鞐	鞜	鞨	鞦	鞣	鞳
807	鞴	韃	韆	韈	韋	韜	韭	齏	韲	竟
808	韶	韵	頏	頌	頸	頤	頡	頷	頽	顆
809	顏	顋	顫	顯	顰					
810		顱	顴	顳	颪	颯	颱	颶	飄	飃
811	飆	飩	飫	餃	餉	餒	餔	餘	餡	餝
812	餞	餤	餠	餬	餮	餽	餾	饂	饉	饅
813	饐	饋	饑	饒	饌	饕	馗	馘	馥	馭
814	馮	馼	駟	駛	駝	駘	駑	駭	駮	駱
815	駲	駻	駸	騁	騏	騅	駢	騙	騫	騷
816	驅	驂	驀	驃	騾	驕	驍	驛	驗	驟
817	驢	驥	驤	驩	驫	驪	骭	骰	骼	髀
818	髏	髑	髓	體	髞	髟	髢	髣	髦	髯
819	髫	髮	髴	髱	髷					
820		髻	鬆	鬘	鬚	鬟	鬢	鬣	鬥	鬧
821	鬨	鬩	鬪	鬮	鬯	鬲	魄	魃	魏	魍
822	魎	魑	魘	魴	鮓	鮃	鮑	鮖	鮗	鮟
823	鮠	鮨	鮴	鯀	鯊	鮹	鯆	鯏	鯑	鯒
824	鯣	鯢	鯤	鯔	鯡	鰺	鯲	鯱	鯰	鰕
825	鰔	鰉	鰓	鰌	鰆	鰈	鰒	鰊	鰄	鰮
826	鰛	鰥	鰤	鰡	鰰	鱇	鰲	鱆	鰾	鱚
827	鱠	鱧	鱶	鱸	鳧	鳬	鳰	鴉	鴈	鳫
828	鴃	鴆	鴪	鴦	鶯	鴣	鴟	鵄	鴕	鴒
829	鵁	鴿	鴾	鵆	鵈					
830		鵝	鵞	鵤	鵑	鵐	鵙	鵲	鶉	鶇
831	鶫	鵯	鵺	鶚	鶤	鶩	鶲	鷄	鷁	鶻
832	鶸	鶺	鷆	鷏	鷂	鷙	鷓	鷸	鷦	鷭
833	鷯	鷽	鸚	鸛	鸞	鹵	鹹	鹽	麁	麈
834	麋	麌	麒	麕	麑	麝	麥	麩	麸	麪
835	麭	靡	黌	黎	黏	黐	黔	黜	點	黝
836	黠	黥	黨	黯	黴	黶	黷	黹	黻	黼
837	黽	鼇	鼈	皷	鼕	鼡	鼬	鼾	齊	齒
838	齔	齣	齟	齠	齡	齦	齧	齬	齪	齷
839	齲	齶	龕	龜	龠					
840		堯	槇	遥	瑶	凜	熙			